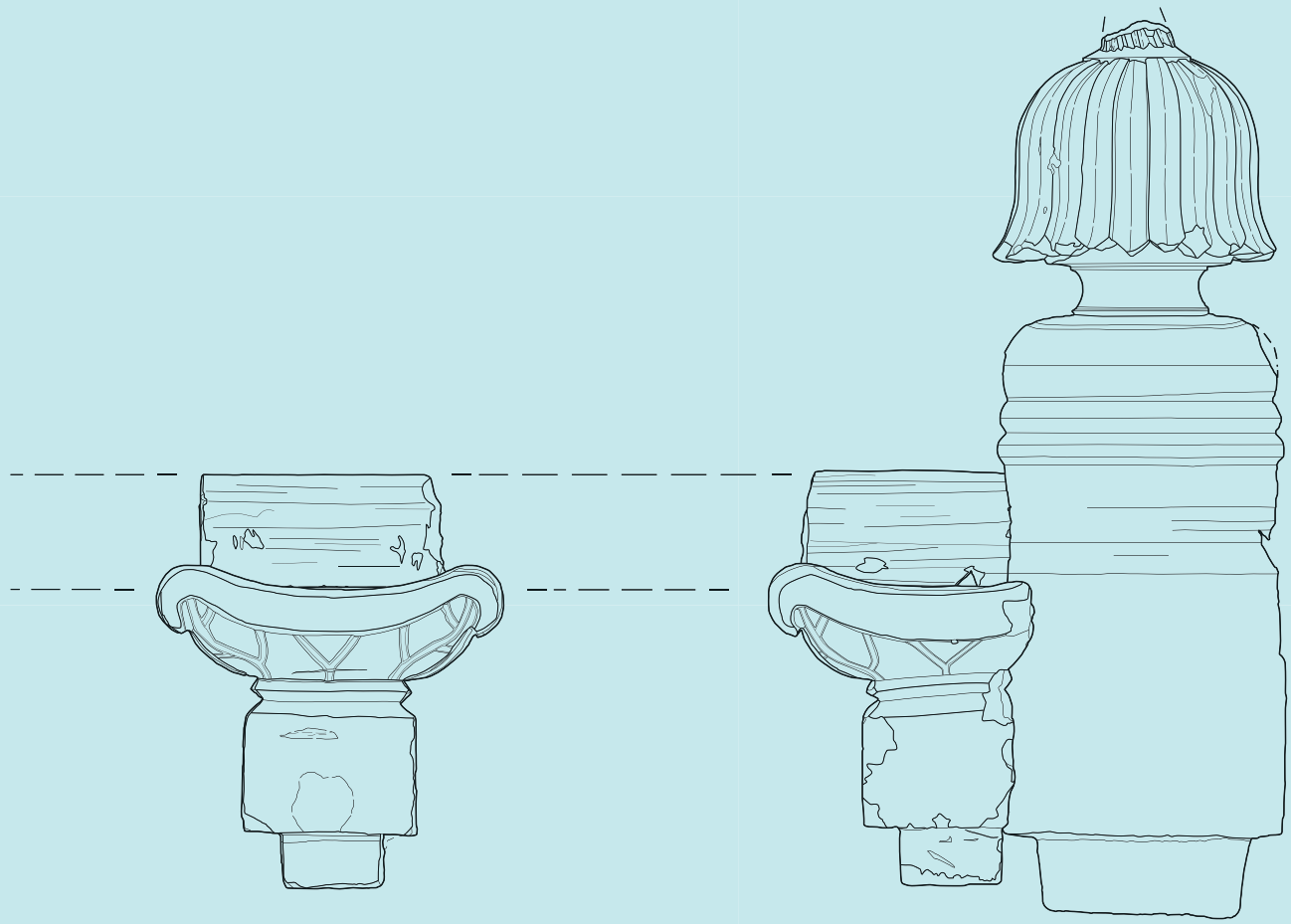
沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書　第88集

首　里　城　跡

― 御内原東地区発掘調査報告書―



平成29（2017）年３月

沖縄県立埋蔵文化財センター

沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書　第 88 集

首　里　城　跡

－御内原東地区発掘調査報告書－

平成 29（2017）年 3 月

沖縄県立埋蔵文化財センター

序

本報告書は、沖縄県立埋蔵文化財センターが平成 23・24 年度に実施した、首里城跡御内原東地区の発掘調査成果をまとめたものです。

本調査における特筆すべき成果としては、1732 年に建てられた金蔵に伴うと考えられる複数の石積みや、尚巴王代（1422 ～ 39 年）創建と伝わる美福門の城壁の一部、琉球石灰岩の岩盤を加工・成形した階段通路などを確認したことが挙げられます。これらの遺構は、かつて国王一族や女官以外の立ち入りが禁じられ、記録に残る情報も少ないことから、未だ不明な点の多い「御内原」の様相を知るうえで重要な資料といえます。

遺物についても、多種多様な資料が得られました。中でも、金蔵後方の落ち込み遺構から出土した遺物には、中国清朝の官窯製品と称される最高級の陶磁器が一定量含まれており、賓客の接待時などに使用されたものと考えられます。また今回の調査では、これまで断片的な出土にとどまっていた瓦製の欄干がまとまって確認されたため、17 世紀以前の首里城内に瓦製欄干を伴う構築物が存在した可能性も想定されます。これらの遺物は、首里城内でも重要な地域であった「御内原」だけでなく、琉球王国の政治及び文化の一端を窺うことができる貴重な発見といえます。

このような成果を掲載した今回の報告書が、首里城はもちろん沖縄県の歴史・文化を理解する資料として活用されるとともに、地域における文化財の保存活用のために役立てば幸いです。

最後に、様々な御指導・御助言・御協力を戴きました諸機関及び関係各位に心から感謝申し上げます。

平成２９（２０１７）年３月

沖縄県立埋蔵文化財センター
所　長　　金　城　亀　信

例　　言

1．本報告書は、国営沖縄記念公園首里城地区の整備に伴い、沖縄県那覇市首里当蔵町所在の「史跡　首里城跡」御内原東地区で実施した発掘調査及び資料整理の成果をまとめたものである。

2．本業務は、内閣府　沖縄総合事務局　国営沖縄記念公園事務所が沖縄県と委託契約を交わし、沖縄県教育委員会の指導のもと、沖縄県立埋蔵文化財センターが実施した。

3．発掘調査は平成 23・24 年度に実施し、資料整理及び報告書作成は平成 26 ～ 28 年度に実施した。

4．本書に掲載した遺構図の座標軸は国土座標軸（第ＸＶ座標系）を使用し、その座標値は日本測地系である。ちなみに、報告書抄録の緯度経度は世界測地系に変換して算出している。

5．発掘調査及び資料整理に際して、以下の諸氏や機関に協力・指導・助言等を戴いた。記して謝意を表する。
（五十音順、敬称略　※所属名は当時）
石井　龍太（東京大学総合研究博物館）、上江洲　安亨（沖縄美ら島財団）、上原　静（沖縄国際大学）、黒住　耐二（千葉県立中央博物館）、狭川　真一（元興寺文化財研究所）、櫻木　晋一（下関市立大学）、島　弘・内間　靖・仲宗根　啓・當銘　由嗣・知念　政樹（那覇市教育委員会生涯学習部文化財課）、清野　孝之（奈良文化財研究所）、野上　建紀（長崎大学）、丸山　真史（東海大学）、森　達也（愛知県陶磁美術館）、矢島　律子（町田市立博物館）、株式会社真南風、首里城研究会、首里城復元検討委員会

6．本書の編集は、当センター職員の協力を得て新垣力が行った。執筆は、第 4 章のみ株式会社文化財サービスとパリノ・サーヴェイ株式会社から玉稿を賜ったが、それ以外は新垣が担当した。

7．土色は、農林水産省農林水産技術会事務局監修『新版標準土色帖』2011 年度版を使用した。土質は肉眼で粒径を観察し、地質学のウェントワース・ペティジョン法（那須・趙 2003）で表現した。

8．本書に掲載した写真は、発掘調査状況を瀬戸哲也・新垣力が、遺物を領家範夫が主に撮影した。

9．発掘調査で得られた遺物及び実測図・写真等の記録は、全て沖縄県立埋蔵文化財センターにて保管している。

目　次

序
例　　言
第１章　経緯と経過
　第１節　調査 に至る経緯 …… 1
　第２節　調査・整理の体制…… 1
　第３節　調査・整理の経過…… 3
第２章　遺跡の位置と環境
　第１節　地理的環境…… 5
　第２節　歴史的環境…… 5
第３章　調査の方法と成果
　第１節　調査の方法…… 12
　第２節　遺構…… 12
　第３節　出土遺物…… 49
　　第 1 項　中国産陶磁器
　　1　青磁 …… 50
　　2　白磁…… 59
　　3　青花…… 63
　　4　褐釉陶器…… 72
　　5　その他の陶磁器…… 77
　　第 2 項　その他の輸入陶磁器・土器 …… 85
　　第 3 項　本土産陶磁器 …… 93
　　第 4 項　沖縄産陶器
　　1　施釉陶器……102
　　2　無釉陶器……113
　　3　陶質土器……123
　　第 5 項　瓦質土器・カムィヤキ・土器 ……124
　　第 6 項　瓦類
　　1　屋瓦……131
　　2　塼……142
　　3　欄干……147
　　第 7 項　銭貨 ……153
　　第 8 項　円盤状製品 ……156
　　第 9 項　煙管 ……159
　　第 10 項　玉 ……159
　　第 11 項　ガラス製品 ……160
　　第 12 項　金属製品 ……163
　　第 13 項　石製品 ……166
　　第 14 項　漆喰製品 ……169
　　第 15 項　漆製品 ……169
　　第 16 項　貝製品 ……172
　　第 17 項　骨製品 ……173
　　第 18 項　自然遺物
　　1　貝類遺体……180
　　2　脊椎動物遺体 ……180
第４章　自然科学分析
　第１節　木製品の保存処理及び微細遺物分析……235
　第２節　遺構埋土等の自然科学分析……247

第５章　総括 …… 263
引用・参考文献…… 265
報告書抄録

挿図目次

第 1 図　沖縄本島の位置図 …… 8
第 2 図　首里城跡の位置及び周辺の遺跡 …… 9
第 3 図　首里城絵図
（17 世紀後半～ 18 世紀前半作成）にみる調査区 10
第 4 図　首里古地図（18 世紀初頭作成）にみる調査区　10
第 5 図　旧首里城図（昭和 6 年頃作成）にみる調査区 … 11
第 6 図　旧琉球大学校舎配置図
（1950 年～ 1984 年）にみる調査区　… 11
第 7 図　御内原東地区グリッド割 …… 13
第 8 図　平成 23・24 年度　調査区割 …… 15
第 9 図　層序 1 …… 16
第 10 図　層序 2 …… 17
第 11 図　遺構配置図 …… 19
第 12 図　遺構平面図 1 …… 21
第 13 図　断面図 …… 23
第 14 図　遺構平面図 2 …… 25
第 15 図　P-E7 落込　…… 27
第 16 図　石積 3・4・9・10、石敷 2…… 29
第 17 図　石積 11・12 …… 30
第 18 図　遺構平面図 3 …… 31
第 19 図　石積 2 …… 33
第 20 図　石積 2・8・14、石敷 1 …… 35
第 21 図　石積 14、石敷 1 …… 36
第 22 図　石積 5・15・20、石敷 3…… 37
第 23 図　石積 6・7 …… 38
第 24 図　遺構平面図 4 …… 39
第 25 図　石積 17・18・25・27…… 41
第 26 図　石積 16・22 …… 43
第 27 図　落込 2 …… 45
第 28 図　階段 1 …… 46
第 29 図　土坑・ピット …… 47
第 30 図　中国産青磁 1 …… 53
第 31 図　中国産青磁 2 …… 55
第 32 図　中国産青磁 3 …… 57
第 33 図　中国産白磁 …… 61
第 34 図　中国産青花 1 …… 66
第 35 図　中国産青花 2 …… 68
第 36 図　中国産青花 3 …… 70
第 37 図　中国産褐釉陶器 1 …… 73
第 38 図　中国産褐釉陶器 2 …… 75
第 39 図　その他の中国産陶磁器 1 …… 80
第 40 図　その他の中国産陶磁器 2 …… 82
第 41 図　その他の中国産陶磁器 3 …… 84
第 42 図　その他の輸入陶磁器・土器 1（タイ産）　…… 87
第 43 図　その他の輸入陶磁器・土器 2（タイ産）　…… 89
第 44 図　その他の輸入陶磁器・土器 3
（ベトナム産・朝鮮産）…… 91
第 45 図　本土産陶磁器 1 …… 96
第 46 図　本土産陶磁器 2 …… 98
第 47 図　本土産陶磁器 3 …… 100
第 48 図　沖縄産施釉陶器 1 …… 107
第 49 図　沖縄産施釉陶器 2 …… 109
第 50 図　沖縄産施釉陶器 3 …… 111
第 51 図　沖縄産無釉陶器 1 …… 117
第 52 図　沖縄産無釉陶器 2 …… 119
第 53 図　沖縄産無釉陶器 3 …… 121
第 54 図　陶質土器 1 …… 125
第 55 図　陶質土器 2・瓦質土器 1 …… 127
第 56 図　瓦質土器 2・カムィヤキ・土器 …… 129
第 57 図　瓦 1（高麗系・大和系・明朝系）　…… 132
第 58 図　瓦 2（明朝系）　…… 134
第 59 図　瓦 3（明朝系）　…… 136
第 60 図　瓦 4（明朝系）　…… 138
第 61 図　瓦 5（明朝系）　…… 140
第 62 図　塼 1 …… 143
第 63 図　塼 2 …… 145
第 64 図　欄干 1 …… 148
第 65 図　欄干 2 …… 150
第 66 図　欄干 3 …… 152
第 67 図　銭貨 …… 154
第 68 図　円盤状製品 …… 157
第 69 図　煙管・玉・ガラス製品 …… 161
第 70 図　金属製品 …… 164
第 71 図　石製品 …… 167
第 72 図　漆喰・漆製品 …… 170
第 73 図　貝製品・骨製品 1 …… 174
第 74 図　骨製品 2 …… 176
第 75 図　骨製品 3 …… 178
第 76 図　PY-GC/MS のイオンクロマトグラフ …… 254
第 77 図　PY-GC/MS のイオンクロマトグラフ
（M/Z=108）… 255

図版目次

図版 1　遺構画像 1 …… 22
図版 2　遺構画像 2 …… 44
図版 3　遺構画像 3 …… 48
図版 4　中国産青磁 1 …… 54
図版 5　中国産青磁 2 …… 56
図版 6　中国産青磁 3 …… 58
図版 7　中国産白磁 …… 62
図版 8　中国産青花 1 …… 67
図版 9　中国産青花 2 …… 69
図版 10　中国産青花 3 …… 71
図版 11　中国産褐釉陶器 1 …… 74
図版 12　中国産褐釉陶器 2 …… 76
図版 13　その他の中国産陶磁器 1 …… 81
図版 14　その他の中国産陶磁器 2 …… 83
図版 15　その他の中国産陶磁器 3 …… 84
図版 16　その他の輸入陶磁器・土器 1（タイ産）…… 88
図版 17　その他の輸入陶磁器・土器 2（タイ産）…… 90
図版 18　その他の輸入陶磁器・土器 3
（ベトナム産・朝鮮産）…… 92
図版 19　本土産陶磁器 1 …… 97
図版 20　本土産陶磁器 2 …… 99
図版 21　本土産陶磁器 3 …… 101
図版 22　沖縄産施釉陶器 1 …… 108
図版 23　沖縄産施釉陶器 2 …… 110
図版 24　沖縄産施釉陶器 3 …… 112
図版 25　沖縄産無釉陶器 1 …… 118
図版 26　沖縄産無釉陶器 2 …… 120
図版 27　沖縄産無釉陶器 3 …… 122
図版 28　陶質土器 1 …… 126
図版 29　陶質土器 2・瓦質土器 1 …… 128
図版 30　瓦質土器 2・カムィヤキ・土器 …… 130
図版 31　瓦 1（高麗系・大和系・明朝系）…… 133
図版 32　瓦 2（明朝系）…… 135
図版 33　瓦 3（明朝系）…… 137
図版 34　瓦 4（明朝系）…… 139
図版 35　瓦 5（明朝系）…… 141
図版 36　塼 1 …… 144
図版 37　塼 2 …… 146
図版 38　欄干 1 …… 149
図版 39　欄干 2 …… 151
図版 40　欄干 3 …… 152
図版 41　銭貨 …… 155
図版 42　円盤状製品 …… 158
図版 43　煙管・玉・ガラス製品 …… 162
図版 44　金属製品 …… 165
図版 45　石製品 …… 168
図版 46　漆喰・漆製品 …… 171
図版 47　貝製品・骨製品 1 …… 175
図版 48　骨製品 2 …… 177
図版 49　骨製品 3 …… 179
図版 50　貝類遺体 1（巻貝 1）…… 181
図版 51　貝類遺体 2（巻貝 2）…… 182
図版 52　貝類遺体 3（二枚貝）…… 183
図版 53　脊椎動物遺体 1 …… 184
図版 54　脊椎動物遺体 2 …… 185
図版 55　脊椎動物遺体 3 …… 186
図版 56　脊椎動物遺体 4 …… 187
図版 57　脊椎動物遺体 5 …… 188
図版 58　漆塗膜 …… 239
図版 59　堆朱（彫漆）…… 240
図版 60　塗膜片？ …… 241
図版 61　炭化材 …… 242
図版 62　炭化材・編組製品（敷物？）…… 243
図版 63　繊維製品（編布）…… 244
図版 64　花粉分析プレパラート内の状況
・炭化材・炭化種実…… 258
図版 65　顕微鏡写真（1）…… 259
図版 66　顕微鏡写真（2）…… 260
図版 67　顕微鏡写真（3）…… 261
図版 68　顕微鏡写真（4）…… 262

表目次

第 1 表　中国産青磁観察一覧 1 …… 50
第 1 表　中国産青磁観察一覧 2 …… 51
第 1 表　中国産青磁観察一覧 3 …… 52
第 2 表　中国産白磁観察一覧 1 …… 59
第 2 表　中国産白磁観察一覧 2 …… 60
第 3 表　中国産青花観察一覧 1 …… 63
第 3 表　中国産青花観察一覧 2 …… 64
第 3 表　中国産青花観察一覧 3 …… 65
第 4 表　中国産褐釉陶器観察一覧 …… 72
第 5 表　その他の中国産陶磁器観察一覧 1 …… 77
第 5 表　その他の中国産陶磁器観察一覧 2 …… 78
第 5 表　その他の中国産陶磁器観察一覧 3 …… 79
第 6 表　その他の輸入陶磁器・土器観察一覧 1 …… 85
第 6 表　その他の輸入陶磁器・土器観察一覧 2 …… 86
第 7 表　本土産陶磁器観察一覧 1 …… 93
第 7 表　本土産陶磁器観察一覧 2 …… 94
第 7 表　本土産陶磁器観察一覧 3 …… 95
第 8 表　沖縄産施釉陶器観察一覧 1 …… 103
第 8 表　沖縄産施釉陶器観察一覧 2 …… 104
第 8 表　沖縄産施釉陶器観察一覧 3 …… 105
第 8 表　沖縄産施釉陶器観察一覧 4 …… 106
第 9 表　沖縄産無釉陶器観察一覧 1 …… 114
第 9 表　沖縄産無釉陶器観察一覧 2 …… 115
第 9 表　沖縄産無釉陶器観察一覧 3 …… 116
第 10 表　陶質土器観察一覧 …… 123
第 11 表　瓦質・カムィヤキ・土器観察一覧 …… 124
第 12 表　瓦観察一覧 …… 131
第 13 表　塼観察一覧 …… 142
第 14 表　欄干観察一覧 …… 147
第 15 表　銭貨観察一覧 …… 153
第 16 表　円盤状製品観察一覧 …… 156
第 17 表　煙管観察一覧 …… 159
第 18 表　玉観察一覧 …… 159
第 19 表　ガラス製品観察一覧 …… 160
第 20 表　金属製品観察一覧 …… 163
第 21 表　石製品観察一覧 …… 166
第 22 表　漆喰・漆製品観察一覧 …… 169
第 23 表　貝製品観察一覧 …… 172
第 24 表　骨製品観察一覧 …… 173
第 25 表　中国産青磁出土状況一覧 1 …… 189
第 25 表　中国産青磁出土状況一覧 2 …… 190
第 26 表　中国産青花出土状況一覧 …… 191
第 27 表　中国産白磁出土状況一覧 …… 193
第 28 表　中国産褐釉陶器出土状況一覧 1 …… 194
第 28 表　中国産褐釉陶器出土状況一覧 2 …… 195
第 29 表　その他の中国産陶磁器・土器出土状況一覧 1　196
第 29 表　その他の中国産陶磁器・土器出土状況一覧 2　197
第 30 表　タイ産陶磁器・土器出土状況一覧 …… 198
第 31 表　東南アジア産陶器出土状況一覧 …… 198
第 32 表　朝鮮産陶磁器出土状況一覧 …… 198
第 33 表　ベトナム産陶磁器出土状況一覧 …… 198
第 34 表　産地不明陶器出土状況一覧 …… 198
第 35 表　本土産陶磁器出土状況一覧 …… 199
第 36 表　沖縄産施釉陶器出土状況一覧 1 …… 201
第 36 表　沖縄産施釉陶器出土状況一覧 2 …… 202
第 37 表　沖縄産無釉陶器出土状況一覧 1 …… 203
第 37 表　沖縄産無釉陶器出土状況一覧 2 …… 204
第 38 表　陶質土器出土状況一覧 1 …… 205
第 38 表　陶質土器出土状況一覧 2 …… 206
第 39 表　瓦質土器・土器・カムィヤキ
・土製品出土状況一覧…… 207
第 40 表　高麗系瓦出土状況一覧 …… 208
第 41 表　大和系軒丸瓦出土状況一覧 …… 208
第 42 表　大和系雁振瓦出土状況一覧 …… 208
第 43 表　大和系軒平瓦出土状況一覧 …… 208
第 44 表　明朝系軒丸瓦出土状況一覧 …… 208
第 45 表　明朝系軒平瓦出土状況一覧 …… 208
第 46 表　明朝系平瓦（赤褐色）出土状況一覧 …… 208
第 47 表　大和系丸瓦・平瓦出土状況一覧 …… 209
第 48 表　明朝系丸瓦出土状況一覧 …… 210
第 49 表　明朝系平瓦（灰色）出土状況一覧 …… 211
第 50 表　明朝系平瓦（赤色）出土状況一覧 …… 212
第 51 表　明朝系平瓦（褐色）出土状況一覧 …… 213
第 52 表　塼出土状況一覧 …… 214
第 53 表　欄干出土状況一覧 …… 214
第 54 表　銭貨出土状況一覧 …… 215
第 55 表　円盤状製品出土状況一覧 …… 216
第 56 表　煙管出土状況一覧 …… 216
第 57 表　玉出土状況一覧 …… 216
第 58 表　ガラス製品出土状況一覧 …… 216
第 59 表　金属製品出土状況一覧 …… 217
第 60 表　石製品・石造製品・石材出土状況一覧 …… 218
第 61 表　漆喰製品出土状況一覧 …… 218
第 62 表　漆製品出土状況一覧 …… 218
第 63 表　骨製品出土状況一覧 …… 218
第 64 表　貝製品出土状況一覧 …… 218
第 65 表　巻貝等出土状況一覧 1 …… 219
第 65 表　巻貝等出土状況一覧 2 …… 220
第 65 表　巻貝等出土状況一覧 3 …… 221
第 65 表　巻貝等出土状況一覧 4 …… 222
第 65 表　巻貝等出土状況一覧 5 …… 223
第 66 表　二枚貝等出土状況一覧 1 …… 224
第 66 表　二枚貝等出土状況一覧 2 …… 225
第 66 表　二枚貝等出土状況一覧 3 …… 226

第 66 表　二枚貝等出土状況一覧 4 …… 227
第 66 表　二枚貝等出土状況一覧 5 …… 228
第 66 表　二枚貝等出土状況一覧 6 …… 229
第 67 表　獣骨出土状況一覧 1 …… 230
第 67 表　獣骨出土状況一覧 2 …… 231
第 67 表　獣骨出土状況一覧 3 …… 232
第 68 表　魚類遺体出土状況一覧 1 …… 233
第 68 表　魚類遺体出土状況一覧 2 …… 234
第 69 表　微細物洗い出し結果 …… 238
第 70 表　放射性炭素年代測定結果 …… 249
第 71 表　暦年較正結果 …… 249
第 72 表　花粉分析・寄生虫卵分析結果 …… 250
第 73 表　微細物分析結果 …… 250

第１章　経緯と経過

第１節　調査に至る経緯

首里城跡の復元整備は、沖縄県本土復帰の年である昭和 47（1972）年に、沖縄県教育庁文化課（以下、文化財課）が戦災文化財復元整備事業として歓会門及び周辺城壁の整備に着手したことを嚆矢とする。その後、沖縄戦後に建設された琉球大学の移転に伴い、跡地利用法として首里城一帯の公園化が有力となったため、これまでの城門や城壁に加えて、正殿などを含む城郭内側区域の本格的な復元整備を行う気運が高まった。国も昭和 57（1982）年に決定した第二次沖縄振興開発計画の中で、「首里城跡一帯の歴史的風土を生かしつつ、公園としてふさわしい範囲について整備を検討する」と提言し、それを受けて沖縄県土木建築部は昭和 59（1984）年に復元整備の指針となる「首里城公園基本計画」を策定した（首里城公園基本計画調査委員会 1984）。そして昭和 61（1986）年度には、首里城跡の内郭を国営公園として整備する方針の閣議決定に伴い、翌年度から復元整備に必要な遺構確認及び情報収集を目的とした発掘調査が開始された。ちなみにこの発掘調査は、史跡首里城跡整備委員会で示された「事前の発掘調査に基づく復元整備を行うこと」との基本的条件に基づいている（史跡首里城跡整備委員会 1998）。

今回の対象となる御内原東地区での発掘調査も、上記の遺構確認を目的に実施しており、平成 23・24（2011・12）年度に内閣府沖縄総合事務局国営沖縄記念公園事務所と沖縄県知事の間に締結された「首里城地区（北城郭エリア）発掘調査及び資料整理業務」によるものである。発掘調査は、主管課である文化財課が事務調整及び指導を行い、沖縄県立埋蔵文化財センター（以下、当センター）が現地での調査を担当した。

首里城跡での発掘調査は、史跡指定地内での現状変更に該当するため、文化財保護法第 125 条第 1 項に基づく申請と許可が必要となっている。今回の調査についても、平成 23・24 年度とも許可申請書を沖縄県教育委員会（以下、県教委）経由のうえ文化庁へ提出し（前者は平成 23 年 5 月 23 日付け埋文第 136 号、後者は平成 24 年 4 月 27 日付け埋文第 65 号）、県教委の指示を受けることを条件として許可された（前者は平成 23 年 7 月 1 日付け 23 受庁財第 4 号の 397、後者は平成 24 年 6 月 15 日付け 24 受庁財第 4 号の 331）。発掘調査の期間は平成 23 年度が 7 月 1 日～翌年 3 月 27 日、平成 24 年度が 7 月 2 日～翌年 3 月 28 日で両年度とも約 9 ヶ月間だが、他の調査区と並行して進めていることから、実質的には３ヶ月程度となる。終了後は次年度以降の復元整備に備えるため、ブルーシート・土嚢袋・砂等で遺構を保護した後に埋め戻しを行った。出土品は、遺物収納コンテナに換算して平成 23 年度が 28 箱（総数 168 箱）、平成 24 年度が 134 箱（総数 148 箱）得られた。いずれも当センターから文化財課へ埋蔵文化財の発見を報告（前者は平成 24 年 3 月 29 日付け埋文第 660 号、後者は平成 25 年 3 月 29 日付け埋文第 649 号）し、文化財課より那覇警察署へ埋蔵文化財の発見を通知することで、遺失物法の手続きを経た。

第２節　調査・整理の体制

首里城跡御内原東地区の発掘調査は平成 23・24 年度に、資料整理及び報告書作成は平成 26 ～ 28 年度に、いずれも文化財課の指導を受けて当センターが実施した。体制の詳細は下記の通りである。

発掘調査（平成 23・24 年度）

事業主体：沖縄県教育委員会　教育長　大城浩（平成 23・24 年度）

事業主管：沖縄県教育庁文化財課　課長　長堂嘉一郎（平成 23・24 年度）

副参事　島袋洋（平成 23・24 年度）

記念物班　班長　盛本勲（平成 23・24 年度）

指導主事　田場直樹（平成 23・24 年度）

事業所管：沖縄県立埋蔵文化財センター　所長　大城慧（平成 23 年度）、崎濱文秀（平成 24 年度）
総務班　班長　荻堂治邦（平成 23・24 年度）
主査　恩河朝子（平成 23 年度）、西島康二（平成 24 年度）
総括…調査班　班長　金城亀信（平成 23・24 年度）
発掘調査担当…主任　瀬戸哲也（平成 23 年度）、新垣力（平成 24 年度）
発掘調査補助…文化財調査嘱託員　當山奈央、山口こずえ（平成 23 年度）、玉城綾、山城勝（平成 24 年度）
専門員　宮城明恵（平成 24 年度）、文化財調査嘱託員　宮城明恵（平成 23 年度）、宮里知恵（平成 23・24 年度）、伊禮頼子（平成 23 年度）
発掘調査作業員（平成 23・24 年度）
安里勝則、浦崎京子、大嶺愛子、翁長しのぶ、喜瀬彰、呉我フジ子、佐渡山正子、座波英一、島仲恵子、砂辺光義、砂辺理恵、玉城初美、知花智子、當眞哲、中塚末子、比嘉洋子、宮國恵子、安村重保、吉田正志、與那嶺勢津子
磁気探査業務委託　有限会社琉興建技コンサルタント、株式会社興洋エンジニアリング
機械掘削及び埋戻　有限会社松竹重機
現場事務所等借上　株式会社南建
高所作業車借上　有限会社金功重機、株式会社佐久本工機
写真測量業務委託　有限会社ティガネー
保存処理及び自然化学分析業務委託　株式会社文化財サービス沖縄営業所

資料整理・報告書作成（平成 26 ～ 28 年度）
事業主体：沖縄県教育委員会　教育長　諸見里明（平成 26・27 年度）、平敷昭人（平成 28 年度）
事業主管：沖縄県教育庁文化財課　参事兼課長　嘉数卓（平成 26 年度）
課長　萩尾俊章（平成 27・28 年度）
記念物班　副参事兼班長　金城亀信（平成 27 年度）
班長　金城亀信（平成 26 年度）、上地博（平成 28 年度）
主任専門員　長嶺均（平成 26・27 年度）、指導主事　神村智子（平成 28 年度）
事業所管：沖縄県立埋蔵文化財センター　所長　下地英輝（平成 26・27 年度）
金城亀信（平成 28 年度）
副参事　島袋洋（平成 26 年度）、盛本勲（平成 27 年度）、濱口寿夫（平成 28 年度）
総務班　班長　新垣勝弘（平成 26・27 年度）、比嘉智博（平成 28 年度）
主査　比嘉睦（平成 26・27 年度）、新里靖（平成 27・28 年度）
総括…調査班　班長　盛本勲（平成 26 年度）、上地博（平成 27 年度）、仲座久宜（平成 28 年度）
資料整理担当…主任　新垣力（平成 26･27 年度）、主任専門員　新垣力･瀬戸哲也（平成 28 年度）
資料整理補助…文化財調査嘱託員　翁長圭乃子、玉城綾（平成 27 年度）
資料整理協力者（平成 26 ～ 28 年度）
赤嶺恵子、安里小弥子、池宮城聡子、伊集左季、上田麻紀子、上原留美、荻堂さやか、後田多昌代、下地勝恵、下地麻利恵、玉寄智恵子、知名雪美、手嶋永子、仲里千秋、仲間文香、比嘉なおみ、平安百合子、又吉利文、嶺井幸恵、嶺井多津美、宮城綾子、領家範夫
自然科学分析業務委託　パリノ・サーヴェイ株式会社沖縄支店
印刷製本　株式会社アント出版

第３節　調査・整理の経過

発掘調査

前節でも述べたように、御内原東地区の発掘調査は平成 23・24 年度の２ヶ年にわたって進められた。調査予定範囲 476㎡のうち、平成 23 年度は南側 269㎡、平成 24 年度は残りの北側 247㎡（昨年度調査区と 40㎡重複）を対象とし、期間は両年度とも７月～翌年３月までのうち約３ヶ月間を要した。以下、調査日誌抄の形で年度別の概要を記す。

①平成 23 年度

8 月 30 日・9 月 1 日　調査区の仮設定及び下草の伐採
9 月 6 日　重機による表土掘削開始（13 日終了）
9 月 14 日　グリッド設定、磁気探査開始（22 日終了）
9 月 22 日　平面略図作成開始（11 月 4 日終了）
9 月 28 日　人力による掘削開始
9 月 29 日　美福門城壁の可能性がある遺構（石積み２・３）を検出
9 月 30 日　平成５・６年度調査で検出した美福門階段の一部を検出
10 月 6 日　石敷き３を検出
10 月 18 日　現地にて国営沖縄記念公園事務所首里出張所職員に発掘調査成果の中間報告を実施
10 月 20 日　石積み２前トレンチ１の設定・掘削開始、那覇市教委文化財課職員より指導及び助言を受ける。
10 月 24 日　石積み１の裏込め内から石積み６～８を検出、落ち込み１完掘
10 月 28 日　スカイマスター（高所作業車）による全体俯瞰撮影
11 月 24 日　遺構平面図作成開始（２月 27 日終了）
1 月 6 日　ピットと考えられるものを数基確認
1 月 12 日　スカイマスター（高所作業車）による全体俯瞰撮影
1 月 13 日　各遺構写真撮影
1 月 24 日　遺構立面図作成開始（３月 12 日終了）
3 月 2 日　調査区中央東西セクション断面図作成開始（６日終了）
3 月 7 日　石積み２前トレンチ１断面図作成開始（14 日終了）
3 月 12 日　調査区横断及び縦断図作成開始（15 日終了）
3 月 16 日　ピット半截
3 月 22 日　土壌サンプリング、石積み７内埋土ほか遺物取り上げ
3 月 26 日　重機による埋め戻し開始（27 日終了）
3 月 31 日　全作業終了

②平成 24 年度

9 月 25 日　重機による表土掘削・調査区南側（10 月 1 日終了）
10 月 4 日　人力による掘削・遺構検出開始、階段１を検出
10 月 9 日　石積み２・４を検出
10 月 10 日　区画１内トレンチの掘削、石積み 20 を検出、落ち込み２北側（Ｊ－Ｅ７部分）を検出
10 月 12 日　現地にて国営沖縄記念公園事務所首里出張所職員に発掘調査成果の中間報告を実施
10 月 22 日　平面図作成開始（12 月 27 日終了）
10 月 29 日　立面図作成開始（12 月 26 日終了）
11 月 21 日　琉大期石積み除去及び階段１延長部を検出

12月12日　スカイマスター（高所作業車）による全体俯瞰撮影
12月14・17日　石積み20西側造成土掘削
12月17日　石積み21内裏込めを検出
12月26日　遺構検出状況全景写真撮影
12月27日　調査区南側仮埋め戻し（28日終了）
12月28日　重機による表土掘削・調査区北側（1月10日終了）
1月7日　人力による掘削・遺構検出開始
1月8日　石積み24を検出
1月11日　石積み19北側延長部を検出、階段2・石積み23間床面（落ち込み3）の精査
1月16日　落ち込み2南側（K－E7部分）の検出・精査
1月17日　落ち込み2内埋土の掘削･遺物取り上げ、落ち込み3内埋土の掘削、漆製品（合子）が出土
1月21日　平面図作成開始（3月13日終了）
1月23日　落ち込み3内埋土の掘削及び漆製品（合子）取り上げ、ピット6・7断面図作成（1月31日終了）
1月28日　ピット6・7完掘（30日終了）、石列1・2の検出
1月29日　ピット8～10半截、階段2内トレンチ状掘削（2月5日終了）
1月31日　ピット9・10断面図作成
2月4日　ピット9・10完掘、ピット6周辺包含層等掘削・石積み17裏込め及び石積み25検出（5日終了）
2月7日　スカイマスター（高所作業車）による全体俯瞰撮影
2月13日　立面図作成開始（3月28日終了）
3月29日　重機による埋め戻し開始（31日終了）
3月31日　全作業終了

資料整理・報告書作成

発掘調査で出土した遺物の洗浄作業は､現場調査の雨天時を利用して実施した。また遺構図面や写真は、調査終了後速やかに整理するよう努めた。

本格的な資料整理は平成26年度より開始したが、他の業務との兼ね合いから短期間での進捗が困難と判断されたため、平成26年度に遺物の注記・接合といった基礎整理を概ね完了させ、平成27年度から遺物の分類や実測、及び遺構実測図の製図などを進めた。製図は遺物・遺構ともパソコンの作図ソフト（Illustrator）を用いてのデジタルトレースやレイアウトを行い、また作業時間の短縮を図る目的で、遺物の大半を占める陶磁器の実測図については、一部に写真を合成する手法を採用した。その後、文字原稿や写真も含め編集ソフト（Indesign）を用いてＤＰＴ印刷用の編集を実施し、最終的には全てＰＤＦファイルに変換して印刷製本業者へ入稿した。

印刷製本業務は、当センターにおいて県内印刷業者の割り振りを行ったうえで、６社による指名競争入札を実施し、落札した株式会社アント出版が担当した。

第２章　遺跡の位置と環境

第１節　地理的環境

那覇市は東方分水界付近に広がる標高数 10 m～ 120 mに達する台地と、港に面する沖積低地とに代表される対照的な地形を示している（古川・高里 1989）。首里城は那覇市の東側、首里当蔵町３丁目１番地に所在し、首里台地と称される標高 100 m前後の琉球石灰岩丘陵上に築かれた県下最大規模のグスクで、東西 410 m、南北 273 m、面積 46,167㎡を誇る。東側に那覇市の最高所（標高 165.7 m）である弁ヶ嶽がそびえ、多くの河川が首里城を取り巻くように配されるなど、優れた風水思想に基づいた王都に相応しい環境が整えられている。この丘陵の南側には、安里川の浸食により比高差 70 ～ 80 mの比較的急な斜面が形成され、地形を利用した掘り込み式の古墓が点在している。

首里城周辺の地質の特徴として、前述した琉球石灰岩の下層に新第三紀鮮新世の砂岩・泥岩からなる島尻層群が基盤となっている点が挙げられる。不透水層である島尻層群の上に、スポンジ状の構造で高い透水性を有する琉球石灰岩が重なることにより、首里の各地では両者の不整合部分からの湧水が多数確認されている。城内の龍樋や寒水川樋川もこれに由来するものである（角田 2014）。

首里城の基盤層も上記の例に漏れず、琉球石灰岩や赤土（島尻マージ）と島尻層群に大別されるが、今回調査区の「御内原東地区」については、発掘調査の結果琉球石灰岩を基盤層に持つことが判明している。

第２節　歴史的環境

現在のところ、首里城の創建について明確に触れている史料は確認されていない。察度 43（1392）年に察度王が建造したと伝わる数十丈の高楼（高世層理殿）を首里城内の施設とする説もあるが、より信頼性の高いものとしては『安国山樹華木之記』が挙げられる（沖縄県文化課 1985）。尚巴志６（1427）年に建立されたこの碑文には、首里城北西側で人工池の龍潭を掘り安国山に華樹を植えたとの記述がみられるため、尚巴志王代（1422 ～ 1439 年）に周辺の整備を行えるような状況であったこと、つまり当該期に王城としての基本的な構造が確立していた可能性は高い。そして尚真・尚清王代（1477 ～ 1555 年）には外郭の拡張や周辺施設の整備が進み、現在のような姿に近づいていったと推定される。

今回調査区の「御内原東地区」は、かつて「金蔵」や「美福門」が存在した場所に相当する。金蔵とは金御蔵（クガニウングヮ）とも称され、『球陽』巻十二の尚敬 20（1732）年の条によると、「素より、宝物を貯ふるの庫無く、各処に分貯す。今番、新に蔵庫一座を禁城世誇の東地に建て、金銀器物並びに珍宝は、皆此の蔵に貯ふ」とある（球陽研究会 1974）。つまり、当該施設はこれまで城内各所に分散していた宝物類を収納するために建てられた倉庫であるが、早くも創建翌年の尚敬 21（1733）年には金蔵から銭御蔵に、銭御蔵は御用酒御蔵にそれぞれ名称を改めているものの、142 年後の尚泰 28（1875）年には銭御蔵の呼称が元に戻っているため、金蔵も同様に措置されたとみられる（久手堅 2000）。建物構造の詳細は不明だが、規模は明治前期～中期作成と考えられる『沖縄県首里旧城図』（平良 1994）などから換算すると、東西５m・南北 8.3 m・面積 41.5㎡と小振りであったことがわかる。また金蔵は、御内原の中では珍しい独立の建物であるとともに、正殿と寝廟殿を結ぶ軸線上に位置していることから、他の施設とは異なる重要な意味を有していた可能性も指摘されている（加藤 2011）。ちなみに、尚敬元（1713）年に編纂された『琉球国由来記』中にも「金御蔵」という語があり、「金・銀・絹布・細布・綿子・金之物の類・石之物の類・硯屏・掛字・絵・手鏡・金之屏風・香之類・筆・紙・墨・和漢焼物・蝋燭・和漢扇子・キセル・刻タバコ・錫・鉛・銅・斤量・天平・算盤・櫃之類」の管理を掌る職務と説明されている（外間・波照間 1997）。この記述は、金蔵創建以前に宝物類管理の職務が存在したこと、しかもその職名が金蔵の由来になった可能性を示唆するもので興味深い。

これまでの発掘調査では、平成５（1993）・６（1994）年度に前述した金蔵後方にある石積み区画の一部の確認と、後述する落ち込み３に伴うと考えられる遺物の出土例はみられるが（沖縄県埋文 2004）、

金蔵に直接関係する遺構は検出されていない。
美福門は内郭城壁に付随する門の一つで、内郭城門のうち最大の規模を有する。切石積みの門口の上に木造櫓を架け渡す内郭城門共通の構造で、入母屋造り・本瓦葺きの櫓の正面中央に「美福」の字を掘った扁額を掲げていた。門前には瑞泉門と同じく一対の石獅子像が設置され、そこから幅広で急勾配の石段が延びていた。創建年代は文献などにみられないが、伝承によると尚巴志王代（1422 ～ 39 年）に開かれたとされ、かつて正殿が南面していた古い時代の正門であったとも言われている（真栄平 1997、久手堅 2000 など）。ちなみに、『李朝実録』世祖８（1462）年の記事では漂流民梁成等が漏刻器の設置された南門を目撃しており、同年記事中にある琉球側使臣との問答では、「紫宸」と呼ばれる正門の存在を明かしている（池谷・内田・高瀬 2005）。これらの記述は瑞泉門または美福門を指すとの説があり（高良 1996）、また伝承と類似する部分もみられるため、今後多方面からの更なる検討が必要であろう。美福門は、赤田に面することから「赤田御門」、門の奥が御内原であることから「みもの御門」、門前にある一対の石獅子像から「シーサー御門」など様々な俗称がみられるが（首里城研究グループ 1997、久手堅 2000、外間 2015 など）、このうち「赤田御門」については、美福門の外側に継世門が創建されて以降は継世門の俗称となった。その後、尚泰４（1851）年には首里城周辺を徘徊する異国人の侵入対策として、淑順門などとともに二重扉が設置された（球陽研究会 1974）。
これまでの発掘調査では、平成５（1993）・６（1994）年度に美福門の東側石積み及び石獅子像台座の一部が、平成９（1997）年度に門口の基礎または下層遺構と考えられる石積みがそれぞれ確認されている（沖縄県埋文 2004・2005）。
上記のように、金蔵や美福門は首里城内の重要施設として、琉球国が存続する間は適切な管理のもとに機能を維持してきた。しかし、明治 12（1879）年に沖縄県の設置及び琉球王府の解体が断行されると、首里城も歴史の荒波に翻弄されていく。まず、琉球処分の同年から首里城に駐屯した熊本鎮台沖縄分遣隊（以下、分遣隊）は、城内の建物や石垣などを各所で改変した。この頃首里城は建物・土地とも陸軍省の管轄となり、軍事施設であった同所へは関係者以外容易に立ち入ることができなかったため、分遣隊が撤退する明治 29（1896）年までの間に城内がどのように改変されたか、その詳細は現在も判然としない。幸い、金蔵と美福門は主要施設として使用されなかったとみられ（法大沖縄文化研究所 2014 など）、当該期における目立った改変は特にないと思われる。また美福門については、明治 21（1887）年に山本芳翠の描いた『琉球中城之東門』が往時の姿を表したものとされており（高階 1998、宮内庁三の丸尚蔵館 2001）、これによると美福門は同年段階で櫓の残存が確認されるものの、門前は石獅子像が２基とも消失し台座のみになっていたことが理解される。
　分遣隊が撤退した明治 29（1896）年以降、首里城は学校や役所施設として使用されるようになる。同年 11 月から翌年９月まで沖縄県師範学校が城内の建物を仮校舎として使用したのを契機に、師範学校付属小学校の移転（明治 31 年４月～翌年４月）、沖縄県臨時土地整理局の設置（明治 33 年８月～同 37 年３月３日）、校舎火災に伴う沖縄県師範学校の再移転（明治 37 年１月 14 日～同 41 年７月）、首里区立工業徒弟学校の移転（明治 37 年４月～大正７年１月）、首里区立女子工芸学校（以下、工芸学校）の移転（明治 41 年～昭和９年）、首里尋常高等小学校五学年三学級の移転（明治 42 年４月～同 45 年４月）、沖縄県立中学校分校の設置（明治 43 年４月～翌年４月）、首里尋常高等小学校三年以上高等科まで 14 学級の移転（明治 44 年～翌年４月）、首里女子尋常高等小学校分教場の移転（明治 45 年４月～）などが確認されている。この頃、金蔵の状況は不明だが、美福門は明治 41（1908）年の工芸学校の移転に伴い、管理の都合で閉ざされることになった。しかし閉鎖といっても門口を高さ１m程度の石積みで塞いだだけであり、昭和７（1932）・８（1933）年頃には再び開かれたとされる。また同時期に、首里区は首里城の建物及び敷地の払い下げを願い出ていた。最初は明治 36（1903）年で、「城内の建物一切を相当価格、地所は無償」という内容を陸軍省に依頼したが、希望は叶わず相当年限貸し付けという形になった。地所については、明治 37（1904）年４月～昭和９（1934）年３月までの満 30 ヶ年間公園敷地としての無

償使用が可能になったが、明治 42（1909）年に建物も含めて再度依頼したところ許可され、建物は合計 887 円 30 銭、地所は 1,054 円 55 銭で払い下げられることになった。このうち、金蔵は坪数 18 坪 9 合 9 勺で払い下げ価格 9 円 49 銭 5 厘、美福門は坪数 7 坪 1 合 4 勺で払い下げ価格 71 銭 4 厘となっている。ただ金蔵は老朽化が著しかったのか、同年に那覇区久茂地在住の大宜味朝章氏により 336 円 55 銭で落札、解体された（久手堅 2000）。

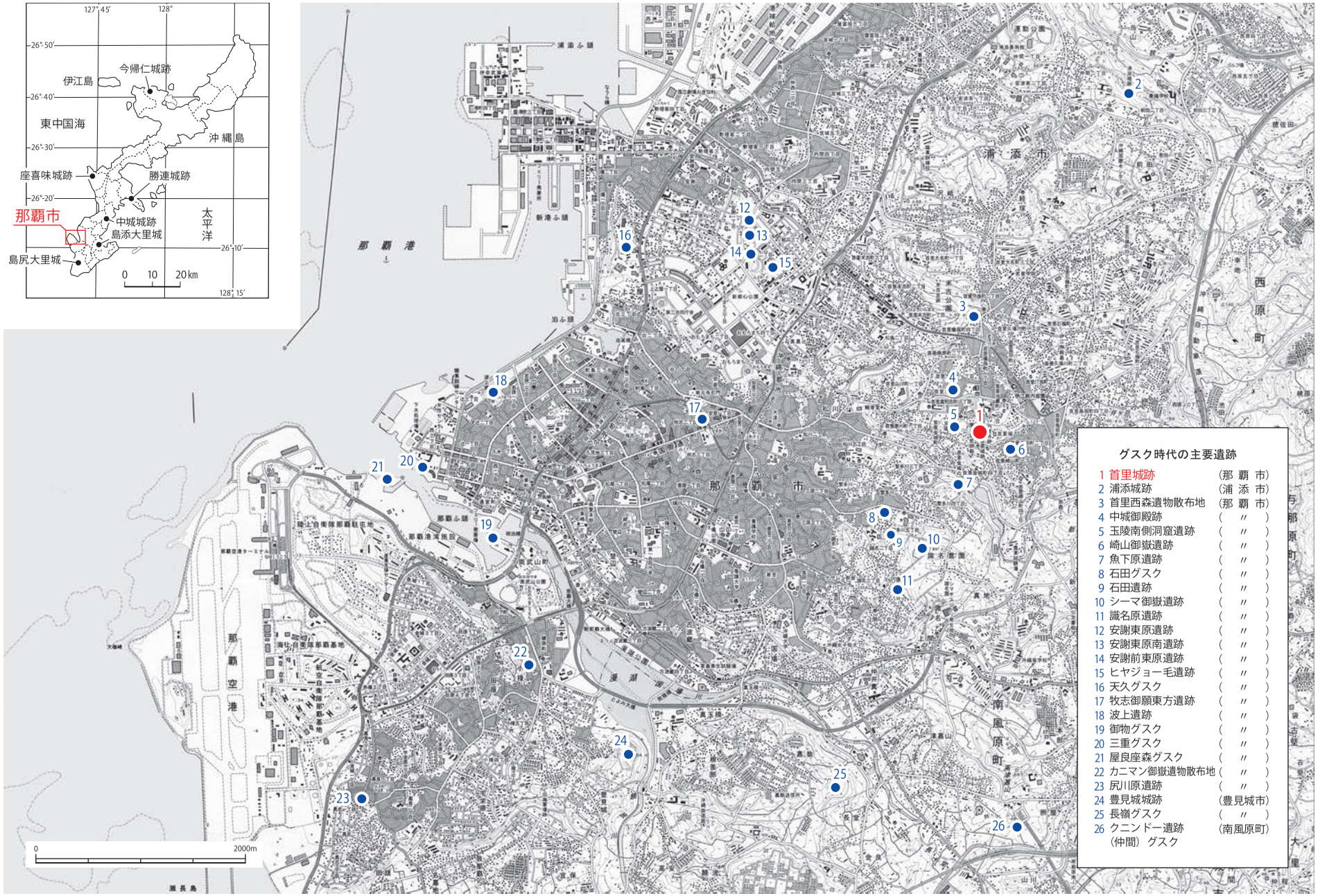
大正 13（1924）年、城内に沖縄神社が創建され、翌年には県社へ昇格した。沖縄神社は源為朝・舜天王・尚円王・尚敬王・尚泰王の五柱を祭神とするもので、金蔵の跡地に造営された本殿と正殿を利用した拝殿、及び神饌所・手水舎・鳥居・社務所を有し、また城内の一部（御庭・北殿敷地から東のアザナまでの 2,318 坪）が神社敷地とされた（加治 2000 など）。この時、拝殿と本殿の間に敷設したと考えられる参道の一部が、平成 12（2000）年度の発掘調査で確認されている（沖縄県埋文 2006b）。

その後、正殿は大正 15（1925）年国宝に指定され、昭和 9（1934）年 3 ～ 4 月頃には解体修理が落成し、往時の威容を幾分か取り戻すのだが、戦争の時代に突入していたこともあり、首里城はまたも軍隊の駐屯地となった。昭和 19（1944）年、城内にあった首里第一国民学校校舎の一部を第 9 師団（武部隊）が兵舎に使用したのを皮切りに、南風原から移動してきた第 32 軍司令部が地下に壕の構築を開始した。その影響も手伝ってか、翌年には米軍の砲撃を浴びて灰燼に帰した。金蔵跡地に建てられた沖縄神社本殿も同様に焼失したが、美福門は昭和 20（1945）年 6 月 18 日撮影とされる写真をみると、大破しているのは門から東西に延びる城壁で、門口の石積みや門前の石段が概ね良好な状態で残存していることから（首里城復元期成会ほか 1987）、少なくとも美福門に関してはそれほど戦災を被っていないと考えられる。ちなみに沖縄神社は、戦後の昭和 35（1960）年に首里在住の有志を中心に再建が試みられ、琉球大学への土地返還申請は拒否されたものの、翌年首里支所や自治会の尽力により弁ヶ嶽入口付近に仮神殿が造営された。その後、日本復帰の昭和 47（1972）年に神社本庁包括となり、翌年には宗教法人として認証され、現在も存続している（加治 2000）。

戦後、跡地には昭和 25（1950）年に琉球大学が開学した。その際、校舎などの建設に伴う大規模な掘削及び土砂移動が行われ、一帯は旧地形の面影がわずかに偲ばれる状態にまで変貌を遂げた。この状況は御内原東地区も同様で、金蔵付近は昭和 41（1966）年度に完成した風樹館（琉大記念誌編集委員会 1970）に伴う工事により、一部の場所で基盤層ごと削平されている状況が今回の調査で確認された。また美福門付近も、ヘルスセンター西隣の倉庫や、農学ビルと工学ビルの間を通る階段通路などが建設された際に、やはり遺構の破壊は免れなかったとみられる。この状況は、昭和 30（1955）年に琉球政府指定史跡となって以降も特に変化はなかったが、昭和 47（1972）年の沖縄県本土復帰時に国の史跡に指定されてからは、同年より戦災文化財復元整備事業で城門や城壁の修復が開始され、また昭和 59（1984）年に琉球大学の移転が完了した跡地を公園用地にすることが決定して以降、現在まで国営公園及び県営公園事業に伴う復元整備が進められている。そして平成 12（2000）年には、「琉球王国のグスク及び関連遺産群」として玉陵・園比屋武御嶽石門・今帰仁城跡・座喜味城跡・勝連城跡・中城城跡・識名園・斎場御嶽の 8 件の資産とともに、日本で 9 件目の世界文化遺産に登録された（沖縄県文化課 2001）。

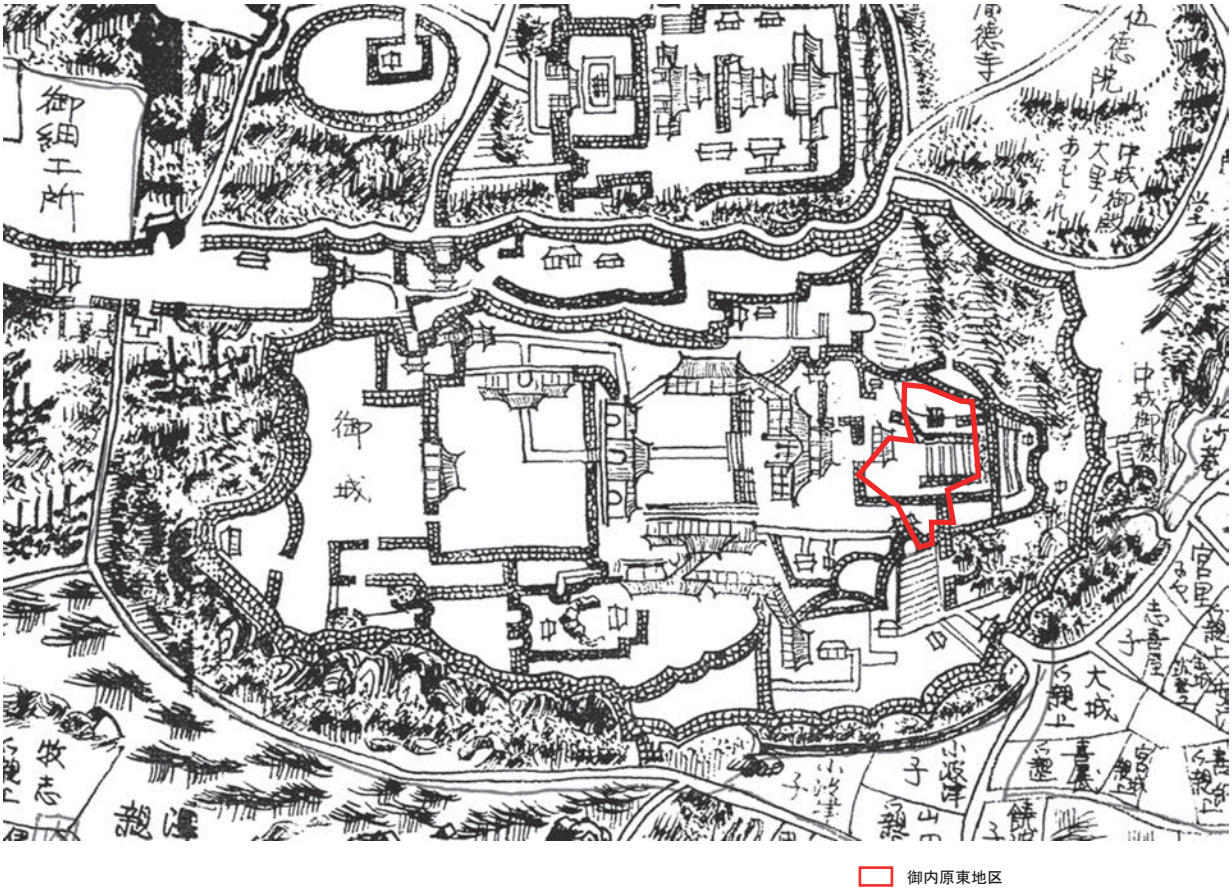
現在、首里城公園は平成 27（2015）年度実績で 2,672,823 人が訪れており、平成 27（2015）年 4 月 25 日には開園から数えて入園者 5,000 万人を達成するなど、県内有数の観光地として沖縄県の経済を牽引している。

第１図　沖縄本島の位置図

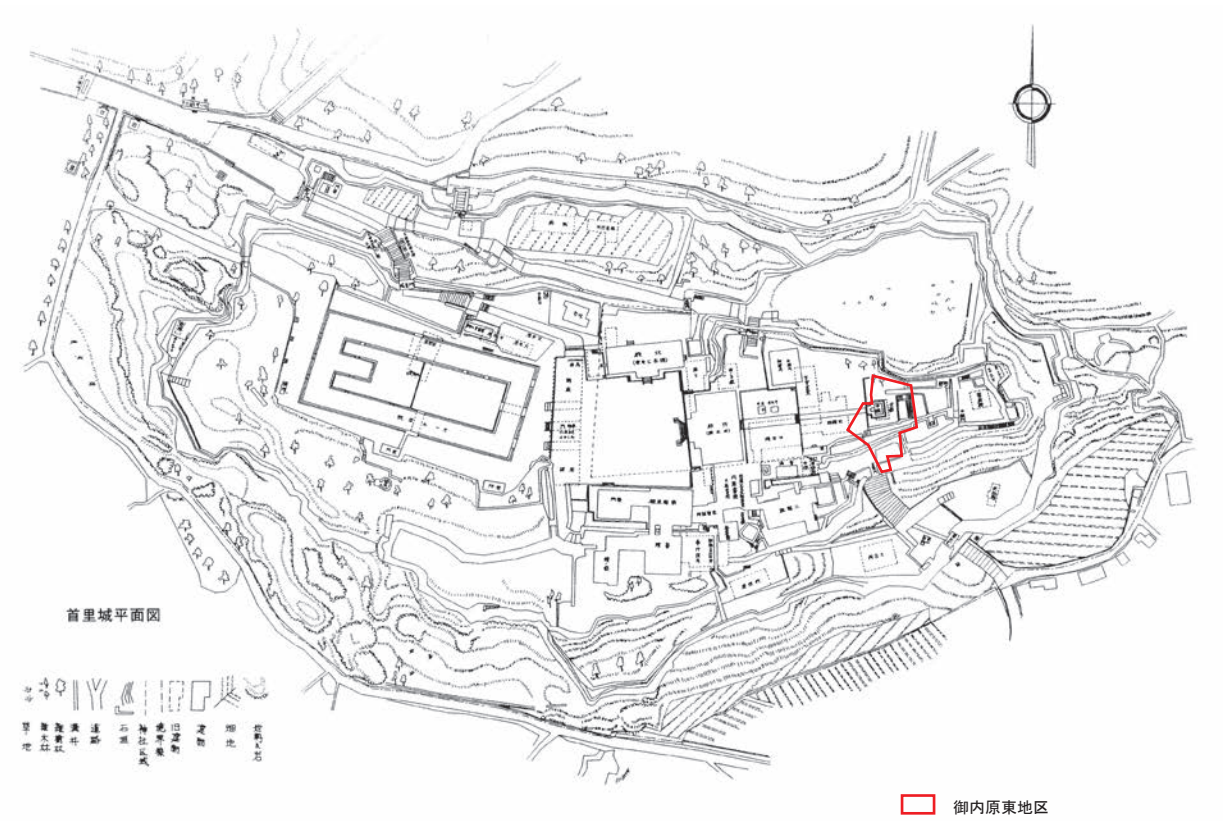


第２図　首里城跡の位置及び周辺の遺跡

第 3 図　首里城絵図（17 世紀後半～ 18 世紀前半作成）にみる調査区
※東京大学史料編纂所蔵



第 4 図　首里古地図（18 世紀初頭作成）にみる調査区
※沖縄県立図書館蔵



第 5 図　旧首里城図（昭和 6 年頃作成）にみる調査区
※沖縄県立図書館所蔵

第 6 図　旧琉球大学校舎配置図（1950 年～ 1984 年）にみる調査区

第３章　調査の方法と成果

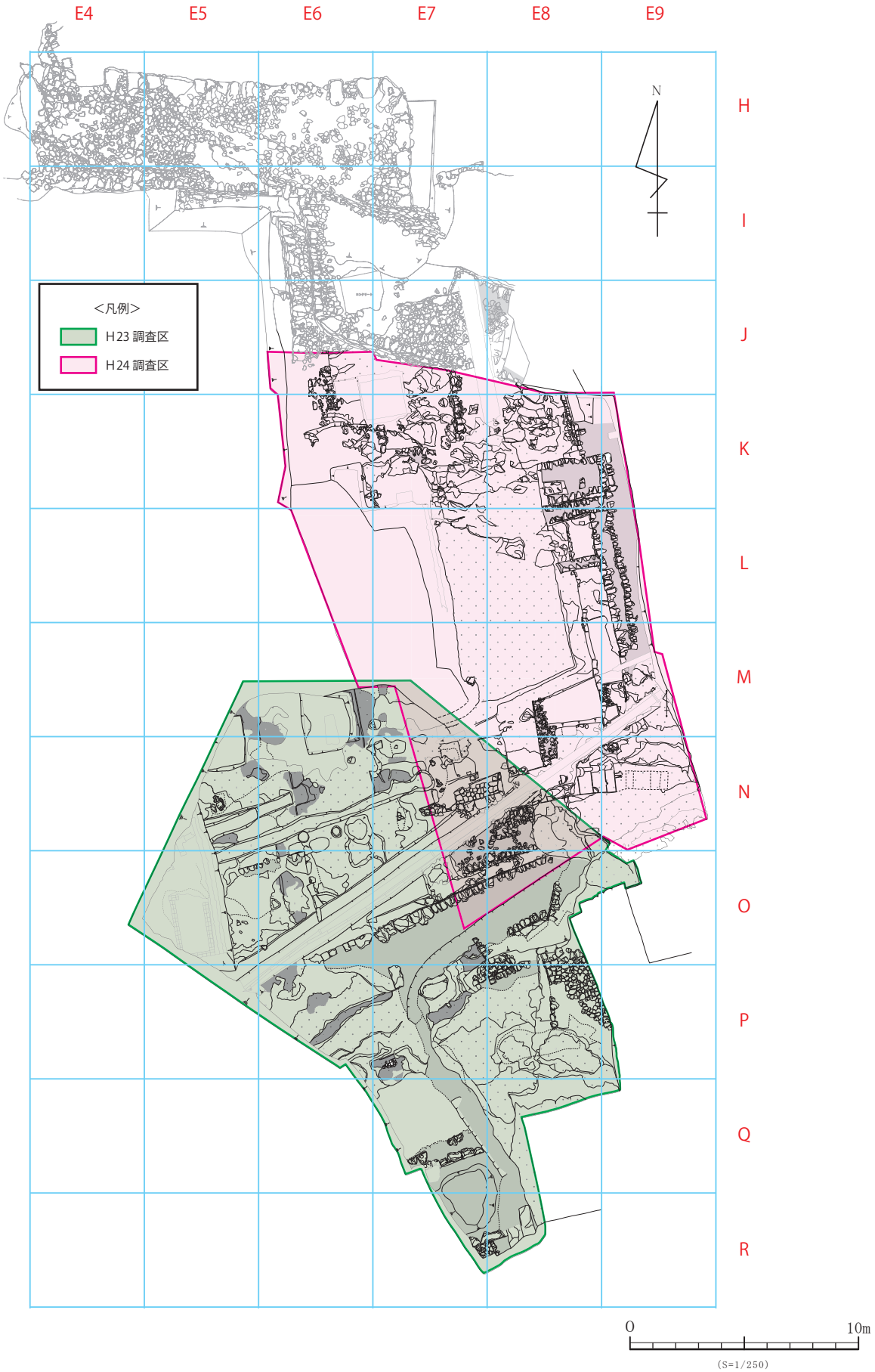
第１節　調査の方法

調査区は首里城が機能していた当時、国王や王族、女官らが生活する御内原と呼ばれる私的な空間の東側にあることから、御内原東地区として調査を行った。遺構が検出される深度まで適宜、磁気探査を行いながら重機によって表土掘削を行った。重機での掘削が困難な箇所に関しては、人力掘削を行った。遺物の取り上げは、層毎と遺構に関連するものに関しては遺構名とその遺構内の層序で取り上げた。発掘調査時の写真は、遺構検出時など状況に応じて適宜、デジタルカメラと 35㎜フィルムカメラによる白黒フィルム・カラーリバーサルフィルムで撮影した。調査区全体の遺構検出が完了した段階で高所作業車による写真撮影も行った。遺構図は基本的にはトータルステーションを用いて人手により実測を行い、一部人手では困難な遺構については写真測量を行った。

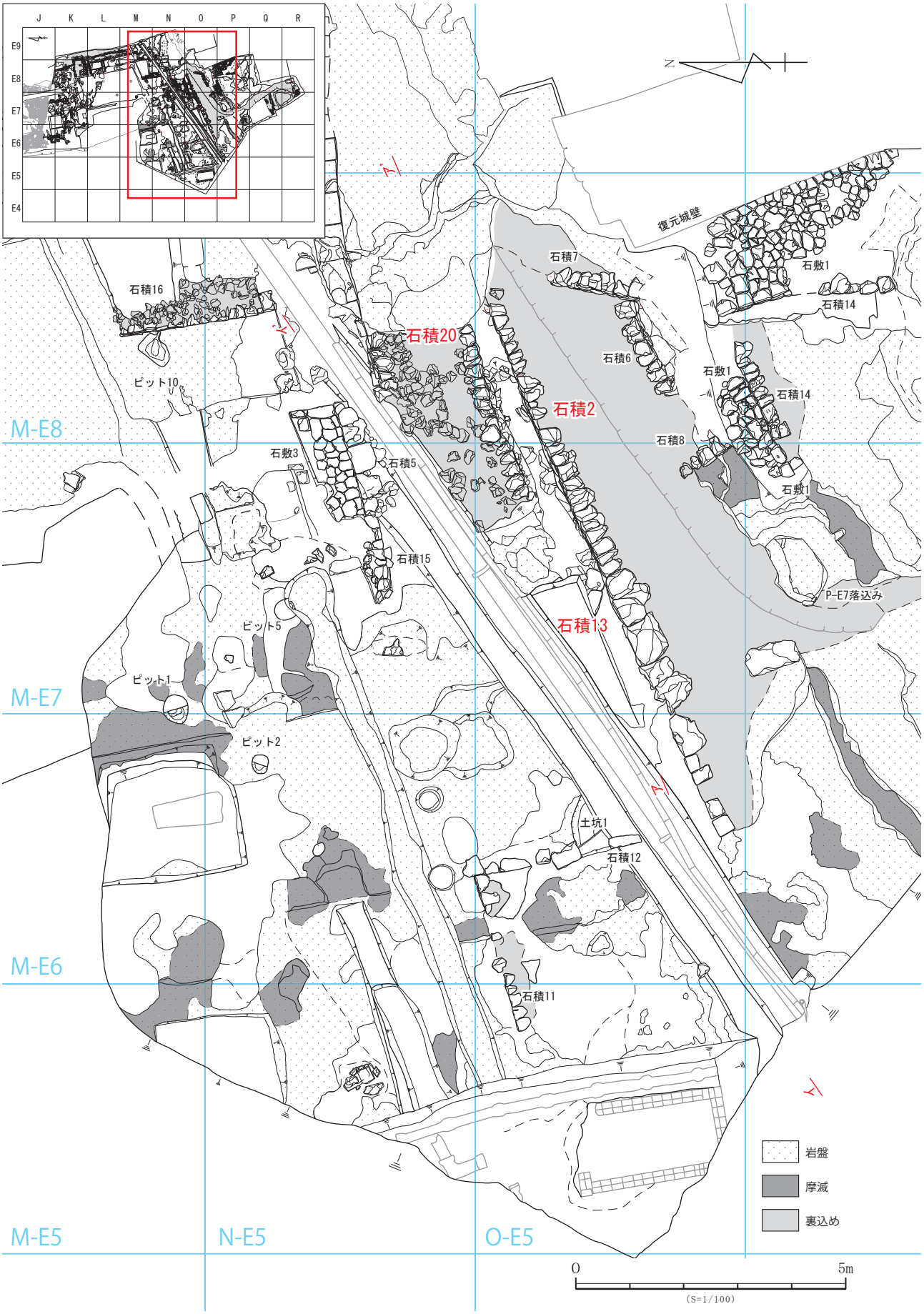
第２節　遺構

今回報告する遺構は、平成 23（2011）年度及び平成 24（2012）年度調査分において、内郭城壁と外郭城壁の間で検出されたものである。ほとんどの遺構が石灰岩を石材とした石積みや石列・石敷や落ち込みの他、石灰岩の岩盤を加工した階段、土坑･ピット等ある。古地図に見られる遺構も確認された。以下、写真と図で示す。

第７図　御内原東地区グリッド割

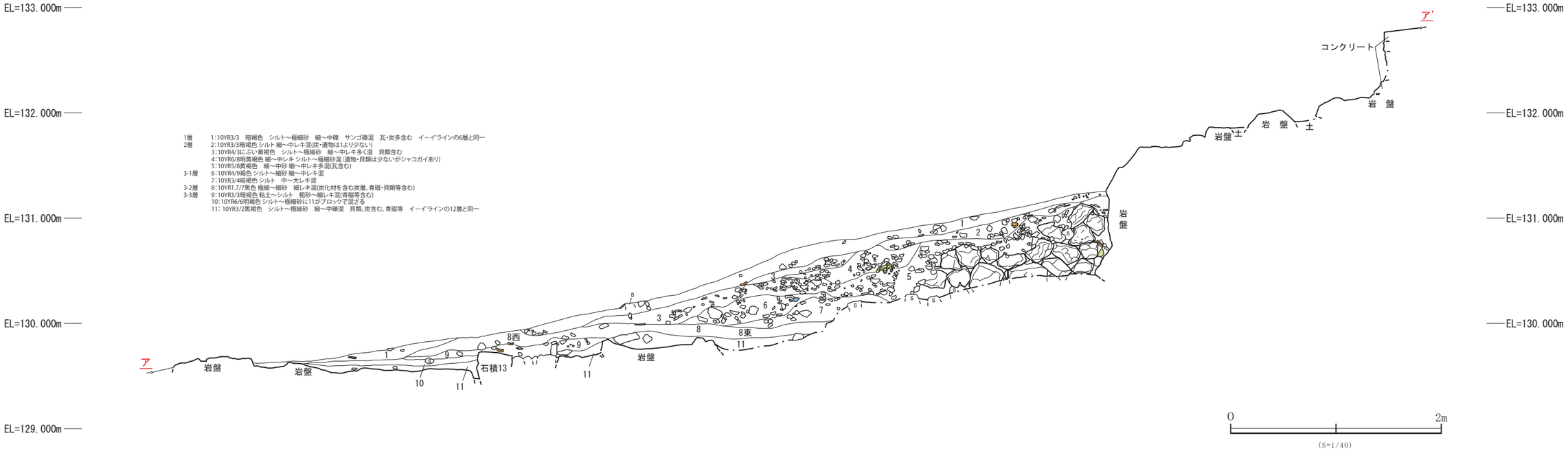


第 8 図　平成 23・24 年度　調査区割

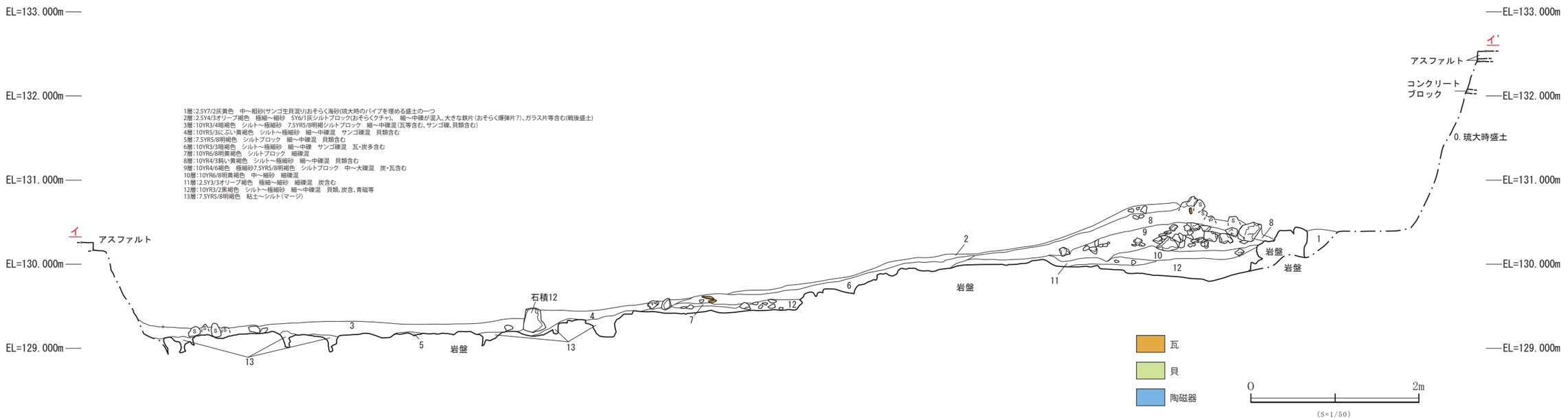

J K L M N O P Q R
E9
E8
E7
E6
E5
E4
N
復元城壁
石積7
石敷1
石積14
石積16
石積20
石積6
石敷1
石積14
石積2
ピット10
M-E8
石積8
石敷3
石積5
石敷1
石積15
P-E7落込み
石積13
ピット5
ピット1
M-E7
ピット2
土坑1
石積12
M-E6
石積11
岩盤
摩滅
裏込め
M-E5
N-E5
O-E5
0
5m
(S=1/100)

第９図　層序１

アーア’ライン



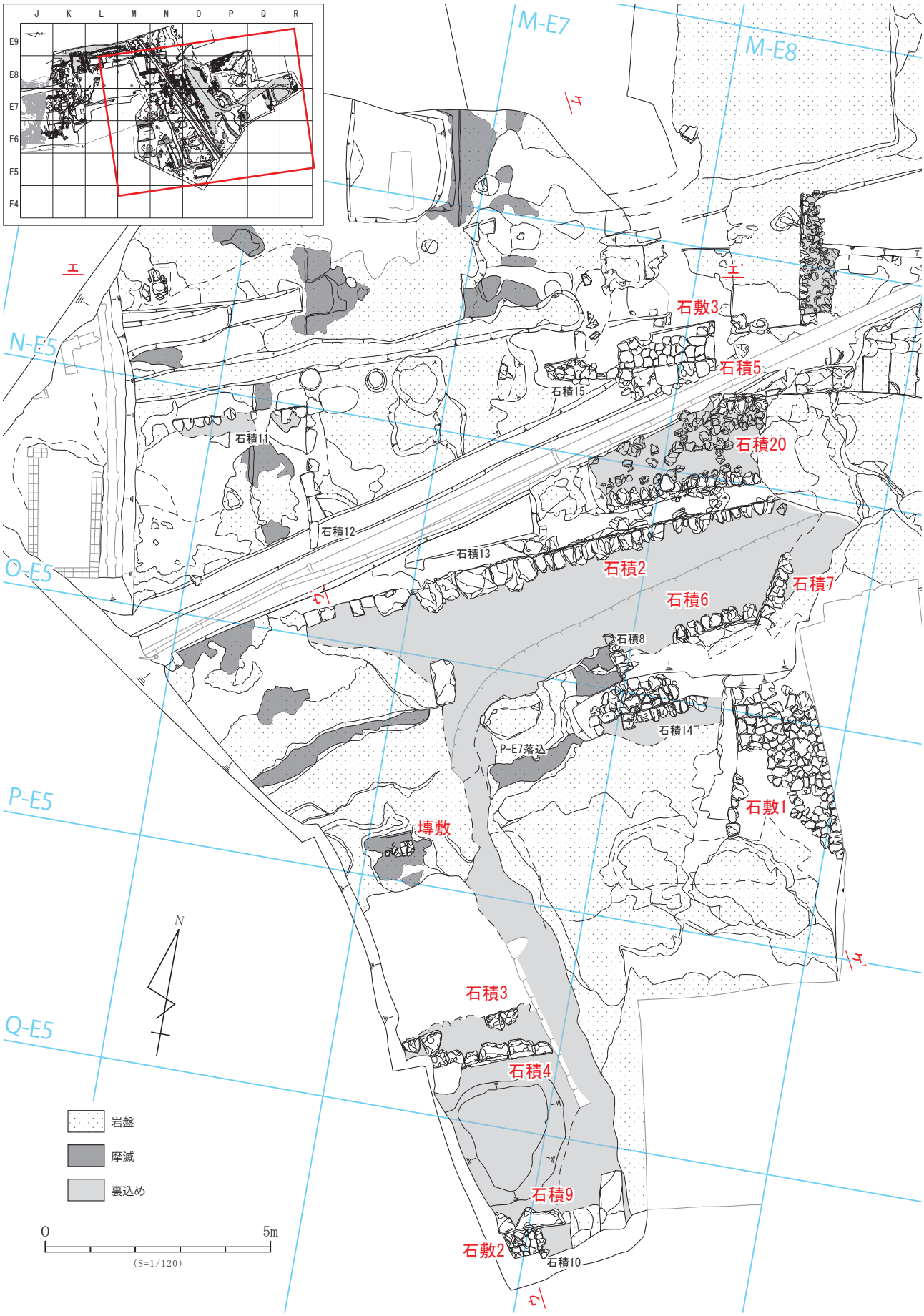
イーイ’ライン



第 10 図　層序 2

石積25
石列3
石積26
石積22
階段2
落込3
石積18
石積17
ピット9
ピット6
石積23
石積27
復元城壁
石積19
階段1
石積16
ピット10
石積24
落込2
石列1
石列2
コンクリート
石敷3
石積15
ピット5
ピット1
ピット2
石積5
石積20
石積7
石積6
石積8
石積2
石積13
石積12
土坑1
石積11
琉大石積
P-E7落込
石敷1
石積14
石積3
石積4
石積9
石積10
石敷2
岩盤
摩滅
裏込め
0
5m
(S=1/120)

第 11 図　遺構配置図


J K L M N O P Q R
E9
E8
E7
E6
E5
E4
M-E7
M-E8
N-E5
O-E5
P-E5
Q-E5
エ
エ'
カ
カ'
石敷3
石積5
石積15
石積20
石積11
石積12
石積13
石積2
石積6
石積7
石積8
石積14
P-E7落込
石敷1
塼敷
石積3
石積4
石積9
石敷2
石積10
N
岩盤
摩滅
裏込め
0
5m
(S=1/120)

第 12 図　遺構平面図 1

ウーウ’ライン　石積３・４塼敷（北から）

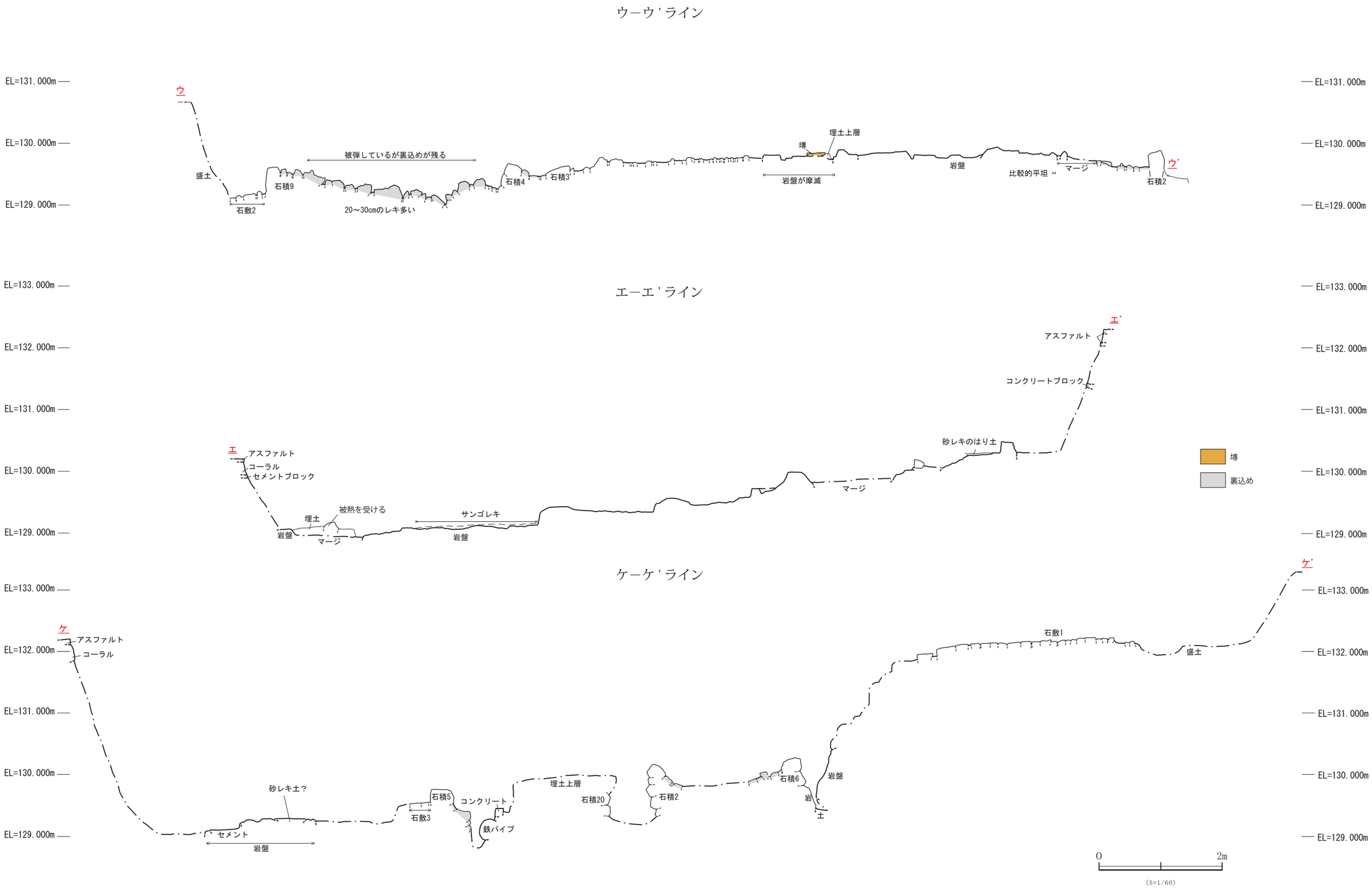
ウーウ’ライン　塼敷（北から）

ウーウ’ライン　被熱

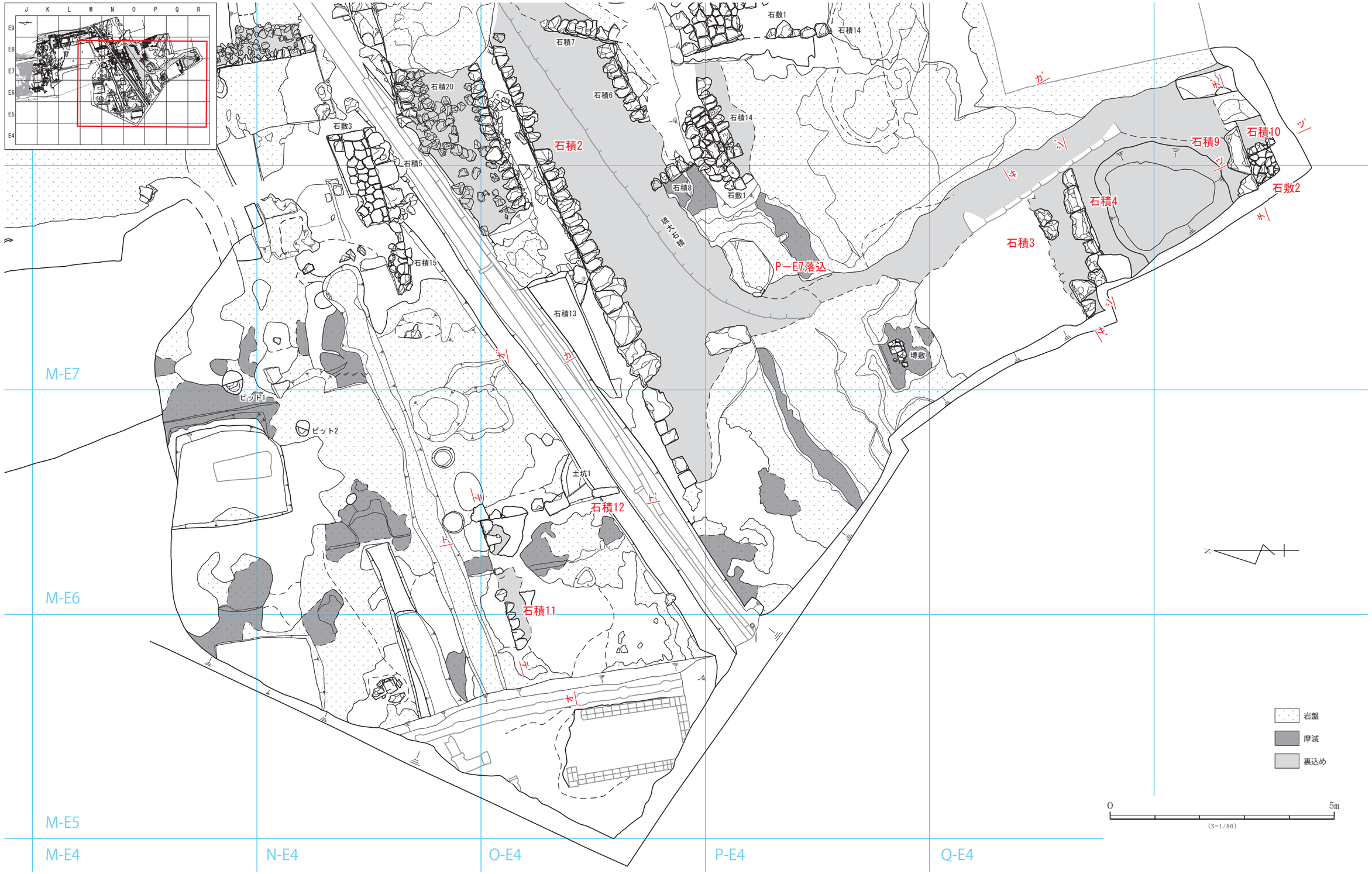
ケーケ’ライン

平成 23 年度　調査区全景（北西から）

図版１　遺構画像１

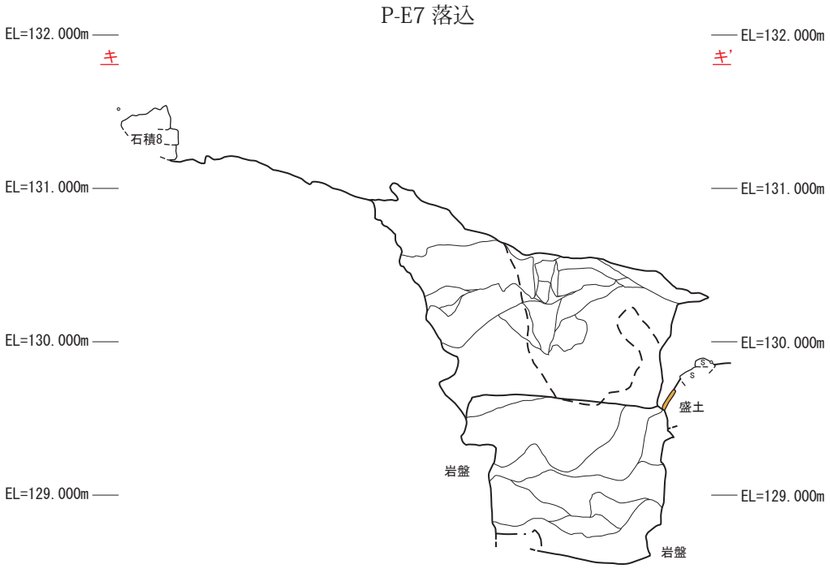

ウ－ウ’ライン
EL=131.000m
EL=130.000m
EL=129.000m
ウ
ウ’
盛土
石敷2
石積9
被弾しているが裏込めが残る
20～30cmのレキ多い
石積4
石積3
埋土上層
塼
岩盤が摩滅
岩盤
比較的平坦
マージ
石積2
エ－エ’ライン
EL=133.000m
EL=132.000m
EL=131.000m
EL=130.000m
EL=129.000m
エ
エ’
アスファルト
コーラル
セメントブロック
埋土
被熱を受ける
岩盤
マージ
サンゴレキ
岩盤
マージ
砂レキのはり土
コンクリートブロック
アスファルト
塼
裏込め
ケ－ケ’ライン
EL=133.000m
EL=132.000m
EL=131.000m
EL=130.000m
EL=129.000m
ケ
ケ’
アスファルト
コーラル
セメント
岩盤
砂レキ土？
石敷3
石積5
コンクリート
鉄パイプ
埋土上層
石積20
石積2
石積6
岩
土
岩盤
石敷1
盛土
0
2m
(S=1/60)

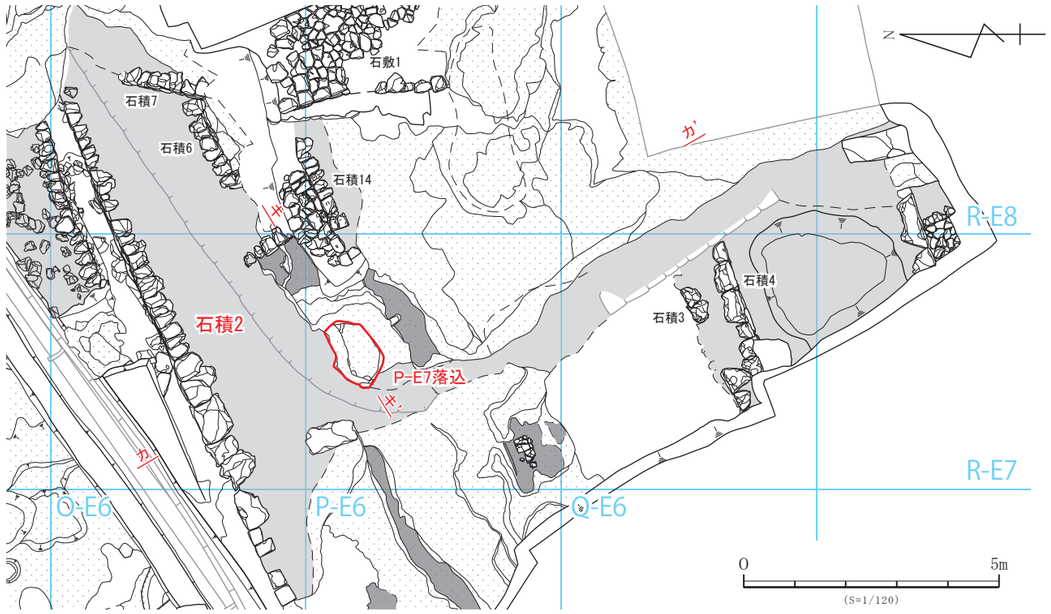
第 13 図　断面図

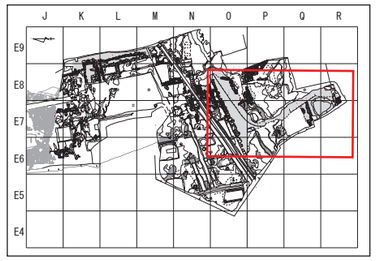


石積1
石積14
石積7
石積20
石積6
石積14
石敷3
石積2
石積5
石積8
石敷1
石積9
石積10
石敷2
石積4
石積3
P−E7落込
石積15
石積13
塼敷
ピット1
ピット2
土坑1
石積12
石積11
M-E7
M-E6
M-E5
M-E4
N-E4
O-E4
P-E4
Q-E4
岩盤
摩滅
裏込め
0
5m
(S=1/80)

第 14 図　遺構平面図 2



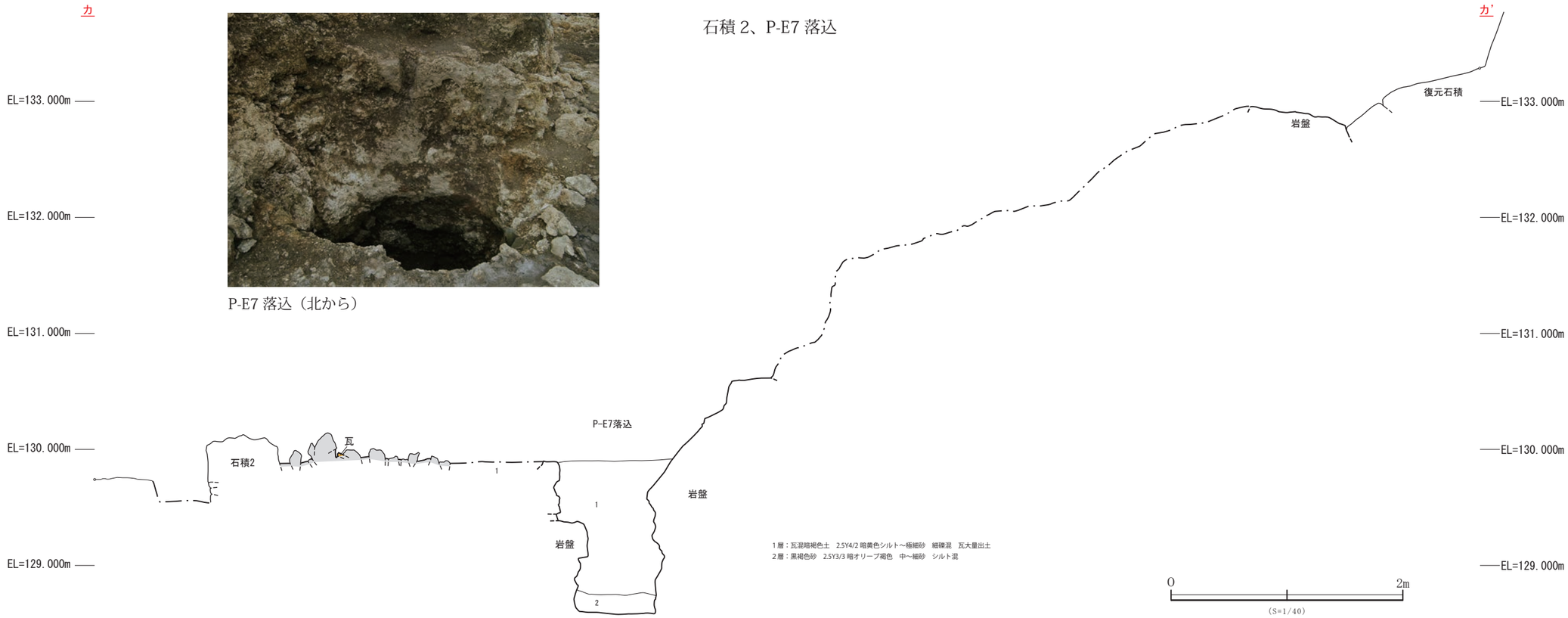




岩盤
摩滅
裏込め
瓦・塼

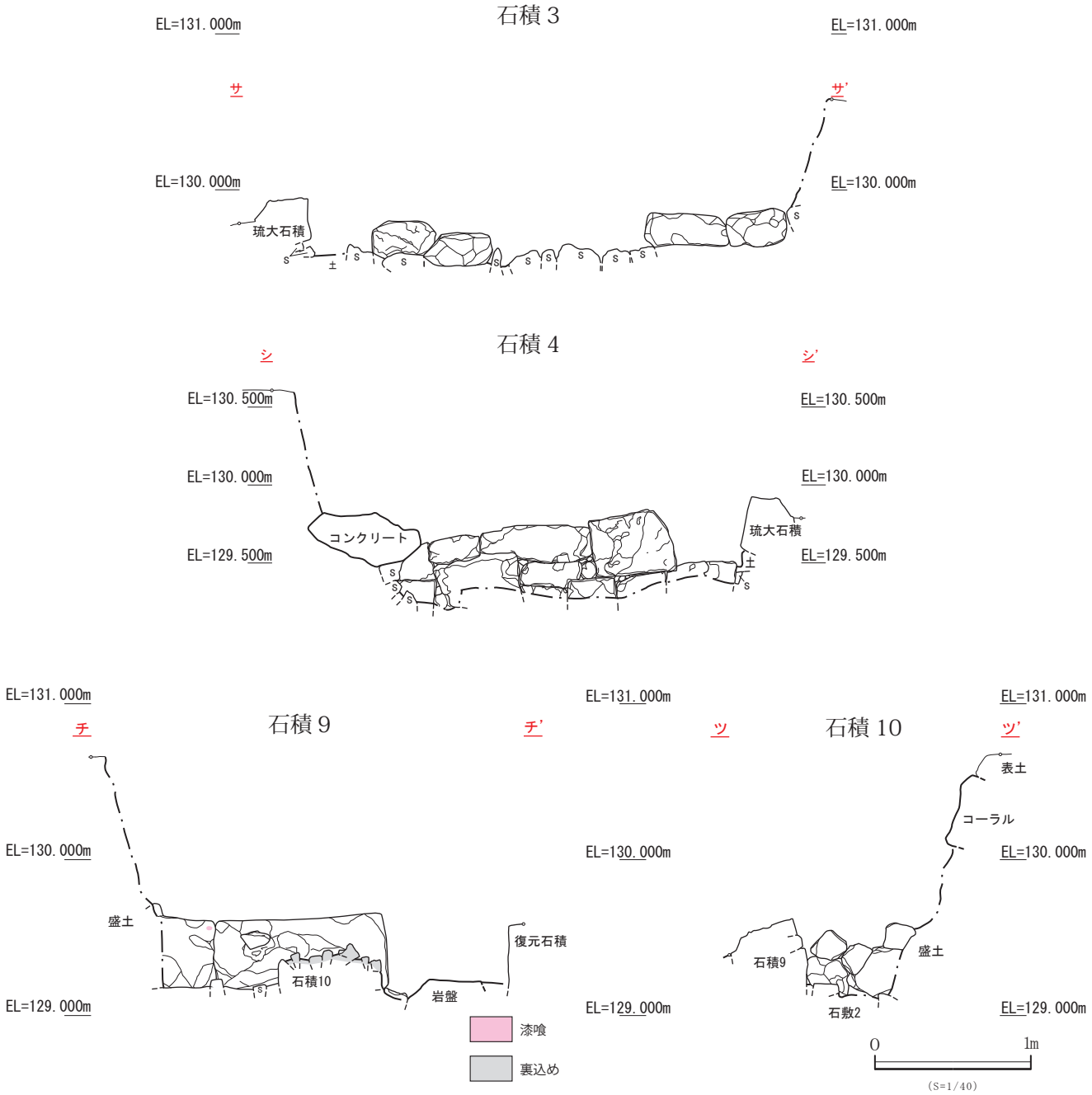
石積 2、P-E7 落込

P-E7 落込（北から）



1 層：瓦混暗褐色土　2.5Y4/2 暗黄色シルト～極細砂　細礫混　瓦大量出土
2 層：黒褐色砂　2.5Y3/3 暗オリーブ褐色　中～細砂　シルト混

第 15 図　P-E7 落込

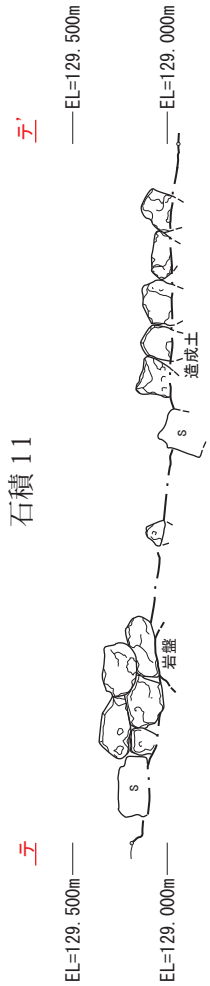


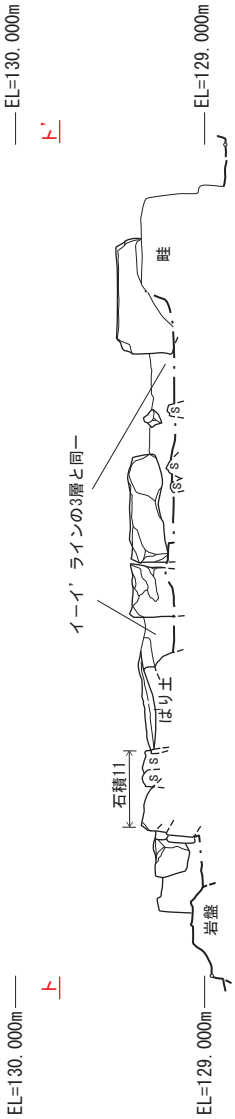
石積 3・4・9・10、石敷 2（東から）

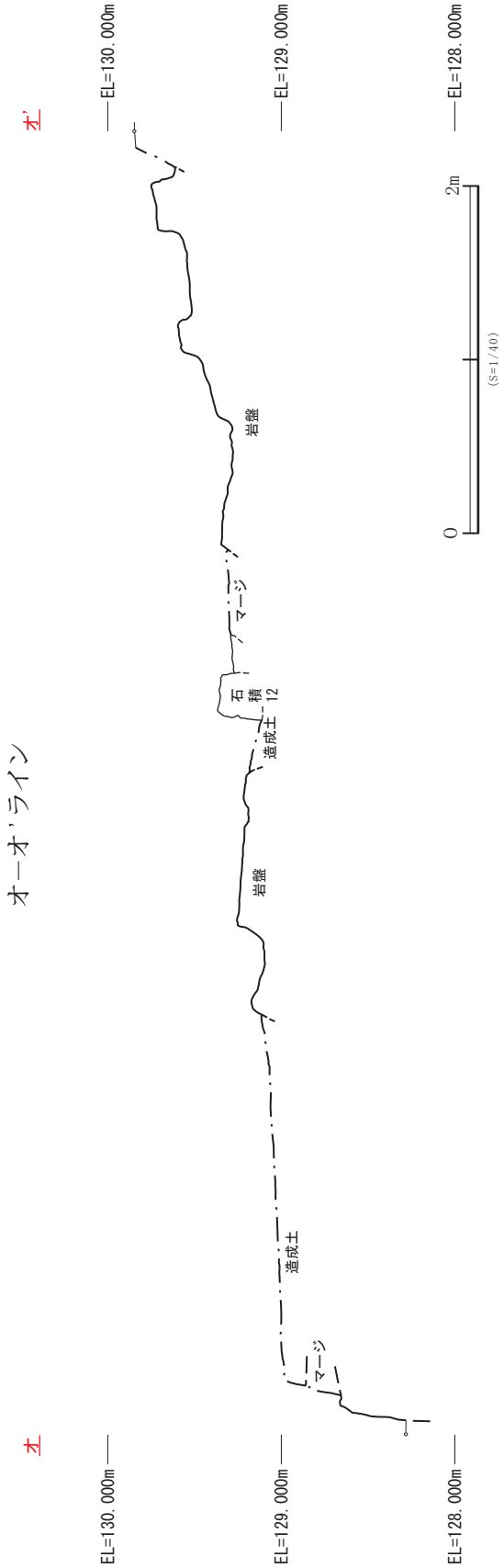
石積 9・10、石敷 2（南から）

第 16 図　石積 3・4・9・10、石敷 2

石積 11（北から）







第 17 図　石積 11・12

J K L M N O P Q R
E9 E8 E7 E6 E5 E4
N
M-E8
M-E7
M-E6
M-E5
N-E9
O-E9
P-E9
Q-E9
R-E9
N-E5
O-E5
P-E5
Q-E4
石積19
階段1
復元城壁
石敷1
石積7
石積6
石積14
石積20
石積16
ピット10
石積2
石積8
石敷3
石積5
石積15
石積13
石積10
石積9
石敷2
石積4
石積3
塼敷
ピット1
ピット2
土坑1
石積12
石積11
岩盤
摩滅
裏込め
0
5m
(S=1/80)

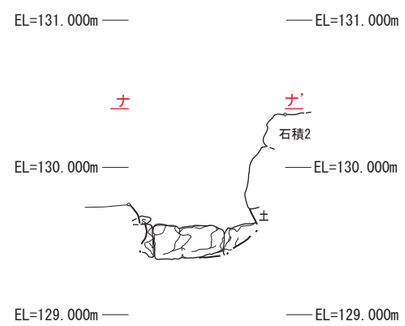
第 18 図　遺構平面図 3

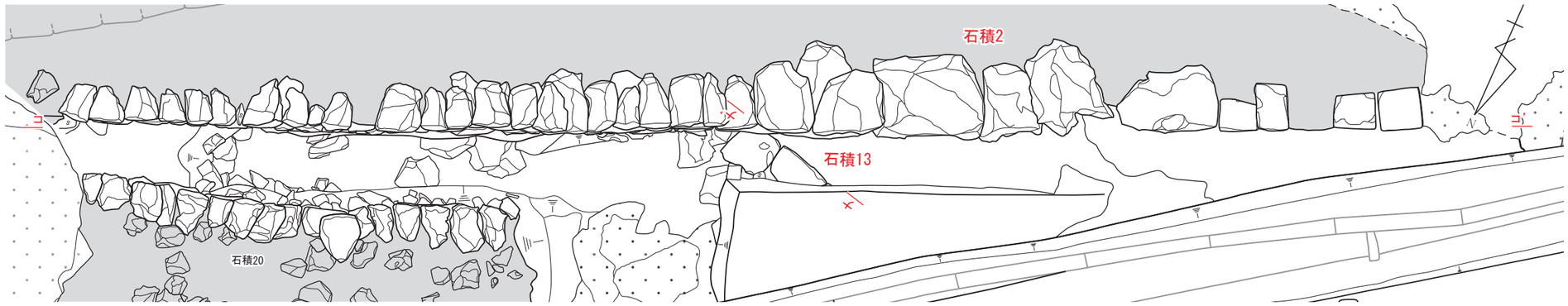
石積２（北西から）

石積２（東から）

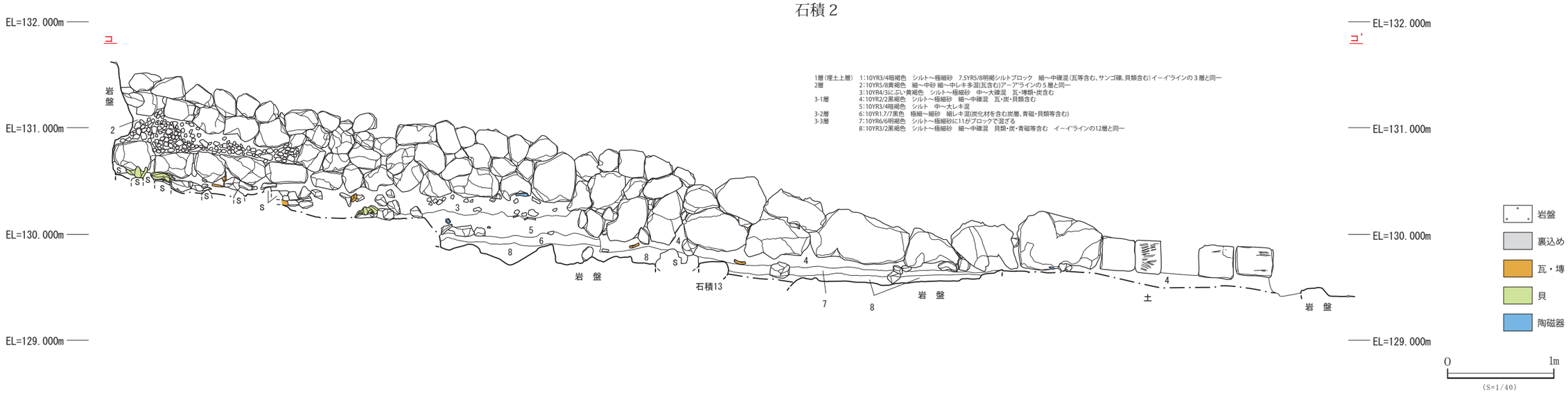
石積 13（西から）

石積 13



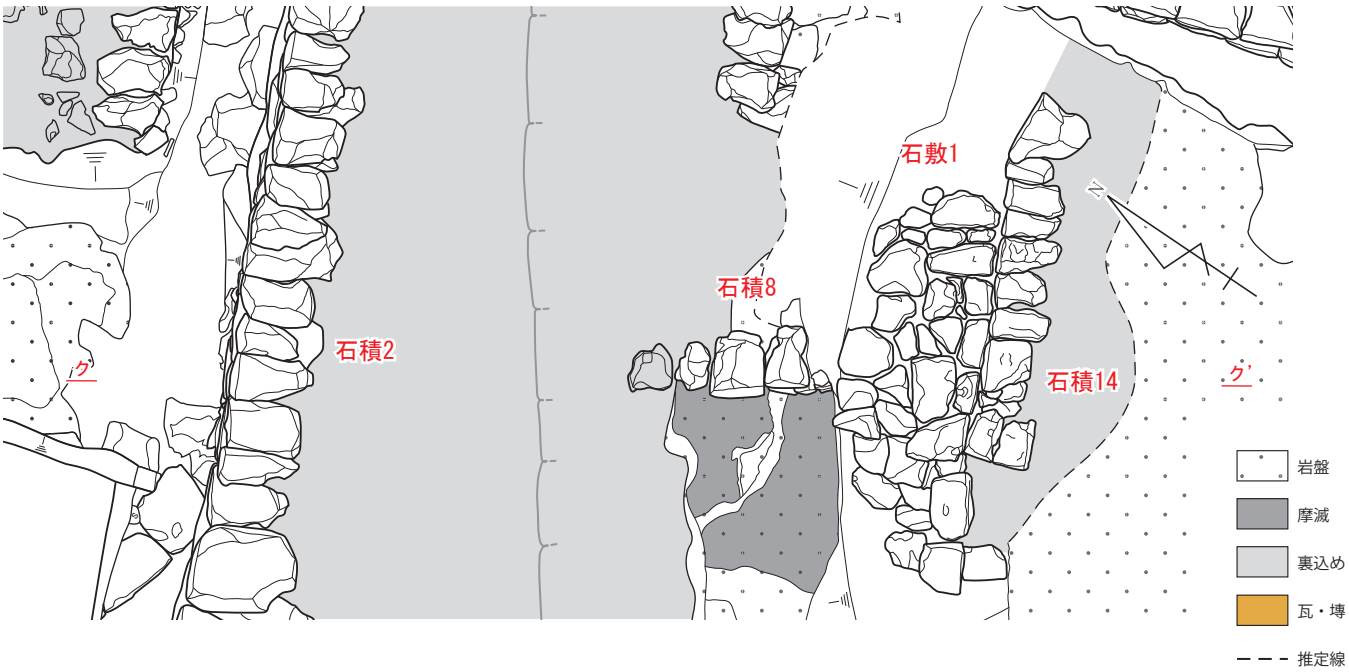


石積２

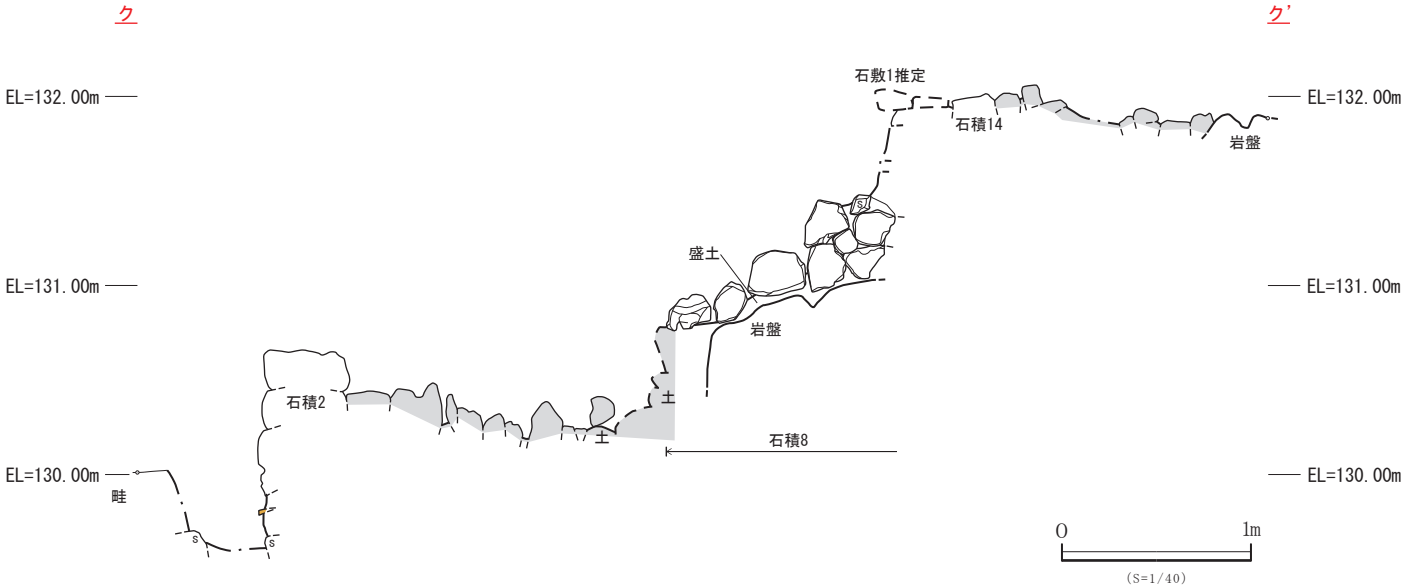


第 19 図　石積２

石積８（西から）

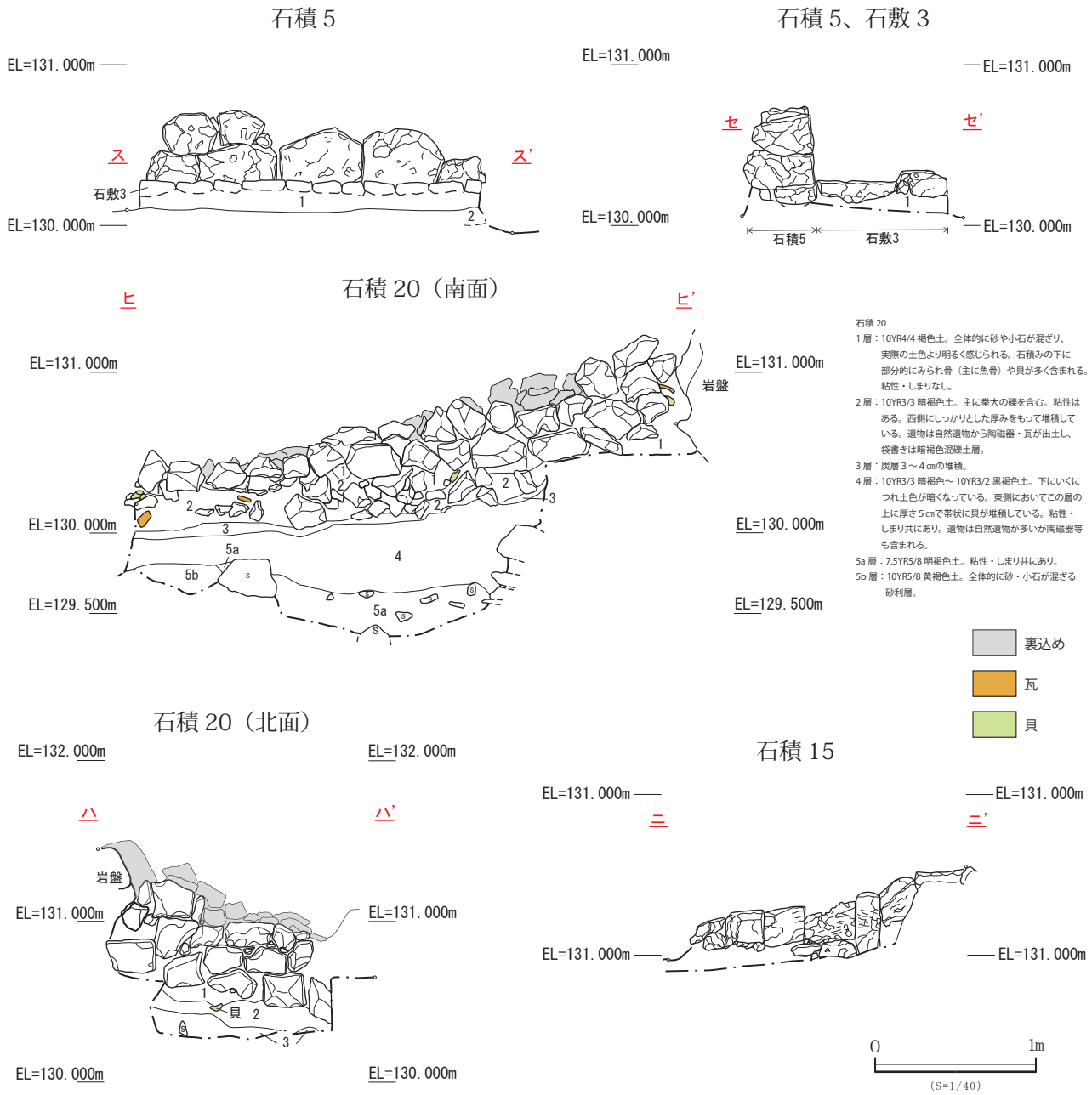


石積２・８・14、石敷１



第 20 図　石積２・８・14、石敷１

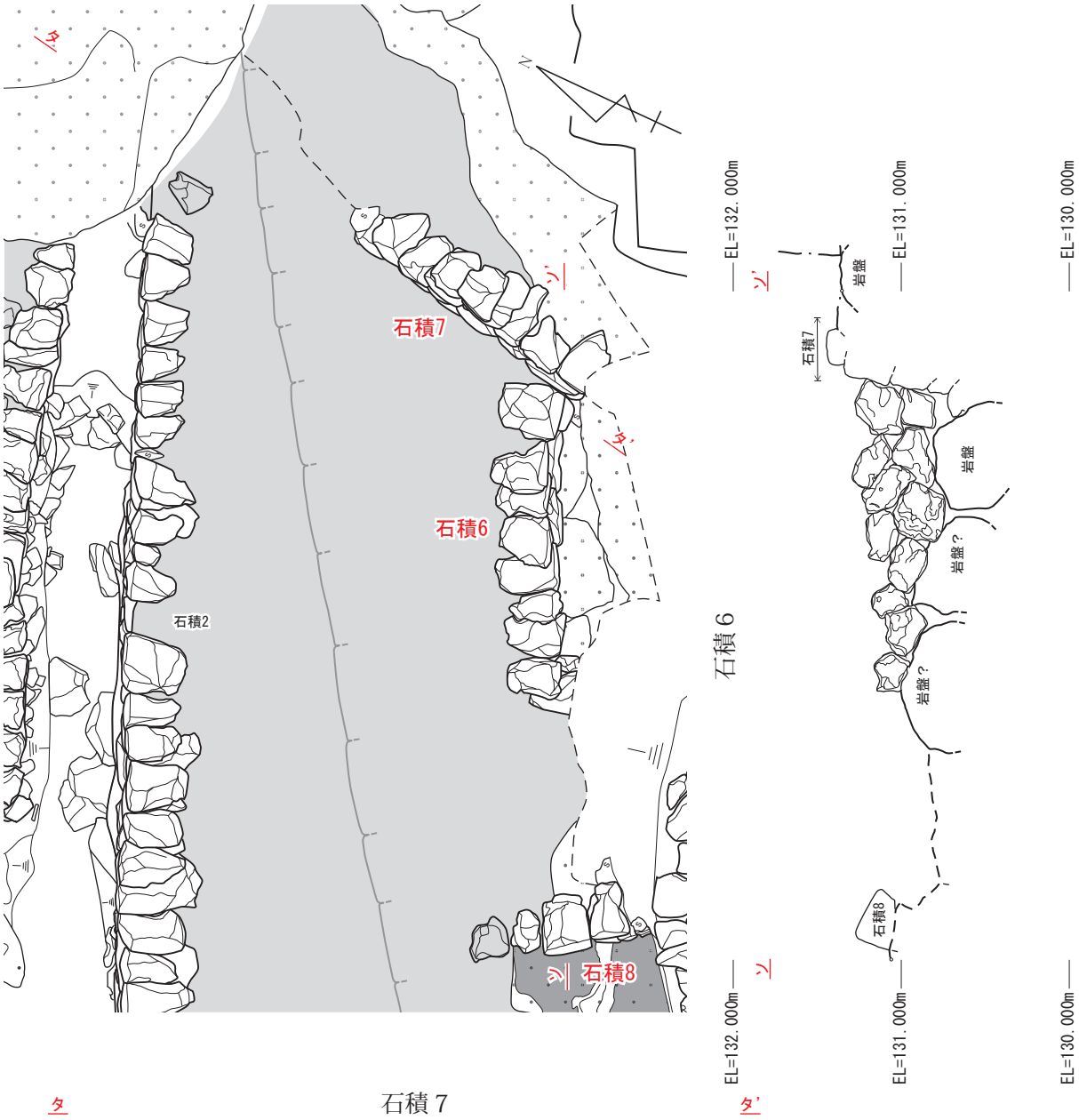
第 21 図　石積 14、石敷 1

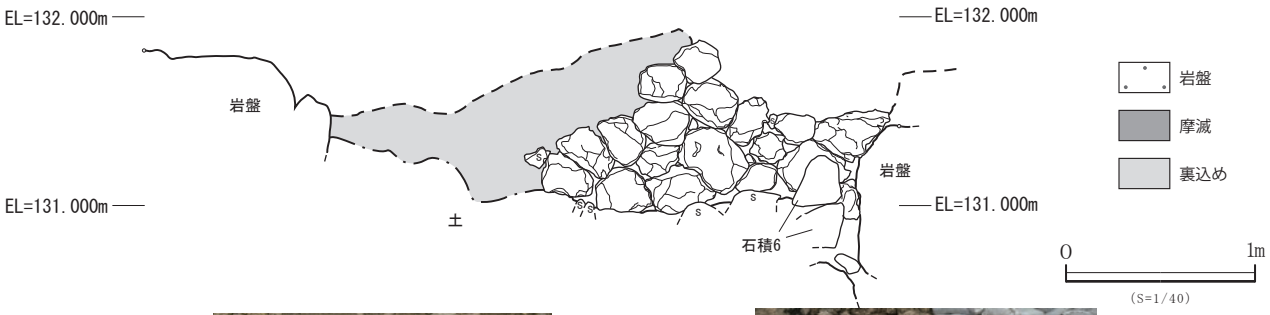


石積 5、石敷 3（北から）

石積 20（西から）

第 22 図　石積 5・15・20、石敷 3





石積 6（南から）

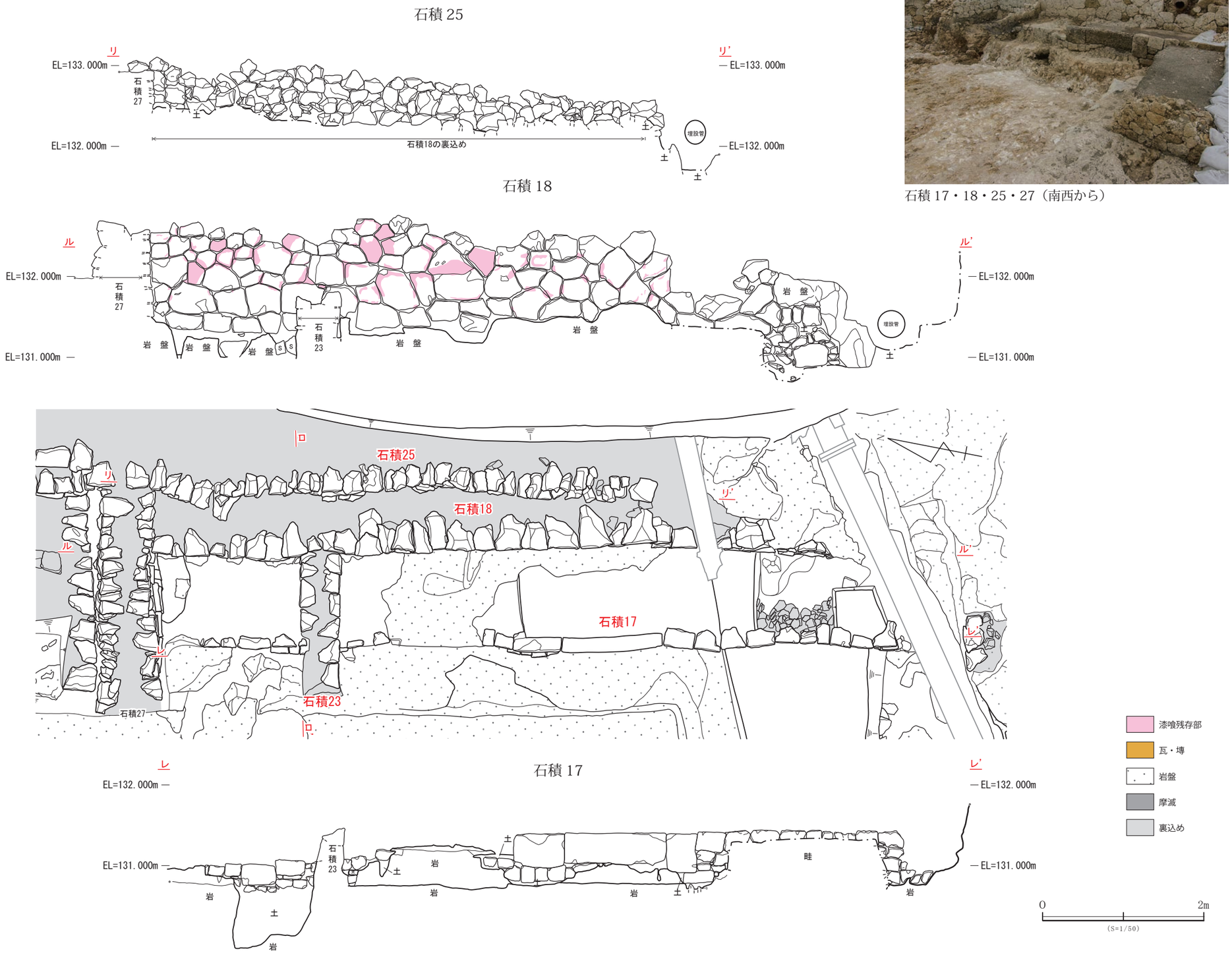
石積 7（西から）

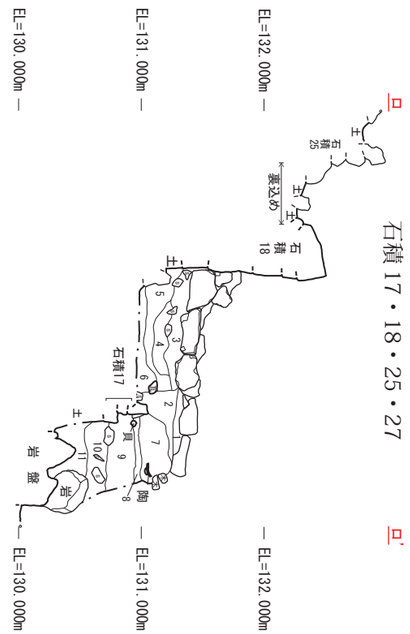
第 23 図　石積 6・7

J K L M N O P Q R
E9
E8
E7
E6
E5
E4
石積25
石積22
石積18
石積23
石積17
石積19
階段1
落込3
ピット6
石積16
ピット10
石積24
落込2
石列1
石列2
コンクリート
炭層
石敷3
石積5
石積15
石積20
石積7
石積6
石積2
復元城壁
J-E8
J-E7
J-E6
K-E6
L-E6
M-E6
N-E6
O-E9
O-E8
O-E7
岩盤
摩滅
裏込め
0
5m
(S=1/80)

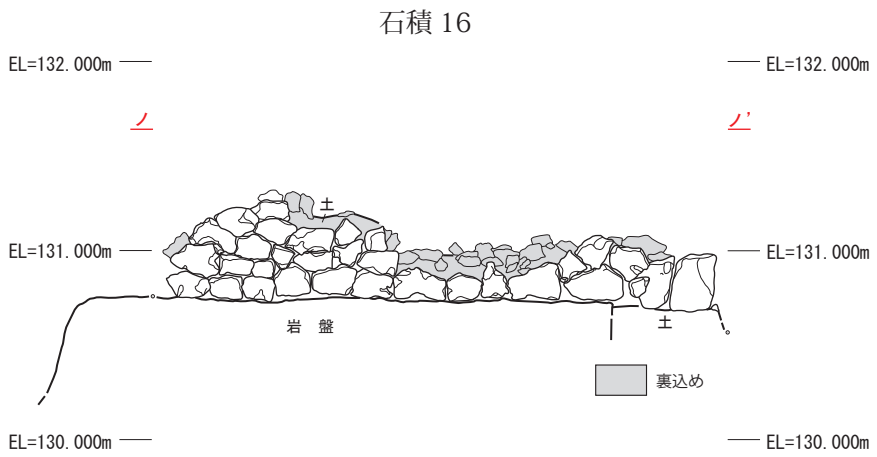
第 24 図　遺構平面図 4

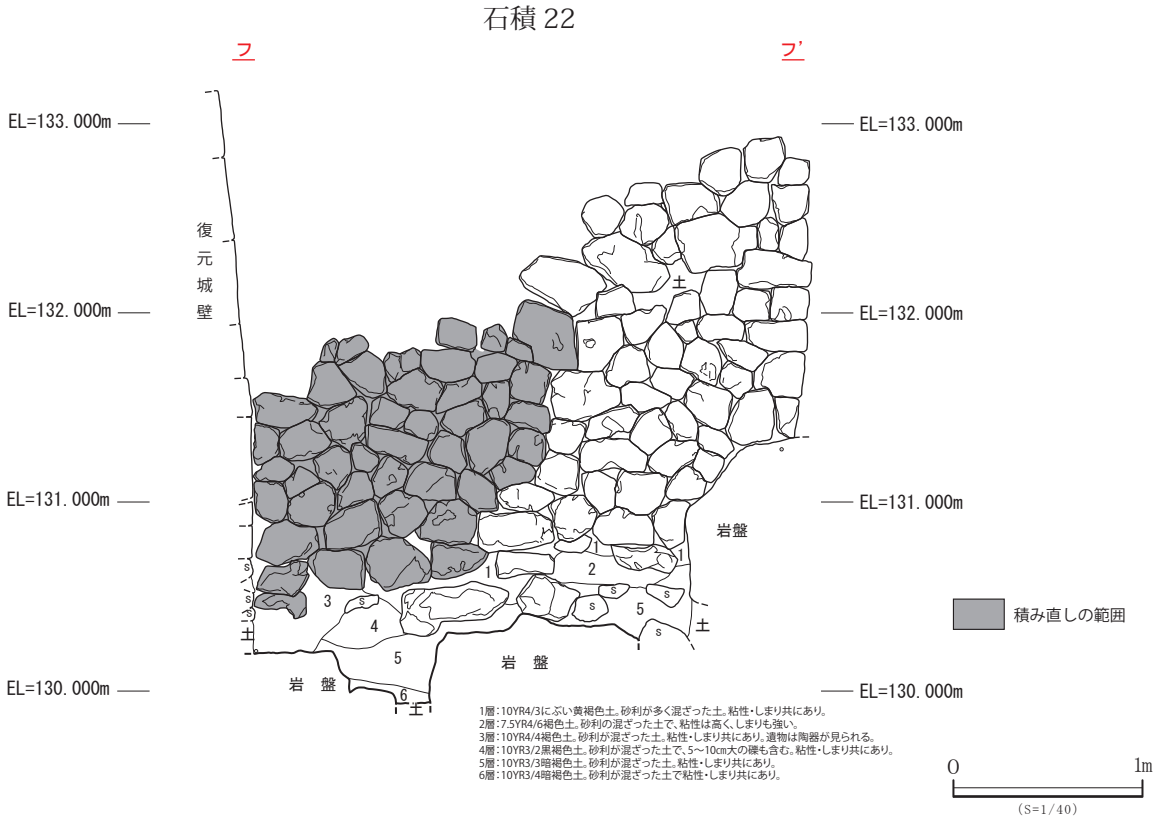
石積 17・18・25・27（南西から）





第 25 図　石積 17・18・25・27





石積 16（西から）

石積 22（西から）

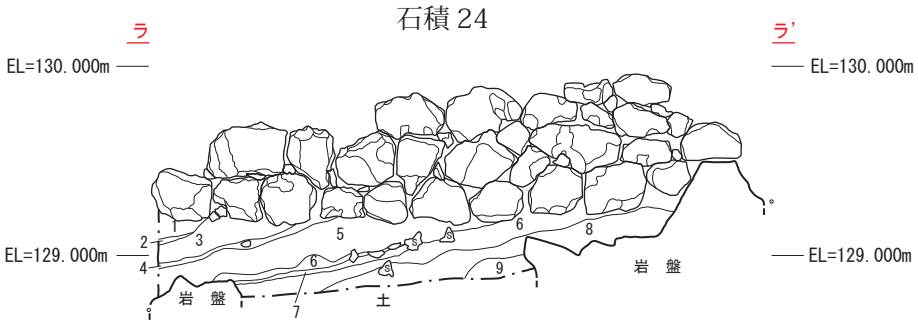
第 26 図　石積 16・22

落込２遺物検出状況（北西から）

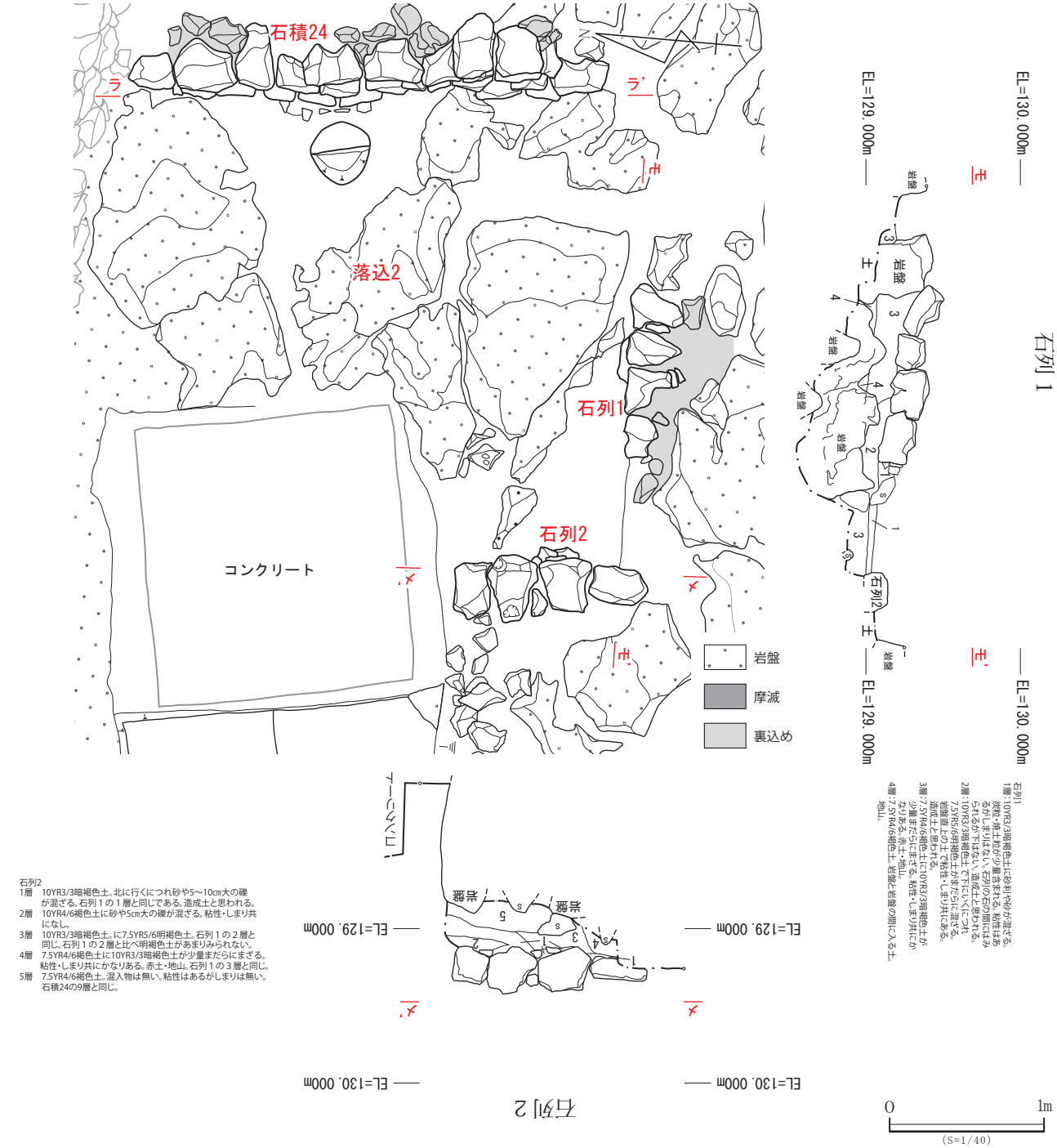
落込２（南西から）

平成 24 年度　調査区

図版２　遺構画像２



石積24
1層：10YR4/4褐色土。に7.5YR4/6褐色土が混ざる。炭粒と小石を少し含む。粘性・しまり共にあり。
2層：10YR3/4暗褐色土に石灰岩の小礫が多く混ざる。薄く帯状に入る。
3層：7.5YR5/8明褐色土と10YR3/4暗褐色土がまだらに混ざる。1層と似ているが炭粒や小石をほとんど含まない。粘性・しまり共にあり。
4層：10YR3/4暗褐色土に小石や5cm大の小礫が混ざる。薄く帯状に入る。
5層：10YR3/3暗褐色土と7.5YR4/6褐色土がまだらに混ざる。北にいくにつれ暗褐色土が多く、南にいくにつれ逆に褐色が多くなり、グラデーションになっている。少量５cm大の礫が混ざる。炭粒・焼土粒はごく微量に含まれる。粘性はあるがしまりは無い。
6層：10YR2/2黒褐色土に炭粒・焼土粒が全体的に少量混ざる。粘性はややあるが、しまりは無い。骨や貝も少量みられる。
7層：10YR3/3暗褐色土～10YR2/3黒褐色土に砂利や5～10cm大の礫が混ざる。6層と似ているが、礫や砂利が入る。
8層：10YR3/4暗褐色土。小石が散見できるが、それ以外に混入物は無い。粘性はあるがしまりは無い。
9層：7.5YR4/6褐色土。混入物は無い。粘性はあるがしまりは無い。

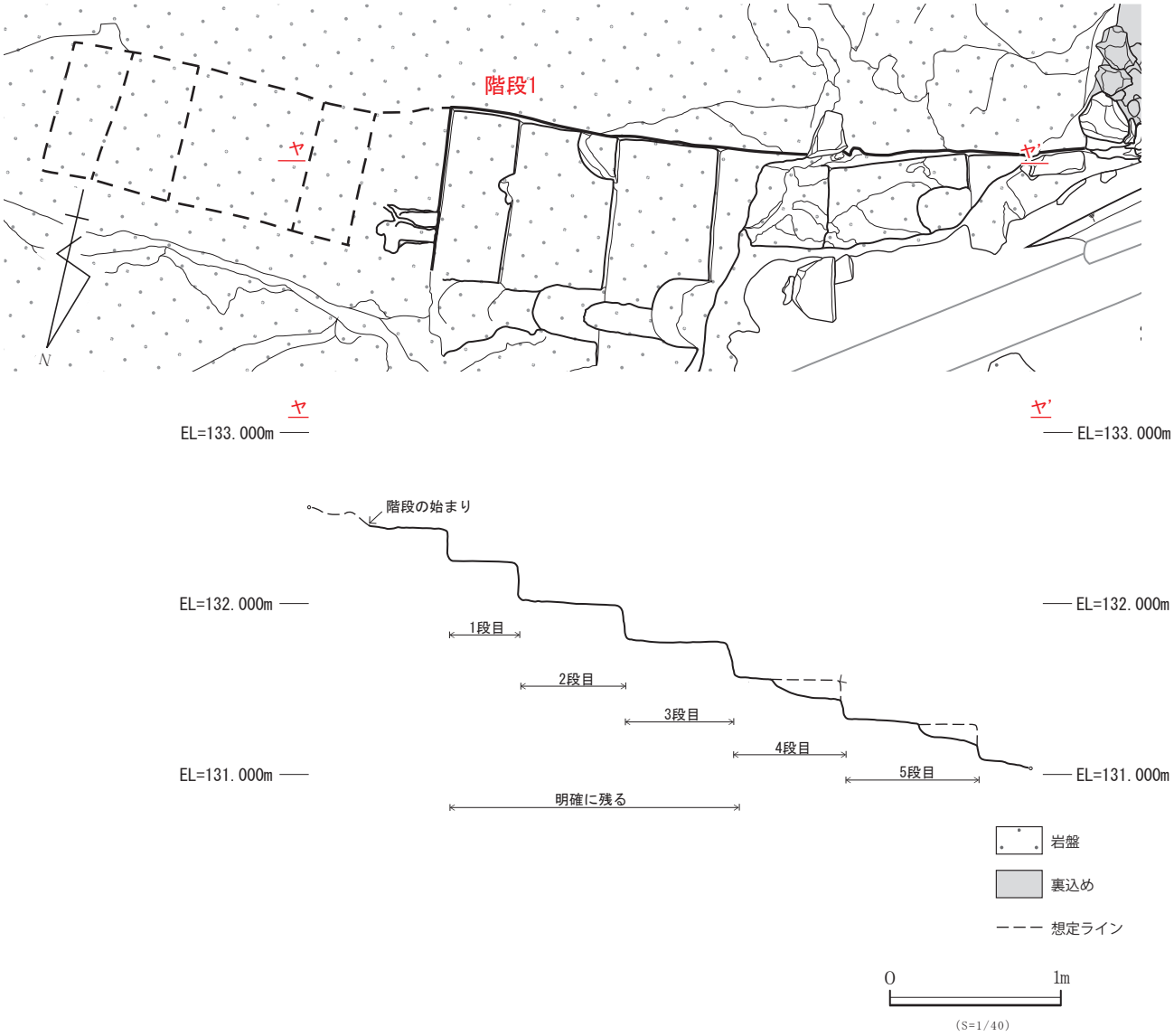


石列2
1層　10YR3/3暗褐色土。北に行くにつれ砂や5～10cm大の礫が混ざる。石列１の１層と同じである。造成土と思われる。
2層　10YR4/6褐色土に砂や5cm大の礫が混ざる。粘性・しまり共になし。
3層　10YR3/3暗褐色土。に7.5YR5/6明褐色土。石列１の２層と同じ。石列１の２層と比べ明褐色土があまりみられない。
4層　7.5YR4/6褐色土に10YR3/3暗褐色土が少量まだらにまざる。粘性・しまり共にかなりある。赤土・地山。石列１の３層と同じ。
5層　7.5YR4/6褐色土。混入物は無い。粘性はあるがしまりは無い。石積24の9層と同じ。

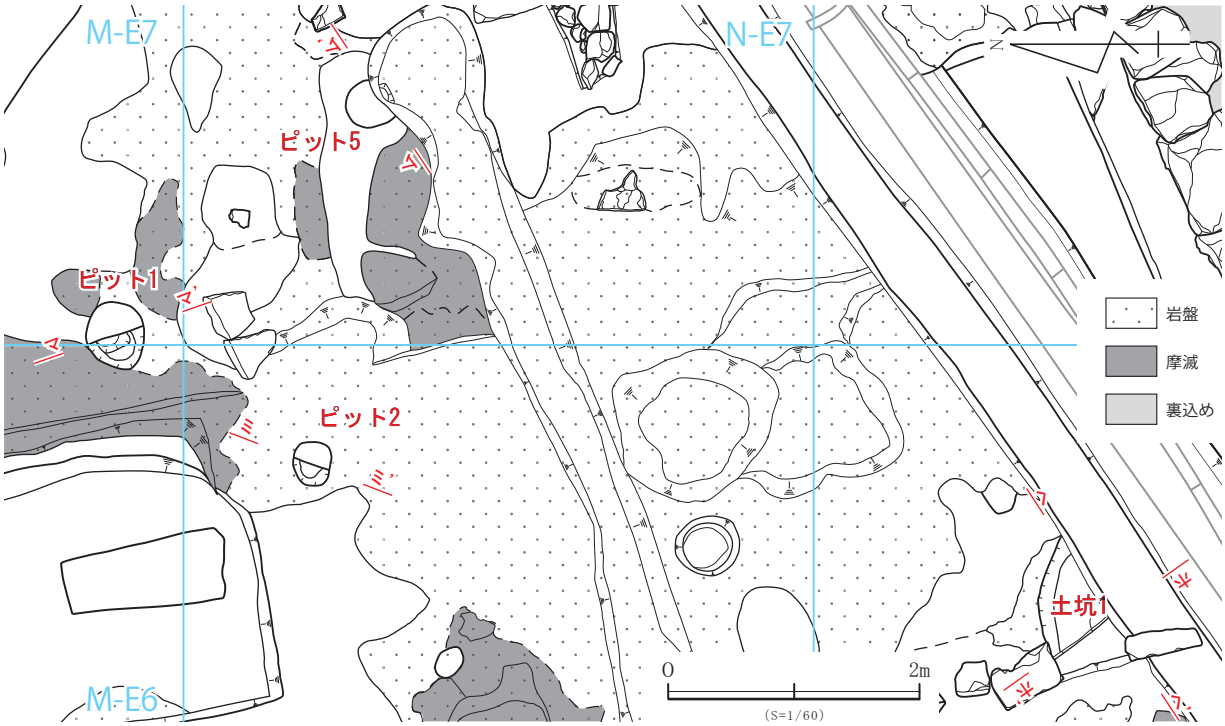
第 27 図　落込 2

階段 1（西から）

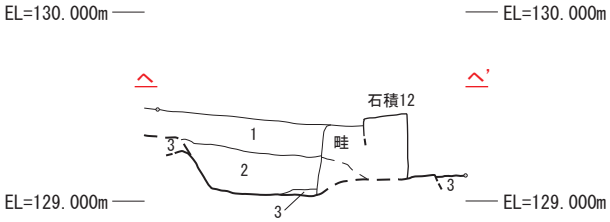
階段 1



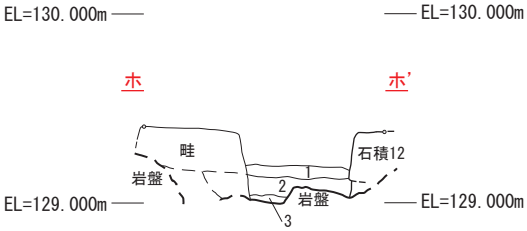
第 28 図　階段 1



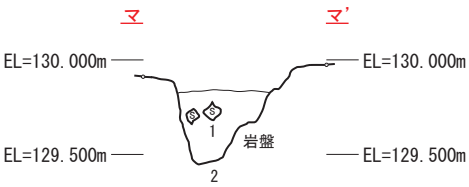
土坑 1 東西



土坑 1 南北

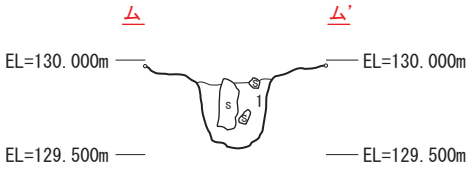


ピット 1



ピット 2

ピット 5



ピット 1　1 層：10YR3/3 暗褐 シルト～極細砂 細～中レキ
　　7.5YR5/8 明褐 シルト ブロック混（炭・貝類含む） 埋土下層の範疇
　　2 層：7.5YR5/8 明褐 粘土～シルト（マージ）

ピット 2　1 層：10YR3/3 暗褐 シルト～極細砂 細～中レキ
　　7.5YR5/8 明褐 シルト ブロック混（炭・貝類含む） 埋土下層の範疇　ピット 1 の 1 と同一

ピット 5　1 層：10YR3/3 暗褐 シルト～極細砂 細～中レキ混

土坑 1　1 層：10YR5/3 にぶい黄褐色　シルト～極細砂　細～中礫混
　　サンゴ礫混　貝類含　中央東西畦の 4 層と同一
　　2 層：5YR5/8 灰オリーブ色　シルト
　　7.5YR5/8 明褐色シルトブロック・砂礫混（炭少し含む）クチャ
　　3 層：7.5YR5/8 明褐色シルト（マージ）

0　1m
(S=1/40)

第 29 図　土坑・ピット

平成 23・24 年度　調査区

ピット 6 断面（西から）

ピット 6 完堀（北から）

ピット 6 漆製品（合子）

ピット 6 漆塗膜検出状況

図版 3　遺構画像 3

第３節　出土遺物

御内原東地区からは総数 10,641 点の多種に及ぶ遺物が出土している。人工遺物では陶磁器類が最も多く、次いで瓦類、金属製品の順に出土量が多い。陶磁器類は中国・タイ・ベトナム・朝鮮・ミャンマー・日本・沖縄の各地で生産された製品がみられ、中でも中国産が最も多い。その他の遺物として、円盤状製品・煙管・玉類・ガラス製品・金属製品・石製品・漆喰製品・漆製品・貝製品・骨製品なども出土している。これらの遺物の年代は 14 世紀～ 20 世紀のものであると考えられる。出土遺物の中でも瓦製の欄干や中国清朝陶磁器の官窯製品が多数出土しており、注目される。

自然遺物についても、貝類・獣骨類など多数出土している。貝類遺体については千葉県立中央博物館主任研究員の黒住耐二氏、脊椎動物遺体については東海大学海洋学部海洋文明学科講師の丸山真史氏に整理指導及び種同定をいただいた。

ここでは、出土遺物を種類別に報告することとし、個々の所見は遺物観察表に提示する。

落込２　遺物検出状況（北西から）

第１項　中国産陶磁器

１　青磁

総点数 1,052 点が出土している（第 25 表）。器種は碗・小碗・皿・盤・瓶・壺・鉢・香炉・水注、器台等が確認され碗・皿類が多い。以下に特徴的な 52 点を図化し、個々の所見を観察表（第１表）に記す。

第１表　中国産青磁観察一覧１

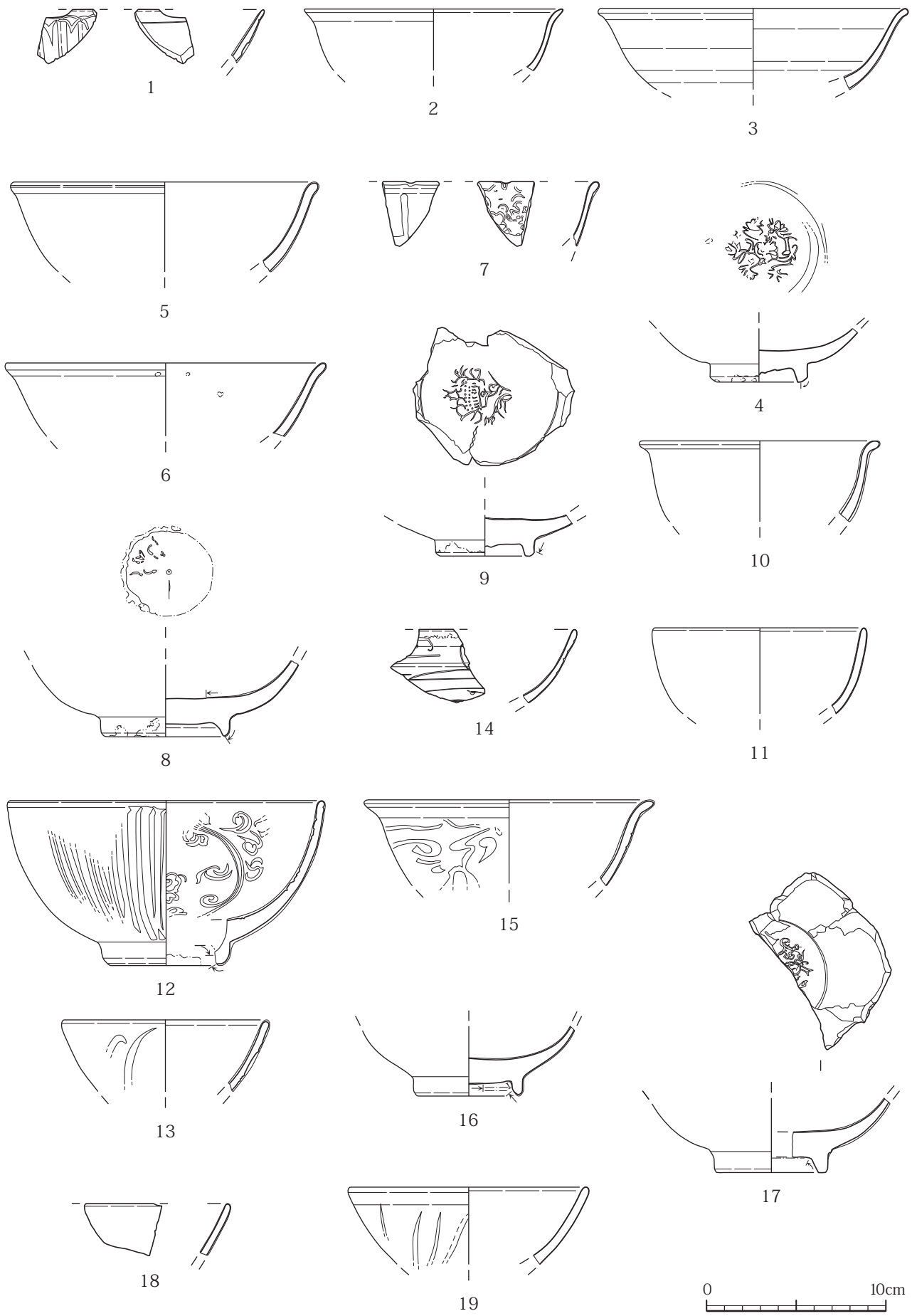
図・図版番号	番号	器種	分類		部位	産地	法量（cm）			観察事項	調査年度(平成)	グリッド・層
							口径	器高	底径			
第30図 図版4	1	碗	Ⅲ’	―	口縁部	―	―	―	―	釉はオリーブ灰色。素地は灰白色。文様は外面に鎬蓮弁文。	24	J-E6・7石積21
	2	碗	Ⅳ-0	端反	口縁部	―	14.4	―	―	釉は明オリーブ灰色。素地は灰白色。	24	O-E7・8 石積20南側2層
	3	碗	Ⅳ-0	端反	口縁部	―	17.3	―	―	釉はオリーブ灰色。素地は灰色だが胴部途中から底部にかけて焼成が悪く、にぶい橙色。	24	K-E7表土
	4	碗	Ⅳ	―	底部	―	―	―	5.4	釉は明オリーブ灰色で外底露胎。素地は灰色。文様は内底に印花文。	23・24	石積1・2　＋ J-E7落込2内3層
	5	碗	Ⅳ’	―	口縁部	―	17.2	―	―	釉は明オリーブ灰色で表面に凹凸がある。素地は灰色。	24	O-E7・8 石積20南側4層
	6	碗	Ⅳ’	―	口縁部	―	17.9	―	―	釉は明オリーブ灰色で貫入あり。素地はにぶい橙色。	24	L-E8落込3内1層
	7	碗	Ⅳ’	―	口縁部	―	―	―	―	釉はオリーブ灰色でやや厚い。素地は灰色。文様は外面に蓮弁文、内面に陽花文。輪花碗。	24	K-E7落込2内1層
	8	碗	Ⅳ’	―	底部	―	―	―	7.1	釉はオリーブ灰色で外底露胎で内底は釉剥ぎ。素地は灰色。文様は内底に印花文。内底の中心に小さな孔痕あり。外底は円状に胎土目付着。	23・24	石積2トレ3-2層 ＋ O-E7・8 石積20南側4層
	9	碗	Ⅳ’	―	底部	―	―	―	5.5	釉は明オリーブ灰色で、外面は底部途中まで施釉し外底は露胎。素地は焼成不良でにぶい橙色。文様は内底に印花文。	24	K-E7落込2内1層 ＋ K-E7表土
	10	碗	Ⅴ-0	端反	口縁部	―	13.4	―	―	釉はオリーブ灰色。素地は灰白色。	24	O-E7・8 石積20南側4層
	11	碗	Ⅴ-0	直口	口縁部	―	12.0	―	―	釉はオリーブ灰色。素地は灰白色。	24	K-E7落込2内1層
	12	碗	Ⅴ-1	直口	口～底	―	17.6	9.2	7.1	釉はオリーブ灰色。素地は白色。文様は外面に細蓮弁、内面に陽花文。	24	O-E7・8 石積20南側4層
	13	碗	Ⅴ-1	直口	口縁部	―	11.6	―	―	釉はオリーブ灰色。素地は灰白色。文様は外面に蓮弁文。	23	M-E5・E6表土
	14	碗	Ⅴ-2	―	口縁部	―	―	―	―	釉はオリーブ灰色で、比較的薄い。素地は灰白色。文様が外面にヘラ描きによる雷文と蓮弁文。	24	K-E7表土
	15	碗	Ⅴ-3	端反	口縁部	―	16.2	―	―	釉はオリーブ灰色。素地は灰白色。文様は外面にラマ式蓮弁文。	23	石積1
	16	碗	Ⅴ	―	底部	―	―	―	6.0	釉はオリーブ灰色で、外底は蛇の目釉剥ぎ。素地は灰白色だが、焼成不良で底部付近はにぶい橙色。	23	石積2トレ1層

第１表　中国産青磁観察一覧２

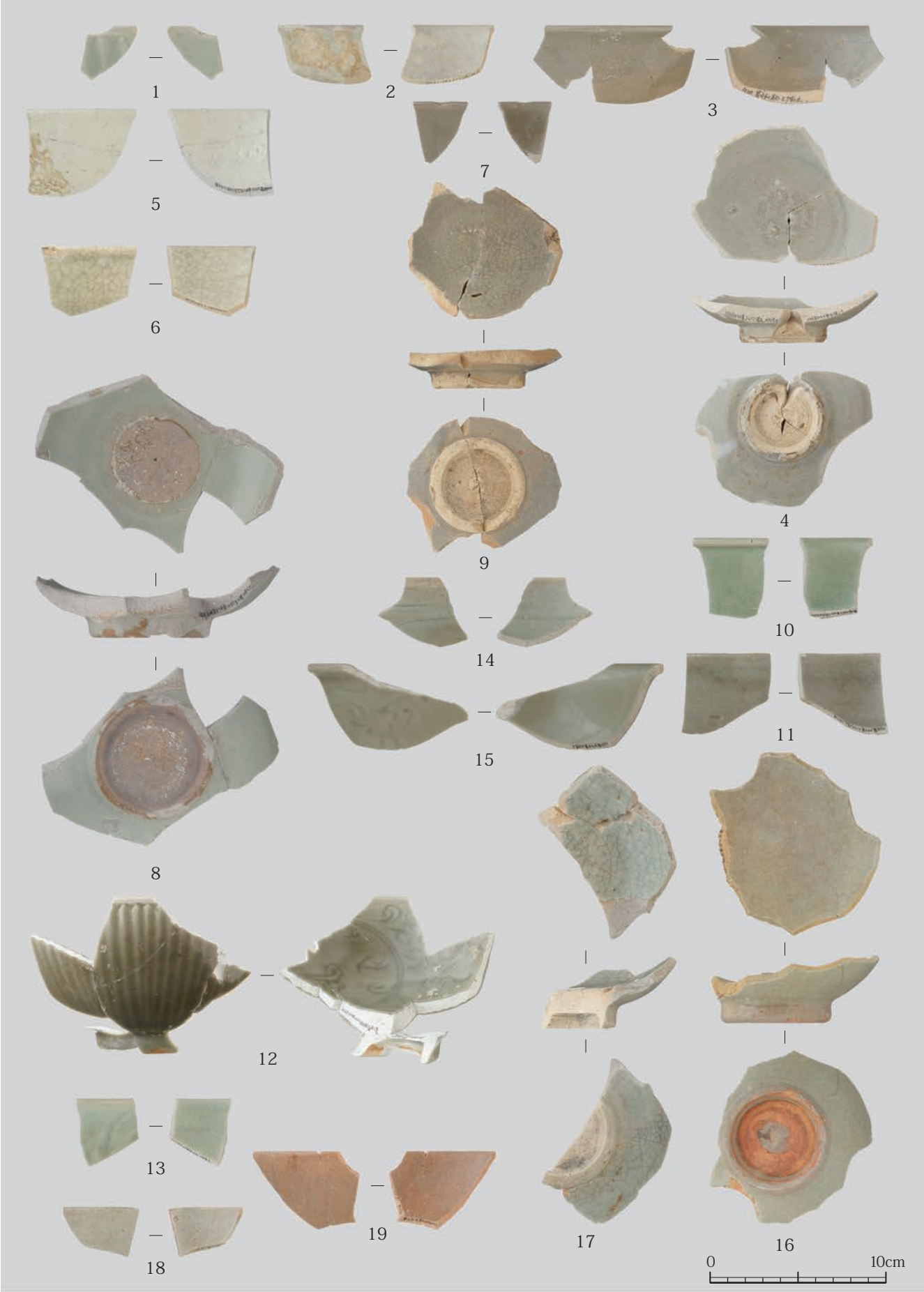
図・図版番号	番号	器種	分類		部位	産地	法量（cm）			観察事項	調査年度(平成)	グリッド・層
							口径	器高	底径			
第30図 図版4	17	碗	V	—	底部	—	—	—	6.3	釉は明オリーブ灰色で、外底は釉剥ぎ。貫入あり。素地は灰白色。内底に印花文。	—	表土
	18	碗	Ⅵ-0	直口	口縁部	—	—	—	—	釉はオリーブ灰色で、貫入あり。素地は灰色だが焼成不良で部分的に橙色。	24	K-E7落込2内1層
	19	碗	Ⅵ-1	—	口縁部	—	13.4	—	—	釉はオリーブ灰色。素地は焼成不良で橙色。外面に線彫りによる細蓮弁文。	24	K-E7落込2内1層
第31図 図版5	20	碗	Ⅵ	—	底部	—	—	—	5.2	釉は明オリーブ灰色で、外底途中まで施釉。素地は灰白色。文様は内底に印花文。被熱を受ける。	24	K-E7落込2内1層
	21	碗	Ⅵ-1	—	底部	—	—	—	5.2	釉はオリーブ灰色で、外底途中まで施釉。素地は灰白色。	24	K-E7石列1
	22	碗	Ⅵ-2	—	底部	—	—	—	7.0	釉はオリーブ灰色で、外底は蛇の目釉剥ぎ。素地は焼成不良で橙色。文様は内底に印花文。	24	K-E7 落込2内1層
	23	碗	Ⅶ-1	—	口縁部	—	—	—	—	釉は灰白色。素地は灰白色。文様は外面に線彫りによる細蓮弁文。	—	表土
	24	碗	Ⅶ-2	—	口縁部	—	14.3	—	—	釉は明オリーブ灰色。素地は灰白色。文様は外面に雷文が退化したと考えられる波濤文。	23	石積1
	25	小碗	—	—	口縁部	—	7.6	—	—	釉はオリーブ灰色。素地は灰色。	24	K-E7落込2内1層
	26	小碗	—	—	口縁部	—	9.2	—	—	釉は外面にオリーブ灰色、内面は透明で口唇部は釉剥ぎ。素地は白色で緻密。景徳鎮窯。	24	J-E7落込2内3層
	27	Ⅲ	Ⅲ-1	—	口縁部	—	—	—	—	釉はオリーブ灰色。素地は灰白色。	24	K-E7表土
	28	Ⅲ	Ⅳ’	—	底部	—	—	—	—	釉はオリーブ灰色で畳付釉剥ぎ。素地は灰白色。内面に文様あり。	24	L-E8石積23南側1層
	29	Ⅲ	Ⅳ’	—	底部	—	—	—	8.6	釉は明オリーブ灰色で、外底はヘラで雑に釉剥ぎ、内底は施文後に釉剥ぎ。文様は内底に印花文。内底の中心に小さな孔痕あり。	23	Q-E7表土
	30	Ⅲ	Ⅳ’	—	底部	—	—	—	6.0	釉はオリーブ灰色で、内外底共に釉剥ぎ。素地は灰白色。	24	L-E8落込3内4-2層 ＋ L-E8階段2
	31	Ⅲ	V-0	端反	口縁部	—	—	—	—	釉はオリーブ灰色。素地は灰色。	23	M-E7下層
	32	Ⅲ	V-1	口折	口～底	—	11.8	3.7	6.6	釉はオリーブ灰色。素地は灰白色。文様は外面に蓮弁文。	24	O-E7・8 石積20南側4層
	33	Ⅲ	V-1	口折	口縁部	—	—	—	—	釉はオリーブ灰色。素地は灰白色。文様は外面に蓮弁文。	24	L-E8落込3内1層

第１表　中国産青磁観察一覧３

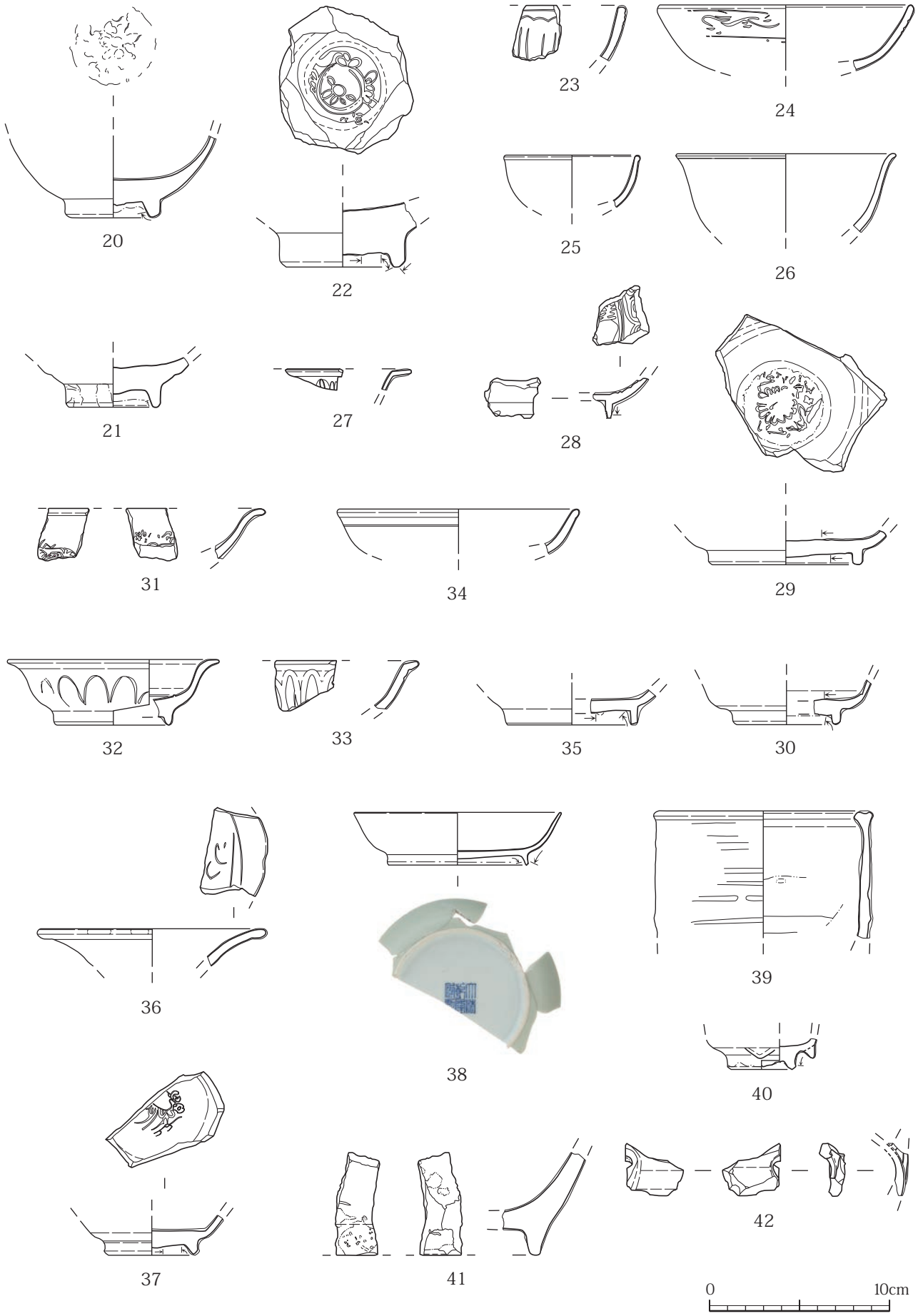
図・図版番号	番号	器種	分類		部位	産地	法量（cm）			観察事項	調査年度(平成)	グリッド・層
							口径	器高	底径			
第31図 図版5	34	皿	V-3	—	口縁部	—	13.5	—	—	釉はオリーブ灰色で透明感がある。素地は灰白色。	24	K-E7落込2内1層
	35	皿	V	—	底部	—	—	—	7.3	釉はオリーブ灰色で、外底は蛇の目釉剥ぎ。素地は灰白色。	—	表土
	36	皿	Ⅵ-0	—	口縁部	—	12.8	—	—	釉はオリーブ灰色。素地は灰白色。文様は内面に陽花文。稜花皿。	24	K-E7落込2内1層
	37	皿	Ⅵ-0	—	底部	—	—	—	5.3	釉はオリーブ灰色で、外底は蛇の目釉剥ぎ。素地は灰色。文様は内底に印花文。稜花皿。	24	K-E7落込2内1層
	38	皿	—	—	口～底	—	11.5	3.0	7.8	釉は両面、明オリーブ灰色で外底と口唇部は透明、畳付釉剥ぎ。外底に「大清乾隆年製」の銘あり。景徳鎮窯。	24	L-E8落込3内1層 + J-E6・7表土
	39	香炉	A	—	口縁部	—	12.2	—	—	釉はオリーブ灰色で、外面と内面は胴部途中まで釉が厚い。素地は灰白色。	23 ・ —	石積1 ＋ 表土
	40	香炉	B	—	底部	—	—	—	3.8	釉はオリーブ灰色で、外底露胎で内面は胴部途中まで施釉。素地は灰白色。三足香炉？	—	不明
	41	瓶	—	—	底部	—	—	—	—	釉はにぶい黄橙色で、両面に施釉し畳付は釉剥ぎ。素地はにぶい橙色。被熱している。	24	L-E8・9 石積18ウラゴメ
	42	水注	—	—	胴部	—	—	—	—	釉はオリーブ灰色で両面に施釉。素地は灰白色。注口部は貼り付け。	23	石積2トレ3-3層
第32図 図版6	43	盤	A-1	—	口縁部	—	20.0	—	—	釉は暗オリーブ色。素地は灰白色。文様は内面に蓮弁文。	23	石積1・2
	44	盤	A	—	底部	—	—	—	10.2	釉はオリーブ灰色で、外底は蛇の目釉剥ぎ。素地は灰白色。文様は内面に蓮弁文。	23	石積7内
	45	盤	B	—	口縁部	—	36.4	—	—	釉はオリーブ灰色で、透明感がある。素地は灰白色。内面にヘラ描きによる唐草文。	24	K-E7落込2内1層 ＋K-E6表土 ＋K-E7表土 ＋K-E7石列2
	46	盤	C	—	口縁部	—	28.0	—	—	釉はオリーブ灰色。素地は灰白色。文様は内面に蓮弁文。	23	O-E6表土
	47	盤	C	—	口縁部	—	31.5	—	—	釉はオリーブ灰色。素地は灰白色。文様は内面に草花文。	23	石積2トレ2層
	48	盤	—	—	底部	—	—	—	17.8	釉は暗オリーブ色で、外底は釉剥ぎ。素地は灰白色。	23	石積2トレ3-2層
	49	盤	—	—	底部	—	—	—	—	釉はにぶい黄色で、外底は蛇の目釉剥ぎ。素地はにぶい橙色。文様は内面に草花文か。被熱か。	24	K-E7落込2内1層 ＋ K-E6表土
	50	壺	—	—	口縁部	—	21.2	—	—	釉はオリーブ灰色で、口唇部は釉剥ぎ。素地は灰白色。	24	N-E8 石積20トレンチ1層
	51	器台	A	—	底部	—	—	—	—	釉はオリーブ灰色で、外底は釉剥ぎ。素地は灰白色。	24	J-E7落込2内3層
	52	器台	B	—	底部	—	—	—	4.2	釉はオリーブ灰色で、畳付は釉剥ぎ。素地は灰白色。	23	石積2トレ3-3層



第 30 図　中国産青磁 1



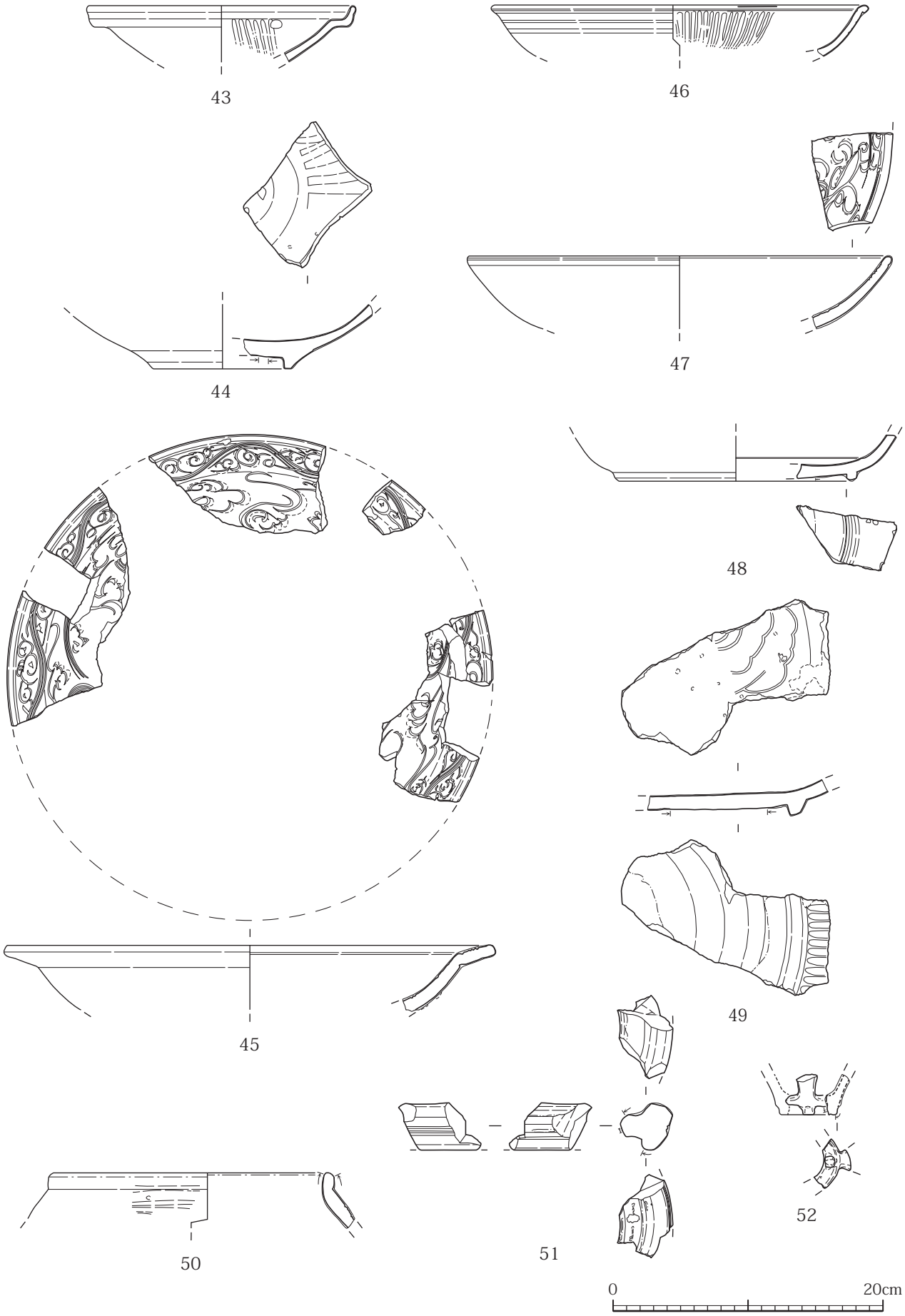
図版 4　中国産青磁 1


20
22
23
24
25
26
21
27
28
31
34
29
32
33
35
30
36
38
39
40
37
41
42
0
10cm

第 31 図　中国産青磁 2

20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
0
10cm

図版 5　中国産青磁 2



第 32 図　中国産青磁 3

図版 6　中国産青磁 3

2　白磁

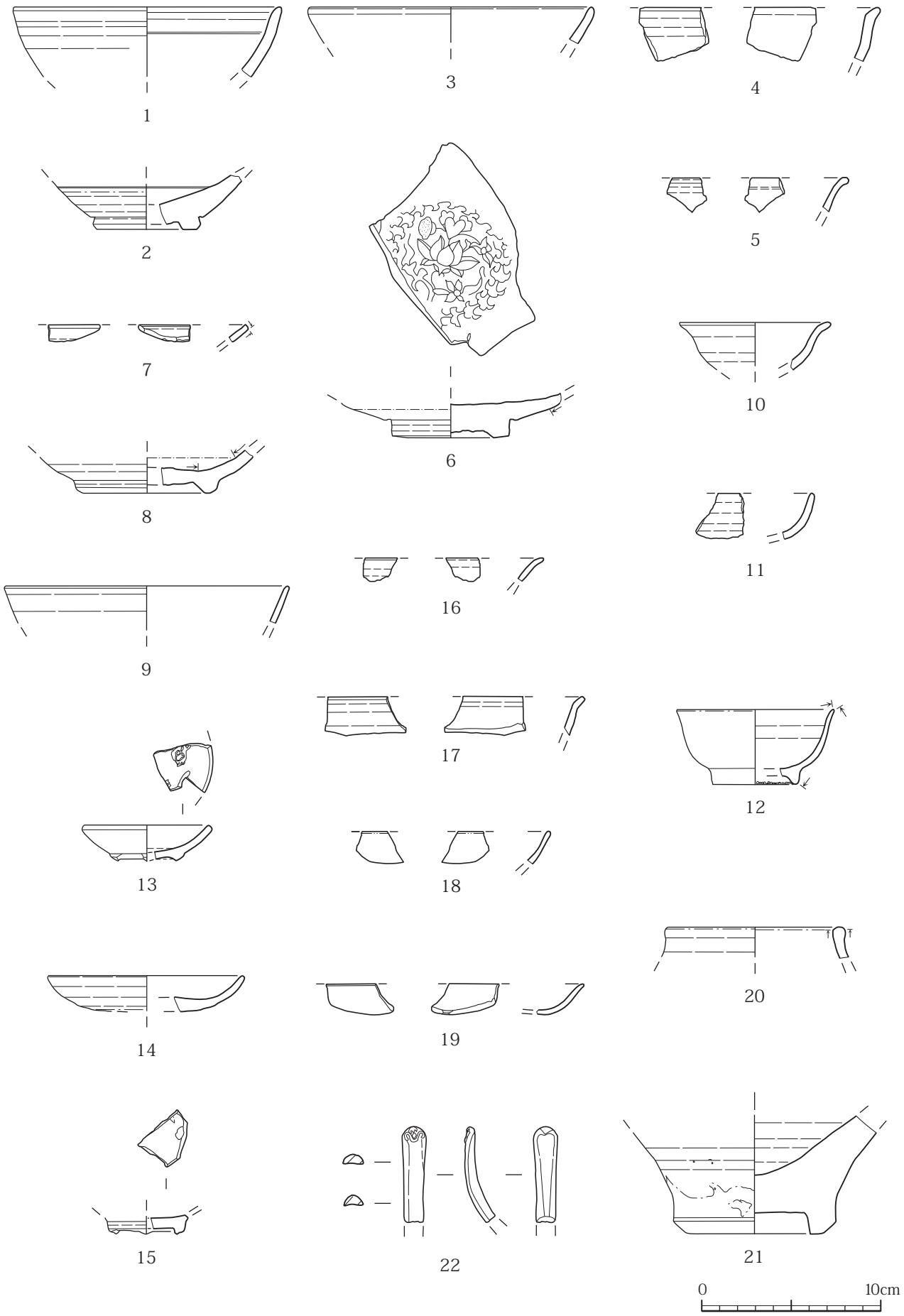
総点数 178 点が出土している（第 27 表）。器種は碗・小碗・皿・小杯・瓶・壺・散蓮華等があり、景徳鎮窯系、福建系、徳化窯系の製品が確認されている。以下に特徴的な 22 点を図化し、個々の所見を観察表（第 2 表）に記す。

第 2 表　中国産白磁観察一覧 1

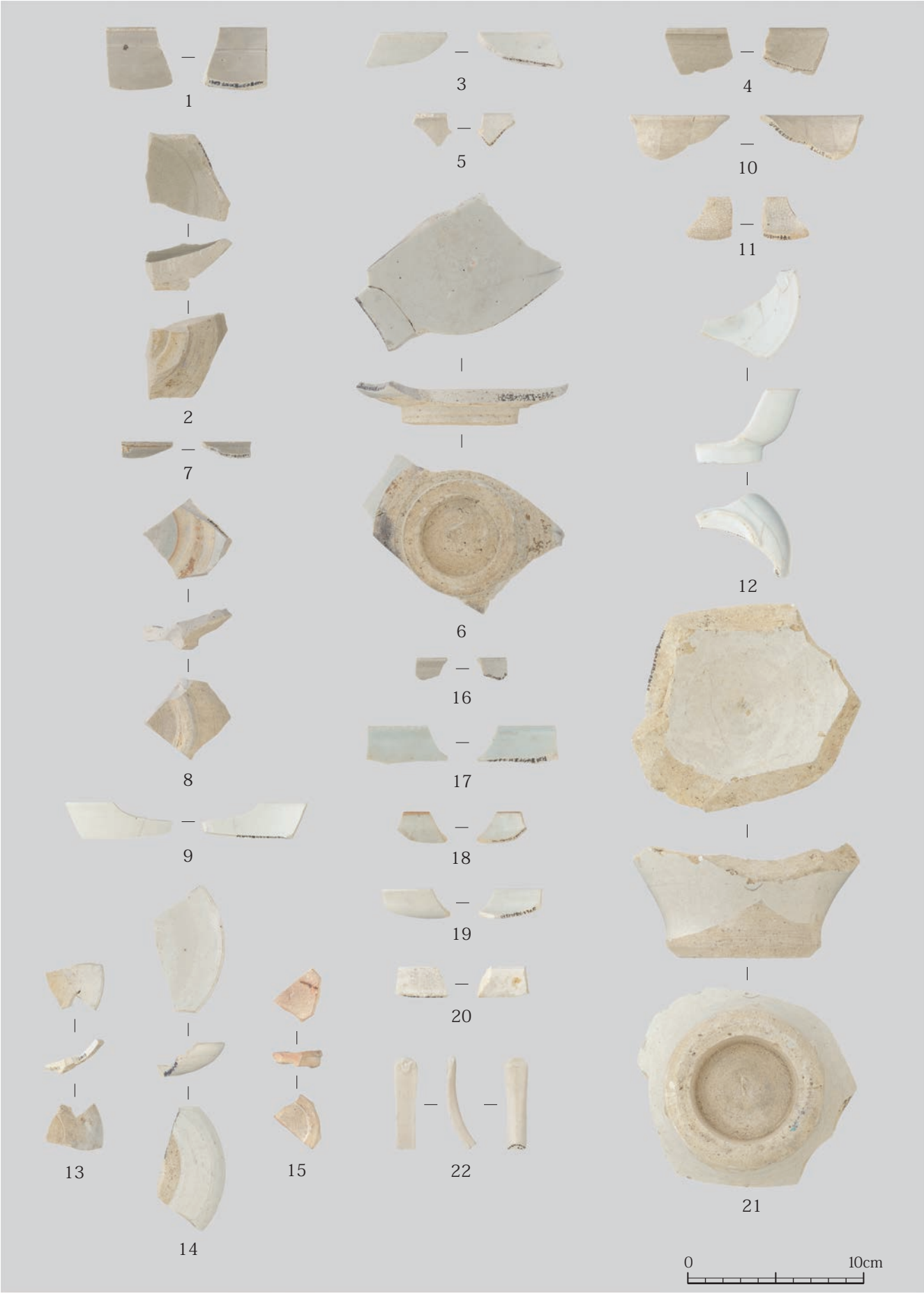
図・図版番号	番号	器種	分類		部位	産地	法量（cm）			観察事項	調査年度(平成)	グリッド・層
							口径	器高	底径			
第33図 図版7	1	碗	C1	―	口縁部	福建	15.0	―	―	釉は灰色。素地は灰白色。内面口縁部下に 1 本の圏線。	24	K-E7石列1
	2	碗	C1	―	底部	福建	―	―	6.0	釉は灰オリーブ色で外面胴部下半まで施釉。素地は灰白色。畳付は僅かに斜めを呈する。内底に 1 本の圏線。	24	O-E7・8 石積20南側2層
	3	碗	C2	―	口縁部	福建	16.0	―	―	釉及び素地は灰白色。内面口唇部に稜をもつ。	24	K-E7 落込2内2層
	4	碗	C3	―	口縁部	福建	―	―	―	釉は透明感のある灰白色。素地は灰白色。	24	N-E8石積20 トレンチ1層
	5	碗	C3	―	口縁部	福建	―	―	―	釉はにぶい灰白色。素地は灰白色で造りは薄手。	24	J-E6表土
	6	碗	C3	―	底部	福建	―	―	6.4	釉は灰オリーブ色で外面胴部下半まで施釉。素地は灰白色。内底は広く、蓮の文様を施す。	24	J-E7石積21 トレンチ1 ＋ J-E6表土
	7	碗	D'	―	口縁部	福建	―	―	―	釉は灰白色で細かい貫入が多く入る。素地は灰白色。	24	M-E8 石積16・17間
	8	碗	D'	―	底部	福建	―	―	7.9	釉は灰色。素地は灰白色。内底は蛇の目釉剥ぎ。	23	石積1
	9	碗	E	直口	口縁部	景徳鎮	16.0	―	―	釉は灰白色。素地は白色。	24	J-E7落込2内3層
	10	小碗	D	端反	口縁部	福建	8.4	―	―	釉は灰白色細かい貫入が多く入る。素地は白色。	24	O-E7・8 石積20南側4層
	11	小碗	D	直口	口縁部	福建	―	―	―	釉は灰白色細かい貫入が多く入る。素地は白色。	―	表土
	12	小碗	―	―	口～底	徳化	8.8	4.2	4.8	釉は灰白色。口唇部を釉剥ぎする。素地は白色。高台内側に砂付着。	24	J-E7落込2内3層
	13	皿	D	直口 抉入高台	口～底	福建	7.3	2.0	4.0	釉は灰白色。素地は白色。内底に目跡あり。	24	L-E8落込3内1層
	14	皿	D	直口	口縁部	福建	11.0	―	―	釉は灰白色。外面胴部下半まで施釉。素地は白色。	23	石積2トレ3-2層
	15	皿	D	抉入高台	底部	福建	―	―	4.1	釉は灰黄色を帯びる。素地は淡黄色。高台の抉りは比較的浅い。	23	P-E7下層
	16	皿	D'	端反	口縁部	福建	―	―	―	釉及び素地は灰白色。	―	表土
	17	皿	E-0	―	口縁部	景徳鎮	―	―	―	釉は明緑灰色、素地は灰白色を呈する。内面口縁下部に稜がみられる。	24	N-E8表土

第２表　中国産白磁観察一覧２

図・図版番号	番号	器種	分類		部位	産地	法量（ｃｍ）			観察事項	調査年度(平成)	グリッド・層
							口径	器高	底径			
第33図図版7	18	皿	E	端反	口縁部	景徳鎮	—	—	—	釉は灰白色、素地は白色を呈する。口唇部に口錆か。	24	M-E8 石積16・17間
	19	皿	—	—	口縁部	徳化	—	—	—	釉は灰白色、素地は白色を呈する。口唇部を釉剥ぎする。	23	N-E7上層
	20	壺	—	—	口縁部	福建	10.0	—	—	釉は白色、素地は黄色味を帯びる。口縁部は玉縁状にやや肥厚する。	23	石積2トレ2層
	21	壺	—	—	底部	福建	—	—	7.8	釉は白色、素地は黄色味を帯びる。内底は施釉、外底は露胎。	24	O-E7・8 石積20南側4層
	22	散蓮華	—	—	柄	徳化	—	—	—	釉及び素地は白色。柄の端部に文様あり。	24	N-E8表土



第 33 図　中国産白磁



図版 7　中国産白磁

3　青花

総点数 940 点が出土している（第 26 表）。器種は碗・小碗・皿・盤・小杯・瓶・壺・鉢・餌入れ・袋物等があり、明代及び清代の景徳鎮窯系、福建系、徳化窯系の製品が確認されている。中には中国清朝陶磁器の官窯製品も出土している。以下に特徴的な 58 点を図化し、個々の所見を観察表（第３表）に記す。

第 3 表　中国産青花観察一覧 1

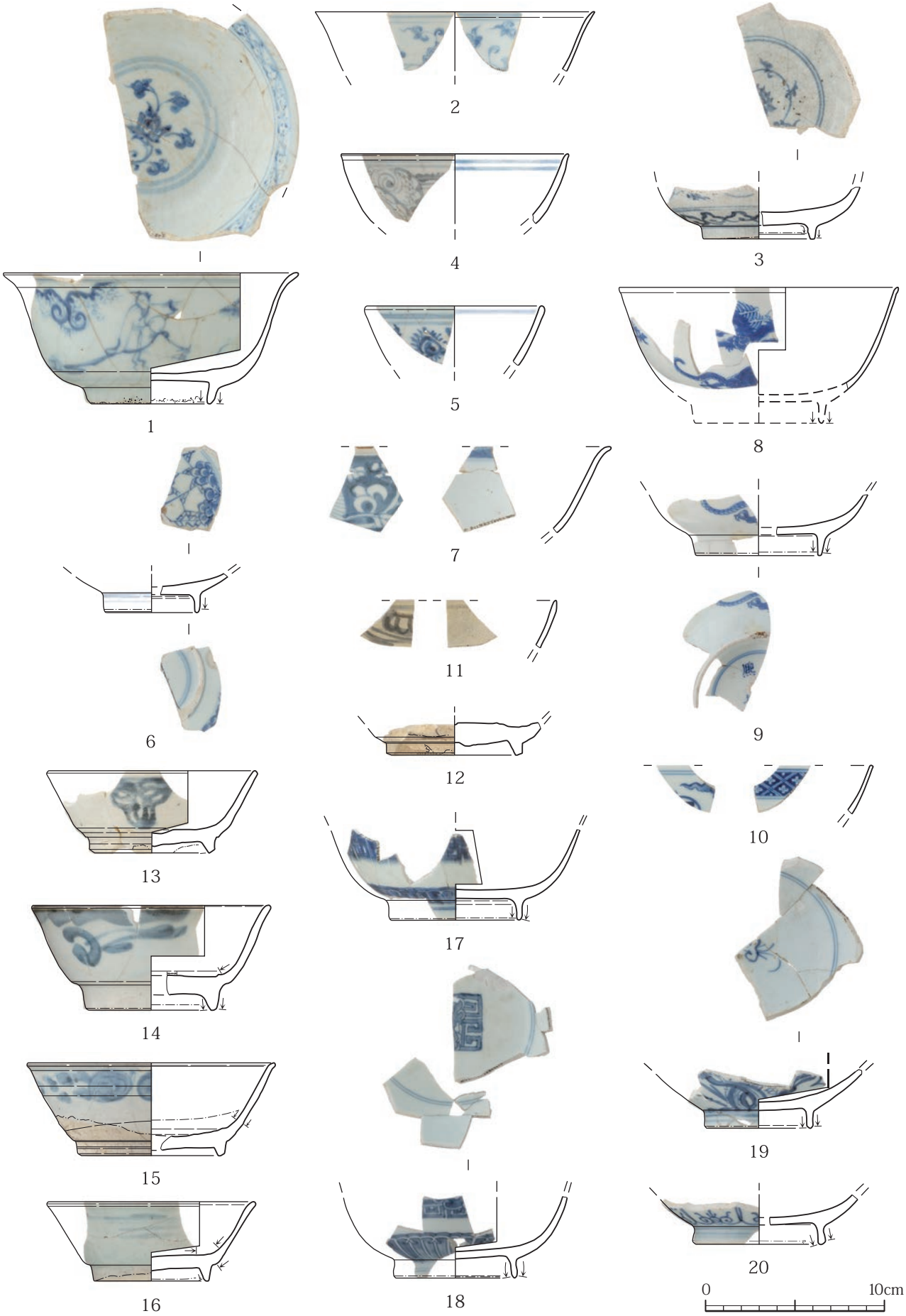
図・図版番号	番号	器種	分類		部位	産地	法量（ｃｍ）			観察事項	調査年度(平成)	グリッド・層
							口径	器高	底径			
第34図 図版8	1	碗	A1	―	口～底	景徳鎮	16.5	7.3	7.0	釉は青白色で、畳付釉剥ぎ。素地は白色。文様は外面に人物文で、内底に草花文。	24	O-E7・8 石積20南側4層
	2	碗	A1	―	口縁部	景徳鎮	15.6	―	―	釉は青白色。素地は白色。文様は牡丹唐草文。	24	K-E7落込2内1層
	3	碗	A1	―	底部	―	―	―	6.2	釉は青白色で、畳付釉剥ぎ。素地は灰白色。文様は外面に宝珠文で、内底に草花文。	24	O-E7・8 石積20南側2層
	4	碗	A2	―	口縁部	景徳鎮	12.7	―	―	釉は灰白色。素地は灰白色。文様は外面に草花文か。	24	O-E7・8 石積20南側3層
	5	碗	A2	―	口縁部	景徳鎮	10.1	―	―	釉は青白色。素地は白色。文様は外面に火炎宝珠文。	24	K-E7落込2内1層
	6	碗	C	―	底部	景徳鎮	―	―	5.3	釉は青白色で、畳付は釉剥ぎ。素地は白色。文様は内底に氷裂梅文。	24	L-E8落込3内1層
	7	碗	D	―	口縁部	景徳鎮	―	―	―	釉は青白色で、口唇部は釉剥ぎ。素地は灰白色。文様は外面に菊唐草文。	24	L-E8 石積23南側1層
	8	碗	E1	―	口縁部	景徳鎮	15.6	(7.6)	―	釉は透明。素地は白色。文様は外面に龍文。	24	L-E8ピット6　1層 ＋ L-E8落込3内1層
	9	碗	E1	―	底部	―	―	―	7.2	釉は透明で、畳付は釉剥ぎ。素地は白色。文様は外面に龍文。外底に銘あり、「大清康熙年製」か。	24	L-E8ピット6　1層 ＋ L-E8落込3内1層
	10	碗	E2	―	口縁部	景徳鎮	―	―	―	釉は透明。素地は白色。文様は外面に八卦文か。	24	L-E8階段2
	11	碗	―	―	口縁部	漳州	―	―	―	釉は青灰色で、薄く両面に施釉。素地は灰白色。外面に花文か。	23	N-E6上層
	12	碗	―	―	底部	漳州	―	―	7.6	釉は灰白色で、外面は胴部途中まで、内面も胴部途中まで施釉か。素地は灰白色で軟質。外面に文様あり。	―	表土
	13	碗	―	―	口～底	福建・広東	11.8	4.6	7.0	釉は青白色で、内底は蛇の目釉剥ぎで畳付付近は露胎。素地は灰白色。文様は外面に印青花。	24	M・N-E8 石積16・17間 トレンチ ＋ N-E8表土
	14	碗	―	―	口～底	福建・広東	13.4	―	7.4	釉は青白色で、口唇部は釉剥ぎで畳付付近は露胎。素地は灰白色。文様は外面に草花文。	24	L-E8石積23南側1層 ＋ J-E6・7表土
	15	碗	―	―	口～底	福建・広東	13.9	5.2	8.2	釉は青白色で、内外面共に胴部途中まで施釉。素地は灰白色。文様は外面に草花文。	24	J-E7落込2内3層
	16	碗	―	―	口～底	福建・広東	11.7	4.5	6.4	釉は明オリーブ灰色で、内底は蛇の目釉剥ぎで畳付付近は露胎。素地は灰白色。文様は外面に草花文。	24	J-E7落込2内3層
	17	碗	A2	―	底部	徳化	―	―	7.4	釉は青白色で、畳付は釉剥ぎ。素地は白色。文様は外面に蓮弁文。	23・24	石積1・2＋L-E8ピット6　1層 ＋L-E8石積23南側1層 ＋L-E8落込3内1層 ＋J-E7落込2内3層
	18	碗	A1	―	底部	徳化	―	―	6.9	釉は青白色で、畳付は釉剥ぎ。素地は灰白色。文様は外面に蓮弁文。	24	L-E8ピット6　1層 ＋ L-E8落込3内1層

第３表　中国産青花観察一覧２

図・図版番号	番号	器種	分類		部位	産地	法量（ｃｍ）			観察事項	調査年度(平成)	グリッド・層
							口径	器高	底径			
第34図 図版8	19	碗	B	直口	底部	徳化	―	―	6.1	釉は青白色で、畳付は釉剥ぎ。素地は白色。文様は外面に松竹梅文。	24	J-E7落込2内3層＋M・N-E8石積16・17間トレンチ
	20	碗	B	直口	底部	徳化	―	―	7.4	釉は青白色で、畳付は釉剥ぎ。素地は白色。文様は外面に蓮弁文。	24	K-E7石積24
第35図 図版9	21	碗	B	直口	口縁部	徳化	15.5	―	―	釉は透明。素地は灰白色。文様は外面に草花文か。	24	L-E8落込3内1層
	22	碗	C	―	口～底	徳化	12.4	―	5.0	釉は白色で、口唇部と畳付釉剥ぎ。素地は白色で軟質。文様は外面に山水文。焼成不良。	24	L-E8ピット6　1層＋L-E8落込3内1層
	23	小碗	C	―	口縁部	景徳鎮	―	―	―	釉は透明。素地は白色。文様は外面に区画内に亀甲文など。	24	J-E7落込2内3層＋M・N-E8石積16・17間トレンチ
	24	小碗	E	―	口縁部	景徳鎮	8.5	―	―	釉は透明。素地は白色で薄い。文様は外面に鳳凰文。官窯。	24	L-E8ピット6　1層
	25	小碗	E	―	口～底	景徳鎮	8.6	6.3	4.3	釉は透明で、畳付は釉剥ぎ。素地は白色で薄い。文様は外面に龍文と鳳凰文？。外底に「大清康熙年製」の銘。	24	L-E8ピット6　1層＋L-E8石積23南側1層＋L-E8落込3内1層
	26	小碗	F	―	口縁部	景徳鎮	12.4	―	―	釉は青白色。素地は白色。文様は外面に牡丹唐草文、内面に草花文。	24	L-E8ピット6　1層＋L-E8石積23南側1層＋L-E8落込3内1層
	27	小碗	F	―	底部	景徳鎮	―	―	5.3	釉は青白色で、畳付は釉剥ぎ。素地は白色。文様は外面に唐草文、内底に草花文。外底に銘あり。	24	L-E8落込3内1層＋L-E8石積23南側1層
	28	小碗	A1	―	口～底	徳化	11.6	5.6	5.4	釉は青白色で、畳付は釉剥ぎ。素地は白色。文様は外面に蓮弁文。	24	L-E8ピット6　1層＋L-E8落込3内1層＋L-E8落込3内3層
	29	小碗	A2	―	口～底	徳化	11.6	6.1	5.0	釉は青白色で、畳付は釉剥ぎ。素地は白色。文様は外面に渦文と蓮弁文。	24	L-E8ピット6　1層＋L-E8落込3内1層＋L-E8石積23南側1層
	30	小碗	A3	―	口～底	徳化	11.6	5.8	5.4	釉は透明で、畳付は釉剥ぎ。素地は灰白色。文様は外面に蓮弁文。器面は青の部分が厚くなり表面に凹凸がある。	24	L-E8ピット6　1層＋L-E8落込3内1層
	31	小碗	B	端反	口縁部	徳化	12.2	―	―	釉は透明。素地は白色。文様は外面に花文。	24	L-E8ピット6　1層
	32	小碗	B	端反	口縁部	徳化	8.6	―	―	釉は青白色。素地は白色。文様はペンシルドローイングで草花文。	24	J-E7落込2内3層＋N-E8表土
	33	小碗	B	―	底部	徳化	―	―	4.6	釉は透明で、畳付は釉剥ぎ。素地は白色。文様は外面にペンシルドローイングで唐草文、内底に草花文か。外底に銘あり。	24	M・N-E8 石積16西側
	34	小碗	B	端反	口～底	徳化	11.6	5.9	5.2	釉は青白色で、畳付は釉剥ぎ。素地は白色。文様は内外面共に区画内に花文。外底に銘あり。	24・―	L-E8ピット6　1層＋L-E8落込3内1層＋L-E8石積23南側1層＋表土
	35	碗	C	―	口縁部	徳化	―	―	―	釉は透明。素地は青白色。文様は外面に龍文、内面は不明。	24	K-F8石積22
	36	小碗	C	―	底部	徳化	―	―	3.4	釉は透明。素地は白色。文様は外面に蓮弁文。	―	表土
	37	小杯	C	―	口縁部	徳化	3.2	―	―	釉は青白色。素地は白色。文様は外面に点文など。	24	M・N-E8 石積16西側
	38	餌入れ	―	―	口縁部	景徳鎮	3.4	―	―	釉は透明。素地は白色。文様は外面に草花文。	―	表土
	39	瓶	―	―	口縁部	景徳鎮	7.6	―	―	釉は青白色で、口唇の一部が露胎。素地は白色。文様は内面口縁に二条の圏線。	24	L-E8落込3内1層

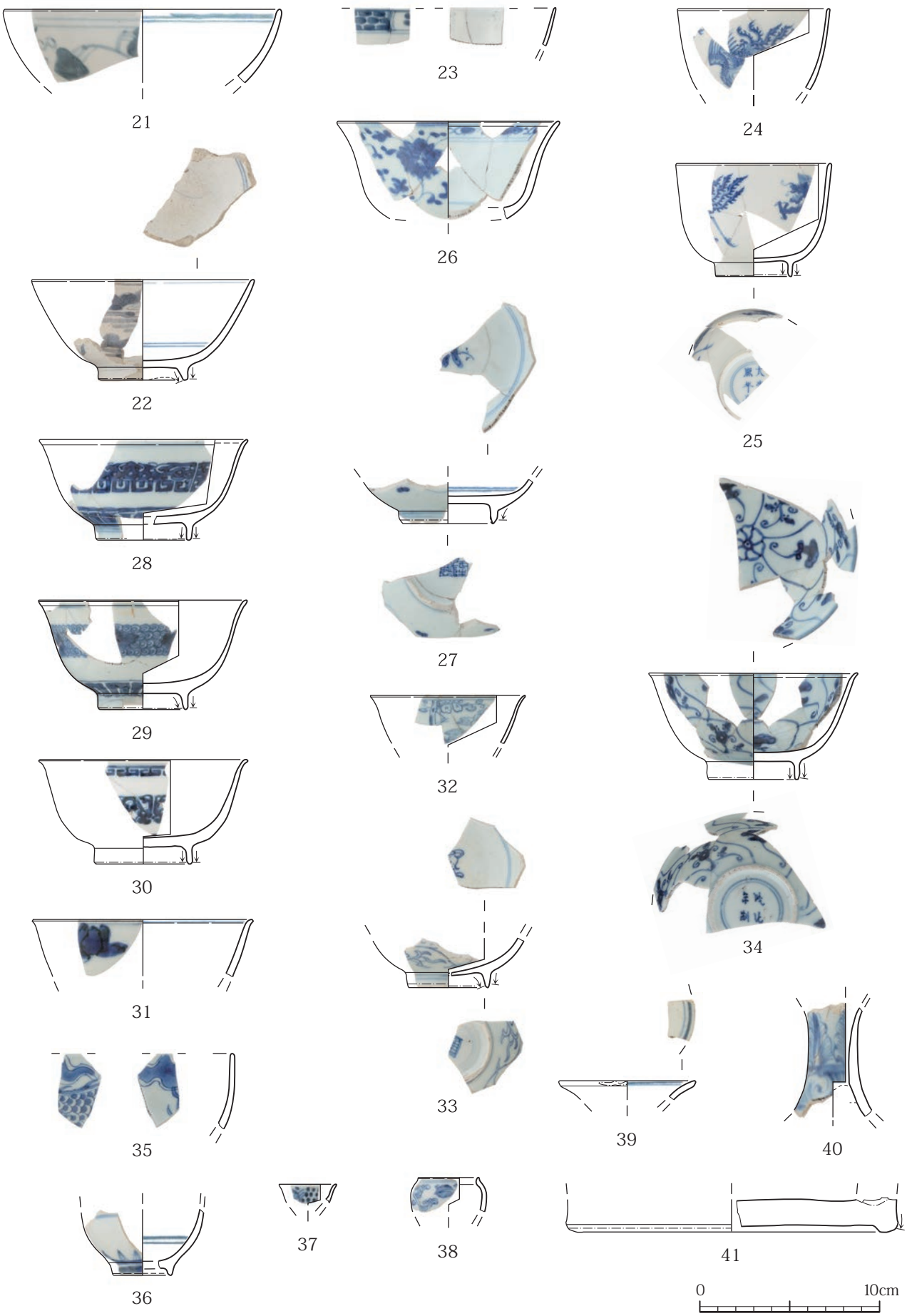
第３表　中国産青花観察一覧３

図・図版番号	番号	器種	分類		部位	産地	法量（ｃｍ）			観察事項	調査年度(平成)	グリッド・層
							口径	器高	底径			
第35図 図版9	40	瓶	—	—	胴部	景徳鎮	—	—	—	釉は青白色。素地は白色。文様は芭蕉文と波濤文。	24	O-E7・8 石積20南側2層
	41	壺	—	—	底部	漳州	—	—	18.4	釉は灰白色で、外底は露胎。素地はにぶい橙色。底部と胴部は胴接ぎか。	24	N-E8 石積20トレンチ1層
第36図 図版10	42	Ⅲ	A1	—	口縁部	景徳鎮	12.4	—	—	釉は青白色。素地は白色。文様は外面に宝相華唐草文。	24	L-E8 石積23南側1層
	43	Ⅲ	A2	—	口～底	景徳鎮	11.5	2.6	7.1	釉は透明で、畳付は釉剥ぎ。素地は白色。文様は内底に菊花文。外底に銘あり。	24	J-E7落込2内3層
	44	Ⅲ	B	—	口～底	景徳鎮	11.2	2.1	6.8	釉は青白色で、畳付は釉剥ぎ。素地は白色。文様は内底に草花文。	24	L-E8落込3内1層
	45	Ⅲ	C3	—	口縁部	景徳鎮	—	—	—	釉は透明。素地は白色。文様は内面に菱形文。	24	L-E8落込3内1層
	46	Ⅲ	C1	—	口～底	景徳鎮	11.5	2.4	6.2	釉は青白色。素地は白色。文様は外面に唐草文、内底に草花文か。	24	L-E8ピット6　1層 ＋L-E8石積23南側1層 ＋L-E8落込3内1層
	47	Ⅲ	C1	—	口縁部	景徳鎮	17.3	—	—	釉は青白色。素地は灰白色。文様は内外面共にあり。	24	L-E8落込3内3層
	48	Ⅲ	C1	—	底部	景徳鎮	—	—	6.2	釉は青白色で、畳付は釉剥ぎ。素地は白色。文様は内底に唐草文。外底に銘あり。	24	L-E8石積23南側1層 ＋ N-E8表土
	49	Ⅲ	C1	—	底部	景徳鎮	—	—	5.6	釉は透明で、畳付は釉剥ぎ。素地は白色。文様は内底に字文。	24	L-E8落込3内1層
	50	Ⅲ	C3	—	底部	景徳鎮	—	—	7.6	釉は透明で、畳付は釉剥ぎ。素地は白色。文様は内底に山水文。青の発色が薄い。	24	L-E8落込3内1層
	51	Ⅲ	C2	—	口～底	景徳鎮	11.2	2.2	5.6	釉は青白色で、畳付は釉剥ぎ。素地は白色。文様は外面に唐草文、内底に風景文。外底に銘あり。	24	L-E8 石積23南側1層
	52	Ⅲ	C4	—	底部	景徳鎮	—	—	6.7	釉は透明で、畳付は釉剥ぎ。素地は白色。文様は内底に宝珠文。	24	J-E7落込2内3層
	53	Ⅲ	E	—	口～底	景徳鎮	15.6	3.0	9.8	釉は透明で、畳付は釉剥ぎ。素地は白色。文様は外面に宝珠文、内底に唐草文。官窯。	24	L-E8ピット6　1層 ＋ L-E8落込3内1層
	54	Ⅲ	E	—	底部	—	—	—	9.4	釉は透明で、畳付は釉剥ぎ。素地は白色。文様は内底に唐草文。外底に銘あり、「大清雍正年製」か。	24	L-E8ピット6　1層 ＋ L-E8落込3内1層
	55	Ⅲ	A	端反	口～底	徳化	10.8	2.5	5.6	釉は青白色で、畳付は釉剥ぎ。素地は白色。文様が外面に花文、内面に渦文。	24	L-E8石積23南側1層 ＋M-E8・9石積17東側3層＋表土
	56	Ⅲ	B	端反	口～底	徳化	15.6	2.8	9.8	釉は青白色で、畳付は釉剥ぎ。素地は灰白色。文様は内底に区画内に梅花文。	24	L-E8落込3内1層
	57	Ⅲ	B	直口	口縁部	徳化	14.0	—	—	釉は青白色。素地は白色。内外面に文様あり。	24	J-E7落込2内3層
	58	鉢	—	—	底部	福建・広東	—	—	13.0	釉は青白色で、畳付は釉剥ぎ、内定は蛇の目釉剥ぎ。素地は灰白色。文様は内底に印文あり。	—	表土

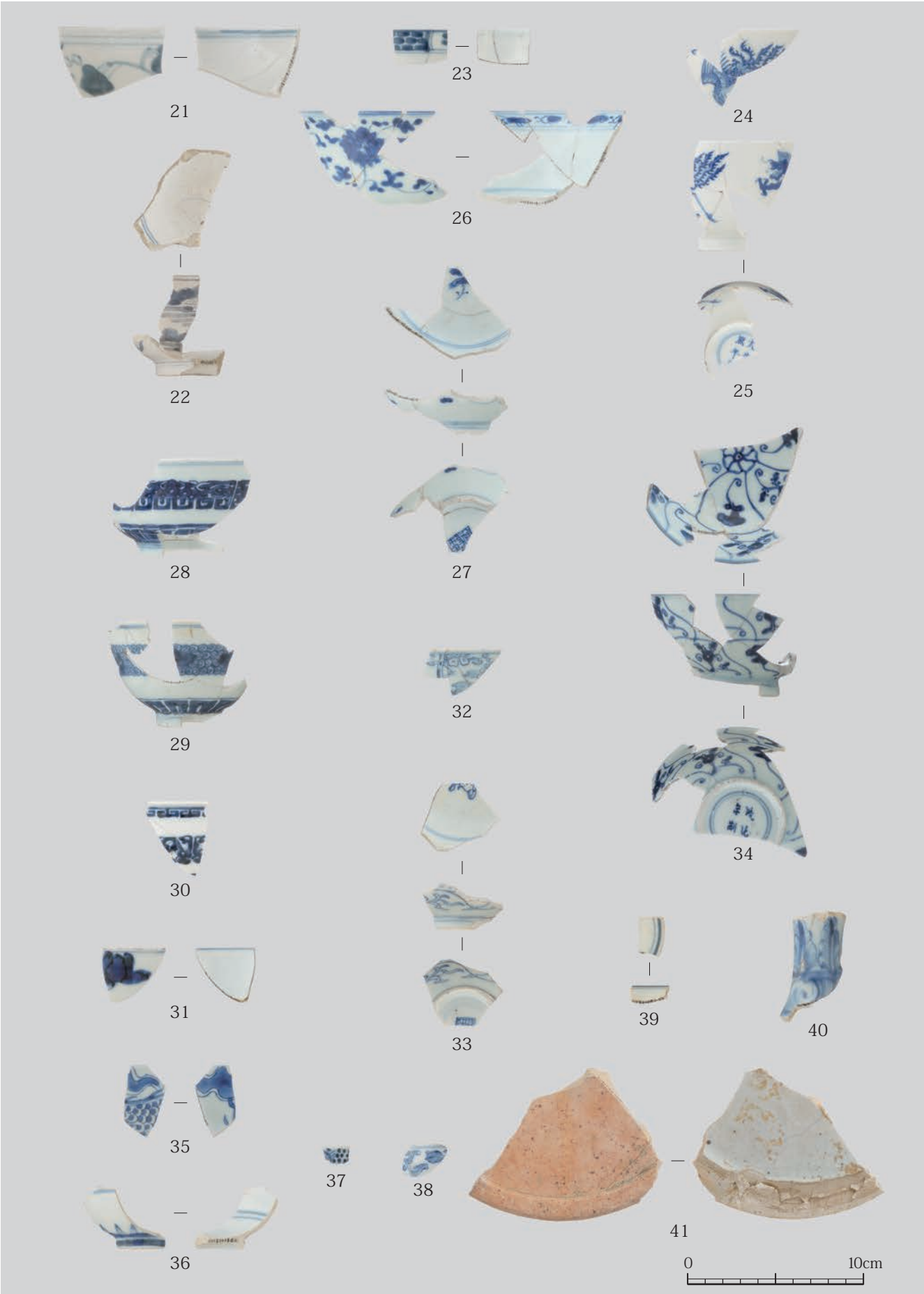


第 34 図　中国産青花 1

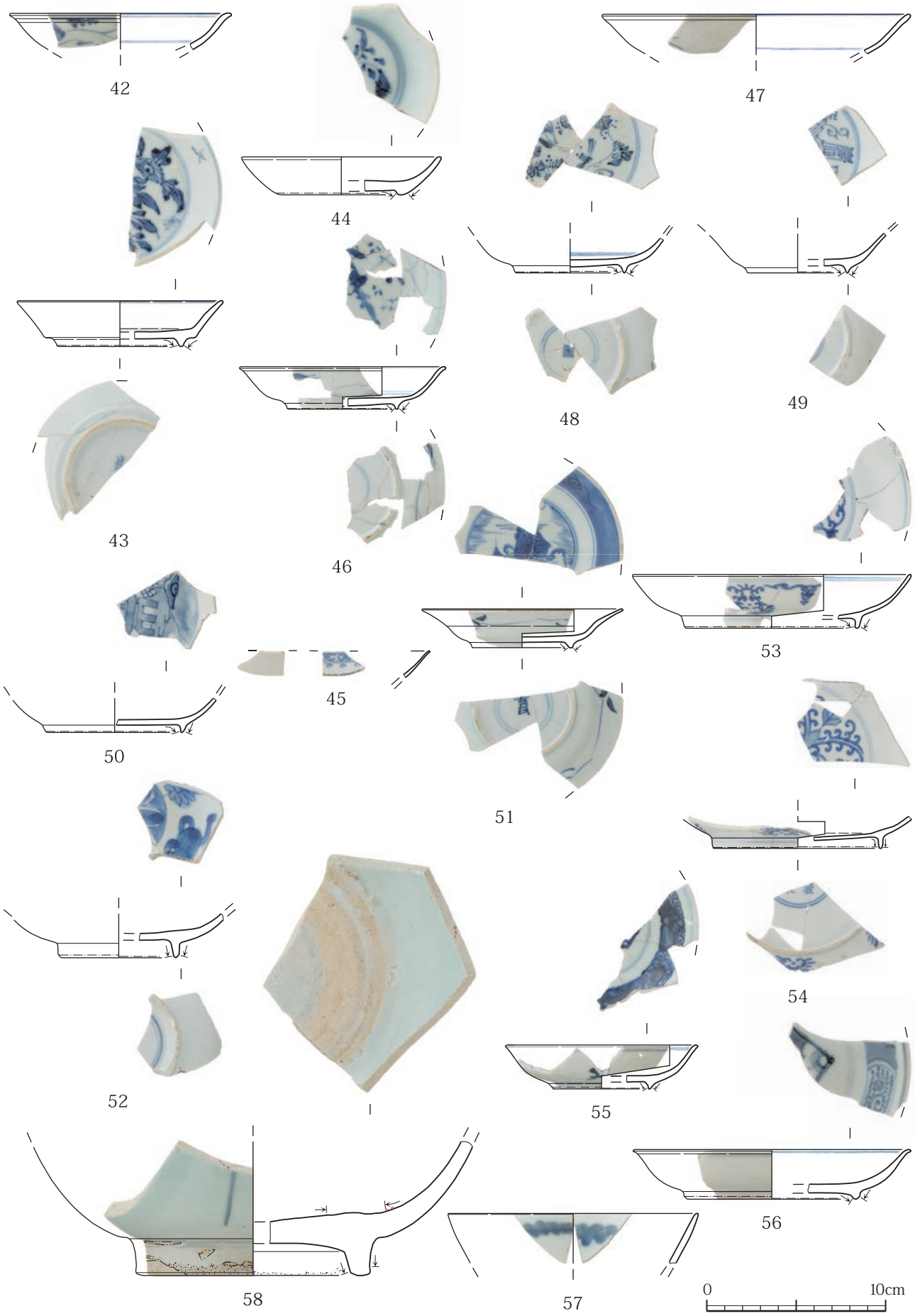
図版 8　中国産青花 1



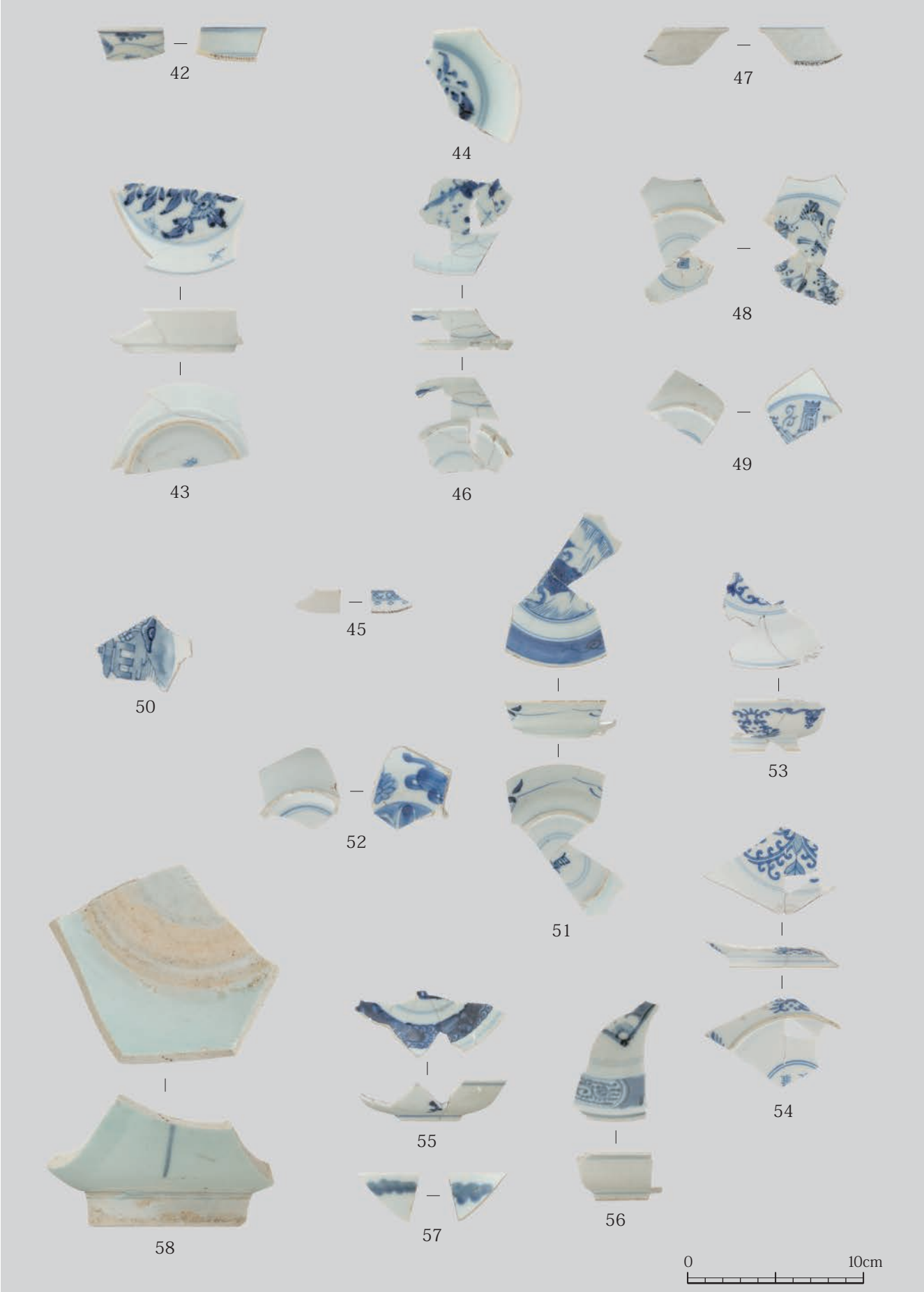
第 35 図　中国産青花 2



図版 9　中国産青花 2



第 36 図　中国産青花 3



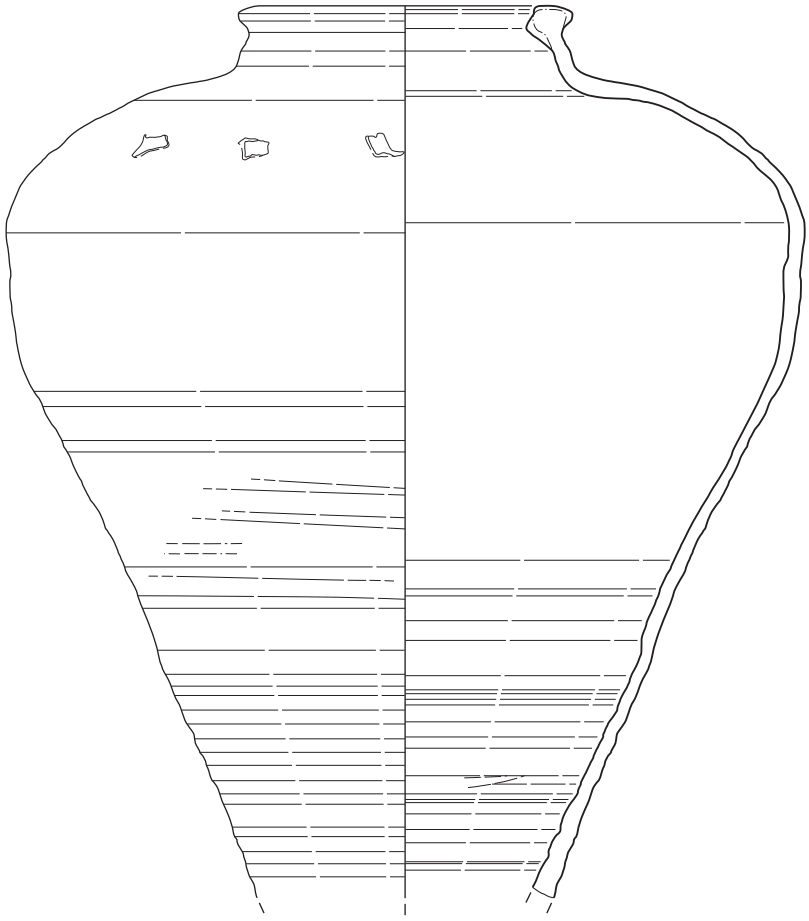
図版 10　中国産青花 3

4　褐釉陶器

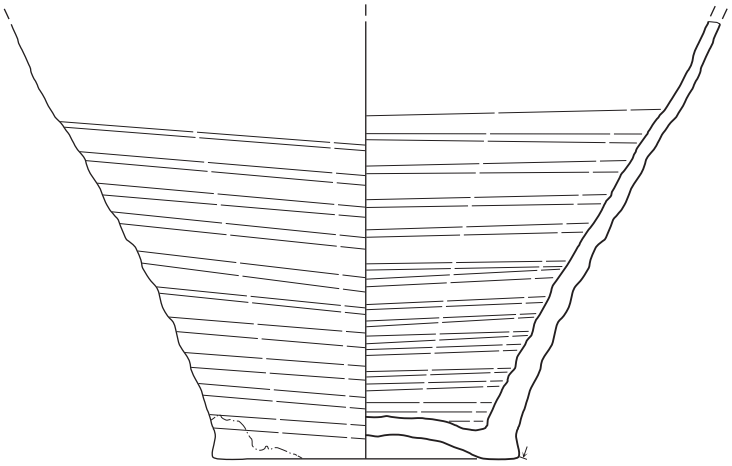
総点数 1,264 点が出土している（第 28 表）。器種は壺・小壺・鉢・擂鉢・蓋・袋物等が確認され、壺が多い。以下に特徴的な 16 点を図化し、個々の所見を観察表（第 4 表）に記す。

第 4 表　中国産褐釉陶器観察一覧

図・図版番号	番号	器種	分類	部位	法量（ｃｍ）			釉(色・範囲)	素地(色・質・混和材)	所見	調査年度(平成)	グリッド・層
					口径	器高	底径					
第37図 図版11	1	壺	A	口～胴	17.65	—	—	暗褐色の釉を両面に施釉。	灰黄褐色で、白色鉱物や黒色粒を含む。	肩部に4～6cmの間隔で胎土目付着。胎土目の形は不規則な方形で大きさは1.5～2.5cm。	24	K-E7落込2内1層
	2	壺	A	胴～底	—	—	16.2	暗灰黄色の釉を両面に施釉。外底は露胎。	灰黄褐色で、白色鉱物や黒色粒を含む。	外底に６つの胎土目の付着。	24	K-E7落込2内1層
第38図 図版12	3	壺	B	口縁部	13.4	—	—	灰黄色の釉を両面に施釉か。内面の釉は摩滅か。	灰黄色で、白色粒や赤色物を含む。	肩部に線条痕あり。内面には叩き具の痕あり。	24	L-E8 石積23南側1層
	4	壺	C-1	口縁部	13.2	—	—	外面は灰黄色、内面は暗褐色と、にぶい赤褐色の釉を施釉。	灰黄褐色で、白色鉱物や黒色粒を含む。	外面の釉は摩滅している。	24	O-E7・8 石積20南側2層
	5	壺	C-2	口縁部	13.0	—	—	暗褐色の釉を両面に施釉。	にぶい橙色で、白色鉱物や赤色粒を含む。	—	24	O-E7・8 石積20南側2層
	6	壺	C-2	底部	—	—	11.4	不明。	灰白色で黒色粒を含む。	—	24	J-E6表土
	7	壺	C-3	口縁部	13.4	—	—	暗褐色の釉を両面に施釉。	赤灰色で、白色粒を含む。	釉は部分的に白っぽくなる。	24	L-E8 石積23南側1層
	8	壺	C-3	底部	—	—	12.4	不明。	赤褐色で、白色鉱物や白色粒を含む。	—	—	表土
	9	壺	D	口縁部	18.5	—	—	オリーブ褐色の釉を外面と内面頸部に施釉。口唇部は釉剥ぎ。	赤褐色で、白色鉱物や赤色粒を含む。	—	24	L-E8落込3内1層
	10	壺	D	胴部	—	—	—	褐色の釉を外面と内面頸部まで施釉。	灰黄褐色で、白色鉱物や黒色粒を含む。	縦耳が付く。釉が剥がれている。	—	表土
	11	壺	E	口縁部	—	—	—	褐色の釉を両面に施釉。	赤褐色で、白色粒や黒色粒を含む。	—	24	K-E6表土
	12	小壺	—	口縁部	8.3	—	—	褐色の釉を、両面に施釉。	暗赤褐色で、白色粒を含む。	—	24	K-E7石積24
	13	小壺	—	口縁部	7.0	—	—	褐色の釉を施釉。口唇部を施釉。	灰黄褐色で、白色粒を含む。	—	23	O-E6上層
	14	鉢	A	口縁部	—	—	—	摩滅が激しく、色は不明だが、外面に施釉。口唇部は釉剥ぎ。	橙色で、白色粒を含む。	口唇端部は波状を呈する。	24	K-E7表土
	15	鉢	A	胴部	—	—	—	灰黄色の釉を外面に施釉。	素地は灰黄褐色で、赤色粒を含む。	外面は鉄絵で圏線内に唐草文か。	24	L-E8落込3内3層
	16	鉢	B-1	口縁部	30.0	—	—	無釉。	灰白色で、白色粒を含む。	口唇端部は波状を呈する。	23	石積2トレ2層



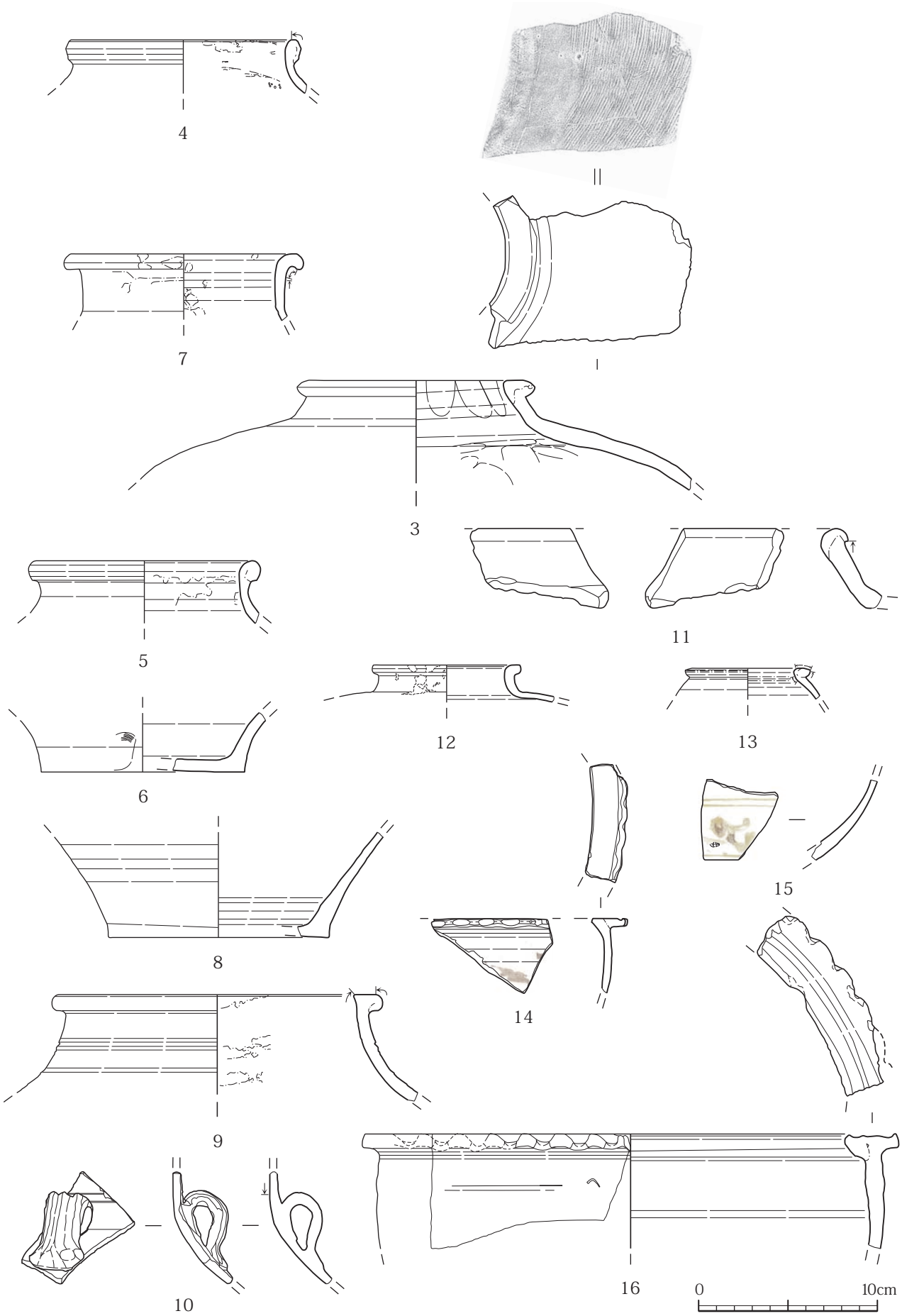
1



2

第 37 図　中国産褐釉陶器 1

図版 11　中国産褐釉陶器 1



第 38 図　中国産褐釉陶器 2

図版 12　中国産褐釉陶器 2

5　その他の陶磁器

総点数 455 点が出土している（第 29 表）。豆彩・粉彩・琺瑯彩・五彩・素三彩・瑠璃釉・紅釉・緑釉・褐釉磁器・法花・青磁染付・銅緑釉・白釉・無釉・紫砂等の多種に及ぶ資料が確認されている。中には中国清朝陶磁器の官窯製品も多数出土している。以下に特徴的な 50 点を図化し、個々の所見を観察表（第 5 表）に記す。

第 5 表　その他の中国産陶磁器観察一覧 1

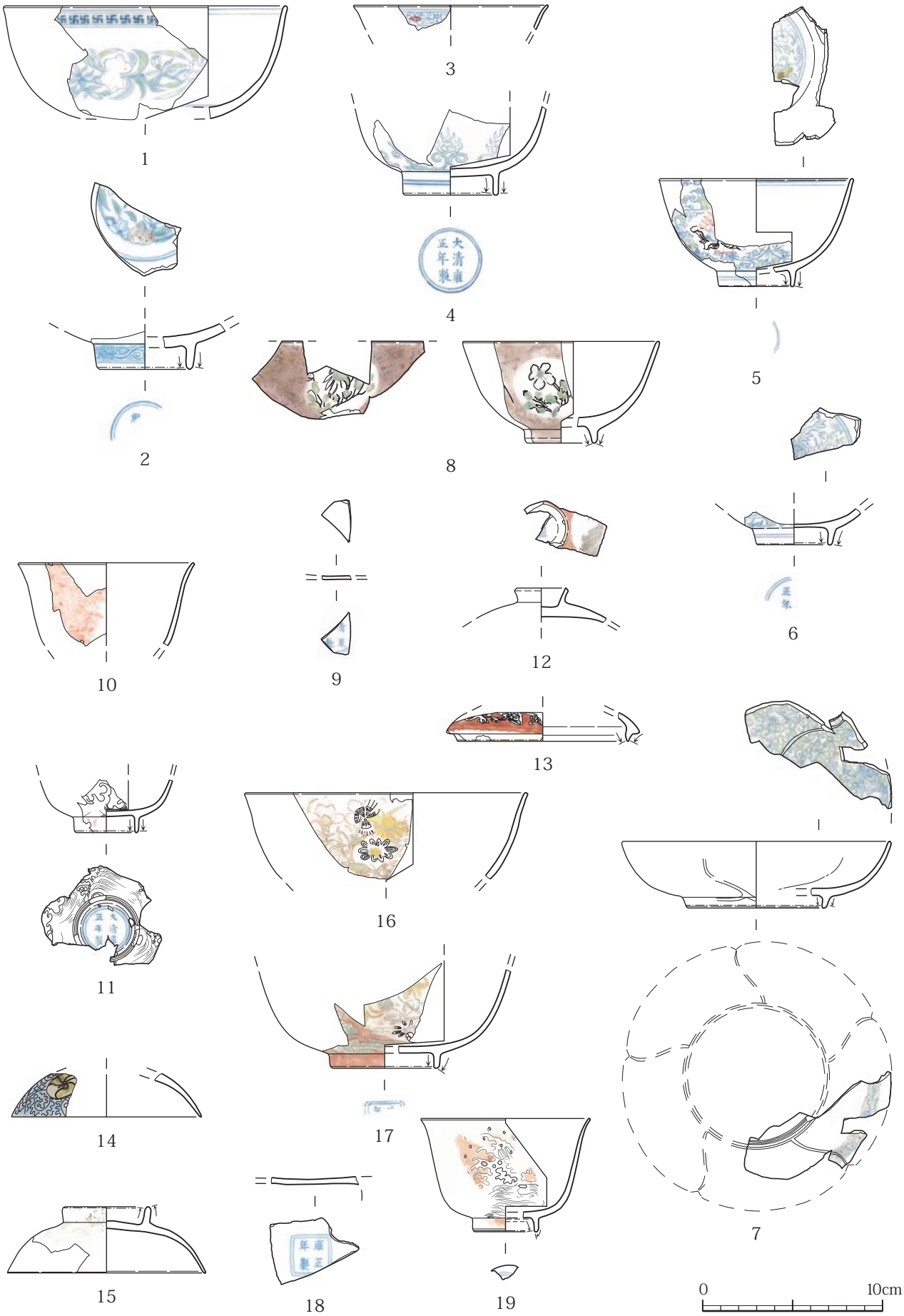
図・図版番号	番号	種別	器種	分類	部位	産地	法量（cm）			観察事項	調査年度(平成)	グリッド・層
							口径	器高	底径			
第39図 図版13	1	豆彩	碗	A	口縁部	景徳鎮	15.8	—	—	釉は透明。素地は白色。文様は外面に柘榴文で染付に赤・緑・黄で着色、卍文は染付。官窯。	24	L-E8ピット6　1層 ＋L-E8落込3内1層 ＋L-E8石積23南側1層
	2	豆彩	碗	A	底部	景徳鎮	—	—	5.3	釉は透明で、畳付は釉剥ぎ。素地は白色。文様は外面高台に染付で不明文、内底に柘榴文で染付に赤・緑で色づけ。外底に染付で「大清康熙年製」の銘。	24	L-E8落込3内1層
	3	豆彩	碗	B	口縁部	景徳鎮	10.8	—	—	釉は透明。素地は白色。文様は外面に花唐草文と字文で染付に赤で着色。官窯。	24	L-E8落込3内1層
	4	豆彩	碗	B	底部	景徳鎮	—	—	5.3	釉は透明で、畳付は釉剥ぎ。素地は白色。文様は外面にアラベスク文で染付に赤・黄で着色。外底に染付で「大清雍正年製」の銘。	24	L-E8ピット6　1層 ＋L-E8落込3内1層 ＋L-E8石積23南側1層
	5	豆彩	小碗	—	口～底	景徳鎮	10.8	6.0	4.2	釉は透明で、畳付は釉剥ぎ。素地は白色。文様は外面に牡丹唐草で染付に赤・緑で着色。官窯。	24	L-E8ピット6　1層 ＋ L-E8落込3内1層
	6	豆彩	小碗	—	底部	景徳鎮	—	—	4.2	釉は透明で、畳付は釉剥ぎ。素地は白色。文様は外面と内底に牡丹唐草文で染付に緑などで着色。外底に染付で「大清雍正年製」の銘。	24	L-E8 石積23南側1層
	7	豆彩	皿	—	口～底	景徳鎮	15.0	3.7	7.8	釉は透明で、畳付は釉剥ぎ。素地は白色。文様は外面に唐草文で内面に花唐草文で染付に赤・緑・黄で着色。	24	L-E8ピット6　1層 ＋ L-E8落込3内1層
	8	粉彩	小碗	A	口～底	景徳鎮	11.0	5.65	4.0	釉は透明で、畳付は釉剥ぎ。素地は白色。文様は全体的に赤で円の区画に赤・緑で草花文。	24	L-E8落込3内1層
	9	粉彩	小碗	A	底部	景徳鎮	—	—	—	釉は透明。素地は白色。外底に染付で「大清康熙年製」の銘。	24	L-E8落込3内1層
	10	粉彩	小碗	A	口縁部	景徳鎮	9.8	—	—	釉は透明。素地は白色。文様は外面に赤で着色し、線彫りと白抜きで波濤文か。官窯。	24	L-E8落込3内1層 ＋ L-E8石積23南側1層
	11	粉彩	小碗	A	底部	景徳鎮	—	—	3.6	釉は透明で、畳付は釉剥ぎ。素地は白色。文様は赤で着色し、線彫りと白抜きで波濤文。外底に染付で「大清雍正年製」の銘。	24	L-E8石積23南側1層 ＋ L-E8落込3内1層
	12	粉彩	蓋	A	撮～胴部	景徳鎮	(撮) 3.0	—	—	釉は透明で、撮端部は釉剥ぎ。素地は白色。文様は赤で着色し、円形の白抜き部分に風景文か。染付で銘あり。	24	L-E8落込3内1層 ＋ L-E8 石積23南側1層
	13	粉彩	蓋	A	庇	景徳鎮	(庇) 10.8	—	(袴) 9.6	釉は透明。素地は白色。文様は赤で着色し、線彫りと白抜きで花唐草文か。	24	L-E8ピット6　1層
	14	粉彩	蓋	B	庇端部	景徳鎮	(庇) 10.6	—	—	釉は透明で、庇端部を釉剥ぎ。素地は灰白色。文様は青に着色した部分は線彫りで唐草文、円形の白抜き部分は緑？で花文か。	24	L-E8ピット6　1層
	15	粉彩	蓋	C	撮～庇	景徳鎮	(撮) 4.9	3.7	(庇) 11.0	釉は透明で、撮端部は釉剥ぎ。素地は白色。撮の外面まで緑？で着色。	24	L-E8ピット6　1層
	16	琺瑯彩	碗	—	口縁部	景徳鎮	15.8	—	—	釉は青白色。素地は白色。文様は外面に撫子などの草花文で、輪郭などは黒で引き赤・緑・黄で着色、背景は赤で着色。官窯。	24	L-E8ピット6　1層 ＋ L-E8落込3内1層
	17	琺瑯彩	碗	—	底部	景徳鎮	—	—	6.0	釉は青白色で、畳付は釉剥ぎ。素地は白色。文様は外面に草花文で、輪郭などは黒で引き赤・緑・黄で着色、背景は赤で着色。外底に染付で銘あり。官窯。	24	L-E8ピット6　1層 ＋L-E8落込3内1層 ＋L-E8石積23南側1層

第５表　その他の中国産陶磁器観察一覧２

図・図版番号	番号	種別	器種	分類	部位	産地	法量（ｃｍ）			観察事項	調査年度(平成)	グリッド・層
							口径	器高	底径			
第39図図版13	18	琺瑯彩	碗	―	底部	景徳鎮	―	―	―	釉は青白色。素地は白色。外底に染付で「雍正年製」の銘あり。	24	L-E8ピット6　1層
	19	琺瑯彩	小碗	―	口～底	景徳鎮	9.4	6.3	3.7	釉は透明。素地は白色。文様は外面に赤で着色し、線彫りと白抜きで波濤文か。官窯。	24	L-E8ピット6　1層＋L-E8落込3内1層＋J-E6・7表土
第40図図版14	20	五彩	碗	B	口～底	景徳鎮	12.4	6.0	4.4	釉は透明で、口唇部と畳付は釉剥ぎ。素地は白色。文様は蓮弁文と花唐草文で赤・青・緑・黄で着色。	24	L-E8 石積23南側2層
	21	五彩	蓋	B	撮～庇	景徳鎮	(庇) 9.8	―	―	釉は透明で、庇端部は釉剥ぎ。素地は灰白色。文様は蓮弁文と花唐草文で、赤・青で着色。染付で銘あり。	24	L-E8 石積23南側1層
	22	五彩	小碗	C	口～底	景徳鎮	8.7	5.75	3.9	釉は透明で、畳付は釉剥ぎ。素地は白色。文様が外面に竹文と漢詩で、着色は落ちている。外底に赤で銘あり。	24	L-E8石積23南側1層＋L-E8落込3内1層
	23	五彩	小碗	C	口～底	景徳鎮	10.6	4.2	4.3	釉は透明で、畳付は釉剥ぎ。素地は白色。文様が外面に竹文と漢詩で、着色は落ちている。	―	表土
	24	五彩	碗	C	底部	景徳鎮	―	―	6.4	釉は透明で、畳付は釉剥ぎ。素地は白色。	24	L-E8ピット6　1層
	25	五彩	皿	C	口～底	景徳鎮	12.6	3.1	7.7	釉は透明で、畳付は釉剥ぎ。素地は白色。文様は外面に蓮弁文で、型打ち成形か。	24	L-E8ピット6　1層＋L-E8落込3内1層
	26	五彩	小碗	―	口～底	徳化	8.0	4.0	3.3	釉は透明で、口唇部と畳付は釉剥ぎ、外底は一部露胎。素地は白色。文様は草花文で、緑に着色。畳付に砂付着。	24	L-E8 石積23南側1層
	27	素三彩	皿	―	口～底	景徳鎮	15.0	5.35	9.3	釉は透明で、畳付は釉剥ぎ。素地は白色。文様は雷文や瑞雲文？を彫り、緑で着色。外底に染付で銘あり。官窯。	24	L-E8落込3内1層＋L-E8石積23南側1層
	28	素三彩	皿	―	底部	景徳鎮	―	―	9.5	釉は透明で、畳付は釉剥ぎ。素地は白色。文様は雷文や瑞雲文？を彫り、緑で着色。外底に染付で銘あり。官窯。	24	L-E8ピット6　1層＋L-E8落込3内1層
	29	瑠璃釉	小碗	―	口縁部	景徳鎮	9.4	―	―	外面は瑠璃釉、内面は青白色釉で、口唇部は釉剥ぎ。素地は白色。文様は外面に龍文で、色は落ちている。	24	L-E8落込3内1層
	30	瑠璃釉	小碗	―	底部	景徳鎮	―	―	4.0	外面は瑠璃釉、内面は青白色釉で、畳付は釉剥ぎ。素地は白色。外面に文様はあるが、色が落ちている。	24	L-E8 石積23南側1層
	31	瑠璃釉	蓋	―	撮～胴部	景徳鎮	(撮) 4.0	―	―	外面は瑠璃釉、内面は透明釉で、撮端部は釉剥ぎ。素地は白色。文様は外面に金の圏線。染付で「大清乾隆年製」の銘。	24	L-E8落込3内1層
	32	瑠璃釉	蓋	―	庇端部	景徳鎮	(庇) 10.2	―	―	外面は瑠璃釉、内面は青白色釉で、庇端部は釉剥。素地は白色。文様は外面に圏線で、色は落ちている。	24	L-E8 石積23南側1層
	33	瑠璃釉	小碗	―	口縁部	徳化	9.0	―	―	外面は瑠璃釉、内面は透明釉で、口唇部は釉剥ぎ。素地は白色。	23	O-E5表土
	34	瑠璃釉	小杯	―	口～底	徳化	4.1	2.4	2.1	外面は瑠璃釉、内面は透明釉。素地は白色。畳付に砂付着。	24	J-E7落込2内3層
	35	紅釉	碗	―	口～底	景徳鎮	14.8	8.55	7.2	外面は紅釉、内面は青白色釉で、畳付は釉剥ぎ。素地は白色。外底に染付で銘あり。官窯。	24	L-E8ピット6　1層
	36	紅釉	碗	―	底部	景徳鎮	14.8	8.55	7.1	外面は紅釉、内面は青白色釉で、畳付は釉剥ぎ。素地は白色。外底に染付で「大清康熙年製」。	24	L-E8ピット6　1層＋L-E8落込3内1層＋L-E8石積23南側1層

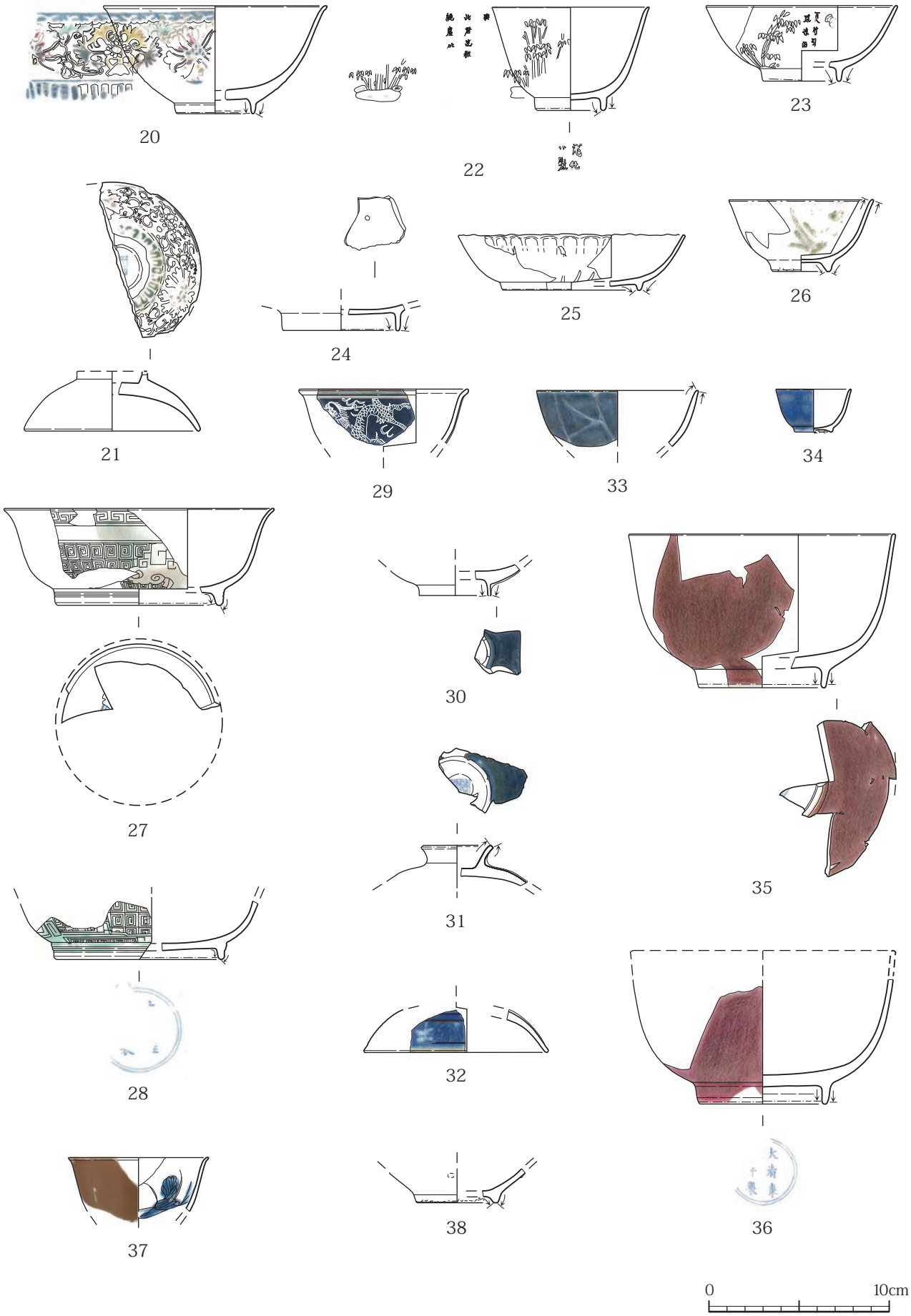
第５表　その他の中国産陶磁器観察一覧３

図・図版番号	番号	種別	器種	分類	部位	産地	法量（ｃｍ）			観察事項	調査年度(平成)	グリッド・層
							口径	器高	底径			
第40図 図版14	37	褐釉染付	小碗	—	口縁部	景徳鎮	7.8	—	—	外面は褐釉、内面は青白色釉で、口唇部は釉剥ぎ。素地は白色。文様は内面に染付と色絵で草花文。	24	J-E7落込2内3層
	38	褐釉磁器	小碗	—	底部	徳化	—	—	4.6	外面は褐釉、内面は透明釉で、畳付きは釉剥ぎ。素地は灰白色。畳付に砂付着。	—	表土
第41図 図版15	39	法花	瓶	—	胴部	景徳鎮	—	—	—	釉は外面に青で内面は露胎。素地は白色。胴接ぎ。	24	K-E7落込2内1層
	40	青磁染付	小碗	—	口縁部	中国	10.0	—	—	外面は青磁釉、内面は透明釉。素地は白色。文様は内面に八卦文。	—	表土
	41	天目	碗	—	口縁部	中国	11.6	—	—	褐色釉と黒褐色釉を二度掛け、外面は胴部途中まで施釉。素地はにぶい橙色。	24	K-E7表土
	42	天目	碗	—	底部	中国	—	—	5.0	黒褐色釉と褐色釉を二度掛け、外底は露胎。素地は灰白色。	24	L-E8落込3内1層
	43	銅緑釉	蓋	A	蓋甲	中国	—	—	—	釉は銅緑釉を外面に施釉。素地は浅黄橙色で軟質。文様は蓮弁文。撮みは円形の粘土を貼り付け、貼り付ける部分の蓋甲は粘土を削り取っている。	24	J-E7落込2内3層
	44	銅緑釉	蓋	A	庇	中国	—	—	—	釉は銅緑釉を片面に施釉。素地は灰白色で軟質。	—	表土
	45	銅緑釉	蓋	B	庇～蓋甲	中国	(庇) 12.0	—	(袴) 11.4	釉は銅緑釉で、外面に施釉し釉剥ぎ。素地は浅黄橙色で軟質。釉は部分的に白色に変色している。	24	J-E7 石積21 トレンチ1層
	46	無釉陶器	水注	—	口縁部	中国	8.0	—	—	素地はにぶい橙色で、白色粒を含む。口唇部に窪みがある。	24	O-E7 石積20南側5-2層
	47	紫砂	急須	A	口縁部	中国	4.4	—	—	素地は明赤褐色。外面は磨いている。	24	L-E8 石積23南側2層
	48	紫砂	蓋	A	庇～蓋甲	中国	(庇) 8.8	—	(袴) 7.2	素地は明赤褐色で、雲母？を含む。外面は磨いている。	24	L-E8 石積23南側1層
	49	紫砂	蓋	A	庇～蓋甲	中国	(庇) 4.0	—	(袴) (3.4)	素地は赤褐色。両面を磨くが内面はやや雑。	—	表土
	50	紫砂	蓋	B	庇～蓋甲	中国	(庇) 4.2	—	(袴) 3.3	素地は灰赤色。外面を磨いている。	24	K-E7階段2



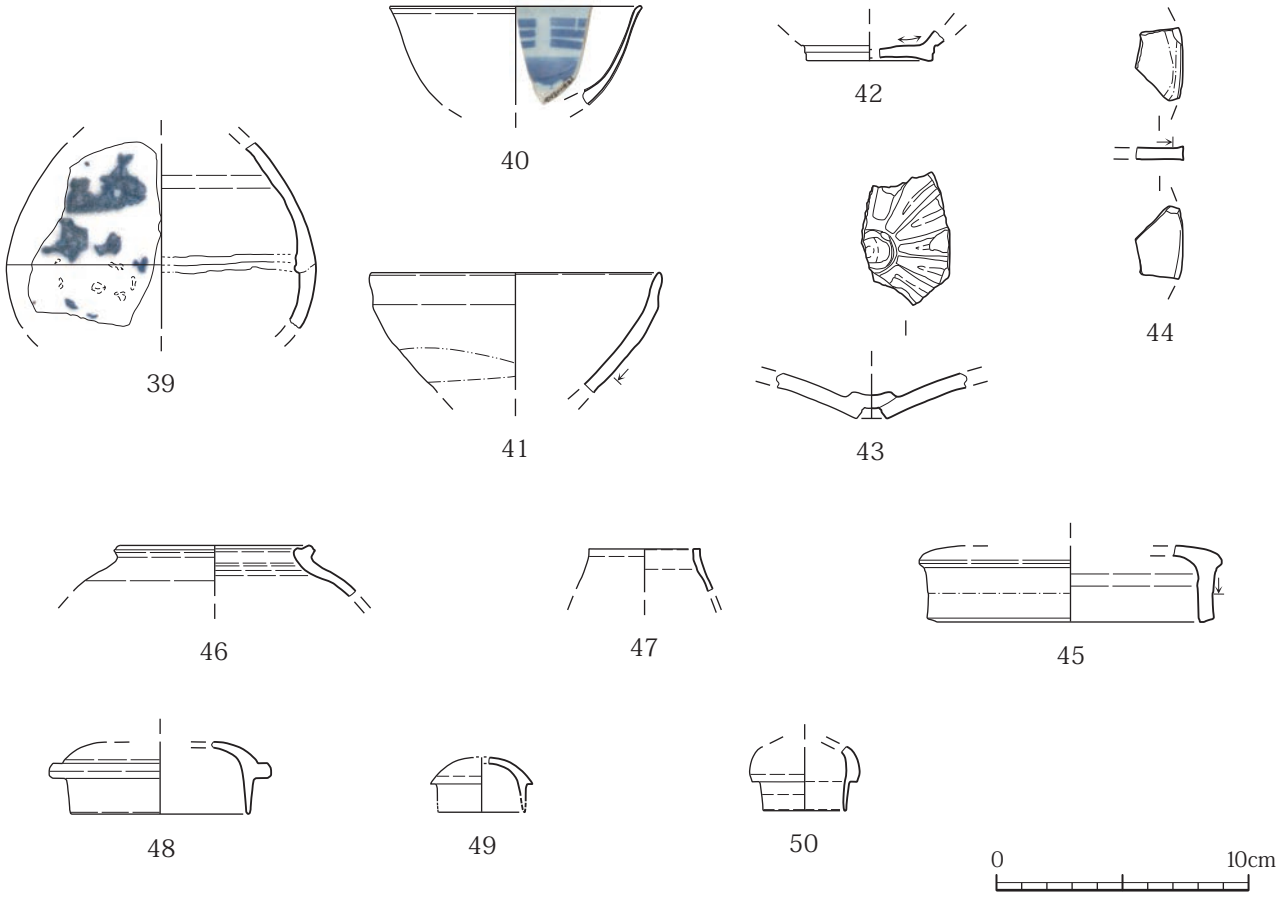
第 39 図　その他の中国産陶磁器 1

図版 13　その他の中国産陶磁器 1

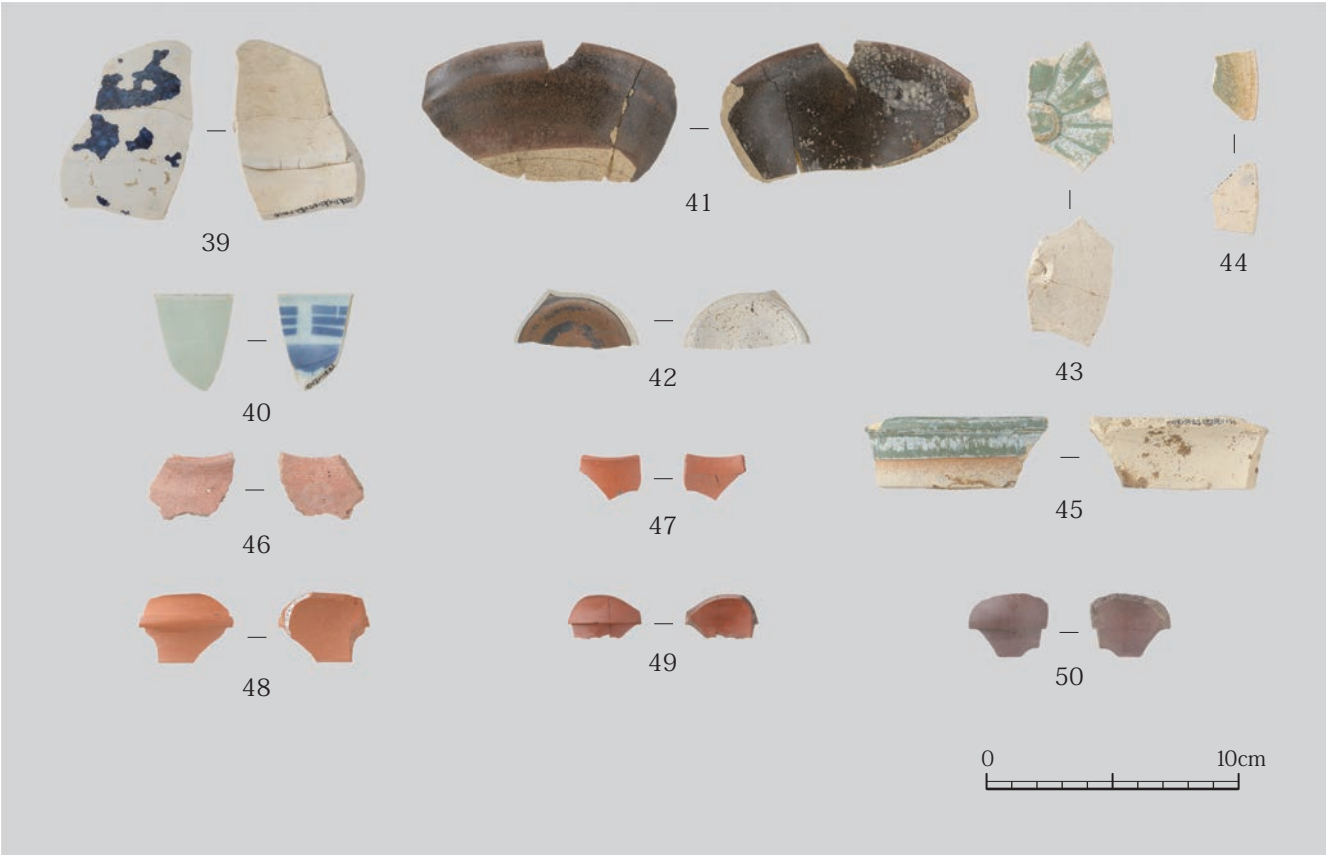


第 40 図　その他の中国産陶磁器 2

図版 14　その他の中国産陶磁器 2



第 41 図　その他の中国産陶磁器 3



図版 15　その他の中国産陶磁器 3

第２項　その他の輸入陶磁器・土器

タイ産陶磁器は褐釉陶器・青磁・半練土器・無釉陶器等、372 点が出土している（第 30 表）。

ベトナム産陶磁器は染付等、22 点が出土している（第 33 表）。

朝鮮産陶磁器は象嵌青磁が 17 点出土している（第 32 表）。器種は碗・皿類が確認されている。

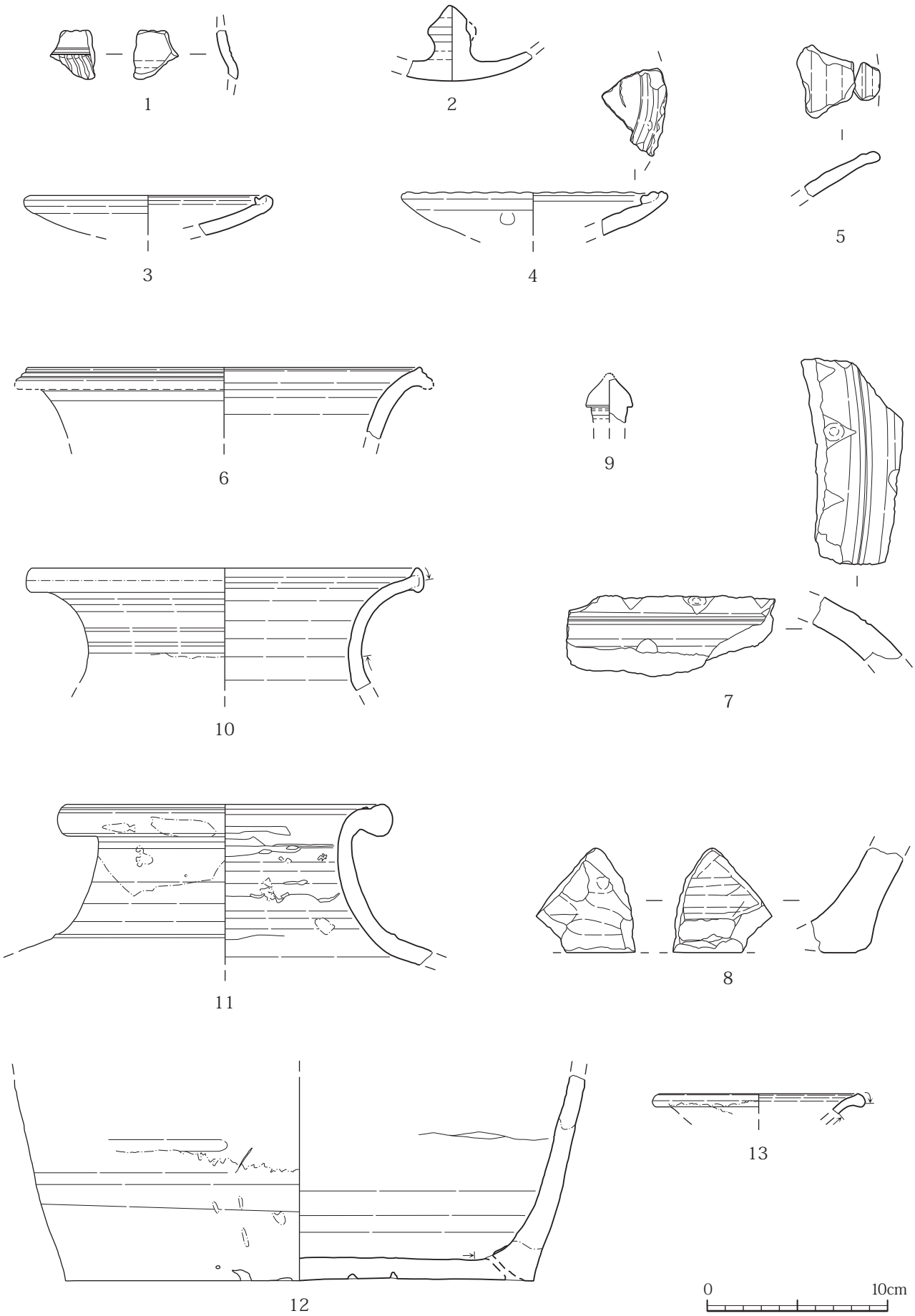
その他、ミャンマー産陶器が 1 点、東南アジア産と考えられる製品が 8 点確認されている。以下に特徴的な 31 点を図化し、個々の所見を観察表（第６表）に記す。

第６表　その他の輸入陶磁器・土器観察一覧１

図・図版番号	番号	器種	分類	部位	産地	種別	法量（ｃｍ）			観察事項	調査年度(平成)	グリッド・層
							口径	器高	底径			
第42図 図版16	1	壺	―	胴部	ﾀｲ産	土器	―	―	―	素地は橙色で赤色粒や黒色粒を含む。外面には叩き文を施文。	―	表土
	2	蓋	―	撮～蓋甲	ﾀｲ産	土器	―	(4.3)	―	素地は灰色、器表面は橙色を呈し、赤色粒や黒色粒を含む。撮みは宝珠形で、被熱の影響か灰色を呈する。裏面はヘラ削りを施す。	23	集石
	3	蓋	―	庇端部	ﾀｲ産	土器	(庇) 13.8	―	―	素地は灰色、器表面はにぶい橙色を呈し、赤色粒、黒色粒、白色粒を含む。先端部のつまみ出しは弱い。	24	O-E7・8 石積20南側4層
	4	蓋	―	庇端部	ﾀｲ産	土器	(庇) 14.6	―	―	素地は灰色、器表面は灰白色を呈し、赤色粒や黒色粒を含む。端部をつまむようにして波状を呈する。	23	石積1
	5	壺	―	口縁部	ﾀｲ産	土器	―	―	―	素地は灰色、器表面は浅黄橙色を呈し、赤色粒や黒色粒を含む。端部をつまむようにして稜花状にする。	23	石積2トレ 3-1層 ＋表土
	6	壺	―	口縁部	ﾀｲ産	無釉	(23.2)	―	―	素地は灰白色、器表面は灰色を呈し、石英や黒色粒を含む。口唇部に2本の沈線。	24	K-E6表土 ＋K-E7表土
	7	壺	―	胴部	ﾀｲ産	無釉	―	―	―	素地は灰色で、石英や黒色粒を含む。外面に三角状の文様を叩き具によって連続で施文。	23	石積2トレ1層
	8	壺	―	底部	ﾀｲ産	無釉	―	―	―	素地は灰白色で、石英や黒色粒を多く含む。	23	N-E7上層
	9	蓋	―	撮	ﾀｲ産	無釉	(撮) (2.6)	―	―	素地は灰白色、器表面は暗灰黄色を呈し、石英や黒色粒を含む。宝珠形を呈する。	―	表土
	10	壺	A	口縁部	ﾀｲ産	褐釉	22.0	―	―	素地は灰褐色を呈し、赤褐色粒を僅かに含む。内外面に黒褐色の釉を施釉。轆轤成形で、口縁部は内側折り返し。	24	K-E7落込2内1層
	11	壺	A	口縁部	ﾀｲ産	褐釉	18.6	―	―	素地は灰褐色を呈し、赤褐色粒や黒色粒を含む。外面に黒褐色の釉を施釉。口縁部に６か所の目跡あり。轆轤成形。	24	K-E7落込2内1層
	12	壺	A	底部	ﾀｲ産	褐釉	―	―	26.0	素地は灰褐色を呈し、石英、赤褐色・黒色粒を含む。外面胴部途中まで黒褐色の釉を施釉。外底に孔あり。轆轤成形。	24	K-E7落込2内1層
	13	中型壺	―	口縁部	ﾀｲ産	褐釉	11.8	―	―	素地は黄灰色を呈し、石英を含む。内外面に黒褐色の釉を施釉。	24	O-E7・8 石積20南側4層
第43図 図版17	14	壺	A	底部	ﾀｲ産	褐釉	―	―	26.6	素地は灰褐色を呈し、石英を多く含む。外面に黒褐色の釉を施釉。轆轤成形。	24	K-E7落込2内1層
	15	壺	B	口縁部	ﾀｲ産	褐釉	18.7	―	―	素地は灰褐色を呈し、石英、赤褐色・白色・黒色粒を含む。外面に灰黄褐色の釉を施釉。轆轤成形。四耳壺。	24	K-E7落込2内1層
	16	壺	B	底部	ﾀｲ産	褐釉	―	―	27.8	素地は灰褐色を呈し、石英を多く含む。外面に黒褐色の釉を施釉。轆轤成形。	24	K-E7落込2内1層
第44図 図版18	17	碗	A	底部	ﾍﾞﾄﾅﾑ産	染付	―	―	5.2	素地は灰白色で軟質。透明釉を高台脇まで施釉。内底に草花文か。外底は褐色。チョコレートボトム。	24	K-E7表土

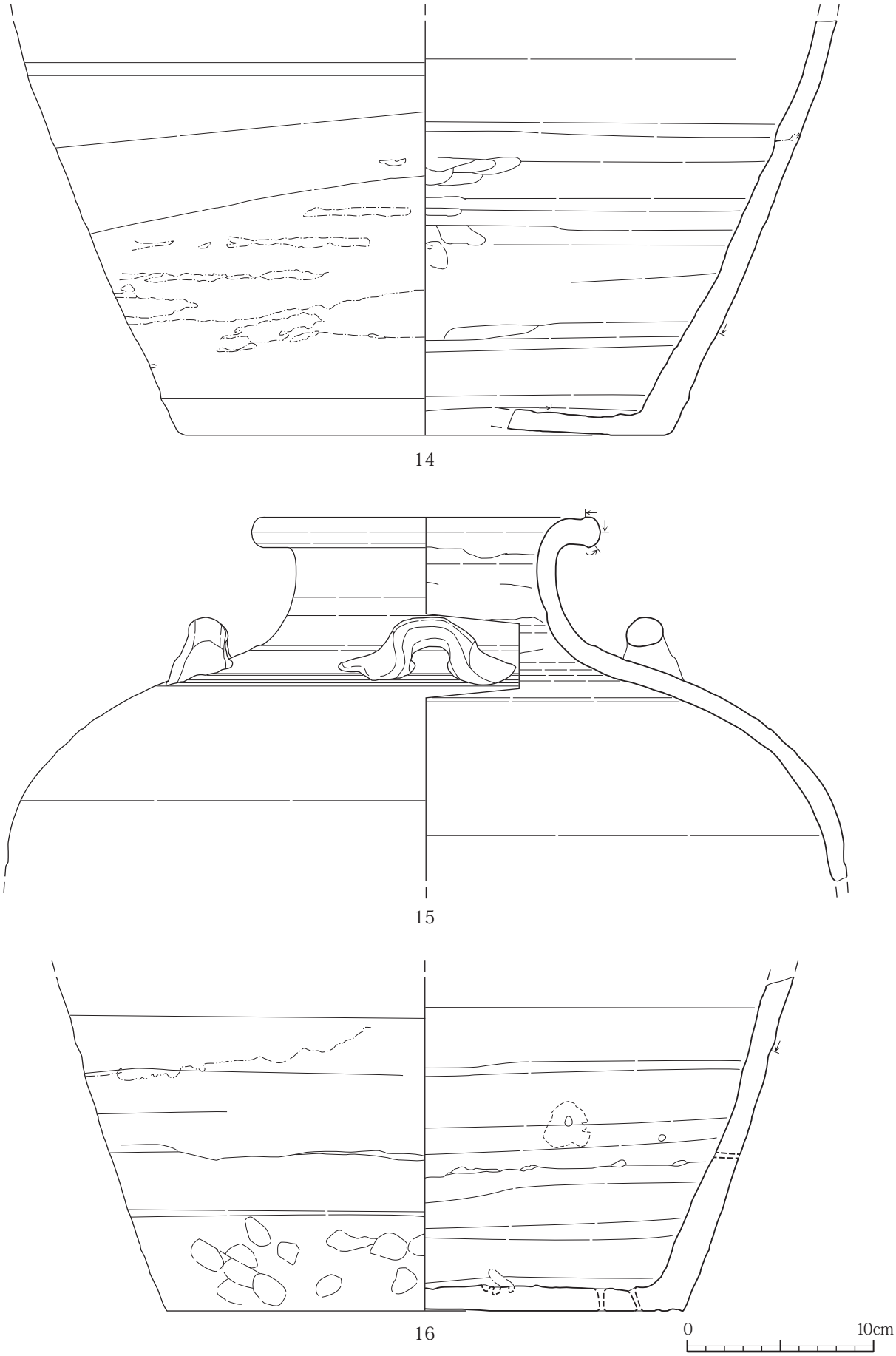
第６表　その他の輸入陶磁器・土器観察一覧２

図・図版番号	番号	器種	分類	部位	産地	種別	法量（ｃｍ）			観察事項	調査年度(平成)	グリッド・層
							口径	器高	底径			
第44図図版18	18	水注	—	胴部	ﾍﾞﾄﾅﾑ産	染付	—	—	—	素地は灰白色で軟質。内面は無釉。一部、孔と思われる箇所がみられる。	23	R-E7・E8表土
	19	小碗	—	口縁部	東南ｱｼﾞｱ産	—	10.2	—	—	素地は灰白色で、外面はにぶい褐色を呈する。内面口唇部は玉縁状を呈する。外面に1本の沈線が巡る。	24	J-E7落込2内3層
	20	蓋	—	把手	東南ｱｼﾞｱ産	—	—	—	—	素地は灰黄色、器表面は灰黄褐色を呈する。質感が21と類似することより、同一個体と考えられる。	24	L-E8 石積23南側1層
	21	蓋	A	庇端部	東南ｱｼﾞｱ産	—	(庇) 17.0	—	—	素地は灰黄色、器表面は灰黄褐色を呈する。器壁は薄い。庇端部を折り返し成形。20と質感が類似することより同一個体と考えられる。	24	L-E8 石積23南側1層
	22	蓋	B	庇端部	東南ｱｼﾞｱ産	—	(庇) 16.3	—	—	素地はにぶい黄色を呈し、大小の石英粒を多く含む。庇端部を折り返し成形。	24	J-E7落込2内3層
	23	壺	—	口縁部	ﾍﾞﾄﾅﾑ産？	陶器	—	—	—	素地は灰黄褐色を呈し、石英粒、黒色粒を僅かに含む。頸部は長めで、口唇部は折り返して玉縁状をつくる。	23	石積6下
	24	壺	—	胴部	ﾍﾞﾄﾅﾑ産？	陶器	—	—	—	素地は灰黄褐色を呈し、石英粒、黒色粒を僅かに含む。外面胴部途中より褐色の釉を施釉。質感及び頸部の立ち上がり等の器形が23と類似する。	—	表土
	25	壺	—	胴部	ﾍﾞﾄﾅﾑ産？	陶器	—	—	—	素地は灰黄褐色を呈し、石英粒、黒色粒が僅かに混じる。外面に褐色の釉を施釉。底部は平底、外底はナデの痕跡が明瞭。	—	表土
	26	壺	—	底部	ﾍﾞﾄﾅﾑ産？	陶器	—	—	34.0	素地は褐灰色を呈し、石英粒、黒色粒を僅かに含む。外面胴部は黒褐色の釉が施釉され、複数の突帯を巡らせる。	23・24	石積1 ＋ O-E7・8石積20 南側2層
	27	碗	A	口縁部	朝鮮産	象嵌青磁	13.0	—	—	釉は灰オリーブ色、素地は灰白色を呈する。外面に白土象嵌で、3本の圏線と蓮弁文、内面に雷文と圏線内に亀甲文。口縁部はやや外反する。	23	石積1
	28	碗	A	口縁部	朝鮮産	象嵌青磁	—	—	—	釉は灰オリーブ色、素地は灰白色を呈する。外面に白土象嵌で、2本の圏線と丸文内に菊花文、内面に崩れた雷文？と圏線内に連続した半円状の文様と雲文。また、内面の一部に黒土象嵌がみられる。口縁部はやや外反する。	23	石積1
	29	碗	B	口縁部	朝鮮産	象嵌青磁	—	—	—	釉は灰オリーブ色、素地は灰色を呈する。外面に白土象嵌で、3本の圏線と蓮弁文、内面に崩れた雷文と圏線内に波状文と連珠文。口縁部は内湾する。	24	K-E6表土
	30	碗	A	底部	朝鮮産	象嵌青磁	—	—	—	釉は灰オリーブ色、素地は灰白色を呈する。外面に白土象嵌で２本の圏線、内面に圏線内に印花文。高台は低い造りで、畳付の幅は広く、外底に砂目あり。	24	K-E7落込2内1層
	31	皿	—	胴部	朝鮮産	象嵌青磁	—	—	—	釉は灰オリーブ色、素地は灰色を呈する。外面に白土象嵌で、圏線内に菊花文、内面に1本の圏線。	23	O-E7表土



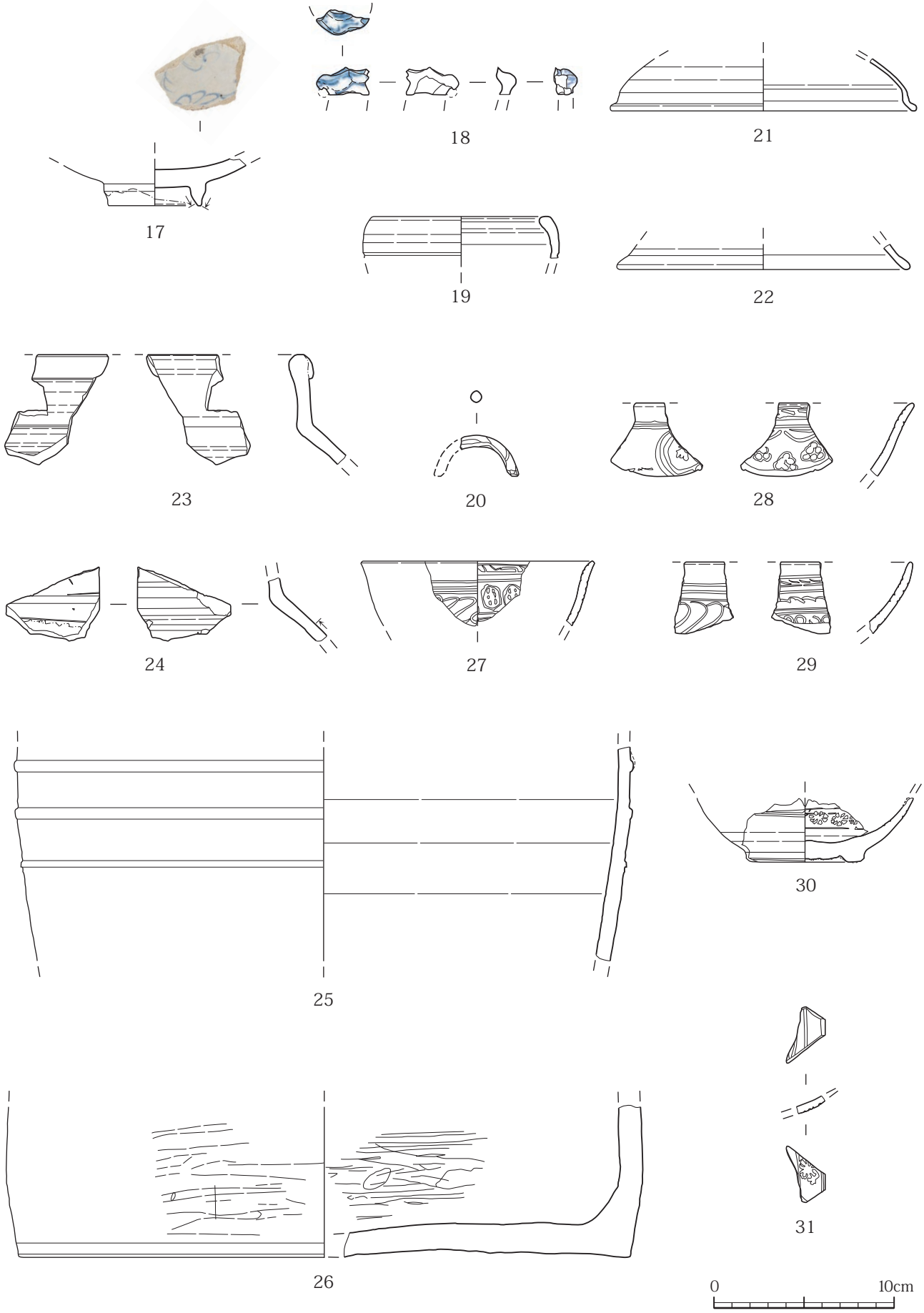
第 42 図　その他の輸入陶磁器・土器 1（タイ産）

図版 16　その他の輸入陶磁器・土器 1（タイ産）

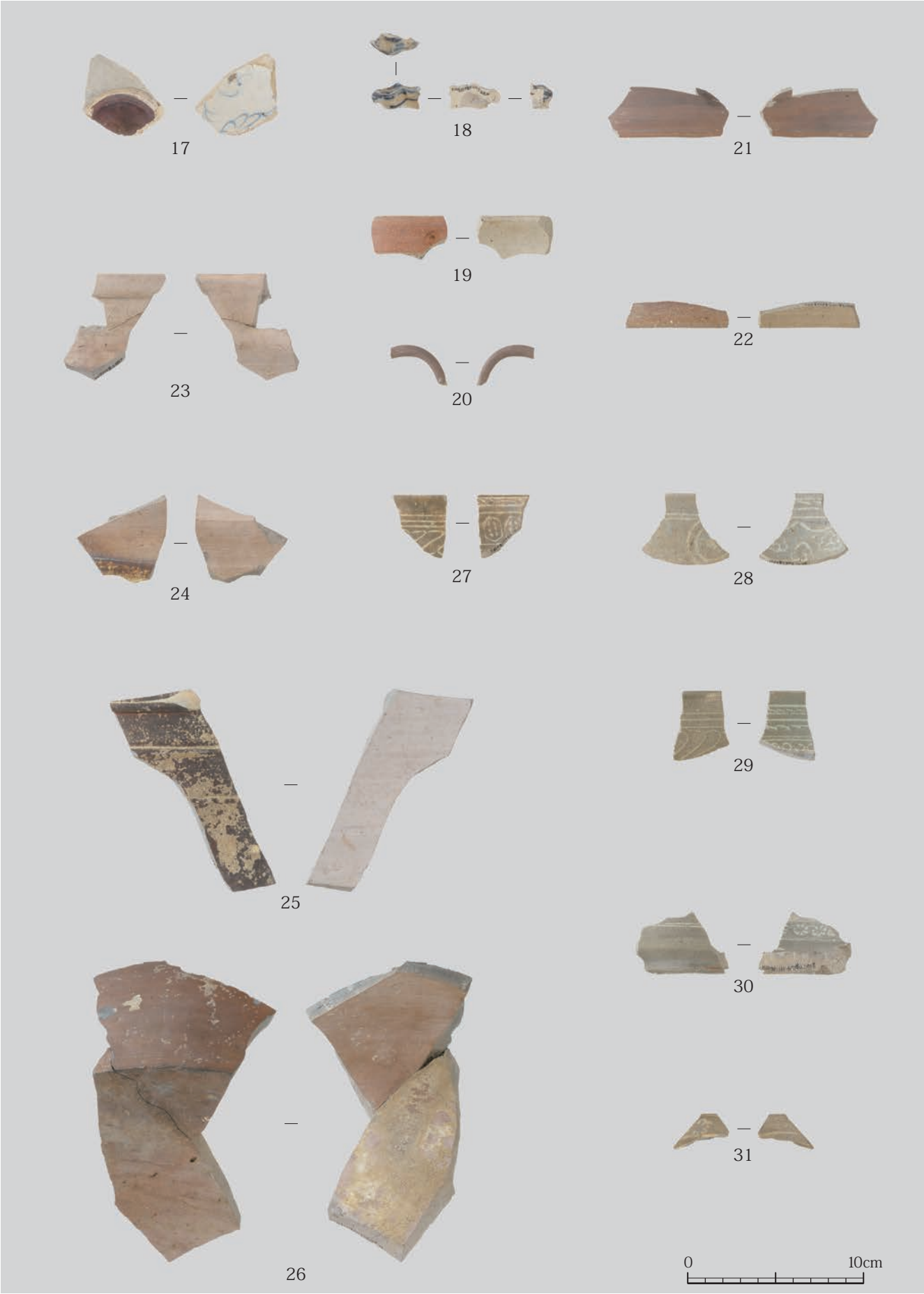


第 43 図　その他の輸入陶磁器・土器 2（タイ産）

図版 17　その他の輸入陶磁器・土器 2（タイ産）



第 44 図　その他の輸入陶磁器・土器 3（ベトナム産・朝鮮産）



図版 18　その他の輸入陶磁器・土器 3（ベトナム産・朝鮮産）

第３項　本土産陶磁器

近世～近現代までの資料が確認され、総点数 167 点が出土している（第 35 表）。磁器は染付、色絵等があり、産地は肥前（肥前系含む）、瀬戸・美濃等が確認された。陶器については肥前（肥前系含む）、薩摩、備前、京・信楽系、関西系等が確認された。以下に特徴的な 51 点を図化し、個々の所見を観察表（第７表）に記す。

第７表　本土産陶磁器観察一覧１

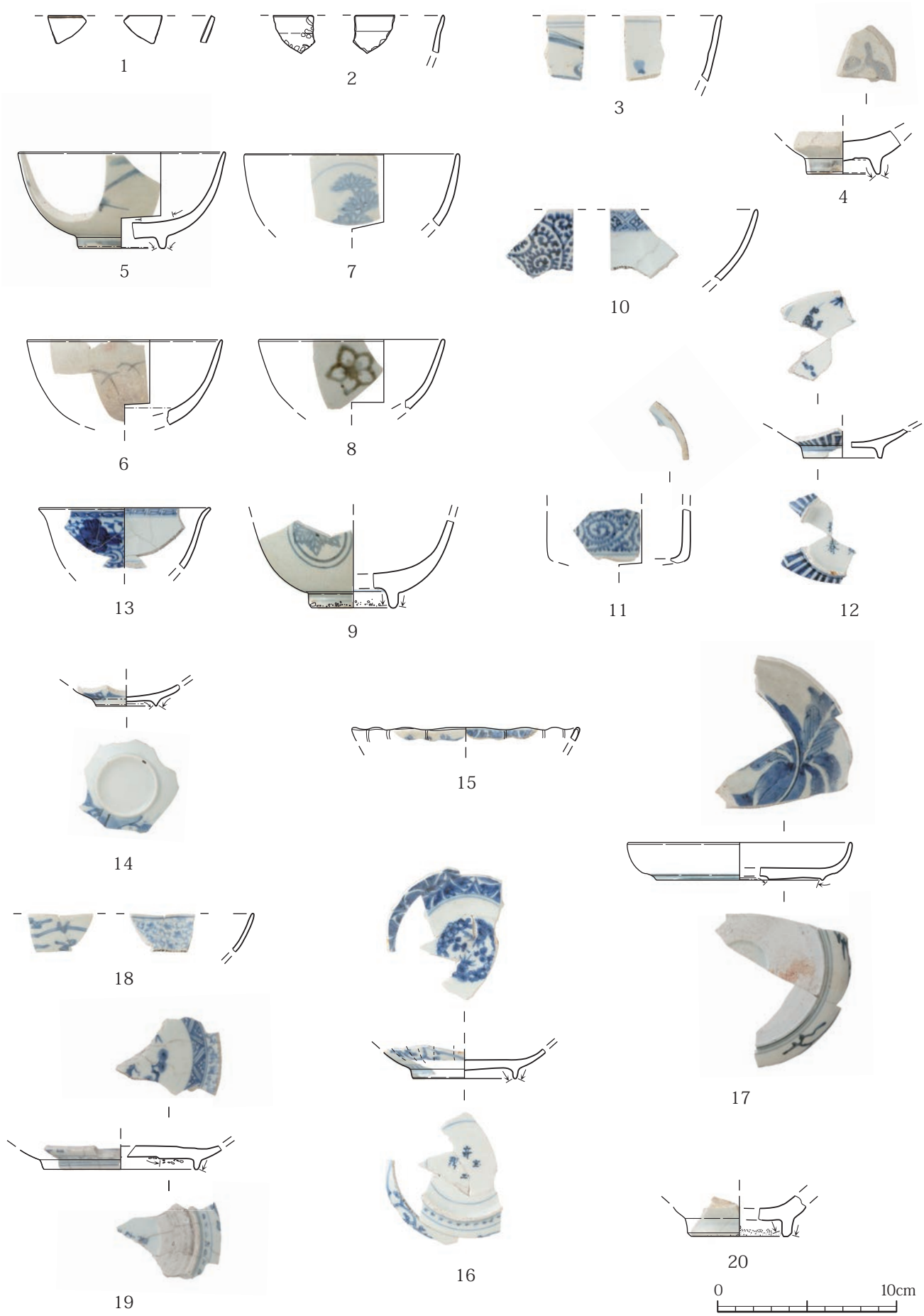
図・図版番号	番号	器種	分類	産地	種別	部位	法量（ｃｍ）			観察事項	調査年度(平成)	グリッド・層
							口径	器高	底径			
第45図図版19	1	碗	―	肥前	青磁	口縁部	―	―	―	釉は青白色で、口唇部は釉剥ぎし暗褐色を呈す。素地は灰白色。	24	L-E8 石積23南側1層
	2	碗	―	肥前	白磁	口縁部	―	―	―	釉は透明で、口唇部は釉剥ぎし暗褐色を呈す。素地は白色。文様は外面に草花文か。	24	L-E8 石積23南側1層
	3	碗	A	肥前	染付	口縁部	―	―	―	釉は透明。素地は灰白色。文様は外面に雲龍荒磯文。	―	表土
	4	碗	A	肥前	染付	底部	―	―	4.1	釉は灰白色で、畳付は釉剥ぎ。素地は灰白色。文様は内底に雲龍荒磯文。	24	L-E8・9 石積18ウラゴメ
	5	碗	B-1	肥前	染付	口～底	11.6	5.4	4.9	釉は青白色で、内底は蛇の目釉剥ぎ、畳付は釉剥ぎ。素地は灰白色。文様は外面に梅樹文。	24	J-E7落込2内3層
	6	碗	B-1	肥前	染付	口縁部	10.9	―	―	釉は灰白色。素地は灰白色。文様は外面に松葉文。被熱を受けている可能性あり。	24	J-E7落込2内3層
	7	碗	B-2	肥前	染付	口縁部	12.1	―	―	釉は灰白色。素地は灰白色。文様は外面に印判による菊花文。	24	L-E8 石積23南側1層
	8	碗	B-2	肥前	染付	口縁部	10.4	―	―	釉は透明。素地は灰白色。文様は外面に印判による桔梗文。	24	L-E8 落込3内1層
	9	碗	B-2	肥前	染付	底部	―	―	4.8	釉は青白色で、畳付は釉剥ぎ。素地は灰白色。文様は外面に印判による。	24	M・N-E8 石積16・17間 トレンチ
	10	碗	C	肥前	染付	口縁部	―	―	―	釉は透明。素地は白色。文様は外面に蛸唐草文、内面は口縁部に四方襷文。	24	L-E8 落込3内1層
	11	碗	D	肥前	染付	胴部	―	―	―	釉は青白色。素地は白色。文様は外面に蛸唐草文。	24	M-E8・9 石積17東側3層
	12	碗	D	肥前	染付	底部	―	―	4.4	釉は透明で、畳付は釉剥ぎ。素地は白色。文様は外面に蓮弁文、内底に松竹梅文。外底に「○○長春」の銘あり。	24	L-E8 ピット6　1層
	13	碗	E	肥前	染付	口縁部	9.6	―	―	釉は青白色。素地は白色。文様は外面に牡丹唐草文、内面には雷文。	24	L-E8落込3内1層 ＋K-F8石積22 ＋表土
	14	碗	E	肥前	染付	底部	―	―	3.4	釉は透明で、畳付は釉剥ぎ。素地は白色。文様は外面に樹木文。	24	J-E7落込2内3層
	15	皿	B-1	肥前	染付	口縁部	12.8	―	―	釉は透明。素地は白色。文様は外面に唐草文、内面に花唐草文か。	24	K-E7表土
	16	皿	B-1	肥前	染付	底部	―	―	5.8	釉は透明で、畳付は釉剥ぎ。素地は白色。文様は外面に○×文と如意頭文崩れの唐草文、内面は松竹梅の丸文と花唐草文か。外底に「奇玉宝鼎」の銘あり。	24	L-E8ピット6　1層 ＋ L-E8落込3内1層
	17	皿	B-2	肥前	染付	口～底	12.6	2.1	9.3	釉は灰白色で、外底の蛇の目凹面は釉剥ぎ。素地は灰白色。文様は外面に如意頭文崩れの唐草文、内底に芭蕉文。蛇ノ目凹形高台。	24	L-E8ピット6　1層 ＋ L-E8落込3内1層
	18	皿	B-3	肥前	染付	口縁部	―	―	―	釉は透明。素地は白色。文様は外面に如意頭文崩れの唐草文、内面は唐草文。	24	L-E8 落込3内1層
	19	皿	B-3	肥前	染付	底部	―	―	8.7	釉は青白色で、外底の蛇ノ目凹面と畳付は釉剥ぎ。素地は白色。文様は外面に○×文と如意頭文崩れの唐草文、内面は松竹梅の丸文、花菱文、唐草文。蛇ノ目凹形高台。外底に銘あり。	24	L-E8 ピット6　1層

第７表　本土産陶磁器観察一覧２

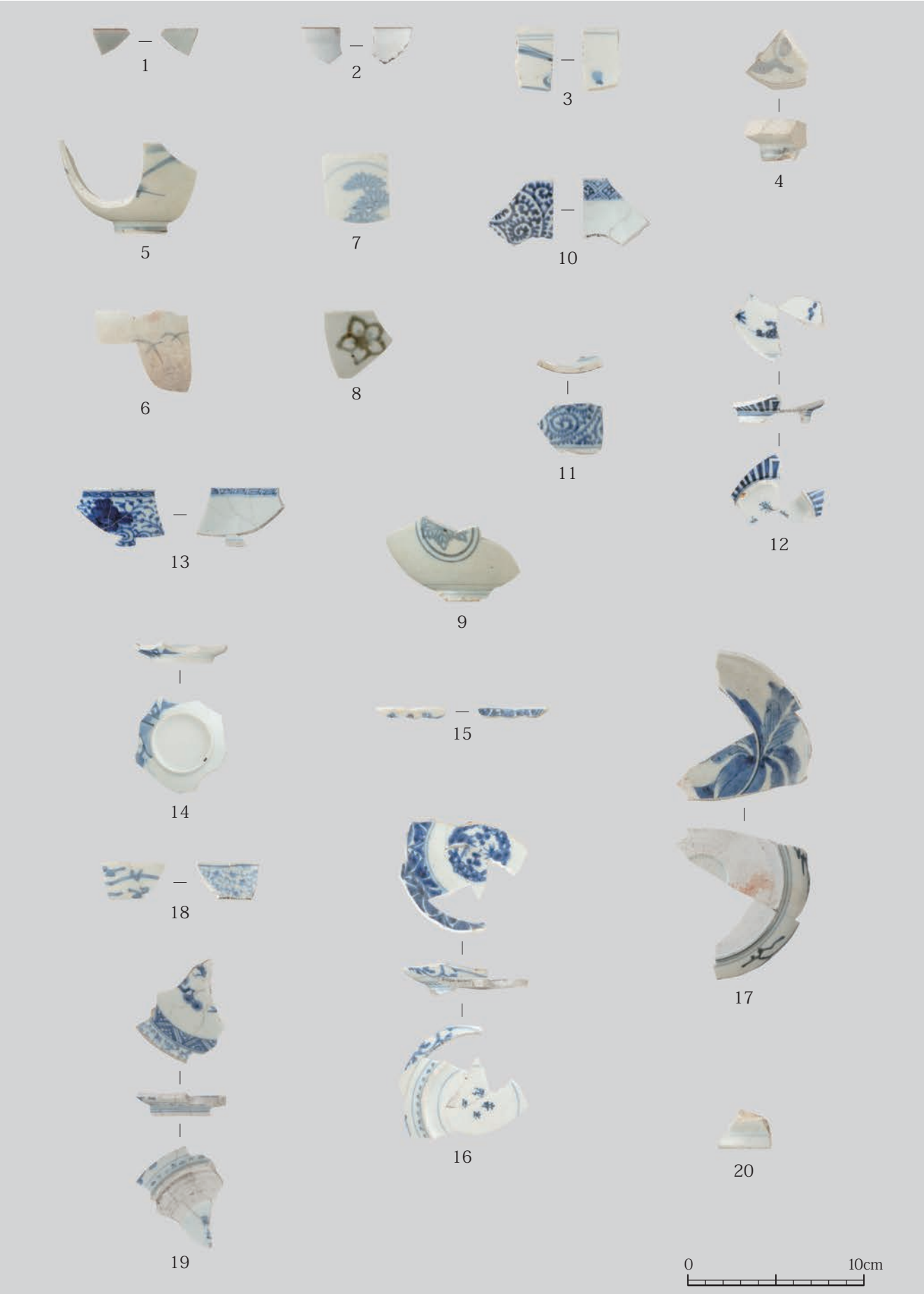
図・図版番号	番号	器種	分類	産地	種別	部位	法量（ｃｍ）			観察事項	調査年度(平成)	グリッド・層
							口径	器高	底径			
第45図 図版19	20	瓶	A	肥前	染付	底部	―	―	5.8	釉は灰白色で、内面は露胎、畳付は釉剥ぎ、外底はヘラで釉剥ぎか。素地は灰白色。畳付に砂付着。	24	L-E8 石積23南側3層
第46図 図版20	21	蓋	E	肥前	染付	庇～蓋甲	(庇) 10.6	―	―	釉は透明。素地は白色。文様は外面に区画内に草花文、内面は四方襷文。	24	K-F8石積22
	22	蓋	E	肥前	染付	撮～庇	(撮) 4.2	―	(庇) 10.4	釉は青白色で、蓋甲に施釉。素地は白色。内外面に花文。	24	L-E8 落込3内1層
	23	蓋	A-1	肥前	色絵	庇	(庇) 10.2	―	―	釉は透明。素地は白色。文様は外面に染付の市松文の区画内に色絵の赤や緑で花文、内面に染付で四方襷文。24の蓋と考えられる。	24	L-E8ピット6　1層 ＋ L-E8落込3内1層
	24	碗	A-1	肥前	色絵	口縁部	11.8	―	―	釉は透明。素地は白色。文様は外面に染付の市松文の区画内に色絵の赤や緑で花文、内面に染付で四方襷文。23の身と考えられる。	24	L-E8 石積23南側1層
	25	蓋	B	肥前	色絵	撮～庇	(撮) 4.1	2.9	(庇) 10.0	釉は青白色で、蓋甲に施釉。素地は白色。文様は外面に染付で蓮弁文と色絵の赤で吉祥文、内面は染付で松竹梅の丸文と四方襷文。外底に色絵の赤で銘あり。	24	L-E8 ピット6　1層
	26	蓋	C	肥前	色絵	撮～庇	(庇) 8.7	―	―	釉は青白色で、袴端部は釉剥ぎ。素地は白色。文様は外面に色絵の赤や青、緑で牡丹唐草文と寿字文、染付で雷文。	24	L-E8 石積23南側1層
	27	碗	C	肥前	色絵	口～底	9.6	7.0	4.9	釉は透明で、畳付は釉剥ぎ。素地は白色。文様は外面に色絵の赤で網代文、染付で蝙蝠文と区画内に草花文。内面は染付で雷文。	24	L-E8 ピット6　1層
	28	碗	D	肥前	色絵	底部	―	―	4.0	釉は透明で、畳付は釉剥ぎ。素地は白色。文様は外面に色絵の赤で不明文と網目文、染付で蓮弁、内底に染付で不明文。	24	L-E8 石積23南側1層 ＋ 表土
	29	碗	A-2	肥前	陶器	底部	―	―	5.0	釉は灰白色。素地は白色。被熱を受ける。	―	表土
	30	小碗	A-1	京・信楽系	陶器	口縁部	9.8	―	―	釉は透明。素地は灰白色。文様は外面に色絵の赤で七宝繋文と緑で麻葉文。	24	L-E8落込3内1層 ＋ K・L-E7階段2
	31	小碗	A-1	京・信楽系	陶器	底部	―	―	3.6	釉は透明で、外面胴部途中まで施釉。素地は灰白色。文様は色絵の赤で花文、緑で唐草文。	24	L-E8 ピット6　1層
	32	小碗	A-2	京・信楽系	陶器	口縁部	9.7	―	―	釉は透明。素地は灰白色。文様は外面に色絵の赤で草花文。	24	L-E8落込3内1層 ＋ J-E7落込2内3層
	33	小碗	A-4	京・信楽系	陶器	底部	―	―	3.8	釉は灰白色で、外面胴部途中まで施釉。素地は灰白色。	24	L-E8 石積23南側1層
	34	小碗	A-5	京・信楽系	陶器	口～底	7.5	5.8	4.9	釉は透明で、外面胴部途中まで施釉。素地は灰白色。文様は色絵の赤で花文、緑で唐草文。	24	J-E7落込2内3層 ＋ 表土

第７表　本土産陶磁器観察一覧３

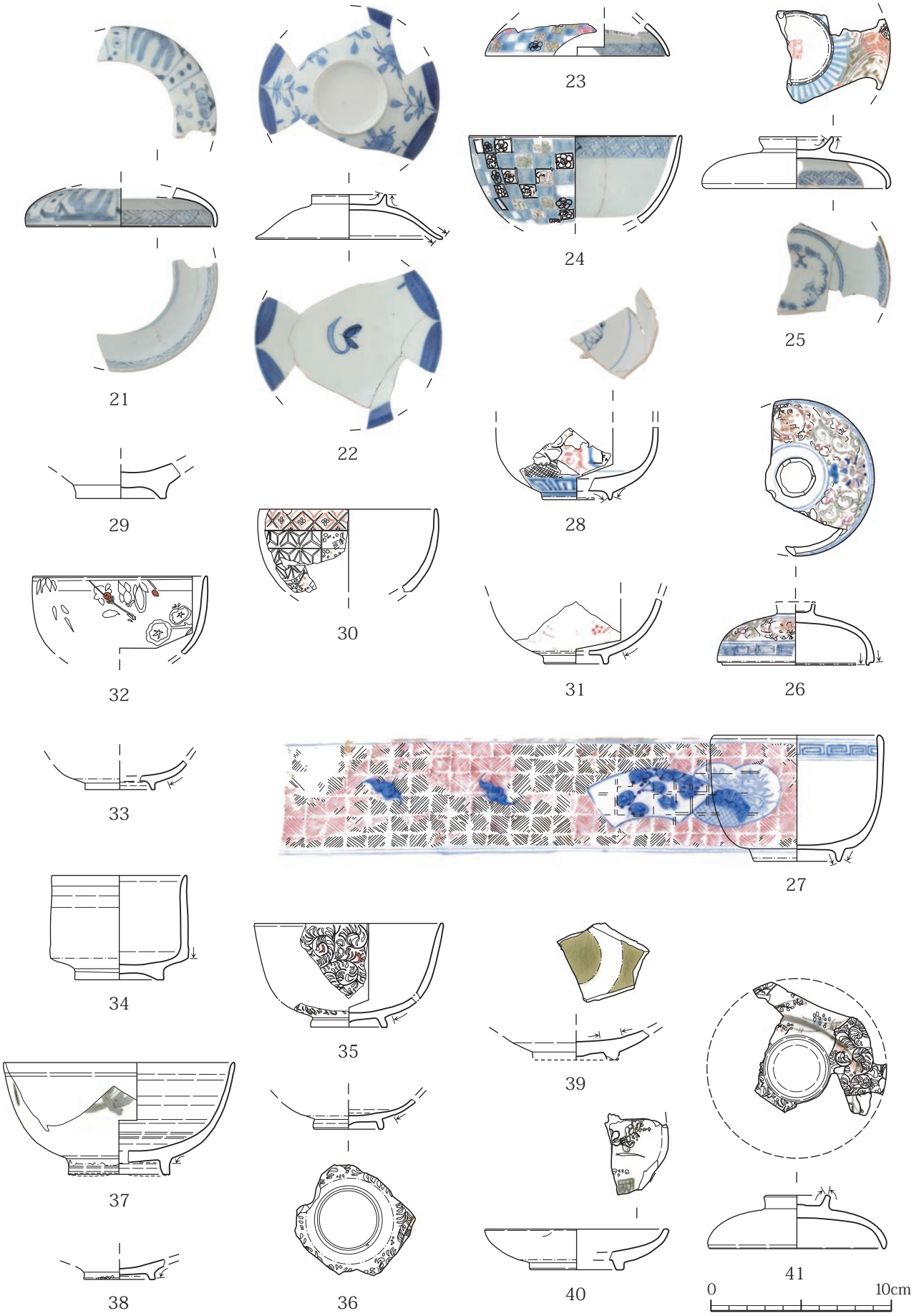
図・図版番号	番号	器種	分類	産地	種別	部位	法量（ｃｍ）			観察事項	調査年度(平成)	グリッド・層
							口径	器高	底径			
第46図 図版20	35	碗	―	京・信楽系	陶器	口～底	10.5	5.8	4.2	釉は透明で、外面胴部途中まで施釉。素地は灰白色。文様は色絵の赤と緑で唐草文。	24	L-E8 落込3内1層
	36	碗	―	京・信楽系	陶器	底部	―	―	3.9	釉は透明で、外面胴部途中まで施釉。素地は灰白色。文様は色絵の赤と緑で唐草文。	24	L-E8 ピット6　1層 ＋ L-E8落込3内1層
	37	碗	―	関西系	陶器	口～底	12.8	6.2	5.6	釉は透明で、外面高台途中まで施釉。素地は灰白色。外面に文様あり。	24	J-E7落込2内3層
	38	小碗	―	関西系	陶器	底部	―	―	4.0	釉は灰白色で、外底は露胎。素地は灰白色。	24	L-E8 石積23南側1層
	39	皿	A	肥前	陶器	底部	―	―	(4.7)	釉はオリーブ灰色で、内底は蛇の目釉剥ぎ、外面は不明。素地は灰白色。	24	L-E8 石積23南側1層
	40	皿	A-2	京・信楽系	陶器	口～底	10.2	2.3	5.2	釉は透明で、外面胴部途中まで施釉。素地は灰白色。文様は内底に色絵で梅花文と字文。	24	L-E8 ピット6　1層
	41	蓋	―	京・信楽系	陶器	撮～庇	(撮) 3.7	3.0	(庇) 9.9	釉は透明で、蓋甲まで施釉。素地は灰白色。外面の文様は鉄絵と染付と色絵で梅枝文、色絵の赤で唐草文。	24	L-E8 ピット6　1層
第47図 図版21	42	鉢	―	薩摩	陶器	口縁部	34.9	―	―	釉は黒褐色で、口唇部は露胎。素地は黒褐色～赤褐色で、石英粒を含む。口縁部の鍔部分を上下で摘み成形する。	24	L-E8 石積23南側1層
	43	擂鉢	―	備前	陶器	口縁部	32.4	―	―	素地は灰色～赤褐色で、石英や大きめの白色粒などを含む。	23	石積1
	44	擂鉢	―	備前	陶器	底部	―	―	―	素地は灰色～赤褐色で、石英や大きめの白色粒などを含む。六条単位の磨り目。	23	石積2トレ3-2層
	45	壺	A	薩摩	陶器	口縁部	14.5	―	―	釉は黒褐色で、口唇部は釉剥ぎ。素地は灰色～橙色で、白色粒を含む。口縁部に目跡あり。	24	J-E7落込2内3層
	46	壺	A	薩摩	陶器	底部	―	―	11.0	釉は黒褐色。素地は灰色で、白色粒を含む。内面に指による成形痕あり。外底に小さな丸い脚がある。	24	J-E7落込2内3層
	47	甕	―	薩摩	陶器	胴部	―	―	―	釉はにぶい橙色を両面に施釉。素地は赤褐色で、石英粒や白色粒を含む。外面に断面が三角の縄目状の２本の凸帯と丸文を貼り付け。内面は数条の櫛による成形痕あり。	24	J-E7落込2内3層
	48	壺	B	薩摩	陶器	底部	―	―	19.2	釉は暗褐色で、内外面共に胴部途中まで施釉。素地は赤褐色で、白色粒を含む。	―	表土
	49	急須	―	関西系	陶器	胴部	―	―	―	釉は透明で薄く施釉し、内面は露胎。素地は赤褐色で、雲母や赤色粒を含む。注口の一部が残存。轆轤目顕著。	24	L-E8 石積23南側1層
	50	急須	―	関西系	陶器	底部	―	―	―	釉は透明で薄く施釉し、外面の施釉範囲は不明。素地は赤褐色。	24	J-E7落込2内3層 ＋　L-E8 石積23南側1層
	51	急須	―	薩摩	陶器	口縁部	9.6	―	―	釉は黒褐色で両面雑に施釉。素地は灰色で白色粒を含む。	24	L-E8 石積23南側3層



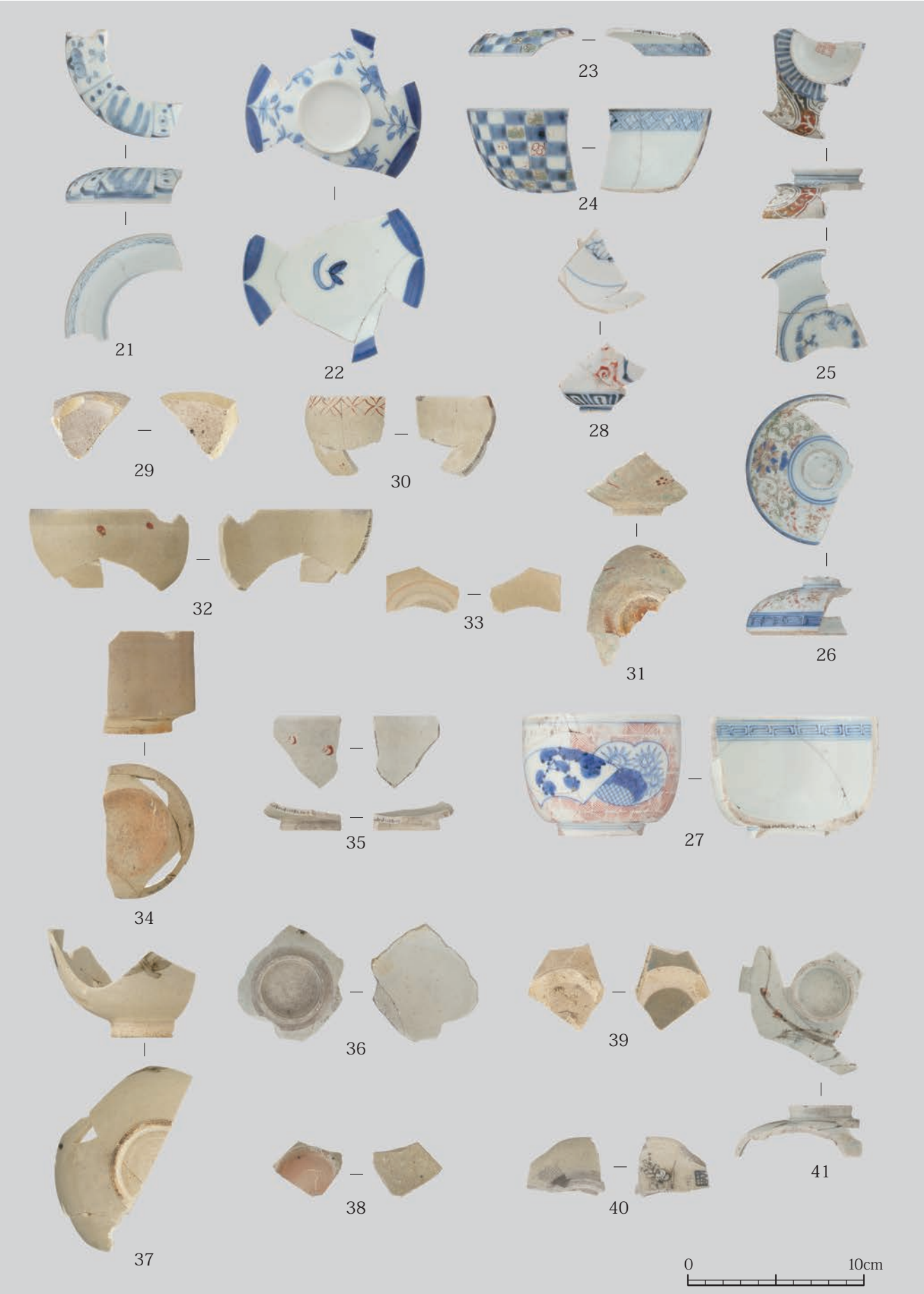
第 45 図　本土産陶磁器 1



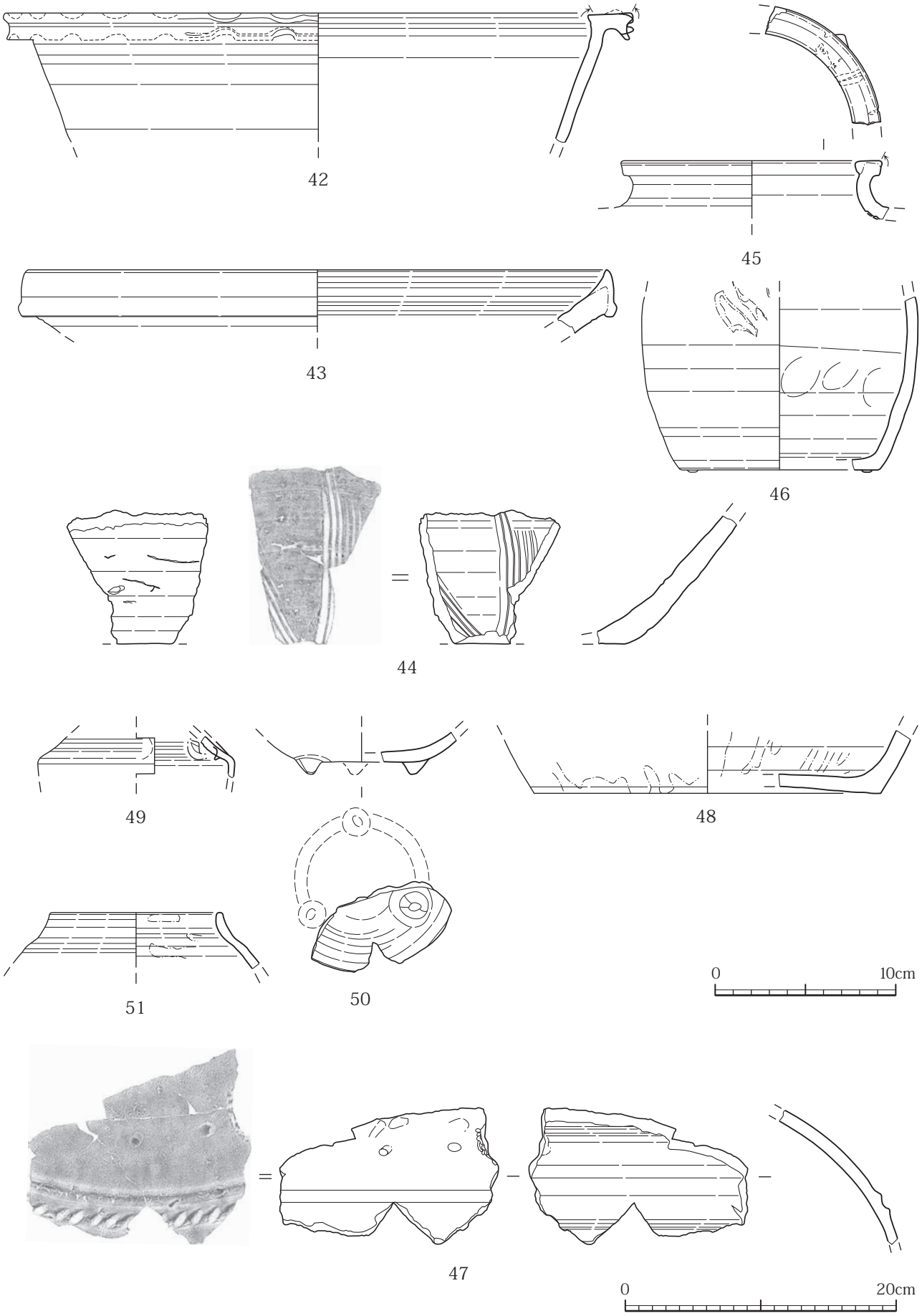
図版 19　本土産陶磁器 1



第 46 図　本土産陶磁器 2



図版 20　本土産陶磁器 2



第 47 図　本土産陶磁器 3

図版 21　本土産陶磁器 3

第４項　沖縄産陶器

１　施釉陶器

方言で「ジョウヤチ（上焼）」と称される一群で、器面に釉薬を塗布する製品を指す。釉薬には灰釉・鉄釉（黒釉や褐釉を含む）・透明釉（素地に白化粧を施すものを含む）がみられ、それに鉄絵・呉須・上絵付で文様を描く例もある。総数 933 点出土しており（第 36 表）、器種は碗・小碗・小杯・皿・大皿・鉢・小鉢・急須・大型急須・鍋・壺・香炉・瓶・火炉・火入及びそれに対応する蓋などが確認されている。以下に器種別の分類概念を記し、詳細は観察表（第８表）に記す。

①碗　Ａ類：底部から斜め上方に立ち上がるもの（Ａ－１：１～３）と、体部が半球形に丸みを持つもの（Ａ－２：４）、腰部にやや丸みを持つ端反口縁のもの（Ａ－３：５）がある。
Ｂ類：器形はＡ－３に似るが高台脇を削るもの（６、７）。
Ｃ類：器形はＢ類に似るが、鉄釉と灰釉を掛け分けるもの（Ｃ－１：８）と、鉄釉と白化粧＋透明釉を掛け分けるもの（Ｃ－２：９）がある。
Ｄ類：全体に白化粧＋透明釉を施すもので、器形は端反口縁（10）と直口口縁（11）がある。

②小碗　Ａ類：腰部がやや丸みを持つ直口口縁のもの。両面に灰釉を施す（12）。
Ｂ類：腰部にやや丸みを持たせ口縁部が端反を呈するもの。両面に鉄釉を施す（13・14）。
Ｃ類：器形はＢ類に似るが外面と内面で釉薬を掛け分けるもの（15・16）。
Ｄ類：器形は概ねＢ類に似るが両面に白化粧＋透明釉を施すもの。（17・18）。外面体部を面取りするもの（17）もある。

③小杯　Ａ類：腰部にやや丸みを持つ端反口縁のもので、両面に鉄釉を施す（19）。
Ｂ類：Ａ類に似る器形だが成形は丁寧。両面に透明釉を施す（20）。

④皿　Ａ類：底部から斜め上方に立ち上がるもので、胴部中位に稜を有する（21）。
Ｂ類：口縁部が端反を呈するもの（22・23）。
Ｃ類：口縁部が直口する小型の変形皿（24）。

⑤大皿　Ａ類：底部から斜め上方に立ち上がるもので、口縁部を玉縁状に成形する（25）。
Ｂ類：Ａ類と同様に底部から斜め上方に開くが、口縁部を鍔縁状に成形する（26）。
Ｃ類：器形はＡ類に似るが、鉄釉と灰釉を掛け分ける（27）。

⑥鉢　Ａ類：底部から斜め上方に立ち上がり、口縁部を玉縁状に成形する（28・29）。
Ｂ類：器形はＡ類に似るが、口縁部を鍔縁状に成形する（30）。
Ｃ類：Ｂ類に似た器形で鉄釉と白化粧＋透明釉を掛け分けるもの（Ｃ－１）と、内湾口縁で鉄釉と灰釉または鉄釉を掛け分けるもの（Ｃ－２：31）、同様の器形で鉄釉と白化粧＋透明釉を掛け分けるもの（Ｃ－３：32）がある。

⑦小鉢：器形は鉢Ｃ－２・３類に似るもので、両面に白化粧＋透明釉を施す（33）。

⑧急須：外底に三角錐状の脚部を３個貼付するもの（34 ～ 36）と、外底を碁笥底状に成形するもの（37）がある。前者は肩部に板状の把手を１対貼付するが、後者は不明。

⑨大型急須：陶製の弦と高台を有する大型製品で、方言で「アンビン」と称される（38・39）。

⑩鍋：胴部が球形を呈し口縁部を外側に折り曲げるもので、外底には三角錐状の脚部を３個貼付する（40）。

⑪壺：肩部の張りが弱い短頸の壺で、方言で「アンダガーミ」と称される資料である（41・42）。

⑫香炉：最大径を胴部中位以下に有し頸部が直立するもので、口縁部は鍔縁を呈する（43）。

⑬瓶：口縁部がラッパ状に開くもの（44）、頸部に比して口縁部がすぼまるもの（45）、平底の底部から立ち上がるもの（46・47）など、様々な器形の資料が得られている。

⑭火炉　Ａ類：口縁部が内湾するもの（48・49）。
　　Ｂ類：直口口縁を呈するもの（50）。

⑮火入：屈曲した腰部から直線的に立ち上がる筒形のもの（51）。

⑯蓋　Ａ類：鍋に対応するもの（53 ～ 55）。
　　Ｂ類：急須に対応するもの（56・57）。

第８表　沖縄産施釉陶器観察一覧１

図・図版番号	番号	器種	分類	部位	法量（ｃｍ）			観察事項	調査年度(平成)	グリッド・層
					口径	器高	底径			
第48図図版22	1	碗	A-1	口～底	12.5	6.0	6.6	釉は灰白色の透明釉を両面とも胴部途中まで施釉。素地は灰白色。文様は鉄絵を施す。外底に砂付着。	24	J-E7落込2内3層
	2	碗	A-1	口縁部	15.6	―	―	釉は灰白色を両面とも胴部途中まで施釉。素地はにぶい橙色。文様は鉄絵を施す。	24	J-E7落込2内3層＋M・N-E8石積16・17間トレンチ
	3	碗	A-1	底部	―	―	7.2	釉は灰白色を両面とも胴部途中まで施釉。素地はにぶい橙色。底部に煤付着。	24	M・N-E8石積16・17間トレンチ
	4	碗	A-2	口～底	12.0	5.7	5.8	釉は透明釉を施釉後に外面に褐釉を施釉し、外面の胴部途中で釉剥ぎ。施釉は雑。素地は灰白色。	24	L-E8石積23南側1層
	5	碗	A-3	口縁部	15.7	―	―	釉は両面に褐釉を施釉。素地は灰白色。	24	L-E8石積23南側1層
	6	碗	B	口～底	13.3	6.7	6.4	釉は褐釉を外面は胴部途中まで、内底は蛇の目釉剥ぎ。素地は灰白色。底部に煤付着。	24	J-E7落込2内3層
	7	碗	B	底部	―	―	5.6	釉は赤褐色釉を施釉後に黒褐色釉を施釉し、外面は胴部途中まで施釉。内面の黒褐色釉は渦状に掛かる。素地は灰白色。	24	L-E8石積23南側1層
	8	碗	C-1	口～底	12.6	6.35	5.8	釉は外面は褐釉で、内面はオリーブ灰色の釉を施釉後に口縁部に褐釉を施釉。両面とも胴部途中まで施釉。素地は灰色。文様は内面に二重圏線。	24	L-E8石積23南側1層
	9	碗	C-2	口縁部	13.2	―	―	釉は外面は褐釉、内面は透明釉を施釉後に口縁部に褐釉を施釉。素地は灰白色。文様は内面に二重圏線。	―	表土
	10	碗	D-1	底部	―	―	6.2	釉は白化粧後に透明釉を施釉し、内底は蛇の目釉剥ぎで畳付も釉剥ぎ。文様は呉須で外面に施文。内底に重ね焼き痕あり。	―	表土

第８表　沖縄産施釉陶器観察一覧２

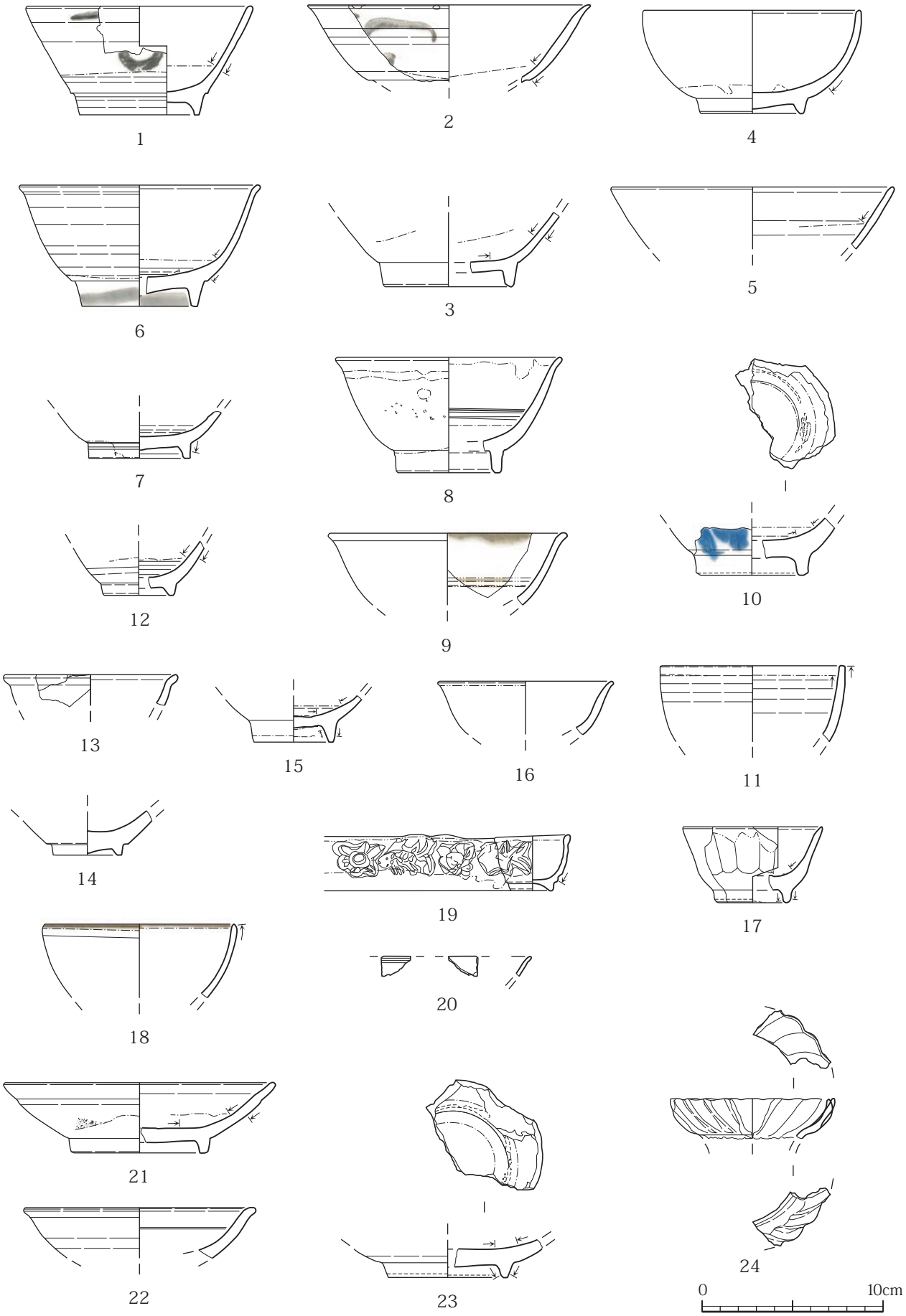
図・図版番号	番号	器種	分類	部位	法量（ｃｍ）			観察事項	調査年度(平成)	グリッド・層
					口径	器高	底径			
第48図 図版22	11	碗	D-2	口縁部	10.2	―	―	釉は白化粧後に透明釉を施釉。内面は口縁部を釉剥ぎ。素地は灰白色。	24	L-E8 石積23南側1層
	12	小碗	A	底部	―	―	3.9	釉は灰白色の透明釉を両面とも胴部途中まで施釉。素地は灰白色。畳付に煤付着。	―	集石
	13	小碗	B	口縁部	9.7	―	―	釉は黒褐色釉を両面に施釉。素地は灰白色。素地が一部ずれて、その隙間に釉が入る。	24	L-E8 石積23南側1層
	14	小碗	B	底部	―	―	3.8	釉は褐釉を施釉。素地は赤褐色で、白色粒を含む。	―	表土
	15	小碗	C-1	底部	―	―	4.4	釉は外面は褐釉で畳付を釉剥ぎ、内面は灰白色の釉を施釉し内底は蛇の目釉剥ぎ。内底に目痕か。	23	石積2
	16	小碗	C-2	口縁部	9.7	―	―	釉は外面に黒褐色釉を施釉し、内面は白化粧後に透明釉を施釉。素地は灰白色。	―	表土
	17	小碗	D-2	口～底	7.7	4.2	4.2	釉は両面とも白化粧後に透明釉を施釉し、内底は蛇の目釉剥ぎ、畳付は釉剥ぎ。素地は灰白色。	23	石敷3
	18	小碗	D-3	口縁部	10.6	―	―	釉は両面に白化粧後に透明釉を施釉し、口唇部は鉄錆。素地は灰白色。	24	L-E8 ピット6　1層
	19	小杯	A	口～底	4.2	2.95～3.01	2.4	釉は黒褐色釉を外面は胴部途中まで、内面は全面に施釉し、その後口縁部に褐釉を施釉。素地は暗赤褐色。文様は魚文などで、型押しか。	23	石積1
	20	小杯	B	口縁部	―	―	―	釉は両面に透明釉を施釉。素地は灰白色。	24	L-E8 落込3内1層
	21	皿	A	口～底	15.0	3.9	7.6	釉はオリーブ灰色を外面は胴部途中まで、内底は蛇の目釉剥ぎ。素地は灰白色。外面の一部に砂付着。	24	K-E7表土
	22	皿	B	口縁部	12.8	―	―	釉は両面に白化粧後に透明釉を施釉。素地は灰白色。	24	M・N-E8 石積16西側
	23	皿	B	底部	―	―	6.6	釉は両面に白化粧後に透明釉を施釉し、内底は蛇の目釉剥ぎ。素地は灰白色。内底と畳付にアルミナ付着。	―	表土
	24	皿	C	口縁部	9.0	―	―	釉は両面に透明釉を施釉。素地は灰白色。釉が部分的に溜まり明緑灰色を呈す。	24	L-E8 石積23南側1層
第49図 図版23	25	大皿	A	口縁部	25.6	―	―	釉は灰白色釉を両面とも胴部途中まで施釉。素地は灰白色。内面に二重圏線。	23	Q-E7表土
	26	大皿	B	口縁部	―	―	―	釉は両面に褐釉を施釉。素地は灰白色。	―	表土
	27	大皿	C	口縁部	―	―	―	釉は外面は褐色で、外面口唇部と内面は透明釉を施釉。素地は灰白色。	24	L-E8 石積23南側1層
	28	鉢	A	口縁部	23.4	―	―	釉は両面に明緑灰色を施釉。素地は灰白色。	24・―	J-E7落込2内3層＋表土
	29	鉢	A	底部	―	―	8.8	釉は灰白色を両面とも胴部途中まで施釉し、内底に鉄錆。素地は灰白色。	―	表土

第８表　沖縄産施釉陶器観察一覧３

図・図版番号	番号	器種	分類	部位	法量（ｃｍ）			観察事項	調査年度(平成)	グリッド・層
					口径	器高	底径			
第49図図版23	30	鉢	B	口縁部	―	―	―	釉は両面に褐釉を施釉。素地は灰白色。	―	表土
	31	鉢	C-2	口縁部	30.8	―	―	釉は外面に黒褐色釉、内面に透明釉を施釉。素地は灰白色。	24	J-E7落込2内3層
	32	鉢	C-3	口縁部	16.8	―	―	釉は外面に褐釉、内面に白化粧後に透明釉を施釉。素地は灰白色。	24	L-E8 落込3内1層
	33	小鉢	―	口～底	11.2	5.45	6.2	釉は両面に透明釉を施釉し、外底は露胎。素地は灰白色。文様は外面に色絵の赤・青・黄で左三つ巴文や菊花文。	24	L-E8落込3内1層 ＋ J-E6・7表土
	34	急須	―	口縁部	6.1	―	―	釉は褐色で外面は口唇部を釉剥ぎ、内面は一部に褐釉が掛かる。素地は灰白色。	24	L-E8 石積23南側1層
	35	急須	―	底部	―	―	―	釉は黒褐色釉を外面に施釉。素地は灰白色。脚は円錐状。	24	J-E7落込2内3層
	36	急須	―	口縁部	5.4	―	―	釉は外面は白化粧後に透明釉を施釉。素地は灰白色。文様は色絵で金・赤・青で菊花文など。	―	表土
	37	急須	―	底部	―	―	8.2	釉は両面に黒褐色釉を施釉し、外面は胴部途中まで。素地は灰白色。底部に砂付着。	24	L-E8落込3内1層 ＋ J-E6・7石積21
	38	大型急須	―	口～底	10.2	(18.8)	8.0	釉は両面に黒褐色釉を施釉し、外面は胴部途中までで口唇部は釉剥ぎ、内面は一部露胎。素地は灰色で緻密。口縁部にアルミナ、底部に砂付着。アンビン。	24	L-E8 石積23南側1層
	39	大型急須	―	把手	―	―	―	釉は黒褐色釉を施釉。素地は灰白色。アンビン。	23	M-E7表土
第50図図版24	40	鍋	―	口～底	15.2	10.0	―	釉は外面は褐釉を口縁部～胴部途中まで施釉後、黒褐色釉を部分的に施釉。内面は灰釉を胴部途中から施釉後、暗緑灰色の釉を部分的に施釉。素地は灰白色。底部に煤付着。	24 ・ ―	J-E7落込2内3層 ＋ 表土
	41	壺	―	口縁部	13.2	―	―	釉は両面に褐釉を施釉し、口唇部は釉剥ぎ。素地はにぶい橙色。口唇部にアルミナ付着。アンダーガーミー。	23	M-E6表土
	42	壺	―	底部	―	―	14.3	釉は両面に褐釉を施釉し、畳付は釉剥ぎ。素地はにぶい橙色。アンダーガーミー。	23	N-E6上層
	43	香炉	―	口縁部	14.5	―	―	釉は黒褐色釉を口唇部～外面に施釉。素地は灰白色。内面に煤付着。	24	L-E8 落込3内1層
	44	瓶	―	口縁部	4.7	―	―	釉は両面に褐釉を施釉。素地は灰白色。	24	L-E8 石積23南側1層
	45	瓶	―	口縁部	5.1	―	―	釉は褐釉を外面～内面胴部途中まで施釉。素地は灰赤色。	24	J-E7落込2内3層
	46	瓶	―	底部	―	―	6.4	釉は黒褐色釉を外面に施釉。素地は褐灰色。内面に石灰分が付着。	24	M・N-E8 石積16・17間 トレンチ
	47	瓶	―	底部	―	―	7.3	釉は両面に白化粧後に透明釉を施釉し、畳付は釉剥ぎ。素地は灰白色。文様は外面に色絵で金・赤・緑で草花文。	―	表土

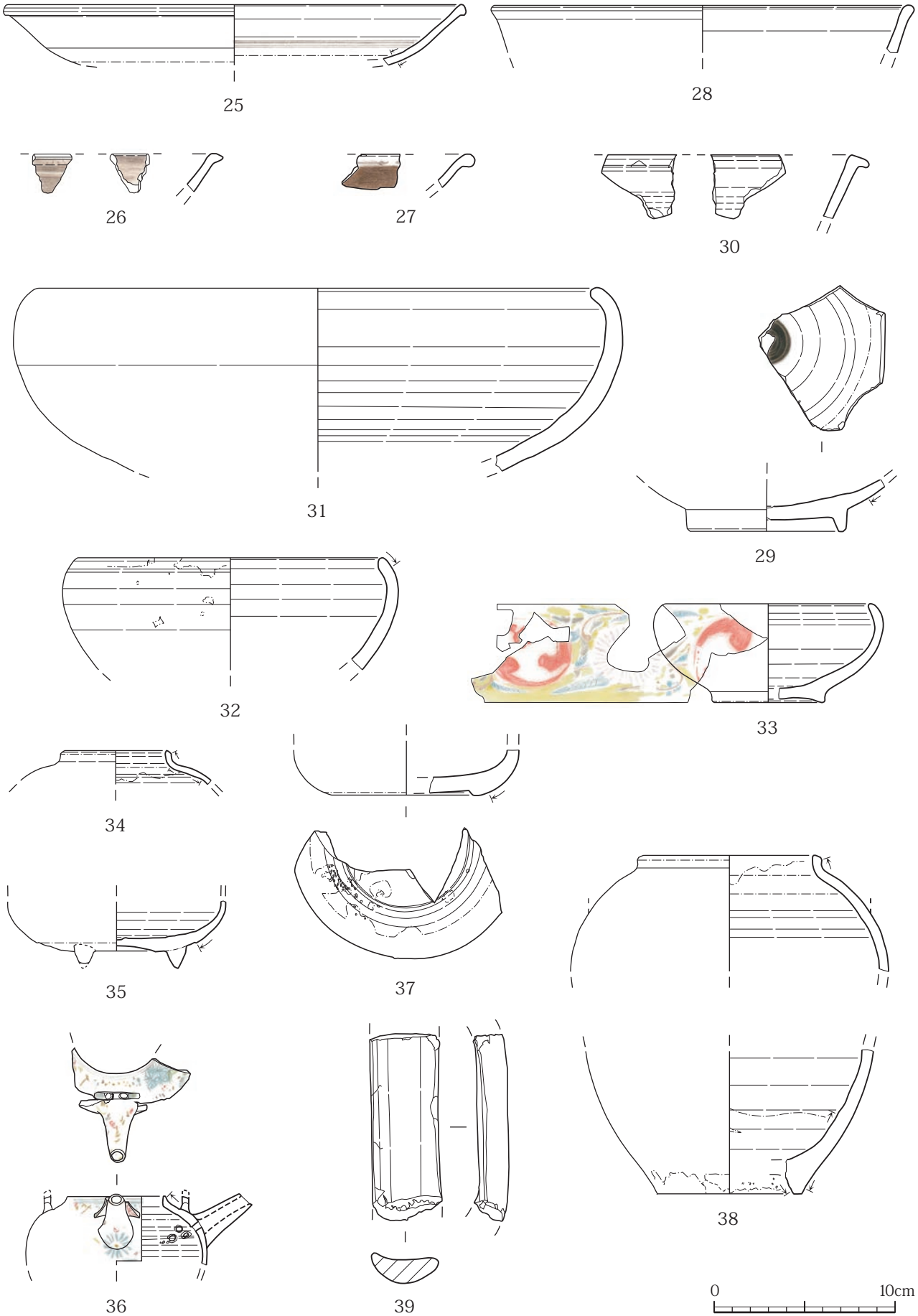
第８表　沖縄産施釉陶器観察一覧４

図・図版番号	番号	器種	分類	部位	法量（ｃｍ）			観察事項	調査年度(平成)	グリッド・層
					口径	器高	底径			
第50図図版24	48	火炉	A	口縁部	24.8	―	―	釉は両面に褐釉を施釉。素地は灰白色。	―	表土
	49	火炉	A	底部	―	―	8.4	釉は灰白色で外面の胴部途中までと内面に施釉。素地はにぶい橙色。	―	表土
	50	火炉	B	口縁部	18.9	―	―	釉は褐釉を口唇部～外面まで施釉し、口唇端部を軽く釉剥ぎ。素地はにぶい橙色。	―	表土
	51	火入	―	口縁部	―	―	―	釉は灰オリーブ色を外面と内面は胴部途中まで施釉。素地は灰白色。文様は外面に施釉後に斜位に山形状に連続して彫り、白土を象嵌。口唇部も施釉後に圏線を彫り、白土を象嵌。	―	表土
	52	瓶	―	口縁部	―	―	―	釉は両面に青白色釉を施釉。素地は灰白色。	24	M-E8・9 石積17東側3層
	53	蓋	A	撮～庇	(撮) 7.1	―	―	釉は褐釉を両面とも胴部途中まで施釉。素地はにぶい橙色。撮みと庇の際は彫りが深い。撮頂部に砂付着。	24	N-E8表土
	54	蓋	A	庇	―	―	―	釉は黒褐色釉を外面に施釉。素地は灰白色。	24	M・N-E8 石積16西側
	55	蓋	A	庇端部	(庇) 13.1	―	―	釉は内面と外面は胴部途中まで白化粧後に透明釉を施釉し、内面は釉剥ぎ。素地は灰白色。	24	L-E8 落込3内1層
	56	蓋	B	庇～袴	(庇) 7.0	―	(袴) 5.6	釉は黒褐色釉を外面に施釉。素地は灰白色。	24	L-E8落込3内1層 ＋ L-E8石積23南側1層
	57	蓋	B	庇～袴	(庇) 10.4	―	(袴) 8.4	釉は外面に明緑灰色釉を施釉後、褐釉を施釉。素地は灰白色。	23	石積2
	58	器種不明	―	把手	―	―	―	釉は明緑灰色釉。素地は灰白色。	24	J-E7落込2内3層



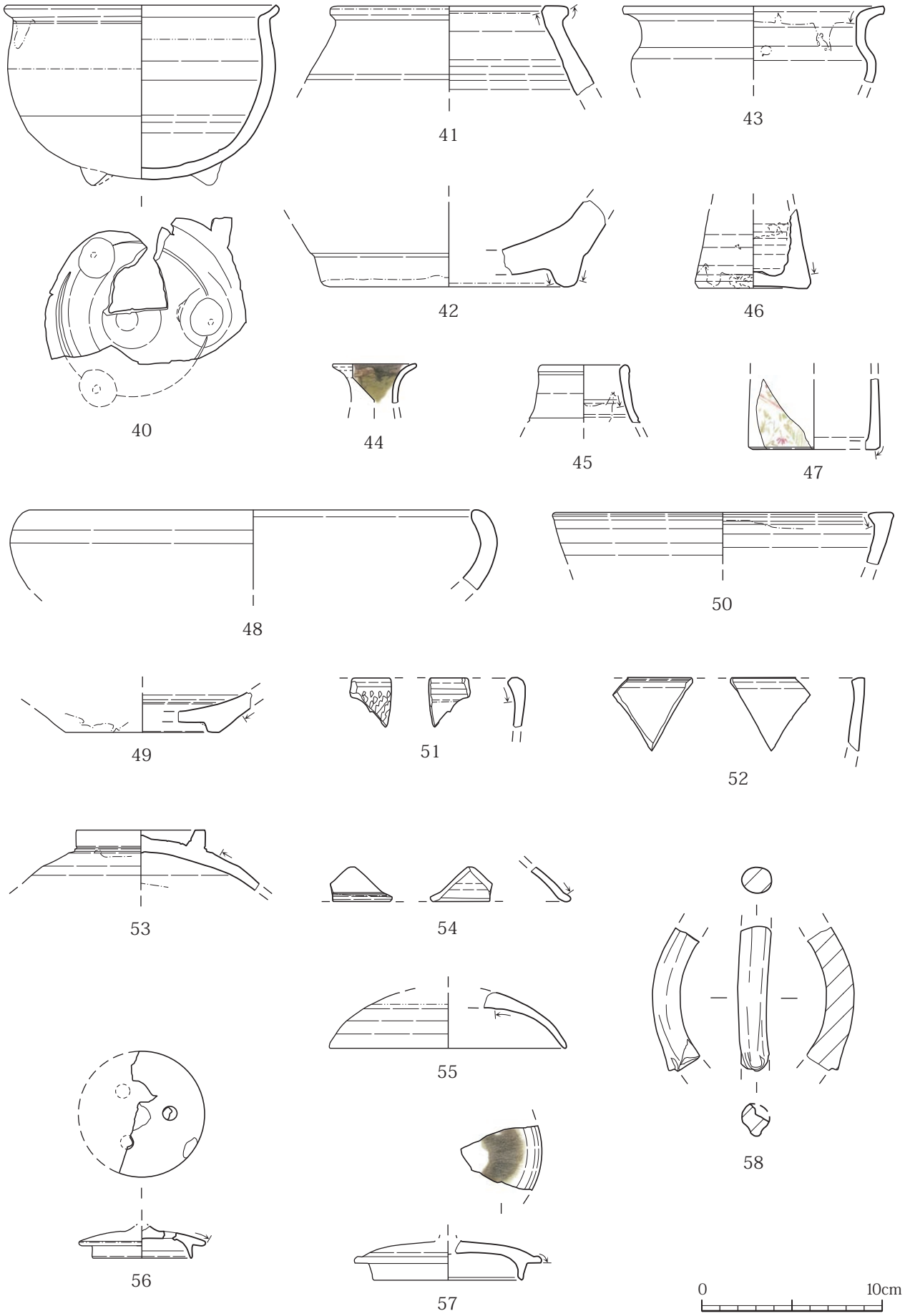
第 48 図　沖縄産施釉陶器 1

図版 22　沖縄産施釉陶器 1

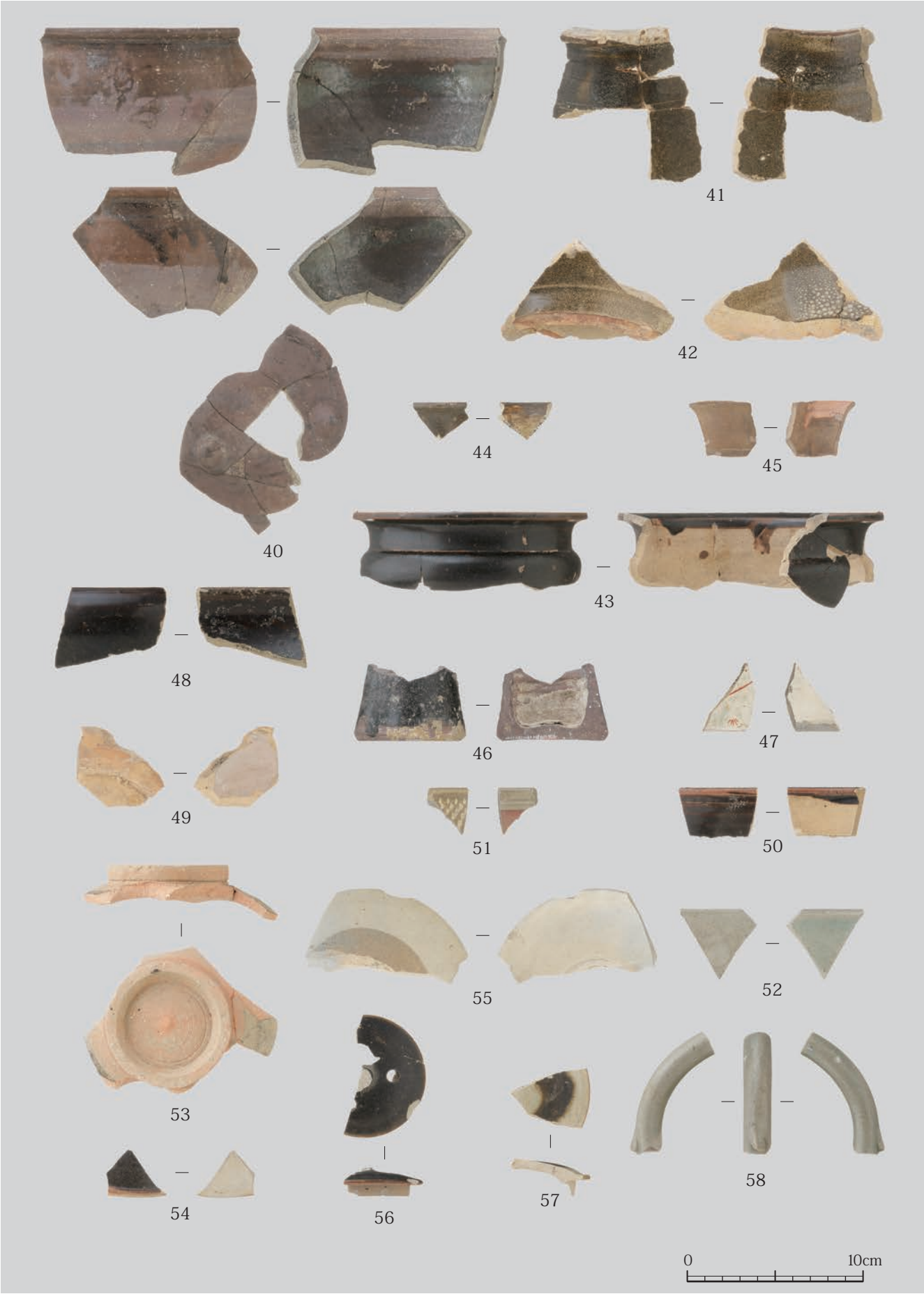


第 49 図　沖縄産施釉陶器 2

図版 23　沖縄産施釉陶器 2



第 50 図　沖縄産施釉陶器 3



図版 24　沖縄産施釉陶器 3

2　無釉陶器

方言で「アラヤチ（荒焼）」と称されるもので、一般に高火度で焼成された焼き締め陶器を指す。基本的には無釉の製品を主体とするが、泥釉やマンガン釉を施すものもある。また一部には、薩摩焼の影響を色濃く残す「初期無釉陶器（沖縄県埋文 2010、新垣 2013a）」の範疇に含まれる資料もみられる。総数 1,462 点出土しており（第 37 表）、器種は碗・皿・急須・火炉・火入・鉢・擂鉢・壺・甕及びそれに対応する蓋が確認されている。以下に各器種の分類概念を記し、個々の所見は観察表（第９表）に記す。

①碗　Ａ類：高台付きの底部から斜め上方に開くもので、高台内刳りが深く初期無釉陶器と考えられるもの（Ａ－１：１）と、高台内側を上げ底状に成形し初期無釉陶器に該当しないもの（Ａ－２：２）がある。

Ｂ類：器形は概ねＡ類に似るが高台内刳りが浅いもの（３）。

②皿：平底の底部から斜め上方に開き、口縁部が直口する器高の低い皿（４）。口縁部に煤が付着しているため、燈明皿として使用されたと考えられる。

③急須　Ａ類：体部が球形で口縁部内面に受部を有するもの。初期無釉陶器と考えられる（５）。

Ｂ類：器形はＡ類に似るが口縁部内面に受部を持たず、器壁もＡ類に比して厚い（６・７）。いずれも初期無釉陶器には該当しない。

④火炉　Ａ類：肩部で内側に屈曲し口縁部の上面観が三葉形を呈するもので、初期無釉陶器と考えられる器壁の薄いもの（Ａ－１）と、初期無釉陶器に該当しない器壁の厚いもの（Ａ－２：８・９）がある。

Ｂ類：概ね直口口縁を呈するもので、口縁部の内面に受部を貼付する（10 ～ 12）。

⑤火入：筒形の器形で口唇部に焼成時の痕跡が残る（13）。

⑥瓶：様々な器形の資料が得られているが、今回は方言で「二合マス」または「チュワカサー」と称される徳利形の製品（14・15）を図示した。

⑦鉢　Ａ類：瓦質土器の植木鉢と同様の器形・文様を有するもの（20）。本資料は瓦質土器の技術で製作された無釉陶器ともいうべき珍しい事例であり、両者の関係を考えるうえでも重要である。

Ｂ類：口縁部が鍔縁を呈する平底の製品で、初期無釉陶器と考えられるもの（Ｂ－１：21・22）と、初期無釉陶器に該当しないもの（Ｂ－２：23）がある。

Ｃ類：口縁部が内湾する平底の製品で、口唇部外面を玉縁状に肥厚するもの（Ｃ－１：24）と、口唇部を舌状に成形するもの（Ｃ－２：25）がある。

⑧擂鉢　Ａ類：体部が斜め上方へ直線的に開くもので、鍔縁口縁の下位に稜を有する。器壁が薄いもの（Ａ－１：31）と厚手のもの（Ａ－２：32・33）がある。底部は平底が主体だが、乳鉢状の小皿を脚部として貼付するもの（34）もある。

Ｂ類：体部が丸みを持って立ち上がり、鍔縁口縁の下位に稜を有する（35）。底部は平底と考えられる。

⑨壺　Ａ類：大形の有耳壺。器壁が薄く、口縁端部を内側に折り返し玉縁状に成形するもので、初期無釉陶器と考えられる（Ａ－１：26）。

B類：大形の四耳壺だが初期無釉陶器には該当しない。A類に比して器壁が厚く、口縁端部を外側に折り返して玉縁状に成形し、肩部の張りも弱い（36）。

⑩甕　A類：器形は鉢B類に類似するもので、口縁部が鍔縁を呈する。初期無釉陶器と考えられるもの（A－1：37）と、初期無釉陶器に該当しないもの（A－2：38）がある。

B類：口縁部の断面形態が方形を呈するもので、胴部に縄目文を貼付する。破片資料のため今回は図化を見送った。

⑪蓋　A類：急須に対応すると考えられるもの。袴を持たず庇端部が鍔縁状を呈し、初期無釉陶器の可能性があるもの（A－1：16）と、袴を持ち初期無釉陶器に該当しないもの（A－2：17）がある。

B類：皿形製品を伏せたような器形を有するもの。体部が直線的に開くもの（B－1：18）と、蓋甲がやや丸みを帯びるもの（B－2：19）がある。前者は鍋または厨子に対応する可能性が考えられるが、後者は不明である。

第9表　沖縄産無釉陶器観察一覧1

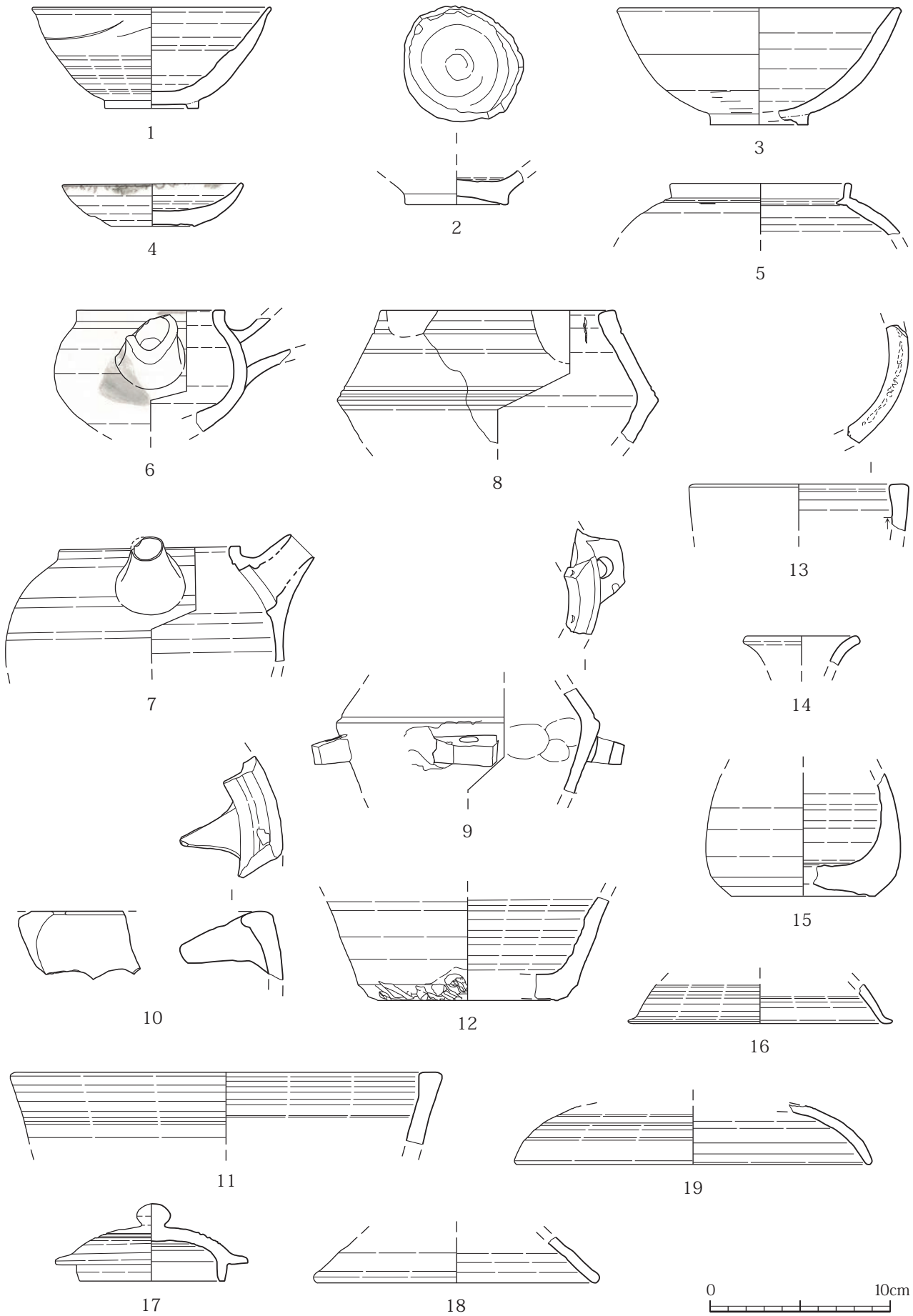
図・図版番号	番号	器種	分類	部位	法量（cm）			器色	素地(色・質・混和材)	成形・調整・文様等	調査年度(平成)	グリッド・層
					口径	器高	底径					
第51図 図版25	1	碗	A-1	口～底	13.3	5.6	5.2	灰色で部分的に橙色。	灰色～暗赤褐色。白筋あり。白色粒を含む。	轆轤成形。外面に線条痕がありヘラ調整。内面は雑に成形される。	－	表土
	2	碗	A-2	底部	－	－	5.8	赤褐色。	赤褐色。黒色粒や白色粒を含む。	轆轤成形。	24	K-E7落込2内1層
	3	碗	B	口～底	15.8	6.5	5.4	内面～外面胴部途中まで灰色。外面胴部途中から赤褐色。	暗赤褐色。黒色粒や白色粒を含む。	轆轤成形。外面に線条痕がありヘラ調整。	24	J-E7落込2内3層
	4	皿	－	口～底	10.1	2.4	4.6	赤褐色。	赤褐色。黒色粒を含む。	轆轤成形。外底の表面調整なし。口唇部に煤付着。灯明皿。	23	集石
	5	急須	A	口縁部	10.1	－	－	灰色～褐色。	赤褐色。白色粒を含む。白筋あり。	轆轤成形。	－	表土
	6	急須	B	口縁部	8.3	－	－	外面は橙色～暗褐色。内面は灰色。	灰色。白色粒を含む。	轆轤成形。外面に煤付着。	24	M-E9 石積17・18間 トレンチ1層
	7	急須	B	口縁部	10.1	－	－	褐色。	素地は赤褐色。黒色粒や赤色粒を含む。白筋あり。	轆轤成形。斜めに線条痕がありヘラ調整か。内面に煤付着？	24	J-E7落込2内3層 + M・N-E8 石積16・17間
	8	火炉	A-2	口縁部	13.1	－	－	橙色。	橙色。白色粒を含む。	轆轤成形。外面に煤付着？	24	J-E7落込2内3層
	9	火炉	A-2	口縁部	－	－	－	褐色。	橙色。白色粒を含む。	轆轤成形。耳の作りが丁寧。	24	L-E8 石積23南側3層
	10	火炉	B	口縁部	－	－	－	灰色～褐色。	赤褐色。白色粒や黒色粒を含む。	轆轤成形。煤付着？	24	M・N-E8 石積16・17間 トレンチ
	11	火炉	B	口縁部	24.0	－	－	赤褐色。	赤褐色。白色粒や黒色粒・雲母を含む。	轆轤成形。	24	L-E8 石積23南側1層

第９表　沖縄産無釉陶器観察一覧２

図・図版番号	番号	器種	分類	部位	法量（ｃｍ）			器色	素地(色・質・混和材)	成形・調整・文様等	調査年度(平成)	グリッド・層
					口径	器高	底径					
第51図図版25	12	火炉	B	底部	―	―	11.0	赤褐色。	赤褐色。白色粒を含む。	轆轤成形。内面の轆轤目顕著。外底は凹凸がある。	24	J-E7落込2内3層
	13	火入	-	口縁部	12.2	―	―	黒褐色釉を両面に施釉。	暗赤褐色。白色粒を含む。	轆轤成形。外面は丁寧に調整され、内面は轆轤目顕著。	24	J-E7落込2内3層 ＋　L-E8 石積23南側2層
	14	瓶	-	口縁部	6.5	―	―	褐色の泥釉を両面に施釉。	暗赤褐色。白色粒を含む。	轆轤成形。	24	L-E8 ピット6　1層
	15	瓶	-	底部	―	―	8.0	外面は赤褐色で一部に褐色の泥釉。内面は灰色。	灰色～赤褐色。白色粒を含む。	轆轤成形。内面の轆轤目顕著。	23	Q-E7表土
	16	蓋	A-1	庇端部	(庇) 14.7	―	―	外面は暗赤褐色。内面は赤褐色。	赤褐色。白色粒を含む。	轆轤成形。	24	L-E8 石積23南側1層
	17	蓋	A-2	庇端部～袴	(撮) 1.9 (庇) 10.7	4.3	(袴) 8.0	赤褐色。	赤褐色。白色粒を含む。	轆轤成形。	24	K-E7落込2内1層
	18	蓋	B-1	庇端部	(庇) 15.8	―	―	暗褐色～褐色。	赤褐色。白色粒を含む。	轆轤成形。	24	J-E7落込2内3層
	19	蓋	B-2	庇端部	(庇) 19.8	―	―	褐色で一部、橙色。	灰色と赤褐色。白色粒や赤色粒を含む。	轆轤成形。外面に線条痕がありヘラ調整。	24	J-E7落込2内3層
第52図図版26	20	鉢	A	口縁部	41.6	―	―	赤褐色。	赤褐色。白色粒や黒色粒を含む。	ナデ成形。波状の凸帯は指で摘まみ、牡丹文は向きが上下の2つを一組とした施文具を使用したと思われる。	24	K-E7落込2内1層
	21	鉢	B-1	口縁部	―	―	―	外面に暗褐色の泥釉。内面は露胎し赤褐色。	暗赤褐色。白色粒を含む。白筋あり。	轆轤成形。内面の轆轤目顕著。	―	表土
	22	鉢	B-1	底部	―	―	―	外面に暗褐色の泥釉。内面は露胎し赤褐色。	暗赤褐色。白色粒を含む。白筋あり。	轆轤成形。内面の轆轤目顕著。	―	表土
	23	鉢	B-2	口～底	33.4	19.5	13.3	橙色。	橙色。白色粒や黒色粒、石灰岩粒を含む。	轆轤成形。	―	表土
	24	鉢	C-1	口～底	17.4	10.9	7.8	灰色。	灰色と赤褐色。白色粒を含む。	轆轤成形。内面の轆轤目顕著。波状文。	24	J-E7落込2内3層 ＋ L-E8石積23南側1層
	25	鉢	C-2	口縁部	15.6	―	―	褐色。	赤褐色。白色粒と石灰岩粒を含む。	轆轤成形。	24	N-E8表土
	26	壺	A-1	口縁部	21.2	―	―	外面に暗褐色の泥釉。	暗赤褐色。白色粒と石灰岩粒を含む。	口唇部は内側に折り曲げ成形。	―	表土

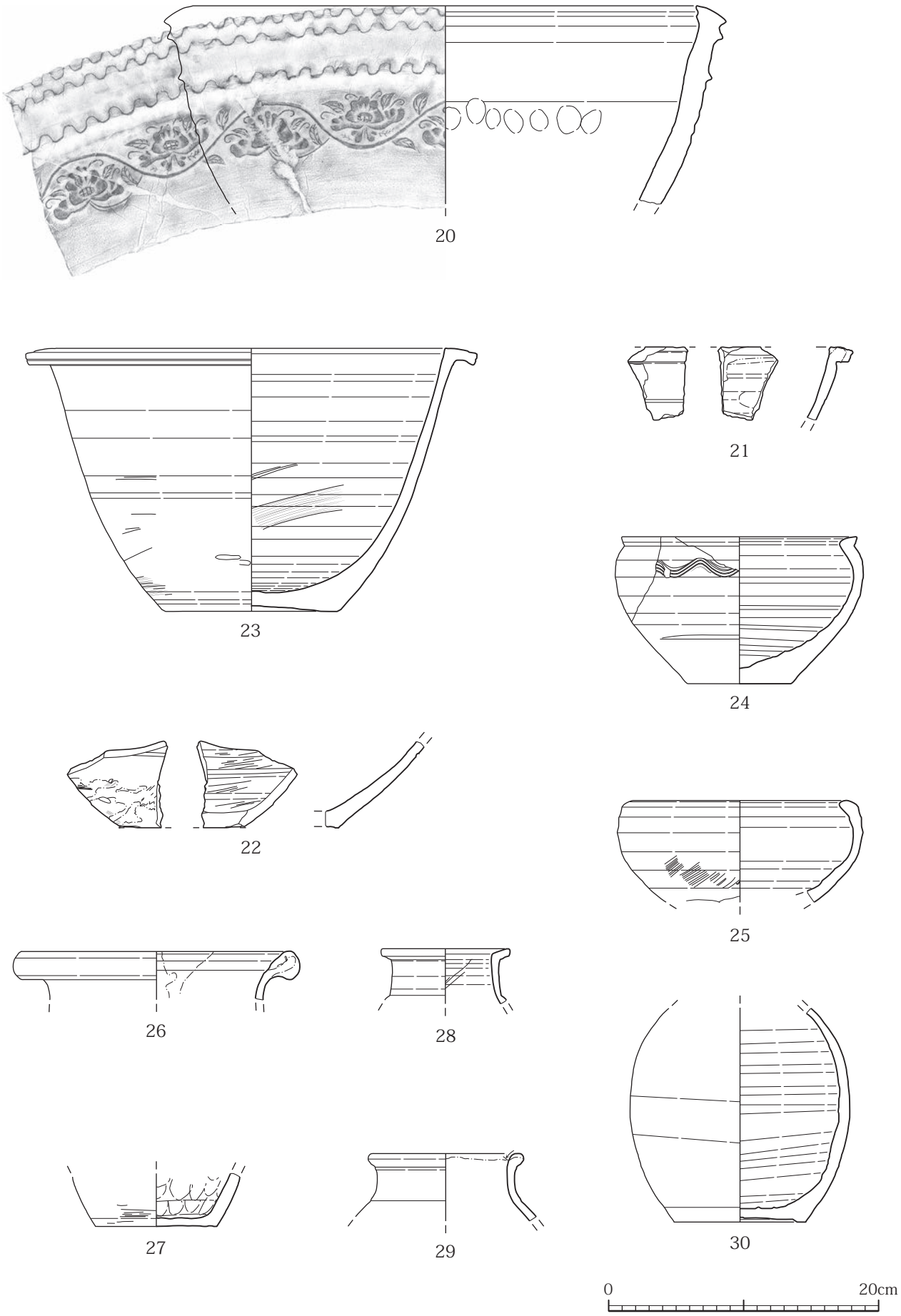
第９表　沖縄産無釉陶器観察一覧３

図・図版番号	番号	器種	分類	部位	法量（ｃｍ）			器色	素地(色・質・混和材)	成形・調整・文様等	調査年度(平成)	グリッド・層
					口径	器高	底径					
第52図図版26	27	壺	B-1	底部	―	―	9.0	灰色で外底は橙色。	灰色。白色粒を含む。白筋あり。	内面の調整は雑。	―	表土
	28	壺	B-2	口縁部	9.6	―	―	褐色の泥釉を両面に施釉。	赤褐色。白色粒を含む。	轆轤成形。	―	表土
	29	壺	B-2	口縁部	11.6	―	―	褐色の泥釉を両面に施釉。	暗赤褐色。白色粒を含む。	轆轤成形。	24	M・N-E8 石積16・17間トレンチ
	30	壺	B-2	底部	―	―	9.8	外面に暗赤褐色の泥釉を施釉。内面は露胎し、灰色。	赤褐色。白色粒。	轆轤成形。内面の轆轤目顕著。	24	K-E7石積24
第53図図版27	31	擂鉢	A-1	底部	―	―	―	赤褐色。	赤褐色。白色粒や赤色粒を含む。白筋あり。	外面に文字の線彫りと数条の線刻あり。	24	L-E8 石積23南側1層
	32	擂鉢	A-2	口縁部	30.2	―	―	灰色～赤褐色。	赤褐色。白色粒を含む。	轆轤成形。内面の轆轤目顕著。６～７条一組の磨り目。	24	L-E8 石積23南側1層
	33	擂鉢	A-2	底部	―	―	9.1	外面に褐色の泥釉を胴部途中まで施釉。露胎部分は赤褐色。	赤褐色。白色粒を含む。	轆轤成形か。	24	K-E7石列1
	34	擂鉢	A	底部	―	―	9.8	外面に黄褐色の釉を施釉。内面は露胎し、褐色。	赤褐色。白色粒を含む。	轆轤成形。	―	表土
	35	擂鉢	B	口縁部	30.0	―	―	褐色～赤褐色。	赤褐色。白色粒や石灰岩粒を含む。	轆轤成形。	―	表土
	36	壺	A-2	口～底	16.4	69.5	25.6	外面は褐色、内面は赤褐色。	赤褐色。白色粒を含む。	轆轤成形。外面に線彫りで記号あり。	24	J-E7落込2内3層
	37	甕	A-1	口縁部	―	―	―	褐色～赤褐色。	赤褐色。白色粒や石灰岩粒を含む。白筋あり。	口唇部に波状の凸帯と、ひだを上下から摘まみ２条の波状文をつくる。	23	Q-E7表土
	38	甕	A-2	口縁部	46.4	―	―	外面に褐色の泥釉を施釉。内面は露胎し灰色。	赤褐色。白色粒や赤色粒を含む。	轆轤成形。口唇端部に波状文、胴部に凸帯で文様を付ける。	―	表土



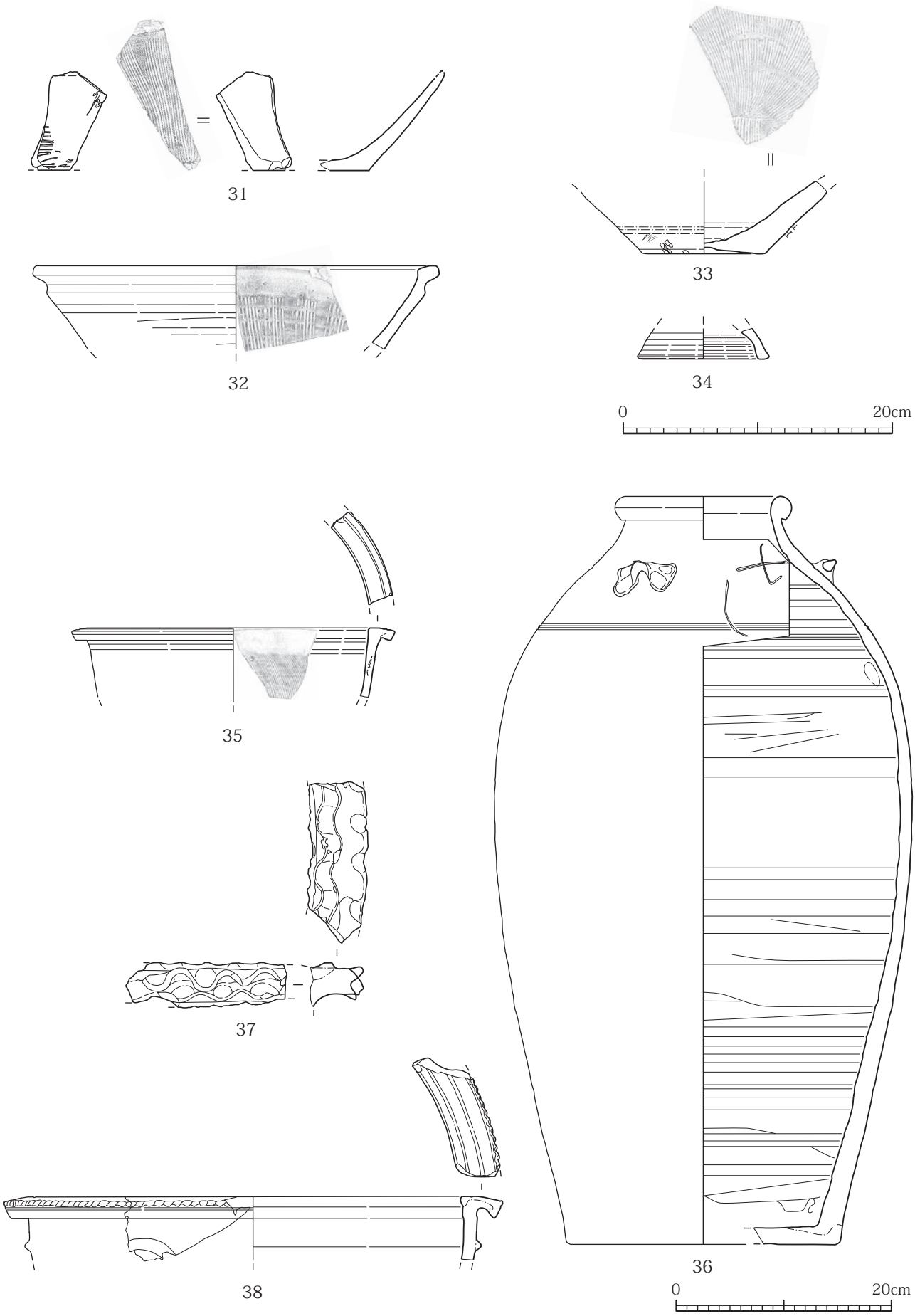
第 51 図　沖縄産無釉陶器 1

図版 25　沖縄産無釉陶器 1

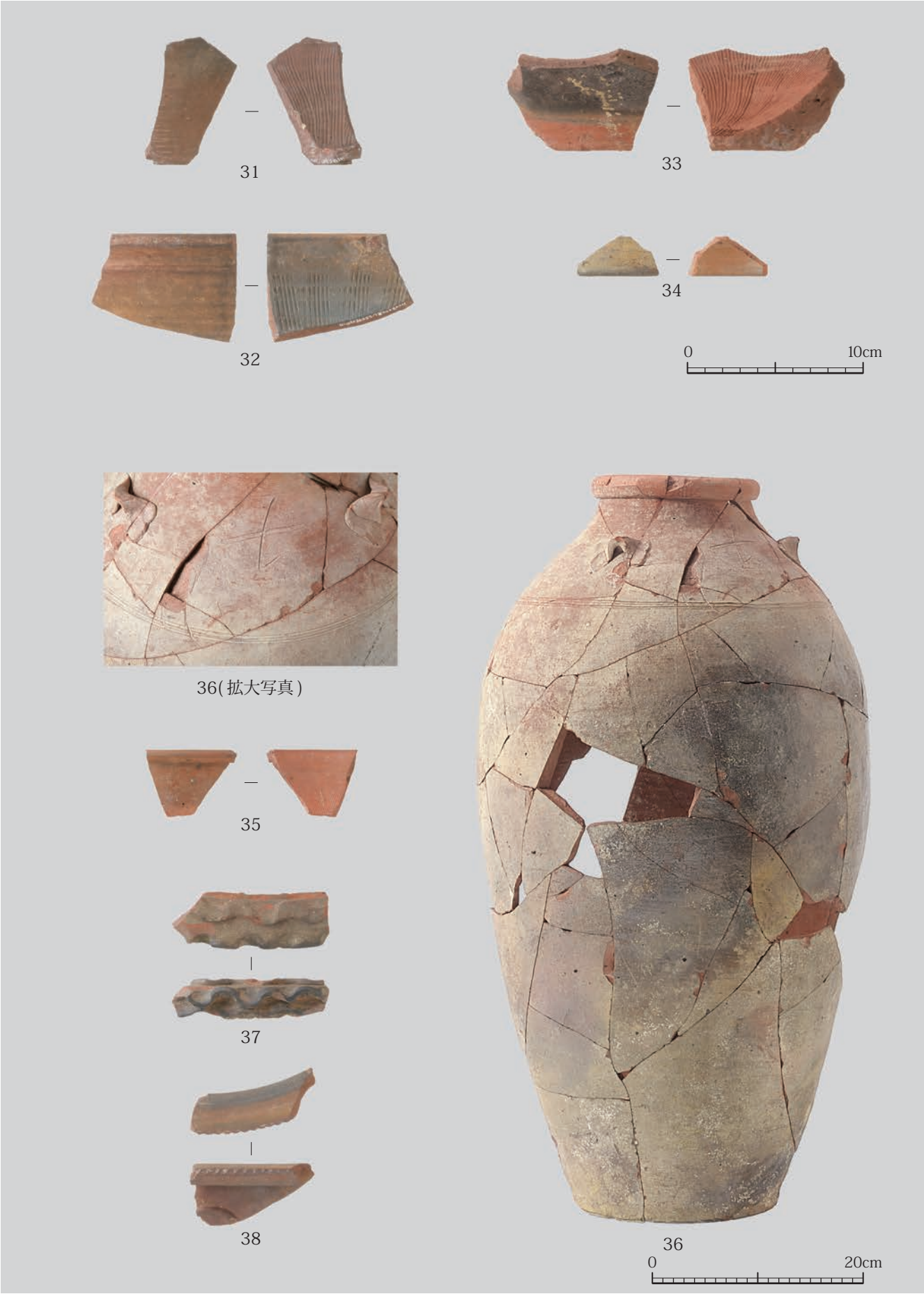


第 52 図　沖縄産無釉陶器 2

図版 26　沖縄産無釉陶器 2



第 53 図　沖縄産無釉陶器 3



図版 27　沖縄産無釉陶器 3

3　陶質土器

総点数 552 点が出土している（第 38 表）。器種は皿・鉢・鍋・土瓶・火炉・蓋・竈・土鈴等が確認されている。個々の所見を観察表（第 10 表）に記す。

第 10 表　陶質土器観察一覧

図・図版番号	番号	器種	分類	部位	法量（ｃｍ）			器色	素地（色・質・混和材）	所見	調査年度(平成)	グリッド・層
					口径	器高	底径					
第54図 図版28	1	鉢	—	口～底	13.9	6.9	7.8	明赤褐色	赤褐色で、白色粒や雲母を含む。	口縁部は舌状を呈する。底部に渦巻状の糸切り痕。	24	L-E8落込3内1層
	2	鉢	—	口縁部	—	—	—	明赤褐色	赤褐色で、白色粒や赤色粒・雲母を含む。	外面胴部に波状文。	23	Q-E7表土
	3	土瓶	—	口縁部	10.8	—	—	橙色	明赤褐色で、白色粒や雲母を含む。	注口部は胴部との接続部をきれいにナデ調整される。	24	J-E7落込2内3層
	4	土瓶	—	口縁部	7.6	—	—	橙色	橙色で、白色粒や赤色粒・雲母を含む。	—	24	L-E8 石積23南側1層
	5	皿	—	底部	—	—	5.4	橙色	橙色で、白色粒や赤色粒・雲母を含む。	—	24	M-E8・9 石積17東側3層
	6	火炉	A	口縁部	11.4	—	—	橙色	橙色で、白色粒や赤色粒・雲母を含む。	内面の轆轤目顕著。口唇部に煤付着。	24	J-E7落込2内3層
	7	火炉	A	口縁部	—	—	—	明赤褐色	明赤褐色で、白色粒や雲母を含む。	外面が摩滅する。	—	表土
	8	火炉	A	底部	—	—	15.6	外面はにぶい橙色、内面は橙色	灰白色で、白色粒や黒色粒・雲母を含む。	円盤状の脚が付く。	24	K-E7石列2
	9	火炉	B	口縁部	12.3	—	—	橙色	橙色で、白色粒や雲母を含む。	口縁部の突起端部は平坦面を有す。突起に煤付着。	24	L-E8 石積23南側1層
	10	火炉	B	口縁部	15.8	—	—	橙色	橙色で、白色粒や赤色粒・雲母を含む。	横耳が付く。内面に煤付着。	—	表土
	11	火炉	B	底部	—	—	8.4	橙色	灰黄褐色で、白色粒や赤色粒・雲母を含む。	内面に煤付着。	—	表土
	12	火炉	C	底部	—	—	16.0	橙色	橙色で、白色粒や雲母を含む。	外面は磨かれ、内面は轆轤目顕著。	24	K-E7落込2内1層
第55図 図版29	13	火炉	C	口縁部	39.6	—	—	橙色	橙色で、白色粒や黒色粒・雲母を含む。	突起が口縁部より一段下がって付いている。内面に煤付着。	24	J-E7落込2内3層
	14	蓋	A	蓋甲～庇	(庇) 8.2	—	—	橙色	橙色で、白色粒や雲母を含む。	撮みの断面が楕円の粘土紐を付ける。内面に煤付着。	24	J-E7落込2内3層
	15	蓋	A	撮	(撮) 4.6	—	—	橙色	灰黄褐色で、白色粒や赤色粒・雲母を含む。	—	24	L-E8 石積23南側3層
	16	蓋	A	庇端部	(庇) 13.6	—	—	橙色	橙色で、赤色粒や雲母を含む。	—	24	M・N-E8 石積16・17間 トレンチ ＋N-E8表土
	17	蓋	A	庇端部	(庇) 12.6	—	—	橙色	橙色で、白色粒や雲母を含む。	—	24	L-E8 石積23南側1層
	18	蓋	B	蓋甲～袴	(庇) 8.0	—	(袴) 7.2	橙色	橙色で、白色粒や雲母を含む。	蓋甲に袴の粘土を付け製作している。表面に凹凸がある。	24	M・N-E8 石積16・17間 トレンチ
	19	蓋	B	蓋甲～袴	(庇) 11.4	—	(袴) 9.4	外面は明赤褐で、袴から内側は橙色	灰白色で、白色粒や赤色粒・雲母を含む。	外面は摩滅か。	24	J-E7落込2内3層
	20	蓋（甕）	C	袴	—	—	(袴) 8.6	橙色	橙色で、赤色粒や白色鉱物・雲母を含む。	内面に煤付着。	24	L-E8 石積23南側1層

第５項　瓦質土器・カムィヤキ・土器

瓦質土器

総点数 50 点が出土している（第 39 表）。器種は擂鉢・植木鉢・火鉢・火炉・目皿・蓋等が確認されている。個々の所見を観察表（第 11 表）に記す。

土器

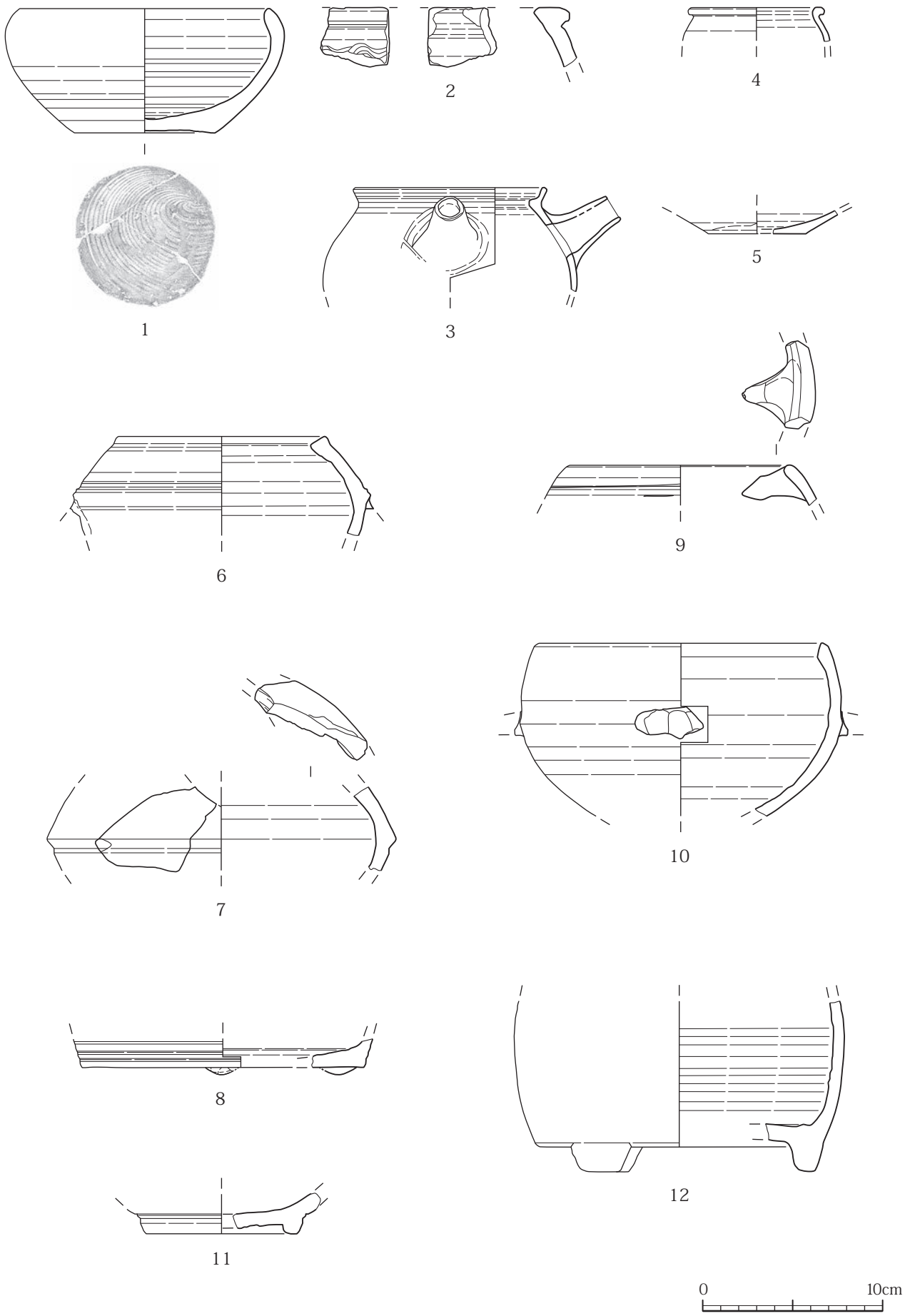
土器はグスク土器、宮古式土器等、総点数 276 点が出土している（第 39 表）。器種は擂鉢・植木鉢・火鉢・火炉・目皿・蓋等が確認されている。個々の所見を観察表（第 11 表）に記す。

カムィヤキ

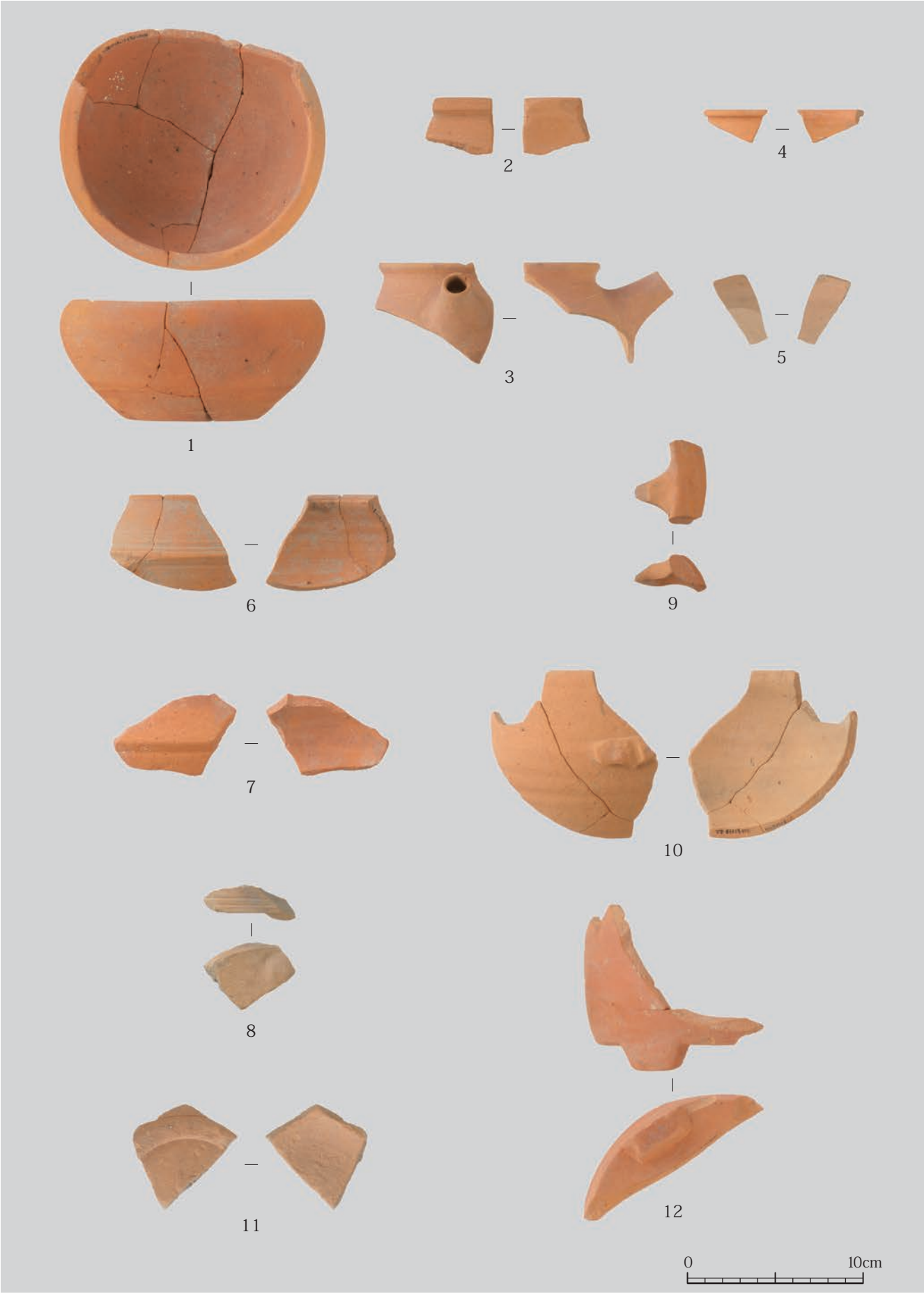
壺の胴部片が 3 点出土している（第 39 表）。個々の所見を観察表（第 11 表）に記す。

第 11 表　瓦質・カムィヤキ・土器観察一覧

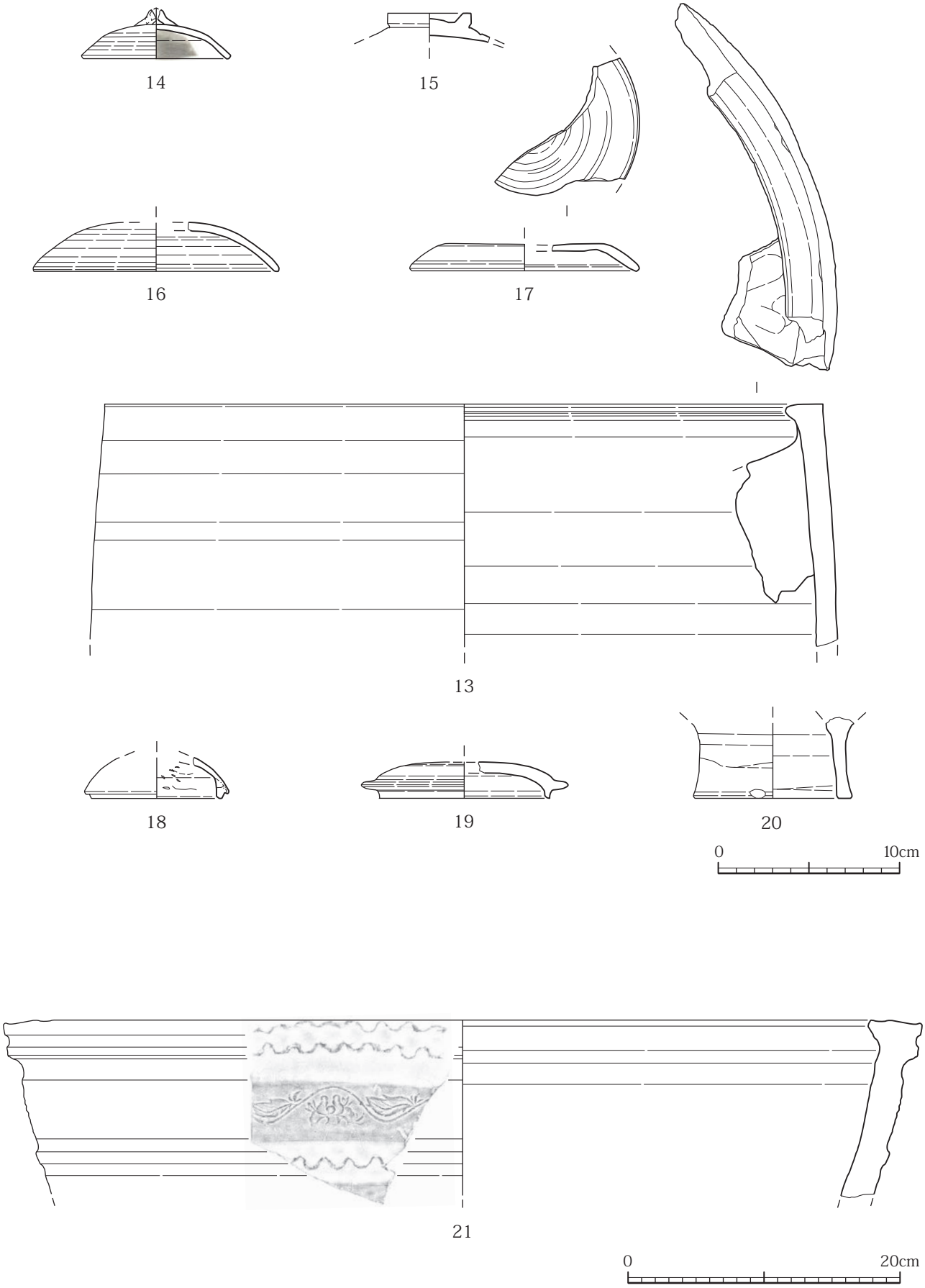
図・図版番号	番号	種別（分類）	器種	部位	法量（cm・g）				観察事項			調査年度(平成)	グリッド・層
					口径	器高	底径	重量	器色	素地（色・混和材）	所見		
第55図 図版29	21	瓦質土器	植木鉢	口縁部	67.6	－	－	625.7	灰黄色	灰白色で、白色鉱物や黒色粒を含む。	口縁部や胴部に波状の突帯と、牡丹文は向きが上下の２つを一組とした施文具を使用したと思われる。	24	K-E7 落込2内1層
第56図 図版30	22	瓦質土器	擂鉢	口縁部	36.4	－	－	244.8	にぶい橙色	灰白色で、赤色粒を含む。	櫛目と櫛目の間隔が開く。	24	J-E6表土
	23	瓦質土器	擂鉢	底部	－	－	－	58.7	にぶい橙色	灰色で、白色粒や赤色粒を含む。	櫛目と櫛目の間隔が開くと思われる。	23	石積1
	24	瓦質土器	火鉢	口縁部	－	－	－	91.6	灰白色～にぶい橙色	灰色で、白色粒を含む。	圏線内に菊花の印文を連続して施文。	24	O-E7・8 石積20南側4層
	25	瓦質土器	火鉢	口縁部	35.0	－	－	105.1	にぶい橙色	灰白色で、白色粒と雲母を含む。	２本の突帯の区画内に菊花の印文を連続して施文。口唇部に煤付着か。	23	O-E6上層
	26	瓦質土器	火鉢	口縁部	36.0	－	－	96.2	にぶい橙色	灰白色で、白色粒や赤色粒を含む。	圏線内に菊花の印文を連続して施文。両面に煤付着。	24	J-E6表土
	27	瓦質土器	火鉢	底部	－	－	－	25.0	灰色	にぶい橙色で、白色粒を含む。	被熱により白化していると思われる。	23	N-E5
	28	カムィヤキ	壺	胴部	－	－	－	29.1	灰色	明赤褐色で、白色粒や赤色粒を含む。	内面はナデ調整。外面には格子目状の当て具痕が残る。	24	K-E7表土
	29	土器	蓋	庇端部	－	－	－	39.9	橙色	橙色で、白色鉱物を含む。	表面はナデ調整されるが、裏面はナデ調整されない。	－	不明



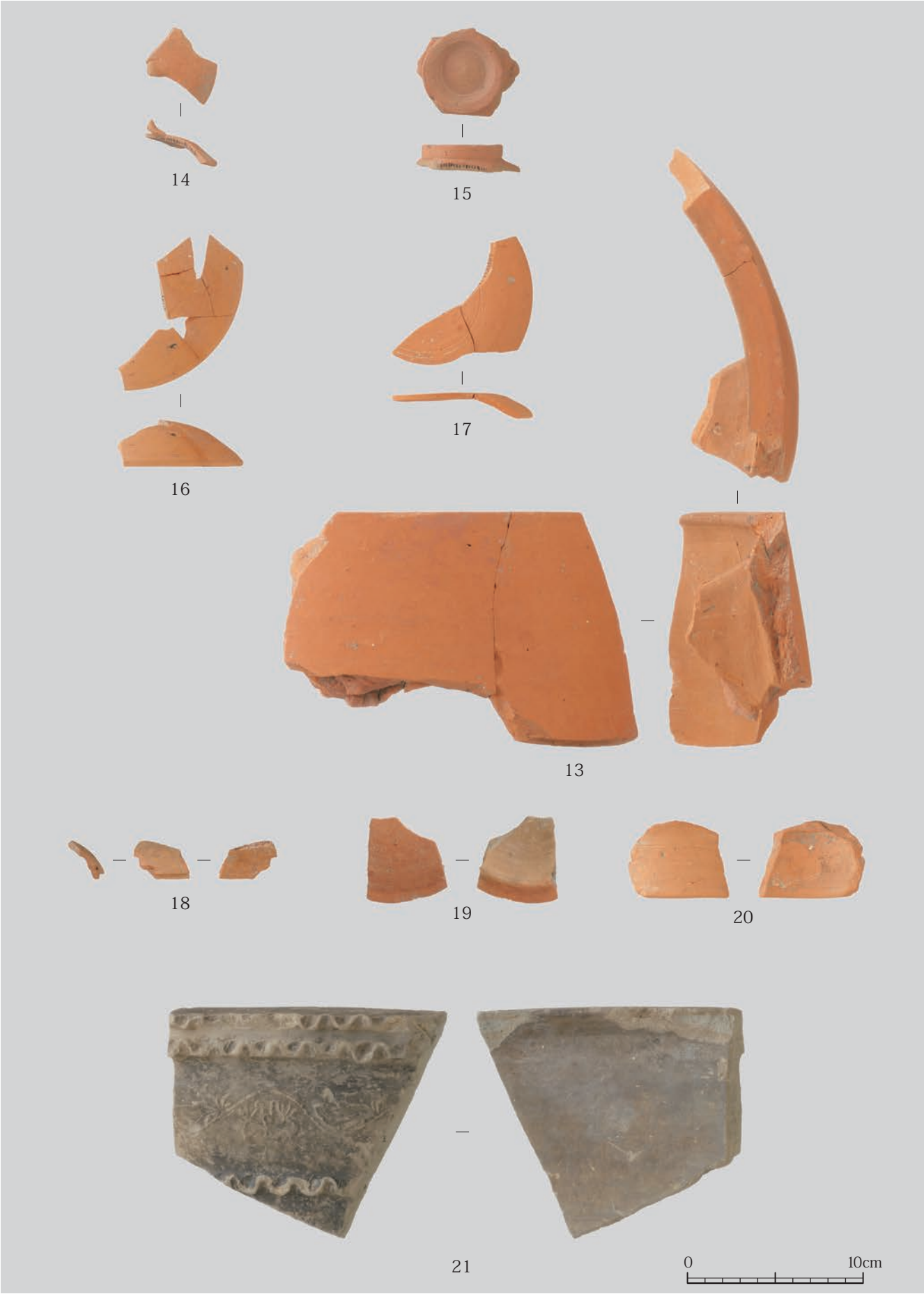
第 54 図　陶質土器 1



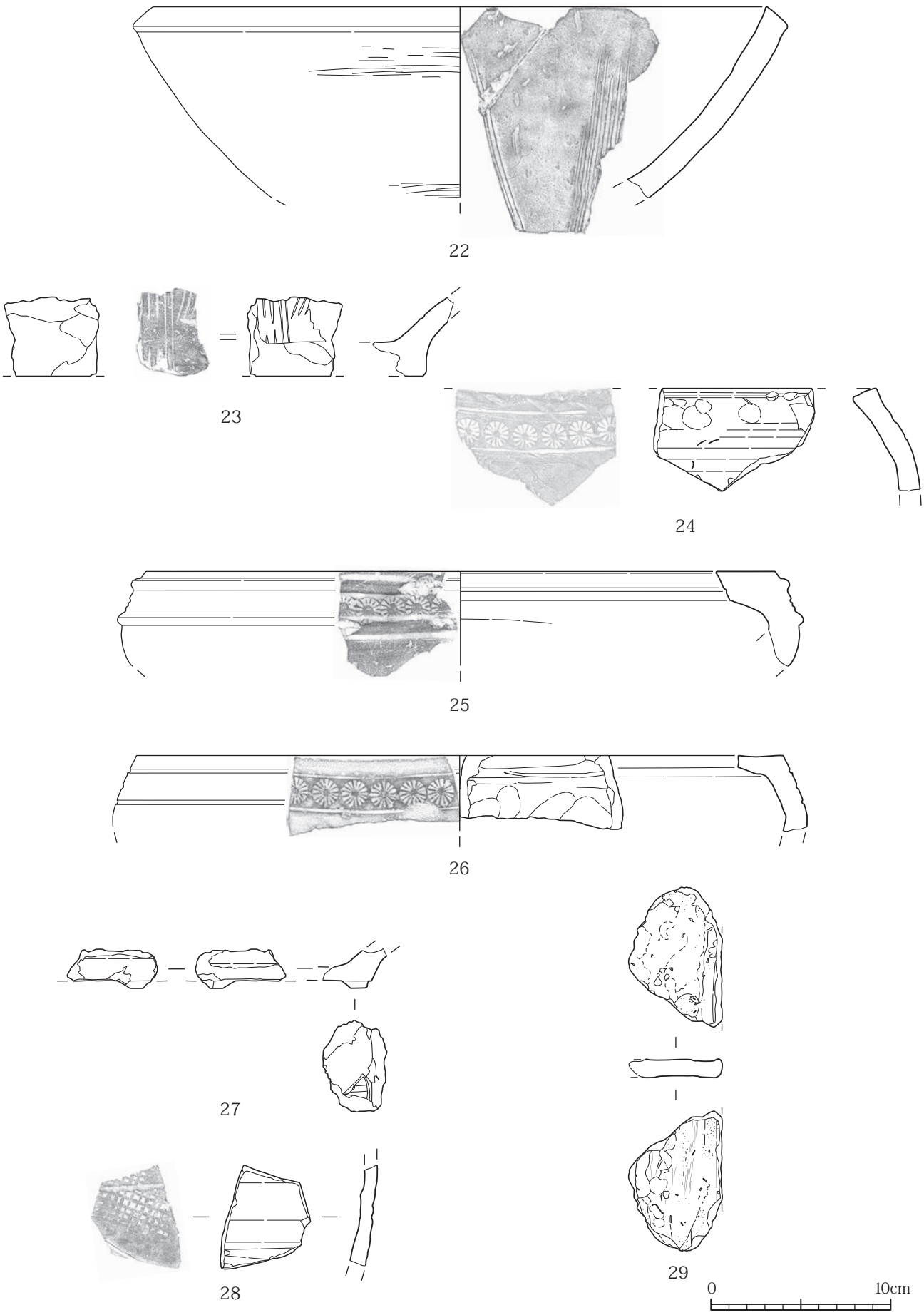
図版 28　陶質土器 1



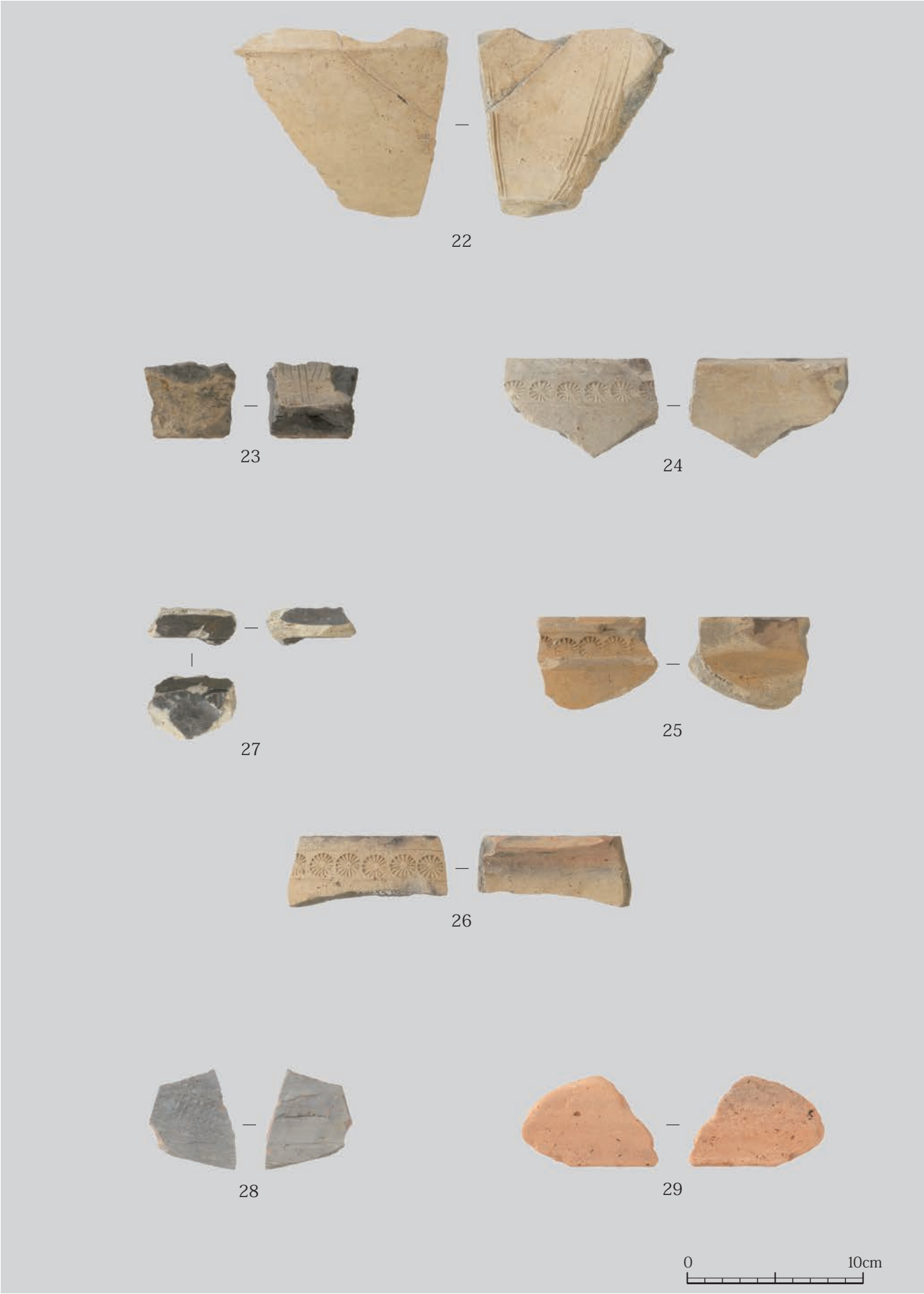
第 55 図　陶質土器 2・瓦質土器 1



図版 29　陶質土器 2・瓦質土器 1



第 56 図　瓦質土器 2・カムィヤキ・土器



図版 30　瓦質土器 2・カムィヤキ・土器

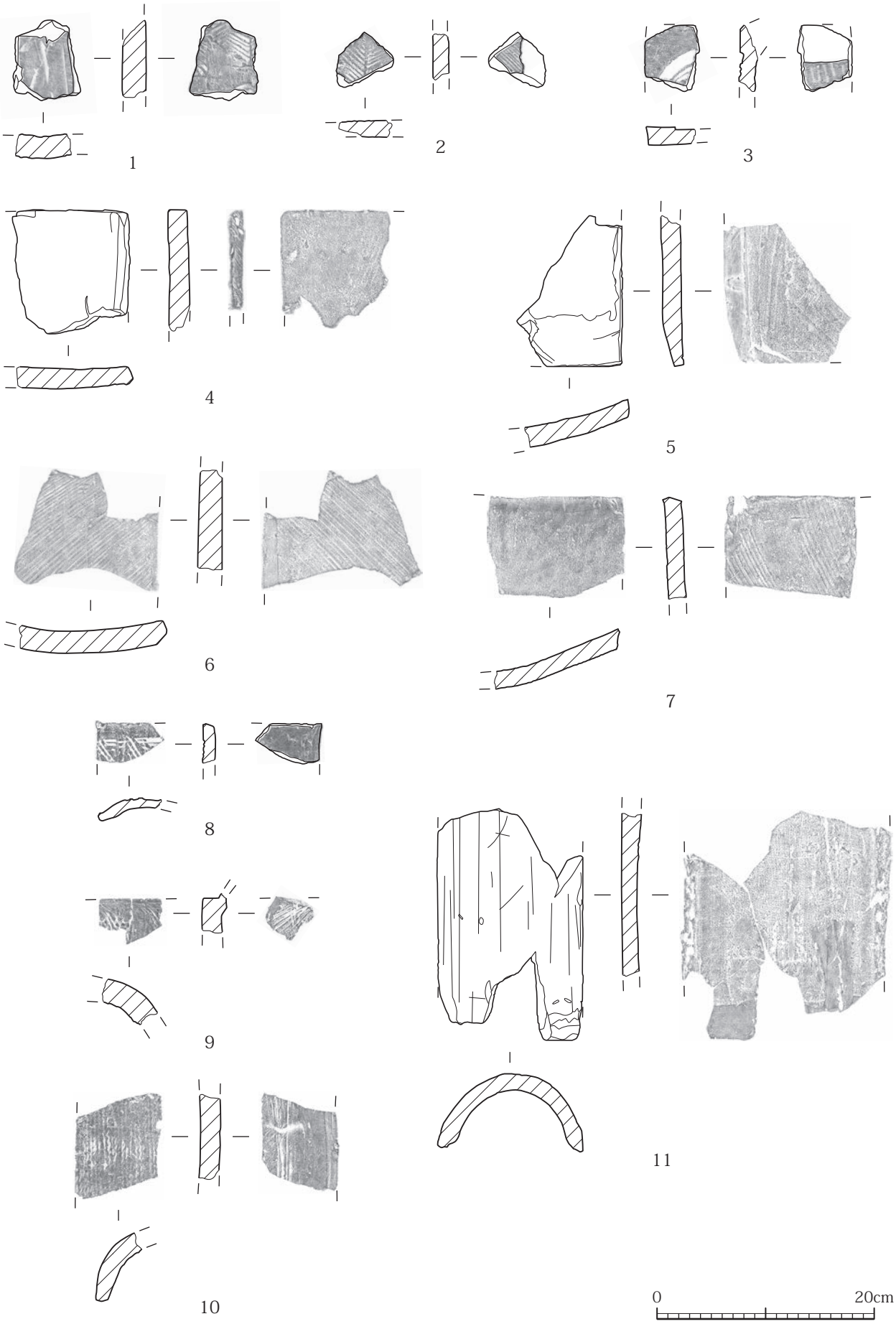
第６項　瓦類

１　屋瓦

瓦は高麗系瓦、大和系瓦、明朝系瓦が出土している。高麗系瓦は軒平瓦１点、平瓦５点、総点数６点が出土している（第 40 表）。大和系瓦は軒丸瓦２点、軒平瓦１点、丸瓦 14 点、平瓦 236 点、雁振瓦２点、総点数 255 点が出土している（第 41 ～ 43、47 表）。明朝系瓦は軒丸瓦 44 点、軒平瓦 14 点、丸瓦 176 点、平瓦 995 点、総点数 1,229 点が出土している（第 44 ～ 46、48 ～ 51 表）。

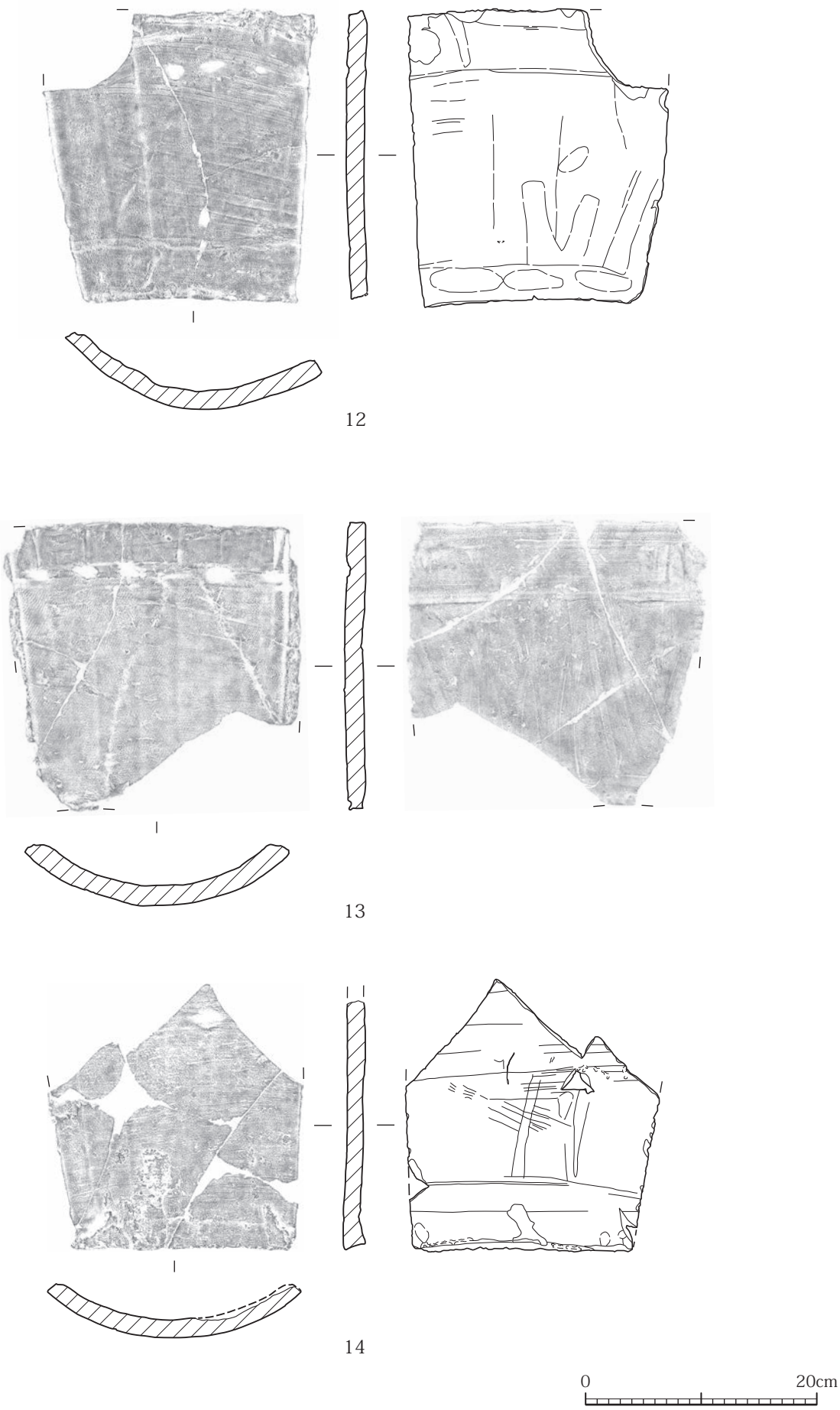
第 12 表　瓦観察一覧

図・図版番号	番号	技術	種類	分類	部位	色調	観察事項	調査年度(平成)	グリッド・層
第57図 図版31	1	高麗系	平瓦	―	筒部	灰	凸面に羽状文。	23	石積6下
	2	高麗系	平瓦	―	筒部	褐	凸面に羽状文。	23	石積2
	3	高麗系	軒平瓦	―	瓦当部片	灰	白砂を含む。	23	石積6下
	4	大和系	平瓦	―	広端部	灰	角1・側面部：c	23	石積2トレ１層
	5	大和系	平瓦	―	狭端部	褐	角1・側面部：a・凹面端部に幅約4cmの面取り・凸面に砂付着	24	L-E8 ピット6　1層
	6	大和系	平瓦	―	筒部	褐	端：有・側面部：ｂ・両面に斜めの糸切り痕	23	石積2トレ１層
	7	大和系	平瓦	―	広端部	灰	角1・側面部：d・凸面に斜めの糸切り痕・凹面端部に幅約2.5cmの面取り	24	K-E7落込2内２層
	8	大和系	丸瓦	―	端部	灰	角1・凸面に重郭文	23	石積1
	9	大和系	丸瓦	―	玉縁部	灰	凸面に重郭文？・凹面に斜めの糸切り痕	24	K-E6表土
	10	大和系	丸瓦	―	筒部	灰	端：有・凸面に縄目・凹面の側面端部に幅約2.5cmの面取り	24	O-E7・8 石積20南側4層
	11	明朝系	丸瓦	―	端部	褐	凹面端部に幅約3cmの面取り	23	落込
第58図 図版32	12	明朝系	平瓦	―	広端～狭端部	灰	漆喰あり	23	落込
	13	明朝系	平瓦	―	広端～狭端部	灰	広端部に幅約3cmの面取り	23	石積２トレ2層
	14	明朝系	平瓦	―	狭端部	灰	角2・漆喰あり	24	J-E7落込2内3層
第59図 図版33	15	明朝系	平瓦	―	広端～狭端部	赤	凸面にヘラ成形の痕が明瞭に残る。	23	落込
	16	明朝系	平瓦	―	広端～狭端部	赤	漆喰あり	24	K-E7落込2内1層
	17	明朝系	平瓦	―	広端～狭端部	赤	石灰岩の小礫を含む。	23	石積2トレ2層
第60図 図版34	18	明朝系	平瓦	―	広端～狭端部	赤褐	釉薬なし・漆喰なし	23	落込
	19	明朝系	平瓦	―	広端部	褐	角1・凸面にヘラ成形の痕が明瞭に残る。	23	石積2トレ2層
	20	明朝系	平瓦	―	広端～狭端部	赤褐	陶質・釉薬なし・漆喰なし	24	K-E7落込2内1層
	21	明朝系	平瓦	―	狭端部	灰	陶質・角1・漆喰あり	23	石積2トレ2層
第61図 図版35	22	明朝系	丸瓦	―	玉縁～端部	赤	漆喰あり・凹面端部に幅約3cmの面取り	24	J-E7落込2内3層
	23	明朝系	丸瓦	―	玉縁部	褐	角1・凸面の玉縁部に指ナデ痕	23	落込
	24	明朝系	軒丸瓦	Ⅲｂ	瓦当部	赤	裏面の指ナデ成形は雑	24	J-E7落込2内3層
	25	明朝系	軒丸瓦	ＩＡｄ01	瓦当部	灰	裏面の指ナデ成形は雑	23	落込
	26	明朝系	軒丸瓦	ＩＢｂ01	瓦当～玉縁部	灰	穴あり・漆喰あり・ヘラ記号あり・瓦当裏の整形丁寧	23	落込
	27	明朝系	軒平瓦	C	瓦当部	灰	―	23	落込

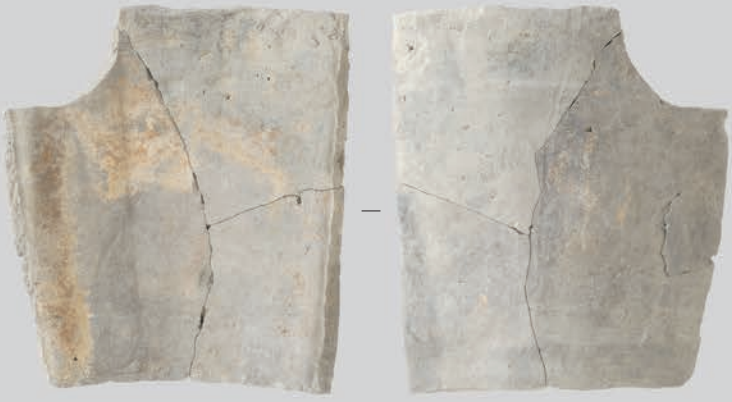


第 57 図　瓦 1（高麗系・大和系・明朝系）

図版 31　瓦 1（高麗系・大和系・明朝系）



第 58 図　瓦 2（明朝系）



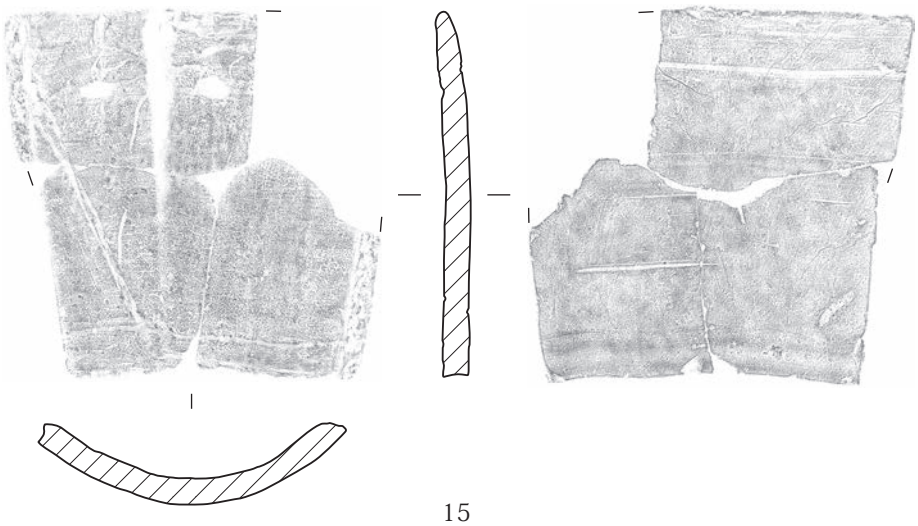
12

13

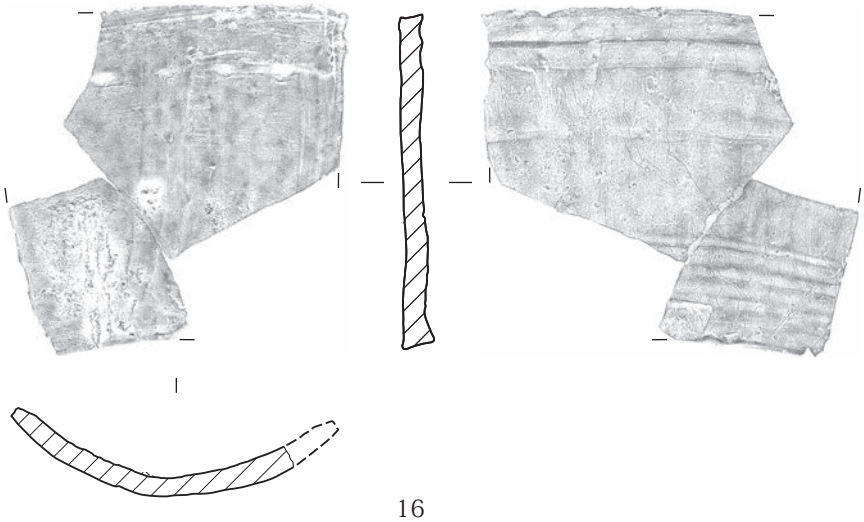
14

0 20cm

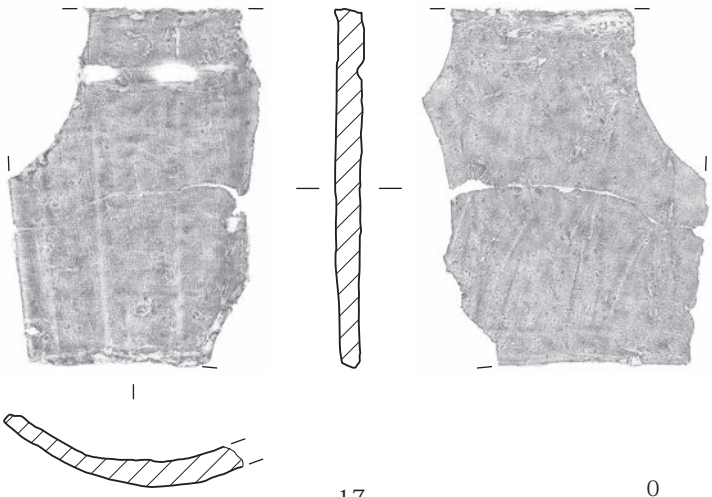
図版 32　瓦 2（明朝系）



15



16



17

0 20cm

第 59 図　瓦 3（明朝系）

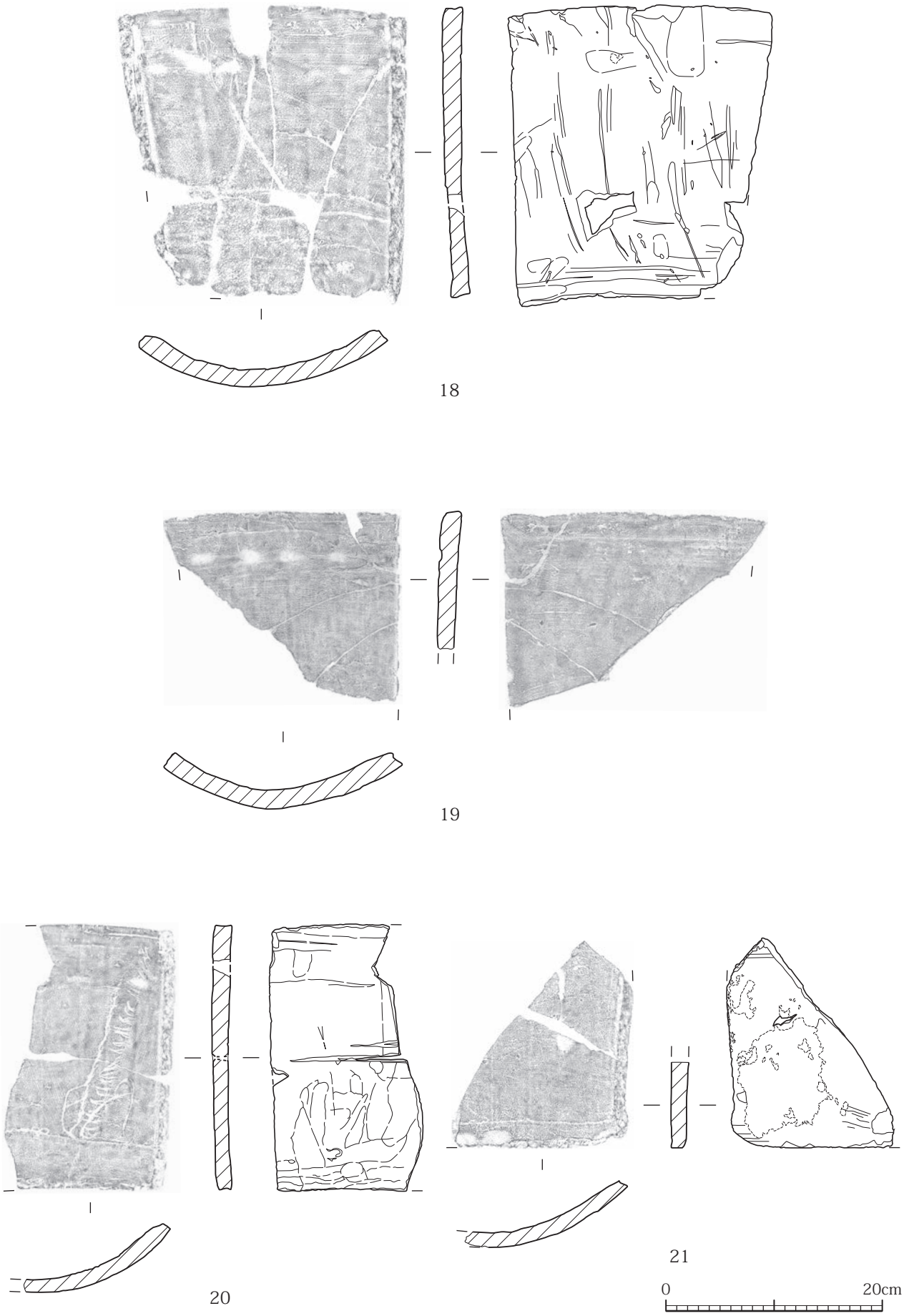
15

16

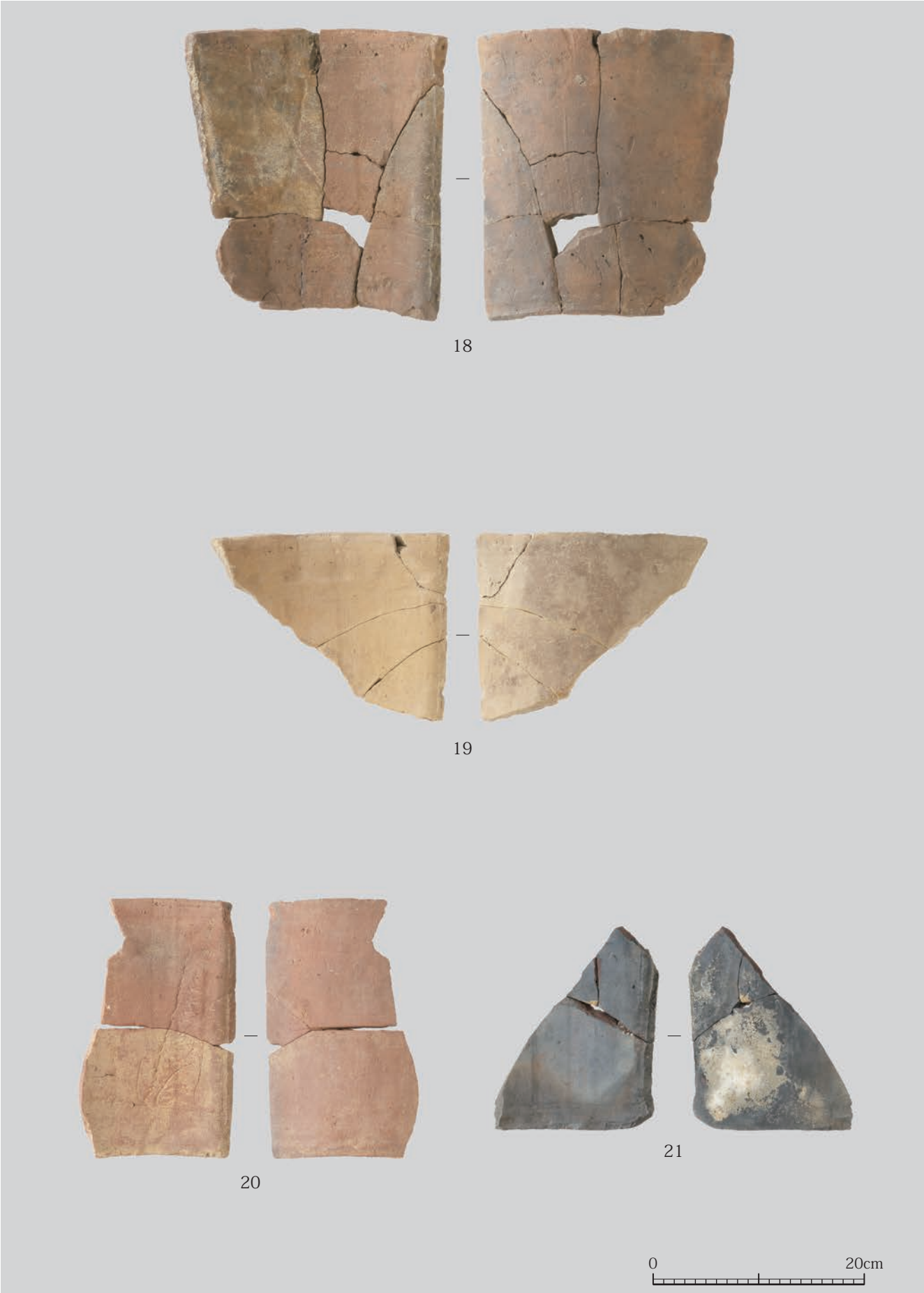
17

0 20cm

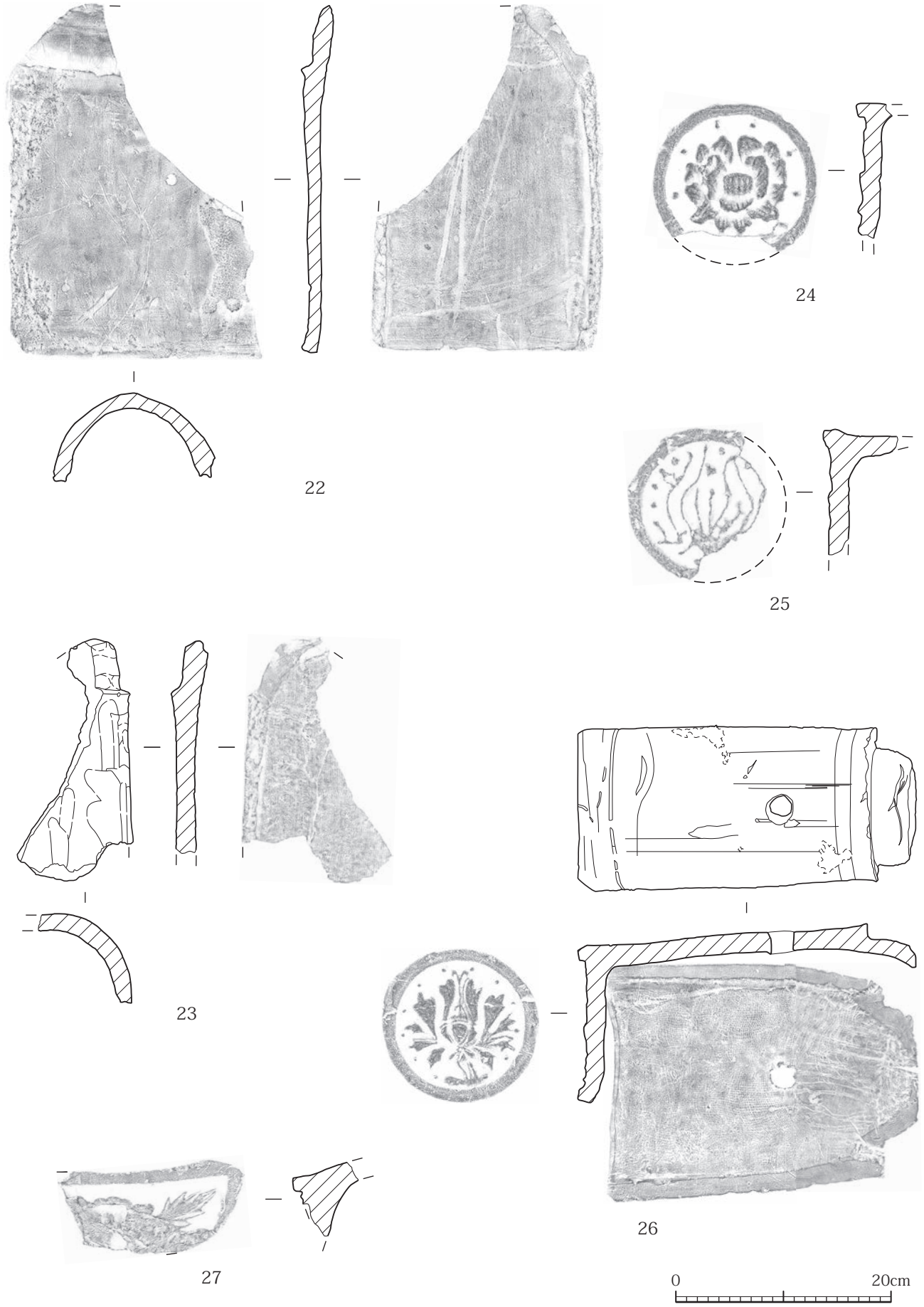
図版 33　瓦 3（明朝系）



第 60 図　瓦 4（明朝系）



図版 34　瓦 4（明朝系）



第 61 図　瓦 5（明朝系）

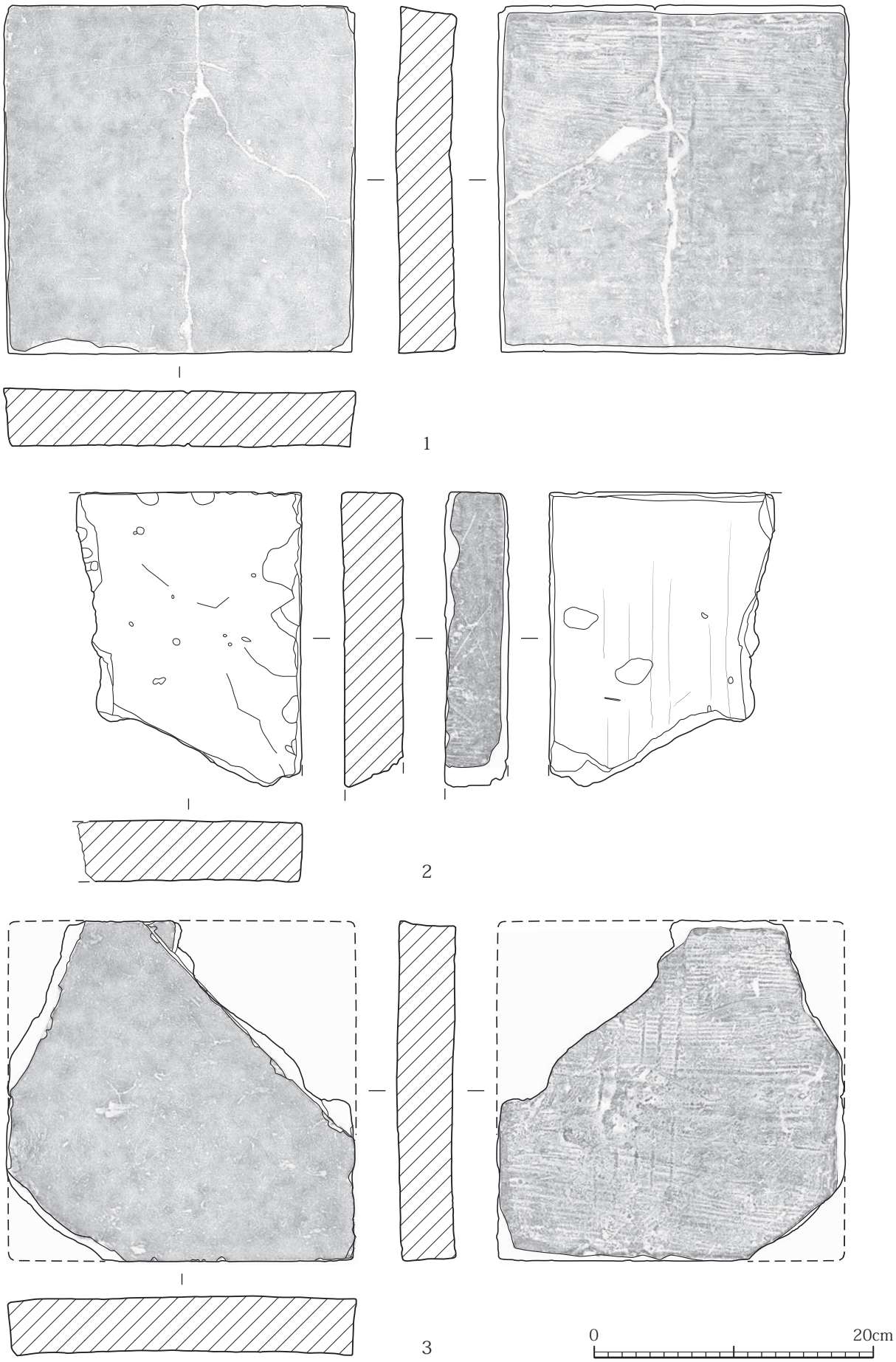
図版 35　瓦 5（明朝系）

2　塼

総点数 138 点が出土している（第 52 表）。以下に特徴的な 8 点を図化し、個々の所見を観察表（第 13 表）に記す。

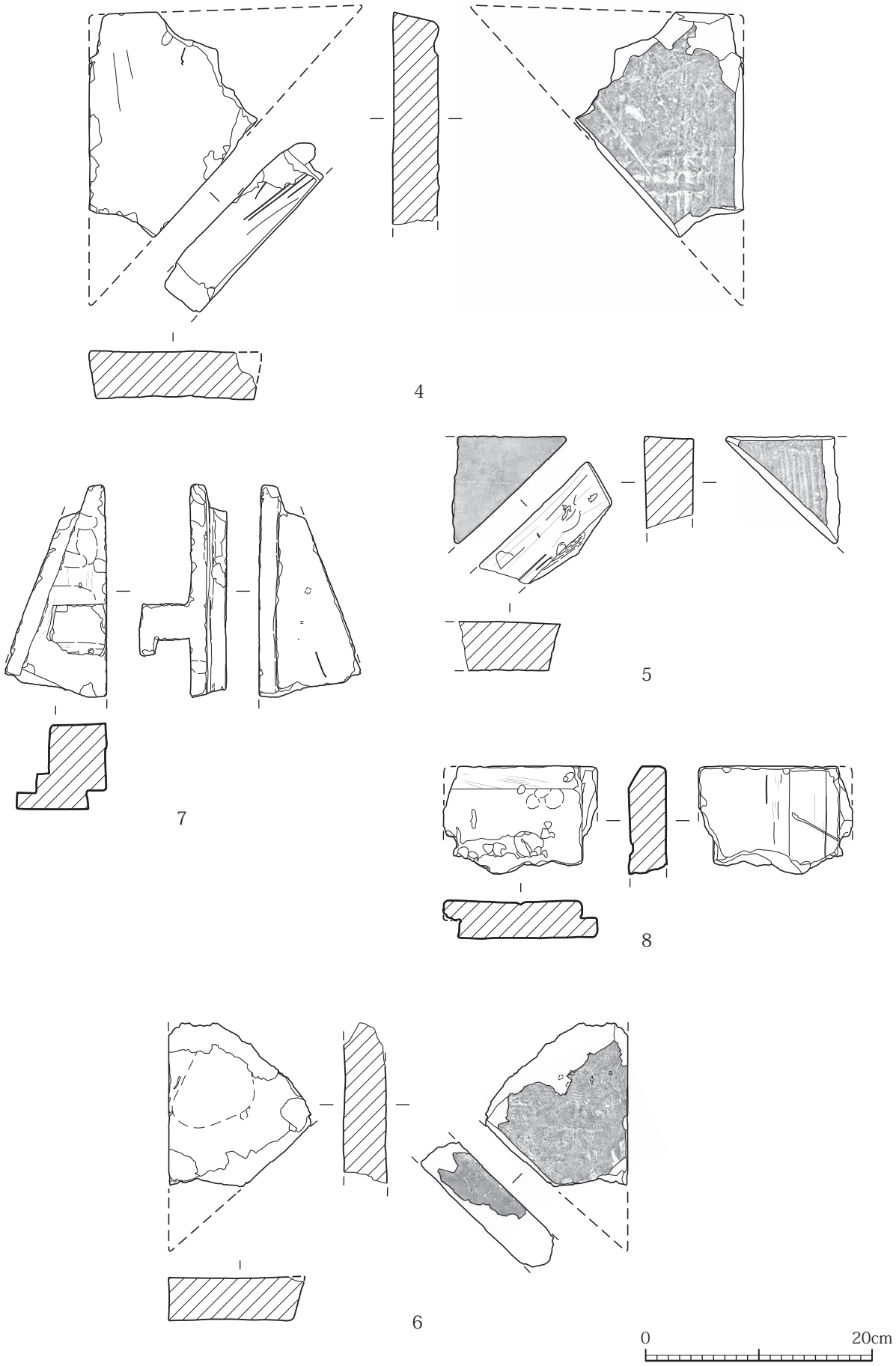
第 13 表　塼観察一覧

図・図版番号	番号	分 類	残存状況	色調	観察事項	調査年度(平成)	グリッド・層
第62図 図版36	1	A-1-b	完形	灰	正方形：b・漆喰なし・刻印記号なし・厚み3.9cm	23	石積2トレ2層
	2	A-1-b	角1	灰	正方形：b・漆喰なし・×の記号あり・厚み4.2～4.4cm	23	落込
	3	A-2-b	角1	赤	正方形：b・漆喰なし・刻印記号なし・厚み3.8cm	23	石積2トレ2層
第63図 図版37	4	B-1-b	―	灰	三角形：b・漆喰なし・刻印記号あり・厚み3.95cm	23	石積2トレ2層
	5	B-1-b	角1	灰	三角形：b・漆喰なし・刻印記号なし・厚み4.35cm・三角の頂点を面取り	―	表土
	6	B-2-b	―	赤	三角形：b・漆喰あり・刻印記号なし・厚み3.7cm	24	K-E7石列2
	7	C-1	角1	灰	組み合わせ式・漆喰なし・刻印記号なし・厚み3.2cm・突起まで7.5cm	23	石積6下
	8	C-1	角1	灰	組み合わせ式・漆喰なし・刻印記号なし・厚み3.3cm	23	石積1

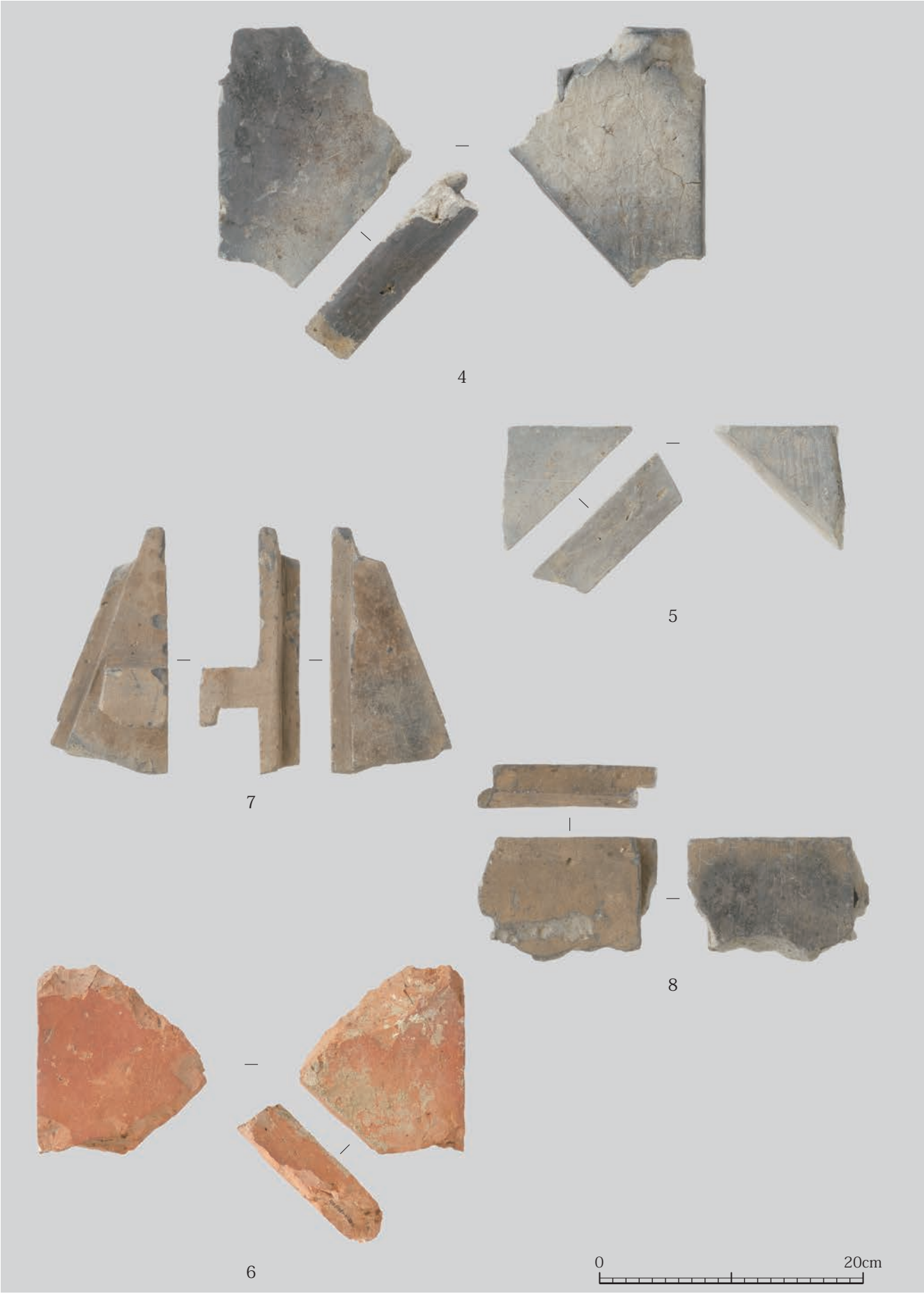


第62図　塼1

図版 36　塼 1



第63図　塼2



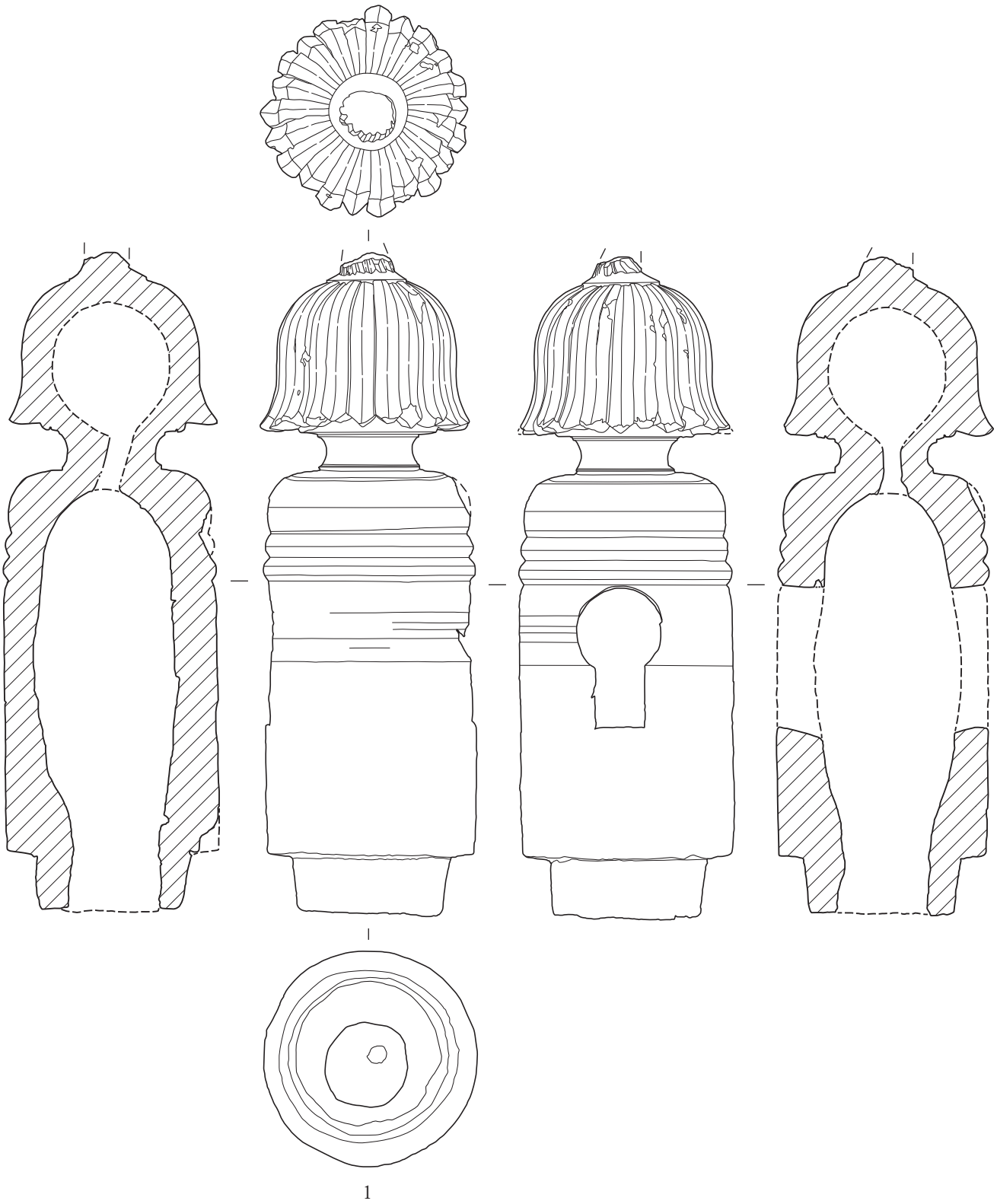
図版 37　塼 2

3　欄干

瓦製の欄干が 197 点出土している（第 53 表）。親柱・平桁・束等の部材を組み合わせて構築するものである。中には「十」、「十一」等、記号が刻まれた資料も確認されている。以下に特徴的な 7 点を図化し、個々の所見を観察表（第 14 表）に記す。

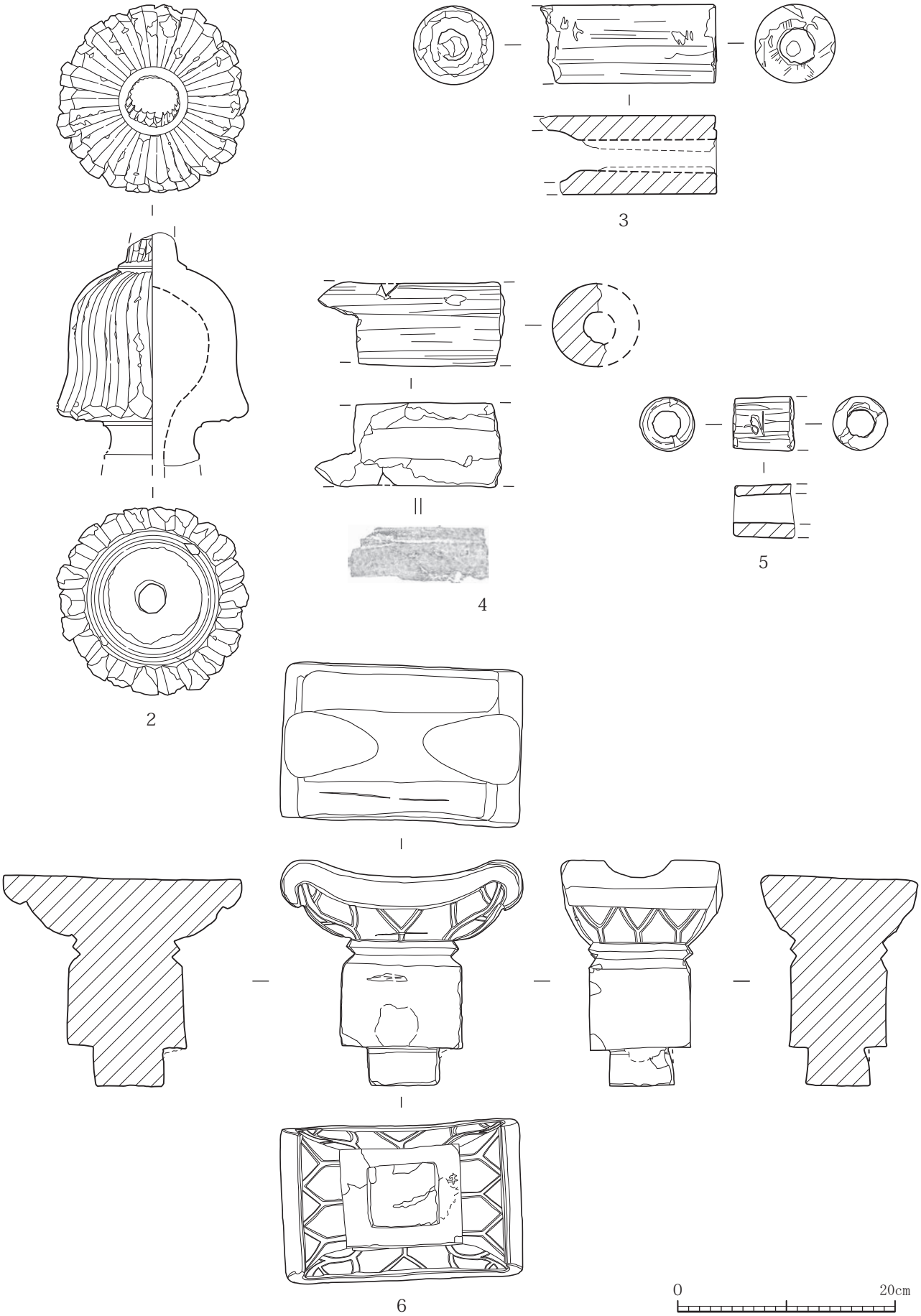
第 14 表　欄干観察一覧

図・図版番号	番号	器種	部位	法量（cm・g）				観察事項	調査年度(平成)	グリッド・層
				縦	横	高さ/厚み	重量			
第64図 図版38	1	欄干	逆蓮頭親柱	(57.8)	18.4	18.6	13200.0	瓦質で還元焼成により表面は黒色を呈す。素地は灰白色。外面やはめ込み部分はヘラなどで丁寧に成形されるが、内面は指ナデ痕も明瞭に残る。	24	K-E7落込2内1層
第65図 図版39	2	欄干	逆蓮頭	(20.9)	17.6	17.4	3400.0	瓦質で還元焼成により表面は黒色を呈す。素地は灰白色。逆蓮頭部分に細かい線条痕が見られるため、ヘラで削って成形していると考えられる。	24	K-E7落込2内1層
	3	欄干	平桁	7.2	(15.4)	2.2	980.6	瓦質で還元焼成により表面は黒色を呈す。素地は灰白色。外面に長軸にヘラによる成形痕がある。内面には漆喰が残る。	24	K-E7石積24
	4	欄干	平桁	7.8	(17.2)	2.5	474.3	瓦質で還元焼成により表面は黒色を呈す。素地は灰白色。外面に長軸にヘラによる成形痕がある。内面に布目痕がある。	24	K-E7落込2内1層
	5	欄干	平桁	5.0	(5.7)	1.4	117.8	瓦質で還元焼成により表面は黒色を呈す。素地は灰白色。外面に長軸にヘラによる成形痕がある。内面に布目痕がある。線彫りによる印あり。	24	K-E7落込2内1層
	6	欄干	たたら束	20.8	22.3	14.4	4200.0	瓦質で還元焼成により表面は黒色を呈す。素地は灰白色。装飾部分はヘラで成形していると考えられる。臍部分には「廿」と思われる線彫りと、漆喰が付着している。	24	K-E7石積24
第66図 図版40	7	欄干	斗束	20.7	16.8	14.6	3400.0	瓦質で還元焼成により表面は黒色を呈す。素地は灰白色。装飾部分はヘラで成形していると考えられる。一面は円弧状に成形され、欠損しているが臍もあるので親柱に接する斗束と考えられる。親柱に接する面に「十」の線彫り。	24	K-E7落込2内1層



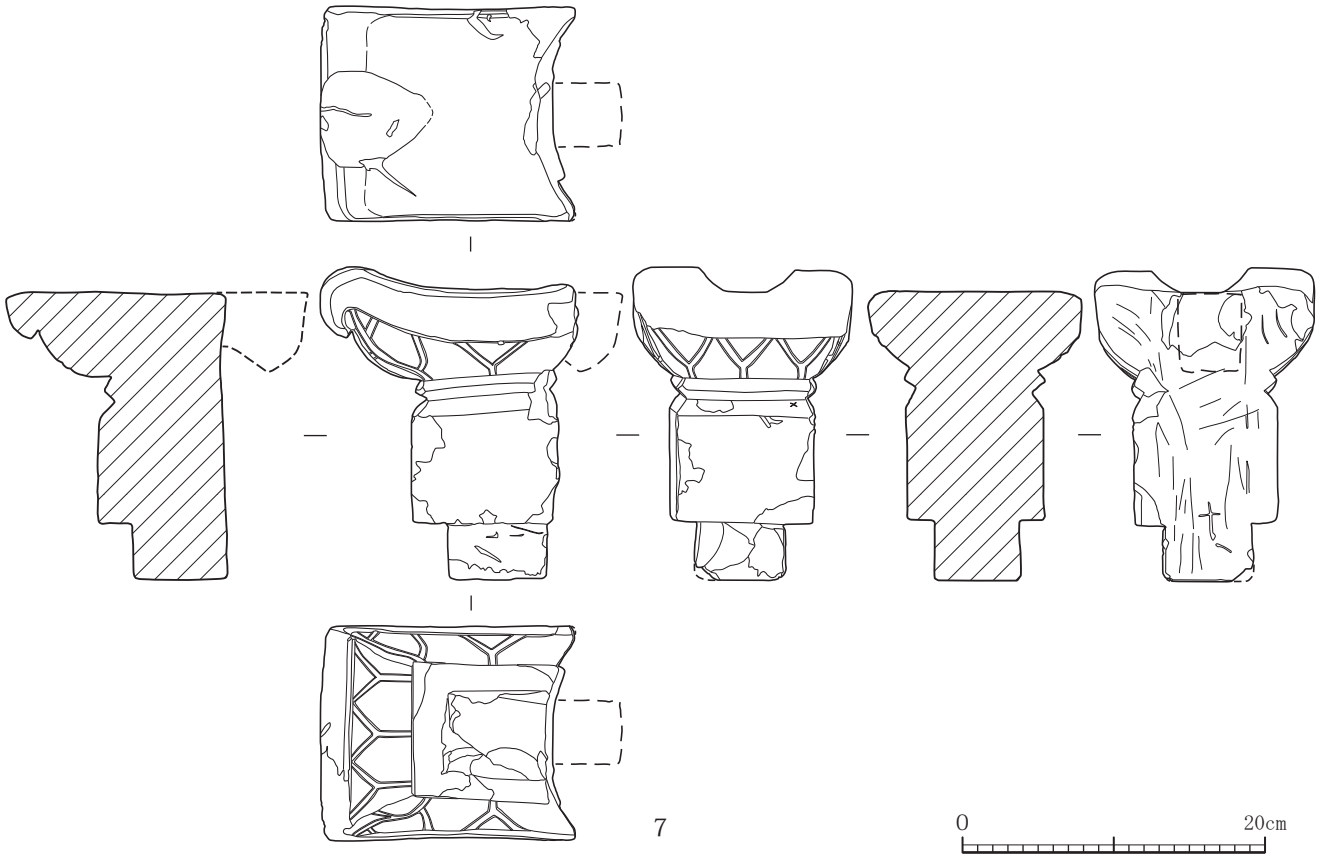
第 64 図　欄干 1

図版 38　欄干 1



第 65 図　欄干 2

図版 39　欄干 2



第 66 図　欄干 3

図版 40　欄干 3

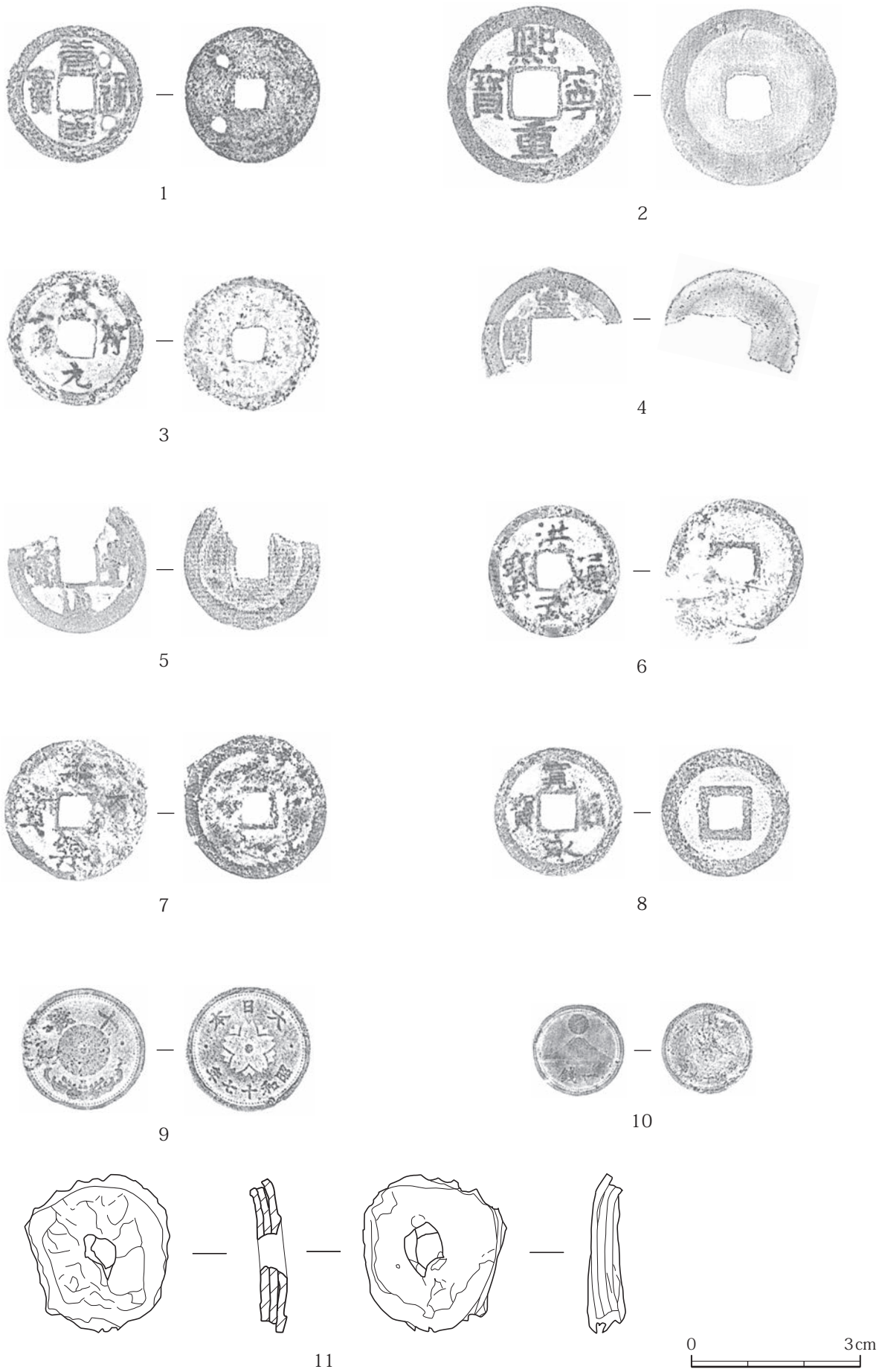
第 7 項　銭貨

銭貨は中国銭 19 点、日本銭 12 点、不明 87 点の合計 118 点出土している（第 54 表）。

第 15 表　銭貨観察一覧

図・図版番号	番号	銭貨名/銭文	銭種	国・王朝	初鋳年	法量（cm・g）				備考	調査年度(平成)	グリッド・層
						外径	内径	厚さ	重量			
第67図 図版41	1	唐國通寶	唐國通寶	南唐	959	2.4	0.55	0.08	4.37	篆書。右に2つの穿孔。	23	石積1
	2	熙寧重寶	熙寧重寶	北宋	1071	3.1	0.8	0.11	7.24	真書。折二銭。	23	石積2トレ3-3層
	3	□符元□	祥符元寶	北宋	1009	2.4	0.6	0.13	3.21	真書。	―	表土
	4	皇○○寶	皇宋通寶か	北宋	1038	(2.9)	―	0.13	1.61	篆書。	24	J-E8 石積21トレンチ2
	5	○豊通□	元豊通寶	北宋	1078	(2.4)	―	0.06	2.46	行書。	24	K-E7表土
	6	洪武通寶	洪武通寶	明	1368	2.3	0.6	0.11	3.97	楷書。	24	K-E6・7石列2
	7	□樂□寶	永樂通寶	明	1408	2.5	0.5	0.13	4.29	楷書。	23	O-E5表土
	8	寛永通寶	寛永通寶	江戸	1697	2.2	0.6	0.08	2.11	新寛永通寶。楷書。	24	L-E8 石積23南側1層
	9	十銭	―	―	―	2.2	―	0.1	1.2	近代銭(昭和17年)アルミニウム貨 表：菊花紋章 裏：二重桜花	23	O-E8
	10	一銭	―	―	―	1.6	―	0.1	0.66	近代銭(昭和16年)アルミニウム貨	23	石積1
	11	―	―	―	―	2.7 2.4	0.5 0.55	0.45 0.35	13.6	3枚が溶着し、銭種不明。	23	Q-E7表土

※□は銭文が不明、○は欠損を表す。



第 67 図　銭貨

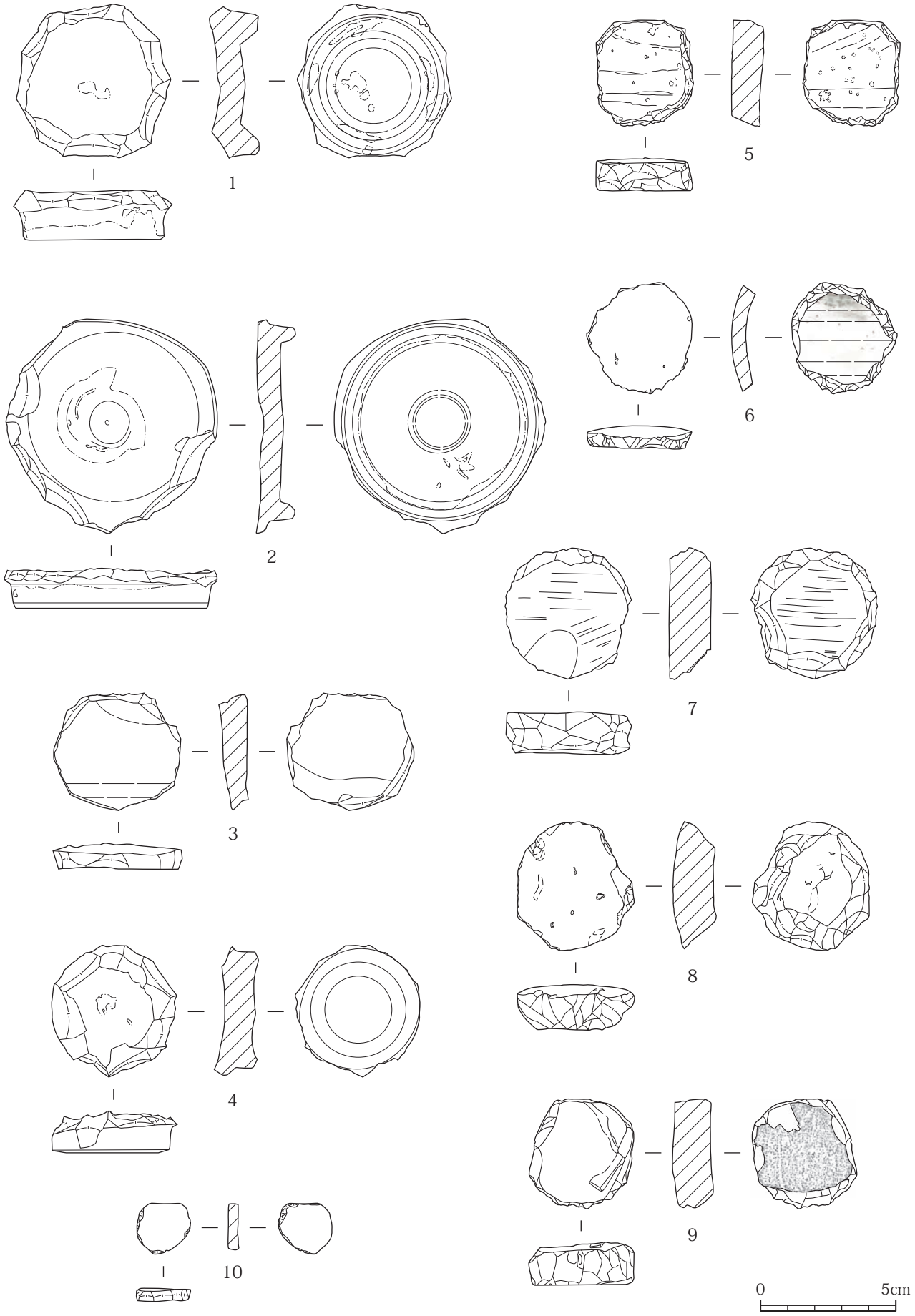
図版 41　銭貨

第 8 項　円盤状製品

円盤状製品は 30 点出土している（第 55 表）。素材別にみると、中国産の青磁・白磁・褐釉陶器・黒釉陶器、タイ産褐釉陶器、沖縄産施釉・無釉陶器、明朝系瓦等が確認されている。以下に特徴的な 10 点を図化し、個々の所見を観察表（第 16 表）に記す。

第 16 表　円盤状製品観察一覧

図・図版番号	番号	分類	法量（cm・g）				観察事項	調査年度(平成)	グリッド・層
			縦	横	厚	重量			
第68図 図版42	1	A-1	5.45	5.6	1.6	66.0	素材は中国産白磁の碗の底部。内外面から剥離。	23	O-E7上層
	2	A-2	7.9	7.8	1.35	85.8	素材は本土産陶器の碗の底部。内外面から剥離し、一部、研磨されている。	24	J-E7落込2内3層
	3	A-3	4.3	4.6	1.0	27.1	素材は中国産褐釉の壺の胴部。内外面から剥離しているが、内面からの剥離が多い。	24	K-E7落込2内1層
	4	A-4	4.8	4.5	1.45	37.0	素材は中国産黒釉の碗の底部。内外面から剥離。	24	O-E7・8 石積20南側4層
	5	B	3.9	3.5	1.1	25.2	素材はタイ産褐釉の壺の胴部。内外面から剥離。	23	石積2トレ3-1層
	6	D-1	3.95	3.9	0.55	10.9	素材は沖縄産施釉陶器の袋物の胴部。内外面から剥離。	―	表土
	7	D-2	4.8	4.45	1.5	44.3	素材は沖縄産無釉陶器の甕の胴部。内外面から剥離し、一部、丁寧に整形される。	24	J-E7落込2内3層
	8	D-3	4.7	4.3	1.5	32.0	素材は明朝系瓦の筒部。内外面から剥離。	24	J-E7落込2内3層
	9	D-3	4.0	3.6	1.4	25.7	素材は明朝系瓦の筒部。内外面から剥離。	24	L-E8石積23南側1層
	10	E	1.8	2.0	0.37	2.3	素材は中国産青磁？の碗の胴部。内外面から剥離か。	23	石敷3



第 68 図　円盤状製品

図版 42　円盤状製品

第９項　煙管

総点数 31 点が出土している（第 56 表）。瓦質製と陶器製が確認されている。以下に特徴的な 4 点を図化し、個々の所見を観察表（第 17 表）に記す。

第 17 表　煙管観察一覧

図・図版番号	番号	部位	分類	形態/材質	素地/釉	法量（ｃｍ・ｇ）					観察事項		調査年度(平成)	グリッド・層
						火皿	小口	吸口	長さ 高さ	重量	断面形状	その他特徴		
						外径 内径	外径 内径	外径 内径						
第69図 図版43	1	雁首	A	柱状形/ 瓦質	灰色	3.1 1.25	1.1 0.75	―	2.0 3.2	(28.5)	〔横〕 方形	火皿に煤。	24	M・N-E8 石積16西側
	2	雁首	B-1	パイプ形/ 沖縄産陶器	褐色/ 暗褐色	(1.7) (1.1)	1.6 1.1	―	4.1 1.6	(9.9)	〔縦〕 八角形	釉が部分的に掛かる。	24	L-E8落込3内1層
	3	雁首	B-2	パイプ形/ 沖縄産陶器	赤褐色/ 暗赤褐色	1.7 1.1	1.4 0.8	―	3.5 1.5	7.4	〔縦〕 円形	小口に煤。丁寧に削られ成形される。	24	J-E7落込2内3層
	4	吸口	C	パイプ形/ 沖縄産陶器	灰白色/ 透明	―	(1.3) (1.1)	(0.6) (0.2)	― (2.0)	(3.6)	〔縦〕 円形	内面は途中まで釉が掛かる。	24	L-E8落込3内1層

第 10 項　玉

総点数 19 点が出土している（第 57 表）。ガラス製の丸玉と孔なしのものがみられ、青色、赤色、緑色、白色を呈する資料が確認されている。以下に特徴的な５点を図化し、個々の所見を観察表（第 18 表）に記す。

第 18 表　玉観察一覧

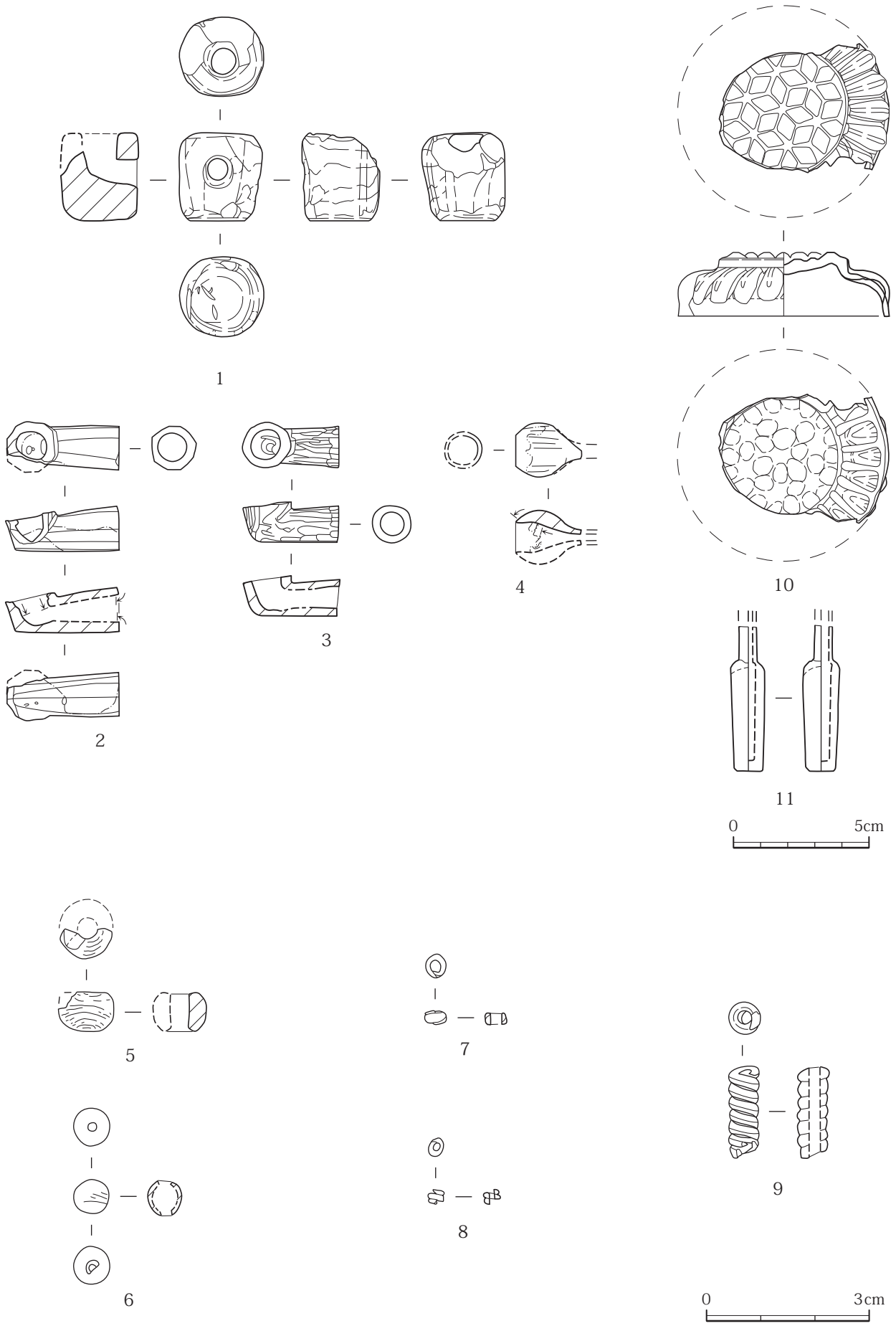
図・図版番号	番号	材質	色	法量（mm・g）				観察事項	調査年度(平成)	グリッド・層
				高さ	最大径	孔径	重量			
第69図 図版43	5	ガラス	青色	0.7	1.0	0.4	0.25	表面に横方向の巻き付けの筋が走る。気泡あり。	23	P-E6表土
	6	ガラス	白色	0.65	0.65	0.1	0.13	表面に横方向の筋が走る。厚みが薄く、内部は球状に空洞となる。微細な気泡あり。	24	L-E8落込3内1層
	7	ガラス	赤色	0.2	0.4	0.2	0.03	表面に横方向の巻き付けの筋が走る。気泡あり。	24	N-E7・8石敷3
	8	ガラス	青色	0.25	0.25	0.1	0.01	不透明なガラスをコイル状に巻き付けて製作。	23	石積2トレ2層
	9	ガラス	青色	(1.7)	0.55	0.25	0.18	やや不透明なガラスをコイル状に巻き付けて製作。	24	L-E8落込3内1層

第 11 項　ガラス製品

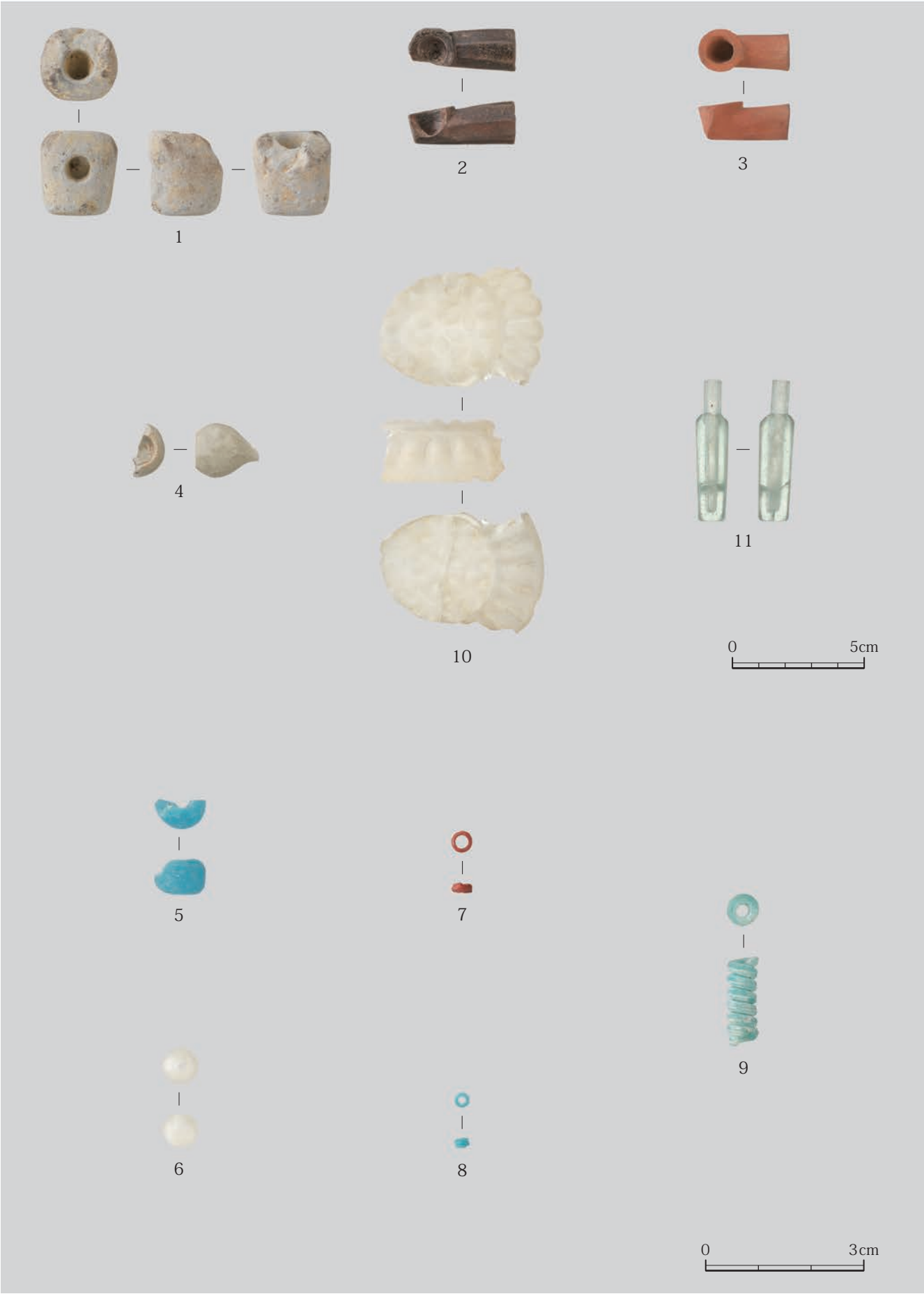
総点数 19 点が出土している（第 58 表）。容器の蓋や文具類、目薬、薬瓶等の製品が確認されている。以下に特徴的な 2 点を図化し、個々の所見を観察表（第 19 表）に記す。

第 19 表　ガラス製品観察一覧

図・図版番号	番号	種類	部位	法量（cm・g）				観察事項	調査年度(平成)	グリッド・層
				口径	器高	胴径/厚さ	重量			
第69図 図版43	10	蓋	撮〜袴	(撮) 4.8	2.4	(袴) 7.8	31.9	表面は擦れ白色に見えるが、元は透明だったと思われる。文様はふっくらと浮き上がっている。	24	L-E8落込3内1層
	11	目薬	―	0.6	(5.3)	1.3	17.7	色調は透明な明緑灰色。口唇部はざらざらしている。	24	L-E8 石積23南側1層



第 69 図　煙管・玉・ガラス製品



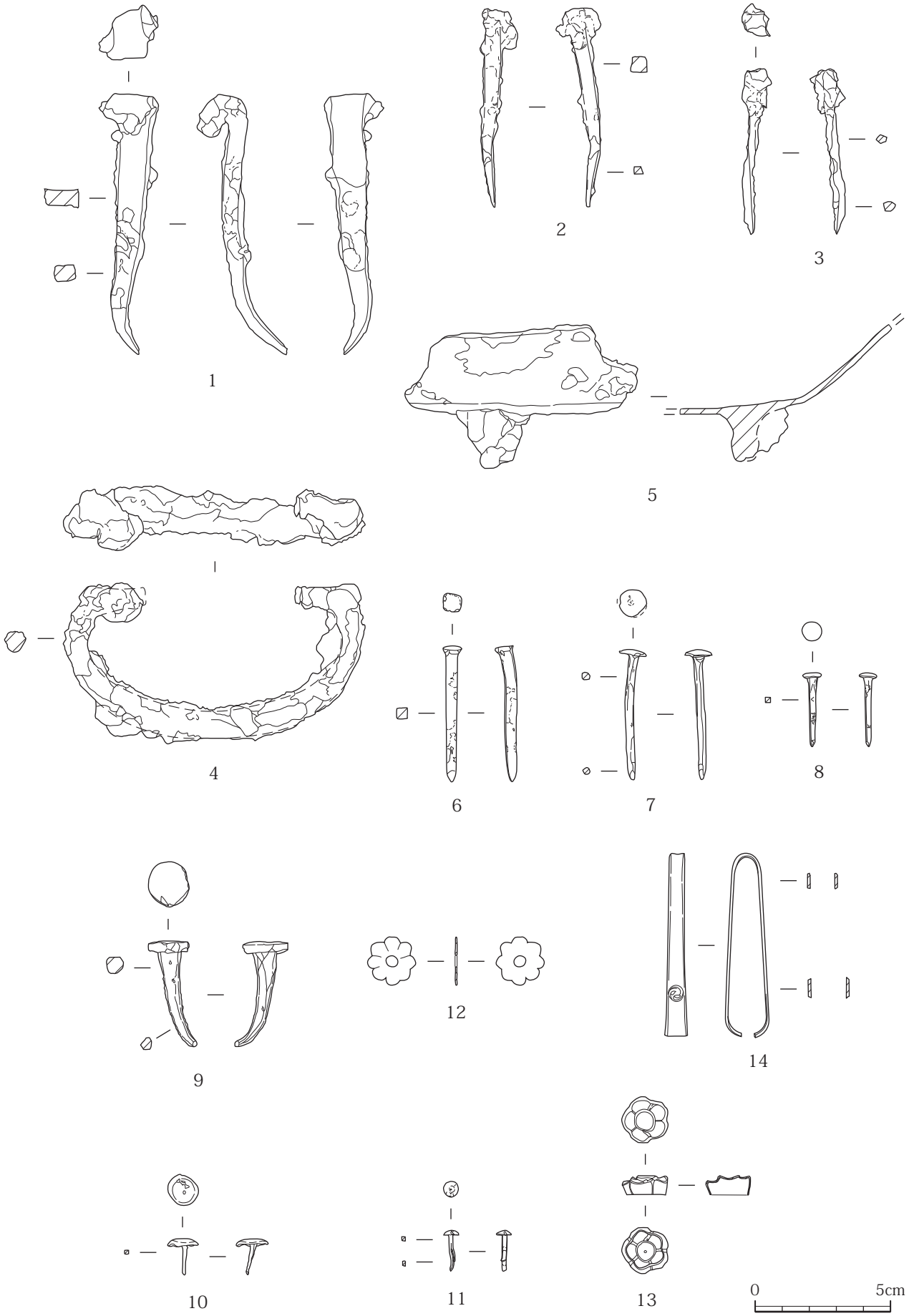
図版 43　煙管・玉・ガラス製品

第 12 項　金属製品

鉄製品及び金属製品をあわせて総点数 409 点が出土している（第 59 表）。角釘や鋲等の建具類や、毛抜き等の道具類の他、武具・武器類が確認されている。以下に特徴的な 14 点を図化し、個々の所見を観察表（第 20 表）に記す。

第 20 表　金属製品観察一覧

図・図版番号	番号	種類	材質	器種	完破部位	法量（cm・g）						所見	調査年度(平成)	グリッド・層
						頭部		縦	横	厚	重量			
						径	厚							
第70図 図版44	1	建具	鉄	釘	完形	―	―	9.6	1.25	0.7 0.6	31.9	断面が長方形であるが、頭部が折れることから皆折釘と思われる。	24	N-E8表土
	2	建具	鉄	釘	―	―	―	7.35	0.6	0.55 0.25	12.1	頭部が折れると思われることから、皆折釘か。	24	K-F8石積22
	3	建具	鉄	釘	―	―	―	6.1	0.4	0.3 0.35	4.6	錆による損傷が進んでいるが、角釘と思われる。	23	N-E5
	4	不明	鉄	把手？	―	―	―	5.95	11.15	0.75	85.8	先端が球状になっている。	24	L-E8 石積23南側1層
	5	その他	鉄	鉄鍋	破片	―	―	―	―	0.2	76.6	厚みは均一で、脚と思われるものが付く。錆による損傷が激しい。	24	L-E8 石積23南側1層
	6	建具	青銅	釘	完形	0.65	―	5.05	0.4	0.4 0.45	7.2	頭部が撥状に広がり、端部は角錐状に尖る。	23	石積1
	7	建具	青銅	釘	完形	1.0	0.25	4.8	0.3	0.3 0.25	2.9	頭部が少し盛り上がるが頭丸釘と思われる。横断面は円形。	24	L-E8 石積23南側1層
	8	建具	青銅	釘	完形	0.7	0.2	2.75	0.2	0.2	1.3	頭部が少し盛り上がるが頭丸釘と思われる。横断面は方形。	24	L-E8 石積23南側1層
	9	建具	青銅	笠釘	完形	1.6	0.45	3.9	0.6	0.6 0.4	12.0	頭部が比較的平ら。横断面は方形だが、端部近くだと円形になる。	24	O-E7・8 石積20南側2層
	10	建具	青銅	鋲	完形	1.15	0.3	1.35	0.15	0.15	0.5	頭部の中央部分が窪む笠状。横断面は方形。	24	L-E8 石積23南側1層
	11	建具	青銅	鋲	完形	0.85	0.25	2.25	0.2	0.25	1.1	頭部の中央部分が窪む笠状で、軸部は途中から二股になる。頭部の表面にのみ鍍金か。	23	N-E7・E8表土
	12	飾り金具	青銅	―	―	―	―	1.8	1.8	0.08 0.06	0.7	平らで、表面を掘り花弁を表現する。	24	L-E8 落込3内1層
	13	装身具	青銅	飾り金具	―	―	―	1.7	1.65	0.1 0.05	1.1	五弁花。	23	石積1
	14	道具	青銅	毛抜き	完形	―	―	6.75	1.6	0.1	8.6	軸部に左三つ巴文が入る。	24	L-E8 石積23南側2層



第 70 図　金属製品

図版 44　金属製品

第 13 項　石製品

総点数 15 点が出土している（第 60 表）。砥石、石器類、硯等が確認されている。以下に特徴的な 3 点を図化し、個々の所見を観察表（第 21 表）に記す。

第 21 表　石製品観察一覧

図・図版番号	番号	器種	石材	法量（cm・g） 縦 横 厚さ/高さ	重量	観察事項	調査年度(平成)	グリッド・層
第71図 図版45	1	柱	石灰岩	(14.0) 12.9 12.5	4395.0	5面が残存する。残存面全てノミ痕をそのまま残すが、底面と思われる面はその他と比べて平坦。	24	N-E9表土
	2	石球？	石灰岩	5.3 4.9 4.25	104.4	きれいな球体ではなく、歪な形。器面調整などは行っていないと思われる。	24	O-E7 石積20 南側5-2層
	3	軽石製品	軽石	(2.65) 1.8 1.5	3.0	1 面は部分的に欠損しているが、ほぼ完形。多くの面や角を使用しており、10面は確認できる。砥石か。	24	L-E8 石積23南側1層

第 71 図　石製品

図版 45　石製品

第 14 項　漆喰製品

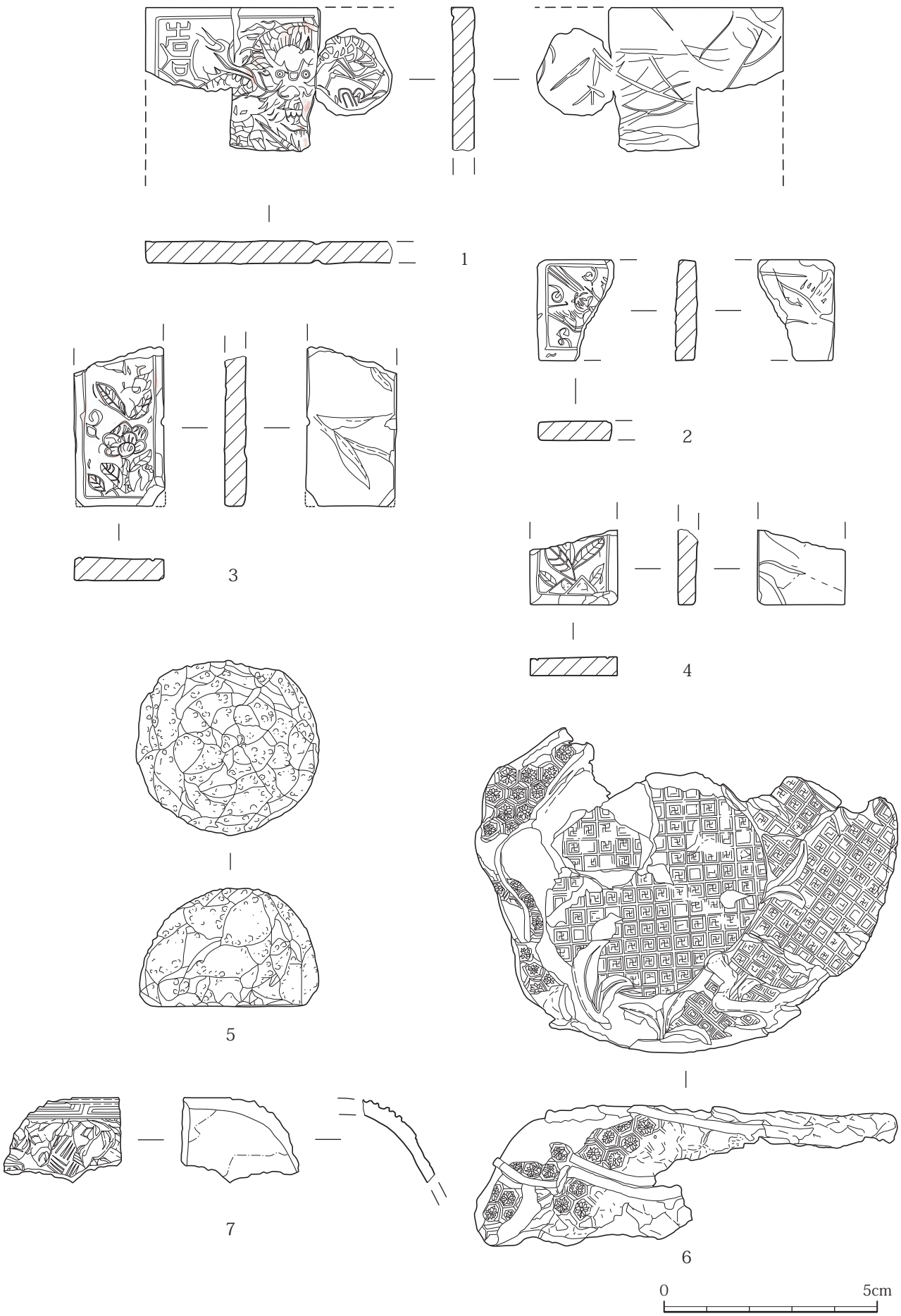
第 72 図、図版 46 の 1 ～ 4 の材質は定かではないが、今回は漆喰製品とした。裏面に不規則な刻み目があることから、象嵌の調度品の一部と思われる。第 72 図、図版 46 の 1・2・4 は表面に僅かに金が残っており、金彩を施していたと考えられる。第 72 図、図版 46 の 3 は金が確認されなかったが材質や形状、文様が似ていることから金彩の可能性も考えられる。

第 15 項　漆製品

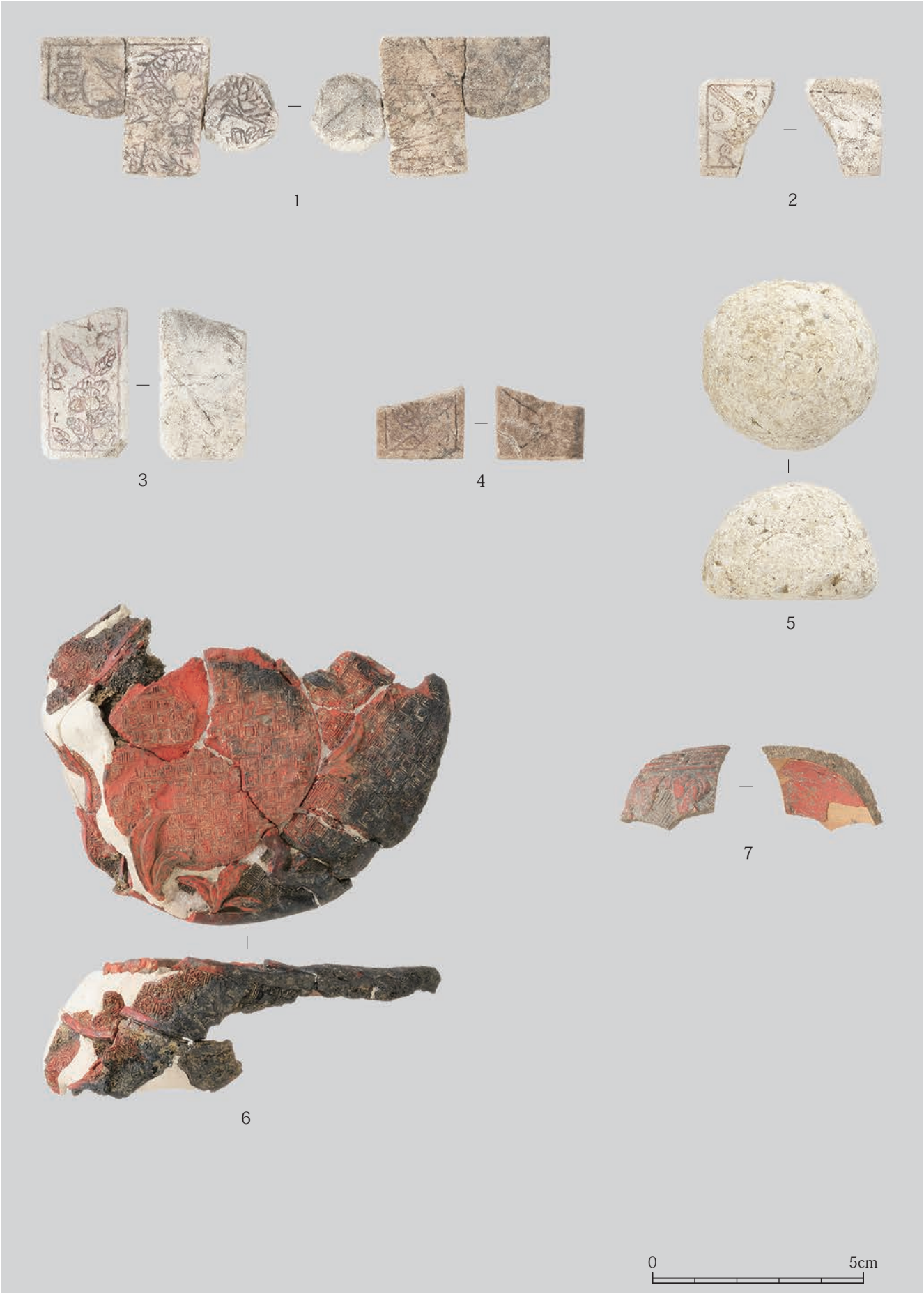
総点数 2 点が出土している（第 62 表）。個々の所見を観察表（第 22 表）に記す。

第 22 表　漆喰・漆製品観察一覧

図・図版番号	番号	種類	器種	完破・部位	材質・素地	法量（cm・g）				観察事項	調査年度(平成)	グリッド・層
						縦	横	高さ/厚さ	重量			
第72図図版46	1	漆喰	調度品か	破片	漆喰か	(3.35)	(5.8)	0.5	15.21	表に龍と字文が彫られ、表面に金や赤が残る。裏は不規則な刻み目あり。	24	L-E8ピット6　1層＋L-E8石積23南側1層
	2	漆喰	調度品か	破片	漆喰か	2.35	(1.75)	0.45～0.5	3.47	表に鳳凰？が彫られ、表面に金や赤が残る。裏は不規則な刻み目あり。	24	L-E8落込3内1層
	3	漆喰	調度品か	破片	漆喰か	(3.5)	2.1	0.45～0.5	8.36	表に草花文が彫られ、その目地に赤が残る。裏は不規則な刻み目あり。	24	L-E8ピット6　1層
	4	漆喰	調度品か	破片	漆喰か	(1.8)	2.05	0.4～0.45	3.19	表に草花文が彫られ、表面に金や赤が残る。裏は不規則な刻み目あり。	24	L-E8落込3内1層
	5	漆喰	―	完形か	漆喰	4.15	4.3	2.8	37.9	半円状の漆喰製品。	24	M・N-E8 石積16・17間トレンチ
	6	漆	蓋か	―	陶器	(7.65)	(9.9)	(3.3)	34.0	素地はにぶい橙色。外面に浮彫の雷文などや格子文を彫り、その上から漆を塗布する。内面の漆塗膜は剥離しやすい。	24	K-E7落込2内1層
	7	漆	合子	―	木材	―	―	―	3.2	蓋と身が合わさり残存するが、身の底部は欠損する。蓋の上面は卍文を主体とし、桃文？を浮き上がらせて表現する。側面は蓋と身両方とも花菱文を主体とする。	24	L-E8落込3内1層



第 72 図　漆喰・漆製品



図版 46　漆喰・漆製品

第 16 項　貝製品

総点数９点が出土している（第 64 表）。有孔製品、碁石、貝玉、貝匙等が確認されている。以下に特徴的な８点を図化し、個々の所見を観察表（第 23 表）に記す。

第 23 表　貝製品観察一覧

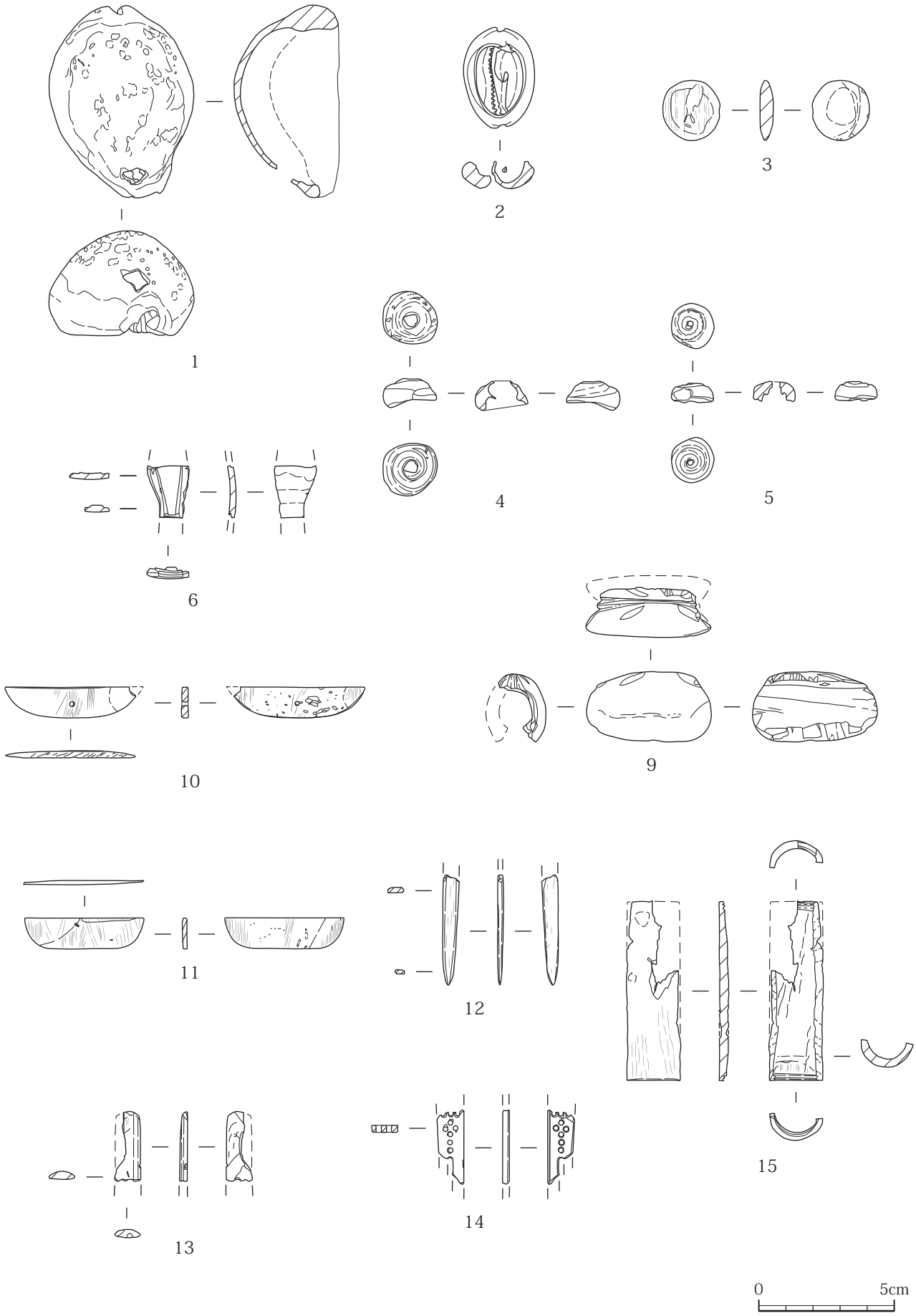
図・図版番号	番号	種類	材質	法量（ｃｍ・ｇ）				観察事項	調査年度(平成)	グリッド・層
				縦	横	高さ/厚さ	重量			
第73図図版47	1	有孔？	巻貝	7.1	5.35	3.9	79.2	タカラガイ科ホシダカラ。背面に孔あり。	24	L-E8 石積23南側1層
	2	―	巻貝	3.75	2.65	1.0	4.2	タカラガイ科ハナマルユキ。背面が無いが、風化が進み製品かは不明。	23	石積2トレ3-1層
	3	碁石	二枚貝	2.2	2.2	0.5	3.5	断面は扁平。一部摩滅し、完全な円形ではない。島外からの持ち込みの可能性あり。	―	表土
	4	貝玉	巻貝	1.9	2.0	1.1	3.1	マガキガイ。殻頂は研磨あり？下は研磨なしか。風化が進む。	24	L-E8 石積23南側1層
	5	貝玉	巻貝	1.65	1.55	0.75	2.1	マガキガイ。研磨あり？	24	M・N-E8 石積16西側
	6	―	二枚貝	(1.9)	1.45 0.9	0.2 0.25	1.1	ハマグリ類似種を利用した製品。イタヤガイ右殻を模したものか？	24	M-E9 石積17・18間 トレンチ2層
	7	貝匙	巻貝	―	―	―	12.6	ヤコウガイ。やや方形の孔。孔径は約0.9㎝。	24	K-E7落込2内1層
	8	―	巻貝	―	―	―	920.0	ヤコウガイ。直径1.5cmの孔	23	石積2トレ2層

第 17 項　骨製品

総点数 24 点が出土している（第 63 表）。梳櫛（すきぐし）と考えられる製品、ヤス状や円筒形を呈する製品、歯ブラシの他、龍の彫刻が施された製品等が確認されている。以下に特徴的な 14点を図化し、個々の所見を観察表（第 24 表）に記す。

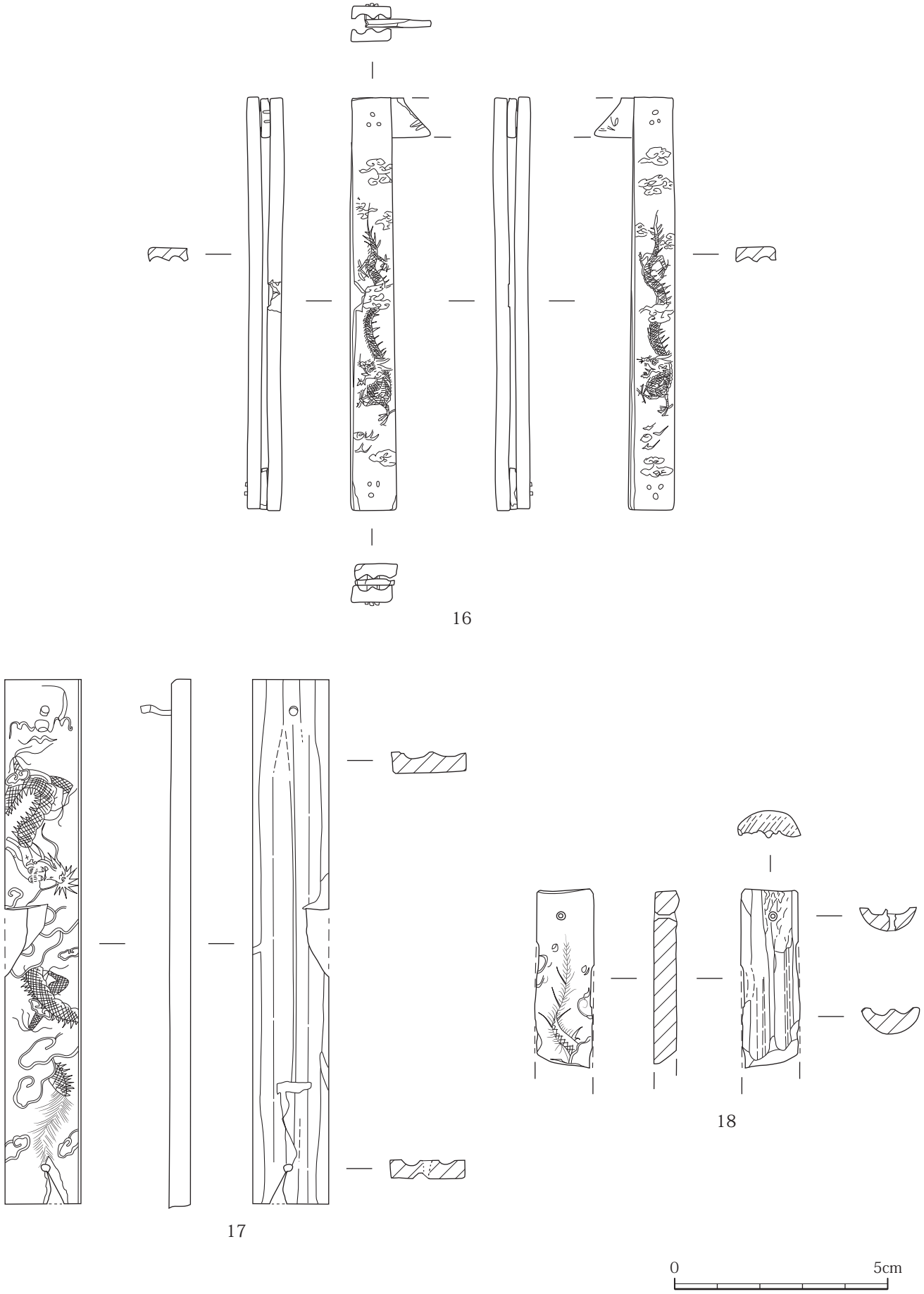
第 24 表　骨製品観察一覧

図・図版番号	番号	種類	完破・部位	材質	法量（ｃｍ・ｇ）				観察事項	調査年度(平成)	グリッド・層
					縦	横	高さ/厚さ	重量			
第73図 図版47	9	不明	破片	骨	2.6	4.6	2.2	8.6	堅緻な骨。凸面は磨かれやや光沢があり、文様を彫っている。凹面の端部に溝？を彫る。二枚貝を模したものか。	―	表土
	10	梳櫛	―	骨	1.15	4.85 (5.1)	0.25	1.2	半円状の製品。全面が磨かれるが、片面には海綿質が残る。長軸の両端部に行くにつれ薄くなり、両面とも短軸方向に細かい線条痕がある。中心に穿孔する。	24	L-E8 落込3内1層
	11	梳櫛	―	骨	1.15	4.5	0.20	1.3	半円状の製品。全面が磨かれやや光沢があるが、片面には海綿質が残る。長軸の両端部に行くにつれ薄くなり、両面とも短軸方向に細かい線条痕がある。線条痕は長軸の端部に多い。	24	L-E8 石積23南側1層
	12	ヤス状骨製品	破片	骨	(4.05)	0.6	0.20	0.4	全面が磨かれやや光沢がある。横断面は平坦面のある半円状で、端部は細くなっている。	24	J-E6表土
	13	不明	破片	骨	(2.55)	(0.95)	0.30	0.6	全面が磨かれ光沢がある。横断面は平坦面のある半円状。黒色を呈す。	24	L-E8 ピット6　1層
	14	ハブラシ？	破片	骨	(2.75)	0.98	0.27	0.8	全面が磨かれ光沢がある。残存部では３列の孔が開くが孔の数は少なくなっていく。部分的に黒色を呈していることから被熱しているか。	24	L-E8落込3内1層
	15	円筒状骨製品	破片	骨	6.60	1.95	0.35	4.6	凸面は全面が磨かれやや光沢がある。凹面は両端部に刻み目があり、その近くは削られるが他は海綿質である。両端部の形状から、何かに接続し使用したと思われる。	24	L-E8 石積23南側1層
第74図 図版48	16	彫刻製品	破片	骨	9.70	0.95	0.95	6.2	４枚以上の板が組み合わさった製品。挟み込む外側の板は裏面に２つの溝があり、２枚とも同じ構図の龍が彫刻される。挟み込まれる板は両面とも文様が彫刻され、両端が欠損していると思われる。これらは端部に金属製３つの鋲で固定され、緑青が見られる。用途不明。	24	L-E8落込3内1層
	17	彫刻製品	ほぼ完形	骨	12.35	1.75	0.50	12.1	全面が磨かれ光沢がある。裏面は２つの溝がありやや雑に成形され、金属製の鋲が打たれる部分は平たい表面に龍が彫刻される。横断面は裏面に向かってやや開く。両端に金属製の鋲が１本打たれ、緑青が見られる。用途不明。	24	L-E8 石積23南側1層
	18	彫刻製品	破片	骨	(4.2)	1.35	0.55	3.6	全面が磨かれ光沢があるが、端部の側面は丁寧に調整されない。裏面は２つの溝がある。表面に龍が彫刻される。横断面は半円状で、端部に孔を１つ穿孔する。黒色を呈す。用途不明。	―	表土
第75図 図版49	19	彫刻製品	破片	骨	(2.4) (3.55)	1.1	0.25	1.9	全面が磨かれ光沢があり、裏面は２つの溝がある。表面に字文が彫刻される。横断面は半円状で、端部に孔を１つ穿孔する。裏面に煤。用途不明。	24	L-E8落込3内1層
	20	彫刻製品	破片	骨	(7.95)	1.1	0.30	2.6	全面が磨かれ光沢があり、裏面は２つの溝がある。表面に椿？が彫刻される。横断面は裏面に向かってやや開く。用途不明。	24	L-E8落込3内1層
	21	彫刻製品？	完形	骨	13.00	1.75	0.60	15.3	全面が磨かれ光沢がある。裏面は２つの溝があり、溝の山の部分が平らに成形され、両端部は山が無くなる。表面には瑞雲と龍文？が白抜きで見られる。横断面は半円状。用途不明。	24	J-E6・7表土
	22	彫刻製品	破片	骨	(7.85)	1.3	0.50	5.3	全面が磨かれ光沢があるが、端部の側面は丁寧に調整されない。裏面は２つの溝があり、溝の山の部分が平らに成形され、端部は山が無くなる。横断面は半円状。表面に不明の文様あり。用途不明。	24	L-E8 石積23南側1層



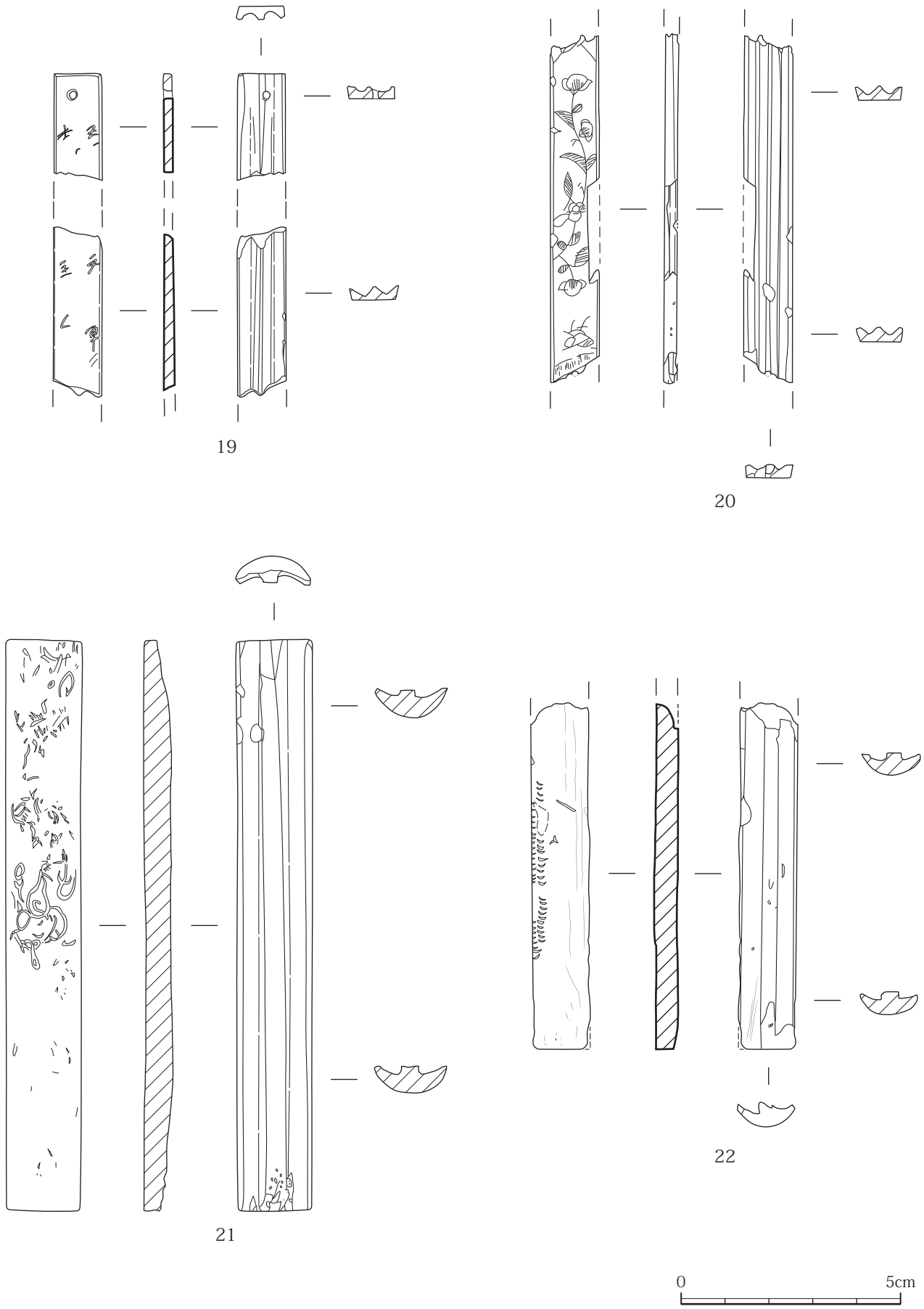
第 73 図　貝製品・骨製品 1

図版 47　貝製品・骨製品 1



第 74 図　骨製品 2

図版 48　骨製品 2



第 75 図　骨製品 3

図版 49　骨製品 3

第 18 項　自然遺物

1　貝類遺体

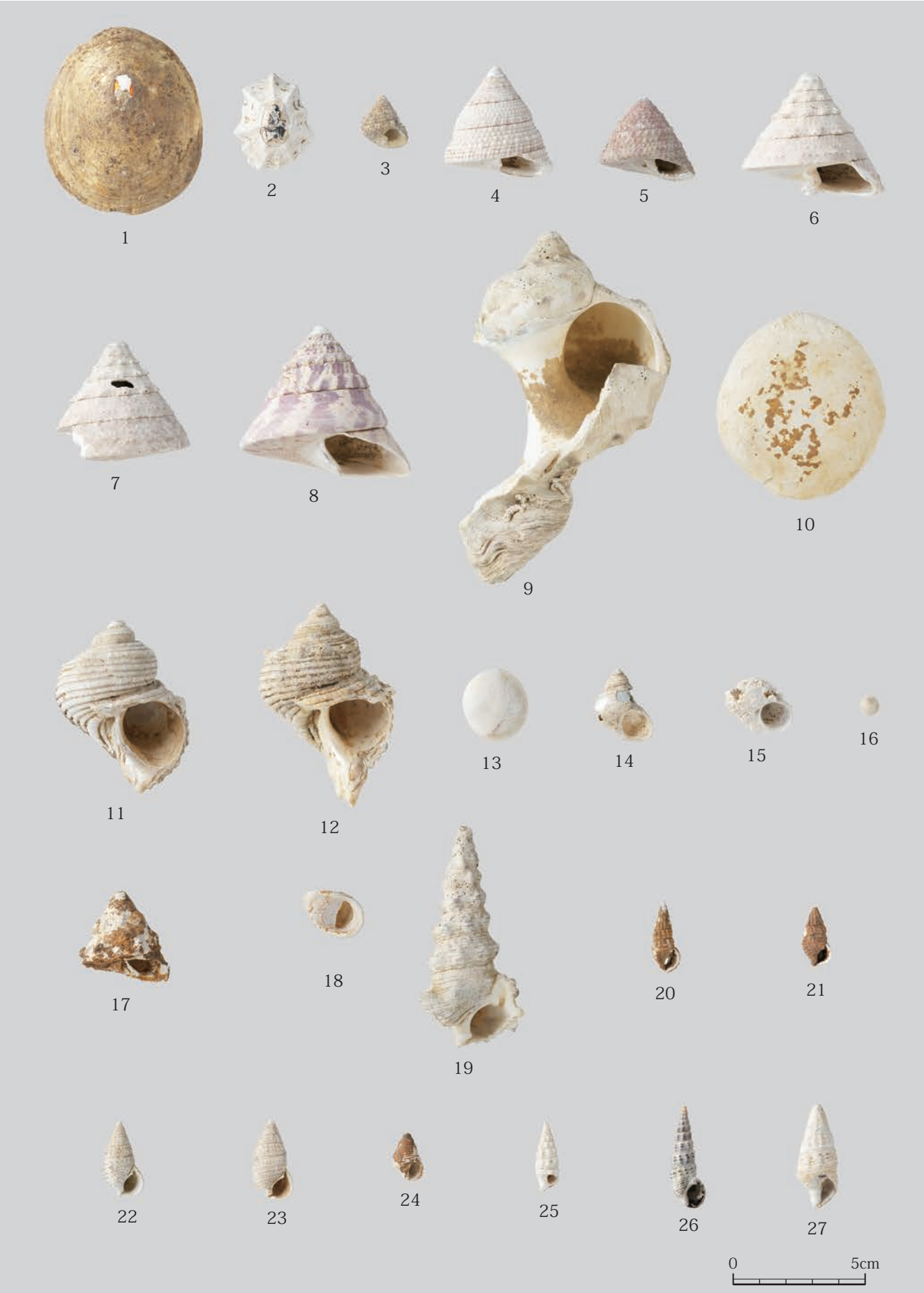
＜貝の生息域分類＞

外洋～内湾	水　　深	底　　質
Ⅰ　外洋・サンゴ礁域 Ⅱ　内湾・転石地域 Ⅲ　河口干潟・マングローブ域	0　潮間帯上部 (Ⅰではノッチ、Ⅲではマングローブ) 1　潮間帯中・下部 2　亜潮間帯上縁部(Ⅰではイノー) 3　干潮(Ⅰにのみ適用) 4　礁斜面およびその下部	a　岩盤 b　転石 c　岩礫底、砂泥底、砂底 d　マングローブ植物上 e　淡水の流入する礫底
Ⅳ　淡水域	5　止水 6　流水	
Ⅴ　陸域	7　林内 8　林内・林縁部 9　林緑部 10　海浜域	
Ⅵ　その他	11　打ち上げ物 12　化石	

2　脊椎動物遺体

＜動物依存体種名一覧＞

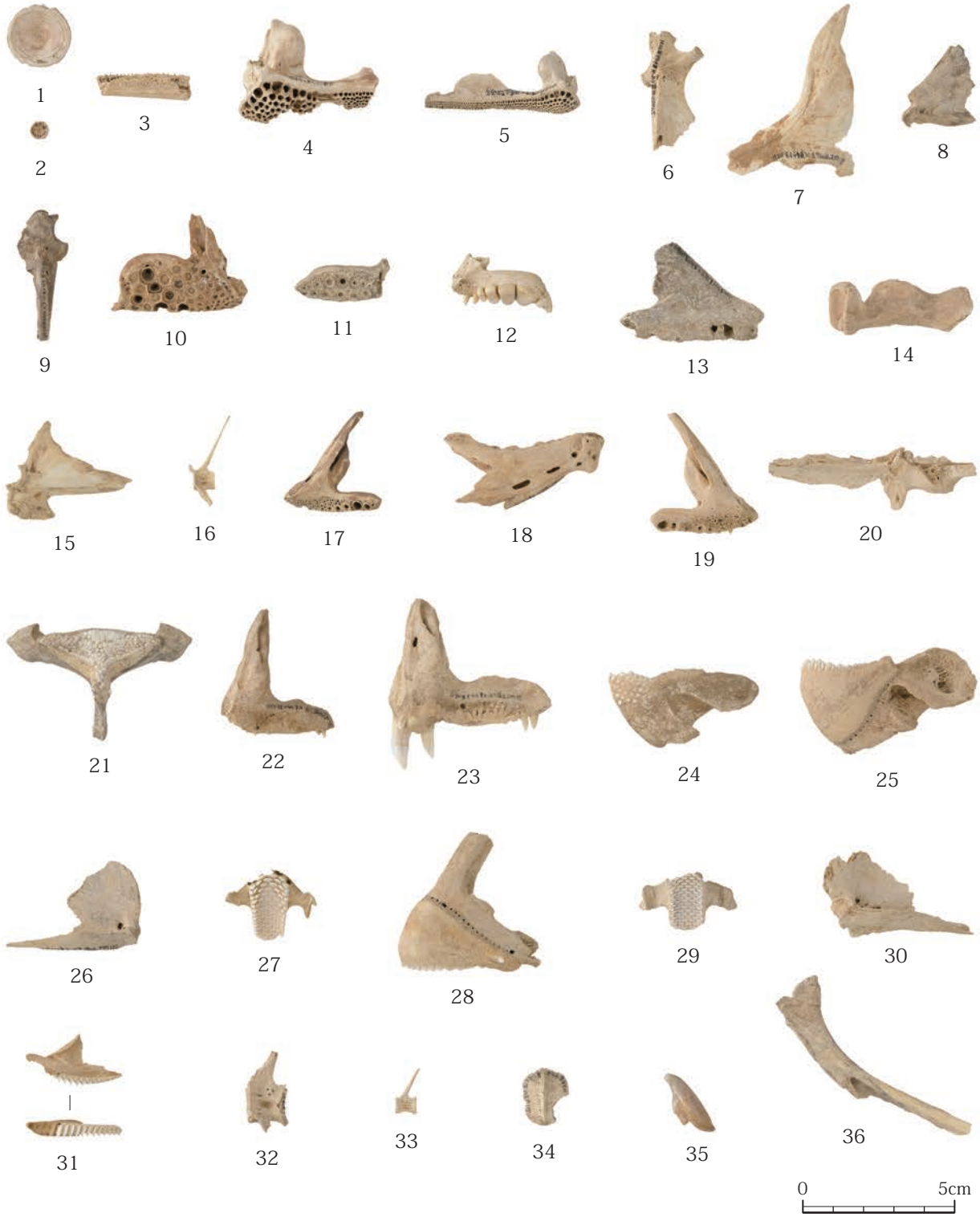
脊椎動物門　Phylum VERTEBRATA
軟骨魚網　Class Chondrichthyes
サメ類　Lamniformes
エイ類　Rejiformes
硬骨魚網　Class Osteichthyes
ダツ科　Belonidae
ハタ科マハタ型　Serranidae cf.*Epinephelus*
ハタ科 (A)　Serranidae (A)
ハタ科 (B)　Serranidae (B)
ハタ科　Family Serranidae
アジ科 Family Carangidae
フエダイ科　Family Lutjanidae
ヘダイ属　*Rhabdosargus sp.*
クロダイ属　*Acanthopagrus sp.*
タイ科　Family Sparidae
ヨコシマクロダイ　*Monotaxis grandoculis*
キツネフエフキ　*Lethrinus olivaceus*
フエフキダイ属アマミフエフキ型　*Lethrinus cf. L.amamiensis*
フエフキダイ属ハマフエフキ型　*Lethrinus cf. L.nebulosus*
フエフキダイ科　Family Lethrinidae
ベラ科シロクラベラ型　*Labridae cf.Cherodon shoenleinii*
ベラ科タキベラ型　*Labridae cf.Bodianus perdition*
ベラ科コブダイ型　*Labridae cf.Semicossyphus reticulatus*
ベラ科 (B)　Labridae (B)
ベラ科　Family Labridae
イロブダイ属　*Bolbometopon*
アオブダイ属　*Scarus sp.*
アオブダイ属 (A)　Scarus sp. (A)
ナガブダイ属　*Scarus rubroviolaceus sp.*
ブダイ属　*Calotomus*
ブダイ科　Family Scaridae
ニザダイ科　Acanthuridae
モンガラカワハギ科　Balistidae
種・属不明　Gen.et sp.indet.
爬虫類　Class Reptilia
ウミガメ科　Cheloniidae
イシガメ科　Geoemydidae
科・属不明　Fam.et gen.indet
鳥類　Class Aves
ニワトリ　*Gallus gallus var. domesticus*
科・属不明　Fam.et gen.indet
哺乳類　Class Mammalia
ネズミ科　Family Muridae
イヌ　*Canis familiaris*
ネコ　*Felis catus*
イノシシ/ブタ　*Sus scrofa*
ヤギ　*Capura hirucus*
ウシ　*Bos taurus*
ウマ　*Equus caballus*
ジュゴン　*Dugong dugon*
科・属不明　Fam.et gen.indet



図版 50　貝類遺体 1（巻貝 1）

図版 51　貝類遺体 2（巻貝 2）

図版 52　貝類遺体 3（二枚貝）



サメ類 1. 椎骨　**エイ・サメ類** 2. 椎骨　**ダツ科** 3. 左右不明 歯骨　**ハタ科Aマハタ型** 4. 右 前上顎骨　**ハタ科A** 5. 左 前上顎骨
ハタ科 6. 右 舌骨　7. 左 擬鎖骨　**アジ科大型種** 8. 左 方骨　**フエダイ科** 9. 左 舌骨　**クロダイ属** 10. 左 前上顎骨
タイ科 11. 左 前上顎骨　**ヨコシマクロダイ** 12. 右 前上顎骨　**キツネフエフキ** 13. 左 前上顎骨
アマミフエフキ型 14. 右 主上顎骨　15. 右 角骨　16. 腹椎　**ハマフエフキ型** 17. 右 前上顎骨　**ハマフエフキ型？** 18. 右 歯骨
フエフキダイ科 19. 左 前上顎骨　20. 左右不明 副蝶形骨　**シロクラベラ型** 21. 下咽頭骨　**ベラ科** 22.23 右 前上顎骨
イロブダイ属 24. 左 歯骨　**アオブダイ属** 25. 左 歯骨　26. 左 方骨　27. 下咽頭骨　**アオブダイ属A** 28. 左 前上顎骨
ナヨウブダイ属？ 29. 下咽頭骨　**ブダイ科** 30. 右 方骨　31. 左 上咽頭骨　32. 腹椎　33. 尾椎　**ニザダイ科** 34. 楯鱗
モンガラカワハギ科 35. 歯　36. 腰帯（カットマークあり）

図版 53　脊椎動物遺体 1

ウミガメ　1. 左 肩甲骨
ニワトリ　2. 右 肩甲骨　3. 右 上腕骨（幼鳥）　4. 右 寛骨　5. 左 脛骨　6. 左 烏口骨
クマネズミ属　7. 右 大腿骨
イヌ　8. 胸椎 (左側面切断)
ネコ　9. 右 大腿骨
イノシシ / ブタ　10. 左 M^2・M^3　11. 頚椎　12. 胸椎　13. 右 肋骨　14. 左 肩甲骨　15. 左 上腕骨　16. 右 橈骨 / 尺骨
17. 左 尺骨（カットマークあり）　18. 右 中手骨

図版 54　脊椎動物遺体 2

イノシシ / ブタ　19. 右 寛骨　20. 左 大腿骨　21. 左 脛骨　22. 右 腓骨（カットマークあり）　23. 左 膝蓋骨
24. 左 踵骨（カットマークあり）25. 左 中心足根骨　26. 右 第 4 中足骨　27. 左 基節骨　28. 左 中節骨
29. 左 末節骨　30. 右 下顎 遊離歯 I_1

ヤギ　31. 左 上顎 遊離歯 M^2　32. 軸椎　33. 右 中手骨

図版 55　脊椎動物遺体 3

ウシ　34. 左 頭蓋骨　35. 右 上顎 P^2　36. 右 下顎骨　37. 胸椎（カットマークあり）　38. 右 肋骨　39. 右 手根骨　40. 左 膝蓋骨
41. 左 脛骨 (打ち割り）42. 右 踵骨（カットマークあり）　43. 左 第 4 中心足根骨

図版 56　脊椎動物遺体 4

ウシ　44. 右 基節骨　45. 右 中節骨
ウマ　46. 左 肋骨（カットマークあり）　47. 右 上腕骨（カットマークあり）　48. 右 第 2 ／第 3 中手骨 49. 右 基節骨
ジュゴン　50. 頭頂骨（カットマークあり）

図版 57　脊椎動物遺体 5

第 25 表　中国産青磁出土状況一覧 1

出土地 年度				H23																											H24					
グリッド				M-E7	N-E5	N-E6	N-E7	N-E7・E8	N-E8	O-E5		O-E6		O-E7					O-E7・E8		O-E8			P-E7			Q-E7									
器種・部位・分類 層序				下層	上層	上層	上層	石敷3	上層	上層	下層	土坑1	上層	石積1・2	石積2	石積2トレ3−2層	石積2トレ3−3層	上層	石積2トレ1層	石積2トレ3−1層	石積2トレ2層	石積6下	石積7内	落込	落込下	下層	集石	石積1	石積1ウラゴメ	アゼ下層	石積16西側	石積16・17間	石積16・17間トレンチ	石積17・18間	石積17・18間トレンチ1層	石積17・18間トレンチ2層
碗	口〜底	Ⅴ-1	直口・細蓮弁																																	
	口縁部	Ⅲ'	−																																	
		Ⅳ'	輪花																																	
			−				2						2		1	3	6	2	1	1		2	1					2	1		2	1				
		Ⅳ-0	端反			1	2									1			1	1								2			1					2
			−					1	1																											
		Ⅴ	端反																	1																
			直口													1			2																	
			−																																	
		Ⅴ-0	端反						1										1																	
			直口			1																														
		Ⅴ-1	端反																									2								
			直口														1					1						1								
			直口・細蓮弁				1																								1					
		Ⅴ-2	ヘラ描き																								1	1								
			型押し																																	
		Ⅴ-3	端反														1	2										1								
		Ⅵ	直口				1						1																							
			−																																	
		Ⅵ-0	直口																														1			
		Ⅵ-1	−				2	1												2				1				1								
		Ⅵ-2	−				1						1																							
		Ⅶ-1	−			1																														
		Ⅶ-2	−																									1								
		−	−																																	
	胴部	Ⅲ	−																																	
		Ⅳ	−										4				1					1						1			1	1	1			1
		Ⅳ'	輪花																	1																
			−		1		2	1		1	2		1		1	4		2	5	1		3			1	1	1	4			3					
		Ⅳ-0	−																																	
		Ⅴ	端反																																	
			−	2			6	1	1				8		2	14		2	7	5	1	3					1	4			6	7				
		Ⅴ-0	端反																																	
		Ⅴ-1	細蓮弁																																	
			端反																																	
			直口・細蓮弁																																	
			蓮弁・端反																																	
			蓮弁・直口																												1					
			−			1											1			1								1			1					
		Ⅴ-2	ヘラ描き																																	
			型押し																																	
			−																	1																
		Ⅴ-3	端反																																	
			−																																	
		Ⅵ	−					1	1																											
		Ⅵ-1	−										1									1					1									
		Ⅵ-2	−																																	
		Ⅶ-1	−																									1								
		−	−																									1								
	底部	Ⅳ	−																1									1								
		Ⅳ'	−										1			1	2											1								
		Ⅴ	−									1							1	3																
		Ⅴ'	−																																	
		Ⅴ-1	−																																	
		Ⅴ-3	−																																	
		Ⅵ	−																																	
		Ⅵ-1	−																																	
		Ⅵ-2	−																																	
		Ⅶ	−																									1								
小碗	口縁部	−	−																																	
皿	口〜底	Ⅴ-1	口折																																	
		−	−																																	
	口縁部	Ⅲ'	−																													1				
		Ⅲ-1	−																																	
		Ⅳ'	−																																	
		Ⅳ-1	口折												1																					
		Ⅴ-0	端反	2			1						1				1	1										1			1					1
			直口														1																			
			稜花											1																						
			−																																	1
		Ⅴ-1	外面文様有・口折																																	
			口折																								1				1	1				
			直口			1																														
		Ⅴ-3	−																			1														
		Ⅵ-0	直口																																	
			稜花				1						1														1	2			1	1			1	
			−																																	
		−	−																																	
	胴部	Ⅲ'	−											1																						
		Ⅲ-0	−																																	
		Ⅳ'	−																																	
		Ⅴ	文様有(内面)																																	
			−				3									1															1					
		Ⅴ-0	端反																																	
			稜花																																	
			−																																	
		Ⅴ-1	口折											1																						
		Ⅵ-0	直口																																	
			稜花																																	
	底部	Ⅳ	−																																	
		Ⅳ'	−													1																				
		Ⅴ	−																1	1																
		Ⅴ-0	端反																																	
		Ⅴ-1	−																																	
		Ⅵ	−																																	
		Ⅵ-0	稜花																																	
盤	口縁部	A-1	−				1	1					2	1	1	1																				
		A-2	−																	1																
		A-3	−																																	
		B	−																1																	
		C	草花文																		1															1
			蓮弁文																																	
			−															1																		
	胴部	A	−							1			2				2																			
		−	−										3				1														1					
	底部	A	−																		1		1													
		−	−													1															1					
瓶	胴部	−	−																1									2			1					
	底部	−	−																																	
壺	口縁部	−	−																																	
	胴部	−	−				1	1						1				1										1		1	2					
	底部	−	−															1																		
鉢	胴部	−	−																1	1								1								
香炉	口縁部	A	−																									1								
	胴部	A	−																																	
		B	−																																	
		−	−																																	
	底部	B	−																																	
蓋	庇	−	−										1				1																			
	庇端部	−	−						1																											
水注	胴部	−	−														1																			
器台(大)	底部	器台A	−																																	
器台(小)	底部	器台B	−														1																			
器種不明	胴部	−	文様有(内面)																																	
			−	1			4	1	1				3					4		4							2	1			3			1		
合計				5	1	5	28	8	6	2	2	1	32	5	6	28	20	16	23	24	3	12	2	1	1	1	8	35	1	1	28	12	2	1	1	6

第 25 表　中国産青磁出土状況一覧 2

器種・部位・分類				出土地 / 年度 H24 / グリッド / 層序	石積17・18間トレンチ3層	石積18ウラゴメ	石積20南側2層	石積20南側3層	石積20南側4層	石積20南側5-2層	石積20トレンチ1層	石積20トレンチ2層	石積20ウラゴメ	石積21	石積21トレンチ1	石積21トレンチ2	石積22	石積23南側1層	石積23南側3層	石積24	石列1	石列2	石敷3	階段2	階段2トレ1層	階段2ウラゴメ	落込2内1層	落込2内2層	落込2内3層	落込3内1層	落込3内2層	落込3内3層	落込3内4-2層	ピット6 1層	表土・撹乱	合計
碗	口～底	V-1	直口・細蓮弁						1																											1
	口縁部	Ⅲ'	―											1																						1
		Ⅳ'	輪花																								1									1
			―				4		4		1		2		1		1					1		1			1		1	3		1			19	67
		Ⅳ-0	端反				5		1							1			1	1		2		1					1	2					15	41
			―																																	2
		Ⅴ	端反				4																	4			2			2					7	20
			直口																											1					8	12
			―																			1														1
		Ⅴ-0	端反		2				2			2																							3	17
			直口						2												1		1				4								2	11
		Ⅴ-1	端反																																	2
			直口												1				1		1	3							1						4	14
			直口・細蓮弁						1																				1						1	8
		Ⅴ-2	ヘラ描き						1									1		1					1		1								4	11
			型押し																																1	1
		Ⅴ-3	端反		1		1																												2	8
		Ⅵ	直口																						1				2							5
			―																																1	1
		Ⅵ-0	直口																					2			1									4
		Ⅵ-1	―				2															1				1	5		1						4	21
		Ⅵ-2	―																																	2
		Ⅶ-1	―																																1	2
		Ⅶ-2	―																																	1
		―	―																										3						1	4
	胴部	Ⅲ	―																																	1
		Ⅳ	―				3							2				2		2		4		2				2	2	2					11	43
		Ⅳ'	輪花																																	1
			―		1	2	6	2	5		3					2		1				4		2			1	1	1					1	40	106
		Ⅳ-0	―						1																											1
		Ⅴ	端反																																	1
			―			1	8	2	10	1	1					1			3	3	1	2	8	1	8			9		3	4	1	1			53	191
		Ⅴ-0	端反				1														1	1														3
		Ⅴ-1	細蓮弁																				1												1	2
			端反																																2	2
			直口・細蓮弁						3										1																2	6
			蓮弁・端反				1																													1
			蓮弁・直口						1																											2
			―				1																												5	11
		Ⅴ-2	ヘラ描き										1																						1	2
			型押し				1		1																							1				3
			―						2		1																		1	1					2	8
		Ⅴ-3	端反																																1	1
			―											1													1									2
		Ⅵ	―																																	2
		Ⅵ-1	―																																5	10
		Ⅵ-2	―																		1															1
		Ⅶ-1	―																																	1
		―	―																																	1
	底部	Ⅳ	―																								1		1						2	6
		Ⅳ'	―									2															1							1	3	12
		Ⅴ	―				2			1			1							1							1		1						10	22
		Ⅴ'	―																								1									1
		Ⅴ-1	―						1																											1
		Ⅴ-3	―																											1						1
		Ⅵ	―																								1							1	2	4
		Ⅵ-1	―																		1	1			1											3
		Ⅵ-2	―																								1									1
		Ⅶ	―																																	1
小碗	口縁部	―	―																								1		1							2
皿	口～底	V-1	口折						1																											1
		―	―																											1						1
	口縁部	Ⅲ'	―																																	1
		Ⅲ-1	―																			1													1	2
		Ⅳ'	―						2																											2
		Ⅳ-1	口折																																	1
		Ⅴ-0	端反		1	1			1													1													6	19
			直口																																	1
			梗花																																1	2
			―																																	1
		Ⅴ-1	外面文様有・口折																					1												1
			口折											1															1	2					2	9
			直口																								1									2
		Ⅴ-3	―											1			1										1								2	6
		Ⅵ-0	直口																																	1
			梗花																1								2					1			4	16
			―																					1												1
		―	―																																	2
	胴部	Ⅲ'	―																																	1
		Ⅲ-0	―						1																											1
		Ⅳ'	―																																	1
		Ⅴ	文様有(内面)																	1																1
			―					1																			1								1	8
		Ⅴ-0	端反							1				1													1								1	4
			梗花																																1	1
			―				1																	1												2
		Ⅴ-1	口折																									1								2
		Ⅵ-0	直口																																	1
			梗花																		1															1
	底部	Ⅳ	―																																	1
		Ⅳ'	―																1														1		1	4
		Ⅴ	―							1														1												6	10
		Ⅴ-0	端反				1																													1	2
		Ⅴ-1	―						1																											1
		Ⅵ	―																1								1									2
		Ⅵ-0	梗花																								1									1
盤		A-1	―				1	1	2													2		1						2					9	25
	口縁部	A-2	―				1					1												1					1							1	6
		A-3	―				1																													1	1
		B	―																								1									2	4
		C	草花文																																	2	4
			蓮弁文				1																													2	3
			―																																	2	3
	胴部	A	―		1															1																3	10
		―	―				1															1					1									3	16
	底部	A	―							1																				1						1	5
		―	―				2		1							1						1					1									7	15
瓶	胴部	―	―				1																				1									2	8
	底部	―	―			1																														1	1
壺	口縁部	―	―								1								1								1									2	5
	胴部	―	―						1													2								1						6	18
	底部	―	―																					1												2	2
鉢	胴部	―	―																								1									5	9
香炉	口縁部	A	―																																	1	1
	胴部	A	―																																	1	1
		B	―				1																													1	1
		―	―												1																					1	1
	底部	B	―																																	1	1
蓋	底	―	―																																	2	2
	底端部	―	―						2																		1									1	5
水注	胴部	―	―																																	1	1
器台(大)	底部	器台A	―																										1							1	1
器台(小)	底部	器台B	―																																	1	1
器種不明	胴部	―	文様有(内面)																		1															1	1
			―	1					2		1		1			1		2				6		9			2		1	3					16	73
合計				7	5		50	6	50	3	12	1	7	7	3	6	2	14	7	8	9	40	2	36	2	1	52	4	24	26	1	4	1	3	332	1052

第 26 表　中国産青花出土状況一覧

器種	部位	分類		窯	H23 N-E5 上層	N-E6 上層	N-E7 上層	N-E7・E8 石敷3	O-E5 上層	O-E6 上層	O-E7 石積1・2	O-E7 石積2	O-E7 石積2トレ3−2層	O-E7 上層	O-E7・E8 石積2トレ3−1層	O-E8 石積2トレ2層	P-E7 下層	Q-E7 集石	石積1	H24 石積16西側	石積16・17間	石積16・17間トレンチ	石積17東側3層	石積17・18間	石積17・18間トレンチ1層	石積17・18間トレンチ2層	石積20南側2層	石積20南側3層	石積20南側4層	石積20トレンチ1層	石積21	石積22	石積23南側1層	石積23南側2層	石積23南側3層	石積24	石列2	階段2	落込2内1層	落込2内3層	落込3内1層	落込3内3層	落込3内4−3層	ピット6 1層	ピット7 1層	ピット9 1層	表土・撹乱	合計
碗	口～底	A1	—	景徳鎮																									1																			1
		C	—	徳化																																								1				1
		—	印青花	福建・広東																									1																			1
			草花文	福建・広東																																								1				1
	口縁部	A1	—	景徳鎮											1																								1	1								3
				—							1																												1									2
		A2	—	景徳鎮																								1											1									2
		B	直口	徳化																		1			1															2	2						1	7
			端反	徳化																													2							1	1						2	6
		C	—	景徳鎮																																											1	1
				徳化																												1	2							1								4
		D	—	景徳鎮																													1															1
		E1	—	景徳鎮																													1	1							1			6			1	10
		E2	—	景徳鎮																																		1									1	2
		—	印青花	福建・広東			1												1	1													4							12					1		5	25
			草花文	福建・広東			1							2								8	1			1							20	2					1	35	12			3			16	102
			—	景徳鎮															1																									1				2
				福建・広東					1													5											10	2						11	6						4	39
				漳州		1																																										1
				—																1																												1
	胴部	A1	—	景徳鎮									1		1					1																1		1			1						2	8
		A2	—	徳化																													1											1				2
		B	直口	徳化																																			1		1							2
			端反	徳化																1													1														4	6
			—	景徳鎮								1																																				1
				徳化																													2	1						1							1	5
		B2	直口	徳化																																											1	1
		C	—	景徳鎮																													3															3
				徳化																1																												1
		D	—	景徳鎮								1																														1					2	4
		E1	—	景徳鎮																																					3			1			2	6
		F	—	景徳鎮																																				2							1	3
		—	印青花	福建・広東						1													1										7	1	1					1	1						2	15
			草花文	福建・広東														1				3											11	4	1	1				11	3						6	41
			—	景徳鎮																								1											1		2			2			1	7
				徳化																																				3								3
				福建・広東						6									1	2	1	3	4		1						1		8	1					1	35	1	6		2			17	90
				漳州																2																											1	3
				—																																				3							1	4
	底部	A	—	景徳鎮																																					1							1
				—																																	1											1
		A1	—	景徳鎮															1		1																		1									3
				徳化																																					2			1				3
				—																							1																					1
		A2	—	徳化																																								5				5
		B	直口	徳化																																1				1								2
			端反	徳化																																				1								1
			—	徳化																																		1		4	1						5	11
		C	—	景徳鎮																													1								1							2
		E1	—	景徳鎮																			1										1											3			1	6
				—																																								1				1
		E2	—	景徳鎮																																					1							1
		F	—	景徳鎮																																											1	1
		—	草花文	福建・広東																																				1							1	2
			—	福建・広東			2															7													1	2			3	5	1						9	30
				漳州																																											1	1
小碗	口～底	A1	—	徳化																																								1				1
		A2	—	徳化																																								1				1
		A3	—	徳化																																								1				1
		B	端反	徳化																																								2				2
		E	—	景徳鎮																																								1				1
	口縁部	A	—	徳化																																				1								1
		A1	—	徳化																			1										6	1							2			3				13
				—																																								4				4
		A1・A2	—	景徳鎮																													3	1							3			2			1	10
		A2	—	徳化																																					1			1				2
		A3	—	徳化																																					4			7				11
		B	直口	徳化																		1												1	1				1	4							7	15
			端反	徳化																												1	1							3	3			4			5	17
		C	—	景徳鎮																																				2	1							3
		E	—	景徳鎮																													1											5			1	7
		F	—	景徳鎮																																				1	1			2				4
		—	印青花	福建・広東																1																												1
			草花文	福建・広東																																											1	1
			—	景徳鎮															1				1																									2
				福建・広東																													1							1							1	3
				—																1													4											2				7
	胴部	A1	—	徳化						1													1										2		1			1			12			14			2	34
		A2	—	徳化																													2															2
		A3	—	徳化																																					2			4				6
		B	端反	徳化						1																							5				1			1	4			6			4	22
			—	徳化																																				1							6	7
		C	—	景徳鎮																													1							1							2	4
				徳化																																											1	1
		E	—	景徳鎮																													5								3			9			1	18
		F	—	景徳鎮																													1							2							1	4
		—	印青花	福建・広東																1															1													2
			草花文	福建・広東																													1		1													2
			—	徳化																													1															1
				福建・広東																						1							1							4								6
				—																													1							5							2	8
	底部	A1	—	徳化																																					2			2			1	5
		A3	—	徳化																																					2			1				3
		B	端反	徳化																																											1	1
			—	徳化																1													2						1	1	5			2			1	13
		C	—	徳化																																											1	1
		E	—	景徳鎮																																					2						1	3
		F	—	景徳鎮														1																							1						1	3
		—	—	景徳鎮						1																																						1
				徳化																																					1							1
				福建・広東																															1													1
皿	口～底	A	端反	徳化																													1											1				2
		A2	—	景徳鎮																																				1								1
		B	端反	徳化																																					1							1
			—	景徳鎮																																					1						1	2
		C1	—	景徳鎮																																								1				1
		C2	—	景徳鎮																													1															1
		E	—	景徳鎮																																					1			2				3
	口縁部	A	端反	徳化																																					1			2				3
		A1	—	景徳鎮					1										1														1						1									4
		A2	—	景徳鎮																			1																									1
		B	直口	徳化																																				1								1
			端反	徳化																													2							3				1			3	9
		C1	—	景徳鎮							1									1													1							3	2	1		2				11
		C2	—	景徳鎮																																				3		1						4
		C3	—	景徳鎮																																					2			1				3
		E	—	景徳鎮																													3								3			10				16
		—	—	景徳鎮																																				2	1			1				4
				徳化																												1																1
	胴部	A	端反	徳化																																					1							1
		A1	—	景徳鎮																																											1	1
		A2	—	景徳鎮																																				1								1
		B	直口	徳化																																											2	2
			端反	徳化																													1															1
		C1	—	景徳鎮																													1								2			2				5
		C2	—	景徳鎮																																											2	2
		C3	—	景徳鎮																																								1				1
		E	—	景徳鎮																			1																		2							3
		—	—	景徳鎮																																					1						1	2
	底部	A	端反	徳化																													1															1
		A1	—	景徳鎮																																											1	1
		B	端反	徳化																													2											1				3
		C	—	徳化																																											1	1
		C1	—	景徳鎮																			1										2							1	1						1	6
		C2	—	景徳鎮																																1					1							2
		C3	—	景徳鎮																																					1							1
		C4	—	—																																				1								1
		E	—	景徳鎮																													1								4			7				12
				—																																								1				1
		—	—	漳州																																											1	1
皿・碗	胴部	E	—	景徳鎮																																				1								1
皿・小碗	胴部	E	—	景徳鎮																																								1				1
盤	胴部	—	—	景徳鎮																																											1	1
小杯	口縁部	C	—	徳化																1																												1
		—	—	景徳鎮																																				2								2
	胴部	C	—	徳化																																				1								1
瓶	口縁部	—	—	景徳鎮																																					1							1
	胴部	—	—	景徳鎮																							1																				2	3
壺	胴部	—	—	漳州																								1																				1
	底部	—	—	漳州																										1																		1
鉢	口縁部	—	—	福建・広東													1																1														1	3
	胴部	—	—	景徳鎮																							1																					1
				福建・広東														1						1	1								2							2								7
	底部	—	—	福建・広東																																											1	1
餌入れ	口縁部	—	—	景徳鎮																																											1	1
袋物	胴部	—	—	景徳鎮																													1															1
				—																									1																			1
器種不明	胴部	—	—	景徳鎮			2																																		1							3
				—	1	1		1								1			2	2		1											2	1			2			5	2		1	3		1	13	39
	底部	—	—	—																													1							1							1	3
合計					1	2	6	1	2	10	2	2	1	2	2	1	1	3	8	17	2	31	13	1	3	2	3	3	2	1	1	3	139	16	8	7	4	4	14	188	119	9	1	138	1	1	165	940

第 27 表　中国産白磁出土状況一覧

器種・部位・分類・窯			出土地	年度	H23												H24																										表土・撹乱	合計
				グリッド	M-E7	N-E6	N-E7	N-E7・E8	O-E6	O-E7	O-E7・E8	O-E8		P-E7	Q-E7	石積1	石積16西側	石積16・17間	石積16・17間トレンチ	石積17東側3層	石積17・18間トレンチ2層	石積17・18間トレンチ3層	石積20南側2層	石積20南側3層	石積20南側4層	石積20トレンチ1層	石積20トレンチ2層	石積21	石積21トレンチ1	石積21トレンチ2	石積22	石積23南側1層	石積24	石列1	石列2	階段2	落込2内1層	落込2内2層	落込2内3層	落込3内1層	落込3内3層	落込3内4-3層	ピット6 1層		
				層序	下層	上層	上層	石敷3	上層	石積2トレ3−2層	石積2トレ3−1層	石積2トレ2層	石積6下	下層	集石																														
碗	口縁部	C1	−	福建																													1				1							2	2
		C2	−	福建																																	2						1	3	3
		C3	−	福建													1						1			1										1				1			4	9	9
		D’	−	福建														1																											1	1
		E	直口	景徳鎮															1												2							5					1	9	9
		E0	端反	景徳鎮																															1									1	1
	胴部	C	−	福建			1						2											1						1			1		1								2	9	9
				福建・広東																			1																						1
		C1	−	福建																													1											1	1
		C3	−	福建																										1	1						1		1				2	6	6
		D’	−	福建																										1															1	1
		E	−	景徳鎮					1																																1				2	2
		E0	端反	景徳鎮																			1																						1	1
			−	景徳鎮																																		2						2	2
		−	−	福建							1																																		1	1
	底部	C1	−	福建																			1																						1	1
		C2・C3	−	福建																			1																1					2	2
		C3	−	福建																									1															1	1
		D’	−	福建												1																						1						2	2
小碗	口～底	−	−	徳化																																		1						1	1
	口縁部	D	直口	福建																														1										1	2
			端反	福建			1																		1																			2	2
		−	−	徳化																												2						2	2				3	9
	胴部	D	−	福建																							1																		1	1
		−	−	徳化													2															4						3	1				2	12
	底部	−	−	徳化													2																						1						3
皿	口～底	D	直口・抉入高台	福建																																			1						1
	口縁部	D	直口	福建						1					1								1							1									2						6
		D’	端反	福建																																								1	1
		E	端反	景徳鎮														1																					1						2
			端反・八角	景徳鎮					1																																				1
		E0	−	景徳鎮														1				1																						3	5
		−	−	景徳鎮																																1									1
				徳化			1																																						1
				福建																1																								1	2
	胴部	C	−	福建																													2												2
		D	直口	福建												1																													1
			−	福建																	1																								1
		D’	端反	景徳鎮																																			1						1
		E0	−	景徳鎮												1							1																						1	3
	底部	D	−	福建										1																															1	2
		E	−	景徳鎮												1																													1	1
小杯	口縁部	−	−	徳化																												2						1	2			1		6	6
		−		福建																																		1						1	1
瓶	胴部	−	−	景徳鎮				1																																					1
壺	口縁部	−	−	福建								1																																1	2
	胴部	−	−	福建											1																														1
	底部	−	−	福建																					1																				1
散蓮華	柄	−	−	徳化																																								1	1
器種不明	胴部	−	−	景徳鎮											1			2	1									1				1		1	1			3				4	4	19
		−		徳化			1		1								1			2												3						3	3					14
		−		福建	1	1	1		1							2																2			1				2	2				3	16
合計					1	1	5	1	4	1	1	1	2	1	3	6	6	5	2	3	1	1	7	1	2	1	1	1	1	4	1	16	3	2	3	3	2	4	24	18	1	1	5	32	178

第 28 表　中国産褐釉陶器出土状況一覧 1

器種・分類・部位		出土地 / 年度	H23																									H24							
		グリッド	M-E7	N-E5	N-E6	N-E7	N-E7・E8	N-E8		O-E5		O-E6	O-E7					O-E7・E8		O-E8		P-E7		Q-E7	石積1	石積1ウラゴメ	アゼ下層	石積16西側	石積16・17間	石積16・17間トレンチ	石積17東側3層	石積17・18間トレンチ1層	石積17・18間トレンチ2層	石積17・18間トレンチ3層	石積18ウラゴメ
		層序	下層	上層	上層	上層	石敷3	上層	下層	上層	下層	上層	石積1・2	石積2	石積2トレ3－2層	石積2トレ3－3層	上層	石積2トレ1層	石積2トレ3－1層	石積2トレ2層	石積6下	落込	下層	集石											
壺	A	口～胴																																	
		口縁部												1			1	1	3					2		1		3	1						
		胴～底																																	
		胴部	3		5	2		1						5				4	15	1	2		1		4			1	2				1		4
		底部				1								1	1			1	3	1					2			1							
	B	口縁部																																	
		胴部									1				1				1					3	2			2		1					
	C-1	口縁部													1																				
		胴部	2		3	6	5					3		2	18	1	1	1	5									1	1				1		
		底部																																	
		把手																																	
	C-2	口縁部																																	
		胴部	1			1						2		1	2	2		1			1				3			2							
		底部																																	
		把手																										1							
	C-3	口縁部																																	
		胴部		1								1		1	1			1		2					5				1						
		底部																																	
	D	口縁部										1																							
		胴部				1						3			3			2	2		1				3			2	1					1	1
		底部																1																	
	E	口縁部																																	
		胴部	1		1	1						2			1				3					1	2			1	3						
	－	口縁部										2																		1					
		胴部								3					1			2		2															
		底部																															1		
小壺	A	口縁部										1																							
		胴部																										1			1				
鉢	A	口縁部																																	
		胴部																																	
	B-1	口縁部																		1															
		胴部																4	2	12															
	B-2	口縁部																															1		
擂鉢	A	口縁部																																	
	－	胴部																																	
蓋	－	胴部																																	
袋物	－	底部																																	
器種不明	A	口縁部																										1							
		胴部															1																		
	－	口縁部																																	
		胴部										1			1																				
合計			7	1	9	12	5	1	0	3	1	16	0	11	30	3	3	18	34	19	4	0	1	6	21	1	0	16	9	2	1	0	4	1	5

第 28 表　中国産褐釉陶器出土状況一覧 2

器種・分類・部位		出土地 年度 H24 / グリッド / 層序	石積20 南側2層	石積20 南側3層	石積20 南側4層	石積20 南側 5-2層	石積20 トレンチ 1層	石積20 トレンチ 2層	石積20 ウラゴメ	石積21	石積21 トレンチ 1	石積21 トレンチ 2	石積22	石積23 南側1層	石積23 南側2層	石積23 南側3層	石積24	石列1	石列2	石敷3	階段2	階段 2トレ 1層	階段2 ウラゴメ	落込 2内1層	落込 2内2層	落込 2内3層	落込 3内1層	落込 3内2層	落込 3内3層	落込3内 4-3層	ピット6 1層	ピット7 1層	表土・撹乱	合計
壺	A	口～胴																						1										1
		口縁部	4	1	2		1										1		3		3			39		1							26	94
		胴～底																						1										1
		胴部	25	1	11		7	1	13	3	1	1	1			5	31	11	17		28			177		102							70	556
		底部	5		2												4		3					44			1						8	78
	B	口縁部												1					1															2
		胴部																						3		4							14	32
	C-1	口縁部	1																														1	3
		胴部	11	18	12	1				1	1	1					1		11		18			1		2	4						33	165
		底部	1																														1	2
		把手																															1	1
	C-2	口縁部	1																2															3
		胴部	5	1	1									1					2	1	1							1					9	38
		底部																															1	1
		把手																																1
	C-3	口縁部												1																				1
		胴部	4	1	1		1		1					6			1		2					1		7			1				17	56
		底部																1						2									1	4
	D	口縁部																	1					1			1						1	5
		胴部	8	1	4		1										1				3					1	3	2					15	59
		底部																						1									6	8
	E	口縁部																						1									2	3
		胴部	5		1				1			1	1	4	1				6		3			1		1							19	60
	－	口縁部																															3	6
		胴部												1												2				1			5	17
		底部									1						1									1								4
小壺	A	口縁部															1		1							2								5
		胴部		1																						3							4	10
鉢	A	口縁部																															1	1
		胴部																				1							1				1	3
	B-1	口縁部																																1
		胴部																									1							19
	B-2	口縁部																																1
擂鉢	A	口縁部																								1								1
	－	胴部																									1							1
蓋	－	胴部																															1	1
袋物	－	底部																	1															1
器種不明	A	口縁部																																1
		胴部			2									1			1																	5
	－	口縁部																								1								1
		胴部			1								1	1	1											3							3	12
合計			70	24	37	1	10	1	15	4	3	3	3	16	2	5	42	12	50	1	56	1	0	273	0	131	11	3	2	1	0	0	243	1264

第 29 表　その他の中国産陶磁器・土器出土状況一覧 1

種類・器種・分類・窯				出土地	年度	H23										H24					
					グリッド	M-E7	N-E7	N-E7・E8	O-E5	O-E6	O-E7		O-E7・E8	Q-E7							
					層序	下層	上層	石敷3	上層	上層	石積2	上層	石積2トレ1層	集石	石積1	石積16西側	石積17東側3層	石積20南側2層	石積20南側3層	石積20南側5-2層	石積20トレンチ1層
豆彩	碗	口縁部	A	景徳鎮																	
			B	景徳鎮																	
		胴部	A	景徳鎮																	
			B	景徳鎮																	
		底部	A	景徳鎮																	
			B	景徳鎮																	
	小碗	口～底	―	景徳鎮																	
		口縁部	―	景徳鎮																	
		胴部	―	景徳鎮																	
		底部	―	景徳鎮																	
	皿	口～底	―	景徳鎮																	
		口縁部	―	景徳鎮																	
		胴部	―	景徳鎮																	
		底部	―	景徳鎮																	
粉彩	碗	胴部	C	景徳鎮																	
			D	景徳鎮																	
	小碗	口～底	A	景徳鎮																	
		口縁部	A	景徳鎮																	
		胴部	A	景徳鎮																	
		底部	A	景徳鎮																	
	蓋	撮～庇	C	景徳鎮																	
		撮～胴部	A	景徳鎮																	
		蓋甲	A	景徳鎮																	
			D	景徳鎮																	
		庇	A	景徳鎮																	
			C	景徳鎮																	
		庇端部	A	景徳鎮																	
			B	景徳鎮																	
珐瑯彩	碗	口縁部	―	景徳鎮																	
		胴部	―	景徳鎮																	
		底部	―	景徳鎮																	
	小碗	口～底	―	景徳鎮																	
五彩	碗	口～底	B	景徳鎮																	
		口縁部	B	景徳鎮																	
			C	景徳鎮																	
			―	徳化																	
		胴部	A	景徳鎮							1										
			B	景徳鎮																	
			C	景徳鎮										1							
			―	徳化														1			
		底部	C	景徳鎮																	
			―	徳化																	
	碗・皿	胴部	C	景徳鎮																	
		底部	C	景徳鎮																	
	小碗	口～底	C	景徳鎮																	
			―	徳化																	
		口縁部	C	景徳鎮																	
		胴部	C	景徳鎮																	
			―	徳化																	
		底部	C	景徳鎮													1				
	皿	口～底	C	景徳鎮																	
		口縁部	C	景徳鎮																	
		胴部	C	景徳鎮																	
		底部	C	景徳鎮																	
	小皿	口縁部	C	景徳鎮																	
	蓋	撮～庇	B	景徳鎮																	
素三彩	皿	口～底	―	景徳鎮																	
		口縁部	―	景徳鎮																	
		胴部	―	景徳鎮																	
		底部	―	景徳鎮																	
瑠璃釉	碗	口縁部	―	徳化																	
	小碗	口縁部	―	景徳鎮																	
				徳化																	
		胴部	―	景徳鎮																	
		底部	―	景徳鎮																	
				徳化																	
	小杯	口～底	―	徳化																	
	蓋	撮～胴部	―	景徳鎮																	
		胴部	―	景徳鎮																	
		庇端部	―	景徳鎮																	
紅釉	碗	口～底	―	景徳鎮																	
		口縁部	―	景徳鎮																	
		胴部	―	景徳鎮																	
		底部	―	景徳鎮																	
緑釉	瓶	胴部	―	中国											1						
	器種不明	底部	―	中国		1															
黄緑釉	小碗	口縁部	―	景徳鎮																	
		胴部	―	景徳鎮																	
褐釉染付	小碗	口縁部	―	景徳鎮																	
褐釉磁器	小碗	底部	―	徳化																	
法花	壺	胴部	―	景徳鎮																	
	瓶	胴部	―	景徳鎮																	
青磁染付	小碗	口縁部	―	中国																	
天目（黒釉陶器）	碗	口縁部	―	中国			1					1	1					1			
		胴部	―	中国	1			1		1				1	1	1			1		
		底部	―	中国																	
鋼緑釉	壺	胴部	A	中国																	
			―	中国																	
	蓋	庇～蓋甲	B	中国																	
		蓋甲	A	中国																	
			―	中国																	
		庇	A	中国																	
白釉	器種不明	胴部	―	中国																	
無釉陶器	鉢	口縁部	―	中国																	
		胴部	―	中国											1			1			
	水注	口縁部	―	中国																1	
	器種不明	胴部	―	中国								1									1
		底部	―	中国																	
紫砂	蓋	庇～蓋甲	A	中国																	
			B	中国																	
	急須	口縁部	A	中国																	
		胴部	A	中国																	
			―	中国																	
		底部	A	中国				1													
		把手	A	中国																	
合計						1	2	1	1	1	1	2	1	2	3	1	1	3	1	1	1

第 29 表　その他の中国産陶磁器・土器出土状況一覧 2

出土地 年度					H24															
種類・器種・分類・窯 (グリッド／層序)					石積21	石積21トレンチ1	石積21トレンチ2	石積22	石積23南側1層	石積23南側2層	石積23南側3層	石積24	石列2	階段2	落込2内1層	落込2内3層	落込3内1層	ピット6 1層	表土・撹乱	合計
豆彩	碗	口縁部	A	景徳鎮														3		3
			B	景徳鎮					1								1	1		3
		胴部	A	景徳鎮													1	1		2
			B	景徳鎮													2	1	1	4
		底部	A	景徳鎮													1			1
			B	景徳鎮														1		1
	小碗	口～底	－	景徳鎮														2		2
		口縁部	－	景徳鎮					1		1						7	8	2	19
		胴部	－	景徳鎮					3	1							11	8	1	24
		底部	－	景徳鎮					1								3	4		8
	皿	口～底	－	景徳鎮														1		1
		口縁部	－	景徳鎮													2	1	1	4
		胴部	－	景徳鎮													2	2		4
		底部	－	景徳鎮														1		1
粉彩	碗	胴部	C	景徳鎮															1	1
			D	景徳鎮												1				1
	小碗	口～底	A	景徳鎮													1			1
		口縁部	A	景徳鎮					2								9	4		15
		胴部	A	景徳鎮					8								25	18	1	52
		底部	A	景徳鎮					2								7	4	1	14
	蓋	撮～庇	C	景徳鎮														1		1
		撮～胴部	A	景徳鎮													1			1
		蓋甲	A	景徳鎮														2		2
			D	景徳鎮															1	1
		庇	A	景徳鎮					2								1	1		4
			C	景徳鎮													1			1
		庇端部	A	景徳鎮					1											1
			B	景徳鎮					1									1		2
琺瑯彩	碗	口縁部	－	景徳鎮					1					1			3	12		17
		胴部	－	景徳鎮					9								29	12	2	52
		底部	－	景徳鎮													2	4		6
	小碗	口～底	－	景徳鎮														1		1
五彩	碗	口～底	B	景徳鎮						1										1
		口縁部	B	景徳鎮													1			1
			C	景徳鎮												1	2			3
			－	徳化															1	1
		胴部	A	景徳鎮																1
			B	景徳鎮					1											1
			C	景徳鎮					3			1					1		4	10
			－	徳化																1
		底部	C	景徳鎮													1	3		4
			－	徳化															1	1
	碗・皿	胴部	C	景徳鎮													2			2
		底部	C	景徳鎮														1		1
	小碗	口～底	C	景徳鎮					1										2	3
			－	徳化					1											1
		口縁部	C	景徳鎮					3	2									2	7
		胴部	C	景徳鎮					1							3	3	7	1	15
			－	徳化															1	1
		底部	C	景徳鎮																1
	皿	口～底	C	景徳鎮													1	1		2
		口縁部	C	景徳鎮					1								2	1		4
		胴部	C	景徳鎮														1		1
		底部	C	景徳鎮													1	2		3
	小皿	口縁部	C	景徳鎮														1		1
	蓋	撮～庇	B	景徳鎮					1											1
素三彩	皿	口～底	－	景徳鎮													1			1
		口縁部	－	景徳鎮					1								4	2		7
		胴部	－	景徳鎮					1								2	2		5
		底部	－	景徳鎮														1		1
瑠璃釉	碗	口縁部	－	徳化												1				1
	小碗	口縁部	－	景徳鎮												1	2	2		5
				徳化															1	1
		胴部	－	景徳鎮															1	1
		底部	－	景徳鎮					1											1
				徳化												1				1
	小杯	口～底	－	徳化												1				1
	蓋	撮～胴部	－	景徳鎮													1			1
		胴部	－	景徳鎮													1			1
		庇端部	－	景徳鎮					2								1		1	4
紅釉	碗	口～底	－	景徳鎮														1		1
		口縁部	－	景徳鎮													3	9	1	13
		胴部	－	景徳鎮													1	10	3	14
		底部	－	景徳鎮														3		3
緑釉	瓶	胴部	－	中国																1
	器種不明	底部	－	中国																1
黄緑釉	小碗	口縁部	－	景徳鎮												1				1
		胴部	－	景徳鎮											1					1
褐釉染付	小碗	口縁部	－	景徳鎮												1				1
褐釉磁器	小碗	底部	－	徳化															1	1
法花	壺	胴部	－	景徳鎮															1	1
	瓶	胴部	－	景徳鎮											1					1
青磁染付	小碗	口縁部	－	中国															1	1
天目(黒釉陶器)	碗	口縁部	－	中国	1							1			1	1			4	12
		胴部	－	中国	2	1	1	1				1	1		1	1			9	25
		底部	－	中国									1				1		1	3
銅緑釉	壺	胴部	A	中国												2				2
			－	中国												1			1	2
	蓋	庇～蓋甲	B	中国		1														1
		蓋甲	A	中国												1	1			2
			－	中国					1											1
		庇	A	中国															1	1
白釉	器種不明	胴部	－	中国							1									1
無釉陶器	鉢	口縁部	－	中国		1														1
		胴部	－	中国																2
	水注	口縁部	－	中国																1
	器種不明	胴部	－	中国																2
		底部	－	中国												1				1
紫砂	蓋	庇～蓋甲	A	中国					1										1	2
			B	中国										1						1
	急須	口縁部	A	中国						1										1
		胴部	A	中国												1			2	3
			－	中国															1	1
		底部	A	中国																1
		把手	A	中国															1	1
合計					3	3	1	1	51	5	2	3	2	2	4	19	141	141	54	455

第 30 表　タイ産陶磁器・土器出土状況一覧

種類・器種・部位・分類			出土地 年度	H23																H24																				表土・撹乱	合計
			グリッド	M-E7	N-E6	N-E7	N-E7・E8	N-E8	O-E5	O-E6	O-E7					O-E7・E8		O-E8	Q-E7																							
			層序	下層	上層	上層	石敷3	上層	上層	上層	石積1・2	石積2	石積2トレ3－2層	石積2トレ3－3層	上層	石積2トレ1層	石積2トレ3－1層	石積2トレ2層	集石	石積1	石積16西側	石積16・17間	石積17・18間トレンチ2層	石積17・18間トレンチ3層	石積18ウラゴメ	石積20南側2層	石積20南側3層	石積20南側4層	石積20トレンチ1層	石積21	石積23南側1層	石積23南側3層	石積24	石列1	石列2	階段2	落込2内1層	落込2内3層	落込3内1層	落込3内4－3層		
タイ産褐釉陶器	壺	口縁部	A							2				1	1						1			1	1	1		1		1			1		1	6		1		7	26
			B																									1				1		1		14				7	24
		胴部	A	1		1	1				1									2						5		7	1	1		1	3	1	1	4	45			14	89
			B	1											1	2	2					1				5			1	1	1		2	6	1	2	96		1	1	10	134
			―						1																															2	3
		底部	A							1						1				1																1	10	1		3	18
			B															1																			13				14
		耳	A		1	1						1					1								1	1							1		1	1				1	10
	中型壺	口縁部	―																									1												1	2
	器種不明	胴部	―			2																												1						1	4
青磁	瓶	胴部	―																												2										2
土器	壺	口縁部	―														1																								1
		胴部	―										1	2																										1	4
	蓋	撮～蓋甲	―																1																						1
		蓋甲	―	1		1														1							1									1				4	9
		庇端部	―			1		2						1	1					3	1		1			1	2	1		1					2		1		1		5	24
タイ産無釉陶器	壺	口縁部	―																																					1	1
		胴部	―			1										1										1															3
		底部	―			1																																			1
	鉢	胴部	―																				1																		1
	蓋	撮	―																																					1	1
合計				3	1	8	1	2	1	3	1	1	1	4	3	4	4	1	1	7	2	1	2	1	2	14	3	11	2	4	3	1	7	8	7	9	186	1	3	1	58	372

第 31 表　東南アジア産陶器出土状況一覧

種類・器種・部位・分類			出土地 年度	H24				合計
			グリッド	石積16・17間	石積23南側1層	石積23南側3層	落込2内3層	
			層序					
ミャンマー産陶器	器種不明	胴部	―	1				1
東南アジア産陶器	小碗	口縁部	―				1	1
	蓋	蓋甲	A		2		1	3
		庇端部	A		1	1		2
			B				1	1
		把手	―		1			1
合計				1	4	1	3	9

第 32 表　朝鮮産陶磁器出土状況一覧

種類・器種・部位・分類			出土地 年度	H23		H24					表土・撹乱	合計
			グリッド	O-E7・E8	石積1	石積20南側4層	石積20南側5-2層	石積20ウラゴメ	階段2	落込2内1層		
			層序	石積2トレ1層								
朝鮮産象嵌青磁	碗	口縁部	A	1	3							4
			B						1		1	2
		胴部	A					1			1	2
			B	1		1					3	5
		底部	A							1		1
	皿	胴部	―								2	2
	器種不明	胴部	―				1					1
合計				2	3	1	1	1	1	1	7	17

第 33 表　ベトナム産陶磁器出土状況一覧

種類・器種・部位・分類			出土地 年度	H23			H24			表土・撹乱	合計
			グリッド	O-E7	O-E8	石積1	石積20南側2層	石積20トレンチ1層	石列2		
			層序	石積2	石積6下						
ベトナム産染付	碗	口縁部	A			1					1
		胴部	B	1							1
		底部	A							1	1
	水注	胴部	―							1	1
ベトナム産？陶器	壺	口縁部	―		1	1					2
		胴部	―			1	3	1	3	7	15
		底部	―				1				1
合計				1	1	3	4	1	3	9	22

第 34 表　産地不明陶器出土状況一覧

器種・部位		出土地 年度	H24							表土・撹乱	合計
		層序	石積20南側2層	石積20南側4層	石積23南側1層	落込2内1層	落込2内3層	落込3内1層	ピット6 1層		
碗	口縁部				1						1
蓋	―		3	6		5			5		19
器種不明	口縁部									1	1
	胴部						1	1		1	3
合計			3	6	1	5	1	1	5	2	24

第 35 表　本土産陶磁器出土状況一覧

出土地					年度	H23											H24																							表土・撹乱	合計
					グリッド	N-E5	N-E7	N-E7・E8	O-E5	O-E6	O-E7				O・P-E8	石積1	石積16西側	石積16・17間	石積16・17間トレンチ	石積17東側3層	石積17・18間	石積17・18間トレンチ1層	石積17・18間トレンチ2層	石積18ウラゴメ	石積20南側2層	石積21	石積21トレンチ1	石積22	石積23南側1層	石積23南側2層	石積23南側3層	石積24	石列1	石列2	階段2	落込2内1層	落込2内3層	落込3内1層	ピット6 1層		
種類・器種・部位・分類・窯					層序	上層	上層	石敷3	上層	上層	石積1・2	石積2	石積トレ3―2層	上層	石積14下																										
青磁	碗	口縁部	―	―	肥前																								1												1
白磁	碗	口縁部	―	―	肥前																								1												1
染付	碗	口～底	B-1	梅樹文	肥前																																1				1
				―	肥前																																1				1
		口縁部	A	雲龍荒磯文	肥前																																			1	1
				―	肥前																								1							1	2	1			5
			B-1	松葉文	肥前																																3				3
				梅樹文	肥前																																1				1
			B-2	印判	肥前																								4			1					1	1			7
				―	肥前																									1											1
			C	花唐草文	肥前																																			1	1
				蛸唐草文	肥前																								1									1			2
				―	肥前																																1				1
			E	―	肥前																																	1		1	2
		胴部	A	雲龍荒磯文	肥前													1																			2				3
				扇文	肥前																															1					1
				草花文	肥前																															1					1
				―	肥前																	1							3									1			5
			B-1	松葉文	肥前																																	1			1
				―	肥前																										1										1
			B-2	印判	肥前																																			1	1
				―	肥前																																			1	1
			C	蛸唐草文	肥前																																	2	1		3
				―	肥前																			1					1									1			3
			D	―	肥前														1	1																					2
			E	―	肥前																					1															1
		底部	A	雲龍荒磯文	肥前																			1												1					2
			B-1	―	肥前				1																												2				3
			B-2	印判	肥前														1																			1			2
				―	肥前																															1	1				2
			D	―	肥前																																		1		1
			E	―	肥前																																1				1
			―	―	肥前																								1												1
	皿	口～底	B-2	―	肥前																								1										1		2
		口縁部	A	―	肥前																																			1	1
			B-1	―	肥前																								1										2	1	4
			B-2	―	肥前																																	1			1
			B-3	―	肥前																																	2	2		4
		胴部	A	―	肥前														1																						1
			B-3	―	肥前																																			1	1
		底部	B-1	―	肥前																																		1		1
			B-3	―	肥前																								1										1		2
			C	―	肥前																																			1	1
	大皿	底部	―	―	肥前																																			1	1
	瓶	胴部	A	―	肥前																																1				1
			B	―	肥前																								1												1
		底部	A	―	肥前																										1										1
	蓋	撮～庇	E	―	肥前																																	1			1
		口縁部	E	―	肥前																																			1	1
		庇～蓋甲	E	―	肥前																							1													1
			―	―	肥前																													1							1
色絵	碗	口～底	C	―	肥前																																		1		1
		口縁部	A-1	―	肥前																								1									2	1		4
		胴部	A-1	―	肥前																								1									1	1		3
			A-2	―	肥前			1																																	1
			D	―	肥前											1																									1
			―	―	―																								1								1				2
		底部	D	―	肥前																								1												1
	皿	口～底	―	―	―																																		1		1
		口縁部	―	―	―																																	1		1	2
		胴部	―	―	―																					1															1
		底部	―	―	―																																	1			1
	蓋	撮～庇	B	―	肥前																																		1		1
			C	―	肥前																								1												1
		蓋甲	B	―	肥前																																	1			1
		庇	A-1	―	肥前																									1								2	1		4
		庇端部	B	―	肥前																																	1			1
陶器	碗	口～底	―	―	関西系																																1				1
					京・信楽系																																	1			1
		口縁部	A-2	―	肥前																								1								1			4	6
			―	―	京・信楽系																																	1	1	2	4
					肥前																1								2							1					4
		胴部	A-1	―	肥前													1																			1			2	4
			A-2	―	肥前			1						1				1					1	1					1								1	1		2	10
			―	―	肥前(内野山)																								2												2
					京・信楽系				1																													3	1		5
					肥前																								4	1					1		3			2	11
					―																																1			2	3
		底部	A-2	―	肥前																																			1	1
			―	―	京・信楽系																																		1		1
	小碗	口～底	A-5	―	京・信楽系																																1				1
		口縁部	A-1	―	京・信楽系																																	1	2		3
			A-2	―	京・信楽系																																	1			1
			A-3	―	京・信楽系																																1			1	2
			A-4	―	京・信楽系																																1	1			2
		胴部	A-1	―	京・信楽系																																	1			1
			A-3	―	京・信楽系																																1				1
			A-4	―	京・信楽系																										1							1	1		3
		底部	A-1	―	京・信楽系																														1				1		2
			A-4	―	京・信楽系																								1												1
			―	―	関西系																								1												1
	皿	口～底	A-2	―	京・信楽系																								1										1		2
		口縁部	A	―	肥前																																			1	1
			A-2	―	京・信楽系																									1										1	2
			―	―	肥前																								1												1
		胴部	A	―	肥前			1																																	1
		底部	A	―	肥前																								1												1
			A-1	―	京・信楽系																								1												1
			―	―	京・信楽系																																			1	1
	大皿	胴部	―	―	肥前																																			1	1
	壺	口縁部	A	―	薩摩																																1				1
					美濃																																			1	1
		胴部	A	―	薩摩																													1			1				2
			B	―	薩摩																																			5	5
			―	―	京・信楽系																												1								1
					薩摩															1									2								2	1		8	14
		底部	A	―	薩摩																																1	1			2
			B	―	薩摩																																			1	1
	鉢	口縁部	―	―	薩摩		1																						1			1									3
					―																																			1	1
		胴部	―	―	薩摩																															1				1	2
	擂鉢	口縁部	―	―	備前											1																				1					2
		胴部	―	―	薩摩																																			1	1
		底部	―	―	備前								1																												1
	甕	胴部	―	―	薩摩																																2				2
	香炉	口縁部	―	―	―																								1											1	2
	蓋	撮～庇	―	―	京・信楽系																																		1		1
		口縁部	―	―	肥前																																			1	1
		蓋甲	―	―	京・信楽系																																	1			1
		庇	―	―	京・信楽系																																	1	1		2
		庇端部	―	―	京・信楽系																								1									2	3		6
	急須	口縁部	―	―	関西系																																1				1
					薩摩																								1		1										2
		胴部	―	―	関西系																						1		3	1			1			1					7
		底部	―	―	関西系																																1				1
	袋物	底部	―	―	薩摩																																			1	1
	器種不明	胴部	―	―	薩摩																								1							3	5			6	15
					肥前	2				1									1																						4
					―																																	1		1	2
近現代	碗	口縁部	―	―	―													1																							1
		胴部	―	―	―																																			3	3
	小碗	口～底	―	―	―																															1				2	3
		口縁部	―	―	―				1						1		1								1									1			1			17	23
		胴部	―	―	―				1								3												1					1	1					14	21
		底部	―	―	―						1	1																	2							1				6	11
	皿	口縁部	―	―	―																																			2	2
		胴部	―	―	―																																			1	1
		底部	―	―	―												1																				1			1	3
	小皿	口～底	―	―	―																																			1	1
	小杯	口～底	―	―	―																																			1	1
		口縁部	―	―	―											1	2																				1			4	8
		胴部	―	―	―																																			1	1
		底部	―	―	―																																			2	2
	水滴	胴部	―	―	―															1																					1
	瓶	胴部	―	―	―																																			1	1
	香炉	胴部	―	―	―																																			2	2
	蓋	庇～蓋甲	―	―	―							1																													1
	急須	胴部	―	―	―																																			1	1
		底部	―	―	―																								1												1
	袋物	胴部	―	―	―																																			1	1
	合子	口縁部	―	―	―																																			1	1
	器種不明	口縁部	―	―	―																																			2	2
		胴部	―	―	―															1									1											4	6
		底部	―	―	―																																			1	1
合計						2	1	3	4	1	1	2	1	1	1	3	7	4	4	4	1	1	1	3	1	2	1	1	53	5	4	2	2	4	3	14	47	41	28	128	381

第 36 表　沖縄産施釉陶器出土状況一覧 1

器種・部位・分類			出土地	年度	H23															H24						
				グリッド	N−E5	N−E6	N−E7	N−E7・E8	O−E5	O−E6	O−E7			O−E7・E8	O−E8	P−E7		Q−E7	石積1	石積16 西側	石積16・17 間	石積16・17 間トレンチ	石積17 東側3層	石積17・18 間	石積17・18 間トレンチ1層	石積17・18 間トレンチ2層
				層序	上層	上層	上層	石敷3	上層	上層	石積1・2	石積2	石積2トレ3−2層	石積2トレ3−1層	石積6下	落込	下層	集石								
碗	口～底	A-1	鉄絵文																							
		A-2	−																							
		B	−																							
		C-1	−																							
	口縁部	A-1	鉄絵文																			1				
			−														1	2	3	1						
		A-3	−																							
		B	−																							
		C-1	−																							
		C-2	−																	3						
		D-1	−					2												1						
		D-2	−																							
		−	−																							
	胴部	A	−																							
		A-1	鉄絵文																							
			−		2			1	2						1			1	1	1	1					
		B	−																		1		1			
		C-1	−																1							
		D-1	−									1								4						
		−	−							1																
	底部	A-1	鉄絵文																1							
			−							1								1				1				
		A-2	−																							
		B	−																							
		C-2	−																	2						
		D	−																							
		D-1	−							1										1						
小碗	口～底	D-2	−					1																		
	口縁部	A	−							1										1						
		B	−																							
		C-1	−																	1						
		C-2	−																	2						
		D-1	−																	1						
		D-2	−																							
		D-3	−			1						1														
	頭部	A	−																							
	胴部	A	−																							
		C-1	−						1																	
		C-2	−					1												1						
		D	−															1								
		D-1	−																	1						
		D-3	−																	1						
	底部	A	−															1								
		B	−																							
		C-1	−									1														
		C-2	−																							
		D	−																							
		D-1	−																							
皿	口～底	A	−																	1						
	口縁部	A	−																							
		B	−																	1						
		C	−																							
		−	−																							
	胴部	A	−																							
		B	−																							
	底部	B	−																							
大皿	口縁部	A	−																							
		B	−																							
		C	−																							
	胴部	C	−																				1			
小杯	口～底	A	−																1							
	口縁部	A	−																1							
		B	−																							
	胴部	A	−																							
瓶	口縁部	−	−							1													1			
	胴部	−	−								1									1		2	1	1	1	
	底部	−	脚																							
		−	−																			1				
壺	口縁部	C-3	−																							
		−	−																							
	胴部	−	−		2							1	1													
	底部	−	−			1																				
鉢	口縁部	A	−																							
		B	−																							
		C-1	−																							
		C-2	−																							
	胴部	A	−																							
		B	−															1								
		C	−															1		1						
		C-1	−																							
		C-2	−																1							
	底部	A	−																							
		A・B	−																							
		C	−																							
		C-1	−																							
小鉢	口～底	−	−																							
	口縁部	−	−																							
鍋	口～底	−	−																							
	口縁部	−	−																	2			1			
	胴部	−	−		3		1	1		1				1				2	2	14	2		10		2	
	底部	−	−									1							1	4			1			1
	把手	−	−																							
香炉	口縁部	−	−																							
	胴部	−	−																							
	底部	−	−																							
火炉	口縁部	A	−					1																		
		B	−																							
	胴部	A	−					1												1						
		B	−			2													1							
		C	−																							
	底部	A	−																							
火入	口縁部	−	−					1																		
蓋	壙～庇	A	−																	2						
	壙	A	−																							
	胴部	−	−																							
	庇～袴	B	−									1														
		C	−																							
	庇	A	−																	1						
		−	−																							
	庇端部	A	−															2	1	4				1	1	
		B	−																							
急須	口縁部	−	−									1							1	1	1				1	
	胴部	−	−					1	1							1		1	1	8	1		1			
	底部	−	−																	1			1			
	注口	−	−																							
	把手	−	−																							
大型急須	口～底	−	−																							
	口縁部	−	−																							
	胴部	−	−																1	1						
	把手	−	−																							
酒注	胴部	−	−																							
	底部	−	−															1								
器種不明	口縁部	−	−																							
	胴部	−	−							1	3		1		1					4	2	1	2			1
	底部	−	−							1										1						
	把手	−	−																							
合計					7	4	1	10	4	8	4	7	2	1	2	1	1	14	17	69	8	6	20	2	5	2

第36表　沖縄産施釉陶器出土状況一覧2

器種・部位・分類			出土地 年度／グリッド／層序	石積18ウラゴメ	石積20南側2層	石積20南側3層	石積20南側4層	石積20トレンチ1層	石積20ウラゴメ	石積21	石積21トレンチ1	石積21トレンチ2	石積23南側1層	石積23南側2層	石列2	階段2	落込2内1層	落込2内3層	落込3内1層	落込3内3層	落込3内4-3層	ピット6 1層	表土・撹乱	合計
			年度	H24																				
碗	口〜底	A-1	鉄絵文														1						1
			A-2	—									1												1
		B	—														1						1
		C-1	—										1												1
	口縁部	A-1	鉄絵文										1					2	1				1	6
			—							1			7			1	1	24	2		1	1	18	63
		A-3	—										1												1
		B	—														1					1	2
		C-1	—										1					1					1	3
		C-2	—														1					2	6
		D-1	—																			3	6
		D-2	—										1												1
		—	—										1										3	4
	胴部	A	—													1								1
		A-1	鉄絵文														2						2
			—			1							7			1		21				1	22	63
		B	—																			2	4
		C-1	—										2					2					5	10
		D-1	—																			10	15
		—	—														1					1	3
	底部	A-1	鉄絵文																					1
			—															1	6	1				11	22
		A-2	—														1						1
		B	—										1												1
		C-2	—																						2
		D	—											1											1
		D-1	—																			1	3
小碗	口〜底	D-2	—																						1
	口縁部	A	—										2					1					3	8
		B	—										1										1	2
		C-1	—																			3	4
		C-2	—																			3	5
		D-1	—														1						2
		D-2	—																			1	1
		D-3	—										1									1	1	5
	頸部	A	—										1												1
	胴部	A	—										1					2	1					4
		C-1	—										1					2					1	5
		C-2	—																						2
		D	—															1					2
		D-1	—																						1
		D-3	—										2					1					1	5
	底部	A	—																						1
		B	—																			1	1
		C-1	—										1										1	3
		C-2	—																			1	1
		D	—															1				2	3
		D-1	—																			1	1
皿	口〜底	A	—																			1	2
	口縁部	A	—														1						1
		B	—													1		1					3	6
		C	—										1					2						3
		—	—										1					1						2
	胴部	A	—														1						1
		B	—															1				4	5
	底部	B	—																			2	2
大皿	口縁部	A	—																			1	1
		B	—																			2	2
		C	—										1												1
	胴部	C	—																						1
小杯	口〜底	A	—																						1
	口縁部	A	—																						1
		B	—														1	1						2
	胴部	A	—																			1	1
瓶	口縁部	—	—						1				1					4					1	9
	胴部	—	—				1						8			1		10					6	33
	底部	—	脚																			1	1
		—	—											1				2	1				1	6
壺	口縁部	C-3	—															1						1
		—	—																			1	1
	胴部	—	—				1						4		2			7					16	34
	底部	—	—														1					1	3
鉢	口縁部	A	—										1					2					2	5
		B	—																			1	1
		C-1	—														1						1
		C-2	—														2					1	3
	胴部	A	—										1										2	3
		B	—										1										1	3
		C	—										1					1					3	7
		C-1	—														1					2	3
		C-2	—													1							2
	底部	A	—																			1	1
		A・B	—																			1	1
		C	—																			1	1
		C-1	—																			1	1
小鉢	口〜底	—	—															1						1
	口縁部	—	—										1												1
鍋	口〜底	—	—														1						1
	口縁部	—	—										4			1		5					9	22
	胴部	—	—				2		1				37	1	2	1	1	56	3				51	194
	底部	—	—										2				1	6					6	23
	把手	—	—										1												1
香炉	口縁部	—	—														1	1						2
	胴部	—	—													1							1	2
	底部	—	—																			1	1
火炉	口縁部	A	—										1						1				4	7
		B	—																			1	1
	胴部	A	—									1						2	1				4	10
		B	—										1					1						5
		C	—																			1	1
	底部	A	—																			1	1
火入	口縁部	—	—														1					2	4
蓋	撮〜庇	A	—										2	1				1					2	8
	撮	A	—																			1	1
	胴部	—	—															1						1
	庇〜袴	B	—										2						1				5	9
		C	—																			1	1
	庇	A	—										1										1	3
		—	—																			1	1
	庇端部	A	—										4					7	1				9	30
		B	—										1												1
急須	口縁部	—	—										1					2					4	12
	胴部	—	—		1		1						6			1		17	1				33	75
	底部	—	—	1									1					1	1				5	11
	注口	—	—														1						1
	把手	—	—														1						1
大型急須	口〜底	—	—										1												1
	口縁部	—	—										1										2	3
	胴部	—	—										1												3
	把手	—	—																			4	4
酒注	胴部	—	—																			1	1
	底部	—	—														1						2
器種不明	口縁部	—	—												1			1					1	3
	胴部	—	—					1			1		1				1	8	2	1			11	42
	底部	—	—										2					1					1	6
	把手	—	—														1						1
合計				1	1	1	5	1	2	1	1	1	125	4	5	9	6	224	25	1	1	3	321	933

第 37 表　沖縄産無釉陶器出土状況一覧 1

器種・部位・分類		出土地	年度	H23																	H24					
			グリッド	N-E5	N-E6	N-E7	N-E7・E8	O-E5	O-E6	O-E7		O-E7・E8		O-E8		O・P-E8	P-E7	Q-E7								
			層序	上層	上層	上層	石敷3	上層	上層	石積1・2	上層	石積2トレ1層	石積2トレ3－1層	石積2トレ2層	石積6下	石積14下	落込	集石	石積1	石積1ウラゴメ	石積16西側	石積16・17間	石積16・17間トレンチ	石積17東側3層	石積17・18間	石積17・18間トレンチ1層
碗	口～底		A-1																							
			B																							
	口縁部		A-1						1																	
			B																1			1		1		
			－																							
	胴部		A-1												1						1					
			B																							
			－																							
	底部		A-1																							
			A-2																				2			
			B																							
小碗	口縁部		－																		1					
皿	口～底		－															1	1							
	口縁部		－																							
	胴部		－																							
	底部		－																							
瓶	口縁部		－																1							
	頸部		－																							
	胴部		－						1								1				1					
	底部		－																							
壺	口～底		A-2																							
	口縁部		A-1																							
			A-2																				2			
			B-1																							
			B-2					1															2			
			－						1																	
	胴部		A-1						2								1		5		1					
			A-2	3			2									2		5	3		7		32	1		
			B-1						3			1							2		3					
			B-2		1				10	2								2	7		13		16	1	2	
			－										1													
	底部		A-1																							
			A-2						2														4			
			B-1						1																	
			B-2						1								1						2			
			－																							
	把手		A-2																							
鉢	口～底		B-2																							
			C-1																							
	口縁部		A																							
			B-1															1								
			B-2	1															1						1	
			C-1			1		1														1	3			
			C-2						1																	
			－			1	1																			
	胴部		A																							
			A・B																							
			B-1			1														1						
			B-2																1							
			B・C															1						4		
			C						1																	
			C-1																							
			C-2																							
			－																				1			
	底部		A・B																							
			B-1																							
			B・C																				3			
			C																							
			C-1																							
擂鉢	口縁部		A-2																				3	1		1
			B																							
	胴部		A																							
			A-2															1	3		6	1	14	3		2
			B															1								
	底部		A																							
			A-1																							
			A-2																				1			
甕	口縁部		A-1																							
			A-2																							
	胴部		A-1																							
			A-2			1																				
			B																1							
			－																							
鍋	底部		－																							
火炉	口縁部		A-1																							
			A-2						2								1		1		2		2			
			B																				1			
			－																							
	胴部		A-1																							
			A-2																			1	1	2		
			B																							
	底部		A-2																							
			B																							
火入	口縁部		－																							
	胴部		－																							
蓋	蓋甲		A-2																							
	庇端部～袴		A-2																				1			
	庇		B-1																							
			－																							
	庇端部		A-1																							
			B-1																							
			B-2																							
急須	口縁部		A																							
			B						1										1				3			1
			B-2																							
	胴部		A																							
			B																			1				
	底部		B																				2			
	注口		A																							
			B																							
	把手		A																							
			B																				1			
灯明皿	口～底		－																				1			
	口縁部		－																2				2			
	胴部		－																							
袋物	胴部		－																							
	底部		－																							
把手	－		－																							
器種不明	口縁部		－																							
	胴部		－			6			2		2			1				1	1	1	2		1			
	底部		－																					2		
合計				4	1	10	3	2	29	2	2	1	1	1	1	2	4	13	31	2	37	5	100	15	3	4

第 37 表　沖縄産無釉陶器出土状況一覧 2

器種・部位・分類		出土地 / 年度 / グリッド / 層序	石積17・18間トレンチ2層	石積17・18間トレンチ3層	石積18ウラゴメ	石積20南側2層	石積20南側4層	石積20トレンチ1層	石積21	石積23南側1層	石積23南側2層	石積23南側3層	石積24	石列1	石列2	階段2	落込2内1層	落込2内3層	落込3内1層	落込3内2層	落込3内3層	ピット6 1層	表土・撹乱	合計
			H24																					
碗	口～底	A-1																					1	1
		B																1						1
	口縁部	A-1																					1	2
		B								7	1			1				5	1				3	21
		－																					1	1
	胴部	A-1																						2
		B													1									1
		－																	1					1
	底部	A-1																					4	4
		A-2								3							1	1					2	9
		B																1					2	3
小碗	口縁部	－																						1
皿	口～底	－																						2
	口縁部	－								1						1		2						4
	胴部	－																					1	1
	底部	－								1							1	1					1	4
瓶	口縁部	－									1							3				1		6
	頸部	－																1	1					2
	胴部	－								2		1				1							1	8
	底部	－																1					3	4
壺	口～底	A-2																1						1
	口縁部	A-1																					1	1
		A-2																1						3
		B-1																					1	1
		B-2								6		1						4	1		1		6	22
		－																1						2
	胴部	A-1								1		1	2			1		2					4	20
		A-2	2		2			1	2	28		4	8	2	4	1	8	1	20				45	183
		B-1																					2	11
		B-2	2		1	1			1	36	12	1	2		4	2	3	5	15			9	23	171
		－																13					32	46
	底部	A-1					1																	1
		A-2								2		1	1		1			2	2				2	17
		B-1																					1	2
		B-2								4			1		1	2		2	2			1	7	24
		－																1						1
	把手	A-2																1						1
鉢	口～底	B-2																					1	1
		C-1																1						1
	口縁部	A															1							1
		B-1																					2	3
		B-2								3	1							2			1		5	15
		C-1								1		2					1	10	3			2	10	35
		C-2				1				2								1					4	9
		－																						2
	胴部	A													2									2
		A・B																					1	1
		B-1										1											4	7
		B-2								1													1	3
		B・C									1				1									7
		C								1	2	1					1	2	1					9
		C-1								1					1							1		3
		C-2																					1	1
		－																4					8	13
	底部	A・B								1														1
		B-1																					1	1
		B・C							1	2	3	1			1			6	1				2	20
		C																1						1
		C-1													2			1	1				1	5
擂鉢	口縁部	A-2								17	2	1	1				4	7	2			1	13	53
		B								1													1	2
	胴部	A																					1	1
		A-2							1	21	3	2	1		1		3	30		2		2	17	113
		B								3									7				2	13
	底部	A																					1	1
		A-1								1														1
		A-2								2	2	1		1				1	1				2	11
甕	口縁部	A-1																					1	1
		A-2													1								4	5
	胴部	A-1								1													2	3
		A-2													2								3	6
		B																					1	2
		－								1								2					1	4
鍋	底部	－																					1	1
火炉	口縁部	A-1																					1	1
		A-2								11	1	1	1		2			22					7	53
		B								1								1					1	4
		－																					1	1
	胴部	A-1								2														2
		A-2								1	2		1		1	1		2	1				1	14
		B								1	5											1		7
	底部	A-2																					1	1
		B									1							1					1	3
火入	口縁部	－																1						1
	胴部	－																1					1	2
蓋	蓋甲	A-2									1													1
	庇端部～袴	A-2															1	4					1	7
	庇	B-1												1										1
		－																1						1
	庇端部	A-1								2								1						3
		B-1																1					3	4
		B-2									1							2					1	4
急須	口縁部	A								2								1					3	6
		B								4	2		1					6	2				3	24
		B-2																					1	1
	胴部	A																					3	3
		B								10	4				1			1	1			1		19
	底部	B							1	2									1					6
	注口	A																1						1
		B																1						1
	把手	A																					1	1
		B								2	1							4						8
灯明皿	口～底	－											1					1					2	5
	口縁部	－								2								1	1			1		9
	胴部	－								1														1
袋物	胴部	－								1								7						8
	底部	－																					1	1
把手	－	－								2														2
器種不明	口縁部	－																3					1	4
	胴部	－		1				1		49	1	3		1			6	149	2			2	68	300
	底部	－								1								2					4	9
合計			4	1	3	2	1	2	6	244	47	22	20	6	26	9	30	332	67	2	2	22	341	1462

第 38 表　陶質土器出土状況一覧 1

器種・部位・分類			出土地	年度	H23								H24								
				グリッド	N-E7	N-E7・E8	O-E6	O-E7		O-E7・E8	Q-E7	石積1	石積16西側	石積16・17間	石積16・17間トレンチ	石積17東側3層	石積17・18間	石積20南側2層	石積20トレンチ1層	石積21	石積21トレンチ1
				層序	上層	石敷3	上層	石積1・2	石積2トレ3－2層	石積2トレ3－1層	集石										
皿	胴部	－																			
	底部	－														1					
鉢	口～底	－																			
	口縁部	－											1								
	胴部	－																			
	底部	－																			
鍋	口縁部	－											1								
	胴部	－																			
	把手	－									1										
鍋・土瓶	胴部	－			2	3	1	1			1	3	20	5	2	1		1	1	1	
	底部	－					1					2			1	3					
土瓶	口縁部	－																			2
	胴部	－													1					1	
	注口	－																			
火炉	口縁部	A																			
		B																			
		C													1						
	胴部	A										1									
		B												1							
		C																			
	底部	A									1										
		B																			
		C																			
	受部	C																			
	把手	－														1					
蓋	撮	A																			
		B																			
	蓋甲～袴	B													1						
	蓋甲～庇	A																			
	蓋甲	A													1						
	庇端甲	A																			
	庇端	A																			
	庇端部	A												1	1						
		B																			
	袴	B																			
		C																			
竈	胴部	－																			
	底部	－																			
土鈴	口縁部	－																			
把手	－	－																			
器種不明	口縁部	－				1															
	胴部	－					1	1	3	1			1	1		3	1				
	底部	－																			
	把手	－																			
合計					2	4	3	2	3	1	3	6	23	8	8	9	1	1	1	2	2

第 38 表　陶質土器出土状況一覧 2

器種・部位・分類		出土地　年度H24 グリッド 層序	石積21 トレンチ2	石積22	石積23 南側1層	石積23 南側2層	石積23 南側3層	石積24	石列1	石列2	階段2	落込2内1層	落込2内2層	落込2内3層	落込3内1層	落込3内3層	ピット6　1層	表土・撹乱	合計
皿	胴部	－								1									1
	底部	－			1	1	1							1			1	1	7
鉢	口～底	－													1				1
	口縁部	－									1							1	3
	胴部	－						1										2	3
	底部	－																1	1
鍋	口縁部	－			1	1								4	2			2	11
	胴部	－			1														1
	把手	－																	1
鍋・土瓶	胴部	－			36	6	3				1	3		60	17	1	2	50	221
	底部	－			12		2					1		18	2		2	13	57
土瓶	口縁部	－			6					2				10	1		1	3	25
	胴部	－			1									2				2	7
	注口	－				1								2	1		1		5
火炉	口縁部	A		1	6					1				3				2	13
		B			1		1											1	3
		C												3					4
	胴部	A					1			2				1	1			1	7
		B	1		5		1		1					15	1			8	33
		C			1					1				2	1				5
	底部	A			1					1								3	6
		B																2	2
		C										1			1				2
	受部	C													1				1
	把手	－																	1
蓋	撮	A					1												1
		B																1	1
	蓋甲～袴	B												1					2
	蓋甲～庇	A												1					1
	蓋甲	A																1	2
	庇端甲	A				1													1
	庇端	A																1	1
	庇端部	A			5						1	1		4	1	2		4	20
		B					1												1
	袴	B			1														1
		C			1														1
竈	胴部	－													1				1
	底部	－																1	1
土鈴	口縁部	－												1					1
把手	－	－			1														1
器種不明	口縁部	－												1				2	4
	胴部	－	1		15	3				1	1		1	16	2			32	84
	底部	－			2							1		1				2	6
	把手	－												1					1
合計			2	1	97	13	11	1	1	9	4	7	1	147	33	3	7	136	552

第 39 表　瓦質土器・土器・カムィヤキ・土製品出土状況一覧

種類・器種・部位ほか			出土地	年度	H23												H24																									表土・撹乱	合計
				グリッド	N-E7	N-E7・E8	O-E6	O-E7		O-E7・E8		O-E8		Q-E7																													
				層序	上層	石敷3	上層	石積2トレ3-2層	石積2トレ3-3層	石積2トレ1層	石積2トレ3-1層	石積2トレ2層	石積6下	集石	石積1	石積1ウラゴメ	石積16西側	石積16・17間トレンチ	石積17・18間トレンチ3層	石積20南側2層	石積20南側3層	石積20南側4層	石積20南側5-2層	石積20トレンチ1層	石積20ウラゴメ	石積21	石積21トレンチ1	石積21トレンチ2	石積22	石積23南側1層	石積23南側2層	石積23南側3層	石積24	石列1	石列2	階段2	落込2内1層	落込2内2層	落込2内3層	落込3内1層	落込3内3層	ピット6 1層	ピット9 1層		
瓦質土器	擂鉢	口縁部		―																																						1	1
		胴部		―																		1																					1
		底部		―											1																												1
	植木鉢	口縁部		―								1																								3							4
		胴部		―																								1							1	3							6
		底部		―															1																								1
	火鉢	口縁部		―			1											1				1																					4
		胴部		―		1							1																													3	5
		底部		―																																						1	1
		脚		―																										1													1
	火炉	口縁部		―																		1																				1	2
	目皿	―		―																																						1	1
	蓋	―		―																														1						1	1		3
	器種不明	胴部		―													1			1		1							1	1					2	6		1			1		2	17
		底部		―																					1																		1	2
グスク土器	皿	口縁部		―																																						1	1
	壺	口縁部		―																																						1	1
		胴部		―																								1															1
	甕	口縁部		―																																1						1	2
	鍋	口縁部		―																						1											1		1		1		1	5
		胴部		―					1				3									1		1	2	1		1				1		5		8	16	13					7	60
		底部		―																								2					1										4	7
	器種不明	口縁部		―																							1				1							2					1	5
		胴部		―					1					2	3									1		1	7	12	3	3	2	2		11	2			8	4	2		3		44	111
宮古式土器	壺	胴部		―																																						1	1
	鍋	胴部		黒色研磨										1																														1
	器種不明	胴部		―			1								3															1								1					3	9
		底部		―																																						1	1
カムィヤキ	壺	胴部		―																1													1										1	3
土器	鍋	胴部		―													1																		4								1	6
	蓋	蓋甲		―				2	1	1	1			1	3										1																1		4	15
		庇端部		―	1	1		1			1		1			1					2			1										4					1				4	18
	器種不明	胴部		本土産か																										4								6					1	11
				―																3			1				2						3		5				1				5	20
		不明		―										1																														1
土製品	土人形	―		国産													1													7								2	2				3	15
	不明	―		―						1																												1						2
合計					1	2	2	3	3	2	2	1	5	5	10	1	3	1	1	5	2	5	1	3	4	3	10	17	4	17	3	2	5	12	12	12	21	25	30	7	1	6	1	96	346

第 40 表　高麗系瓦出土状況一覧

種類・色・部位・文様 ＼ 出土地　年度 / グリッド / 層序					H23		H24		合計
					O-E7	O-E8	石積20	落込2内	
					石積2	石積6下	南側2層	1層	
軒平瓦	灰色	瓦当部片				1			1
平瓦	灰色	筒部	羽状文					1	1
			—	癸酉年銘あり				1	1
				—		1			1
	褐色	筒部	羽状文				1		1
			—		1				1
合計					1	2	1	2	6

第 41 表　大和系軒丸瓦出土状況一覧

種類・色・部位 ＼ 出土地　年度 / グリッド / 層序				H23	H24	合計
				P-E7	落込2内1層	
				落込		
軒丸瓦	灰色	瓦当	破片		1	1
	褐色	瓦当	破片	1		1
合計				1	1	2

第 42 表　大和系雁振瓦出土状況一覧

種類・色・部位 ＼ 出土地　年度 / グリッド / 層序			H24	表土・撹乱	合計
			石積20南側4層		
雁振瓦	褐色	筒部破片	1	1	2
合計			1	1	2

第 43 表　大和系軒平瓦出土状況一覧

種類・色・部位 ＼ 出土地　年度 / グリッド / 層序				H24	合計
				石積20南側2層	
軒平瓦	褐色	瓦当	破片	1	1
合計				1	1

第 44 表　明朝系軒丸瓦出土状況一覧

色・部位 ＼ 出土地　年度 / グリッド / 層序			H23				H24									表土・撹乱	合計
			O-E7	P-E7	石積1	石積1	石積16	石積16・17間トレンチ	石積17・18間	石積17・18間トレンチ1層	石積23	石積23	落込2内	落込3内	ピット6		
			石積2	落込		ウラゴメ	西側				南側1層	南側2層	3層	1層	1層		
灰色	瓦当～玉縁部			1												0	1
	瓦当	—		2												0	2
		破片		2									1			0	3
赤色	瓦当	—							1				4	1		0	6
		破片			1		2	1				1	2	1	1	7	16
	筒部	破片	1								3					4	8
褐色	瓦当～筒部									2						0	2
	瓦当	破片			1	1										3	5
赤褐色	瓦当	破片		1												0	1
合計			1	6	2	1	2	1	1	2	3	1	7	2	1	14	44

第 45 表　明朝系軒平瓦出土状況一覧

色・部位 ＼ 出土地　年度 / グリッド / 層序			H23		H24				表土・撹乱	合計
			P-E7	石積1	石積16	石積16・17間	石積17・18間	石積20		
			落込		西側			南側2層		
灰色	瓦当		1						0	1
赤色	瓦当	—					1		0	1
		破片							5	5
	筒部	破片						1	2	3
褐色	瓦当								1	1
	筒部	破片		1	1	1			0	3
合計			1	1	1	1	1	1	8	14

第 46 表　明朝系平瓦（赤褐色）出土状況一覧

色調・釉薬・接合材・部位・角・分類 ＼ 出土地　年度 / グリッド / 層序							H23		H24		合計
							O-E7・E8	P-E7	落込2内	落込2内	
							石積2トレ		1層	3層	
							1層	落込			
赤褐色	マンガン釉薬なし	漆喰あり	—	広端部	角1				1		1
					角なし					1	1
		接合材なし	硬質	筒部	端あり		1				1
			—	広～狭端部		陶質			1		1
						—		1			1
合計							1	1	2	1	5

第 47 表　大和系丸瓦・平瓦出土状況一覧

出土地	年度				H23																	H24																				表土・撹乱	合計
				グリッド	N-E8	O-E5		O-E6	O-E7				O-E7・E8		O-E8			P-E7		Q-E7																							
				層序	上層	下層	上層	上層	石積2	石積2トレ3－2層	石積2トレ3－3層	上層	石積2トレ1層	石積2トレ3－1層	石積2トレ2層	石積6下	石積7内	落込	落込下	集石	石積1	石積1ウラゴメ	石積17・18間	石積17・18間トレンチ2層	石積17・18間トレンチ3層	石積20南側2層	石積20南側4層	石積20トレンチ1層	石積20トレンチ2層	石積20ウラゴメ	石積23南側1層	石積24	石列1	石列2	階段2	階段2ウラゴメ	落込2内1層	落込2内2層	落込3内1層	落込3内2層	ピット61層	ピット71層	ピット92層		
種類・色・部位ほか																																											
丸瓦	灰色	玉縁部	b. 玉縁なし																																							1	1
			c. 玉縁欠け												1																												1
		筒部	－	端あり														1			1						1																3
		端部	－	角 1																	1																					1	2
	褐色	玉縁部	b. 玉縁なし	角なし			1																																				1
			c. 玉縁欠け	角 1																											1												1
			－	角なし																																				1			1
		筒部	－	端なし			1																																			1	2
		端部	－	角 1																1																						1	2
丸瓦 小計					0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4	14
平瓦	灰色	広端部	a	角なし														1																										1
			b	角 1																																						1	1
				角なし						1							1																											2
			c	角 1									1			1	1								2																		5
				角なし							1																												1				2
			d	角 1																																	1						1
			不明	角 1									1																														1
				角なし							1		3																									1					5
			－	角なし												1	1							1			4										1							1	9
		筒部	a	端あり							1																										1							1	3
			b	端あり	1						1										2				1	1			1					2			1							1	11
				端なし																							3																	3
			c	端あり				1		2			1				2				3																	1					2	12
				端なし																							2						1							1				4
			d	端あり													2																											2
			不明	端なし						8	13		2	2					3																		4	1						33
			－	端なし		1		1								2	2				5	1			5	5	23	2				1	1			1				1				5	56
		狭端部	b	角なし													1																											1
			c	角 1																						1																		1
				角なし						1																																		1
			不明	角 1											1																							1						2
			－	角なし		1											2				2																								5
	褐色	広端部	b	角なし																																				1				1
			c	角 1									1														1			1														3
				角なし						1																																		1
			不明	角なし						1																																		1
		筒部	a	端あり																																							1	1
			b	端あり						1			1			1					1				1														1	1				7
			c	端あり		1					3			2												2	2				1				1								1	3	15
				端あり									1																															1
			－	端なし				2	1	4	2	1		1	1				1				1	1	1		1				1								1					3	22
				破片											9																													9
		狭端部	a	角 1																																				1				1
			c	角 1												1																												1
				角 2													1																												1
				角なし						1																																		1
			－	角 1							1																																	1
				角なし							1		1												2	3											1								8
	不明瓦																															1												1
平瓦 小計					1	3	0	4	1	20	24	1	12	5	11	6	13	1	4	0	13	1	1	2	8	13	39	2	1	1	2	2	1	1	3	1	8	3	4	4	2	0	1	17	236
合計					1	3	2	4	1	20	24	1	12	5	12	6	13	2	4	1	15	1	1	2	8	13	40	2	1	1	3	2	1	1	3	1	8	3	4	4	2	1	1	21	250

第 48 表　明朝系丸瓦出土状況一覧

出土地　年度					H23												H24																表土・撹乱	合計
グリッド					N-E6	N-E7	N-E7・E8	O-E5	O-E6	O-E7		O-E7・E8	P-E7		Q-E7	石積1	石積16・17間トレンチ	石積17東側3層	石積17・18間	石積17・18間トレンチ1層	石積18ウラゴメ	石積20南側2層	石積20トレンチ1層	石積23南側1層	石積23南側2層	石積23南側3層	石積24	石列2	落込2内1層	落込2内3層	落込3内1層	落込3内3層	ピット6 1層		
層序					上層	上層	石敷3	上層	上層	石積2	上層	石積2トレ1層	落込	落込下	集石																			
色調・釉薬・接合剤・部位																																		
灰色	マンガン釉薬なし	漆喰	玉縁部													2	1							2										1	6
			筒部		2																									1					3
			端部						1																	1				1				1	4
		接合剤なし	玉縁部	―		1		1					10	1		1					1		1	1	1				3	2	1			1	25
				破片																					1										1
			筒部			1			1		1	1	3			3	1			1		1		3		1			1				2	4	24
			端部			1					1		6			1			1	1				1						1				1	14
小計					2	3	0	1	2	0	2	1	19	1	0	7	2	0	1	2	1	1	1	7	2	2	0	0	4	5	1	0	2	8	77
赤色	マンガン釉薬	接合材なし	筒部																					2											2
			端部																	1															1
	マンガン釉薬なし	漆喰	玉縁～端部																											2					2
			玉縁部													1	1		1	1				1						6	1		1	2	15
			筒部				1																	3						1		1	2	3	11
			端部				1																							2					3
		接合材なし	玉縁部				2			1								1	2					2				2		1				3	14
			筒部		1	1					1				1				3			1				2	1		2	2				6	21
			端部	―				1							1									1					1	1	1			4	10
				破片																											1				1
小計					1	1	4	1	0	1	1	0	0	0	2	1	1	1	6	2	0	1	0	9	0	2	1	2	3	15	3	1	3	18	80
褐色	マンガン釉薬なし	硬質	漆喰	玉縁部			2																												2
		―	漆喰	玉縁部								1	2																1	1					5
				筒部									2																						2
			接合材なし	玉縁部									1																2						3
				筒部									2																						2
				端部									3																1	1					5
小計					0	0	2	0	0	0	0	1	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	2	0	0	0	0	19
合計					3	4	6	2	2	1	3	2	29	1	2	8	3	1	7	4	1	2	1	16	2	4	1	2	11	22	4	1	5	26	176

第 49 表　明朝系平瓦（灰色）出土状況一覧

色調	釉薬	接合材	分類	部位	角	陶質	H23 N-E5 上層	N-E6 上層	N-E7 上層	N-E7·E8 石敷3	N-E8 上層	O-E5 上層	O-E6 上層	O-E7 石積1·2	O-E7 石積2	O-E7 石積2トレ 3−2層	O-E7 上層	O-E7·E8 石積2トレ 1層	O-E7·E8 石積2トレ 3−1層	O-E8 石積2トレ 2層	O-E8 石積6下	P-E7 落込	P-E7 落込下	Q-E7 集石	石積1	石積1 ウラゴメ	H24 石積16 西側	石積16 ·17間 トレンチ
灰色	マンガン釉薬なし	漆喰あり	硬質	筒部	端あり																							
				狭端部	角1	陶質														1								
			－	広～狭端部																		1						
				広端部	角1					2																		
					角なし																							
				筒部	端あり										3													
					端なし										4													
				狭端部	角1							1																
					角2																							
		接合材なし	硬質	広端部	角1																		1					
					角なし				1													1						
				筒部	端あり																	5						
					端なし															1					1			
			－	広～狭端部																1		6						
				広端部	角1				1			1			3			1		13	1	20		1	8			
					角なし		1	1	1			1		1	2	1				5	1	21			6		1	
				筒部	端あり		2		1	1	1		2	1			1			7		27	1		4	1		
					端なし			2	4			4	5	1	2		3	1	1	14		25		1	13	3	5	1
				狭端部	角1				1						4					4		35			1			
					角なし										1		1	1		2		5			3	3		
合計							3	3	9	3	1	7	7	3	19	1	5	3	1	48	2	146	2	2	36	7	6	1

色調	釉薬	接合材	分類	部位	角	陶質	H24 石積17 ·18間	石積17 ·18間 トレンチ 1層	石積17 ·18間 トレンチ 3層	石積18 ウラゴメ	石積20 南側2層	石積20 南側4層	石積20 トレンチ 1層	石積21	石積21 トレンチ 2	石積23 南側1層	石積23 南側3層	石積24	石列1	落込2内 1層	落込2内 3層	落込3内 1層	落込3内 2層	ピット6 1層	ピット7 1層	表土·撹乱	合計
灰色	マンガン釉薬なし	漆喰あり	硬質	筒部	端あり													1								1	2
				狭端部	角1	陶質																					1
			－	広～狭端部																							1
				広端部	角1																2			1			5
					角なし												1										1
				筒部	端あり																			2		1	6
					端なし											1											5
				狭端部	角1																1						2
					角2																1						1
		接合材なし	硬質	広端部	角1																						1
					角なし											1											3
				筒部	端あり																						5
					端なし											3		1		1	1					4	12
			－	広～狭端部																							7
				広端部	角1						2				1				3	1	1						57
					角なし		1				2			1		1		1		6	2					3	59
				筒部	端あり			1				1				1									1	2	55
					端なし				2		3		4			5			1	21	7	1	1		1	26	157
				狭端部	角1						1		1							2		1				1	51
					角なし					1	1					1		1				1				1	22
合計							1	1	2	1	9	1	5	1	1	13	1	4	4	31	15	3	1	3	2	39	453

第 50 表　明朝系平瓦（赤色）出土状況一覧

色調・釉薬・接合材・部位・角・分類						出土地　年度	H23																H24
						グリッド	N-E5	N-E6	N-E7	N-E7・E8	O-E5	O-E6	O-E7		O-E7・E8		O-E8		P-E7		Q-E7		
						層序	上層	上層	上層	石敷3	上層	上層	石積2	石積2トレ3－3層	石積2トレ1層	石積2トレ3－1層	石積2トレ2層	石積6下	落込	下層	集石	石積1	石積1ウラゴメ	石積16西側
赤色	マンガン釉薬なし	漆喰あり	－	広～狭端部																			
				広端部	角1				2												4		
					角なし			1		1													
				筒部	端あり				5														
					端なし				5	2													2
				狭端部	角1																		
					角なし																		
		接合材なし		広～狭端部												1		1					
				広端部	角1											17		1					
					角なし									1		4		2			1		
				筒部	端あり											7		3			2	1	
					端なし		2	2			3	3	1	1	1	8	1			3	9		
				狭端部	角1				1							1					3		
					角なし	1								1				1	1	1			
合計							1	2	3	13	3	3	3	1	3	1	38	1	8	1	4	19	1	2

色調・釉薬・接合材・部位・角・分類						出土地　年度	H24															表土・撹乱	合計
						グリッド	石積17・18間トレンチ1層	石積17・18間トレンチ2層	石積18ウラゴメ	石積20南側2層	石積20トレンチ1層	石積23南側1層	石積23南側3層	石列1	石列2	階段2	落込2内1層	落込2内3層	落込3内1層	ピット6 1層	ピット7 1層		
						層序																	
赤色	マンガン釉薬なし	漆喰あり	－	広～狭端部								1					2				1	2	6
				広端部	角1								1	1	1						7	5	21
					角なし	1																3	6
				筒部	端あり				1		1						2					1	10
					端なし			1	1												10	5	26
				狭端部	角1											1	1	3		3	5	2	15
					角なし																	1	1
		接合材なし		広～狭端部																			2
				広端部	角1		1										1	3				1	24
					角なし					3		1						1			3	2	18
				筒部	端あり															1		2	16
					端なし	1					1	2				1	2	2	1	3		9	56
				狭端部	角1													1				1	7
					角なし													1	1	1		2	10
合計							2	1	1	5	1	5	1	1	1	2	6	13	2	8	26	36	218

第 51 表　明朝系平瓦（褐色）出土状況一覧

色調・釉薬・接合材・部位・角・分類					出土地　年度	H23																	H24				
					グリッド	N-E5	N-E7	N-E7・E8	O-E5	O-E7			O-E7・E8		O-E8		P-E7			Q-E7	石積1	石積1 ウラゴメ	石積16 西側	石積16 ・17間	石積16 ・17間 トレンチ	石積17 東側3層	石積17 ・18間 トレンチ 1層
					層序	上層	上層	石敷3	上層	石積1・2	石積2	上層	石積2トレ 1層	石積2トレ 3－1層	石積2トレ 2層	石積6下	落込	落込下	下層	集石							
褐色	マンガン釉薬	漆喰あり	－	広端部	角1																						
	自然釉	接合材なし	硬質	筒部	端あり																		1				
	マンガン釉薬なし	漆喰あり	－	広端部	角1			1																			
					角なし																			1			
				筒部	端あり																						
					端なし													1					2				
				狭端部	角1													1									
					角なし	1																			1		
		接合材なし	硬質	広端部	角なし																						
				筒部	端あり						1																
					端なし		1											1									
				狭端部	角なし																		1				
			－	広～狭端部											2												
				広端部	角1					2	4		4		10	2	5				5						
					角なし		1				3		6	1			5				6		1				
				筒部	端あり		1		2		3		3		3		10		1		8						
					端なし		2	1		1	7	2		1	9		13		1	2	9	1			2	2	
				狭端部	角1								1		8		1				12						1
					角なし			1	1		1		2		5	1	3	1									
合計						1	5	3	3	3	19	2	16	2	37	3	37	4	2	2	40	1	5	1	3	2	1

色調・釉薬・接合材・部位・角・分類					出土地　年度	H24																					
					グリッド	石積17 ・18間 トレンチ 2層	石積20 南側2層	石積20 南側4層	石積20 トレンチ 1層	石積21	石積21 トレンチ 2	石積23 南側1層	石積23 南側2層	石積23 南側3層	石積24	石列1	階段2	落込2内 1層	落込2内 3層	落込3内 1層	落込3内 3層	ピット6 1層	ピット7 1層	ピット10 1層	ピット10 2層	表土・撹乱	合計
					層序																						
褐色	マンガン釉薬	漆喰あり	－	広端部	角1	1																					1
	自然釉	接合材なし	硬質	筒部	端あり																						1
	マンガン釉薬なし	漆喰あり	－	広端部	角1																		2				3
					角なし							1							1								3
				筒部	端あり							3						5	2			1					11
					端なし					1																	4
				狭端部	角1									2													3
					角なし																						2
		接合材なし	硬質	広端部	角なし																					1	1
				筒部	端あり																					1	2
					端なし																						2
				狭端部	角なし																						1
			－	広～狭端部																							2
				広端部	角1		2								1								1			2	38
					角なし		1	1										2		1			1			1	30
				筒部	端あり		1	1	2		1	1			1		1			1			1			3	44
					端なし	1	1		3				2	3	1	1		13	10	1	1	2	2	6	4	19	123
				狭端部	角1							1															24
					角なし		1			1		1							1				2			3	24
合計						2	6	2	5	2	1	7	2	5	3	1	1	20	14	3	1	3	9	6	4	30	319

第 52 表　塼出土状況一覧

出土地						年度	H23														H24												表土・撹乱	合計
						グリッド	N-E6	N-E7	N-E7・E8	O-E5	O-E6	O-E7		O-E7・E8	O-E8		P-E7		石積1	石積1ウラゴメ	石積16・17間トレンチ	石積20トレンチ1層	石積23南側1層	石積23南側2層	石積23南側3層	石積24	石列1	石列2	落込2内1層	落込2内3層	落込3内3層	ピット7 1層		
分類						層序	上層	上層	石敷3	上層	上層	石積2	石積2トレ3－3層	石積2トレ3－1層	石積2トレ2層	石積6下	落込	落込下																
灰色	正方形	a	A-1-b	漆喰あり	刻印・ヘラ描なし	角なし																											1	1
				漆喰なし	刻印・ヘラ描なし	角1																											1	1
						角なし																	1	1									1	3
		b	A-1-b	漆喰あり	刻印・ヘラ描なし	角1		2													1						1							4
						角なし												1											3					4
				漆喰なし	ヘラ描	角1											1																	1
					刻印・ヘラ描なし	完形									1																			1
						角1		1				1	1		6				2							2		2				7	22
						角なし			2	1		2			3		2		1	1	2				2	1	2	2	15	1		1	8	46
	三角形	a	B-1-a	漆喰なし	刻印・ヘラ描なし	角なし																											1	1
		b	B-1-b	漆喰なし	ヘラ描	角なし									1																			1
					刻印・ヘラ描なし	角1									1																		1	2
						角なし																											1	1
	組み合わせ式	－	C-1	漆喰なし	刻印・ヘラ描なし	角1										1			1															2
						角なし									1		1																1	3
	破片	－	不明	漆喰なし	刻印・ヘラ描なし	－					1		1					2		2													1	7
				－	－	－	1																3				1	7					5	17
赤色	正方形	b	A-2-b	漆喰あり	刻印・ヘラ描なし	角1																											1	1
				漆喰なし	刻印・ヘラ描なし	角1						3			3													1		1		2	10
						角なし						1		1					1		1	1						1	2					8
	三角形	b	B-2-b	漆喰あり	刻印・ヘラ描なし	角なし																					1							1
	破片	－	不明	－	－	－																								1				1
合計							1	3	2	1	1	7	2	1	16	1	4	3	5	3	4	1	3	1	3	1	4	5	29	4	1	1	31	138

第 53 表　欄干出土状況一覧

出土地		年度	H24						表土・撹乱	合計
器種・記号		層序	石積20南側2層	石積23南側1層	石積24	石列1	階段2	落込2内1層		
親柱						2		12	1	15
逆蓮頭								4		4
平桁					6	1	1	8	3	19
たたら束	十一				1					1
	十十				1					1
	－							5		5
斗束	十							1		1
	六							1		1
	－						1	5		6
握蓮						1		2	1	4
破片			1	1				33	105	140
合計			1	1	8	4	2	71	110	197

第 54 表　銭貨出土状況一覧

出土地			年度	H23								H24																					
			グリッド	M-E7	N-E6	N-E7		N-E7・E8	O-E7	O-E7・E8		石積16・17間トレンチ	石積17・18間トレンチ2層	石積17・18間トレンチ3層	石積18ウラゴメ	石積20南側3層	石積20南側4層	石積20ウラゴメ	石積21トレンチ2	石積23南側1層		石積24	石列2	階段2	階段2トレ1層	落込2内1層		落込2内3層	落込3内4-3層	ピット7 1層	表土・撹乱		合計	
			層序	下層	上層	上層		石敷3	石積2トレ3－3層	石積2トレ1層	石積1																						
			残存	1/2未満	1/2未満	1/2以上	1/2未満	1/2以上	1/2以上	1/2未満	1/2以上	1/2以上	1/2未満	1/2以上	1/2以上	1/2以上	1/2未満	1/2未満	1/2未満	1/2以上	1/2未満	1/2未満	1/2以上	1/2未満	1/2未満	1/2以上	1/2未満	1/2未満	1/2未満	1/2以上	1/2未満	1/2以上	1/2未満
銭貨名	国・王朝	初鋳年																															
開元通寶	唐	621																												1			0	1
開元通寶か																											1						0	1
唐國通寶	南唐	959									1																						1	0
熙寧重寶	北宋	960							1																								1	0
祥符元寶	北宋	1009																													1		1	0
皇宋通寶	北宋	1038																	1														0	1
皇宋通寶か																																1	0	1
嘉祐通寶	北宋	1056																								1							1	0
元豊通寶	北宋	1078																													1		1	0
聖宋元寶か	北宋	1101				1																											1	0
大観通寶	北宋	1107																										1					1	0
大観通寶か							1																										0	1
洪武通寶	明	1368																					1				1						1	1
洪武通寶か																										1							1	0
永楽通寶	明	1408																													1		1	0
永楽通寶か							1																									1	0	2
大和通寶か	後黎	1443																									1						0	1
寛永通寶	江戸	1636																											1				0	1
寛永通寶か																																1	0	1
寛永通寶	江戸	1668										1																					1	0
		1697																		1													1	0
一　銭	日本	昭和16年	アルミニウム貨								1																						1	0
			アルミニウム貨																												3		3	0
			錫貨								2																						2	0
十　銭	日本	昭和17年	アルミニウム貨																												1		1	0
			アルミニウム貨																												1		1	0
不明	―			1	1		2	2		1	1		1	1	1	2	14	1	1	1	1	2		12	1	2	28				3	8	13	74
合計				1	1	1	4	2	1	1	5	1	1	1	1	2	14	1	2	2	1	2	1	12	1	4	31	1	1	1	11	11	33	85

第 55 表　円盤状製品出土状況一覧

出土地　年度	H23						H24							表土・撹乱	合計
グリッド	N-E7	N-E7・E8	O-E7		O-E7・E8		石積16 西側	石積20 南側4層	石積23 南側1層	石積24	落込2内 1層	落込2内 3層	落込3内 1層		
層序 / 分類	上層	石敷3	石積2トレ 3－2層	上層	石積2トレ 1層	石積2トレ 3－1層									
A-1				1											1
A-2												1	1		2
A-3	1		1							1	1			4	8
A-4								1							1
B					1	1					1				3
D-1														1	1
D-2							1					2		2	5
D-3					1		1		1			3		2	8
E		1													1
合計	1	1	1	1	2	1	2	1	1	1	2	6	1	9	30

第 56 表　煙管出土状況一覧

出土地　年度		H23	H24							表土・撹乱	合計
グリッド		O-E6	石積16 西側	石積16・17間 トレンチ	石積17 東側3層	石積23 南側1層	石積23 南側2層	落込2内 3層	落込3内 1層		
層序 / 分類・部位		上層									
A	雁首		1								1
B-1	雁首	1						10	3	3	17
B-2	雁首～火皿				1						1
	雁首			1		2	1	6	1		11
C	吸口								1		1
合計		1	1	1	1	2	1	16	5	3	31

第 57 表　玉出土状況一覧

出土地　年度				H23	H24					表土・撹乱	合計
グリッド				O-E8	石積20 ウラゴメ	石敷3	落込2内1層	落込3内1層	ピット6 1層		
層序 / 種類・分類・色				石積2トレ 2層							
ガラス	丸玉	コイル状	青					1			1
		―	青	1	3		1	1		4	10
			赤			2				1	3
			緑				2				2
			白					1		1	2
	穴なし	―	白						1		1
合計				1	3	2	3	3	1	6	19

第 58 表　ガラス製品出土状況一覧

出土地　年度			H24					表土・撹乱	合計
グリッド			石積23 南側1層	階段2	落込2内3層	落込3内1層	ピット6 1層		
層序 / 種類・部位									
ガラス製品	ボタン状製品				1				1
	蓋	撮～袴				1			1
	管							1	1
	器具							3	3
	文具(ガンジーインキ消)							1	1
	目薬		1						1
	薬瓶							2	2
	不明ガラス製品		1	0		4	2		7
ガラス						1	1		2
合計			2	0	1	6	3	7	19

第59表　金属製品出土状況一覧

年度			H23																		H24																												表土・撹乱	合計
グリッド			N-E5	N-E6	N-E7	N-E7・E8	N-E8	O-E5	O-E6	O-E7					O-E7・E8		O-E8	Q-E7																																
層序			上層	上層	上層	石敷3	上層	上層	上層	石積1・2	石積2	石積2トレ3－2層	石積2トレ3－3層	上層	石積2トレ1層	石積2トレ3－1層	石積2トレ2層	集石	石積1	石積1ウラゴメ	石積16西側	石積17東側3層	石積17・18間トレンチ2層	石積17・18間トレンチ3層	石積18ウラゴメ	石積20南側2層	石積20南側3層	石積20南側4層	石積20南側5－2層	石積20トレンチ1層	石積20トレンチ2層	石積20ウラゴメ	石積21トレンチ2	石積22	石積23南側1層	石積23南側2層	石積24	石列1	石列2	石敷3	階段2	落込2内1層	落込2内3層	落込3内1層	落込3内2層	落込3内3層	ピット6 1層	ピット10 1層		
材質・用途・種類																																																		
鉄	建具	角釘	1	7	8	4	1	6	7	1		2	1	1	1	27	2	2	24	1	2	1	4	4	1	13	6	39	2	3	1	2	1	1	6		1		10	1	2	18	5	15	1		2	2	79	318
		釘の破片か												2																																				2
		鎹																									1											1	2											4
		蝶番																																												1				1
	武具	小札																																					1											1
	その他	鉄鍋																																	2															2
	不明	把手																																	1															1
		鋲							1																																									1
		不明														3			3																														13	19
青銅	建具	角釘																	3																															3
		丸釘																																	1															1
		笠釘																				1			1	1	1								6								2						5	17
		鋲																																	1														1	2
		止め具																																									1							1
	道具	毛抜き																																		1														1
	武具	覆輪																								1	1															2								4
	飾り金具	飾り金具																	1																									1						2
		鋲																				1																									1			2
	その他	針金																																										1					1	2
	不明	金具																				1																												1
		不明																																	1							1					1			3
金属	武器	薬莢									1								1																														1	3
		銃弾			1				2		2								2																														6	13
		銃弾片																																															1	1
	その他	針金																																															1	1
		砲弾片																	2																															2
	不明	不明																																										1						1
合計			1	7	9	4	1	6	10	1	3	2	1	3	1	30	2	2	36	1	2	4	4	4	2	15	9	39	2	3	1	2	1	1	18	1	1	1	13	1	2	21	8	18	1	1	4	2	108	409

第 60 表　石製品・石造製品・石材出土状況一覧

種類 ＼ 出土地 年度		H23												H24																						表土・撹乱	合計
	グリッド	N-E5	N-E6	N-E7	N-E7・E8	O-E6	O-E7			O-E7・E8	O-E8	P-E7	石積1	石積16西側	石積16・17間	石積16・17間トレンチ	石積20南側2層	石積20南側4層	石積20南側5-2層	石積20トレンチ1層	石積21	石積21トレンチ1	石積23南側1層	石積23南側2層	石積23南側3層	石積24	石列1	階段2	落込2内1層	落込2内3層	落込3内1層	落込3内2層	ピット6 1層	ピット7 1層		
	層序	上層	上層	上層	石敷3	上層	石積2	石積2トレ3－2層	石積2トレ3－3層	石積2トレ3－1層	石積2トレ2層	落込																									
石製品	硯か																1																			0	1
	砥石																																			1	1
	石器か												1																							0	1
	石球					1													1																	0	2
	石球か				1														1													1				0	3
	礎石																																			1	1
	柱																																			1	1
	軽石製品																						1													0	1
	－																										1			1	1		1			0	4
石造製品													1																							0	1
石材		1	3	7	2		1	4	1	3	3	2	3	1	3	2	3	2		3	3	1	1	1	2	4	5	2	38	4	2		2	1	12	122
軽石																								2								1				0	3
その他	二枚貝化石																1																			1	2
合計		1	3	7	3	1	1	4	1	3	3	2	5	1	3	2	5	2	2	3	3	1	2	3	2	4	6	2	38	5	3	2	3	1	16	143

第 61 表　漆喰製品出土状況一覧

種類 ＼ 出土地 年度		H24			合計
	層序	石積16・17間トレンチ	落込3内1層	ピット6　1層	
彫刻製品	漆喰か		2	2	4
不明	漆喰	1			1
合計		1	2	2	5

第 62 表　漆製品出土状況一覧

種類・素地 ＼ 出土地 年度		H24		合計
	層序	落込2内1層	落込3内1層	
蓋か	陶器	1		1
合子	不明		1	1
合計		1	1	2

第 63 表　骨製品出土状況一覧

種類・分類 ＼ 出土地 年度	H24					表土・撹乱	合計
層序	石積20南側4層	石積23南側1層	落込2内3層	落込3内1層	ピット6　1層		
彫刻製品		2		3		1	6
彫刻製品か						1	1
円筒状骨製品		1					1
梳櫛		2		1			3
棒状骨製品	1					2	3
ヤス状骨製品						1	1
ハブラシか				1	1		2
不明			1		5	1	7
合計	1	5	1	5	6	6	24

第 64 表　貝製品出土状況一覧

種類 ＼ 出土地 年度	H23		H24					合計
グリッド	O-E7・E8	O-E8						
層序	石積2トレ3－1層	石積2トレ2層	石積16西側	石積17・18間トレンチ2層	石積23南側1層	落込2内1層	表土・撹乱	
ヤコウガイ		1				2		3
マガキガイ			1		1			2
ハナマルユキ	1							1
ホシダカラ					1			1
ハマグリ類				1				1
二枚貝							1	1
合計	1	1	1	1	2	2	1	9

第 65 表　巻貝等出土状況一覧 1

写真・科名・種名・生息地				出土地 年度																																								
				グリッド	M-E7						N-E5			N-E6						N-E7			N-E7・E8			N-E8			O-E5			O-E6			O-E7											
				層序	ピット1			下層			上層			ピット2			上層			上層			石敷3			上層			上層			上層			石積1・2			石積2			石積2トレ 3－2層			石積2トレ 3－3層		
					完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片
1	ツタノハ科	オオベッコウガサ																																												
2	ユキノカサ科	リュウキュウウノアシ	Ⅰ-0-a																																											
3	ニシキウズ科	オキナワイシダタミ	Ⅱ-1-b																																											
4		ニシキウズ	Ⅰ-2-a																																											
5		ムラサキウズ	Ⅰ-3-a																																											
6・7		ギンタカハマ	Ⅰ-4-a																																											
8		サラサバテイ	Ⅰ-4-a																				1																							
9	リュウテン科	ヤコウガイ	Ⅰ-4-a																																	1			4							
10		ヤコウガイの蓋	Ⅰ-4-a				1											1																	1				1							
11・12		チョウセンサザエ	Ⅰ-3-a																																			3								
13		チョウセンサザエの蓋	Ⅰ-3-a														1															1						1								
14		ヨシダカサザエ	Ⅰ-2-a																																											
15		カンギク	Ⅱ-1-b														4		1							2			2			4			1					1						
16		カンギクの蓋	Ⅱ-1-b																																											
17		オオウラウズガイ	Ⅰ-2-a																																											
		不明																																												
18	アマオブネ科	アマオブネガイ	Ⅰ-1-b																																											
19	オニノツノガイ科	オニノツノガイ	Ⅰ-2-c														1																											1		
20		コゲツノブエ	Ⅲ-1-c																																											
21		カヤノミカニモリ	Ⅰ-0-a																																											
22		イワカニモリ	Ⅱ-1-c	1										1						7						1			5		1									10						
23		クワノミカニモリ	Ⅰ-1-a	1			1			1						1																2								1						
24	ゴマフニナ科	ゴマフニナ	Ⅰ-0-a																																											
25	ウミニナ科	リュウキュウウミニナ	Ⅱ-1-c										3																																	
26		イボウミニナ	Ⅲ-1-c																																											
27		マドモチウミニナ	Ⅲ-0-c																																											
28	フトヘナタリ科	カワアイ	Ⅲ-1-c																																											
29	スイショウガイ科	オハグロガイ	Ⅰ-0-a				1															1	1															1								
30		ネジマガキ	Ⅱ-1-c																																											
31		マガキガイ	Ⅰ-2-c														1	3		1						1			1						1			2			1					
32		イボソデガイ	Ⅰ-2-c																																									1		
33		クモガイ	Ⅰ-2-c																																											
34		ムカシタモト	Ⅰ-2-c																																											
		不明																																												
35	スズメガイ科	アツキクスズメ	Ⅰ-3-a																																											
36	タカラガイ科	ホシキヌタガイ	Ⅰ-2-a																																											
		ヨモンダカラ	Ⅰ-1-a																																											
37		ハナビラダカラ	Ⅰ-1-a																																											
38		キイロダカラ	Ⅰ-1-a																																											
39・40		ハナマルユキ	Ⅰ-3-a																																											
		サバダカラ	Ⅰ-2-b																																											
		ハラダカラ																																												
		フシダカキイロダカラ																																												
		不明																																												
	タマガイ科	不明																																												
41	フジツガイ科	ミツカドボラ	Ⅰ-2-a																																											
	アッキガイ科	ウネレイシダマシ	Ⅰ-1-b											1																																
42		ツノレイシ	Ⅰ-3-a								1																																			
43		シラクモガイ	Ⅰ-3-a																																											
44		ヒロウネレイシダマシ																														1														
45	オニコブシ科	コオニコブシ	Ⅰ-2-a				1																																							
46	エゾバイ科	ノシガイ	Ⅰ-1-a																																											
47・48		シマベッコウバイ	Ⅱ-1-c																				1																							
		ウスイロバイ																																												
49	イトマキボラ科	イトマキボラ	Ⅰ-2-a																													1				1								1		
50		ツノマタモドキ	Ⅰ-3-a																																											
51		ヒメイトマキボラ																																												
52	イモガイ科	ナンヨウクロミナシ	Ⅱ-2-c																																											
		マダライモ	Ⅰ-1-a																																											
53		サヤガタイモ	Ⅰ-1-a														1															1														
		ヤナギシボリイモ	Ⅰ-2-a																																											
54		ヤセイモ	Ⅰ-2-a																																											
55		キヌカツギイモ	Ⅰ-2-a																																											
		不明																																												
56	キセルガイ科	ツヤギセルガイ	Ⅴ-8																																											
57	ヤマタニシ科	オキナワヤマタニシ	Ⅴ-8																																									1		
58	ナンバンマイマイ科	シュリマイマイ	Ⅴ-8																																											
59	オナジマイマイ科	オキナワウスカワマイマイ	Ⅴ-9																																											
	不明	蓋（種不明）																																												
		不明								2																							1						1			1			1
合計					2	0	0	3	0	1	2	0	2	2	0	3	1	0	0	15	4	2	4	0	0	4	0	0	8	0	1	10	1	0	2	0	2	5	3	5	14	0	1	4	0	1

第 65 表　巻貝等出土状況一覧 2

写真・科名・種名・生息地			出土地 年度	H23																															H24								
			グリッド	O-E7			O-E7・E8						O-E8						P-E7						Q-E7																		
			層序	上層			石積2トレ1層			石積2トレ3－1層			石積2トレ2層			石積6下			落込			落込下			集石			アゼ下層			石積1			石積1ウラゴメ			石積16西側			石積16・17間			石積16・17間トレンチ		
				完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片
1	ツタノハ科	オオベッコウガサ																																											
2	ユキノカサ科	リュウキュウウノアシ	Ⅰ-0-a							1																																			
3	ニシキウズ科	オキナワイシダタミ	Ⅱ-1-b																																										
4		ニシキウズ	Ⅰ-2-a				1											1								1																			
5		ムラサキウズ	Ⅰ-3-a																							1																			
6・7		ギンタカハマ	Ⅰ-4-a							1		1																																	
8		サラサバテイ	Ⅰ-4-a																													1													
9	リュウテン科	ヤコウガイ	Ⅰ-4-a								1	1			1						3												1	3											2
10		ヤコウガイの蓋	Ⅰ-4-a				1		1	2		1																				1		1					2						
11・12		チョウセンサザエ	Ⅰ-3-a				1	4	1	2	1	7		7	1				1	1												2								1			3		2
13		チョウセンサザエの蓋	Ⅰ-3-a	1			12						14																			1													
14		コシダカサザエ	Ⅰ-2-a																																										
15		カンギク	Ⅱ-1-b	1			25	1	4	20		26	2																			1		1											
16		カンギクの蓋	Ⅱ-1-b																																										
17		オオウラウズガイ	Ⅰ-2-a																																										
		不明										1																																	
18	アマオブネ科	アマオブネガイ	Ⅰ-1-b							1																																			
19	オニノツノガイ科	オニノツノガイ	Ⅰ-2-c						1							1						1																							
20		コゲツノブエ	Ⅲ-1-c																																										
21		カヤノミカニモリ	Ⅰ-0-a																																										
22		イワカニモリ	Ⅱ-1-c				41			11		23	1															3			2														
23		クワノミカニモリ	Ⅰ-1-a				2									3									1								1												
24	ゴマフニナ科	ゴマフニナ	Ⅰ-0-a																																										
25	ウミニナ科	リュウキュウウミニナ	Ⅱ-1-c				1																																						
26		イボウミニナ	Ⅲ-1-c																																										
27		マドモチウミニナ	Ⅲ-0-c																																				1						
28	フトヘナタリ科	カワアイ	Ⅲ-1-c																																										
29	スイショウガイ科	オハグロガイ	Ⅰ-0-a									1																									3								
30		ネジマガキ	Ⅱ-1-c																																										
31		マガキガイ	Ⅰ-2-c				5			11	1	2	2	1		1	1									1					8	1					1								
32		イボソデガイ	Ⅰ-2-c													1																													
33		クモガイ	Ⅰ-2-c																																										
34		ムカシタモト	Ⅰ-2-c																																										
		不明																																											
35	スズメガイ科	アツキクスズメ	Ⅰ-3-a																																										
36	タカラガイ科	ホシキヌタガイ	Ⅰ-2-a																																										
		コモンダカラ	Ⅰ-1-a																																										
37		ハナビラダカラ	Ⅰ-1-a							1	1																																		
38		キイロダカラ	Ⅰ-1-a																																										
39・40		ハナマルユキ	Ⅰ-3-a													1																													
		サバダカラ	Ⅰ-2-b																																										
		ハラダカラ																																											
		フシダカキイロダカラ																																	1										
		不明																															1												
	タマガイ科	不明																																											
41	フジツガイ科	ミツカドボラ	Ⅰ-2-a																																										
	アッキガイ科	ウネレイシダマシ	Ⅰ-1-b																																										
42		ツノレイシ	Ⅰ-3-a																																										
43		シラクモガイ	Ⅰ-3-a																																										
44		ヒロウネレイシダマシ																																											
45	オニコブシ科	コオニコブシ	Ⅰ-2-a																																				1						
46	エゾバイ科	ノシガイ	Ⅰ-1-a																																										
47・48		シマベッコウバイ	Ⅱ-1-c				3																																2						
		ウスイロバイ																																											
49	イトマキボラ科	イトマキボラ	Ⅰ-2-a																																										
50		ツノマタモドキ	Ⅰ-3-a							1																																			
51		ヒメイトマキボラ					1																																						
52	イモガイ科	ナンヨウクロミナシ	Ⅱ-2-c																																										
		マダライモ	Ⅰ-1-a																																										
53		サヤガタイモ	Ⅰ-1-a																																										
		ヤナギシボリイモ	Ⅰ-2-a																																										
54		ヤセイモ	Ⅰ-2-a																																										
55		キヌカツギイモ	Ⅰ-2-a							1																																			
		不明																																											
56	キセルガイ科	ツヤギセルガイ	Ⅴ-8										1																																
57	ヤマタニシ科	オキナワヤマタニシ	Ⅴ-8							3				1																															
58	ナンバンマイマイ科	シュリマイマイ	Ⅴ-8																												1														
59	オナジマイマイ科	オキナワウスカワマイマイ	Ⅴ-9																																										
	不明	蓋（種不明）																																					1						
		不明							1			2	1								1																2									
合計				2	0	0	93	5	8	55	4	65	21	9	2	7	1	1	1	1	4	1	0	0	1	3	0	3	0	0	17	3	6	1	0	0	6	0	2	6	0	0	3	0	4

第 65 表　巻貝等出土状況一覧 3

写真	科名	種名	生息地	石積17東側 3層			石積17・18間			石積17・18間 トレンチ2層			石積17・18間 トレンチ3層			石積18 ウラゴメ			石積20南側 2層			石積20南側 3層			石積20南側 4層			石積20南側 5-2層			石積20 トレンチ1層			石積20 トレンチ2層			石積20 ウラゴメ			石積21 トレンチ2			石積22		
		出土地 年度 グリッド 層序		H24																																									
				完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片
1	ツタノハ科	オオベッコウガサ																																											
2	ユキノカサ科	リュウキュウウノアシ	Ⅰ-0-a																																										
3	ニシキウズ科	オキナワイシダタミ	Ⅱ-1-b																																										
4		ニシキウズ	Ⅰ-2-a										1								1				2	1	6																		
5		ムラサキウズ	Ⅰ-3-a										2												4																				
6・7		ギンタカハマ	Ⅰ-4-a																						2	1	1																		
8		サラサバテイ	Ⅰ-4-a																1			1			4	2	1										1								
9	リュウテン科	ヤコウガイ	Ⅰ-4-a									1			2						4		1	5		1	4						3			11		1				1			
10		ヤコウガイの蓋	Ⅰ-4-a									1						1	1		1	2		1	6		1																		
11・12		チョウセンサザエ	Ⅰ-3-a	1															1	1	2						1						1					2							
13		チョウセンサザエの蓋	Ⅰ-3-a	1															2			2			1																				
14		コシダカサザエ	Ⅰ-2-a																																										
15		カンギク	Ⅱ-1-b											1					23			10		1	26		1										3			1					
16		カンギクの蓋	Ⅱ-1-b																						1			1			1			1											
17		オオウラウズガイ	Ⅰ-2-a																																										
		不明																																											
18	アマオブネ科	アマオブネガイ	Ⅰ-1-b																1					1	1																				
19	オニノツノガイ科	オニノツノガイ	Ⅰ-2-c														1					3			3	2										1				1					
20		コゲツノブエ	Ⅲ-1-c																																										
21		カヤノミカニモリ	Ⅰ-0-a																																										
22		イワカニモリ	Ⅱ-1-c							1			1						7			58			46			4			3			10			2								
23		クワノミカニモリ	Ⅰ-1-a																3			20			12			1			2			2											
24	ゴマフニナ科	ゴマフニナ	Ⅰ-0-a																																										
25	ウミニナ科	リュウキュウウミニナ	Ⅱ-1-c																																										
26		イボウミニナ	Ⅲ-1-c																																										
27		マドモチウミニナ	Ⅲ-0-c																																										
28	フトヘナタリ科	カワアイ	Ⅲ-1-c																1																										
29	スイショウガイ科	オハグロガイ	Ⅰ-0-a																						1																				
30		ネジマガキ	Ⅱ-1-c										1																																
31		マガキガイ	Ⅰ-2-c											1					3			1	2		7	7	1	1			1			2			1			2			1		
32		イボソデガイ	Ⅰ-2-c																																										
33		クモガイ	Ⅰ-2-c												1											2																			
34		ムカシタモト	Ⅰ-2-c																												1														
		不明																									1																		
35	スズメガイ科	アツキクスズメ	Ⅰ-3-a																			1																							
36	タカラガイ科	ホシキヌタガイ	Ⅰ-2-a																																										
		コモンダカラ	Ⅰ-1-a																																					1					
37		ハナビラダカラ	Ⅰ-1-a																1												1														
38		キイロダカラ	Ⅰ-1-a																1																										
39・40		ハナマルユキ	Ⅰ-3-a																3						1																				
		サバダカラ	Ⅰ-2-b																																										
		ハラダカラ																																											
		フシダカキイロダカラ																																											
		不明							1																																				
	タマガイ科	不明																																											
41	フジツガイ科	ミツカドボラ	Ⅰ-2-a																																										
	アッキガイ科	ウネレイシダマシ	Ⅰ-1-b																																										
42		ツノレイシ	Ⅰ-3-a																						2																				
43		シラクモガイ	Ⅰ-3-a																																					1					
44		ヒロウネレイシダマシ																																											
45	オニコブシ科	コオニコブシ	Ⅰ-2-a																																										
46	エゾバイ科	ノシガイ	Ⅰ-1-a																																										
47・48		シマベッコウバイ	Ⅱ-1-c																			2			5			1																	
		ウスイロバイ																																											
49	イトマキボラ科	イトマキボラ	Ⅰ-2-a																						1																				
50		ツノマタモドキ	Ⅰ-3-a																																										
51		ヒメイトマキボラ																																											
52	イモガイ科	ナンヨウクロミナシ	Ⅱ-2-c																															1											
		マダライモ	Ⅰ-1-a																																										
53		サヤガタイモ	Ⅰ-1-a																																										
		ヤナギシボリイモ	Ⅰ-2-a																																						1				
54		ヤセイモ	Ⅰ-2-a																																										
55		キヌカツギイモ	Ⅰ-2-a																																										
		不明				1																																							
56	キセルガイ科	ツヤギセルガイ	Ⅴ-8																																										
57	ヤマタニシ科	オキナワヤマタニシ	Ⅴ-8																			1		1																					
58	ナンバンマイマイ科	シュリマイマイ	Ⅴ-8																																										
59	オナジマイマイ科	オキナワウスカワマイマイ	Ⅴ-9																					1																					
	不明	蓋(種不明)																																											
		不明									1	1			3									1			15						1						1			2			
合計				2	0	1	0	0	1	1	1	3	5	2	6	0	1	1	48	1	8	101	3	11	125	16	32	8	0	0	9	0	5	16	0	12	7	3	1	6	1	3	1	0	0

第 65 表　巻貝等出土状況一覧 4

写真・科名・種名・生息地			出土地 年度 グリッド 層序	H24 石積23南側 1層			石積23南側 2層			石積23南側 3層			石積24			石列1			石列2			階段2			落込2内1層			落込2内2層			落込2内3層			落込3内1層			落込3内2層			落込3内3層			落込3内4-3層		
				完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片
1	ツタノハ科	オオベッコウガサ																												1																		
2	ユキノカサ科	リュウキュウウノアシ	Ⅰ-0-a																																										
3	ニシキウズ科	オキナワイシダタミ	Ⅱ-1-b																						1																				
4		ニシキウズ	Ⅰ-2-a	1																					1																				
5		ムラサキウズ	Ⅰ-3-a																																										
6･7		ギンタカハマ	Ⅰ-4-a																																										
8		サラサバテイ	Ⅰ-4-a													1									1	1	1	1						1											
9	リュウテン科	ヤコウガイ	Ⅰ-4-a			3											1				1				1	1	5	25						10			8								
10		ヤコウガイの蓋	Ⅰ-4-a										1		1						2			1	4		3						1			2								
11･12		チョウセンサザエ	Ⅰ-3-a	5	1	2	2			1			2			2		1	1							19	4	1				6	3	2	1						1			1		
13		チョウセンサザエの蓋	Ⅰ-3-a	1						1									1						3						3														
14		コシダカサザエ	Ⅰ-2-a																																										
15		カンギク	Ⅱ-1-b							1			3			1								24	36	130	1	2				3			1			8		1	3	1			
16		カンギクの蓋	Ⅱ-1-b																			8			8														1					
17		オオウラウズガイ	Ⅰ-2-a																																										
		不明																																											
18	アマオブネ科	アマオブネガイ	Ⅰ-1-b																																1									
19	オニノツノガイ科	オニノツノガイ	Ⅰ-2-c							1										1							1											1					
20		コゲツノブエ	Ⅲ-1-c																																										
21		カヤノミカニモリ	Ⅰ-0-a																																										
22		イワカニモリ	Ⅱ-1-c										1										1	1	10									2			9		1	6					
23		クワノミカニモリ	Ⅰ-1-a																						2						1														
24	ゴマフニナ科	ゴマフニナ	Ⅰ-0-a																																										
25	ウミニナ科	リュウキュウウミニナ	Ⅱ-1-c																						1																				
26		イボウミニナ	Ⅲ-1-c																																										
27		マドモチウミニナ	Ⅲ-0-c																																										
28	フトヘナタリ科	カワアイ	Ⅲ-1-c																						1																				
29	スイショウガイ科	オハグロガイ	Ⅰ-0-a	8						1																					46			1										
30		ネジマガキ	Ⅱ-1-c																																										
31		マガキガイ	Ⅰ-2-c	3	1				1				3							10			2			27	1	1				2			1				1		1					
32		イボソデガイ	Ⅰ-2-c																																										
33		クモガイ	Ⅰ-2-c			1																1																						
34		ムカシタモト	Ⅰ-2-c																																										
		不明				1																																								
35	スズメガイ科	アツキクスズメ	Ⅰ-3-a																															1										
36	タカラガイ科	ホシキヌタガイ	Ⅰ-2-a																																										
		コモンダカラ	Ⅰ-1-a																																										
37		ハナビラダカラ	Ⅰ-1-a																												2		1												
38		キイロダカラ	Ⅰ-1-a																															1										
39･40		ハナマルユキ	Ⅰ-3-a	1																																									
		サバダカラ	Ⅰ-2-b																																							1		
		ハラダカラ																																											
		フシダカキイロダカラ																																											
		不明																							1																				
	タマガイ科	不明																																											
41	フジツガイ科	ミツカドボラ	Ⅰ-2-a																															1										
		ウネレイシダマシ	Ⅰ-1-b																																										
42	アッキガイ科	ツノレイシ	Ⅰ-3-a																			1												1												
43		シラクモガイ	Ⅰ-3-a																						1																				
44		ヒロクチレイシダマシ																																											
45	オニコブシ科	コオニコブシ	Ⅰ-2-a																			1			2																				
46	エゾバイ科	ノシガイ	Ⅰ-1-a																																										
47･48		シマベッコウバイ	Ⅱ-1-c																																		1			2					
		ウスイロバイ																							1																				
49	イトマキボラ科	イトマキボラ	Ⅰ-2-a																																										
50		ツノマタモドキ	Ⅰ-3-a																																										
51		ヒメイトマキボラ																																											
52	イモガイ科	ナンヨウクロミナシ	Ⅱ-2-c																																										
		マダライモ	Ⅰ-1-a																																	1								
53		サヤガタイモ	Ⅰ-1-a																																										
		ヤナギシボリイモ	Ⅰ-2-a																																										
54		ヤセイモ	Ⅰ-2-a																			1			1																				
55		キヌカツギイモ	Ⅰ-2-a																						1																				
		不明																													1													
56	キセルガイ科	ツヤギセルガイ	Ⅴ-8																						1																				
57	ヤマタニシ科	オキナワヤマタニシ	Ⅴ-8	1																		1			3																				
58	ナンバンマイマイ科	シュリマイマイ	Ⅴ-8																																										
59	オナジマイマイ科	オキナワウスカワマイマイ	Ⅴ-9																																										
	不明	蓋(種不明)								1																																			
		不明		2		1												1					12			28						4			1								
合計				22	2	8	2	0	0	7	0	0	10	0	1	4	1	2	12	1	3	15	25	51	220	12	61	3	0	0	64	4	18	10	0	12	19	1	3	14	1	0	2	0	0

第 65 表　巻貝等出土状況一覧 5

写真	科名	種名・生息地	出土地 年度 グリッド 層序	H24 ピット6 1層 完形	ピット6 1層 殻頂	ピット6 1層 破片	ピット7 1層 完形	ピット7 1層 殻頂	ピット7 1層 破片	ピット9 2層 完形	ピット9 2層 殻頂	ピット9 2層 破片	ピット10 1層 完形	ピット10 1層 殻頂	ピット10 1層 破片	表土・撹乱 完形	表土・撹乱 殻頂	表土・撹乱 破片	合計 完形	合計 殻頂	合計 破片
1	ツタノハ科	オオベッコウガサ																	1	0	0
2	ユキノカサ科	リュウキュウウノアシ	Ⅰ-0-a																1	0	0
3	ニシキウズ科	オキナワイシダタミ	Ⅱ-1-b																1	0	0
4		ニシキウズ	Ⅰ-2-a															1	6	2	9
5		ムラサキウズ	Ⅰ-3-a																6	1	0
6・7		ギンタカハマ	Ⅰ-4-a																3	1	2
8		サラサバテイ	Ⅰ-4-a													2		1	15	3	3
9	リュウテン科	ヤコウガイ	Ⅰ-4-a									1					3	13	1	15	107
10		ヤコウガイの蓋	Ⅰ-4-a													9		4	29	1	25
11・12		チョウセンサザエ	Ⅰ-3-a				1									17		3	71	27	24
13		チョウセンサザエの蓋	Ⅰ-3-a													9			55	0	0
14		コシダカサザエ	Ⅰ-2-a													1			1	0	0
15		カンギク	Ⅱ-1-b							1						60	4	3	337	32	76
16		カンギクの蓋	Ⅱ-1-b													5			26	0	0
17		オオウラウズガイ	Ⅰ-2-a													1			1	0	0
		不明																	0	0	1
18	アマオブネ科	アマオブネガイ	Ⅰ-1-b										1						5	0	1
19	オニノツノガイ科	オニノツノガイ	Ⅰ-2-c													7	1	1	20	4	5
20		コゲツノブエ	Ⅲ-1-c													1			1	0	0
21		カヤノミカニモリ	Ⅰ-0-a													10			10	0	0
22		イワカニモリ	Ⅱ-1-c													136	2	2	379	3	28
23		クワノミカニモリ	Ⅰ-1-a													17			73	0	1
24	ゴマフニナ科	ゴマフニナ	Ⅰ-0-a													1			1	0	0
25	ウミニナ科	リュウキュウウミニナ	Ⅱ-1-c													10			12	0	3
26		イボウミニナ	Ⅲ-1-c													2	1		2	1	0
27		マドモチウミニナ	Ⅲ-0-c																1	0	0
28	フトヘナタリ科	カワアイ	Ⅲ-1-c																2	0	0
29	スイショウガイ科	オハグロガイ	Ⅰ-0-a	1												13			77	0	2
30		ネジマガキ	Ⅱ-1-c																1	0	0
31		マガキガイ	Ⅰ-2-c													72	4	8	177	25	12
32		イボソデガイ	Ⅰ-2-c																2	0	0
33		クモガイ	Ⅰ-2-c																1	2	2
34		ムカシタモト	Ⅰ-2-c																1	0	0
		不明																	0	0	2
35	スズメガイ科	アツキクスズメ	Ⅰ-3-a																2	0	0
36	タカラガイ科	ホシキヌタガイ	Ⅰ-2-a															1	0	0	1
		コモンダカラ	Ⅰ-1-a																1	0	0
37		ハナビラダカラ	Ⅰ-1-a																5	1	1
38		キイロダカラ	Ⅰ-1-a																2	0	0
39・40		ハナマルユキ	Ⅰ-3-a															1	6	0	1
		サバダカラ	Ⅰ-2-b																1	0	0
		ハラダカラ																1	0	0	1
		フシダカキイロダカラ																	1	0	0
		不明																2	1	1	3
	タマガイ科	不明														1			1	0	0
41	フジツガイ科	ミツカドボラ	Ⅰ-2-a																1	0	0
	アッキガイ科	ウネレイシダマシ	Ⅰ-1-b																1	0	0
42		ツノレイシ	Ⅰ-3-a													1			5	1	0
43		シラクモガイ	Ⅰ-3-a																2	0	0
44		ヒロウネレイシダマシ														1			2	0	0
45	オニコブシ科	コオニコブシ	Ⅰ-2-a													1			6	0	0
46	エゾバイ科	ノシガイ	Ⅰ-1-a													1			1	0	0
47・48		シマベッコウバイ	Ⅱ-1-c													12			29	0	0
		ウスイロバイ																	1	0	0
49	イトマキボラ科	イトマキボラ	Ⅰ-2-a													1			4	0	1
50		ツノマタモドキ	Ⅰ-3-a																1	0	0
51		ヒメイトマキボラ																	1	0	0
52	イモガイ科	ナンヨウクロミナシ	Ⅱ-2-c																1	0	0
		マダライモ	Ⅰ-1-a															1	0	0	2
53		サヤガタイモ	Ⅰ-1-a																2	0	0
		ヤナギシボリイモ	Ⅰ-2-a																0	1	0
54		ヤセイモ	Ⅰ-2-a																2	0	0
55		キヌカツギイモ	Ⅰ-2-a																2	0	0
		不明														1	3	3	2	3	4
56	キセルガイ科	ツヤギセルガイ	Ⅴ-8																2	0	0
57	ヤマタニシ科	オキナワヤマタニシ	Ⅴ-8																10	1	1
58	ナンバンマイマイ科	シュリマイマイ	Ⅴ-8																1	0	0
59	オナジマイマイ科	オキナワウスカワマイマイ	Ⅴ-9																0	0	1
	不明	蓋（種不明）																	2	0	0
		不明														2		10	7	2	90
合計				1	0	0	1	0	0	1	0	1	1	0	0	394	18	55	1424	127	409

第 66 表　二枚貝等出土状況一覧 1

出土地 年度	H23																													
グリッド	M-E7												N-E5						N-E6											
層序	ピット1						下層						上層						ピット2						上層					
写真・科名・種名・生息地	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	一個体	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	一個体	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	一個体	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	一個体	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	一個体	破片
1 フネガイ科 エガイ Ⅰ-1-a																														
2 フネガイ科 クロミノエガイ																														
3 フネガイ科 リュウキュウサルボオ Ⅱ-2-c																														
4 タマキガイ科 ソメワケグリ Ⅱ-2-c																														
5 ウグイスガイ科 ミドリアオリ Ⅰ-1-a																														
6 ウミギク科 メンガイ類 Ⅰ-2-a																														
不明																														
7 イタボガキ科 シマガキ Ⅱ-2-c																														
8 ツキガイ科 ウラキツキガイ Ⅱ-2-c													1													2				
9 ツキガイ科 ヒメツキガイ Ⅱ-2-c																														
不明																														
キクザル科 シロザル Ⅰ-4-a																														
10 ザルガイ科 リュウキュウザル Ⅱ-2-c																														
11 ザルガイ科 カワラガイ Ⅱ-2-c																														
不明																														
12 シャコガイ科 ヒメジャコ Ⅰ-2-a																														
13 シャコガイ科 ヒレジャコ Ⅰ-2-c																														
シャコガイ科 オオシラナミ Ⅰ-2-a																														
シャコガイ科 シャゴウガイ Ⅰ-2-c																														
不明																														
チドリマスオ科 イソハマグリ Ⅰ-1-c																														
14 チドリマスオ科 ナミノコマスオ Ⅰ-1-c																														
15 ニッコウガイ科 サメザラ Ⅰ-2-c																														
16 ニッコウガイ科 ヌノメチョウシラトリ																														
17 ニッコウガイ科 リュウキュウシラトリ Ⅰ-2-a																														
18 フジノハナガイ科 リュウキュウナミノコ Ⅰ-1-c																														
19 シオサザナミ科 マスオガイ Ⅱ-1-c																														
20 シオサザナミ科 リュウキュウマスオ Ⅱ-1-c																														
21 シジミ科 シレナシジミ Ⅲ-0-c																														
22 マルスダレガイ科 ヌノメガイ Ⅱ-1-c																														
23 マルスダレガイ科 アラヌジケマンガイ Ⅲ-1-c		1					21	23											1					1						
24 マルスダレガイ科 ホソヌジイナミガイ Ⅱ-1-c																			1											
マルスダレガイ科 ユウカゲハマグリ Ⅱ-2-c																														
25 マルスダレガイ科 オイノカガミ Ⅱ-2-c																														
26 マルスダレガイ科 スダレハマグリ Ⅱ-1-c																														
27 マルスダレガイ科 ヤエヤマスダレ 1-c																														
28 マルスダレガイ科 イオウハマグリ Ⅱ-1-c																									1					
29 マルスダレガイ科 ダテオキシジミ Ⅲ-1-c																														
30 マルスダレガイ科 トュドュマリハマグリ Ⅱ-2-c																														
31 マルスダレガイ科 ハマグリ類似種 Ⅱ-2-c																														
マルスダレガイ科 不明																														
不明						1																								
合計	0	1	0	0	0	1	21	23	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0

出土地 年度	H23																													
グリッド	N-E7						N-E7・E8						N-E8						O-E5											
層序	上層						石敷3						上層						下層						上層					
写真・科名・種名・生息地	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	一個体	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	一個体	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	一個体	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	一個体	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	一個体	破片
1 フネガイ科 エガイ Ⅰ-1-a		1																												
2 フネガイ科 クロミノエガイ																														
3 フネガイ科 リュウキュウサルボオ Ⅱ-2-c																														
4 タマキガイ科 ソメワケグリ Ⅱ-2-c																														
5 ウグイスガイ科 ミドリアオリ Ⅰ-1-a																														
6 ウミギク科 メンガイ類 Ⅰ-2-a																														
不明																														
7 イタボガキ科 シマガキ Ⅱ-2-c																														
8 ツキガイ科 ウラキツキガイ Ⅱ-2-c	1	1																												
9 ツキガイ科 ヒメツキガイ Ⅱ-2-c																														
不明																														
キクザル科 シロザル Ⅰ-4-a																														
10 ザルガイ科 リュウキュウザル Ⅱ-2-c												1																		
11 ザルガイ科 カワラガイ Ⅱ-2-c																														
不明																														
12 シャコガイ科 ヒメジャコ Ⅰ-2-a																														
13 シャコガイ科 ヒレジャコ Ⅰ-2-c																														
シャコガイ科 オオシラナミ Ⅰ-2-a																														
シャコガイ科 シャゴウガイ Ⅰ-2-c																														
不明																														
チドリマスオ科 イソハマグリ Ⅰ-1-c																														
14 チドリマスオ科 ナミノコマスオ Ⅰ-1-c																														
15 ニッコウガイ科 サメザラ Ⅰ-2-c																														
16 ニッコウガイ科 ヌノメチョウシラトリ																														
17 ニッコウガイ科 リュウキュウシラトリ Ⅰ-2-a																														
18 フジノハナガイ科 リュウキュウナミノコ Ⅰ-1-c																														
19 シオサザナミ科 マスオガイ Ⅱ-1-c																														
20 シオサザナミ科 リュウキュウマスオ Ⅱ-1-c																														
21 シジミ科 シレナシジミ Ⅲ-0-c																														
22 マルスダレガイ科 ヌノメガイ Ⅱ-1-c														1																
23 マルスダレガイ科 アラヌジケマンガイ Ⅲ-1-c	10	9	2	1	1		6	2					5	9								1						1		
24 マルスダレガイ科 ホソヌジイナミガイ Ⅱ-1-c		1																												
マルスダレガイ科 ユウカゲハマグリ Ⅱ-2-c																														
25 マルスダレガイ科 オイノカガミ Ⅱ-2-c																														
26 マルスダレガイ科 スダレハマグリ Ⅱ-1-c																														
27 マルスダレガイ科 ヤエヤマスダレ 1-c																														
28 マルスダレガイ科 イオウハマグリ Ⅱ-1-c																														
29 マルスダレガイ科 ダテオキシジミ Ⅲ-1-c																														
30 マルスダレガイ科 トュドュマリハマグリ Ⅱ-2-c																														
31 マルスダレガイ科 ハマグリ類似種 Ⅱ-2-c								1																						
マルスダレガイ科 不明		1																												
不明																														
合計	11	13	2	1	1	0	6	3	0	0	0	1	5	10	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0

第 66 表　二枚貝等出土状況一覧 2

出土地 年度				H23																											
グリッド				O-E6						O-E7																					
層序				上層						石積1・2						石積2						石積2トレ3－2層						石積2トレ3－3層					
写真・科名・種名・生息地				完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	一個体	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	一個体	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	一個体	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	一個体	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	一個体	破片
1	フネガイ科	エガイ	Ⅰ-1-a																														
2		クロミノエガイ																															
3		リュウキュウサルボオ	Ⅱ-2-c																				1										
4	タマキガイ科	ソメワケグリ	Ⅱ-2-c																														
5	ウグイスガイ科	ミドリアオリ	Ⅰ-1-a																														
6	ウミギク科	メンガイ類	Ⅰ-2-a																														
		不明																															
7	イタボガキ科	シマガキ	Ⅱ-2-c																														
8	ツキガイ科	ウラキツキガイ	Ⅱ-2-c																														
9		ヒメツキガイ	Ⅱ-2-c																														
		不明																															
	キクザル科	シロザル	Ⅰ-4-a																														
10	ザルガイ科	リュウキュウザル	Ⅱ-2-c																														
11		カワラガイ	Ⅱ-2-c																														
		不明																															
12	シャコガイ科	ヒメジャコ	Ⅰ-2-a																														
13		ヒレジャコ	Ⅰ-2-c													5	4	1															
		オオシラナミ	Ⅰ-2-a																														
		シャゴウガイ	Ⅰ-2-c																														
		不明																			2												
	チドリマスオ科	イソハマグリ	Ⅰ-1-c																														
14		ナミノコマスオ	Ⅰ-1-c																														
15	ニッコウガイ科	サメザラ	Ⅰ-2-c																														
16		ヌノメチョウシラトリ																															
17		リュウキュウシラトリ	Ⅰ-2-a																														
18	フジノハナガイ科	リュウキュウナミノコ	Ⅰ-1-c																														
19	シオサザナミ科	マスオガイ	Ⅱ-1-c																														
20		リュウキュウマスオ	Ⅱ-1-c																														
21	シジミ科	シレナシジミ	Ⅲ-0-c																														
22	マルスダレガイ科	ヌノメガイ	Ⅱ-1-c																														
23		アラスジケマンガイ	Ⅲ-1-c	2	3		1			1						1						1	1					2	1	4	2		5
24		ホソスジイナミガイ	Ⅱ-1-c	1																													
		ユウカゲハマグリ	Ⅱ-2-c																														
25		オイノカガミ	Ⅱ-2-c																														
26		スダレハマグリ	Ⅱ-1-c				1																								1		
27		ヤエヤマスダレ	1-c																														
28		イオウハマグリ	Ⅱ-1-c																														
29		ダテオキシジミ	Ⅲ-1-c																														
30		トュドュマリハマグリ	Ⅱ-2-c																														
31		ハマグリ類似種	Ⅱ-2-c																														
		不明																															
	不明																																
合計				3	3	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	6	4	1	0	0	2	1	2	0	0	0	0	2	1	4	3	0	5

出土地 年度				H23																											
グリッド				O-E7						O-E7・E8												O-E8									
層序				上層						石積2トレ1層						石積2トレ3－1層						石積2トレ2層						石積6下					
写真・科名・種名・生息地				完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	一個体	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	一個体	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	一個体	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	一個体	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	一個体	破片
1	フネガイ科	エガイ	Ⅰ-1-a																														
2		クロミノエガイ																															
3		リュウキュウサルボオ	Ⅱ-2-c																														
4	タマキガイ科	ソメワケグリ	Ⅱ-2-c																														
5	ウグイスガイ科	ミドリアオリ	Ⅰ-1-a																														
6	ウミギク科	メンガイ類	Ⅰ-2-a							1																							
		不明																															
7	イタボガキ科	シマガキ	Ⅱ-2-c																														
8	ツキガイ科	ウラキツキガイ	Ⅱ-2-c																														
9		ヒメツキガイ	Ⅱ-2-c																														
		不明																															
	キクザル科	シロザル	Ⅰ-4-a																														
10	ザルガイ科	リュウキュウザル	Ⅱ-2-c																														
11		カワラガイ	Ⅱ-2-c																														
		不明																															
12	シャコガイ科	ヒメジャコ	Ⅰ-2-a																														
13		ヒレジャコ	Ⅰ-2-c														1					1	1				1						
		オオシラナミ	Ⅰ-2-a																														
		シャゴウガイ	Ⅰ-2-c																														
		不明																															
	チドリマスオ科	イソハマグリ	Ⅰ-1-c																														
14		ナミノコマスオ	Ⅰ-1-c																														
15	ニッコウガイ科	サメザラ	Ⅰ-2-c																														
16		ヌノメチョウシラトリ																															
17		リュウキュウシラトリ	Ⅰ-2-a																														
18	フジノハナガイ科	リュウキュウナミノコ	Ⅰ-1-c																														
19	シオサザナミ科	マスオガイ	Ⅱ-1-c																														
20		リュウキュウマスオ	Ⅱ-1-c							1																							
21	シジミ科	シレナシジミ	Ⅲ-0-c																														
22	マルスダレガイ科	ヌノメガイ	Ⅱ-1-c							1																			1				
23		アラスジケマンガイ	Ⅲ-1-c	1	5					22	24					9	9				1	11	3			1		8	5				
24		ホソスジイナミガイ	Ⅱ-1-c																														
		ユウカゲハマグリ	Ⅱ-2-c																														
25		オイノカガミ	Ⅱ-2-c																														
26		スダレハマグリ	Ⅱ-1-c																														
27		ヤエヤマスダレ	1-c																														
28		イオウハマグリ	Ⅱ-1-c																			1											
29		ダテオキシジミ	Ⅲ-1-c									1																					
30		トュドュマリハマグリ	Ⅱ-2-c							1																		1					
31		ハマグリ類似種	Ⅱ-2-c																														
		不明																															
	不明																				1												
合計				1	5	0	0	0	0	26	24	1	0	0	0	9	10	0	0	0	2	13	4	0	0	1	1	9	6	0	0	0	0

第 66 表　二枚貝等出土状況一覧 3

出土地 年度				H23																											
グリッド				P-E7						Q-E7						石積1						石積1ウラゴメ						アゼ下層					
層序				落込						集石																							
写真・科名・種名・生息地				完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	一個体	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	一個体	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	一個体	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	一個体	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	一個体	破片
1	フネガイ科	エガイ	Ⅰ-1-a																														
2		クロミノエガイ																															
3		リュウキュウサルボオ	Ⅱ-2-c																														
4	タマキガイ科	ソメワケグリ	Ⅱ-2-c																														
5	ウグイスガイ科	ミドリアオリ	Ⅰ-1-a																														
6	ウミギク科	メンガイ類	Ⅰ-2-a																														
		不明																															
7	イタボガキ科	シマガキ	Ⅱ-2-c																														
8	ツキガイ科	ウラキツキガイ	Ⅱ-2-c							1																							
9		ヒメツキガイ	Ⅱ-2-c																														
		不明																															
	キクザル科	シロザル	Ⅰ-4-a																														
10	ザルガイ科	リュウキュウザル	Ⅱ-2-c																														
11		カワラガイ	Ⅱ-2-c																														
		不明																															
12	シャコガイ科	ヒメジャコ	Ⅰ-2-a													1																	
13		ヒレジャコ	Ⅰ-2-c																			1											
		オオシラナミ	Ⅰ-2-a																														
		シャゴウガイ	Ⅰ-2-c																														
		不明																															
	チドリマスオ科	イソハマグリ	Ⅰ-1-c																														
14		ナミノコマスオ	Ⅰ-1-c																														
15	ニッコウガイ科	サメザラ	Ⅰ-2-c																														
16		ヌノメチョウシラトリ																															
17		リュウキュウシラトリ	Ⅰ-2-a																														
18	フジノハナガイ科	リュウキュウナミノコ	Ⅰ-1-c																														
19	シオサザナミ科	マスオガイ	Ⅱ-1-c																														
20		リュウキュウマスオ	Ⅱ-1-c																														
21	シジミ科	シレナシジミ	Ⅲ-0-c																														
22	マルスダレガイ科	ヌノメガイ	Ⅱ-1-c																														
23		アラスジケマンガイ	Ⅲ-1-c	1	1					1	5					4	4											1	2				
24		ホソスジイナミガイ	Ⅱ-1-c							1	2						1																
		ユウカゲハマグリ	Ⅱ-2-c																														
25		オイノカガミ	Ⅱ-2-c																														
26		スダレハマグリ	Ⅱ-1-c																														
27		ヤエヤマスダレ	1-c																														
28		イオウハマグリ	Ⅱ-1-c																														
29		ダテオキシジミ	Ⅲ-1-c																														
30		トュドュマリハマグリ	Ⅱ-2-c																														
31		ハマグリ類似種	Ⅱ-2-c							1							1																
		不明																															
	不明																																
合計				1	1	0	0	0	0	4	7	0	0	0	0	5	6	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0

出土地 年度				H24																											
グリッド				石積16西側						石積16・17間						石積16・17間トレンチ						石積17東側3層						石積17・18間トレンチ 2層					
層序																															
写真・科名・種名・生息地				完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	一個体	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	一個体	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	一個体	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	一個体	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	一個体	破片
1	フネガイ科	エガイ	Ⅰ-1-a																									1					
2		クロミノエガイ																															
3		リュウキュウサルボオ	Ⅱ-2-c																														
4	タマキガイ科	ソメワケグリ	Ⅱ-2-c																														
5	ウグイスガイ科	ミドリアオリ	Ⅰ-1-a																														
6	ウミギク科	メンガイ類	Ⅰ-2-a																														
		不明																															
7	イタボガキ科	シマガキ	Ⅱ-2-c																														
8	ツキガイ科	ウラキツキガイ	Ⅱ-2-c																				1										
9		ヒメツキガイ	Ⅱ-2-c																														
		不明																															
	キクザル科	シロザル	Ⅰ-4-a																														
10	ザルガイ科	リュウキュウザル	Ⅱ-2-c																														
11		カワラガイ	Ⅱ-2-c							1																							
		不明																															
12	シャコガイ科	ヒメジャコ	Ⅰ-2-a																														
13		ヒレジャコ	Ⅰ-2-c																														
		オオシラナミ	Ⅰ-2-a																														
		シャゴウガイ	Ⅰ-2-c																														
		不明																			1												
	チドリマスオ科	イソハマグリ	Ⅰ-1-c																														
14		ナミノコマスオ	Ⅰ-1-c																														
15	ニッコウガイ科	サメザラ	Ⅰ-2-c																														
16		ヌノメチョウシラトリ																															
17		リュウキュウシラトリ	Ⅰ-2-a																														
18	フジノハナガイ科	リュウキュウナミノコ	Ⅰ-1-c																														
19	シオサザナミ科	マスオガイ	Ⅱ-1-c																														
20		リュウキュウマスオ	Ⅱ-1-c																														
21	シジミ科	シレナシジミ	Ⅲ-0-c																														
22	マルスダレガイ科	ヌノメガイ	Ⅱ-1-c																														
23		アラスジケマンガイ	Ⅲ-1-c		3					9	5		1															3	1				
24		ホソスジイナミガイ	Ⅱ-1-c																														
		ユウカゲハマグリ	Ⅱ-2-c																														
25		オイノカガミ	Ⅱ-2-c																														
26		スダレハマグリ	Ⅱ-1-c																									1	1				
27		ヤエヤマスダレ	1-c																														
28		イオウハマグリ	Ⅱ-1-c																														
29		ダテオキシジミ	Ⅲ-1-c	1																													
30		トュドュマリハマグリ	Ⅱ-2-c																														
31		ハマグリ類似種	Ⅱ-2-c	2									1				1																
		不明																															
	不明	不明																															
合計				3	3	0	0	0	0	10	5	0	2	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	5	2	0	0	0	0

第 66 表　二枚貝等出土状況一覧 4

出土地 年度				H24																													
グリッド 層序				石積17･18間トレンチ 3層						石積18ウラゴメ						石積20南側2層						石積20南側3層						石積20南側4層					
写真･科名･種名･生息地				完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	一個体	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	一個体	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	一個体	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	一個体	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	一個体	破片
1		エガイ	Ⅰ-1-a	1																								1					
2	フネガイ科	クロミノエガイ																															
3		リュウキュウサルボオ	Ⅱ-2-c													1																	
4	タマキガイ科	ソメワケグリ	Ⅱ-2-c																														
5	ウグイスガイ科	ミドリアオリ	Ⅰ-1-a																														
6	ウミギク科	メンガイ類	Ⅰ-2-a																														
		不明																	1														
7	イタボガキ科	シマガキ	Ⅱ-2-c																														
8		ウラキツキガイ	Ⅱ-2-c													2	2											2					
9	ツキガイ科	ヒメツキガイ	Ⅱ-2-c																									1					
		不明																															
	キクザル科	シロザル	Ⅰ-4-a																														
10		リュウキュウザル	Ⅱ-2-c																														
11	ザルガイ科	カワラガイ	Ⅱ-2-c																									1					
		不明																															
12		ヒメジャコ	Ⅰ-2-a													1																	
13		ヒレジャコ	Ⅰ-2-c																														
	シャコガイ科	オオシラナミ	Ⅰ-2-a																														
		シャゴウガイ	Ⅰ-2-c																														
		不明																															
	チドリマスオ科	イソハマグリ	Ⅰ-1-c																	1													
14		ナミノコマスオ	Ⅰ-1-c																														
15		サメザラ	Ⅰ-2-c																														
16	ニッコウガイ科	ヌノメチョウシラトリ																											1				
17		リュウキュウシラトリ	Ⅰ-2-a																														
18	フジノハナガイ科	リュウキュウナミノコ	Ⅰ-1-c																														
19	シオサザナミ科	マスオガイ	Ⅱ-1-c																														
20		リュウキュウマスオ	Ⅱ-1-c																														
21	シジミ科	シレナシジミ	Ⅲ-0-c													2		1				1											
22		ヌノメガイ	Ⅱ-1-c	1													1						1		1			1	2				
23		アラスジケマンガイ	Ⅲ-1-c								1			1		62	69					82	83	4	7		1	55	46				2
24		ホソスジイナミガイ	Ⅱ-1-c	3	2											2	1					3	3					2	3				
		ユウカゲハマグリ	Ⅱ-2-c																														
25		オイノカガミ	Ⅱ-2-c																										1				
26	マルスダレガイ科	スダレハマグリ	Ⅱ-1-c		1																		2		1			3	2				
27		ヤエヤマスダレ	1-c	1													1						1										
28		イオウハマグリ	Ⅱ-1-c														1											1					
29		ダテオキシジミ	Ⅲ-1-c																														
30		トュドュマリハマグリ	Ⅱ-2-c														1					1											
31		ハマグリ類似種	Ⅱ-2-c													4	1					1	1	2	2		3	8	6				
		不明																															
	不明	不明																1															1
合計				6	3	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	74	77	2	1	1	0	88	91	6	11	0	4	75	61	0	0	0	3

出土地 年度				H24																													
グリッド 層序				石積20南側5-2層						石積20トレンチ1層						石積20トレンチ2層						石積20ウラゴメ						石積21トレンチ1					
写真･科名･種名･生息地				完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	一個体	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	一個体	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	一個体	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	一個体	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	一個体	破片
1		エガイ	Ⅰ-1-a																														
2	フネガイ科	クロミノエガイ																															
3		リュウキュウサルボオ	Ⅱ-2-c																														
4	タマキガイ科	ソメワケグリ	Ⅱ-2-c																														
5	ウグイスガイ科	ミドリアオリ	Ⅰ-1-a																														
6	ウミギク科	メンガイ類	Ⅰ-2-a																														
		不明																															
7	イタボガキ科	シマガキ	Ⅱ-2-c																														
8		ウラキツキガイ	Ⅱ-2-c								1											1											
9	ツキガイ科	ヒメツキガイ	Ⅱ-2-c																														
		不明																															
	キクザル科	シロザル	Ⅰ-4-a																														
10		リュウキュウザル	Ⅱ-2-c																														
11	ザルガイ科	カワラガイ	Ⅱ-2-c																														
		不明																															
12		ヒメジャコ	Ⅰ-2-a																														
13		ヒレジャコ	Ⅰ-2-c																														
	シャコガイ科	オオシラナミ	Ⅰ-2-a																														
		シャゴウガイ	Ⅰ-2-c																														
		不明																															1
	チドリマスオ科	イソハマグリ	Ⅰ-1-c																														
14		ナミノコマスオ	Ⅰ-1-c																														
15		サメザラ	Ⅰ-2-c																														
16	ニッコウガイ科	ヌノメチョウシラトリ																															
17		リュウキュウシラトリ	Ⅰ-2-a																														
18	フジノハナガイ科	リュウキュウナミノコ	Ⅰ-1-c																														
19	シオサザナミ科	マスオガイ	Ⅱ-1-c																														
20		リュウキュウマスオ	Ⅱ-1-c																														
21	シジミ科	シレナシジミ	Ⅲ-0-c							1																							
22		ヌノメガイ	Ⅱ-1-c																														
23		アラスジケマンガイ	Ⅲ-1-c	8	5					21	19		2		2	6	4					11	20				1	2					
24		ホソスジイナミガイ	Ⅱ-1-c								1						3																
		ユウカゲハマグリ	Ⅱ-2-c																														
25		オイノカガミ	Ⅱ-2-c	1																													
26	マルスダレガイ科	スダレハマグリ	Ⅱ-1-c							1	2	1										1											
27		ヤエヤマスダレ	1-c		1																	1	1										
28		イオウハマグリ	Ⅱ-1-c																														
29		ダテオキシジミ	Ⅲ-1-c																														
30		トュドュマリハマグリ	Ⅱ-2-c									1																					
31		ハマグリ類似種	Ⅱ-2-c													4	5					1											
		不明																															
	不明	不明																															
合計				9	6	0	0	0	0	23	23	2	2	0	2	10	12	0	0	0	0	15	21	0	0	0	1	2	0	0	0	0	1

第 66 表　二枚貝等出土状況一覧 5

出土地 年度			H24																													
グリッド			石積21トレンチ2						石積22						石積23南側1層						石積23南側3層						石積24					
層序																																
写真・科名・種名・生息地			完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	一個体	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	一個体	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	一個体	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	一個体	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	一個体	破片
1	フネガイ科	エガイ	Ⅰ-1-a																													
2		クロミノエガイ																														
3		リュウキュウサルボオ	Ⅱ-2-c																													
4	タマキガイ科	ソメワケグリ	Ⅱ-2-c																													
5	ウグイスガイ科	ミドリアオリ	Ⅰ-1-a																													
6	ウミギク科	メンガイ類	Ⅰ-2-a																													
		不明																														
7	イタボガキ科	シマガキ	Ⅱ-2-c																													
8	ツキガイ科	ウラキツキガイ	Ⅱ-2-c													1																
9		ヒメツキガイ	Ⅱ-2-c																													
		不明																														
	キクザル科	シロザル	Ⅰ-4-a																													
10	ザルガイ科	リュウキュウザル	Ⅱ-2-c																			1										
11		カワラガイ	Ⅱ-2-c																			1										
		不明																														
12	シャコガイ科	ヒメジャコ	Ⅰ-2-a																									2				
13		ヒレジャコ	Ⅰ-2-c																													
		オオシラナミ	Ⅰ-2-a			1																										
		シャゴウガイ	Ⅰ-2-c																													
		不明																														
	チドリマスオ科	イソハマグリ	Ⅰ-1-c																													
14		ナミノコマスオ	Ⅰ-1-c																													
15	ニッコウガイ科	サメザラ	Ⅰ-2-c	1	1																											
16		ヌノメチョウシラトリ																														
17		リュウキュウシラトリ	Ⅰ-2-a																													
18	フジノハナガイ科	リュウキュウナミノコ	Ⅰ-1-c																													
19	シオサザナミ科	マスオガイ	Ⅱ-1-c																													
20		リュウキュウマスオ	Ⅱ-1-c																													
21	シジミ科	シレナシジミ	Ⅲ-0-c																													
22	マルスダレガイ科	ヌノメガイ	Ⅱ-1-c																		1											
23		アラスジケマンガイ	Ⅲ-1-c	7	7				1	1					3	4					2	2					3	4				
24		ホソスジイナミガイ	Ⅱ-1-c													1																
		ユウカゲハマグリ	Ⅱ-2-c																													
25		オイノカガミ	Ⅱ-2-c																													
26		スダレハマグリ	Ⅱ-1-c																													
27		ヤエヤマスダレ	1-c																									1				
28		イオウハマグリ	Ⅱ-1-c																													
29		ダテオキシジミ	Ⅲ-1-c																													
30		トュドュマリハマグリ	Ⅱ-2-c																													
31		ハマグリ類似種	Ⅱ-2-c													1						1										
		不明																														
	不明		1																							3						1
合計			9	8	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	3	7	0	0	0	0	3	5	0	0	0	3	3	7	0	0	0	1

出土地 年度			H24																													
グリッド			石列1						石列2						階段2						落込2内1層						落込2内2層					
層序																																
写真・科名・種名・生息地			完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	一個体	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	一個体	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	一個体	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	一個体	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	一個体	破片
1	フネガイ科	エガイ	Ⅰ-1-a																													
2		クロミノエガイ																														
3		リュウキュウサルボオ	Ⅱ-2-c													1																
4	タマキガイ科	ソメワケグリ	Ⅱ-2-c																													
5	ウグイスガイ科	ミドリアオリ	Ⅰ-1-a																		1	1										
6	ウミギク科	メンガイ類	Ⅰ-2-a																													
		不明																														
7	イタボガキ科	シマガキ	Ⅱ-2-c																													
8	ツキガイ科	ウラキツキガイ	Ⅱ-2-c						1													1										
9		ヒメツキガイ	Ⅱ-2-c																													
		不明																														
	キクザル科	シロザル	Ⅰ-4-a																													
10	ザルガイ科	リュウキュウザル	Ⅱ-2-c	1																												
11		カワラガイ	Ⅱ-2-c																		1						1					
		不明																														
12	シャコガイ科	ヒメジャコ	Ⅰ-2-a								1			2							10	10	3	2		1						
13		ヒレジャコ	Ⅰ-2-c																													
		オオシラナミ	Ⅰ-2-a																													
		シャゴウガイ	Ⅰ-2-c											1																		
		不明																		1						1						
	チドリマスオ科	イソハマグリ	Ⅰ-1-c																													
14		ナミノコマスオ	Ⅰ-1-c																													
15	ニッコウガイ科	サメザラ	Ⅰ-2-c																													
16		ヌノメチョウシラトリ																														
17		リュウキュウシラトリ	Ⅰ-2-a																													
18	フジノハナガイ科	リュウキュウナミノコ	Ⅰ-1-c																													
19	シオサザナミ科	マスオガイ	Ⅱ-1-c																		1	2				1						
20		リュウキュウマスオ	Ⅱ-1-c																			1										
21	シジミ科	シレナシジミ	Ⅲ-0-c																													
22	マルスダレガイ科	ヌノメガイ	Ⅱ-1-c																													
23		アラスジケマンガイ	Ⅲ-1-c	1	1				1	5			1		1	5	4					99	104	2	1	1	1	3	4				2
24		ホソスジイナミガイ	Ⅱ-1-c																			1			1		1					
		ユウカゲハマグリ	Ⅱ-2-c																													
25		オイノカガミ	Ⅱ-2-c																													
26		スダレハマグリ	Ⅱ-1-c																			1										
27		ヤエヤマスダレ	1-c																													
28		イオウハマグリ	Ⅱ-1-c																													
29		ダテオキシジミ	Ⅲ-1-c																					1								
30		トュドュマリハマグリ	Ⅱ-2-c																			1										
31		ハマグリ類似種	Ⅱ-2-c																		1	3	2	1		1						
		不明		1																												
	不明													4						2	1		1			30						
合計			2	2	0	0	0	1	6	0	1	1	0	8	5	5	0	0	0	3	114	125	8	5	2	35	5	4	0	0	0	2

第 66 表　二枚貝等出土状況一覧 6

出土地　年度				H24																											
グリッド				落込2内3層						落込3内1層						落込3内2・3層						落込3内2層						落込3内3層					
層序																															
写真・科名・種名・生息地				完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	一個体	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	一個体	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	一個体	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	一個体	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	一個体	破片
1	フネガイ科	エガイ	Ⅰ-1-a																														
2		クロミノエガイ																															
3		リュウキュウサルボオ	Ⅱ-2-c																														
4	タマキガイ科	ソメワケグリ	Ⅱ-2-c																														
5	ウグイスガイ科	ミドリアオリ	Ⅰ-1-a																														
6	ウミギク科	メンガイ類	Ⅰ-2-a																														
		不明																															
7	イタボガキ科	シマガキ	Ⅱ-2-c																														
8	ツキガイ科	ウラキツキガイ	Ⅱ-2-c	4	1				1							1	1					3	2		1		1						
9		ヒメツキガイ	Ⅱ-2-c																														
		不明																				1											
	キクザル科	シロザル	Ⅰ-4-a																														
10	ザルガイ科	リュウキュウザル	Ⅱ-2-c	1	1																												
11		カワラガイ	Ⅱ-2-c	1																													
		不明																															1
12	シャコガイ科	ヒメジャコ	Ⅰ-2-a		2																												
13		ヒレジャコ	Ⅰ-2-c																														
		オオシラナミ	Ⅰ-2-a																														
		シャゴウガイ	Ⅰ-2-c																														
		不明																															
	チドリマスオ科	イソハマグリ	Ⅰ-1-c																														
14		ナミノコマスオ	Ⅰ-1-c																														
15	ニッコウガイ科	サメザラ	Ⅰ-2-c																														
16		ヌノメチョウシラトリ																															
17		リュウキュウシラトリ	Ⅰ-2-a														1																
18	フジノハナガイ科	リュウキュウナミノコ	Ⅰ-1-c																														
19	シオサザナミ科	マスオガイ	Ⅱ-1-c																														
20		リュウキュウマスオ	Ⅱ-1-c		1																												
21	シジミ科	シレナシジミ	Ⅲ-0-c																														
22	マルスダレガイ科	ヌノメガイ	Ⅱ-1-c																														
23		アラスジケマンガイ	Ⅲ-1-c	2	4					3	3				1							4	7					4	3	1	1		
24		ホソスジイナミガイ	Ⅱ-1-c																			2											
		ユウカゲハマグリ	Ⅱ-2-c																														
25		オイノカガミ	Ⅱ-2-c																														
26		スダレハマグリ	Ⅱ-1-c																														
27		ヤエヤマスダレ	1-c																														
28		イオウハマグリ	Ⅱ-1-c																														
29		ダテオキシジミ	Ⅲ-1-c	3	7	1																											
30		トュドュマリハマグリ	Ⅱ-2-c																														
31		ハマグリ類似種	Ⅱ-2-c	3	1					1																							
		不明																															
	不明						1		1																								
合計				14	17	1	1	0	2	4	3	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	10	9	0	1	0	1	4	3	1	1	0	1

出土地　年度				H24																											
グリッド				ピット7　1層						ピット9　1層						表土・攪乱						合計									
層序																															
写真・科名・種名・生息地				完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	一個体	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	一個体	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	一個体	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	一個体	破片				
1	フネガイ科	エガイ	Ⅰ-1-a																			3	1	0	0	0	0				
2		クロミノエガイ															1					0	1	0	0	0	0				
3		リュウキュウサルボオ	Ⅱ-2-c																			1	2	0	0	0	0				
4	タマキガイ科	ソメワケグリ	Ⅱ-2-c													1						1	0	0	0	0	0				
5	ウグイスガイ科	ミドリアオリ	Ⅰ-1-a																			1	1	0	0	0	0				
6	ウミギク科	メンガイ類	Ⅰ-2-a													1						2	0	0	0	0	0				
		不明																				0	0	0	1	0	0				
7	イタボガキ科	シマガキ	Ⅱ-2-c													1					3	1	0	0	0	0	3				
8	ツキガイ科	ウラキツキガイ	Ⅱ-2-c							1						1	5					19	18	0	1	0	2				
9		ヒメツキガイ	Ⅱ-2-c													1						2	0	0	0	0	0				
		不明																				1	0	0	0	0	0				
	キクザル科	シロザル	Ⅰ-4-a													1						1	0	0	0	0	0				
10	ザルガイ科	リュウキュウザル	Ⅱ-2-c																			2	2	0	0	0	1				
11		カワラガイ	Ⅱ-2-c													1	1	1				6	2	1	0	0	0				
		不明																				0	0	0	0	0	1				
12	シャコガイ科	ヒメジャコ	Ⅰ-2-a														4	1			2	12	18	5	2	0	5				
13		ヒレジャコ	Ⅰ-2-c													7		1	1		22	14	6	2	1	0	23				
		オオシラナミ	Ⅰ-2-a														1					0	1	1	0	0	0				
		シャゴウガイ	Ⅰ-2-c																		1	0	0	0	0	0	2				
		不明																			1	0	0	0	0	0	7				
	チドリマスオ科	イソハマグリ	Ⅰ-1-c	1												4	8					5	8	0	0	1	0				
14		ナミノコマスオ	Ⅰ-1-c													1	1					1	1	0	0	0	0				
15	ニッコウガイ科	サメザラ	Ⅰ-2-c																			1	1	0	0	0	0				
16		ヌノメチョウシラトリ																				0	1	0	0	0	0				
17		リュウキュウシラトリ	Ⅰ-2-a																			0	1	0	0	0	0				
18	フジノハナガイ科	リュウキュウナミノコ	Ⅰ-1-c														1					0	1	0	0	0	0				
19	シオサザナミ科	マスオガイ	Ⅱ-1-c																			1	2	0	0	0	1				
20		リュウキュウマスオ	Ⅱ-1-c																			1	2	0	0	0	0				
21	シジミ科	シレナシジミ	Ⅲ-0-c																			4	0	1	0	0	0				
22	マルスダレガイ科	ヌノメガイ	Ⅱ-1-c													2	1					6	7	0	1	0	0				
23		アラスジケマンガイ	Ⅲ-1-c							3						71	88	3	4	7	4	583	599	16	23	11	23				
24		ホソスジイナミガイ	Ⅱ-1-c	2	1											2	2					20	22	0	0	1	0				
		ユウカゲハマグリ	Ⅱ-2-c														1					0	1	0	0	0	0				
25		オイノカガミ	Ⅱ-2-c																			1	1	0	0	0	0				
26		スダレハマグリ	Ⅱ-1-c														1					6	10	1	3	0	0				
27		ヤエヤマスダレ	1-c																			2	5	0	0	0	0				
28		イオウハマグリ	Ⅱ-1-c																			3	1	0	0	0	0				
29		ダテオキシジミ	Ⅲ-1-c													1	2					5	9	2	1	0	0				
30		トュドュマリハマグリ	Ⅱ-2-c													2	1			1		5	3	1	0	1	0				
31		ハマグリ類似種	Ⅱ-2-c													3	1		1		3	29	23	4	5	0	7				
		不明														1						1	2	0	0	0	0				
	不明															1		2	1		5	3	0	4	2	0	49				
合計				3	1	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	102	119	8	7	8	41	743	752	38	40	14	124				

第 67 表　獣骨出土状況一覧 1

分類群	部位	LR	数	残存状況	年度	グリッド・遺構・層序	備考
ウミガメ科	肩甲骨	L	1	鳥口肩甲骨	H24	石積23南側1層	
	背甲板	―	1	破片	H24	石積21	
ウミガメ科？	腹甲板？	―	1	破片	H23	石積1	
	不明	―	1	破片	H23	N-E7・E8　石敷3	
		―	2	破片	H24	石積20南側2層	
イシガメ科	背甲板	―	1	頂骨板破片	H24	落込2内3層	
カメ？	不明	―	2	破片	H24	石積20南側2層	
		―	6	破片	H24	落込2内3層	
		―	1	破片	H24	落込3内1層	
		―	2	破片		表土・撹乱	
ニワトリ	胸椎	―	1	一部欠損		表土・撹乱	
	鎖骨	不明	1	鎖骨体	H24	石積20南側4層	
	烏口骨	L	1	ほぼ完存	H24	石積20南側4層	
		L	1	近位端～近幹	H24	階段2	
		L	1	近幹～遠幹	H24	石積20南側4層	
		L	1	骨幹～遠位幹	H24	石積17・18間トレンチ3層	
		L	1	骨幹～遠位端	H24	石積20南側4層	
		R	1	近幹～骨幹	H24	落込2内3層	
	肩甲骨	L	1	肩峰・烏口結節・上腕関節面	H24	石積20南側4層	
		R	1	近位端～骨幹	H24	石積20南側4層	
	上腕骨	L	1	近幹～骨幹	H23	P-E7　落込	
		L	1	近幹～骨幹	H24	石積23南側1層	
		L	1	近幹～骨幹	H24	落込2内3層	
		L	1	骨幹	H24	石積20南側4層	
		L	1	骨幹	H24	石列2	
		L	1	骨幹	H24	落込2内3層	
		R	1	(近)～(遠)	H24	落込2内1層	幼鳥
		R	1	遠幹～遠位端	H24	落込2内3層	
		R	1	近幹～遠位端	H24	落込2内3層	
		R	1	骨幹～遠位端、遠位端一部欠損	H23	N-E6　ピット2	
		R	1	骨幹～遠幹	H24	石積20南側4層	
		R	1	骨幹～遠幹	H24	落込2内3層	
	橈骨	L	1	近位端～骨幹	H23	O-E7　石積2トレ3－3層	
		L	1	近位端～骨幹	H24	石積17・18間 トレンチ2層	
		L	1	骨幹～遠位端	H24	石積20南側4層	
		L	1	骨幹～遠位端	H24	落込2内3層	
		R	1	遠幹～遠位端	H24	石積20南側4層	
		R	1	骨幹～（遠）		表土・撹乱	
		不明	1	骨幹	H24	階段2	
		不明	1	骨幹	H24	落込2内3層	
	尺骨	L	1	近位端～骨幹	H24	石積17・18間 トレンチ3層	
		L	1	近幹～遠幹		表土・撹乱	
		L	1	骨幹	H23	O-E7　石積2	
		L	1	骨幹	H24	落込2内3層	
		R	1	近位端１/2～骨		表土・撹乱	
		R	1	骨幹	H24	落込2内1層	
		R	1	骨幹		表土・撹乱	
		R	1	骨幹～遠幹	H24	石積20南側2層	
	寛骨	L	1	寛骨臼周辺	H24	石積20南側4層	
		R	1	恥坐骨孔周辺	H24	石積20南側4層	
		不明	1	寛骨臼	H23	O-E8　石積7内	
	中手骨	L	1	第3中手骨		表土・撹乱	
		L	1	第4中手骨欠損		表土・撹乱	
		R	1	骨幹～遠位端	H24	落込2内3層	
	大腿骨	L	1	近位端～骨幹	H24	石積20南側4層	
		L	1	近位端～骨幹	H24	落込2内3層	
		L	1	近幹～遠幹		表土・撹乱	
		R	1	近位端～骨幹	H24	石積20南側4層	
		R	1	近位端～骨幹	H24	落込2内3層	
		R	1	近幹～骨幹	H24	石積20南側4層	
		R	1	骨幹		表土・撹乱	
		R	1	骨幹～遠位幹	H24	落込3内1層	
		R	1	骨幹～遠位端	H24	落込2内1層	
	脛骨	L	1	遠幹		表土・撹乱	
		L	1	骨幹	H24	石積20南側4層	CMあり
		L	1	骨幹	H24	落込2内3層	CMあり
		L	1	骨幹～遠位端	H24	落込2内1層	
		L	1	骨幹～遠位端	H24	落込2内3層	CMあり
		L	1	骨幹～遠位端1/2		表土・撹乱	
		L	1	骨幹～遠幹	H24	石積20南側4層	
		L	1	骨幹～遠幹	H24	落込2内3層	
		L	1	骨幹～遠幹		表土・撹乱	
		R	1	遠幹～遠位端		表土・撹乱	
		R	1	近位端～近幹		表土・撹乱	
		R	1	骨幹		表土・撹乱	
		R	1	骨幹～遠幹	H24	石積17・18間 トレンチ2層	
		R	1	骨幹～遠幹	H24	石積20南側4層	
		R	1	骨幹～遠幹		表土・撹乱	
		不明	1	骨幹	H24	石列2	
	趾骨	不明	1	ほぼ完存	H24	石積21トレンチ2	
	中足骨	L	1	遠位端	H24	石積21トレンチ2	
		L	1	遠幹	H24	石積20南側2層	
		L	1	近位端～骨幹		表土・撹乱	
		L	1	骨幹	H24	石積20南側4層	
		L	1	骨幹		表土・撹乱	
		L	1	骨幹～遠幹	H23	O-E7　石積2トレ3－3層	
		R	1	近位端～骨幹		表土・撹乱	
		R	1	骨幹	H23	O-E7　石積2トレ3－2層	
		R	1	骨幹～遠位幹	H24	石積20トレンチ2層	
		R	1	骨幹～遠位端	H24	落込2内2層	
鳥類不明	烏口骨	R	1	近位端～近幹		表土・撹乱	
	上腕骨	L	1	骨幹		表土・撹乱	
		R	1	遠位端	H24	石積17・18間	
		R	1	近位端～遠幹	H24	石積20南側3層	

分類群	部位	LR	数	残存状況	年度	グリッド・遺構・層序	備考
鳥類不明	上腕骨	R	1	骨幹～遠位端		表土・撹乱	
		R	1	骨幹～遠幹	H24	石積16西側	
	橈骨	R	1	骨幹～遠幹		表土・撹乱	
	尺骨	L	1	完存		表土・撹乱	
		L	1	近幹～遠位端1/2	H24	石積20南側4層	
		L	1	骨幹	H24	落込2内3層	
		L	1	骨幹～遠位端	H24	落込3内1層	
		不明	1	骨幹	H24	落込2内3層	
	中手骨	L	1	第4中手骨欠損	H24	石積17・18間 トレンチ1層	
	指骨(羽の方)	L	1	ほぼ完存	H24	落込3内3層	
	脛骨	L	1	近幹～骨幹	H24	石積23南側1層	
		L	1	近幹～骨幹		表土・撹乱	
		L	1	骨幹		表土・撹乱	
		不明	1	骨幹	H23	O-E7・E8　石積2トレ3－1層	
		不明	1	骨幹	H24	石積23南側3層	
		不明	1	骨幹～遠位端	H24	落込2内3層	
	趾骨	不明	1	ほぼ完存	H24	落込2内3層	
		不明	1	完存	H24	石積20南側4層	
	中足骨	L	1	近位端1/2～近幹	H24	石積16・17間トレンチ	
	不明	―	1	四肢骨破片	H24	石積20南側2層	CMあり
		―	6	破片	H23	O-E7・E8　石積2トレ1層	
		―	1	破片	H24	石積20南側2層	
		―	1	破片	H24	石積23南側3層	
		―	1	破片	H24	落込3内2層	
		―	1	破片		表土・撹乱	
ネズミ科	上腕骨	L	1	完存	H24	落込2内3層	
	大腿骨	L	1	近幹～骨幹	H24	落込2内3層	
クマネズミ属	上顎骨	L	1	歯３本残存	H24	石積20ウラゴメ	
	大腿骨	R	1	近位端～(遠)	H24	落込2内3層	
イエネズミ	寛骨	L	1	寛骨臼周辺		表土・撹乱	
	大腿骨	R	1	ほぼ完存	H24	落込2内3層	
		R	1	近幹～遠位端1/2	H24	石積20南側3層	
イヌ	下顎骨	L	1	C↓～P_3歯槽、オトガイ孔周辺下顎	H24	石積23南側1層	
	胸椎	―	1	椎体破片	H24	落込3内3層	左側面切断
	肋骨	不明	1	肋骨体破片	H24	石積23南側1層	
ネコ	大腿骨	R	1	近位端～遠幹		表土・撹乱	
	脛骨	L	1	近位端～骨幹		表土・撹乱	
		R	1	近位端～骨幹		表土・撹乱	
		R	1	近幹		表土・撹乱	
	遊離歯	不明	1	C(犬歯)	H23	O-E5　上層	
		不明	1	C(犬歯)	H23	O-E7・E8　石積2トレ1層	
イノシシ/ブタ	頭蓋骨	不明	1	破片		表土・撹乱	
	頬骨	R	1	破片	H24	落込2内3層	
	上顎骨	L	1	$M^1$1/2歯槽～M^3より頬骨 M^2.M^3(歯残)	H24	石積20南側2層	
		L	1	P^2～M^1	H24	石積20南側5-2層	
		L	1	前上顎	H24	落込2内3層	
		R	1	大口蓋孔周辺	H23	O-E7　石積2トレ3－2層	
	下顎骨	L	1	M_2周辺歯槽部、M_2歯根あり	H23	N-E6　上層	
		R	1	C↓～M_1下顎体 P_4歯は無し、C↓萌出中。		表土・撹乱	
		R	1	咬筋窩周辺	H24	石積20南側2層	
		不明	1	破片	H24	石積23南側1層	
	環椎	―	1	半存	H24	石積20南側4層	
	頸椎	―	1	ほぼ完存		表土・撹乱	
	胸椎	―	1	ほぼ完存	H24	落込3内4-2層	
		―	1	椎体破片		表土・撹乱	
		―	1	棘突起	H23	N-E8　上層	
		―	1	棘突起破片	H24	石積20南側4層	
		―	1	棘突起破片	H24	石積20トレンチ2層	
		―	1	棘突起破片	H24	落込2内2層	
		―	1	棘突起破片	H24	落込2内3層	
		―	1	棘突起破片	H24	落込3内4-2層	
		―	2	棘突起破片		表土・撹乱	
	腰椎	―	1	後関節突起	H24	落込2内1層	
		―	3	椎体周辺	H24	落込2内1層	
		―	1	乳頭関節突起破	H24	落込2内1層	
		―	1	棘突起破片	H24	落込2内1層	
	椎骨	―	2	椎体(骨端はずれ)	H24	落込2内1層	
		―	1	椎体破片	H24	落込2内1層	
		―	5	突起破片	H24	落込2内1層	
		―	1	棘突起破片	H24	階段2	
		―	2	棘突起破片	H24	落込2内1層	
	仙骨	―	1	耳状面	H24	石積20南側4層	
	肋骨	L	1	肋骨体	H23	O-E7・E8　石積2トレ3－1層	
		L	1	肋骨体	H23	O-E8　石積6下	
		L	4	肋骨体	H24	石積20南側4層	
		L	1	肋骨体	H24	石積20トレンチ2層	
		L	1	肋骨体	H24	落込2内3層	
		L	1	肋骨体	H24	落込3内1層	
		L	1	肋骨頭	H24	石積20南側4層	
		L	1	肋骨頭	H24	落込2内1層	
		L	1	肋骨頭～肋骨体	H24	石積20トレンチ2層	
		R	1	肋骨体	H23	O-E7　石積2トレ3－2層	
		R	1	肋骨体	H23	O-E7・E8　石積2トレ1層	
		R	1	肋骨体	H23	O-E7・E8　石積2トレ3－1層	
		R	3	肋骨体	H24	石積20南側4層	
		R	1	肋骨体	H24	石積20トレンチ2層	
		R	1	肋骨体	H24	石積20ウラゴメ	
		R	4	肋骨体	H24	落込2内1層	
		R	2	肋骨体	H24	落込2内3層	

第 67 表　獣骨出土状況一覧 2

分類群	部位	LR	数	残存状況	年度	グリッド・遺構・層序	備考
イノシシ/ブタ	肋骨	R	3	肋骨体		表土・撹乱	
		R	1	肋骨頭	H24	石積20トレンチ2層	
		R	1	肋骨頭	H24	石積23南側1層	
		R	2	肋骨頭	H24	落込2内1層	
		R	1	肋骨頭	H24	落込2内3層	
		R	1	肋骨頭～肋骨体	H24	落込2内3層	
		不明	1	破片	H24	落込2内1層	
		不明	1	肋骨体破片	H23	O-E7　石積2トレ3－2層	
		不明	2	肋骨体破片	H23	O-E8　石積2トレ2層	
		不明	1	肋骨体破片	H23	O-E8　石積6下	
		不明	1	肋骨体破片	H24	石積20南側2層	ＣＭあり
		不明	1	肋骨体破片	H24	石積20南側2層	
		不明	1	肋骨体破片	H24	石積20ウラゴメ	
		不明	2	肋骨体破片		表土・撹乱	
		不明	1	肋骨頭破片	H24	落込2内3層	
	肩甲骨	L	1	外側縁	H24	石積17・18間 トレンチ3層	
		L	1	肩甲類周辺		表土・撹乱	
		L	1	肩甲類周辺		表土・撹乱	CMあり
		L	1	肩甲棘・後縁・肩甲類	H24	石積20トレンチ2層	
		R	1	肩甲棘周辺	H23	O-E7･E8　石積2トレ3－1層	
		不明	1	破片	H24	落込2内1層	
	上腕骨	L	1	〔遠〕	H24	落込2内3層	
		L	1	近幹～遠位端	H24	落込2内2層	
		L	1	骨幹～遠位端	H24	落込2内1層	
		L	1	骨幹～遠幹	H23	石積1	
		L	1	骨幹～遠幹		表土・撹乱	
		R	1	遠位端	H24	石積16・17間トレンチ	
		R	1	近幹～骨幹	H24	石積21トレンチ2	
		R	1	骨幹～遠幹	H24	石積20南側4層	
		R	1	骨幹～遠幹		表土・撹乱	
		R	1	骨幹破片		表土・撹乱	
		R	1	破片	H24	石積23南側1層	
	橈骨	L	1	近位端～骨幹	H24	石積24	
		R	1	(近)～骨幹	H24	石積21	
		R	1	〔遠〕	H24	落込2内3層	
		R	1	近位端～(遠)	H23	O-E7　石積2トレ3－3層	
		R	1	近位端～遠幹		表土・撹乱	
	尺骨	L	1	滑車切痕～遠幹		表土・撹乱	
		L	1	骨幹	H24	石積20南側4層	
		L	1	骨幹		表土・撹乱	
		L	1	骨幹～遠幹		表土・撹乱	ＣＭあり
		R	1	遠位端	H24	石積20トレンチ2層	
		R	1	滑車切痕～骨幹	H23	石積1	
		R	1	骨幹	H24	石積20南側2層	
		R	1	肘突起周辺	H23	N-E8　上層	
		不明	1	骨幹	H24	石積20南側2層	
		不明	1	骨幹		表土・撹乱	
	橈骨/尺骨	R	1	ほぼ完存	H24	石積24	癒合
		不明	1	骨幹	H24	石積21トレンチ2	癒合
	第4手根骨	R	1	半存	H24	落込3内1層	
	第2中手骨	L	1	完存	H24	落込2内3層	
		L	1	近幹～(遠)	H23	O-E8　石積2トレ2層	
		R	1	近位端～(遠)	H24	落込2内3層	
	第3中手骨	R	1	近位端～(遠)	H24	石積20南側3層	
		R	2	近位端～骨幹		表土・撹乱	
		R	1	骨幹～（遠）	H23	O-E7　石積2トレ3－2層	
	第4中手骨	L	1	近位端～(遠)	H24	石積23南側3層	
	第2/5中手骨	L	1	(近)～遠位端	H24	落込2内1層	
		L	1	近幹～遠幹		表土・撹乱	
	寛骨	L	1	寛骨臼周辺	H24	石積20南側4層	
		R	1	寛骨臼1/2周辺	H24	石積16・17間トレンチ	
		R	1	月状面周辺	H23	O-E6　上層	
		R	1	腸骨・坐骨欠損	H24	落込3内2層	
		R	1	腸骨体、大坐骨切痕周辺	H24	石積20南側2層	
	大腿骨	L	1	近幹～(遠)	H24	石積24	
		L	1	近幹～骨幹	H24	石積20トレンチ1層	
		L	1	骨幹	H24	階段2トレ1層	
		R	1	骨幹～遠幹	H24	落込3内4-2層	
		R	1	骨幹	H24	石積20南側2層	
		R	1	骨幹～(遠)	H24	落込2内1層	
	膝蓋骨	L	1	完存	H24	石積21トレンチ2	
	脛骨	L	1	(近)～(遠)	H24	石積20南側4層	
		L	1	(近)～骨幹		表土・撹乱	
		L	1	近幹～骨幹		表土・撹乱	
		L	1	骨幹～(遠)	H24	石積20トレンチ2層	ＣＭあり
		L	1	骨幹～(遠)	H24	石積24	
		L	1	骨幹～遠位端	H23	O-E7･E8　石積2トレ3－1層	
		R	1	〔近〕	H24	落込2内3層	
		R	1	〔近〕		表土・撹乱	ＣＭあり？
		R	1	骨幹		表土・撹乱	
		R	1	骨幹～(遠)	H24	石積23南側1層	
	腓骨	L	1	近幹～遠位端	H23	O-E7　石積2トレ3－3層	
		R	1	近幹～遠幹	H24	石積20南側4層	
		R	1	近位端～遠幹		表土・撹乱	ＣＭあり
	距骨	R	1	完存		表土・撹乱	
	踵骨	L	1	ほぼ完存		表土・撹乱	
		L	1	距骨関節面周辺	H24	石積20南側4層	
		L	1	近位端～(遠)		表土・撹乱	
		L	1	踵骨隆起	H24	石列2	
		R	1	近位端～(遠)		表土・撹乱	
		R	1	踵骨隆起欠損	H24	落込2内3層	
	中心足根骨	L	1	完存	H24	落込3内2層	
	第2中足骨	L	1	骨幹～(遠)	H24	石積23南側1層	
	第3中足骨	L	1	近位端～(遠)	H24	石積20トレンチ1層	

分類群	部位	LR	数	残存状況	年度	グリッド・遺構・層序	備考
イノシシ/ブタ	第3中足骨	R	1	近位端～(遠)	H24	石積20南側4層	
		R	1	近位端～(遠)	H24	落込2内1層	
		R	1	近位端～(遠)	H23	O-E7　石積2トレ3－2層	
	第4中足骨	L	1	近幹	H24	石積20ウラゴメ	
		L	1	骨幹～遠位端	H24	石積23南側1層	
		R	1	完存	H23	O-E7　石積2トレ3－3層	
		R	1	近位端～(遠)	H24	落込3内2・3層	
	第5中足骨	L	1	近位端～(遠)	H24	落込2内3層	
		L	1	近位端～骨幹	H23	O-E8　石積2トレ2層	
		R	1	近位端1/2～骨幹	H23	O-E7　石積2	
	第2/5中足骨	L	1	近位端～骨幹	H24	石積23南側1層	
	第3/4中足骨	不明	1	〔近〕		表土・撹乱	
	第3/4中手骨	不明	1	〔遠〕		表土・撹乱	
	中手骨・中足骨	不明	2	破片	H24	落込2内3層	
	指骨	不明	1	遠位端1/2破片		表土・撹乱	
	基節骨	L	1	(近)～遠位端	H24	落込2内3層	
		L	1	近位端1/2～遠位端	H23	O-E7　上層	
		R	1	〔近〕	H24	落込2内3層	
		R	1	ほぼ完存	H24	石列2	
		R	1	ほぼ完存	H24	落込3内1層	
		R	1	完存	H23	O-E7･E8　石積2トレ1層	
	中節骨	L	1	完存	H23	O-E8　石積2トレ2層	
		L	1	完存	H24	落込2内3層	
		R	1	〔近〕	H24	落込2内3層	
	末節骨	L	1	完存	H24	落込2内3層	
		L	1	半存	H24	石積23南側1層	
		R	1	完存	H24	落込2内1層	
	遊離歯	L	1	I_2	H24	石積16西側	
		R	1	I_1	H24	落込2内3層	
		R	1	P^3未萌出	H24	石積23南側1層	
		R	1	P4萌出途中？	H24	石積20トレンチ2層	
		R	1	下顎M_2	H23	O-E6　上層	
		不明	1	C↑破片		表土・撹乱	
		不明	1	P^4未萌出	H24	石積23南側1層	
		不明	1	下顎遊離歯		表土・撹乱	
		不明	3	不明歯	H24	石積23南側1層	
イノシシ/ブタ？	不明	－	1	破片	H24	落込2内3層	
ブタ？	肋骨	不明	1	肋骨体	H24	落込2内1層	
		不明	1	肋骨体	H24	落込2内3層	
ヤギ	角	不明	1	角突起	H24	石積20南側4層	
	軸椎	－	1	半存	H24	落込2内3層	
	中手骨	R	1	近位端～(遠)	H24	石積23南側1層	
	大腿骨	L	1	〔遠〕	H24	落込2内3層	
	中足骨	R	1	近位端～骨幹		表土・撹乱	
	基節骨	R	1	遠位端	H24	落込2内3層	
	中節骨	R	1	遠位端	H24	落込2内3層	
	遊離歯	L	1	M^2	H24	落込2内3層	
		L	1	P^4	H24	落込2内3層	
		L	1	下顎M2(1/2に割れている)	H24	落込3内3層	
		R	1	上顎M_3破片	H23	O-E6　上層	
ヤギ？	寛骨	R	1	腸骨破片(遠位端未癒合)	H24	石積23南側1層	
ウシ	頭蓋骨	L	1	外頭蓋底(篩孔・眼窩周辺)	H24	落込3内1層	
		R	1	視神経管及び篩骨孔周辺	H24	石積20南側2層	
	上顎骨	R	1	P^2歯槽部	H24	石積17・18間 トレンチ3層	
	下顎骨	R	1	下顎孔・下顎角～M_3付近	H24	石積23南側1層	
	軸椎	－	1	破片	H24	石積20南側2層	ＣＭあり
		－	1	半存		表土・撹乱	
	頸椎	－	1	破片	H23	O-E7･E8　石積2トレ1層	
	胸椎	－	1	ほぼ完存	H24	石積20南側5-2層	ＣＭあり
		－	1	椎体破片	H24	石積21トレンチ2	
		－	1	棘突起	H23	O-E7･E8　石積2トレ1層	
	腰椎	－	1	椎体破片	H23	O-E6　上層	
	椎骨	－	1	椎体破片	H24	石積21トレンチ2	
	仙骨	－	1	破片	H24	石積21トレンチ2	
	肋骨	L	2	肋骨体	H24	石積17・18間 トレンチ3層	
		L	3	肋骨体	H24	石積20南側2層	
		L	2	肋骨体	H24	石積20南側4層	
		L	5	肋骨体	H24	落込2内1層	
		L	1	肋骨体	H24	落込3内1層	
		－	1	破片	H24	石積20南側2層	ＣＭあり
		－	1	半存		表土・撹乱	
		L	1	肋骨頭	H24	石積17・18間 トレンチ3層	
		L	1	肋骨頭	H24	落込2内1層	ＣＭあり
		R	1	肋骨体	H23	O-E7　石積2トレ3－3層	
		R	1	肋骨体	H24	石積17・18間 トレンチ3層	
		R	1	肋骨体	H24	石積20南側4層	
		R	1	肋骨体	H24	石積20南側5-2層	
		R	2	肋骨体	H24	落込2内1層	
		R	1	肋骨体	H24	落込3内2・3層	
		R	1	肋骨体		表土・撹乱	
		R	1	肋骨体破片	H24	石積21トレンチ2	
		不明	1	肋骨体	H24	落込2内1層	ＣＭあり
		不明	1	肋骨体破片	H23	O-E7･E8　石積2トレ3－1層	
		不明	3	肋骨体破片	H24	石積20南側2層	
		不明	2	肋骨体破片	H24	石積21トレンチ2	
		不明	2	肋骨体破片	H24	石積24	
		不明	1	肋骨体破片	H24	落込2内1層	ＣＭあり
		不明	3	肋骨体破片	H24	落込2内1層	
		不明	3	肋骨体破片	H24	落込2内3層	

第 67 表　獣骨出土状況一覧 3

分類群	部位	LR	数	残存状況	年度	グリッド・遺構・層序	備考
ウシ	肋骨	不明	1	肋骨体破片	H24	落込3内1層	
		不明	1	肋骨体破片	H24	落込3内3層	
		不明	4	肋骨体破片		表土・撹乱	
	肩甲骨	L	1	前縁破片	H23	O-E8　石積6下	
	手根骨	R	1	ほぼ完存(尺側)	H24	落込2内1層	
	中手骨	R	1	骨幹～遠幹	H24	石積24	
		不明	1	骨幹破片	H23	O-E6　土坑1	
	膝蓋骨	L	1	ほぼ完存	H23	O-E8　石積6下	
	脛骨	L	1	近幹～骨幹	H24	落込3内3層	SFあり
		L	1	骨幹		表土・撹乱	
		不明	1	破片		表土・撹乱	
	四肢骨	不明	1	四肢骨破片	H23	石積1	
	距骨	R	1	破片	H24	石列2	
	種骨	R	1	種骨隆起周辺		表土・撹乱	CMあり
	第4中心足根骨	L	1	完存		表土・撹乱	
		R	1	半存		表土・撹乱	
	基節骨	L	1	遠位端1/2	H24	階段2	
		L	1	完存	H23	O-E8　石積6下	
		R	1	ほぼ完存	H24	石積20トレンチ1層	
		R	1	ほぼ完存	H24	落込3内1層	
		R	1	遠位端	H24	石積20南側2層	CMあり
		R	1	近位端	H24	石積20南側2層	
	中節骨	L	1	ほぼ完存		表土・撹乱	
		R	1	半存		表土・撹乱	
	末節骨	L	1	近位端関節面	H24	落込2内3層	
		L	1	半存	H24	石積20南側3層	
	遊離歯	L	1	M(上顎歯)	H24	石積23南側3層	
		L	1	M_2	H24	落込2内3層	
		L	1	P_4		表土・撹乱	
		R	1	M(上顎歯)		表土・撹乱	
		不明	1	破片	H23	N-E7　上層	
	不明	不明	1	破片	H23	O-E7・E8　石積2トレ1層	
ウマ	肋骨	L	1	肋骨体	H23	O-E7・E8	
		L	1	肋骨体	H24	石積20トレンチ1層	
		L	1	肋骨体	H24	落込2内1層	CMあり
		L	1	肋骨頭	H24	石積20南側2層	CMあり 焼骨？
		不明	1	肋骨体破片	H23	Q-E7　集石	
	上腕骨	L	1	遠幹～遠位端	H24	石積21トレンチ2	SFあり
		R	1	近幹～遠位端	H24	石積20南側4層	CMあり
		不明	1	破片		表土・撹乱	
	第2/3中手骨	R	1	ほぼ完存	H24	落込2内1層	癒合
	基節骨	R	1	骨幹一部欠損	H24	落込2内1層	
ウシ/ウマ	椎骨	—	1	棘突起破片	H24	石積20南側2層	CMあり
	肋骨	不明	1	肋骨体	H24	落込2内3層	CMあり
		不明	1	肋骨頭	H24	落込2内3層	CMあり
ジュゴン	頭頂骨	不明	1	頭頂～前頭		表土・撹乱	
	不明	—	2	破片		表土・撹乱	
ジュゴン？	不明	—	3	破片		表土・撹乱	
哺乳類	不明	—	1	破片	H23	N-E7　上層	焼骨(黒色変化)
		—	2	破片	H24	石積20南側4層	CMあり
		—	1	破片	H24	落込3内3層	
小型哺乳類	橈骨？	不明	1	完存	H24	石列2	
海棲哺乳類	不明	—	1	不明骨頭部	H24	石積23南側1層	人為的切断
不明	頭蓋骨	不明	1	破片		表土・撹乱	
	下顎骨	不明	1	歯槽破片	H24	石積20トレンチ2層	
	椎骨	—	1	ほぼ完存	H24	石積20南側3層	
		—	1	椎体破片	H23	O-E7・E8　石積2トレ1層	
		—	1	椎体破片	H24	石積20南側4層	
		—	1	椎体破片	H24	石積20トレンチ2層	
		—	1	椎体破片	H24	石積21トレンチ2	
		—	2	椎体破片	H24	落込2内1層	
		—	1	椎体破片	H24	落込2内2層	
		—	1	椎体破片		表土・撹乱	
		—	2	椎体破片(骨端はずれ)	H24	石列2	
		—	1	棘突起破片	H24	落込2内3層	
	仙骨	—	1	椎体破片	H24	石積17・18間トレンチ3層	
		—	1	椎体破片	H24	落込3内3層	
	肋骨	L	1	肋骨体	H23	O-E7・E8　石積2トレ3－1層	
		R	1	破片	H24	石積20南側5-2層	
		R	2	肋骨体	H24	落込2内1層	
		不明	1	破片	H24	石列2	
		不明	1	肋骨体	H24	石積16西側	
		不明	1	肋骨体	H24	石積21トレンチ1	
		不明	5	肋骨体	H24	落込2内3層	
		不明	1	肋骨体破片	H23	N-E7　上層	
		不明	1	肋骨体破片	H23	O-E7・E8　石積2トレ1層	
		不明	1	肋骨体破片	H23	Q-E7　集石	
		不明	1	肋骨体破片	H23	石積1	
		不明	3	肋骨体破片	H24	石積17・18間トレンチ3層	
		不明	8	肋骨体破片	H24	石積20南側4層	
		不明	2	肋骨体破片	H24	石積20トレンチ2層	
		不明	6	肋骨体破片	H24	石積23南側1層	
		不明	1	肋骨体破片	H24	石積23南側3層	
		不明	1	肋骨体破片	H24	落込2内1層	
		不明	6	肋骨体破片	H24	落込2内3層	
		不明	2	肋骨体破片	H24	落込3内1層	
		不明	6	肋骨体破片		表土・撹乱	
		不明	1	肋骨頭	H24	落込2内3層	
		不明	1	肋骨頭破片	H24	石積16西側	
	尺骨	R	2	骨幹	H24	石積20南側4層	
	寛骨	不明	1	腸骨破片	H24	石積20南側4層	
	大腿骨	不明	1	〔近〕	H24	石積20南側4層	
	四肢骨	不明	1	破片	H23	N-E6　上層	

分類群	部位	LR	数	残存状況	年度	グリッド・遺構・層序	備考
不明	四肢骨	不明	5	破片	H23	N-E7　上層	
		不明	2	破片	H23	O-E6　上層	
		不明	1	破片	H23	O-E7・E8	
		不明	2	破片	H23	石積1	
		不明	1	破片	H24	石積16・17間	
		不明	1	破片	H24	石積20南側4層	
		不明	1	破片	H24	石積20トレンチ1層	
		不明	3	破片	H24	落込2内1層	
		不明	1	破片	H24	落込2内3層	
		不明	13	破片		表土・撹乱	
	中手・中足骨	不明	1	近位端～(遠)	H24	石積20トレンチ2層	
		不明	1	骨幹	H23	O-E7・E8　石積2トレ3－1層	
		不明	1	骨幹～(遠)	H24	石積20トレンチ2層	
	軟骨	—	4	—	H24	落込2内1層	
	指骨	不明	1	半存	H24	階段2	
	遊離歯	不明	1	歯根	H24	ピット7　1層	
	歯根	不明	1	破片	H24	石積23南側1層	
	不明	—	4	破片	H23	N-E5　上層	
		—	3	破片	H23	N-E7　上層	
		—	1	破片	H23	N-E7・E8　石敷3	
		—	4	破片	H23	N-E8　上層	
		—	1	破片	H23	O-E5　上層	
		—	6	破片	H23	O-E6　上層	
		—	7	破片	H23	O-E7　石積2トレ3－2層	
		—	5	破片	H23	O-E7　石積2トレ3－3層	
		—	2	破片	H23	O-E7　上層	
		—	8	破片	H23	O-E7・E8　石積2トレ1層	
		—	21	破片	H23	O-E7・E8　石積2トレ3－1層	
		—	3	破片	H23	O-E8　石積2トレ2層	
		—	8	破片	H23	O-E8　石積6下	
		—	4	破片	H23	Q-E7　集石	
		—	6	破片	H23	石積1	
		—	3	破片	H24	石積16西側	
		—	1	破片	H24	石積16・17間トレンチ	
		—	2	破片	H24	石積17・18間	
		—	5	破片	H24	石積17・18間トレンチ2層	
		—	9	破片	H24	石積17・18間トレンチ3層	
		—	35	破片	H24	石積20南側2層	
		—	6	破片	H24	石積20南側3層	
		—	2	破片	H24	石積20南側4層	焼骨(部分的に黒色)
		—	22	破片	H24	石積20南側4層	
		—	1	破片	H24	石積20南側5-2層	
		—	8	破片	H24	石積20トレンチ1層	
		—	9	破片	H24	石積20トレンチ2層	
		—	4	破片	H24	石積20ウラゴメ	
		—	3	破片	H24	石積21	
		—	8	破片	H24	石積21トレンチ1	
		—	11	破片	H24	石積21トレンチ2	
		—	3	破片	H24	石積22	
		—	15	破片	H24	石積23南側1層	
		—	7	破片	H24	石積23南側3層	
		—	4	破片	H24	石積24	
		—	1	破片	H24	石列1	
		—	29	破片	H24	石列2	
		—	1	破片	H24	石敷3	
		—	12	破片	H24	階段2	
		—	38	破片	H24	落込2内1層	
		—	2	破片	H24	落込2内2層	
		—	1	破片	H24	落込2内3層	焼骨(灰色)
		—	33	破片	H24	落込2内3層	
		—	16	破片	H24	落込3内1層	
		—	8	破片	H24	落込3内2・3層	
		—	13	破片	H24	落込3内2層	
		—	3	破片	H24	落込3内3層	
		—	2	破片	H24	落込3内4-2層	
		—	5	破片	H24	ピット6　1層	
		—	1	破片	H24	ピット9　1層	
		—	83	破片		表土・撹乱	
合計			1086				

※凡例

残存位置

近=近位端、幹=骨幹、遠=遠位端、

(近)(遠)=未癒合脱落、＜近＞＜遠＞=未癒合、〔近〕〔遠〕=未癒合脱落した端部

備考:

CM＝カットマーク、SF＝スパイラル・フラクチャー

第 68 表　魚類遺体出土状況一覧 1

分類群	部位	出土地 / 年度 / グリッド / 層序	H23 N-E7 上層	N-E7・E8 石敷3	N-E8 上層	O-E6 上層	O-E7 石積1・2	O-E7 石積2	O-E7 石積2トレ3－2層	O-E7 石積2トレ3－3層	O-E7・E8 石積2トレ1層	O-E7・E8 石積2トレ3－1層	O-E8 石積2トレ2層	O-E8 石積6下	P-E7 落込下	Q-E7 集石	石積1	石積1ウラゴメ	H24 石積16・17間	石積16・17間トレンチ	石積17東側3層	石積17・18間	石積17・18間トレンチ2層	石積17・18間トレンチ3層	石積18ウラゴメ	石積20南側2層	石積20南側3層	石積20南側4層	石積20トレンチ1層	石積20トレンチ2層	石積20ウラゴメ	石積21トレンチ2	石積23南側1層	石積23南側2層	石積23南側3層	石積24	石列1	石列2	階段2	落込2内1層	落込2内2層	落込2内3層	落込3内1層	落込3内2層	落込3内2・3層	落込3内3層	落込3内4-2層	落込3内4-3層	ピット6 1層	ピット7 1層	ピット9 1層	ピット9 2層	表土・撹乱	合計
サメ類	椎骨	－					1																				1																										1	3
エイ・サメ類	椎骨	－																																							1													1
ダツ科	歯骨	不明																								1																												1
カマス科?	椎骨	－																													1																							1
マハタ型	前上顎骨	L																																					1															1
		R																																																			1	1
	歯骨	R																																																			1	1
ハタ科A	前上顎骨	L										2																											1		1													4
		R									1																												1															2
	歯骨	L										1																			2								7															10
		R										1														1													3															5
	舌顎	L																								1																												1
		R																								1													1															2
	前鰓蓋骨	L																																					1															1
ハタ科B	前上顎骨	R											1																																								1
ハタ科	主上顎骨	L																																					5															5
		R												1														1			1								1		2													6
	前上顎骨	L																																1																				1
		R																											1										5															9
	歯骨	L											1																1										1															3
		R																															1						1															2
	角骨	L										1																					1						4		1													7
		R																													1								2														1	4
	方骨	L									1															1	1	2											1		1													7
		R										1	1													1											1		1															5
	舌顎	L									1		3																										3															7
		R										1	3																										2															6
	前鰓蓋骨	L											2															1											5															9
		R										1	3													3																										1	7
	主鰓蓋骨	R											2																																								2
	擬鎖骨	L											3															1	1		2								6															13
		R				1							3													1													2		1				1									10
ハタ科?	角骨	L																										2																									2
	方骨	R											1																																								1
	前鰓蓋骨	L																																		1																	1
アジ科大型種	方骨	L								1																																										1
アジ科?	角骨	R																																																	1	1
フエダイ科	前上顎骨	R																																		1			1														2
	歯骨	R																																																	1	1
	舌顎	L																												1																							1
	尾椎	－										1																																								1
フエダイ科?	前上顎骨	R																																							1												1
フエダイ類	舌顎	L																																					1														1
ヘダイ属	主上顎骨	L																																					1														1
クロダイ属	主上顎骨	L											1																																							1
		R																													1								1														2
	前上顎骨	L							1			1		1										1															1															5
		R												1																									2			1												5
	歯骨	L																										1			1								1				1										1	5
		R																									1	1											1															4
	前鰓蓋骨	R												1																																							1
クロダイ属?	主上顎骨	R																																																	1	1
	腹椎	－																																					1														1
タイ科	前上顎骨	L																															1																				1
	歯骨	L										1																													1												2
	角骨	L																															1																				1
	前鰓蓋骨	R																																								1										1
	不明	－																																					1														1
タイ科?	歯骨	R																																							2												2
ヨコシマクロダイ	前上顎骨	R																								1																											1
キツネフエフキ	前上顎骨	L																										1																									1
アマミフエフキ型	口蓋	R																																					5														5
	主上顎骨	L																													1								1														2
		R																																					1														1
	前上顎骨	L																																					1														1
	歯骨	L																													1																						1
		R												1																									3														4
	角骨	R																								1													1														2
	方骨	R																																					1														1
	副蝶形骨	－																																														1				1
	擬鎖骨	L																													2								3														5
		R																													1								3														4
	椎骨	－																																					5														5
	腹椎	－																								1					4		1						7														13
	尾椎	－										3																			2								9															14
	間鰓蓋骨?	不明												1																																							1
	背鰭棘	－																																					10													1	11
	棘	－																								1					1																						2
	不明	－																																					2														2
アマミフエフキ型?	副蝶形骨	－																																						1													1
ハマフエフキ型	口蓋	L												1																									2													1	4
		R																																					1														1
	主上顎骨	L												1			1			1								1	1		2								4														1	12
		R																										1	2										2		2													7
	前上顎骨	L																								1	1		2		1								4		1	2												12
		R								1								1						1		2	1	2							2				5		1												2	18
	歯骨	L																												1									1															2
		R										1	1													1														2														5
	角骨	L										1	1													1		1		1									1			1												7
		R									1																										1		3															5
	舌顎	L																												1																							1
	前鰓蓋骨	R												1																									2														3
	主鰓蓋骨	L																										1											5														3	9
		R																										1																										1
	背鰭棘	－																									1																										1
ハマフエフキ型?	歯骨	L																																					1														1
		R																																					1														1
	主鰓蓋骨	R																								1																											1
フエフキダイ科	口蓋	L																		1						1	1	1	1				1						2		1												2	11
		R																																					1		1												2	4
	前上顎骨	L																																					1															1
	歯骨	L		1							1																		1										2		1												1	7
	角骨	L																																					2															2
		R																																					2		1													3
	方骨	L																																					1		2													3
		R																										1											3														1	5
	前鰓蓋骨	L																											3										4		1														8
		R																								1													3														1	5
	主鰓蓋骨	R												1																																							1
	不明	L																								1																											1
フエフキダイ科?	前頭骨	L																										1											2															3
		不明																																					1															1
	主上顎骨	R																																					1															1
	歯骨	R																																								1												1
		－																												1																							1

第 68 表　魚類遺体出土状況一覧 2

分類群	部位	出土地 / 年度 / グリッド / 層序	H23 N-E7 上層	N-E7・E8 石敷3	N-E8 上層	O-E6 上層	O-E7 石積1・2	O-E7 石積2	O-E7 石積2トレ3－2層	O-E7 石積2トレ3－3層	O-E7・E8 石積2トレ1層	O-E7・E8 石積2トレ3－1層	O-E8 石積2トレ2層	O-E8 石積6下	P-E7 落込下	Q-E7 集石	石積1	石積1ウラゴメ
フエフキダイ科?	舌顎	L																
	前鰓蓋骨	L																
	副蝶形骨	－																
	不明	－																
シロクラベラ型	下咽頭骨	－				1					2						1	
タキベラ型	下咽頭骨	－																
コブダイ型	前上顎骨	L																
ベラ科B	上咽頭骨	L																
ベラ科	鋤骨	不明											1					
	主上顎骨	L																
		R																
	前上顎骨	L											1					
		R									1							
	歯骨	L										2	1					
		R										1						
	角骨	L											1					
		R																
	下咽頭骨	－										1	1					
	椎骨	－																
	腹椎	－											2	1				
	尾椎	－									3	3	3			1		
イロブダイ属	歯骨	L																
	上咽頭骨	R																
アオブダイ属	歯骨	L											1					
		R											1					
	方骨	L																
	下咽頭骨	－																
アオブダイ属A	前上顎骨	L																
		R																
ナンヨウブダイ属?	上咽頭骨	L											1					
	下咽頭骨	－										1						
ナガブダイ属	頭骨	－																
	歯骨	R																
	下咽頭骨	－																
	腹椎	－																
	尾椎	－																
	不明	－											1					
ブダイ科	口蓋	L												1				
		R										1						
	主上顎骨	L											1					
		R										1	1					
	前上顎骨	L						1				4	4					
		R										5	1					
	歯骨	L										1	1				1	
		R										4	1	1			1	
	角骨	L											1					
		R																
	方骨	L																
		R												1				
	上咽頭骨	L											1					
		R																
	下咽頭骨	－																
	椎骨	－																
	腹椎	－									1							
	尾椎	－																
ブダイ類	主上顎骨	R										3						
	角骨	L																
ブダイ属	基後頭骨	－																
ニザダイ科	棘鱗	－																
	背鰭棘	－																
	鱗	－												1				
アイゴ科?	椎骨	－																
モンガラカワハギ科	歯	不明													1			
	舌顎	R																
	腰帯	－																
種類不明	頭骨	L																
		R																
		不明										3	1					
	鋤骨	不明																
	口蓋	L										1						
		不明											1					
	主上顎骨	L										1						
		R																
		不明																
	前上顎骨	L																
	歯骨	L										2						
		R																
		不明																
	歯	不明																
	角骨	L											1					
		R										1						
		不明																
	方骨	L																
		R																
		不明																
	舌顎	L																
		R																
		不明																
	前鰓蓋骨	L																
		L?																
		R																
		不明																
	主鰓蓋骨	L											2	1				
		R										2						
		不明												1				
	副蝶形骨	－																
	擬鎖骨	L											2					
		R										1						
		不明																
	椎骨	－									1	10	3				2	
	腹椎	－					1			1	2	11	17			1	2	
	尾椎	－							1			5	8	1				1
	担鰭骨	－																
	準下尾骨	－																
	第二臀鰭棘	L											1					
		－									1	1						
	背鰭棘	－							2	1	3		1		1	1	3	
	背鰭棘(端あり)	－										13	30					
	背鰭棘(端なし)	－									1	15	21					
	臀鰭血管間棘	－			2								1					
	棘	－																
	不明	L																
		－			2							3	2	6			1	
	不明破片	－	2						1		4	23	60				3	1
合計			2	1	4	2	2	1	5	4	24	136	207	19	2	4	15	2

分類群	部位	出土地 / 年度 / グリッド / 層序	H24 石積16・17間	石積16・17間トレンチ	石積17東側3層	石積17・18間	石積17・18間トレンチ2層	石積17・18間トレンチ3層	石積18ウラゴメ	石積20南側2層	石積20南側3層	石積20南側4層	石積20トレンチ1層	石積20トレンチ2層	石積20ウラゴメ	石積21トレンチ2	石積23南側1層	石積23南側2層	石積23南側3層	石積24	石列1	石列2	階段2	落込2内1層	落込2内2層	落込2内3層	落込3内1層	落込3内2層	落込3内2・3層	落込3内3層	落込3内4-2層	落込3内4-3層	ピット6 1層	ピット7 1層	ピット9 1層	ピット9 2層	表土・撹乱	合計
フエフキダイ科?	舌顎	L															1							2														3
	前鰓蓋骨	L																									1											1
	副蝶形骨	－									1													2														3
	不明	－																								1												1
シロクラベラ型	下咽頭骨	－										1				1							1	2							1							10
タキベラ型	下咽頭骨	－																						1														1
コブダイ型	前上顎骨	L								1																												1
ベラ科B	上咽頭骨	L																						1														1
ベラ科	鋤骨	不明																																				1
	主上顎骨	L																						1	1													2
		R								1														2													1	4
	前上顎骨	L																						3														4
		R										1												10													3	15
	歯骨	L								1		1																									1	6
		R																																			1	2
	角骨	L																																				1
		R																						1														1
	下咽頭骨	－						1																													1	4
	椎骨	－								2	2	1	1													3								1			1	11
	腹椎	－								2	2	2			2									8		4	2											25
	尾椎	－		1				1		1		2	1		2					2				27														47
イロブダイ属	歯骨	L																						1														1
	上咽頭骨	R																									1											1
アオブダイ属	歯骨	L																						3														4
		R																						2														3
	方骨	L																						2														2
	下咽頭骨	－													1																							1
アオブダイ属A	前上顎骨	L																						1														1
		R																						1														1
ナンヨウブダイ属?	上咽頭骨	L																																				1
	下咽頭骨	－																																				1
ナガブダイ属	頭骨	－																			1																	1
	歯骨	R																						1														1
	下咽頭骨	－						1																														1
	腹椎	－								1														1														2
	尾椎	－																						4														4
	不明	－																																				1
ブダイ科	口蓋	L								1														1														3
		R																																				1
	主上顎骨	L																						2														3
		R																						2														4
	前上顎骨	L										1								1				6			1										3	21
		R								1					2									4													1	14
	歯骨	L										1								1				2													1	8
		R													1									1														9
	角骨	L																																				1
		R																						1														1
	方骨	L								1										1				2														4
		R																						1														5
	上咽頭骨	L													2							1															1	5
		R													2									1														3
	下咽頭骨	－									1																											1
	椎骨	－										1																										1
	腹椎	－						1		2		2																										6
	尾椎	－										2			2						1			1													3	9
ブダイ類	主上顎骨	R																																				3
	角骨	L								1																												1
ブダイ属	基後頭骨	－																						1														1
ニザダイ科	棘鱗	－																									1											1
	背鰭棘	－																						4														4
	鱗	－																																				1
アイゴ科?	椎骨	－																								2												2
モンガラカワハギ科	歯	不明																																				1
	舌顎	R																						1														1
	腰帯	－																						1														1
種類不明	頭骨	L		1																																		1
		R		1																																		1
		不明			1										3		1				3			24		1											3	40
	鋤骨	不明																						1		1											1	3
	口蓋	L																						4		1												6
		不明																						3														4
	主上顎骨	L						1	1					1	2									5														11
		R																																			1	1
		不明																										1										1
	前上顎骨	L																						2														2
	歯骨	L						1		1														1														5
		R																						1														1
		不明								1	2	2												2		1											1	9
	歯	不明																						5		2												7
	角骨	L																						2		1												4
		R																						2														3
		不明																						1														1
	方骨	L						1																2									1					4
		R						1									2							1														4
		不明																						1														1
	舌顎	L									1													4		1											1	7
		R																						4														4
		不明																						4														4
	前鰓蓋骨	L		1																																		1
		L?																						1														1
		R								1													1	3		1												6
		不明																																			1	1
	主鰓蓋骨	L																						3		1												7
		R								1			1											2		1												7
		不明																						1														2
	副蝶形骨	－										1								1				2		1												5
	擬鎖骨	L													1		1							1														5
		R										1			1									4	1													8
		不明										1			1									3														6
	椎骨	－	4					7	1	2	1	1	4	1	7		2	1		1	2	1	1	52	1	8	1			1							7	122
	腹椎	－	1					1		4	2	2	1		8									81		5											7	147
	尾椎	－	1					1		2				1			1							62		3						1	1				4	93
	担鰭骨	－																						2														2
	準下尾骨	－																																			1	1
	第二臀鰭棘	L																																				1
		－								1					1									2			1										4	11
	背鰭棘	－	4	4			2	10	1	12	8	10			36		3		1	3	1	1	3	199		27	1	3		2						1	3	14	361
	背鰭棘(端あり)	－											15																										58
	背鰭棘(端なし)	－																																					37
	臀鰭血管間棘	－								1		1			2					1	1		1	15				1										4	30
	棘	－	1	2			6	35	2	17	11	11		7	4	2	4			13		1	1	298		41	3	7	1	1				1				18	487
	不明	L								1																												1	2
		－		1				1		29		23	4		17		5		3	3		1		71			6	3	2				2					3	188
	不明破片	－					2				1			10		6						5	6	212	6	5		13		6								44	413
合計			13	13	1	1	10	65	5	112	39	90	37	25	121	9	26	2	6	29	10	11	14	1364	10	135	24	29	3	11	1	1	6	1	1	3	162	2820

第４章　自然科学分析

第１節　木製品の保存処理及び微細遺物分析

株式会社文化財サービス

１　遺物の概要

首里城跡御内原東地区より出土した木製品は、器胎表面に精巧な文様が浮き彫り（もしくは型押し）された朱色の容器である。文様は肉眼ではっきりと確認できるが、土砂の堆積によって全体像が判然としない。また、遺物表面の朱色の層の下には薄い塗膜が確認できる。現場にそのままの状態で長期間露出させると遺物情報を消失しかねないと判断し、保存処理作業を行った。

遺物出土状況

２　遺物取り上げ

遺物は劣化が著しく、遺物内部に堆積した土壌によって形状を保っていた。そのため、土ごと遺物を取り上げ、検出作業は室内で行うこととした。

工程①

→

工程②

→

工程③

工程①：湿った不織布とアルミ箔で遺物を覆い、表面の保護と形状の維持を行った。
工程②：薄いシリコン膜で覆い、緩衝材とした。
工程③：厚めの紙で遺物形状に沿った簡易保管箱を作成し、遺物を覆った。

取り上げた状態

室内で養生取り外し後

養生後、遺物底面に金属製のコテを入れ、遺物下部の土壌ごと裏返して取り上げを完了した。取り上げ後は室内で速やかに養生を解き、状態を確認した。取り上げによって破損した箇所は無いが、小破片はいくつか移動していた。全体の形状は維持した状態だった。

3　観察状況

遺物の上面観は円形もしくは楕円形であったと思われる。合子のような容器と見られ、蓋と身の境界が確認できた。朱色の部分は漆を幾重にも塗り重ねて厚みを増した層であり、その器胎は炭化材が見られることから、木材であると判断できる。

亀裂や粉状化が進んでおり移動ごとに亀裂が広がる状況である。表面は軟質のため、慎重に作業を行う必要がある。

4　有機質遺物及び土壌の分析

①はじめに

本報告では、首里城跡御内原東地区の発掘調査で出土した堆朱の遺物の一部と推定される塗膜片を対象として、漆薄片作製観察を実施する。また、遺物の取り上げ時に採取された土壌を対象として、微細物の洗い出しを実施し、炭化材などの遺物を可能な限り壊さず回収する。さらに、回収された炭化材の一部を対象に樹種同定を実施し、堆朱の木地等に関する情報を得る。

②漆薄片作製観察

（１）試料

試料は、堆朱の遺物の一部と考えられる塗膜片１点（約５mm × ４mm）である。

（２）分析方法

塗膜片を合成樹脂で包埋し、樹脂を固化させる。塗膜片の断面が出るようにダイヤモンドカッターで切断し、切断面を研磨する。研磨面をスライドグラスに接着した後、反対側も切断と研磨を行い、プレパラートとする。プレパラートは、生物顕微鏡、落射蛍光顕微鏡、反射顕微鏡等を用いて、漆塗りの様子等を観察する。

（３）結果

塗膜片の全景、断面写真を図版 58 に示す。下地と考えられる黄褐色の物質（由来不明）の上に２方向の漆塗り（図版 58 －２の漆膜１、２）が確認される。塗布状況から、最初に漆膜１が塗られ、その後に漆膜２が塗られたと考えられる。また、漆膜１と漆膜２を覆うように１膜の漆膜が認められ、これを漆膜３とした（図版 58 －８）。

漆膜１は、下地？の上に１㎜以上の厚さで塗られており、分析試料において合計 33 膜が確認できる（図版 58 －３)。全て赤色顔料が混和されている。赤色顔料は、反射顕微鏡の特徴から赤鉄鉱の可能性がある。各膜の赤色顔料の状況をみると、各膜の下部で密度が高く、上部で密度が低くなる（図版 58 －４）。

漆膜２は、漆膜１の側面にほぼ直交する方向に塗られている。厚さは、最大で約１㎜であり、合計 17 膜が認められる（図版 58 －５）。漆膜１と同じく、赤鉄鉱と考えられる赤色顔料が混和されているが、漆膜１のような赤色顔料の密度の違いは認められない（図版 58 －６）。

漆膜３は、厚さ約 30 μ m で１膜のみ塗られる。他の漆膜と同じく、赤鉄鉱と考えられる赤色顔料が認められる。塗膜片の上部にはＶ字状の切り込みがあり、また外径の一部には漆膜が斜めに切断された痕跡も認められる（図版 58 －７）。

（4）考察

堆朱は、油を混ぜた漆を幾重も塗って厚い層を作り、そこに文様等を彫刻したもので、日本では鎌倉彫等が知られているが、起源は中国であり、剔紅と呼ばれ、宋以降に盛行したとされる。

今回の漆片は、堆朱の遺物の一部と考えられている。断面観察では、合計３方向の漆膜（漆膜１～３）が認められた。薄片の状況から、漆膜１－漆膜２－漆膜３の順に塗られたと考えられる。漆膜１は、下地？の平坦面に平行に塗られ、合計 33 膜が確認できる。いずれも赤鉄鉱を混和した赤漆である。漆膜１の各膜では、赤色顔料が下部で密度が高く、上部で密度が低くなることから、塗布面を水平にして乾かす際に赤鉄鉱が下部に沈殿したことが推定される。

漆膜２は、漆膜１にほぼ直交する方向に塗られている。いずれも赤鉄鉱を混ぜた赤漆であり、合計 17 膜が確認できる。漆膜１とは異なり、赤鉄鉱の密度の違いは見られないことから、塗布面を水平にして乾かしたのではなく、常に漆膜１が水平になるように置かれていた可能性がある。

漆膜３は、漆膜１と漆膜２を覆うように１膜のみ塗布されている。漆膜１と漆膜２の境界を隠すための化粧的な漆膜の可能性がある。

分析試料の採取位置等の詳細は不明であるが、直交する２方向の漆膜が見られることから、コーナー部分の可能性が考えられる。

漆膜には、V 字の切り込みや、表面を斜めに切断したような痕跡が見られる。これは、漆の塗布後に施された文様などの彫刻に由来する可能性がある。

③微細物分析

（1）試料

試料は、堆朱と考えられる遺物の出土地点近くから採取された土壌１点である。

（2）分析方法

試料を 72 時間常温乾燥後、肉眼観察で炭化物等を拾い出す。抽出後の試料 64.68g（約 50cc）を、水を満たした容器に投入し、浮いた炭化物を粒径 0.5mm の篩に回収する。容器内の残土に水を入れて軽く攪拌した後、浮いた炭化物を回収する作業を炭化物が浮かなくなるまで繰り返す（約 20 回）。残土を粒径 0.5mm の篩を通して水洗する。篩内の試料をシャーレに集めて双眼実体顕微鏡下で観察し、ピンセットを用いて、漆製品や炭化材（主に２mm 以上）、動物遺存体などの遺物を拾い出す。

抽出物は、常温乾燥後の重量を求めて結果を一覧表で示す。一部は点数や最大径を併記する。分析残渣は、水に浮いた炭化物主体と沈んだ砂礫主体とに分け、常温乾燥後の重量を記録する。分析後は、炭化材同定対象以外の抽出物と残渣を容器に入れて保管する。

回収された炭化材の中から、比較的大きな破片５点を選択する。炭化材の木口（横断面）・柾目（放射断面）・板目（接線断面）の３断面の割断面を作製し、実体顕微鏡および走査型電子顕微鏡を用いて木材組織の種類や配列を観察し、その特徴を現生標本等と比較して種類を同定する。なお、木材組織の名称や特徴は、島地・伊東（1982）や Richter 他（2006）を参考にする。

（3）結果

微細物洗い出しの結果、堆朱（彫漆）、塗膜片？、炭化材、炭化材・編組製品（敷物？）、繊維製品（編布）、動物遺存体（骨片、貝類）が確認された（第 69 表）。主な遺物の写真を図版 59 ～ 63 に示し、特徴等を以下に述べる。

第 69 表　微細物洗い出し結果

種類名	乾重(g)	備考
堆朱(彫漆)	0.004	2点,最大片(径3.5mm,厚さ0.8mm)に花文様の浮き彫り確認
塗膜片?	0.15	約40点,最大1.2cm,厚さ0.4mm
炭化植物遺体		
炭化材	0.59	最大1.2cm,5点がヒノキ科に同定
炭化材･編組製品(敷物?)	0.03	1点,径0.9cm,厚さ1.8mm, 有機物,炭化材,編組製品(菱四つ目編み),有機物の順に4層が重なる
繊維製品(編布)	0.08	50点以上,最大6.3mm
不明炭化物	0.62	
残渣(炭化物主体)	0.48	
動物遺存体		
骨片	0.02	4点,最大7.0mm
貝類	0.19	最大6.6mm,巻貝類主体
分析残渣(砂礫主体)	37.16	石灰岩片など

注)土壌試料は、肉眼観察で炭化物等を抽出後、64.68g(約50cc)を水洗した

●堆朱（彫漆）（図版 59）

微細な破片が 2 点（0.004g）確認された。明るい赤褐色を呈し、漆薄片作製対象試料と同じ材質と判断される。彫り込まれた溝内や隙間には、黒色の炭化した繊維製品が点在する。下述の繊維製品に由来すると考えられる（図版 59 － 4）。

●塗膜片？（図版 60）

約 40 点（0.15g）確認された。概ね灰黒～黒色を呈し、最大 1.2cm（図版 60 － 1）、厚さ 0.4mm 程度の薄い膜状で、湾曲しているものが多い（図版 60 － 5 など）。表面は平滑～粗面で、光沢が残る面には一定方向の微細な筋の配列が確認される（図版 60 － 4）。

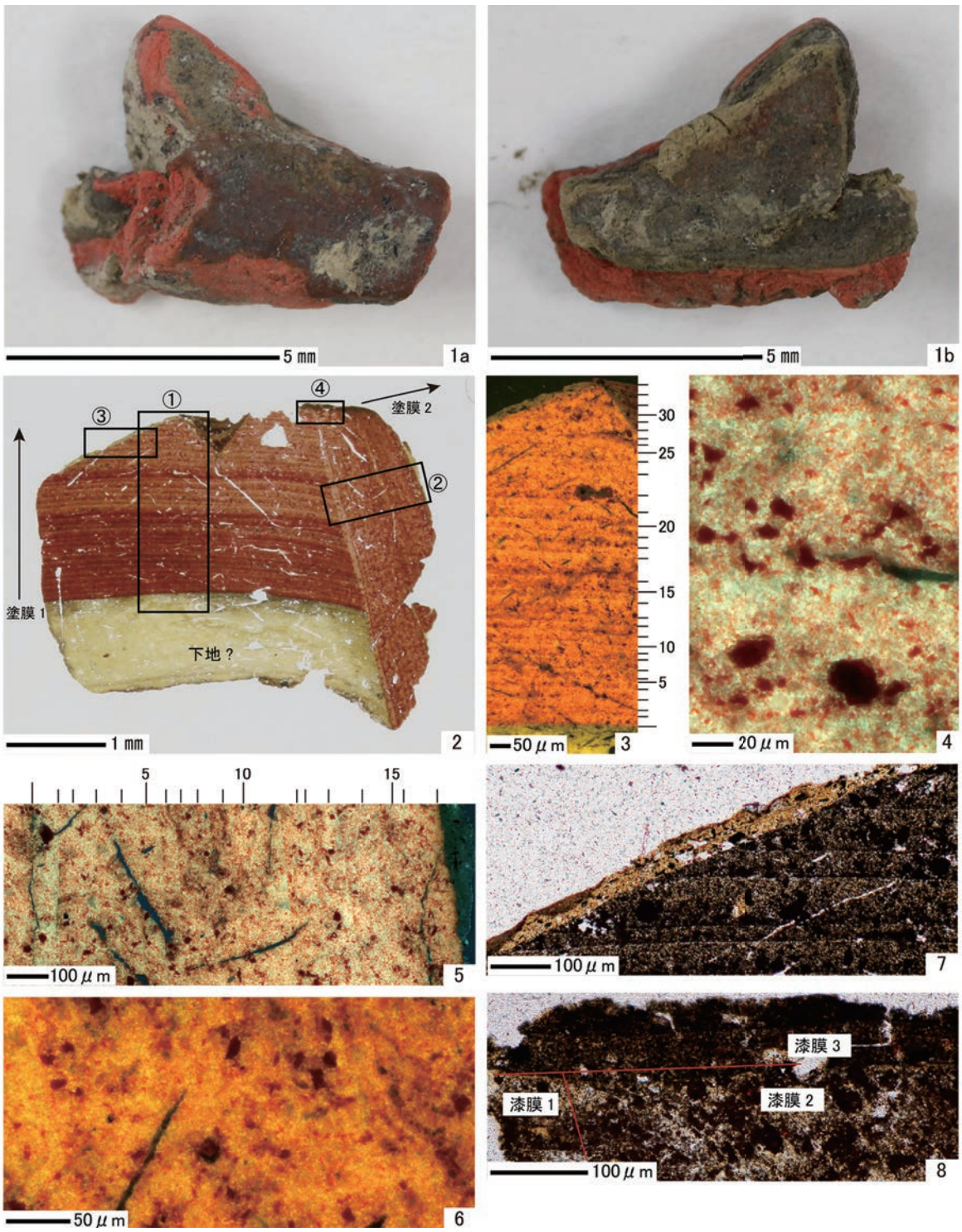
●炭化材（図版 61）

炭化材は 0.59 g 確認された。黒色を呈し、最大 1.2cm を測る。このうち 5 点が針葉樹のヒノキ科（Cupressaceae）に同定され、同定対象外とした炭化材も、多くが針葉樹材であった。ヒノキ科材は、軸方向組織は仮道管と樹脂細胞で構成される。仮道管の早材部から晩材部への移行は緩やか～やや急で、晩材部の幅は狭い。樹脂細胞は晩材部付近に認められる。放射組織は柔細胞のみで構成される。分野壁孔は保存が悪く観察できない。放射組織は単列、 1 － 10 細胞高。

●炭化材・編組製品（図版 62）

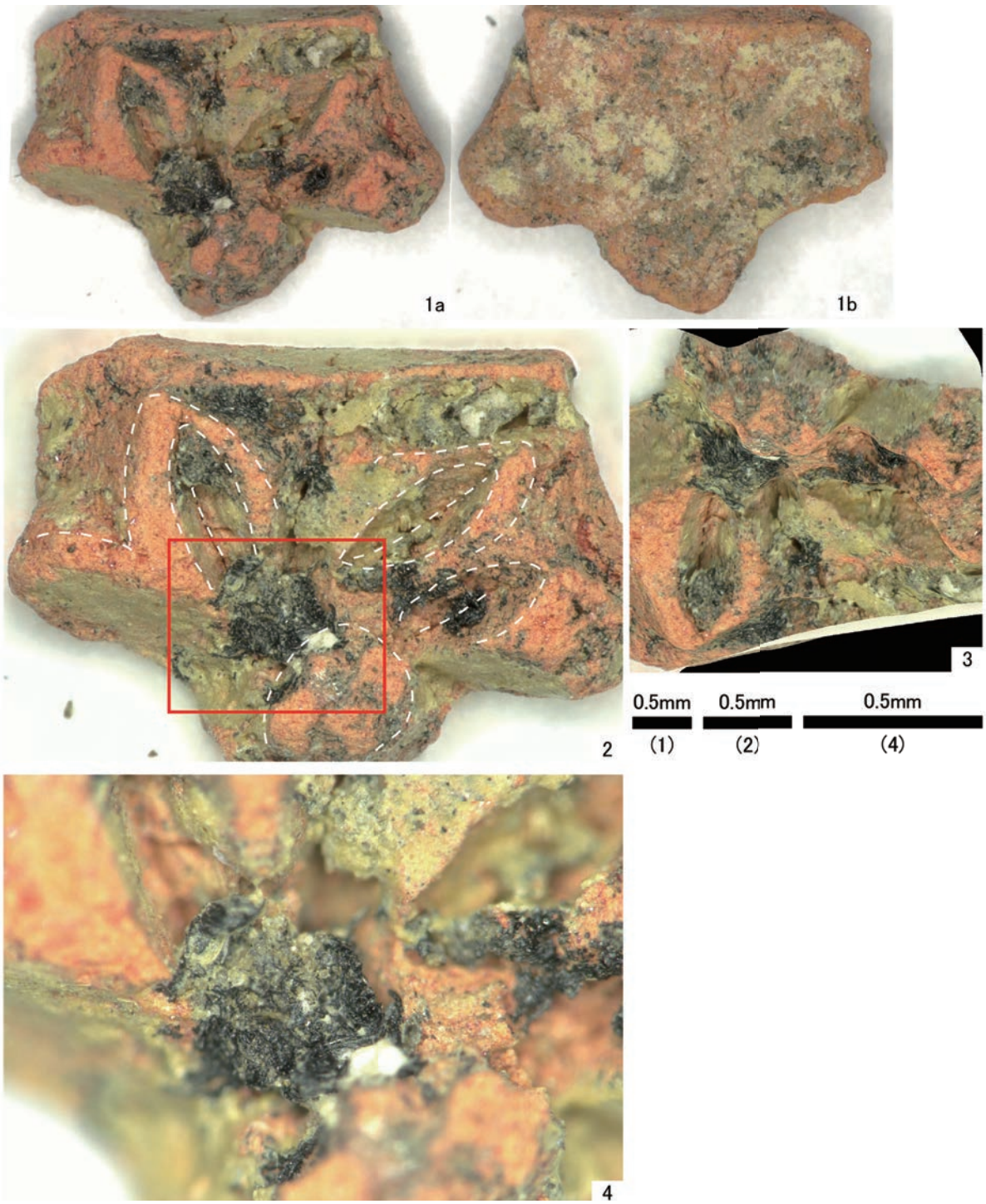
1 点（0.03 g）確認された。炭化しており黒色を呈し、長さ 0.9cm、幅 0.7cm、厚さ 1.8mm の長方形。表面や断面から、有機物、炭化材、編組製品、有機物の順に薄層 4 枚が重なる状況が確認された。平面であるため、敷物の可能性がある。有機物層は、厚さ 0.1 ～ 0.5mm の膜状で、表面には多数の微細な孔がみられる（図版 62 － 3）。炭化した塗膜片の可能性があるが、素材等の詳細は不明であった。

炭化材は、厚さ 0.8mm の薄い平板状を呈す（図版 62 － 1 a）。遺物の短径方向から木口（横断面）が確認されるため、平板面は柾目（放射断面）である。樹種は未同定である。炭化材に接する編組製品は、幅 0.3 ～ 0.4㎜、厚さ 0.1mm の縦横同じ幅・太さの素材が交互に交わるように編まれている。編み目は、



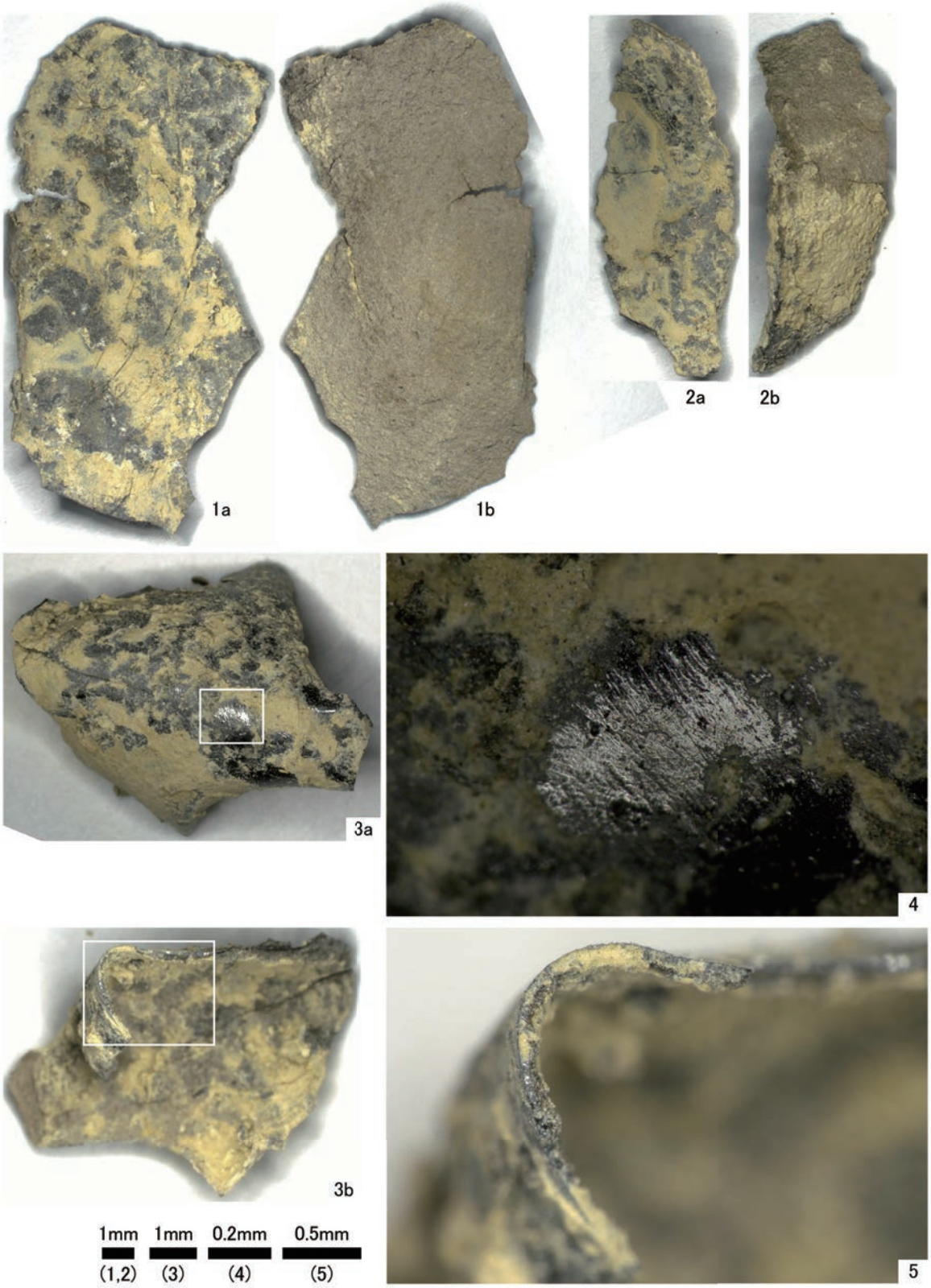
1．塗膜片の全景写真
2．塗膜断面の全景写真
3．塗膜１の拡大写真（写真２- ①部分の拡大）
4．塗膜１の赤色顔料の状態
5．塗膜２の拡大写真（写真２- ②部分の拡大）
6．塗膜２の赤色顔料の状態
7．塗膜表面に見られる加工の痕跡（写真２- ③部分の拡大）
8．塗膜１と塗膜２の境界の状況（写真２- ④部分の拡大）

図版 58　漆塗膜



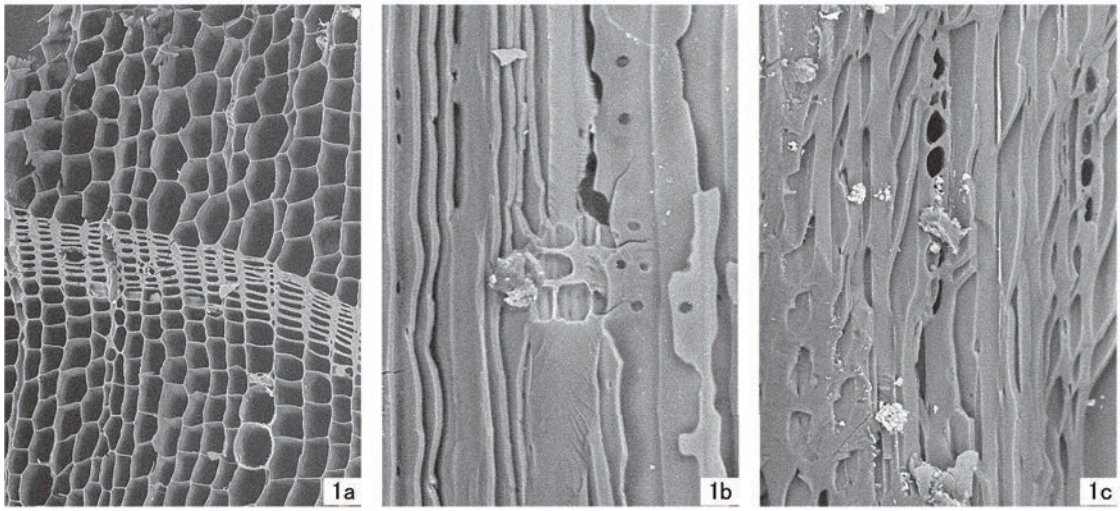
1．堆朱（彫漆）
2．花文様の浮き彫り（破線）深度合成画像（１ａの拡大）
3．花文様の浮き彫り３Ｄ合成画像（反転）
4．繊維製品（２枠線部分の拡大）

図版 59　堆朱（彫漆）



1～3．塗膜片？
4．塗膜片？の表面（３ａ枠線部の拡大）
5．塗膜片？の断面（３ｂ枠線部の拡大）

図版 60　塗膜片？



1.ヒノキ科
a:木口,b:柾目,c:板目

100μm:a
100μm:b,c

図版 61　炭化材

同間隔の菱形状を呈し、対角線の長径は 0.9mm、短径 0.4mm 程度を測る。「菱四ツ目編み」と考えられる（図版 62 － 1 b、２、４）。素材は未同定である。

●繊維製品（編布）（図版 63）

微細な破片が 50 点以上（0.08g）確認された。炭化しており黒色を呈し、最大 6.3mm を測る。複数の繊維をよじって作製された多数の糸が交互に交わるように編まれており、縁部も巻き込んで編まれている（図版 63 － 2、5、6）。一本の糸は、径 0.01mm や 0.3mm など、太さが異なるものがみられることから、複数の繊維製品に由来すると考えられる。素材は未同定で、上述の編組製品の素材とは異なる繊維植物に由来すると推定される。編み方の技法の詳細も未検討で、縁部と内部では技法が異なると推定される。

●動物遺存体

骨片は 4 点（0.02g）確認され、最大 7.0mm を測る。貝類は巻貝類主体で 0.19g が確認され、最大 6.6mm を測る。

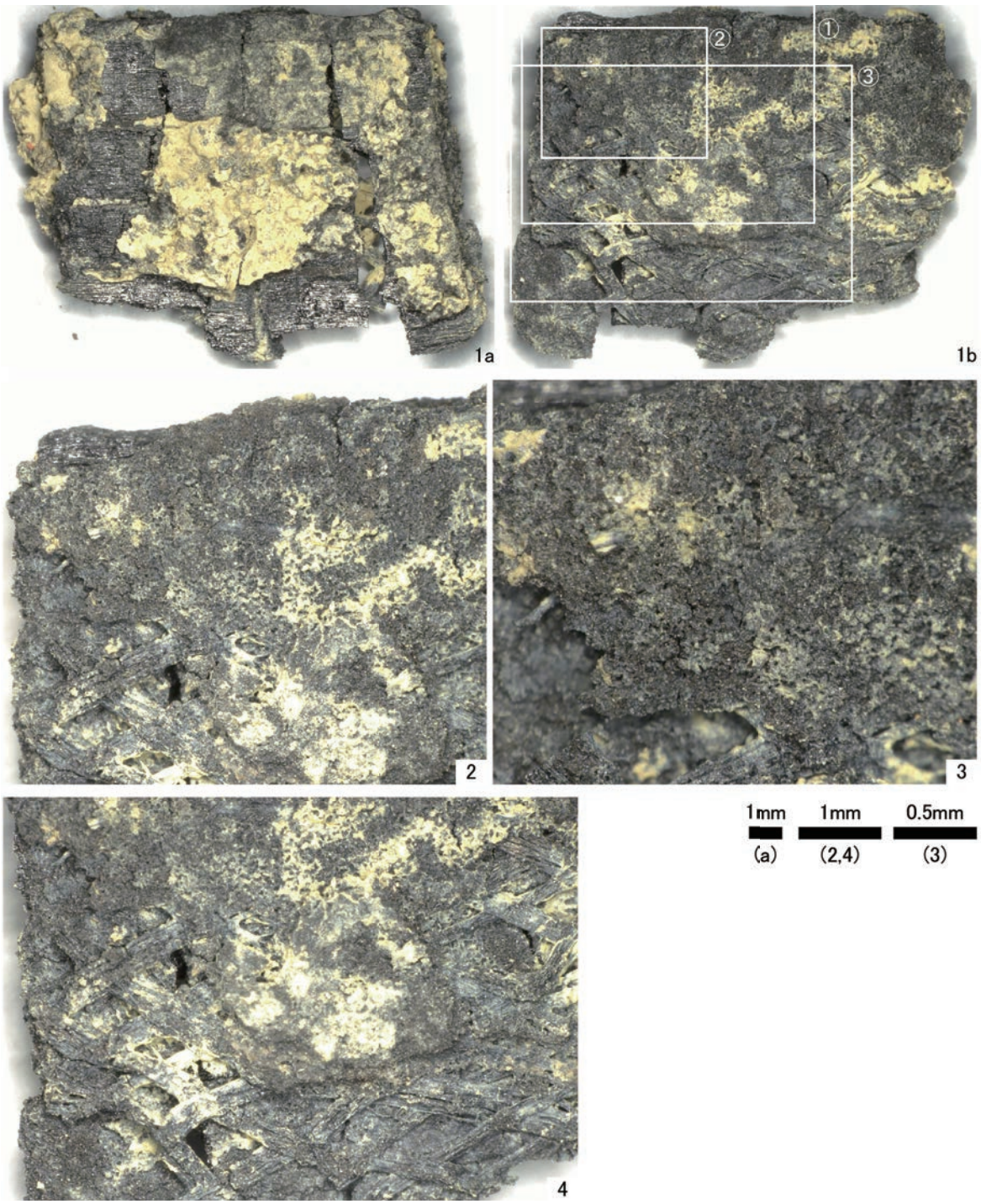
●その他・残渣

種類、部位不明（塗膜片の可能性）の炭化物が 0.62g と、径 0.5 ～ 2 mm の炭化物主体の残渣が 0.48g、石灰岩片などの砂礫主体の残渣が 37.16g 確認された。

（4）考察

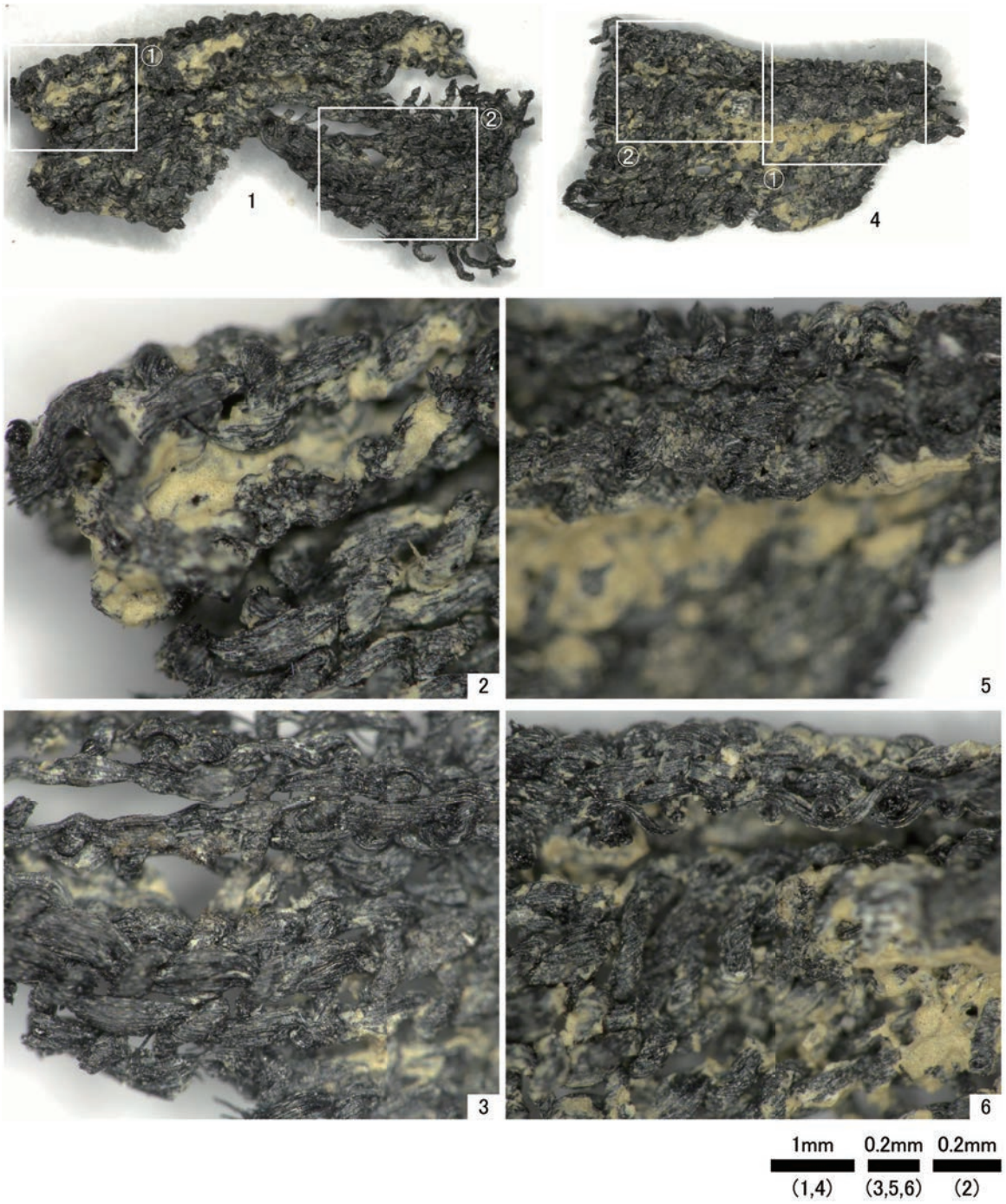
堆朱と考えられる遺物の取り上げ時に採取された土壌を洗い出した結果、堆朱（彫漆）、塗膜片？、炭化材、炭化材・編組製品（敷物？）、繊維製品（編布）、動物遺存体（骨片、貝類）などの微細な遺物が確認された。

堆朱（彫漆）は、わずか 3.5mm の微細な破片であるが、花の文様の浮き彫りが確認されることから、明らかな人工遺物と判断され、堆朱と考えられる遺物の一部に由来する可能性がある。文様は鋭利な刃物で緻密に彫られており、非常に高度な技術を用いて加飾を施したと推測される。



1．有機物（a）、炭化材（a）、編組製品（b）、有機物（b）の順に薄層が重なる状況
2．編組製品に重なる有機物の薄層（1 b①部分の拡大）　　3．有機物の薄層（1 b②部分の拡大）
4．編組製品部分（1 b③部分の拡大）

図版 62　炭化材・編組製品（敷物？）



1．繊維製品（編布）概観
2．繊維製品（編布）縁部（1-①部分の拡大）
3．繊維製品（編布）内部（1-②部分の拡大）
4．繊維製品（編布）概観
5．繊維製品（編布）縁部（2-①部分の拡大）
6．繊維製品（編布）縁部～内部（2-②部分の拡大）

図版 63　繊維製品（編布）

炭化した編組製品や繊維製品（編布）も、堆朱と考えられる遺物に伴う可能性が高く、敷物や梱包材などに由来すると推定される。今後、素材の推定や編組技法の解明が望まれる。

炭化材は、堆朱の木地に由来する可能性があると考えられている。抽出した５点は全てヒノキ科であり、同定対象外とした炭化材の多くも針葉樹材であった。この結果から、堆朱の木地として針葉樹のヒノキ科が利用された可能性がある。ヒノキ科は、一般的に木理が通直で割裂性・耐水性が高く、加工は容易である。日本では、ヒノキ、サワラ、アスナロの有用材が含まれる。沖縄県には、オキナワハイネズが分布するが、常緑低木であり、漆器の木地として利用できるような木材は得られないことから、今回のヒノキ科は島外から持ち込まれた可能性が高い。堆朱の木地の可能性を考慮すれば、中国等に生育するヒノキ科に由来する可能性がある。

引用文献

Richter H.G.,Grosser D.,Heinz I. and Gasson P.E.（編）,2006, 針葉樹材の識別　IAWA による光学顕微鏡的特徴リスト . 伊東　隆夫・藤井　智之・佐野　雄三・安部　久・内海　泰弘（日本語版監修）, 海青社 ,70p.［Richter H.G.,Grosser D., Heinz I. and Gasson P.E.(2004)IAWA List of Microscopic Features for Softwood Identification］.

島地　謙・伊東　隆夫 ,1982, 図説木材組織 . 地球社 ,176p.

5　保存処理工程

①洗浄→②強化→③接合・補填の工程で行った。

①洗浄作業

水で湿らせながら、竹串や筆を使って洗浄を行った。漆膜は竹串で触れただけで亀裂が入るほど脆弱になっており、特に危険な部位は無理に行わず、現状にとどめた。

遺物全体の構造を明らかにするため堆積した土壌は取り除き、漆膜下層に見られる炭化材をすべて検出した。炭化材は一部形状を保っているが原状に復旧できる状態では無い。

洗浄作業

内部の炭化材

洗浄後拡大

②強化

脆弱になった漆膜の強化と劣化防止を図ってパラロイドB-72・５％キシレン溶液を使用して強化を行った。強化→乾燥を状態に応じて２～３度繰り返した。特に脆い箇所は付着した土壌ごと樹脂を浸漬させ、遺物が強化された後に土壌のみを取り除いた。

③接合・補填

接合可能な箇所については、エポキシ系接着剤（クイック５）を使用して接合を行った。形状が特定できる箇所はエポキシ系パテで補填を行い、散逸した破片をひとつずつ接合した。遺物に厚みが無く、不安定な箇所にはパテで厚みを足して補強した。

接合状況

６　おわりに

今回、保存処理を行った遺物は漆製品のなかで「堆朱」とよばれる技法によって製作されたものと推定できる。非常に軟質で薄い材質であるが漆の持つ、薬品に影響されない特性から強化処理が可能であった。

炭化の状態から見ると遺物の３分の１程度は焼失したと思われ、すべての破片を接合したとしても完形になるほどでなかった。また変形も著しく、現状に戻すには全体の解体が必要となるため、安全を考慮して今回は変形した状態を復元している。

処理後の上面観

第２節　遺構埋土等の自然科学分析

パリノ・サーヴェイ株式会社

１　はじめに

首里城は沖縄県那覇市に所在している。首里城は内郭（内側城郭）と外郭（外側城郭）に大きく分けられ、内郭は 15 世紀初頭に、外郭は 16 世紀中期に完成したとされている。当社では以前から自然科学分析を実施しており、情報を蓄積してきた。今回対象とした御内原東地区は、内郭内の正殿の東側に位置し、国王やその家族及びそれらに仕える多くの女官たちが生活する場所とされている。

本報告では、遺構の年代観、用途・内容物推定、周辺環境の検討などを目的として、放射性炭素年代測定、花粉分析・寄生虫卵分析、微細物分析、炭化材同定を実施する。また、検出された布状物質の検討を目的として、電子顕微鏡写真撮影･マイクロスコープ観察を実施する。さらに、検出された漆器を対象に、漆顔料等の検討を目的として、漆の産地同定、蛍光 X 線分析、薄片作成鑑定を実施する。

２　遺構の検討

①試料

対象は、ピット６の１層および落ち込み３の１層である。ピット６の１層は 14cm × 12.5cm × 10cm 程度の塊状で採取されており、瓦片、磁器片、炭化材などが表面に確認できた。周りを埋めているのは暗灰色シルトが主体であり、炭化物、白色物質などが含まれる。落ち込み３の１層からは、炭化材が試料として供されている。

炭化材は、ピット６の１層、および落ち込み３の１層より、それぞれ１点を採取した。この２点について放射性炭素年代測定を、落ち込み３の１層の１点について炭化材同定を実施する。また、ピット６の１層の暗灰色シルト１点について花粉分析・寄生虫卵分析を、埋土全体に関して微細物分析を実施する。

②分析方法

（１）放射性炭素年代測定

分析試料は AMS 法で実施する。試料表面の汚れや付着物をピンセット、超音波洗浄などにより物理的に除去する。次に塩酸や水酸化ナトリウムを用いて、試料内部の汚染物質を化学的に除去する (酸―アルカリ―酸処理：AAA)。その後超純水で中性になるまで洗浄し、乾燥させる。なお、アルカリ処理は、0.001M ～ 1 M まで濃度を上げ、試料の様子をみながら処理を進める。 1 M の水酸化ナトリウムで処理が可能であった場合は AAA と記す。一方、試料が脆弱で 1 M の水酸化ナトリウムでは試料が損耗し、十分な炭素が得られないと判断された場合は、薄い濃度の水酸化ナトリウムの状態で処理を終える。その場合は AaA と記す。

精製された試料を燃焼して CO_2 発生させ、真空ラインで精製する。鉄を触媒とし、水素で還元してグラファイトを生成する。処理後のグラファイト・鉄粉混合試料を内径 1 mm の孔にプレスし、測定試料とする。

測定はタンデム加速器をベースとした 14C-AMS 専用装置を用いて、14C の計数、13C 濃度 (13C/12C)、14C 濃度 (14C/12C) を測定する。AMS 測定時に、標準試料とバックグラウンド試料の測定も行う。

δ 13C は試料炭素の 13C 濃度 (13C/12C) を測定し、基準試料からのずれを千分偏差 (‰) で表したものである。

放射性炭素の半減期は LIBBY の半減期 5,568 年を使用する。また、測定年代は 1950 年を基点とした年代（BP）であり、誤差は標準偏差（One Sigma;68%）に相当する年代である。測定年代の表示方法は、国際学会での勧告に従う（Stuiver and Polach,1977）。また、暦年較正用に一桁目まで表した値も記す。

暦年較正に用いるソフトウエアは、RADIOCARBON CALIBRATION PROGRAM CALIB REV7.1.0、較正曲

線は Intcal13（Reimer et al.,2013）である。

暦年較正とは、大気中の 14C 濃度が一定で半減期が 5568 年として算出された年代値に対し、過去の宇宙線強度や地球磁場の変動による大気中の 14C 濃度の変動、及び半減期の違い（14C の半減期 5730 ± 40 年）を較正することによって、暦年代に近づける手法である。較正のもとになる直線は暦時代がわかっている遺物や年輪（年輪は細胞壁のみなので、形成当時の 14C 年代を反映している）等を用いて作られており、最新のものは 2013 年に発表された Intcal13（Reimer et al.,2013）である。また、較正年代を求めるソフトウエアはいくつか公開されているが、今回は CALIB を用いる。なお、年代測定値に関しては、国際的な取り決めにより、測定誤差の大きさによって値を丸めるのが普通であるが（Stuiver and Polach,1977）、将来的な較正曲線ならびにソフトウエアの更新に伴う再計算ができるようにするため、表には丸めない値（1 年単位）を記す。また、中央値は、確率分布の面積が二分される値を年代値に換算したものである。

（2）花粉分析・寄生虫卵分析

試料 10cc を正確に秤り取る。これについて水酸化カリウムによる泥化、篩別、重液（臭化亜鉛，比重 2.3）による有機物の分離の順に物理・化学的処理を施し、花粉・胞子および寄生虫卵を分離・濃集する。処理後の残渣を定容してから一部をとり、グリセリンで封入してプレパラートを作製し、400 倍の光学顕微鏡下でプレパラート全面を走査して出現する全ての花粉・胞子と寄生虫卵について同定・計数する。同定に際しては、当社保有の現生標本の他、花粉化石は島倉（1973）、中村（1980）、藤木・小澤（2007）、三好ほか（2011）等を、寄生虫卵は佐伯ほか（1998）、斉藤・田中（2007）等を参考にする。

結果は、花粉・胞子化石については同定および計数結果の一覧表として、寄生虫卵については 1 cc あたりに含まれる寄生虫卵の個数として表示する。寄生虫卵の個数については有効数字を考慮し、10 の位を四捨五入して 100 単位に丸める。

（3）微細物分析

土壌試料から炭化物等の遺物を可能な限り壊さずに回収するために、以下の方法を実施する。

a．水洗前抽出

試料を常温乾燥後、肉眼観察で確認された炭化種実や炭化材、動物遺存体等の遺物を抽出する。

b．水洗

乾燥後の試料を、水を満たした容器に投入し、容器を傾けて浮いた炭化物を粒径 0.5mm の篩に回収する。容器内の残土に水を入れて軽く攪拌し、容器を傾けて炭化物を回収する作業を炭化物が浮かなくなるまで繰り返す（20 回程度）。残土を粒径 0.5mm の篩を通して水洗する。篩に回収された炭化物主体の試料と、0.5mm 篩水洗後の残土（砂礫主体）を、それぞれ粒径 4 mm、2 mm、1 mm の篩を通し、粒径別に常温乾燥させる。

c．抽出

水洗乾燥後、粒径の大きな試料から順に双眼実体顕微鏡下で観察し、ピンセットを用いて、同定が可能な炭化種実、炭化材（主に径 2 mm 以上）、骨貝類、人工遺物等を抽出する。抽出物は、個数または重量、一部は最大径を計測し、結果を一覧表で示す。分析残渣は、炭化材主体と砂礫主体に大まかに分け、粒径別の重量を計測し、結果を一覧表に併記する。分析後は、抽出物と分析残渣を容器に入れて保管する。

d．種実同定

炭化種実の同定は、現生標本を参考に実施する。分析後は、炭化種実を容器に入れて保管する。

（４）炭化材同定

試料を自然乾燥させた後、木口（横断面）・柾目（放射断面）・板目（接線断面）の３断面の割断面を作製し、実体顕微鏡および走査型電子顕微鏡を用いて木材組織の種類や配列を観察し、その特徴を現生標本と比較して種類（分類群）を同定する。

なお、木材組織の名称や特徴は、島地・伊東（1982）や Richter 他（2006）を参考にする。

③結果

（１）放射性炭素年代測定

同位体効果による補正を行った測定結果を第 70 表に、暦年較正結果を第 71 表に示す。試料の測定年代（補正年代）は、ピット６の１層出土炭化材が 170 ± 30BP、落ち込み３の１層出土炭化材が 110 ± 30BP の値を示す。

測定誤差を２σとして計算させた結果、ピット６の１層は calAD 1,664 ～ 1,950(以降)、落ち込み３は calAD 1,682 ～ 1,936 であり、中央値はピット６の１層が calAD 1,767、落ち込み３が calAD 1,836 である。

第 70 表　放射性炭素年代測定結果

遺構名	層位	種類	処理	補正年代 BP	$\delta^{13}C$ (‰)	測定年代 BP	Code No.
御内原東 Pit1	埋土1	炭化材	AAA	170±30	−24.23±0.34	160±20	IAAA−151615
御内原東 階段2・石積8間	黒褐色土	炭化材	AAA	110±30	−23.88±0.60	100±20	IAAA−151616

1)年代値の算出には、Libbyの半減期5,568年を使用。
2)BP年代値は、1950年を基点として何年前であるかを示す。
3)付記した誤差は、測定誤差σ(測定値の68%が入る範囲)を年代値に換算した値。

第 71 表　暦年較正結果

試料名	補正年代 (BP)	暦年較正年代						Code No.
			年代値		相対比	中央値		
御内原東 Pit1 埋土1	167±25	σ	cal AD 1,669 − cal AD 1,684	cal BP 281 − 266	0.162	calAD 1,767	IAAA−151615
			cal AD 1,733 − cal AD 1,780	cal BP 217 − 170	0.562		
			cal AD 1,798 − cal AD 1,807	cal BP 152 − 143	0.100		
			cal AD 1,929 − cal AD 1,945	cal BP 21 − 5	0.177		
		2σ	cal AD 1,664 − cal AD 1,696	cal BP 286 − 254	0.181		
			cal AD 1,725 − cal AD 1,814	cal BP 225 − 136	0.573		
			cal AD 1,836 − cal AD 1,845	cal BP 114 − 105	0.014		
			cal AD 1,850 − cal AD 1,876	cal BP 100 − 74	0.038		
			cal AD 1,917 − cal AD 1,950+	cal BP 33 − 0	0.194		
御内原東 階段2・石積8間 黒褐色土	114±25	σ	cal AD 1,691 − cal AD 1,709	cal BP 259 − 241	0.157	calAD 1,836	IAAA−151616
			cal AD 1,717 − cal AD 1,728	cal BP 233 − 222	0.097		
			cal AD 1,811 − cal AD 1,828	cal BP 139 − 122	0.145		
			cal AD 1,831 − cal AD 1,889	cal BP 119 − 61	0.509		
			cal AD 1,910 − cal AD 1,920	cal BP 40 − 30	0.093		
		2σ	cal AD 1,682 − cal AD 1,737	cal BP 268 − 213	0.290		
			cal AD 1,757 − cal AD 1,761	cal BP 193 − 189	0.007		
			cal AD 1,803 − cal AD 1,936	cal BP 147 − 14	0.703		

1)計算には、RADIOCARBON CALIBRATION PROGRAM CALIB REV7.1.0(Copyright 1986−2015 M Stuiver and PJ Reimer)を使用。
2)計算には表に示した丸める前の値を使用している。
3)1桁目を丸めるのが慣例だが、暦年較正曲線や暦年較正プログラムが改正された場合の再計算や比較が行いやすいように、1桁目を丸めていない。
4)統計的に真の値が入る確率はσは68%、2σは95%である。
5)相対比は、σ、2σのそれぞれを1とした場合、確率的に真の値が存在する比率を相対的に示したものである。
6)中央値は、確率分布図の面積が二分される値を年代値に換算したもの。

（２）花粉分析・寄生虫卵分析

結果を第 72 表に示す。ピット６の１層からは、花粉化石やシダ類胞子などの産出は少なく、堆積物 1 cc あたり約 200 個程度であった。わずかに検出されたのは、草本花粉のイネ科とシダ類胞子が数個体程度である。

一方、寄生虫卵については、１個体も検出されなかった。

第 72 表　花粉分析・寄生虫卵分析結果

種　類	Pit1 埋土1
草本花粉	
イネ科	4
シダ類胞子	
シダ類胞子	6
合　計	
木本花粉	0
草本花粉	4
シダ類胞子	6
合計	10
寄生虫卵数(個/cc)	0
花粉・胞子数(個/cc)	200

1)寄生虫卵数、花粉・胞子数については、10の位を四捨五入して100単位に丸めている。

第 73 表　微細物分析結果

		Pit1 埋土1		
分類群・部位	状態	(個)	(g)	備考
炭化種実				
イネ 胚乳	完形	1	0.01	状態不良
炭化材	>4mm	−	2.44	最大26.3mm
	4−2mm	−	0.74	
炭化材主体	2−1mm	−	0.90	
	1−0.5mm	−	1.48	
不明炭化物		−	0.14	
骨貝類				
二枚貝類	完形	1	1.83	
巻貝類	完形	87	0.13	
	破片	6	0.50	
貝類	破片	13	0.34	
骨片	破片	15	0.10	最大9.2mm
魚類 鱗	破片	3	0.00	
ウニ類 棘	破片	6	0.04	
人工遺物				
布製品(炭化)		3	0.01	最大6.2mm
金属製品		3	0.05	最大7.5mm,磁着
ガラス片		15	0.37	最大9.6mm
陶磁器片		1	2.61	径30.4mm
土器片		5	0.99	最大15.6mm
不明物質		2	0.04	最大7.3mm
砂礫主体	>4mm	−	39.25	サンゴ片含む
	4−2mm	−	10.49	サンゴ片含む
	2−1mm	−	6.64	骨貝微細片含む
	1−0.5mm	−	4.87	骨貝微細片含む
分析量		−	210	

（３）微細物分析

結果を第 73 表に示す。試料 210g より、炭化種実 1 個 0.01g(栽培種のイネの胚乳)、炭化材 3.2g（最大 2.6cm）、不明炭化物 0.1g、二枚貝類が 1 個 1.8g、巻貝類が 93 個 0.6g、貝類の破片が 13 個 0.34g、骨片が 15 個 0.1g（最大 0.9cm）、魚類の鱗が 3 個 0.01g 未満、ウニ類の棘が 6 個 0.04g、炭化した布製品が３個0.01g(最大0.6cm)、金属製品が３個0.1g（最大 0.7cm）、ガラス片が 15 個 0.4g（最大 1.0cm）、陶磁器片が 1 個 2.6g（径 3.0cm）、土器片が 5 個 1.0g（最大 1.6cm）、不明物質が 2 個 0.04g（最大 0.7cm）検出された。分析残渣は、炭化材主体（２～ 0.5mm; 砂礫等含む）が 2.4g、砂礫主体（サンゴ片・骨貝微細片含む）が 61.3g を量る。

（４）炭化材同定

炭化材は、年代測定に用いた炭化材から分割した小破片と、樹種同定用の板目板状の破片の２片があり、２片とも針葉樹のヒノキ科に同定された。解剖学的特徴等を記す。

●ヒノキ科（Cupressaceae）

軸方向組織は、観察した範囲では仮道管のみで構成される。仮道管の早材部から晩材部への移行は緩やか～やや急で、晩材部の幅は狭い。仮導管内壁にらせん肥厚は認められない。放射組織は柔組織のみで構成される。分野壁孔は、ヒノキ型、トウヒ型、スギ型のいずれかであるが、破損しており詳細は不明である。放射組織は単列、１－ 10 細胞高。

樹脂細胞が認められないが、その他の特徴からヒノキ科のいずれかと考えられる。

④考察

（１）遺構の年代観

遺構より採取された炭化材について放射性炭素年代測定を実施した結果、ピット６の１層が補正年代で 170 ± 30BP、暦年代で calAD 1,664 ～ 1,950 以降（中央値 :calAD 1,767）、落ち込み３の１層が補正年代で 110 ± 30BP、暦年代で calAD 1,682 ～ 1,936（中央値 : calAD 1,836）であった。

過去に実施した年代測定では、御内原北地区で 760 ～ 360BP（暦年代で 13 世紀末～ 17 世紀前半）、東のアザナ北地区で 630 ～ 450BP（暦年代で 13 世紀末～ 15 世紀後半）などの値が得られており、今回の結果は、これまでとくらべると新しい年代を示す。首里城が 1429 年から 1879 年まで琉球王国の王宮として利用されていたことから、得られた中央値などを参考とすると、今回対象としたピット６は 18 世紀後半、落ち込み３は 19 世紀前半の遺構と推測され、琉球王国後期～末期に利用されていた可能性が指摘される。

（２）遺構の利用状況

ピット６の１層における花粉分析結果を見ると、保存状態の悪いイネ科がわずかに検出される程度である。一般的に花粉やシダ類胞子の堆積した場所が、常に酸化状態にあるような場合、花粉は酸化や土壌微生物によって分解・消失するとされている（中村 ,1967; 徳永・山内 ,1971; 三宅・中越 ,1998 など）。ピットという性状を考えると、内部は好気的環境下であった可能性が容易に想定できることから、周辺から混入した花粉は分解・消失したと考えられる。

寄生虫卵は今回１個体も検出されなかった。寄生虫卵の分解に対する抵抗性が花粉化石と同程度とされていることから（黒崎ほか ,1993）、花粉化石の産状を考慮すると寄生虫卵も分解の影響を受けている可能性がある。

また、微細物分析結果をみると、炭化種実、炭化材、二枚貝類、巻貝類、骨片、魚類の鱗、ウニ類の棘、炭化した布製品、金属製品、ガラス片、陶磁器片、土器片などの遺物が検出された。いずれの遺物も、当時利用された生活残滓と推測される。炭化種実は､栽培種のイネの胚乳（炭化米）に同定された。イネは、当社がこれまでに実施してきた分析調査においても、東のアザナ北地区の炭集中部より炭化した穎が確認されている。イネは当時利用された植物質食糧と示唆され、火を受けたとみなされる。

以上の結果を考慮すると、ピット６は貯蔵穴やトイレ遺構といった可能性は低く、ゴミ穴的用途で利用されていた可能性が指摘される。

一方、落ち込み３から出土した炭化材は、板目板状を呈しており、針葉樹のヒノキ科に同定された。日本のヒノキ科には、ヒノキ、サワラ、アスナロ等の有用材を含む４属９種がある。また、中国や台湾などにもヒノキ科に含まれる種類が分布している。このうち、沖縄にはオキナワハイネズ１種のみが分布するが、海岸において幹が地に伏して匍う小高木であり、用材として利用するのには適さない。したがって、今回のヒノキ科は、外部から沖縄に持ち込まれた木材の可能性がある。

ヒノキ科の木材は、一般に木理が通直で割裂性・耐水性が高い。持ち込まれたヒノキ科の木材が、何らかの木製品や器具材等に利用されていたことが推定される。炭化材は板目板状を呈しているが、炭化しており表面の加工痕等が確認できないこと、炭化して脆くなると年輪部分で割れて板目板状になりやすいこと等から、利用時の形状等の詳細は不明である。

なお、沖縄県内では、浦添ようどれ（浦添市）のグスク時代の瓦溜まりから出土した燃料材の可能性がある炭化材にヒノキ科が確認された例がある（伊東・山田 ,2012）。また、琉球大学風樹館蔵に収蔵されている百按司墓（今帰仁村）から出土したグスク時代の漆塗板厨子が、同じく沖縄に分布していないスギ科に同定された例もある。

３　布状物質の検討

①試料

分析試料は、ピット６の１層から採取されている。２袋あり、１袋は炭化した布が中心、もう片方は塊状の炭化物中心である。この２点について、電子顕微鏡写真撮影・マイクロスコープ観察を実施する。

②分析方法

まずは、双眼実体顕微鏡で遺物を観察し、状態の違う３種類を選ぶ。選択試料は、図版に示す炭化した布（試料１）、炭化した布が癒着した塊（試料２）、炭化した布（試料３）と植物遺体（試料４）が癒着して炭化した塊の３つである。選択した３試料をデジタルマイクロスコープで直接観察する。また、外れかかっている端の部分の布および植物遺体をとり電子顕微鏡用の試料を作成する。金で蒸着後観察する。マイクロスコープならびに電子顕微鏡観察の結果から、素材を同定する。

③結果および考察

図版 65 ～ 68 に写真を掲載する。以下に観察結果を述べる。

試料１は、目の粗い織物である。撚糸の太さは0.4mm程度。平織りで織目は粗い。繊維の鑑定法としては、燃え方や薬品に対する耐性などを調べる方法、繊維の形状の顕微鏡観察、染色の違いにより判別する方法などが存在する。今回は炭化し、化学成分が変わっているため顕微鏡観察のみで鑑定する必要がある。電子顕微鏡ならびにマイクロスコープの観察の結果をみると、繊維１本が長く均質である、断面が不規則で丸みを帯びた多角形を示す、繊維の断面に二重構造（芯のようなもの）がみられる、細い（10 μ m 程度）等の特徴がある。このような特徴をもつ繊維は絹糸であることから、絹織物が炭化したものといえる。

試料２も同じく絹糸を素材とした絹織物である。こちらは織目が細かく、撚糸の太さも 0.2mm 程度と細い。縦糸２本に対して横糸１本を通す綾織りであり、試料１とは織り方が異なる。

試料３は、試料２と繊維の素材、撚糸の太さや、織り方共に同じと思われるが、保存状態が悪く見えにくい。

試料４は、元のツル植物を１mm 程度の繊維状に裂けた（あるいは加工しやすくするため人為的に裂いた）ものではないかと思われる。不規則に癒着しており、本来どのような状態で使われていたのかは不明である。綾織りの絹織物と癒着するが、保存が悪くその関係性は不明である。電子顕微鏡像でみられるように、導管がみられるが、放射組織がない。断面の導管も、変形、萎縮が著しく細かな構造は不明である。このことから、つる植物の茎であることは確かだが、種類は不明である。

４　漆器の検討

①試料

落ち込み３出土遺物について、漆製品のプロトコルに基づいて分析を進めた。すなわち、１）試料の表裏を写真撮影（クリーニング前）　２）蛍光Ｘ線分析（クリーニング前）　３）色の分析　４）クリーニング：熱分解－ガスクロマトグラフィー／質量分析（Py-GC/MS）　５）断面分析（クロスセクション分析）　６）年代測定試料採取、測定試料調製、年代測定　７）蛍光Ｘ線分析（クリーニング後）であるが、今回は、試料の量を考慮して、３）および６）以下を割愛した。また、今回の分析から、色空間の分析を行っている。なお、漆の成分分析に関しては、東京大学総合研究博物館・吉田邦夫氏、明治大学理工学部・本多貴之氏、十日町市教育委員会・宮内信雄氏の協力を得た。

②分析方法

（１）蛍光Ｘ線による顔料などの成分元素の分析

エネルギー分散型蛍光Ｘ線分析装置を用いて、定性分析により元素の同定を行い、ファンダメンタル・パラメーター法（FP 法）を用いて、元素の存在比を半定量的に求めた。

使用機材と条件：

●堀場製作所製　X 線分析顕微鏡　XGT-2700

管電圧 50kV、管電流（1.0mA）（100μm φの線束）、

測定時間 1000 秒（ライブタイム）

●日本電子社製　蛍光X線元素分析装置　JSX-3201

管電圧 30kV、管電流（自動）（2 mm φの線束）、

測定時間 1000 秒（ライブタイム）、マイラー膜を使用

３点の資料の漆塗膜の成分分析を、蛍光X線分析により行った。提供された資料は、いずれも大きな破片がさらに細片化している状態であった。その中から保存状態の良好そうな 1 点ずつを選んで、分析を行った。

また、塗膜の現状を確認するために、デジタル顕微鏡（KEYENCE 社製　VHX-500F）による、観察・撮影も合わせて行った。

（２）漆塗膜の成分分析

漆塗膜の主成分ウルシオールなどの有機の分析には、Py-GC/MS（熱分解ガスクロマトグラフィー / 質量分析法）を用いた。一般に、有機化合物の種類を決めるためには、液体クロマトグラフやガスクロマトグラフと質量分析計を組み合わせて使うことが多い。ところが、硬化した漆塗膜は、有機溶媒に溶けないので、この方法は使えない。そこで、硬い有機物を分解するために試料を数百度に加熱し、ガスにしてガスクロマトグラフに送り込む方法を使う。熱分解にはフロンティア・ラボ株式会社製ダブルショットパイロライザー EGA/PY-3030D、ガスクロマトグラフは Agilent 社製ガスクロマトグラフ HP6890N、質量分析装置は HPG 5975A、キヤピラリー分離カラムは UA-PY1(HT/MS)(100% methyl silicone, 30 m , 0.25 mm、膜厚は 0.25 μ m) を用いた。分析に用いた試料量はおおよそ 1.0 mg であった。

また、分析条件としてはこれまで漆の分析に広く利用されている条件を用いた。詳細な条件は熱分解温度 500° C、イオン化電圧は 70 eV、ガスクロマトグラフカラム温度：40° C (2 min Hold) － (12° C / min) － 320° C(10 min Hold)、インジェクション温度：280° C、インターフェイス温度：280° C、質量分析計室内温度：180° C、カラム流量：ヘリウム（1.0 mL/min）を用いた。

（３）漆塗膜の断面（クロスセクション分析）

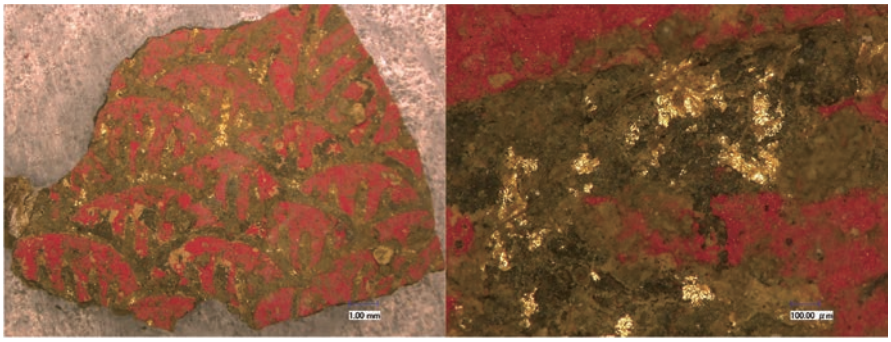
断面分析は漆の小片をエポキシ樹脂に埋め込み、硬化させた後薄くスライスして顕微鏡で観察する手法である。厚さ数μ m まで薄くすることで光を透過する様になるので、“ 下地に何を用いたか ” や “ 何層に漆を重ね塗りしたか ” などを明らかにすることが出来る。特に、薄い塗り重ねの分析などに関して有用な手法である。

③分析結果

（１）SH01

●塗膜の性状

赤色地に草花文様が彫り込まれ、沈金の手法により文様が描かれていたと考えられる。肉眼では漆膜は劣化による消失のためか確認できず、赤色顔料だけが残存する。顕微鏡観察におい



SH01 試料状況

ても漆膜は確認できなかった。また顕微鏡観察では、文様の彫り込み部に金色が確認できる箇所があった。そのため、赤色部分と、金色部分を分けて元素分析を行うことにした。金色部分は最大でも 1.5mm × 0.5mm 程度と狭小であったので、元素分析は X 線分析顕微鏡を主体に用いることとした。

●元素分析結果

金色：主要な検出元素／ Au（金）

質量比は微量であるが、Au が検出されており、沈金の材料として金箔が用いられていたと推定される。

赤色：主要な検出元素／ Hg（水銀）

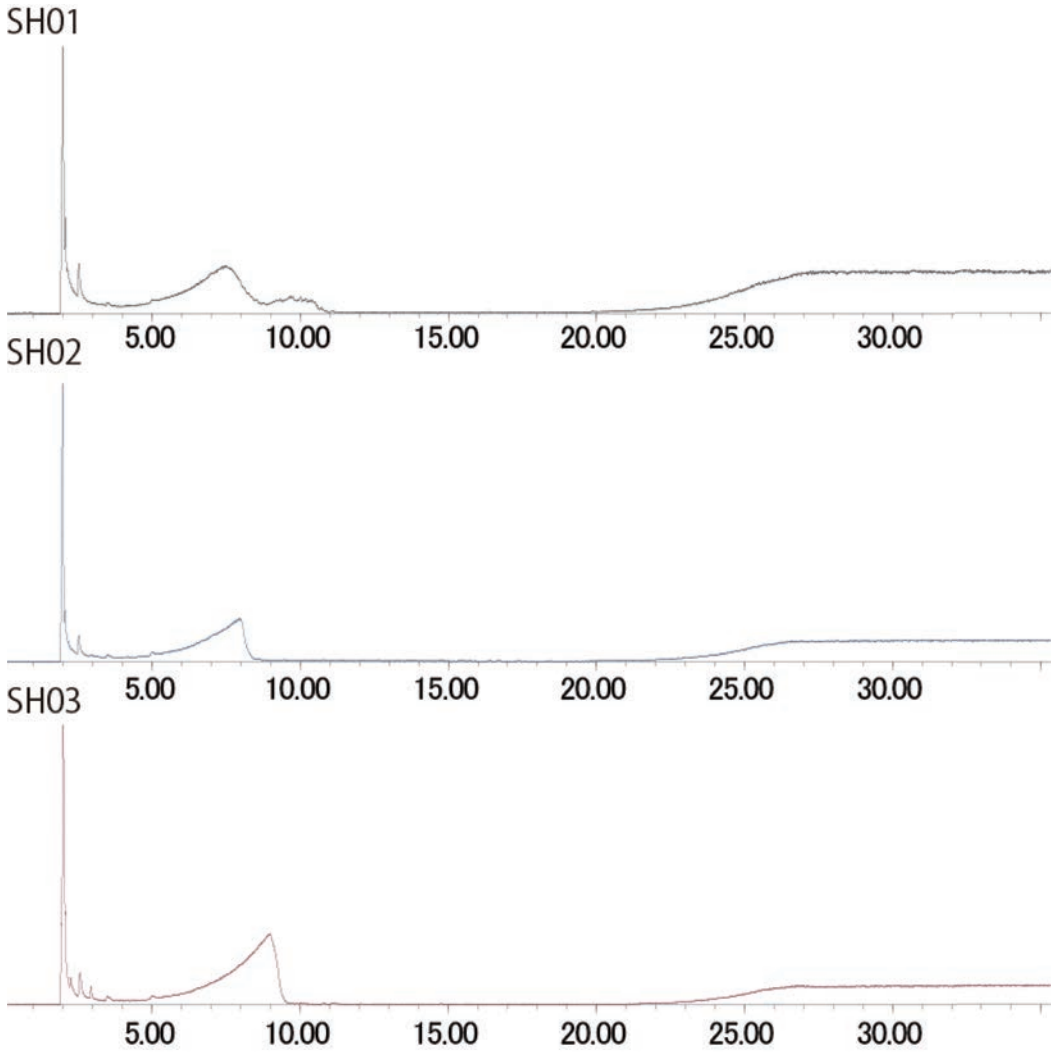
Hg が大きな圧倒的に大きな組成比を占めている。赤色顔料は水銀朱（硫化水銀 HgS）と推定される。

●漆の検出

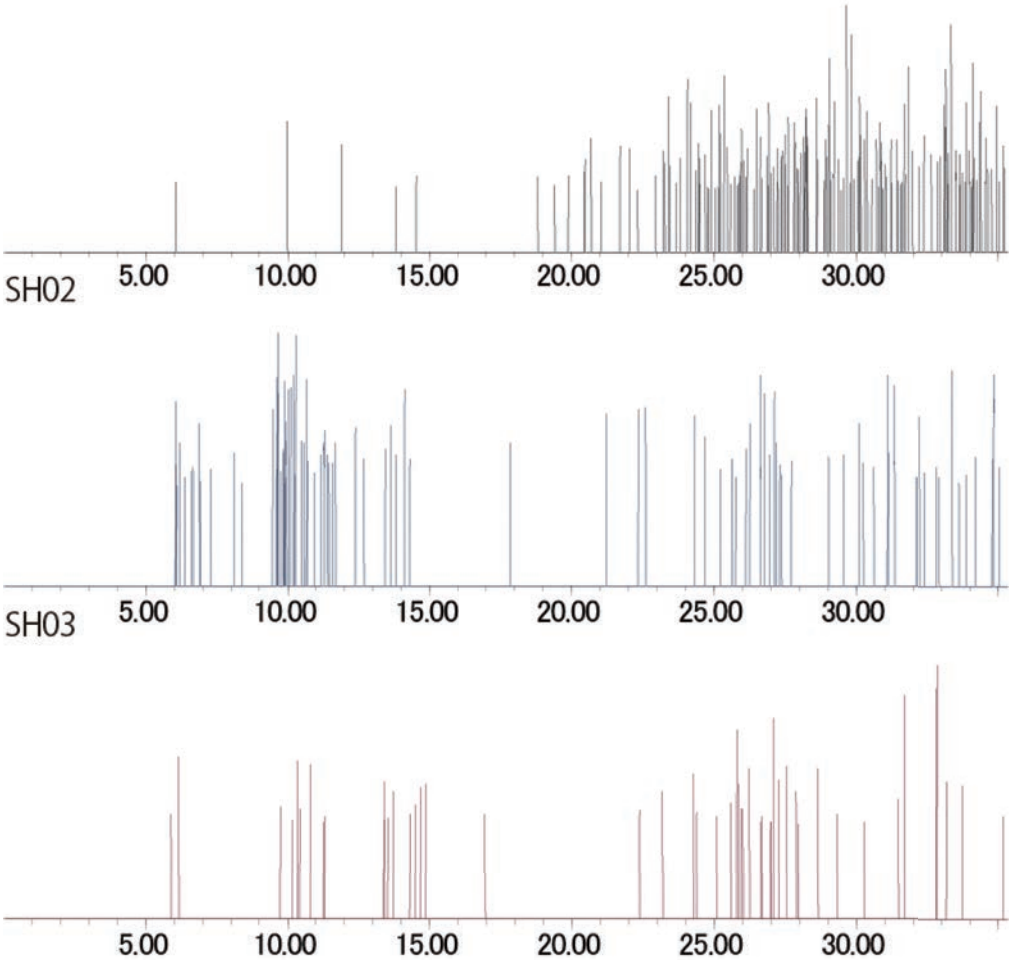
分析の結果検出された全成分のクロマトグラムを以下に示す。いずれの試料からも有機成分は検出されず、水銀のみが検出された。２分程度に検出された大きなピークは二硫化炭素および硫化水素であり，水銀朱（硫化水銀）の熱分解生成物であるとみられる。

漆の識別に用いられる m/z = 108 や乾性油に特徴的な m/z = 60 の成分は検出されず，本試料は水銀朱を試料表面に焼き付けなどで塗布したものと思われる。

全資料の Py-GC/MS のイオンクロマトグラム（第 76 図）と、m/z = 108 のクロマトグラム（第 77 図）をまとめて示す。



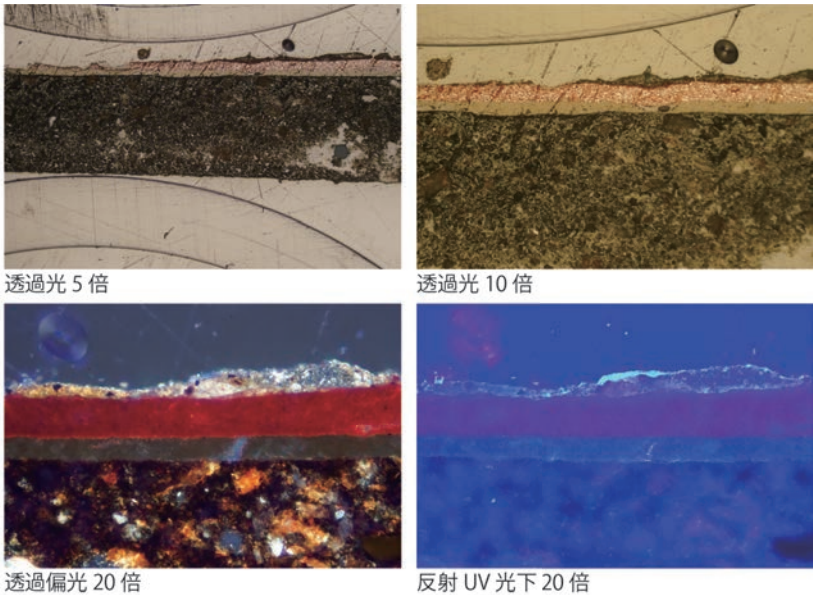
第 76 図　PY-GC/MS のイオンクロマトグラフ



第 77 図　PY-GC/MS のイオンクロマトグラフ（M/Z=108）

●断面分析

SH01 のクロスセクション画像から、最表面の赤色層下に褐色の層が確認できる。この層に対して UV 光下での観察を行ったところ、褐色層部分は黄色の蛍光を示したことから油に由来する層ではないかと推察できる。Py-GC/MS では、最表面の赤色層のみを削って測定したため、油などの成分が検出されなかったものと考えられる。



SH01 のクロスセクションの分析結果

（2）SH02

●塗膜の性状

赤色地に草花文様が彫り込まれ、沈金の手法により文様が描かれていたと考えられる。肉眼では漆膜は劣化による消失のためか確認できず、赤色顔料だけが残存する。顕微鏡観察においても漆膜は確認できなかった。また顕微鏡観察では、

文様の彫り込み部に金色が確認できる箇所があった。そのため、赤色部分と、金色部分を分けて元素分析を行うことにした。金色部分は最大でも 0.1mm 角程度であったので、元素分析は X 線分析顕微鏡を主体に用いることとした。

●元素分析結果

金色：主要な検出元素／ Au（金）

質量比はごく微量であるが、Au が検出されており、沈金の材料として金箔が用いられていたと推定される。

赤色：主要な検出元素／ Hg（水銀）

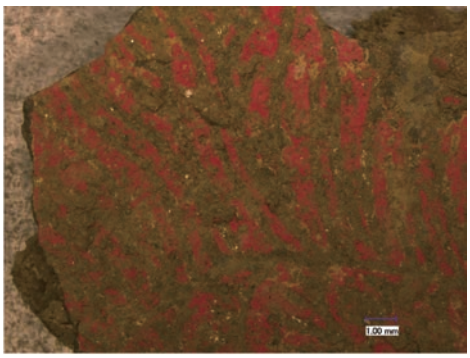
Hg が大きな圧倒的に大きな組成比を占めている。赤色顔料は水銀朱（硫化水銀 HgS）と推定される。

●漆の検出

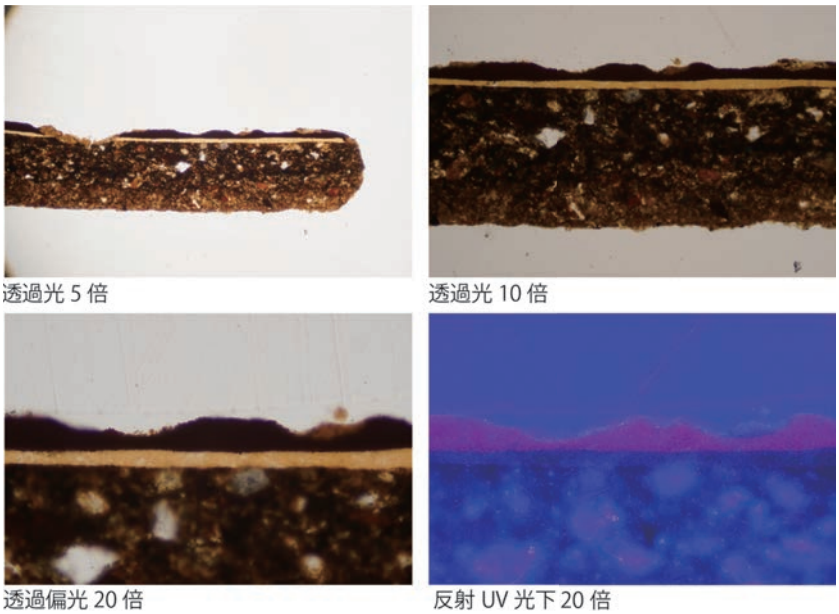
SH01 に記述した通り。

●断面分析

SH01 よりも若干薄い塗りとなっているが、層構造はほぼ同じであった。しかしながら、UV 光下での蛍光観察ではあまり蛍光を示しておらず、SH01 とは異なる材料が下地に使われている可能性が示された。



SH02 試料状況



SH02 のクロスセクションの分析結果

（3）SH03

●塗膜の性状

肉眼では漆膜は劣化による消失のためか確認できず、赤色顔料の塊として残存している。顕微鏡観察においても漆膜は確認できなかった。

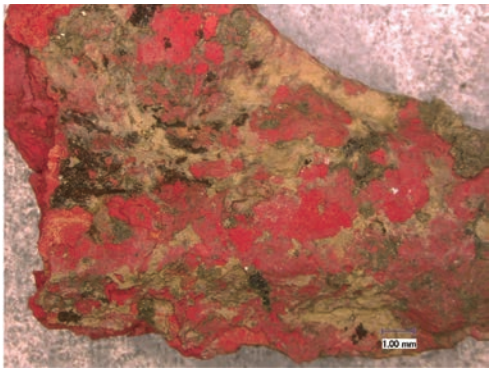
●元素分析結果（顔料などの種類）：主要な検出元素／ Hg（水銀）

Hg が大きな圧倒的に大きな組成比を占めている。赤色顔料は水銀朱（硫化水銀 HgS）と推定される。

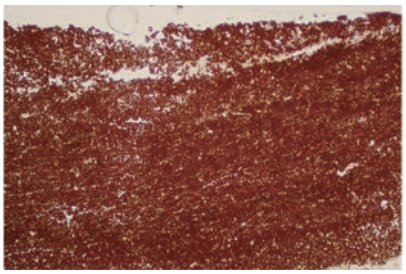
●漆の検出

SH01 に記述した通り

●断面分析 SH03 は赤色部分のみのクロスセクションを作成した。この断面の赤色粒子の隙間に若干の黄色部分が散見された。このことから、何らかのバインダーが使われていると予想できるが、Py-GC/MS では検出できなかったため、誘導体化などでより高感度に検出する、もしくは水銀を除去してから測定をする必要があると考える。



SH03 試料状況


SH03 のクロスセクションの分析結果

④考察

熱分解ガスクロマトグラフィー / 質量分析法では、全ての資料から漆成分が検出されなかった。同様に、油脂成分も検出されていない。試料に含まれる水銀（水銀朱；HgS）の含量があまりに多すぎるため、漆成分や油脂成分などを検出できなかった可能性もある。実際、SH01 のクロスセクション像で、油脂の存在が、SH03 ではバインダーの存在が推定されているが、今後の精査が必要である。

また、SH01 と SH02 は、同一試料とされているが、埋蔵状態や、原資料における試料の位置が違うためか、やや異なる塗膜構造が見られた。

SH01、SH02 は、何らかの方法で塗布（あるいは焼き付け）した水銀朱膜に、草花文の文様を彫り込み、金（金箔）を沈金したものと思われる。これは、SH01 の顕微鏡像でも確認できるし、蛍光Ｘ線分析においても、金色部分に水銀は検出されず、胎の成分と思われるアルミニウム Al、ケイ素 Si、鉄 Fe が検出されていることから、判断出来る。

発掘された他の断片資料を、すべて精査する必要がある。

引用文献

藤木利之・小澤智生 ,2007, 琉球列島産植物花粉図鑑 . アクアコーラル企画 ,155p.

伊東隆夫・山田昌久 (編),2012, 木の考古学　出土木製品用材データベース . 海青社 ,449p.

黒崎　直・松井　章・金原正明・金原正子 ,1993, 糞便堆積物の分析　－特に寄生虫卵分析について－ . 日本文化財科学会第 10 回大会研究発表要旨集，日本文化財科学会 ,115-115.

三宅　尚・中越信和 ,1998, 森林土壌に堆積した花粉・胞子の保存状態 . 植生史研究 ,6,15-30.

三好教夫・藤木利之・木村裕子 ,2011, 日本産花粉図鑑 . 北海道大学出版会 ,824p.

中村　純 ,1967, 花粉分析 . 古今書院 ,232p.

中村　純 ,1980, 日本産花粉の標徴　Ⅰ　Ⅱ (図版). 大阪市立自然史博物館収蔵資料目録　第 12,13 集 ,91p.

Reimer J Paula • Bard Edouard • Bayliss Alex •Beck J Warren • Blackwell G Paul • Ramsey Bronk Christopher • Buck E Caitlin • Cheng Hai • Edwards R Lawrence • Friedrich Michael • Grootes M Pieter • Guilderson P Thomas • Haflidason Haflidi • Hajdas Irka • Hatté Christine • Heaton J Timothy • Hoffmann Dirk L • Hogg G Alan • Hughen A Konrad • Kaiser K Felix • Kromer Bernd • Manning W Sturt • Niu Mu • Reimer W Ron • Richards A David • Scott E Marian • Southon R John • Staff A Richard • Turney S M Christian • Plicht van der Johannes,2013,Intcal13 and Marine13 Radiocarbon age Calibration curves 0–50,000 years cal BP. Radiocarbon,55,1869–1887.

Richter H.G.,Grosser D.,Heinz I. and Gasson P.E.(編),2006, 針葉樹材の識別　IAWA による光学顕微鏡的特徴リスト . 伊東隆夫・藤井智之・佐野雄三・安部　久・内海泰弘 (日本語版監修), 海青社 ,70p.［Richter H.G.,Grosser D.,Heinz I. and Gasson P.E.(2004)IAWA List of Microscopic Features for Softwood Identification］.

佐伯秀治・升　秀夫・早川典之 ,1998, 臨床検査シリーズ　寄生虫鑑別アトラス－オールカラー版－ . 株式会社メディカルサイエンス社 ,162P.

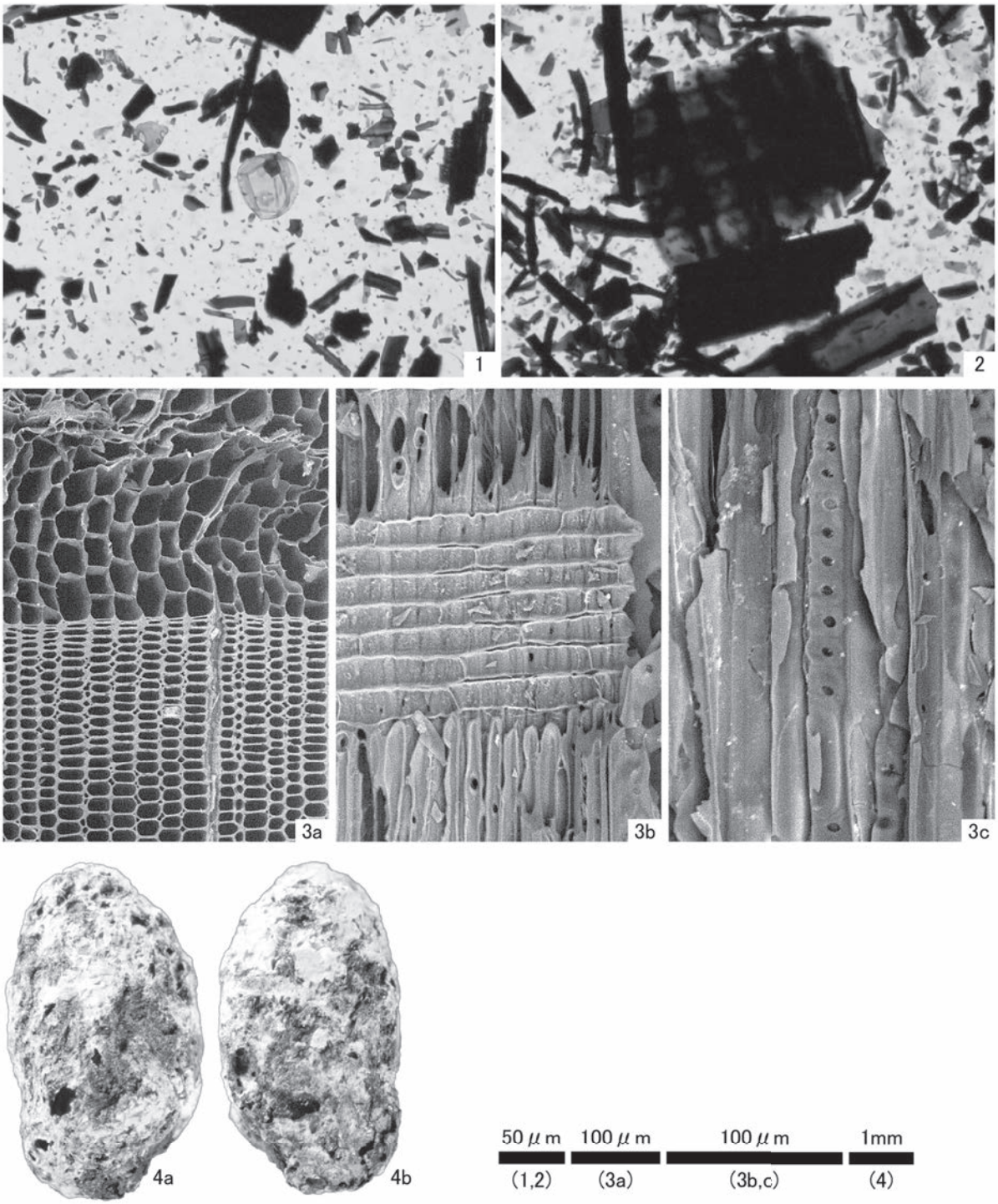
斉藤崇人・田中義文 ,2007, 寄生虫卵殻の形態分類 . 徳永重元博士献呈論集 , パリノ・サーヴェイ株式会社 ,407-416.

島倉巳三郎 ,1973, 日本植物の花粉形態 . 大阪市立自然科学博物館収蔵目録　第 5 集 ,60p.

島地　謙・伊東隆夫 ,1982, 図説木材組織 . 地球社 ,176p.

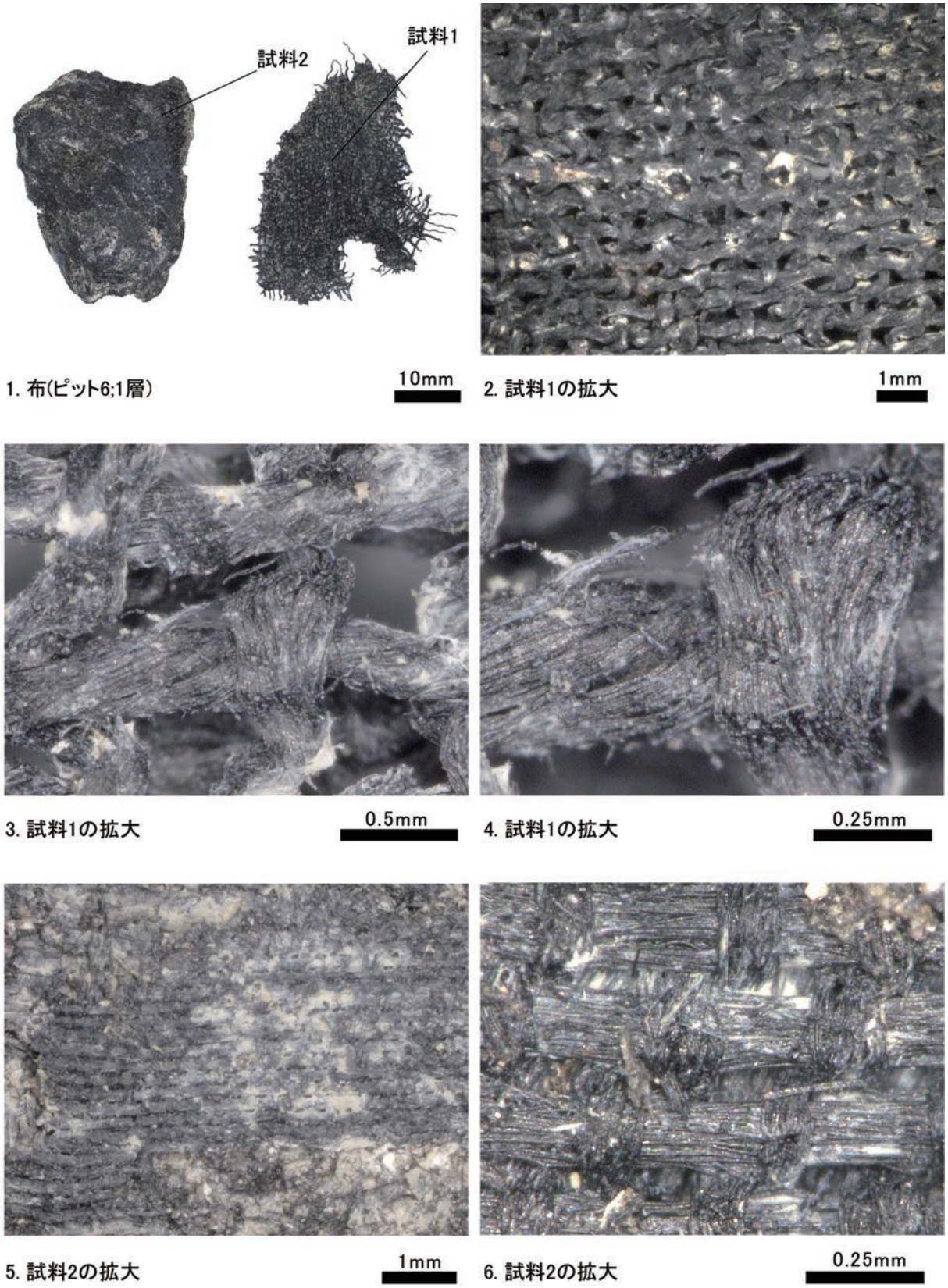
Stuiver Minze and Polach A Henry,1977, Radiocarbon 1977 Discussion Reporting of 14C Data. Radiocarbon ,19, 355-363.

徳永重元・山内輝子 ,1971, 花粉・胞子 . 化石の研究法 , 共立出版株式会社 ,50-73.

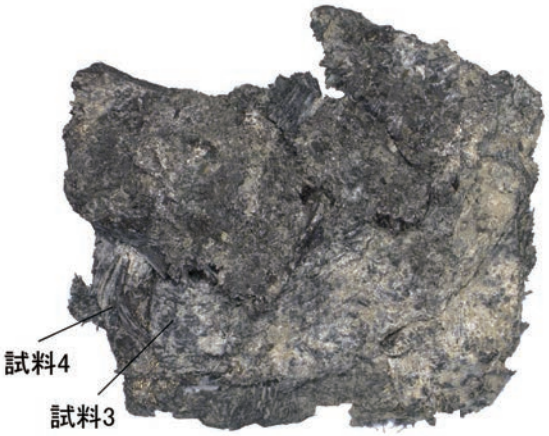


1．花粉分析プレパラート内の状況（ピット６　１層）
2．花粉分析プレパラート内の状況（ピット６　１層）
3．ヒノキ科（落ち込み３　１層）
4．イネ　胚乳（ピット６　１層）

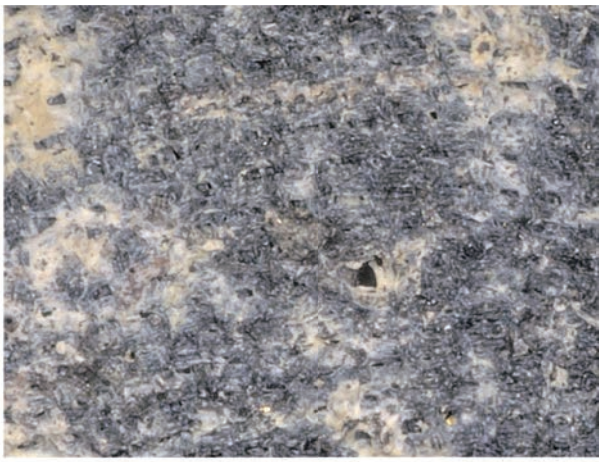
図版 64　花粉分析プレパラート内の状況・炭化材・炭化種実


試料1
試料2
1. 布(ピット6;1層)
10mm
2. 試料1の拡大
1mm
3. 試料1の拡大
0.5mm
4. 試料1の拡大
0.25mm
5. 試料2の拡大
1mm
6. 試料2の拡大
0.25mm

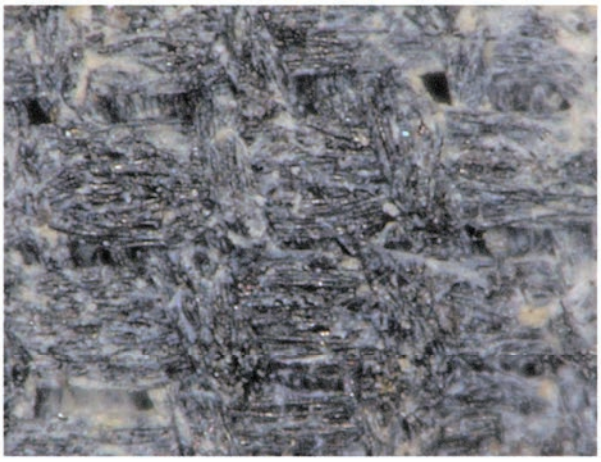
図版 65　顕微鏡写真（1）



7. 布(ピット6;1層)　10mm

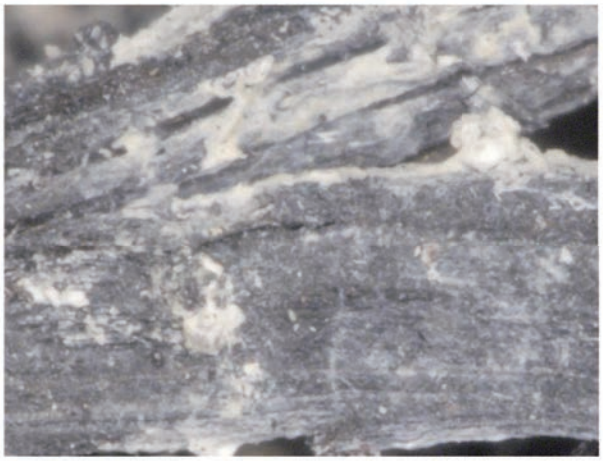


8. 試料3の拡大　1mm

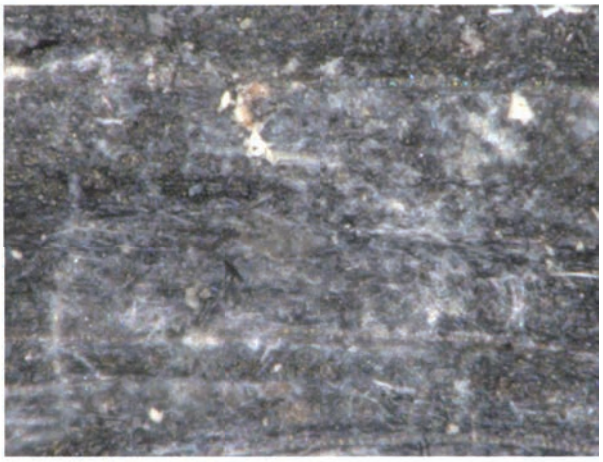


9. 試料3の拡大　0.25mm

10. 試料4の拡大　1mm

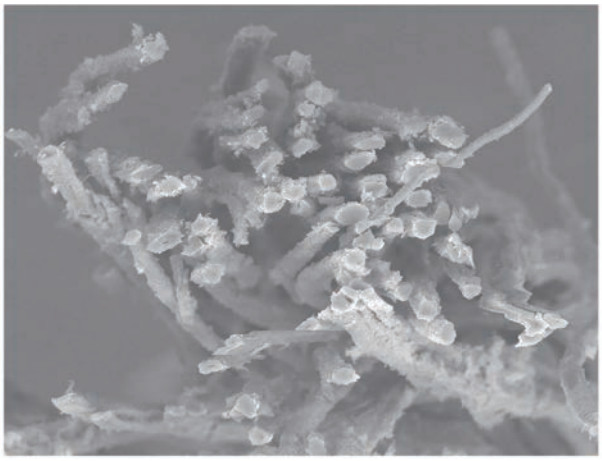


11. 試料4の拡大　0.5mm

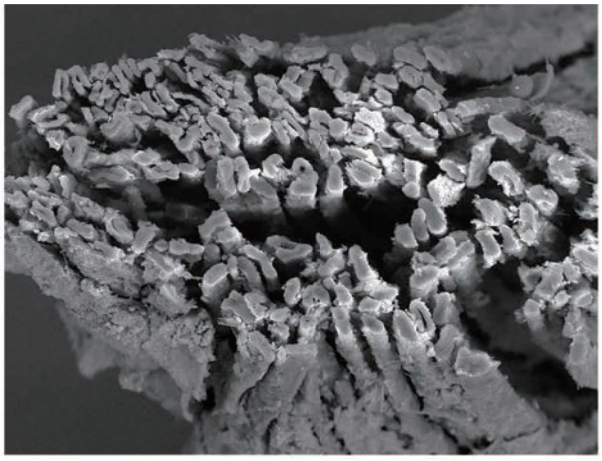


12. 試料4の拡大　0.25mm

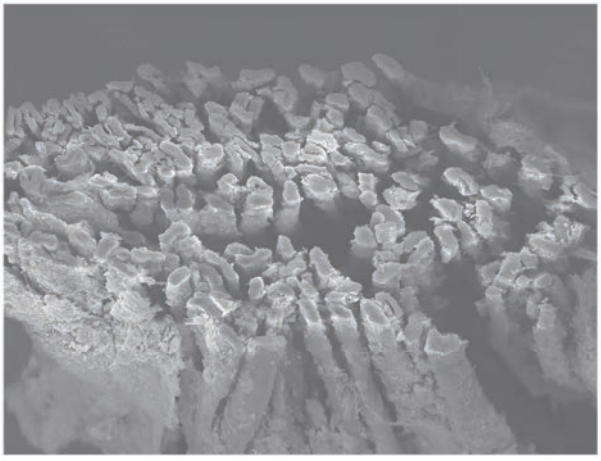
図版 66　顕微鏡写真（2）



13. 絹糸の断面(ピット6;1層)　50 μ m

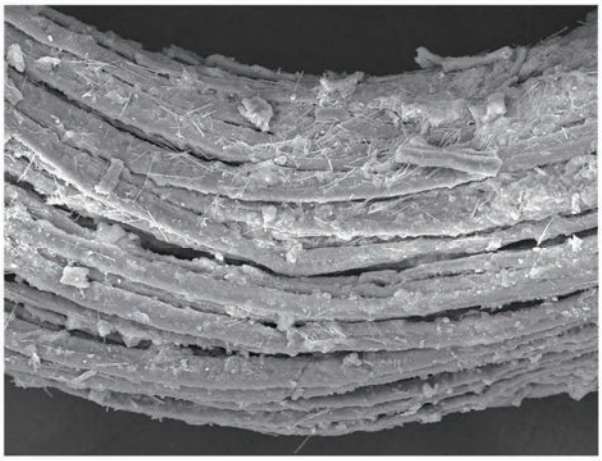


14. 絹糸の断面(ピット6;1層)　50 μ m

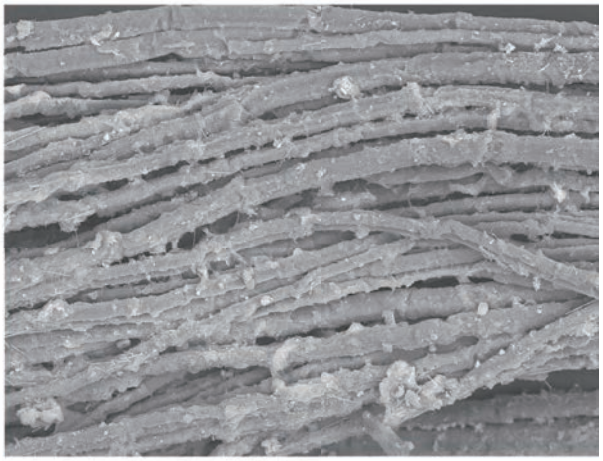


15. 絹糸の断面(ピット6;1層)　50 μ m

16. 絹糸の平面(ピット6;1層)　500 μ m



17. 絹糸の平面(ピット6;1層)　50 μ m

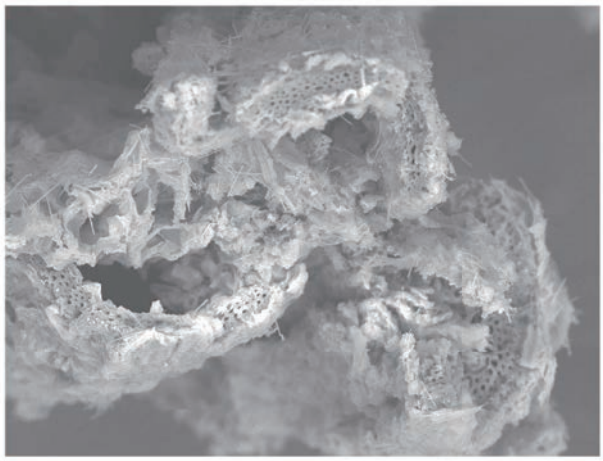


18. 絹糸の平面(ピット6;1層)　50 μ m

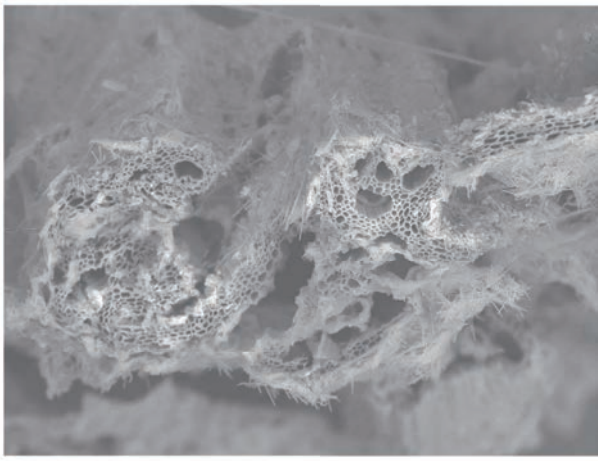
図版 67　顕微鏡写真（3）

19. つる植物?(ピット6;1層)　500 μ m

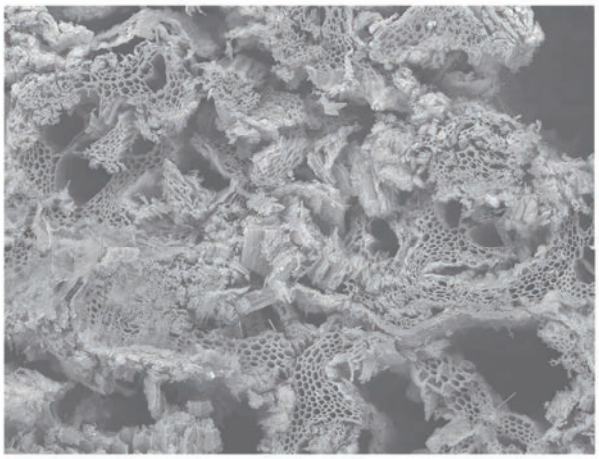
20. つる植物?(ピット6;1層)　500 μ m



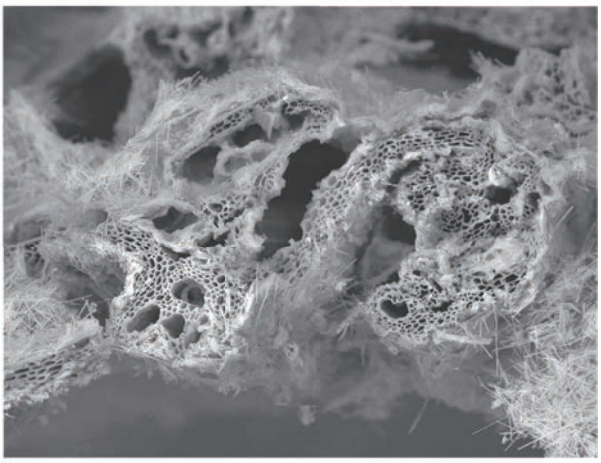
21. つる植物?(ピット6;1層)　50 μ m



22. つる植物?(ピット6;1層)　50 μ m



23. つる植物?断面(ピット6;1層)　50 μ m



24. つる植物?断面(ピット6;1層)　50 μ m

図版 68　顕微鏡写真（4）

第５章　総括

以上、平成 23・24 年度に実施した首里城跡御内原東地区の発掘調査成果について報告した。本章では今一度それらを整理するとともに、若干の考察と今後の課題を述べる。

１　遺構について

発掘調査で多種多様な遺構が検出されているが、今回は当該調査区の主体施設であった金蔵に関係すると考えられる遺構と、金蔵創建以前に遡る遺構に大別して記す。

金蔵に関係する遺構としては、石積み 16 ～ 18・22・25、階段２、落ち込み３などが挙げられる。これらの遺構は金蔵の東側に位置するもので、石積みの場合は花形に積み上げ表面に漆喰を塗布するという工法、17 世紀後半または 18 世紀初頭の情報を有するとされる首里城絵図（安里 2013）や首里古地図にみられないという点から、金蔵の創建された 1732 年、つまり 18 世紀前半頃に構築されたものと考えられる。金蔵の建物自体に伴う遺構は、残念ながら戦後の琉球大学校舎建築で破壊されていたが、今後予定されている当該地区の復元整備根拠として十分耐え得る資料である。

この他、直接金蔵に関係するかは不明だが、琉球石灰岩の岩盤を階段状に直接加工して構築された階段１も特徴的な遺構である。本遺構は金蔵の南側に位置するもので、正殿側から白銀門へ東西方向に延びる通路の一部を構成するものと考えられる。岩盤を直接加工するという性質上の問題や、包含層なども確認できなかったため構築年代は不明だが、19 世紀代の情報を有するとされる沖縄県首里旧城図（平良 1994）や、仲宗根真補（査不烈／嶂山）が 1894 年に描いた「首里旧城之図」（沖縄県博美 2009）に同様の階段が確認できることから、19 世紀には存在したと考えられる。しかし、階段部分の通路は 17 世紀後半～ 18 世紀前半作成とされる「首里城絵図」（安里 2013）にもみられるため、当該遺構の構築年代は近世前半に遡る可能性もある。

金蔵創建以前、つまり 17 世紀以前に遡る遺構としては落ち込み２が挙げられる。遺構内から出土した遺物の特徴については後述するが、16 世紀代の当該地区に廃棄施設が存在したという事実は、17 世紀以前の首里城内における土地の利用方法を考えるうえで極めて示唆的といえる。これまで首里城内では、京の内地区（沖縄県文化課 1998）や二階殿地区（沖縄県埋文 2005）で 15 世紀中葉の一括廃棄遺構が確認されている。これらの場所は、文献史料でみると近世以前に建物などの存在が確認できない場所であることから、このような空閑地の利用方法の一つとして、落ち込み２のような廃棄遺構の構築が想定される。

２　遺物について

発掘調査で出土した遺物は、中国・タイ・ベトナム・朝鮮・日本・沖縄の各地で生産された陶磁器類をはじめとして、瓦類・円盤状製品・煙管・玉類・ガラス製品・金属製品・石製品・漆喰製品・漆製品・貝製品･骨製品･自然遺物など多種多様で、年代も 14 世紀～ 20 世紀と幅広い。この中には、かつて「金蔵」があったという当該地区の特性を示すような遺物が多数みられ、しかもそれらが落ち込み２、落ち込み３、ピット６という特定の遺構に集中している。以下にそれらの資料を３点に絞って述べる。

最初にあげられるのは瓦製の欄干である。当該資料はこれまでも城内の他地域から部分的な資料が得られていたが（沖縄県埋文 2004･2015b）、完全な形態が判明したのは今回が初である。また本資料により、親柱・手摺・束などの部材を組み合わせて構築するという基本構造、各部材とも漢数字が刻まれていること、外面ではなく内面に漆喰を塗布していることといった多くの特徴がわかったことも意義深い。また、瓦製欄干は落ち込み２内に一括廃棄された状態で出土したため、共伴遺物の中国産褐釉陶器・タイ産褐釉陶器・朝鮮産象嵌青磁・沖縄産瓦質土器及び瓦類などから 16 世紀代には城内で使用していたものと考えられるが、現在のところ首里城内及び琉球国内でこのような製品が用いられた記録は確認されておらず、

同時期に生産されていた明朝系瓦と同系統の製品とも考え難い。ただ、16 世紀代の首里城内に瓦製欄干を有する施設が存在したことはほぼ確実であり、位置的に近い寝廟殿（1753 年創建のため当該施設の前身も想定する必要あり）を含めて近世以前における御内原の様相を考えるうえで重要な資料であることは間違いない。また斗束の意匠については、素材は異なるが円覚寺仏殿に使用されていた木製の蓮葉束（沖縄県文化課 2000）とほぼ共通している。さらにこの木製品は表面が黒漆で塗られており、色調も類似している点も注目すべきといえる。

次に挙げられるのは、「大清康熙年製」「大清雍成年製」「雍成年製」「大清乾隆年製」などのいわゆる帝王年款が施された中国清朝の磁器類である。清朝官窯とも称されるこれらの資料は、これまでも首里城内及び周辺で散発的に確認されていたが（沖縄県埋文 2004・2006a など）、今回落ち込み３とピット６より集中的に出土したことから、かつて存在した宝物庫である金蔵の後方に位置する当該遺構群が、金蔵に収めていた清朝官窯の破損品を一括廃棄した施設であったと考えられる。またそれと同時に、17 世紀以降における中国との朝貢貿易では、明代までと異なり琉球が多数の官窯製品を入手できたことが発掘調査で判明したことも非常に興味深い。ちなみに文献史料によると、18 世紀代を中心に中国から琉球へ官窯製品とみられる陶磁器の輸入が複数回確認できるが（謝 2014、宮田 1974）、この記録に示されたものの一部が今回及びこれまで発見された清朝官窯に相当する可能性は高い。

この他、上記以外の落ち込み３及びピット６出土資料には、三巴文が施された青銅製毛抜き、中国産堆朱の合子と考えられる漆製品、龍や花などの精巧な文様が彫られた骨製品など、類例の少ない資料が多数含まれている。前述した瓦製欄干や清朝官窯と合わせて、記録の少ない御内原における生活や祭祀の一端を窺うことのできる貴重な資料といえよう。

３　今後の課題

昭和 59（1984）年度に実施した歓会門及び久慶門内側地域を嚆矢とする首里城跡の発掘調査は、平成 26（2014）年度で一応の区切りを迎えた。当初は沖縄開発庁の首里城城郭等復元整備事業に伴う発掘調査のみであったが、昭和 60・61（1985・86）年度の正殿地区を経て、昭和 62（1987）年度からは国営公園整備に先立つ発掘調査が始まり、平成３（1991）年度からは首里城周辺で県営公園整備に係る発掘調査も着手された。

首里城公園は、平成 30（2018）年度に国営部分の管理・運営を沖縄県に移管する方針であり、整備事業もそれに伴い平成 29（2017）年度での終了が予定されている。これまでの調査成果をまとめた報告書は、国営・県営部分を合計すると 30 冊以上に及んでいるが、事業の終了とは別に、首里城跡の調査成果を総合的に整理・検討する時期に来ていると思われる。これらの調査・研究が進展すれば、首里城の歴史や変遷がより明らかになることに繋がり、現在及び今後の首里城公園の整備・活用にも大きく寄与できるものと考えられる。今回の報告書がその一助となれば幸いである。

引用・参考文献

安里進　2013「首里王府の重要施設絵図調整事業」『首里城研究』№15　首里城公園友の会

新垣力　2003「沖縄出土の清朝陶磁」『紀要沖縄埋文研究』1　沖縄県立埋蔵文化財センター

新垣力　2010「沖縄から出土する17～19世紀の貿易陶磁器」『海の道と考古学－インドシナ半島から日本へ－』高志書院

新垣力　2011「無釉陶器の成立と展開」『沖縄県立博物館・美術館×那覇市立壺屋焼物博物館　合同企画展　琉球陶器の来た道』沖縄県立博物館・美術館

新垣力　2013a「17世紀前半～中葉の琉球陶器について－「初期無釉陶器」にみる薩摩焼の影響－」『鹿児島考古』第43号　鹿児島県考古学会

新垣力　2013b「首里城跡の考古学研究－近年の発掘調査成果を中心に－」『第6回鹿児島県考古学会・沖縄考古学会合同学会研究発表会資料集　鹿児島・沖縄考古学の最新動向』鹿児島県考古学会・沖縄考古学会

新垣力　2014「17～19世紀の琉球列島における貿易陶磁の様相」『第35回日本貿易陶磁研究集会（沖縄大会）発表要旨・資料集　琉球列島の貿易陶磁』日本貿易陶磁研究会

池宮正治　1995「王と王権の一側面を考える　首里城における倉庫を意味する施設」『首里城復元期成会会報』第14号　首里城復元期成会

池宮正治　2010「第六章　王府の祭祀と信仰」『沖縄県史　各論編　第三巻　古琉球』沖縄県教育委員会

池谷望子・内田晶子・高瀬恭子　2005『朝鮮王朝実録　琉球史料集成【訳注篇】』榕樹書林

石井龍太　2006a「琉球近世瓦瓦当紋様集成と型式学的分類～琉球近世瓦の研究その２～」『東京大学考古学研究室研究紀要』第20号　東京大学大学院人文社会系研究科・文学部考古学研究室

石井龍太　2006b「琉球近世瓦の分類と編年試案～琉球近世瓦の研究その３～」『南島考古』第25号　沖縄考古学会

石井龍太　2011「琉球諸島出土キセルの基礎的研究～琉球喫煙文化の研究～」『東京大学考古学研究室研究紀要』第25号　東京大学大学院人文社会系研究科・文学部考古学研究室

伊従勉　2010「第五章　遺構からみる古琉球の首里城」『沖縄県史　各論編　第三巻　古琉球』沖縄県教育委員会

上田秀夫　1991「16世紀末から17世紀前半における中国製染付碗・皿の分類と編年への予察」『関西近世考古学研究』Ⅰ　関西近世考古学研究会

上原静　1986「グスク時代・近世出土の円盤状製品」『読谷村立歴史民俗資料館紀要』第10号　読谷村教育委員会

上原静　1989「首里城跡出土の貝殻」『月刊考古学ジャーナル』№311　ニュー・サイエンス社

上原静　1990「首里城跡出土のブラシと湧泉」『文化課紀要』第6号　沖縄県教育委員会文化課

上原静　2004「考古学からみた沖縄諸島の遊戯史」『グスク文化を考える　世界遺産国際シンポジウム〈東アジアの城郭遺跡を比較して〉の記録』新人物往来社

上原静　2007「琉球列島出土の有孔盤状製品、骨製箆等について」『南島考古』第26号　多和田真淳先生生誕百年記念特集号　沖縄考古学会

上原静　2011「琉球の塼と煉瓦」『南島考古』第30号　沖縄考古学会

上原静　2013『琉球古瓦の研究』榕樹書林

上原千明　2014「中近世における釘研究の現状と課題」『廣友会誌』第7号　廣友会

氏家宏・兼子尚知　2006「那覇及び沖縄市南部地域の地質」『地域地質調査報告（５万分の１地質図幅）』独立行政法人産業技術総合研究所地質調査総合センター

大分県教育庁埋蔵文化財センター（編）　2008『豊後府内８』大分県教育庁埋蔵文化財センター調査報告書第23集

沖縄開発庁沖縄総合事務局開発建設部（編）　1987『国営沖縄記念公園事務所首里城地区基本計画』

沖縄県教育庁文化課（編）　1985『金石文－歴史資料調査報告書Ⅴ－』沖縄県文化財調査報告書第69集　沖縄県教育委員会

沖縄県教育庁文化課（編）　1998『首里城跡－京の内跡発掘調査報告書（Ⅰ）－』同第132集　沖縄県教育委員会

沖縄県教育庁文化課（編）　2000『旧円覚寺美術工芸関係資料調査報告書』同第140集　沖縄県教育委員会

沖縄県教育庁文化課（編）　2001『世界遺産　琉球王国のグスク及び関連遺産群』「琉球王国のグスク及び関連遺産群」世界遺産

登録記念事業実行委員会
沖縄県教育庁文化課（編） 2011『沖縄のガラス・玉等製品関係資料調査報告書』同第 149 集　沖縄県教育委員会
沖縄県立博物館・美術館（編） 2009『琉球絵画展～琉球王朝から近代までの絵画～』沖縄文化の杜
沖縄県立埋蔵文化財センター（編） 2001a『首里城跡－管理用道路地区発掘調査報告書－』沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書第 1 集
沖縄県立埋蔵文化財センター（編） 2001b『天界寺跡（Ⅰ）』同第 2 集
沖縄県立埋蔵文化財センター（編） 2001c『首里城跡－下之御庭跡・用物座跡・瑞泉門跡・漏刻門跡・廣福門跡・木曳門跡発掘調査報告書－』同第 3 集
沖縄県立埋蔵文化財センター（編） 2002『天界寺跡（Ⅱ）』同第 8 集
沖縄県立埋蔵文化財センター（編） 2003a『尻並遺跡』同第 15 集
沖縄県立埋蔵文化財センター（編） 2003b『御茶屋御殿跡』同第 17 集
沖縄県立埋蔵文化財センター（編） 2004『首里城跡－東のアザナ地区発掘調査報告書－』同第 20 集
沖縄県立埋蔵文化財センター（編） 2005『首里城跡－二階殿地区発掘調査報告書－』同第 29 集
沖縄県立埋蔵文化財センター（編） 2006a『真珠道跡－首里城跡真珠道地区発掘調査報告書（Ⅰ）－』同第 32 集
沖縄県立埋蔵文化財センター（編） 2006b『首里城跡－御内原地区発掘調査報告書－』同第 34 集
沖縄県立埋蔵文化財センター（編） 2007a『首里城跡－黄金御殿地区発掘調査報告書－』同第 45 集
沖縄県立埋蔵文化財センター（編） 2007b『渡地村跡』同第 46 集
沖縄県立埋蔵文化財センター（編） 2010『首里城跡－御内原北地区発掘調査報告書（Ⅰ）－』同第 54 集
沖縄県立埋蔵文化財センター（編） 2011『中城御殿跡－県営首里城公園　中城御殿跡発掘調査報告書（2）－』同第 58 集
沖縄県立埋蔵文化財センター（編） 2012a『中城御殿跡－県営首里城公園　中城御殿跡発掘調査報告書（3）－』同第 63 集
沖縄県立埋蔵文化財センター（編） 2012b『平成 24 年度企画展　発掘調査速報展 2012』
沖縄県立埋蔵文化財センター（編） 2013a『首里城跡－御内原北地区発掘調査報告書（2）－』同第 69 集
沖縄県立埋蔵文化財センター（編） 2013b『平成 25 年度企画展　発掘調査速報展 2013』
沖縄県立埋蔵文化財センター（編） 2015a『首里城跡－銭蔵地区発掘調査報告書－』同第 77 集
沖縄県立埋蔵文化財センター（編） 2015b『首里城跡－大台所、料理座地区周辺発掘調査報告書－』同第 78 集
沖縄県立埋蔵文化財センター（編） 2016a『首里城跡－銭蔵東地区発掘調査報告書－』同第 80 集
沖縄県立埋蔵文化財センター（編） 2016b『首里城跡－正殿地区発掘調査報告書－』同第 82 集
奥谷喬司（編著） 2000『日本近海産貝類図巻 Marine Mollusks in Japan』東海大学出版会
小野正敏　1982「15、16 世紀の染付碗、皿の分類とその年代」『貿易陶磁研究』第 2 号　日本貿易陶磁研究会
加治順人　2000『沖縄の神社』ひるぎ社
加藤数彦　2011「首里城公園における平面表示のあり方について」『平成 22 年度　公園緑地研究所調査研究報告』社団法人日本公園緑地協会公園緑地研究所
川根正教　2001「寛永通宝銅銭の様式分類」『出土銭貨研究会研究紀要　出土銭貨研究』出土銭貨研究会
関西近世陶磁史研究会（編） 2001『近世信楽焼をめぐって　研究集会資料集』
関西近世陶磁史研究会（編） 2006『京焼の成立と展開－押小路、栗田口、御室－　研究集会資料集』
九州近世陶磁学会（編） 2000『九州陶磁の編年　九州近世陶磁学会 10 周年記念』
球陽研究会（編） 1974『沖縄文化史料集成 5　球陽　読み下し編』角川書店
京都国立博物館・読売新聞社（編） 2013『特別展覧会　魅惑の清朝陶磁』読売新聞社
久手堅憲夫　2000『南島文化叢書　22　首里の地名－その由来と縁起－』第一書房
宮内庁三の丸尚蔵館（編） 2001『明治美術再見Ⅳ　記録の芸術　山本芳翠とその時代　三の丸尚蔵館企画展図録№ 23』財団法人菊葉文化協会
久保弘文・黒住耐二　1995『生態／検索図鑑　沖縄の海の貝・陸の貝』沖縄出版
黒住耐二　1987「3．遺跡出土貝類の生息場所類例化の試み」『石川市古我地原貝塚　本文編』沖縄県文化財調査報告書第 84 集　沖縄県教育委員会

國立故宮博物院（編） 1981『故宮漆器特展目録』
財団法人大阪市文化財協会（編） 1998『住友銅吹所跡発掘調査報告』
佐賀県立九州陶磁文化館（編） 1998『平成 10 年度企画展　沖縄のやきもの－南海からの香り－』
史跡首里城跡整備委員会（編） 1988『史跡首里城跡整備基本構想』沖縄県教育委員会
島弘　2011「沖縄諸島出土の煙管について」『シンポジウム　ＶＯＣと日蘭交流－ＶＯＣ遺跡の調査と嗜好品－　発表要旨』たばこと塩の博物館・江戸遺跡研究会
島袋春美　1997「県内出土の「タカラガイ製品」について」『南島考古』第 16 号　沖縄考古学会
謝明良　2014「關於金琺瑯靶碗」『故宮文物月刊』403　國立故宮博物院
首里城研究グループ（編） 1997『首里城入門　その建築と歴史』ひるぎ社
首里城公園基本計画調査委員会（編） 1984『首里城公園基本計画調査報告書』沖縄県土木建築部
首里城復元期成会・那覇出版社編集部（編） 1987『写真集　首里城』那覇出版社
真貝理香・松井章　2014「C02　中世大友府内町遺跡出土の骨角製品－両歯櫛の系譜について－」『日本動物考古学会第２回大会プログラム・抄録集』日本動物考古学会第２回大会事務局
新里亮人　2003「琉球列島における窯業生産の成立と展開」『考古学研究』第 49 巻第 4 号（通巻 196 号）　考古学研究会
砂辺和正　1997「金属製鋲を伴う骨製品」『南島考古だより』第 58 号　沖縄考古学会
角田清美　2014「沖縄島・首里城と周辺地域の古井戸」『専修人文論集』第 94 号　専修大学学会
瀬戸哲也　2009「南の境界・琉球の瓦質土器」『中近世土器の基礎研究』22　日本中世土器研究会
瀬戸哲也・仁王浩司・玉城靖・宮城弘樹・安座間充・松原哲志　2007「沖縄における貿易陶磁研究－ 14 ～ 16 世紀を中心に－」『全国シンポジウム　中世窯業の諸相～生産技術の展開と編年～　補遺編』全国シンポジウム「中世窯業の諸相～生産技術の展開と編年～」実行委員会
平良啓　1994「「沖縄県首里旧城図」について」『首里城研究』№1　首里城公園友の会
高階絵里加　1998「山本芳翠の沖縄訪問に関する試論」『美術史』第 144 冊　美術史學會
高良倉吉　1996「第四節　琉球王国成立期の首里城に関する覚書」『前近代における南西諸島と九州－その関係史的研究』多賀出版
太宰府市教育委員会（編） 2000『大宰府条坊跡 XV －陶磁器分類編－』太宰府市の文化財第 49 集
田中克子　2001「博多遺跡群出土陶磁に見る福建古陶磁　（その一）博多出土の薄胎施釉陶器（茶入）」『博多研究会誌』第９号　博多研究会
知念隆博　2003「首里城跡出土銭貨について」『紀要沖縄埋文研究』 1　沖縄県立埋蔵文化財センター
東京国立博物館（編） 2013『魅惑の清朝陶磁』
當眞嗣一　1994「火矢について」『南島考古』第 14 号（学会創立 25 周年記念特集号）　沖縄考古学会
内閣府沖縄総合事務局国営沖縄記念公園事務所（編） 2013a『国営沖縄記念公園首里城地区整備計画』
内閣府沖縄総合事務局国営沖縄記念公園事務所（編） 2013b『国営沖縄記念公園整備・管理運営プログラム』
永井久美男（編） 1994『中世の出土銭－出土銭の調査と分類－』兵庫埋蔵銭調査会
中沢富士雄（編著） 1996『中国の陶磁　第 11 巻　清の官窯』平凡社
長濱健起　2006「首里城跡出土銭貨の銭種構成について」『紀要沖縄埋文研究』 4　沖縄県立埋蔵文化財センター
中坊徹次（編） 2000『日本産　魚類検索　全種の同定　第二版』東海大学出版会
那須孝悌・趙哲済　2003「第２節　地層の見方」『環境考古学マニュアル』同成社
那覇市企画部市史編集室（編） 1970『那覇市史　資料篇　第一巻二　薩琉関係文書』那覇市
那覇市教育委員会文化課（編） 1992『壺屋古窯群Ｉ』那覇市文化財調査報告書第 23 集　那覇市教育委員会
那覇市教育委員会文化財課（編） 2012『渡地村跡』同第 91 集　那覇市教育委員会
那覇市立壺屋焼物博物館（編） 2013『平成 25 年度那覇市立壺屋焼物博物館企画展　Okinawa Blue & White　沖縄が愛した青と白』
西村昌也・西野範子　2005「ヴェトナム施釉陶器の技術・形態的視点からの分類と編年－ 10 世紀から 20 世紀の碗皿資料を中心に－」『上智アジア学』第 23 号　上智大学アジア文化研究所

西銘章　2003「墓に伴う貝－近世墓出土の貝製品」『南島考古だより』第 71 号　沖縄考古学会
日本貨幣商協同組合（編）　2015『日本貨幣カタログ 2016 年度版』
根津美術館（編）　1993『南蛮・島物－南海請来の茶陶－』
野々村孝男　1999『首里城を救った男　阪谷良之進・柳田菊造の軌跡』ニライ社
野々村孝男（編著）　2000『写真集　懐かしき沖縄～山崎正薫らが歩いた昭和初期の原風景～』琉球新報社
乗岡実　2005「備前」『全国シンポジウム　中世窯業の諸相～生産技術の展開と編年～　資料集』全国シンポジウム「中世窯業の諸相～生産技術の展開と編年～」実行委員会
古川博恭・高里良政　1986「三、地形・地質」『那覇市歴史地図－文化財悉皆調査報告書－』那覇市教育委員会
法政大学沖縄文化研究所（編）　2014『沖縄研究資料　29　琉球沖縄本島取調書』
外間守善（校注）　2015『ワイド版岩波文庫 390　おもろさうし（上）』岩波書店
外間守善・波照間永吉（編）　1997『定本　琉球国由来記』角川書店
真栄平房敬　1988「首里城内の生活と儀礼」『窪徳忠先生沖縄調査二十年記念論文集　沖縄の宗教と民俗』第一書房
真栄平房敬　1997『首里城物語』ひるぎ社
宮城栄治　1996「古都首里のまちづくりに向けて　歴史的変遷の検証－１（「首里市制 10 周年記念誌」に見える明治以降の変遷）」『首里城研究』№.２　首里城公園友の会
宮城弘樹　2008「琉球出土銭貨の研究」『出土銭貨』第 28 号　出土銭貨研究会
宮田俊彦　1974「最盛期の琉清貿易その一－二集『歴代寶案』の初め巻一五まで沿って－」『南島史学』第 13 号　南島史学会
向井亙　2003「タイ黒褐釉四耳壺の分類と年代」『貿易陶磁研究』第 23 号　日本貿易陶磁研究会
向井亙　2012「タイ陶磁器の編年研究」『金沢大学　文化資源学研究』第５号　金沢大学国際文化資源学研究センター
森毅　1995「一六・一七世紀における陶磁器の様相とその流通－大阪の資料を中心に－」『ヒストリア』第 149 号　大阪歴史学会
森本朝子　1994「博多遺跡群出土の天目」『唐物天目－福建省建窯出土天目と日本伝世の天目－』茶道資料館
森本朝子・片山まび　2000「博多出土の高麗・李朝陶磁の分類試案－生産地編年を視座として－」『博多研究会誌（法哈噠）』第８号　博多研究会
矢島律子　2014「首里城および中城御殿出土の清朝官窯陶磁について」『2012 年度年報／紀要』町田市立博物館
矢島律子　2015「清朝の五彩磁をめぐって」『陶説』第 747 号　日本陶磁協会
藪田みゆき　2015「近世～近代遺跡出土歯ブラシ形骨加工品－植毛孔に着目した分類試案の提示と時期差の予察－」『同志社大学考古学シリーズXI　森浩一先生に学ぶ　森浩一先生追悼論集』同志社大学考古学シリーズ刊行会
山崎博士古稀祝賀會（編）　1941『山崎博士の演説と文章』
甦る首里城と復元編集委員会（編）　1993『首里城復元記念誌　甦る首里城　歴史と復元』首里城復元期成会
琉球国絵図史料集編集委員会・沖縄県教育庁文化課（編）　1994『琉球国絵図史料集　第三集－天保国絵図・首里古地図及び関連史料－』沖縄県教育委員会
琉球大学二十周年記念誌編集委員会（編）　1970『琉球大学二十周年記念誌』琉球大学

報告書抄録

ふりがな	しゅりじょうあと
書名	首里城跡
副書名	御内原東地区発掘調査報告書
シリーズ名	沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書
シリーズ番号	第88集
編著者名	新垣力、金城貴子、玉城綾、株式会社文化財サービス、パリノ・サーヴェイ株式会社
編集機関	沖縄県立埋蔵文化財センター
所在地	〒903-0125 沖縄県中頭郡西原町上原193-7 TEL 098-835-8752 FAX 098-835-8754
発行年月日	2017年3月31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯	東経	発掘期間	発掘面積	発掘原因
首里城跡 (御内原東地区)	沖縄県 那覇市 首里当蔵町 3丁目1番	47201		26° 13′ 2″	127° 43′ 11″	20110830 ～ 20120331 20120925 ～ 20130331	476 ㎡	国営沖縄記念公園(首里城地区)整備に伴う遺構確認調査

所収遺跡名	種類	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
首里城跡 (御内原東地区)	城跡	グスク時代～近代	石積み、石敷き、ピット、落ち込み、階段、遺物包含層	陶磁器類(中国産・タイ産・ベトナム産・朝鮮産・本土産・沖縄産等)、瓦類(屋瓦・塼・欄干)、銭貨、円盤状製品、煙管、玉類、ガラス製品、金属製品、石製品、漆喰製品、漆製品、貝製品、骨製品、自然遺物	金蔵に伴うと考えられる石積みや、美福門の城壁の一部などを確認 瓦製欄干、中国清朝陶磁器の官窯製品が多数出土

要約

本調査では、1732年創建の金蔵に伴うと考えられる複数の石積や、尚巴志王代(1422～39年)創建と伝わる美福門の城壁の一部、琉球石灰岩の岩盤を加工・整形した階段通路などが確認された。当該地区は城内でも限られた人間しか立ち入りできない「御内原」の一部で、内部の様相が窺える文献や古写真がほとんど残されていないことから、今回の調査成果は「御内原」の復元整備を進めるうえで非常に重要といえる。また、金蔵周辺からは年代の異なる落込が2基検出されており、遺構内からはかつて当該地区に存在した可能性の高い構造物や、「御内原」における生活を窺い知ることのできる遺物が多数得られている。

多種多様な遺物のうち特徴的な資料として挙げられるのが、瓦製の欄干と中国清朝陶磁器の官窯製品である。前者は親柱・平桁・束などの部材を組み合わせて構築する欄干で、年代は出土状況から17世紀以前と推定されることから、当該期の城内に瓦製欄干を伴う構造物が存在した可能性も示唆される。後者は当時の中国(清朝)で生産された最高レベルの陶磁器で、中国のみならず国外の遺跡でも発見される事例は非常に少ない。今回得られた資料は大半が金蔵後方に位置する落ち込みから出土しており、器種も碗・小碗・皿など実際に食器として使用する製品のみが複数個体確認されていることから、かつて国王一族の食事や賓客の接待時などに用いるため金蔵で収納していたものが、破損等の要因により廃棄されたと考えられる。

沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書　第 88 集

首　里　城　跡

－ 御内原東地区発掘調査報告書－

発 行 日　平成 29（2017）年 3 月 31 日

発行・編集　沖縄県立埋蔵文化財センター
〒 903-0125　沖縄県中頭郡西原町字上原 193 番地の 7
TEL　098（835）8751・8752

印　　刷　株式会社　アント出版
〒 901-0306　沖縄県糸満市西崎町 4 丁目 21-5　2F
TEL　098（840）3777

表　紙：瓦製欄干組み合わせ想定図

裏表紙：漆製品（合子）

沖縄県立埋蔵文化財センター